東京文化財研究所編
National Research Institute For Cultural Properties, Tokyo

日本美術年鑑

YEAR BOOK OF JAPANESE ART

平成19年版（2006. 1—12）

中央公論美術出版

序

『日本美術年鑑』は、わが国美術界の一年間の動向について、基本となる資料を収集整理してまとめたもので、昭和11(1936)年に当研究所の前身である帝国美術院附属美術研究所によって第一冊が刊行されました。この出版事業は、美術研究所が昭和27(1952)年に東京文化財研究所、昭和29(1954)年に東京国立文化財研究所になり、さらに平成13(2001)年４月、独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所と改められ、つづいて平成19(2007)年４月には独立行政法人国立博物館と統合し、新たに独立行政法人国立文化財機構が設置されても変わることなく受けつがれています。今回は、その第64冊目となります。

この平成19年版は、平成18年(2006年１月～12月)における美術界の動向を、年史・展覧会・文献目録・物故者の四項目に分けて編集しています。これらの記述の方法は、創刊以来の基本的方針を継承していますが、美術界の活動が多様化し、博物館・美術館が増加した今日にあっては、各項目とも調査・採録すべき事項が急増しているため、各項目の内容は厳選せざるを得ないのが現状です。そのため、平成14(2002)年には、情報の一層の精選をすすめるとともに、分類と内容を再精査して一部構成を改めましたが、今回もそれを継承しました。

ところで、このところ、過剰なグローバリゼーションへの反省から、それぞれの国・地域の固有の伝統文化を見直そうとする動きが始まっています。もとよりわが国の場合は、幸いにも世界に誇るべき文化財及び美術作品が、膨大に保存され、また日々研究が深められつつあります。その文化財研究の基礎資料の一つが、本年鑑であるといえます。文化財に関わる過去と現在と未来をつなぐ資料としての本年鑑の価値は、まさにこの点にあり、今後ともますます活用されることを望んでいます。

この年鑑の編集にあたり、資料を提供して下さった多くの方々、国公私立の美術館・博物館、大学等の研究教育機関、美術団体、画廊等の美術関係諸機関に対し、心からお礼申し上げます。

平成21年３月

独立行政法人国立文化財機構
東京文化財研究所

所長　鈴木規夫

凡　　例

1　本年鑑は、平成18(2006)年の１月から12月に至る美術界の主要な出来事を掲載した。

2　本年鑑は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。

3　本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫刻・空間表現、工芸、書、写真、漫画、デザインおよび建築に限っている。建築、写真、漫画、書はわれわれの注意をひく範囲にとどめた。

4　人名を記す場合は、すべて敬称をはぶいた。

5　「美術展覧会」の欄は、「企画展」「作家展」「団体展」の３つに分類し、展覧会名、作家名などの50音順に配列した。これは、美術に対する関心の多様化にともない、従来の時代や地域の区分を越えた展覧会が増加しつつある近年の状況に対応するために行ったものである。なお、「企画展」は、東洋古美術、及び近現代美術における企画性の高い展覧会を指す。「作家展」は、東洋古美術から現代までの作家を主題とした展覧会、および少人数の作家による展覧会を指す。「団体展」とは、定期的に、連続して開催される公募を原則とする主要な展覧会を指す。

6　「美術展覧会」の欄は、原則として「美術文献目録」欄の「収録定期刊行物誌名」にあげられた定期刊行物に掲載された展覧会関連記事を中心とし、これに本研究所が所蔵する展覧会図録と展覧会ポスター等から得られるデータを補って作成した。データは、展覧会名、会期、会場の順に略記し、当該年末から翌年にかけて開催された場合は、翌年の年記を略した。展覧会名は、概ね50音順で記載した。巡回展は、展覧会関連記事のある会期と会場を掲載し、そのほかの巡回先を(　)内に列記した。同一展覧会でも展覧会関連記事があれば、言及された会期と会場を掲載している。展覧会が同時に複数会場で開催されている場合は、スラッシュで区切って列記した。

7　「美術文献目録」の欄は、「定期刊行物所載文献」の分類を一部改めた。また、「美術展覧会図録所載文献」の項目を設け、展覧会図録に掲載された論文等をまとめた。詳細は、項目の始めに凡例を付したので参照されたい。

8　刊行物の名称は一部略称とした。略称については、73頁の一覧を参照されたい。

9　本年鑑は、山梨絵美子(企画情報部近・現代視覚芸術研究室長)を編集主任とし、田中淳(同部部長)、塩谷純(同部文化形成研究室長)、綿田稔(同部広領域研究室長)、皿井舞(同部研究員)、江村知子(同部研究員)、土屋貴裕(同部研究員)、菅沼万里絵(同部研究補佐員)が編集作業にあたった。また、定期刊行物、美術展覧会図録の管理登録については企画情報部文化財アーカイブズ研究室の協力を得た。「物故者」記事の執筆にあたっては、中野照男(当研究所副所長)、菊池理予(当研究所無形文化遺産部)、友田正彦(当研究所文化遺産国際協力センター)の協力を得るとともに、末永航(広島女学院大学)、富田淳(東京国立博物館)、中村るい(国立西洋美術館)、増田玲(東京国立近代美術館)の４氏にご協力いただいた。

なお、本年鑑の編集にあたっては、磯野愛、海老澤るりは、河合大介、久保田智史、佐藤直子、田代有甚、鶴岡明美、永田真紀、中村茉貴、本田光子の10君の献身的な編集補助を得た。記して謝意を表する。

目　　次

序 …… i
凡　　例 …… iii
目　　次 …… iv
平成18(2006)年美術界年史 …… 1
美術展覧会 …… 7
　企　画　展 …… 7
　作　家　展 …… 34
　団　体　展 …… 61
美術文献目録 …… 67
　凡　　例 …… 67
　収録定期刊行物誌名 …… 68
　定期刊行物所載文献 …… 75
　　目　　次 …… 75
　美術展覧会図録所載文献 …… 339
　　企　画　展 …… 339
　　作　家　展 …… 349
物　故　者 …… 361

平成18（2006）年美術界年史

1　月

○**「書の至宝　日本と中国」展開催**　漢字文化圏で文字が始まってから19世紀までの多様な書の展開を、甲骨文字から19世紀の中国、日本の優品で跡づける展観が11日から東京国立博物館で行われた（～２月19日）。中国の古代から清朝に至る書の流れと、遣隋使や遣唐使の派遣と停止、鎌倉期に再び始まる日宋貿易といった大陸との交流による日本の奈良時代から江戸時代までの書の流れを189点の作品で跡づける大規模な展観となった。

○**「No Border「日本画」から／「日本画」へ」展開催**　「日本画とは何か」という明治期から問われ続けている問題を、1960年代末から70年代生まれの画家７名の制作によって考え、絵画の現在に切り込もうとする「No Border「日本画」から／「日本画」へ」展が、東京都現代美術館で21日から開催された（～３月26日まで）。毎年行われる「MOT アニュアル」の一環としての企画。1990年代に美術の制度史が盛んになったのに連動し、「日本画」という既成のボーダーの見直しを試みた気鋭の画家たちが、膠、岩絵具、墨といった材料へのこだわりを見せたのに対し、次世代の画家が余白、描線、情緒といった表現の要素を取り入れ、描く行為を重視している点を浮かび上がらせた。

○**第47回毎日芸術賞受賞者決定**　優れた芸術活動を行った個人、団体に贈られる同賞の受賞者が決定し、美術関係では、李禹煥（横浜美術館で開催された「余白の芸術」展など）が選ばれた。贈呈式は30日、東京丸の内の東京会館で行われた。

2　月

○**建築家伊東豊雄、英建築家協会ロイヤルゴールドメダル受賞**　王立英国建築家協会が優れた建築家を毎年一人選んで表彰する「ロイヤルゴールドメダル」の受賞者に伊東豊雄が選ばれた。日本人では丹下健三、磯崎新、安藤忠雄に次いで４人目の受賞となった。

○**文化庁予算決定**　平成18年度の文化庁予算は「国内外の人々を魅了する『文化力』の向上」をテーマに1,006億4,800万円に決定した。前年度よりも95,700万円減少し、0.9%のマイナス成長となった。「文化芸術創造プランの推進」「『日本文化の魅力』発見・発信プランの推進」を重点事項とする「文化芸術立国プロジェクトの推進」、「文化財の次世代への継承と国際協力の推進」、「文化芸術振興のための文化拠点の充実」を３本の柱とし、「明日の日本文化を担うこどもを育む」ことで日本文化の裾野を拡大することを謳っている。

○**「神々と出逢う―神奈川の神道美術―」展開催**　神奈川県神社庁設立60周年を記念して、同県の神道関係の文化財を展観する「神々と出逢う―神奈川の神道美術―」展が神奈川県立歴史博物館で18日から開催された（～５月７日）。「姿を顕した神々」「神々の物語」「仏と習合する神々」「神々の宝物」の４セクションで構成され、出品作の制作年代は古墳時代から江戸時代までに渡り、まとまって展示されることの少ない神道関係の文化財を体系的にとらえる充実した展観となった。

○**「エルンスト・バルラハ」展開催**　ドイツの国民的彫刻家でありながら、日本では1970年代になるまでほとんど紹介されてこなかったエルンスト・バルラハ（1870―1938）の木彫、ブロンズ、テラコッタ、陶磁器製彫刻、版画、素描など約180点を展示する本格的個展が京都国立近代美術館を皮切りに21日から開催された（４月２日まで）。若くして東洋美術に親近感を抱く一方、ゴシック美術の伝統に連なる作風を示すバルラハの作品を概観する貴重な機会となった。本展は「日本におけるドイツ年」の一企画として行われ、東京芸術大学大学美術館（４月12日～５月28日）、山梨県立美術館（６月３日～７月17日）に巡回した。

3　月

○**「亜欧堂田善の時代」展開催**　白河藩主松平定信に起用され19世紀初頭に西洋絵画、版画に学んだ洋風画を描いて活躍した亜欧堂田善の作品を中心に、洋風の表現や風景に対する興味など、同時代の画家たちが

共有する造形感覚を概観する「亜欧堂田善の時代」展が府中市美術館で開催された(4日～4月16日)。田善の作品がこれまで西洋絵画技法の受容という視点に偏って評価されがちであったのに対し、田善がいかに自然と向き合い、いかに描こうとしたかという造形意識に焦点をあて、絵画表現への関心を促す展観となった。

○**第56回芸術選奨受賞者決定**　文化庁は15日、第56回芸術選奨受賞者を発表した。美術関係では、建築家・妹島和世(49)が「鬼石多目的ホール」「金沢21世紀美術館」に対して、洋画家・和田義彦(65)が個展「ドラマとポエジーの画家」に対して美術部門の文部科学大臣賞に、彫刻家・西雅秋(59)が個展「空と大地と記憶の造形」に対して美術部門の同新人賞、現代美術家・村上隆(44)が展覧会「リトルボーイ」に対して芸術振興部門の同新人賞に選ばれた。

○**第13回 VOCA 賞受賞者決定**　第13回 VOCA 賞展が15日から30日まで上野の森美術館で開催された。VOCA 展(主催：財団法人日本美術協会、上野の森美術館ほか)は平面作品を対象に40歳以下の作家の支援を目指しており、今回は37名の推薦作家の中から小西真奈が VOCA 賞を、佐伯洋江とロバート・プラットが奨励賞を、兼末希恵と髙木紗恵子が佳作賞を受賞。買い上げ賞である大原美術館賞に蜷川実花、府中市美術館賞に髙木紗恵子が選ばれた。

○**国宝・重要文化財の答申**　文化審議会(阿刀田高会長)は17日、「福岡県平原方形周溝墓(ひらばるほうけいしゅうこうぼ)出土品」と「琉球国王尚家(しょうけ)関係資料」の2件の国宝への指定、田中久重製作の和時計「万年自鳴鐘」など美術工芸品47件を重要文化財に指定するよう、小坂憲次文部科学相に答申した。沖縄県からの国宝指定は1950年に施行された文化財保護法下では初めて。このほか、仙台市の街頭紙芝居師井上藤吉氏の街頭紙芝居コレクションを含む紙芝居資料など美術工芸品4件、旧関善酒店主屋(秋田県鹿角市)など建造物165件の登録有形文化財への登録を答申した。

○**日本芸術院賞受賞者決定**　日本芸術院(三浦朱門院長)は24日、卓越した芸術作品や芸術の進歩に顕著な業績があった人に贈る日本芸術院賞の2005年度の受賞者を発表した。第一部(美術)では村田省蔵(76)が洋画「春耕」(日展出品)で恩賜賞を、福田千恵(59)が日本画「ピアニスト」(日展出品)で、市村緑郎(69)が彫塑「間」(日展出品)で、原益夫(71)が工芸「エンドレス」(日展出品)で、劉蒼居(本名・振角昭彦、64)が書「袁枚詩」(日展出品)で、香山寿夫(69)が聖学院大学礼拝堂・講堂の建築で日本芸術院賞を受賞した。

○**「生誕120年藤田嗣治」展開催**　エコール・ド・パリの画家のひとりとして国際的に著名な画家藤田嗣治の生誕120年を記念し、その全画業を回顧する展覧会が3月28日から5月21日まで東京国立近代美術館で開催された。東京美術学校に学んだ後、フランスに留学し、フォーヴィスムなど色彩が多用される画界にあって、陶器のような独特の質感の白い下地に肥痩のない黒い線で対象を描く画風で1920、30年代にフランス画壇の寵児となった藤田の作品は、これまで、フランスで評価の高かった時代のものを中心に紹介されてきた。この展覧会では留学ののち画風を確立するまでの作品、第二次大戦中に軍の依頼を受けて描いた戦争記録画、戦後に再度フランスに渡って以降の宗教主題の作品を含む晩年の制作なども展示され、神話や伝説に満ちたこの画家の初期から晩年までの作品を見直す機会となった。本展は京都国立近代美術館(5月30日～7月23日)、広島県立美術館(8月3日～10月9日)に巡回した。

○**第25回土門拳賞受賞者決定**　昨年一年間に発表された写真を対象とする土門拳賞(毎日新聞社主催)の第25回目の受賞作品は、内山英明による、地下空間を撮り続けたシリーズの完結編「JAPAN UNDERGROUND　Ⅲ」(アスペクト、2005年)、夜の東京を8年間写し続けた「東京デーモン」(アスペクト、2005年)に決定した。

4　月

○**「書の国宝　墨蹟」展開催**　鎌倉時代以降、中国の禅宗社会との交流が盛んになり、禅宗の高僧たちによって書かれた書「墨蹟」が遺されることとなった。夢窓疎石ら来朝した中国の宋・元時代の高僧、一休宗純などの日本高僧、約80名による墨蹟を、禅宗の宗派別に展観する「書の国宝　墨蹟」展が大阪市立美術館(4月18日～5月28日)、五島美術館(6月17日～7月23日)で開催された。国宝16件、重要文化財130件を含む195件が展示され、当初においては、書風などの芸術性よりも、禅宗社会での教えの系譜の正統性を裏付けるものとして価値付けられた墨蹟を、系統立てて概観する機会となった。

○**重要文化財(建造物)指定の答申**　文化審議会(阿刀田高会長)は21日、広島市の広島平和記念資料館(丹下健三設計)と世界平和記念聖堂(村野藤吾設計)、旧富岡製糸場繰糸所(群馬県富岡市)など12件を重要文化財に指定するよう小坂憲次文部科学相に答申した。広島の2件は戦後建築として初めての指定となる。これで建造物の重要文化財は2298件(うち国宝は213件)となった。

5　月

○第10回手塚治虫文化賞受賞者決定　日本のマンガ文化の発展に寄与した手塚治虫の業績を記念する同賞(朝日新聞社主催)の第10回受賞者が決定。05年に発行された全てのマンガの中でもっとも優れた作品に贈る「マンガ大賞」には吾妻ひでお「失踪日記」が、清新な才能の作者に贈る「新生賞」にはひぐちアサが、短編賞には伊藤理佐が選ばれた。また、マンガ文化の発展に貢献した個人・団体に贈る特別賞は、長年海外コミックを日本に紹介してきた小野耕世が選ばれた。贈呈式は6月7日、東京丸の内の東京会館で行われた。

○史跡・名勝、天然記念物、文化的景観の指定　文化審議会(阿刀田高会長)は19日、緑色凝灰岩からなる「大谷の奇石群」(宇都宮市)、二見浦(三重県伊勢市)などを新たな名勝とするなど計5件を名勝や天然記念物に、浜尻屋貝塚(青森県東通村)など13件を史跡にするよう、小坂憲次文部科学相に答申した。また、一関本寺の農村景観(岩手県一関市)の重要文化的景観への選定、第二次大戦時に沖縄戦最大の激戦地となった喜屋武(きやん)海岸および荒崎(あらさき)海岸(沖縄県糸満市)の名勝地の登録など3件の登録記念物への登録などを答申した。

6　月

○芸術選奨文部科学大臣賞受賞取り消し　3月に芸術選奨文部科学大臣賞受賞者に選ばれた洋画家和田義彦の作品がイタリア人画家アルベルト・スギの絵画に酷似しているとの指摘を受け、文化庁は調査を進めてきたが、同庁の芸術選奨美術部門・臨時選考審査会は5日、和田の作品は盗作と認めざるを得ないとして賞の取り消しを決定した。

○国立新美術館完成　国内で最大級の展示面積を持つ美術館として2007年1月に開館予定の国立新美術館(東京都港区六本木)の建物が完成し14日完工式が行われた。建築家黒川紀章の設計になり、総工費約350億円。地上4階、地下1階、14,000平方メートルの展示スペースを持つ。コレクションを持たず、多彩な展覧会の開催、美術に関する情報の収集と提供、教育普及を通して、人と作品が出会うためのアートセンター的役割を担う。開館記念展として「20世紀美術探検—アーティストたちの三つの冒険物語」展(1月21日～3月19日)「異邦人(エトランジェ)たちのパリ　1900—2005　ポンピドーセンター所蔵作品展」(2月7日～5月7日)が開催された。

○登録文化財(有形)答申　文化審議会(阿刀田高会長)は16日、旧足尾銅山の迎賓館として建てられた古河掛水倶楽部新館・旧館(栃木県日光市)、芝川ビルディング(大阪市)など97ヶ所200件の建造物を新たに有形文化財として登録するよう小坂憲次文部科学相に答申した。登録有形文化財(建造物)はこれで計5807件となる。

○高松塚損傷非公表問題で文化庁が処分発表　奈良県明日香村の特別史跡・高松塚古墳の国宝壁画損傷事故などを公表しなかった問題で、文化庁調査委員会(委員長、石沢良昭・上智大学長)は19日、情報公開に対する認識の甘さや同庁の体質を批判した報告書をまとめ、河合隼雄文化庁長官に提出した。これを受けて小坂憲次文部科学相、河合長官が国民の信頼を失ったことを謝罪。同省と文化庁が当時の美術学芸課長ら文化庁関係者4名に対し、減給等の処分を行うことを発表した。

7　月

○開館110周年記念特別展　「美のかけはし—名品が語る京博の歴史」開催　1897年5月に開館した京都国立博物館では、開館110周年を記念して、同館の歩みを振り返る特別展「美のかけはし—名品が語る京博の歴史」を15日から開催(～8月27日)。国宝26件、重要文化財37件を含む120件の展示によって、前半は東山の地と関わりの深い後白河法皇、平清盛、豊臣秀吉関連の作品を展示し、後半は博物館誕生から現在に至る同館の歩みをふりかえる展観を行った。

○青森県立美術館開館　7月13日、1990年に設置が検討され始め、昨年9月20日に竣工した青森県立美術館が開館(館長＝三村申吾青森県知事)。敷地面積129,536平方メートル、延べ床面積21,133平方メートル、鉄骨鉄筋コンクリート作り地下2階地上3階からなる。設計者は青木淳で、隣の三内丸山遺跡発掘現場に着想を得、土の大きな溝に凹凸の白い構造体をかぶせるという設計になっている。開館記念展は「シャガール『アレコ』とアメリカ亡命時代」(～9月24日)。地域ゆかりの作家の作品を中心に収集し、常設展示では青森ゆかりの重要作家を一作家一部屋で展示する方針である。

○「森鷗外と美術」展開催　明治期の文豪として知られる森鷗外と美術との関係を、交友のあった画家たちの作品、著作や手紙などの資料を含む約350点によって総合的に検証する「森鷗外と美術」展が、鷗外の生地にある島根県立石見美術館で開催された(7月14日～8月28日)。1884年、衛生学を学ぶために陸軍軍医と

してドイツに留学した鷗外は、一方でハルトマンの哲学を学ぶとともに芸術にも親しみ、1888年に帰国の後、美術批評の分野でも活躍し、1917年に帝室博物館(現、東京国立博物館)総長となった。これまで原田直次郎との関係など一面のみが紹介されてきた鷗外と美術の関わりを、多角的に展観する試みとなった。同展は和歌山県立近代美術館(9月10日～10月22日)、静岡県立美術館(11月7日～12月17日)に巡回した。

○**芸術選奨選考審査体制見直し**　3月の芸術選奨受賞者選考で選ばれた和田義彦が盗作を認定されて受賞を取り消されたことを受けて、小坂憲次文部科学相は選考審査体制の見直し策を発表。選考審査員を7人から11人に増員し、推薦委員も10人から15人に増強、委員の発令日を早期化させるなど再発防止を目指す。

○**人間国宝指定**　文化審議会(阿刀田高会長)は21日、重要無形文化財保持者(人間国宝)の新たな認定について小坂憲次文部科学相に答申した。美術関係では髹漆の小森邦衛(本名邦博)(61)、鍛金の田口壽恒(66)が選ばれた。

○**国立博物館常設展入館料値上げ**　独立行政法人国立博物館は25日、全国で4館ある国立博物館のうち、九州をのぞく、東京、京都、奈良の3館で常設展入館料を10月1日から値上げすると発表した。現行で個人一般420円、大学生・高校生130円の入館料は、東京が各々600円、400円に、京都、奈良は500円、250円に改定する。2001年の独立行政法人化以来、初めての値上げとなる。

8　月

○**「浅井忠と関西美術院」展開催**　1906(明治39)年に京都に設立された関西美術院の創立100年を記念し、浅井忠、鹿子木孟郎ら初期の指導者から、同院に学んで活躍した画家たちの画業を、戦前期までに焦点をあてて跡づける展覧会が府中市美術館を皮切りに開催された(26日～10月9日)。戦前までの京阪地域の洋画を先導し、梅原龍三郎、安井曾太郎などの巨匠を輩出した関西美術院の歩みを、第Ⅰ章「京都洋画の揺籃期：浅井忠上洛以前」、第Ⅱ章「京都洋画壇再興：浅井忠の上洛と関西美術院開院まで」、第Ⅲ章「関西美術院を支えた人々：草創期の賑わいと浅井忠の逝去まで」、第Ⅳ章「関西美術院から巣立った人々：浅井忠没後の展開と新世代の台頭」の構成により約240点の作品で振り返る充実した展観となった。同展は京都市美術館に巡回した(10月17日～12月3日)。

9　月

○**指定管理者制度の本格的施行開始**　3年前の地方自治法改正で提示された美術館・博物館を含む「公の施設」の管理運営を民間業者に任せる「指定管理者制度」導入は、今年9月から本格的に施行される。横浜市では昨年6月中田宏市長が横浜美術館、みなとみらいホール、横浜芸術センター「横浜にぎわい座」、横浜能楽堂など4施設も個別に公募形式で指定管理者を選定する方針を打ち出し、1月中旬には応募企業・団体を公開、5月下旬には横浜市芸術文化振興財団が優秀提案者に決まるなど、地方自治体の大型館でも導入が具体化している。本来営利を目的としない美術館・博物館の業務に同制度が適するか、議論が高まっている。

○**第18回世界文化賞受賞者決定**　優れた芸術の世界的な創造者たちを顕彰する「高松宮殿下記念世界文化賞」(主催・財団法人日本美術協会)の第18回受賞者が日本時間8日午前0時半、ニューヨークのロックフェラーセンターで発表された。美術関係では絵画部門で草間彌生(77)、彫刻部門でクリスチャン・ボルタンスキー(フランス、62)、建築部門でフライ・オットー(ドイツ、81)が選ばれた。授賞式は10月18日、東京・元赤坂の明治記念館で行われた。

○**文化財登録答申**　文化審議会(阿刀田高会長)は15日、機那サフラン酒製造本舗土蔵(新潟県長岡市)、沼田家住宅旧りんご倉庫(札幌市)など66ヶ所139件の建造物を新たに登録有形文化財とし登録するよう小坂憲次文部科学相に答申した。これで登録有形文化財(建造物)は計5926件となる。

○**高松塚古墳石室解体承認**　奈良県明日香村の特別史跡・高松塚古墳壁画の保存について、石室を取り出して解体修理を行う方法が適当であるとの方針が昨年度、決定されている。文化庁は14日、石室内部を報道公開して劣化状況などの取材に応じ、15日には文化審議会が石室解体や発掘に伴う古墳の現状変更を承認して石室解体が正式に認められた。10月2日から発掘調査を開始し、2007年3月から約2ヶ月間で石室を解体する予定。

○**「弘法大師帰朝1200年記念　空海と九州のみほとけ」展開催**　弘法大師空海が大陸から帰朝して今年が1200年目に当たるのを記念して、古来、大陸との交流の窓口となった太宰府、博多周辺を中心に、九州北部の仏像を展観する「空海と九州のみほとけ」展が福岡市博物館で9月15日から開催された(～10月29日)。第一章「古代寺院と入唐僧」、第二章「海と山のみほとけ」、第三章「雅なる仏たち」、第四章「蒙古襲来と九州」、第五章「大陸との交流」、第六章「九州の弘法大師信仰」の構

成で、空海のもたらしたものに焦点を当てながら、大陸からの外来文化を九州北部の自然環境や文化的風土がどのように受容したかを、古代から近代まで概観する展観となった。

○**「浦上玉堂」展開催**　備中鴨方藩士の子として生まれ、藩務につきつつも書画、琴をよくし、50歳で脱藩して自ら好むところに生きた浦上玉堂(1745―1820)の画業を編年的に展観する展覧会が岡山県立美術館で29日から開催された(10月29日まで)。書、画譜やその草稿、玉堂作成になる七絃琴なども出品され、孤絶とされる玉堂の世界を総合的にとらえる機会となった。同展はその後、千葉市美術館(11月3日～12月3日)に巡回した。

○**国際交流基金賞決定**　独立行政法人国際交流基金が、学術、芸術などの文化活動を通じて日本に対する海外の理解もしくは日本人の対外理解を深め国際相互理解、国際交流に貢献したと認められる個人、団体に贈る国際交流基金賞および同奨励賞の受賞者が決定した。国際交流基金賞に伊藤若冲をはじめとする江戸時代の日本絵画を収集し、1980年に財団法人心遠館を設立、88年にはロスアンジェルス・カウンティ美術館の日本館設置に際し、資料を提供したほか、コレクションの一部を寄託したジョー&悦子プライス夫妻が選ばれた。本年、夏に東京国立博物館で開催され、各地へ巡回している「プライスコレクション―若冲と江戸絵画」展が開かれている折の受賞となった。

10　月

○**「仏像　一木にこめられた祈り」展開催**　奈良時代後半に制作された唐招提寺の木彫像を契機としてさかんになった一木彫の仏像を、江戸時代の円空、木喰による像まで国宝4点、重要文化財36点を含む65点の作品で跡づける「仏像　一木にこめられた祈り」展が3日から東京国立博物館で開催された(～12月3日)。第一章「檀像の世界」、第二章「一木彫の世紀」、第三章「鉈彫」、第四章「円空と木喰」の編年的構成で、神木や霊木といった木の霊性や量感、彫るという造形手法の特質を活かした像が多数出品され、木を素材として礼拝対象をつくる我国の造形の一面が浮彫りにされた。

○**「天台を護る神々―山王曼荼羅の諸相―」展開催**　天台宗の開祖最澄が自らのもたらした新しい仏教、天台を護る神として崇めた日吉山王への信仰とその広がりを物語る日吉山王曼荼羅図の諸相を中心に紹介する展覧会が、天台宗開宗1200年を記念して大津市歴史博物館で7日から開催された(～11月19日)。日吉神は比叡山延暦寺を守護すると考えられて幅広い信仰を受け、その祈りの対象として多様な日吉山王曼荼羅が生み出されてきたが、本展はそれらの作例の所在を日吉大社の膝下である坂本を中心に調査し、これまで知られてこなかった作品を紹介するとともに、多様な作例から天台における神と仏の関係を探ろうとする意欲的な試みとなった。

○**第18回国華賞受賞者決定**　日本および東洋の美術に関する優れた研究成果に対して国華賞顕彰基金から贈られる国華賞の第18回目の受賞対象は須藤弘敏の「転写と伝承―延暦寺銀字本・仁和寺本系紺紙法華経について―」(『国華』1319号、平成17年9月)、根立研介の『日本中世の仏師と社会―運慶と慶派・七条仏師を中心に―』(塙書房、平成18年5月)に決まった。贈呈式は25日、東京築地の朝日新聞社で行われた。

○**文化勲章受章者、文化功労者決定**　政府は27日、2006年度の文化勲章受章者5人と文化功労者15人を発表した。美術関係では日本画家・大山忠作(84)が文化勲章受章者に、建築家・黒川紀章(72)、舞台美術家・朝倉摂(84)が文化功労者に選ばれた。

○**重要文化財(建造物)答申**　文化審議会(阿刀田高会長)は27日、現存最古の全面ガラス張り温室「名古屋市東山植物園温室前館」ほか8件の建造物を重要文化財に指定し、和歌山県の湯浅町湯浅地区を重要伝統的建造物群保存地区に選定するよう、伊吹文明文部科学相に答申した。これで建造物の重要文化財は2306件(うち国宝は213件)4147棟、重要伝統的建造物群保存地区は全国で79地区となる。

11　月

○**没後500年記念「雪舟への旅」展開催**　室町時代に山口の大内氏のもとで活躍し、後世、多くの画家たちにその画風を慕われた雪舟の没後500年を記念する展覧会が、山口県立美術館で1日から30日まで開催された。同美術館が開館当初から進めてきた雪舟とその周辺についての調査・研究の成果を反映し、作品を編年的に展示する一方、雪舟が訪れた場所に注目し、移動によって画風を育んだ一面を浮かび上がらせた。また、同展を契機に通常の展覧会図録とは別に雪舟研究の現状を反映した研究資料『雪舟等楊―「雪舟への旅」展研究図録』が刊行された。

○**「揺らぐ近代―日本画と洋画のはざまに」展開催**　今日では規制の枠組みとなってしまっている日本画と洋画のジャンルの境界に位置する作品を幕末から昭和期まで跡づけ、西洋文化の受容と日本の造形的特色の継承との間で揺れ動いた日本近代の足跡を絵画にひきつけて展観する「揺らぐ近代―日本画と洋画のはざまに」展が、東京国立近代美術館で7日から開催さ

れた(～12月24日、その後、2007年1月10日～2月25日まで京都国立近代美術館で開催)。第一章「狩野芳崖・高橋由一―日本画と洋画の始まり」、第二章「明治絵画の深層―日本画と洋画の混成」、第三章「日本絵画の探求―日本画と洋画の根底」、第四章「日本画の中の西洋」、第五章「洋画の中の日本画」、第六章「揺らぐ近代画家たち―日本画と洋画のはざまで」の構成で、1990年代から盛んになった日本画、洋画というジャンルの確立の美術史的跡づけに、作品による再検討を促す展観となった。

○**第28回サントリー学芸賞受賞者決定**　サントリー文化財団は8日、第28回サントリー学芸賞受賞者を発表した。美術関係では芸術・文学部門で鈴木禎宏『バーナード・リーチの生涯と芸術―「東と西の結婚」のヴィジョン』(ミネルヴァ書房)、竹内一郎『手塚治虫＝ストーリーマンガの起源』(講談社)が選ばれた。贈呈式は12月11日、東京丸の内の東京会館で行われた。

○**キトラ古墳剥ぎ取り再開**　奈良県明日香村の特別史跡、キトラ古墳の極彩色壁画の剥ぎ取りは一時中断していたが、文化庁は16日、新たに開発した「ダイヤモンドワイヤソー」を使った剥ぎ取りに着手した。

○**倫雅美術奨励賞受賞者決定**　美術評論家河北倫明が創設し、若手や中堅の優れた美術評論、美術史研究に対して贈られる倫雅美術奨励賞(主催・公益信託倫雅美術奨励基金)の第18回目の受賞者に石橋美術館主任学芸員の植野健造(『日本近代洋画の成立　白馬会』(中央公論美術出版)に対して)、府中市美術館学芸員の金子信久(「亜欧堂田善の時代」展(府中市美術館)の企画と図録の論文に対して)が選ばれた。

○**西洋美術振興財団賞第1回顕彰式**　西洋美術振興財団(高階秀爾理事長)が財団賞を新設し、その第1回顕彰式が22日に行われた。個人賞の「学術賞」は2004年に国立西洋美術館で開催された「マティス展」を担当した同館主任研究員の田中正之およびお茶の水女子大学助教授の天野知香、2005年から06年にかけてポーランドなど中東欧4カ国の現代美術を紹介した「転換期の作法」展を担当した岡村恵子・東京都現代美術館学芸員、加須屋明子・国立国際美術館主任研究員、出原均・元広島市現代美術館学芸員に贈られた。団体賞である「文化振興賞」は「ヴィルヘルム・レームブルック展」(2003～04年)を全国5館で開催した美術館連絡協議会(酒井忠康理事長)に贈られた。

○**京都国際マンガミュージアム開館**　マンガ文化を調査・研究し世界に発信する日本で初めての総合的なマンガ博物館となる「京都国際マンガミュージアム」(京都市中京区烏丸通御池上ル)が25日に開館。開館展は約20万点の収蔵品の中から、日本で最初のマンガ雑誌で河鍋暁斎、仮名垣魯文が明治7年に発行した「絵新聞日本地」から「ドラえもん」の海外版まで1000点以上を展観する「世界のマンガ展」(07年1月28日まで)。同館は廃校となった龍池小学校の校舎を改増築し、京都市と京都精華大学との共同事業として設立、運営される。マンガの収集、保管、展示およびマンガに関する調査研究を行い、博物館と図書館の機能を併せ持つ。

12　月

○**日本芸術院新会員決定**　日本芸術院(三浦朱門院長)は1日、芸術上の功績が顕著であるとして、新会員6名を決定した。美術関係では日本画家・岩倉寿(70)、川崎春彦(77)、洋画家・村田省蔵(77)、彫刻家・能島征二(64)、書家・古谷蒼韻(本名・繁、82)が選ばれた。

○**登録文化財(有形)答申**　文化審議会(阿刀田高会長)は8日、大阪市の展望タワー「通天閣」など58ヶ所151件の建造物を新たに有形文化財に登録するよう伊吹文明文部科学相に答申した。登録有形文化財の建造物は計6066件となる。

美術展覧会

企画展

（ア）

街かど美術館2006　アート@つちざわ〈土沢〉—土沢の30日間—
10.7—11.5　岩手県花巻市東和町土沢地区の商店街を中心とした地域101ヶ所

ART in CASO OSAKA　9.22—9.24
海岸通ギャラリーCASO

ARTCOCKTAIL　2006　IN　笠間
9.30—11.4　茨城県笠間市
ギャラリー*　257

アート・スコープ2005／2006　インターフェース・コンプレックス展　9.9—10.22　原美術館
美術手帖　888　飯田志保子

アートでむしむし　4.6—6.11　秋田県立近代美術館

アートとともに　寺田小太郎コレクション　4.29—7.17　府中市美術館
新美術新聞　1090　成相肇
版画芸術　132　辺見／寺田小太郎 談

アートと話す　アートを話す　バウハウスからコンテンポラリー：ダイムラー・クライスラー・アート・コレクション　1.14—3.26　東京オペラシティアートギャラリー
アート・トップ　208　長澤章生取材
美術手帖　878　白坂ゆり
朝日夕刊　2.8　高階秀爾
毎日夕刊　1.24　三田晴夫

アートパス2006—取手で乗ることを試みた—　12.8—12.10　東京芸術大学取手キャンパス

アートフェスタいわて2005　岩手芸術祭選抜展　2.25—3.19　岩手県立美術館

アート・プログラムin岡山市立市民病院　10.2—10.27　岡山市立市民病院
岡山県立美術館ニュース　75　廣瀬就久

アートプログラム青梅2006　緑化する感性—街道を読む—　10.29—11.23　青梅織物工業協同組合敷地内／SAKURA　FACTORY（旧青梅織物工場）／BOX　KI-O-KU（旧都立繊維試験場）／旧青梅織物工場女子更衣室／都立農林高等学校講堂／青梅宿（西分町、勝沼町）／吉川英治記念館
ギャラリー*　258
毎日夕刊　11.13　三田晴夫

アートプログラム青梅2006　緑化する感性—次世代の作家たちの変革—　11.15—11.23　青梅宿（西分町、勝沼町内）／都立農林高等学校講堂内／吉川英治記念館

アードマン展　5.20—5.1　三鷹の森ジブリ美術館
朝日夕刊　7.21　小原篤

アート村・夢のデザイン大賞作品展第11回　12.4—12.15　パソナ東京本社
読売　12.12

アール・デコ・ジュエリー　宝飾デザインの鬼才シャルル・ジャコーと輝ける時代　10.14—1.14　東京都庭園美術館（海の見える杜美術館、京都国立近代美術館）
東京　12.23　藤田一人

アール・デコと1920年代の画家たち　4.13—4.15　ときの忘れもの

アイドル！展　10.7—1.8　横浜美術館
STUDIO VOICE　371　SF
東京　12.16　藤田一人
読売　10.26　前田恭二

アイヌ文化の新資料　150年前の集団種痘図・甲冑・その他　2.2—3.26　東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
芸術新潮　673

アイヌ文様の美—線のいのち、息づくかたち—　9.23—11.26　北九州市立自然史・歴史博物館（北海道立近代美術館）
北九州自然史歴史博報告*　4　日比野利信

青木繁記念大賞公募展15回　5.20—6.4　郡山市立美術館

青山二郎と中原中也　7.26—9.24
中原中也記念館
目の眼　360

青山二郎の眼　9.1—12.17　MIHO MUSEUM（愛媛県美術館、新潟市美術館、世田谷美術館）
芸術新潮　683　内田鋼一
目の眼　361

暁会１回　6.26—7.1　銀座スルガ台画廊

赤彦が謡った童謡—第三赤彦童謡集—　10.14—11.27　下諏訪町立諏訪湖博物館

ACT５展　木村富秋・福井路可・森弘志・矢元政行・輪島進一
8.18—8.23　神田日勝記念美術館

赤穂義士御預始末—内蔵助切腹までの四十九日間—　11.21—2.28
永青文庫

赤穂事件と広島—知られざる忠臣蔵　11.23—12.24　広島城

朝の会人形町展２回　5.8—5.13
人形町エキシビットスペース・ヴィジョンズ

ASIAGRAPH　2006　yokohama
4.26—5.6　神奈川県民ホール
朝日　5.2　野波健祐

アジア漫画展11回　アジアの若者文化　10.27—11.8　O美術館
産経　10.7　堀晃和

足利公園古墳と坪井正五郎　発掘120年　11.1—12.24　早雲美術館

足利銘仙の時代展　大正・昭和名所絵葉書に見る足利の風景と銘仙
8.19—9.18　足利市立美術館／足利まちなか遊学館

あすか時代の古墳　検証！府中発見の上円下方墳　4.29—6.25　府中市郷土の森博物館

飛鳥の金工　海獣葡萄鏡の諸相
10.14—11.26　奈良文化財研究所飛鳥資料館

安曇野を描く　安曇野の画家たち　安曇野市誕生記念　4.22—5.28
豊科近代美術館

阿蘇家の文化遺産展　阿蘇家文書修復完成記念　9.8—10.22　熊本県立美術館
デアルテ　23　高浜州賀子

あそぶかたち　20世紀の香水瓶
6.21—12.20　ポーラ化粧文化情報センター

渥美半島を描く　10.21—11.26　田原市渥美郷土資料館

アトリエ展41回　11.14—11.19
矢沢美術研究所
読売　11.17

アトリエの末裔あるいは未来　1.6—1.22　旧平櫛田中邸
芸術新潮　675
朝日夕刊　1.17　田中三蔵

アフリカ・リミックス　多様化するアフリカの現代美術　5.27—8.31
森美術館
芸術新潮　679
美術手帖　882
美術手帖　883　市原研太郎
美術手帖　883　小田昌教／イルコモンズ
朝日夕刊　7.20　山盛英司
産経　6.28　藤田綾子
毎日夕刊　6.8　三田晴夫
読売　6.26　中島康雄
読売夕刊　5.26　デヴィッド・エリオット 談

アフリカン・マスク　想像力のジャングル　1.21—3.26　札幌芸術の森美術館
日経　3.19　(郷)

尼崎の戦国争乱　10.21—11.19　尼信博物館

土浦の遺跡10　天の川—山麓に育まれた古代の文化—　10.7—11.26　上高津貝塚ふるさと歴史の広場

海人の見た世界—知られざる伝統文化発見！—　10.7—11.26　徳島県立博物館

雨引の里と彫刻2006　4.1—6.4
茨城県桜川市
朝日夕刊　5.18　田中三蔵
日経　5.12　宝玉正彦
毎日夕刊　5.1　三田晴夫

阿弥陀如来—長谷寺と浄土美術—
3.25—4.23　長谷寺宝物館

アメリカンアンティーク・キルト　キルトにみる東西染織文化の比較　共立女子大学創立120周年記念
3.14—3.26　三越(日本橋)

阿羅漢—そして彼は真実を知った—
4.20—6.4　神奈川県立金沢文庫

嵐徳三郎の世界　2.4—3.19　高松市歴史資料館

ありし日の江若鉄道—大津・湖西をむすぶ鉄路(みち)—　7.28—9.3
大津市歴史博物館

歩く・聞く・写す　7.20—9.10　豊島区立郷土資料館

アンコール遺跡の尊顔　BAKU斎藤＋クリス・レイナー国連合同写真展　国連・ユネスコ60周年記念事業　10.19—10.24　大丸(東京)

アンコールワット・パガン・スコータイの工芸とその周辺　10.7—11.26　姫路市書写の里・美術工芸館

アンティークドールの夢—そして絵画の中の人形たち—　9.9—11.26
笠間日動美術館

アンドレアスとフレデリカのいる場所で　11.26—1.21　graf media gm
STUDIO VOICE　372　横山いくこ／工藤千愛子

(イ)

e-mit　多摩美術大学美術学部絵画学科卒業生日本画展示　8.7—8.26　銀座スルガ台画廊

生人形と江戸の欲望　6.24—10.22
熊本市現代美術館
朝日　7.13　山盛英司

イギリスの美しい本　4.22—6.4
足利市立美術館(郡山市立美術館、千葉市美術館)

いけばな小原流展　小原豊雲生誕100年・創流111年　3.16—3.21
高島屋(日本橋)
読売夕刊　3.15　西本知佐子／早坂暁

異国趣味　ヨーロピアン・ファッションにみるエキゾチシズム　4.20—6.10　文化学園服飾博物館

石に込められた祈り—古河・境・八千代地方の板碑—　9.5—10.8
古河市三和資料館(境町歴史民俗資料館、八千代町歴史民俗資料館)

衣装・小道具で見る歌舞伎　10.24—11.5　三越(日本橋)

偉人の書　幕末から明治へ　10.21—12.3　徳島県立文学書道館
書道界　204

出石磁器トリエンナーレ　5回
10.29—12.3　豊岡市立伊藤清永美術館

和泉を彩る文化財　和泉の文化財と東洋美術の名品　10.7—11.26
和泉市久保惣記念美術館

偉大なる「エルミタージュ美術館」展—魅惑の秘蔵コレクション—フランドル絵画とヨーロッパ工芸の精華　1.27—4.2　広島県立美術館
芸術新潮　676

いたばし人情物語～横綱・阿武松緑之助と板橋宿の旦那～　10.7—12.3　板橋区立郷土資料館

いたばしの歴史を彩る人々　7.15—9.24　板橋区立郷土資料館

伊丹国際クラフト展2006　酒器・酒盃台　12.15—12.24　世田谷文化生活情報センター(伊丹市立工芸センター)

イタリア・ボローニャ国際絵本原画展2006　7.8—8.13　板橋区立美術館(西宮市大谷記念美術館、四日市市立博物館、石川県七尾美術館、長島美術館)
東京　8.1　中山洋子

～市川ゆかりの作家たち～新収蔵作品展　10.28—12.17　市川市芳澤ガーデンギャラリー

聿の会日本画展７回　7.5—7.11
松坂屋(銀座)
新美術新聞　1097　油井一人

一枚の布　まとう　つつむ　1.12—

3.14　文化学園服飾博物館

5つの出会い　岩手県立美術館コレクション再発見　開館5周年記念　7.29—9.10　岩手県立美術館

いつもそばにカメラがあった　12.16—1.28　美濃加茂市民ミュージアム

移動美術展　平成18年度岩手県立美術館　10.21—10.29　二戸市民文化会館

糸と布のかたち　9.29—10.22　横浜市民ギャラリー

戌のおもちゃ　郷土玩具十二支　1.6—4.29　姫路市書写の里・美術工芸館

伊能図里帰り展2　鷹見泉石コレクションから　10.3—11.26　伊能忠敬記念館

いのちを考える　世界人権宣言と中学生たち　6.17—7.30　伊丹市立美術館

祈りのかたち—甲斐の信仰—開館一周年記念　10.14—11.20　山梨県立博物館

朝日夕刊　11.9　田中三蔵

デアルテ　23　栗林文夫

祈りのかたち～中世南九州の仏と神～　9.29—11.5　鹿児島県歴史資料センター黎明館

揖保川が育んだ自然と歴史～たつの文化財図鑑～　6.4—8.30　たつの市立埋蔵文化財センター

今よみがえる　中世の東国　4.22—6.18　栃木県立博物館

甍は輝いたか？～南九州の国分寺造営～　7.14—9.18　宮崎県立西都原考古博物館

コレクション展Ⅱ　色と形のハーモニー　11.12—12.17　姫路市立美術館

岩瀬行雄フランス美術紀行写真展〈グレー、ブレア島、そしてオーヴェールへ〉　jaic創立記念展覧会　1.18—1.28　光アート

jaic会報　3　岩瀬行雄

いわての現代美術と出会う、夏　石川美奈子・鎌田紀子・出町隼人・浪岡奈津子・原田拓・三河渉　7.22—8.27　岩手町立石神の丘美術館

いわての風景画展 Part 1　沢口健・佐藤勝馬・藤沼源三・橋本正・海野経　4.8—5.21　岩手町立石神の丘美術館

印西が生んだ第二十四代横綱鳳展　8.19—8.27　印西市立中央公民館

インドネシア・スラウェシ島の染織　聖なる布の系譜　日下部啓子コレクション　11.1—12.27　福岡市美術館

インドネシアの現代美術　第四の世代　Passing on distance　3.23—4.8　ベイスギャラリー

毎日夕刊　4.3　三田晴夫

インドの民族アート　ミティラー美術館　中越地震復興記念　9.9—10.15　たばこと塩の博物館

朝日夕刊　9.29　山盛英司

読売　9.7

インパクト　東と西の近現代—もうひとつの大原美術館　7.11—11.5　大原美術館

新美術新聞　1099　大原謙一郎

美術手帖　888　五十殿利治

朝日夕刊　10.5　田中三蔵

日経　9.19

印判手のわん・さら・はち　近代えひめのやきもの　4.22—6.11　愛媛県歴史文化博物館

インペリアル・ポースレン・オブ・清朝　華麗なる宮廷磁器　9.30—11.26　静嘉堂文庫美術館

(ウ)

ウィーン　華麗なる美術と音楽のしらべ　3.3—6.5　島根県立石見美術館

ウィーン美術アカデミー名品展　ヨーロッパ絵画の400年　クラナハ、ルーベンス、ファン・ダイク、レンブラント　9.16—11.12　損保ジャパン東郷青児美術館(山口県立美術館、三重県立美術館、新潟県立近代美術館)

新美術新聞　1102　五十嵐卓

朝日夕刊　10.6　山盛英司

読売　9.21～23　五十嵐卓

Weg 2006　5.22—5.27　シロタ画廊

上杉景勝—転換の時代を生き抜いた人生—開館五周年記念　4.22—6.11　米沢市上杉博物館

ヴェネツィアン・ビーズとコスチューム・ジュエリー　6.16—7.17　そごう美術館

上野の森美術館大賞展24回　明日をひらく絵画　4.22—5.3　上野の森美術館(彫刻の森美術館、福岡市美術館、京都府京都文化博物館)

産経　4.27　藤田綾子

VOCA展2006　現代美術の展望—新しい平面の作家たち　3.15—3.30　上野の森美術館

芸術新潮　677　三浦篤

美術の窓　272　本江邦夫

朝日夕刊　3.23　田中三蔵

産経　3.29　藤田綾子

毎日夕刊　3.24　三田晴夫

読売夕刊　3.23　前田恭二

VOCA展に映し出された現在　いまあるところ／いまあるわたし　7.9—9.18　宇都宮美術館

ウォレスとグルミットのすべて！　第78回アカデミー賞受賞記念　8.15—8.20　三越(日本橋)

浮世絵に描かれた四日市　泗水のイメージ　11.7—12.10　四日市市立博物館

浮世絵に見る薬と病　9.2—10.29　千葉市美術館

UKIYO-E—名所と版元—　10.20—12.3　港区立港郷土資料館

浮世もののけ　2.1—2.18　羽黒洞

出光美術館名品展I　受け継がれる伝統の美—絵巻・室町屏風と中国陶磁　開館40周年記念　4.29—6.18　出光美術館

目の眼　357

朝日夕刊　6.9　西田健作

シリーズここまでわかった考古学　太秦古墳群　発掘調査成果～大阪の初期群集墳を考える～　3.12—3.26　大阪府立近つ飛鳥博物館

うずもれた古文書—みやこの漆紙文書の世界—　2.7—3.7　奈良文化財研究所飛鳥資料館

内なるこども　開館10周年記念VISION2　4.14—6.18　豊田市美術館
美術手帖　882　小西信之
朝日夕刊　4.20　山盛英司

ウチの土器　ヨソの土器—古代印旛の須恵器と流通—　1.16—6.30　印旛郡市文化財センター

美しき日本の四季—大観・御舟を中心に—　3.28—5.27　鎌倉大谷記念美術館

美しさへの挑戦—ヘアモード・メイクアップの300年—　8.12—9.24　MOA美術館(高島屋(日本橋)、島根県立石見美術館、北海道立函館美術館、北海道立帯広美術館)

海と島に生きる—昭和・暮らしの記録　12.6—2.5　愛媛県歴史文化博物館

海と大地と空と　10.7—10.29　網走市立美術館(神田日勝記念美術館)

海に生きる・海を描く—応挙、北斎から杉本博司まで—　6.3—7.17　千葉市美術館

海の神々—捧げられた宝物—開館一周年記念　10.8—11.26　九州国立博物館
朝日夕刊　10.27　中村俊介

海を越えたはるかな交流—橿原の古墳と渡来人—　10.7—11.26　奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

裏千家十二代又妙斎直叟と角倉家　3.26—5.5　茶道資料館

浦和美術家クラブ展1回　3.1—3.5　うらわ美術館
新美術新聞　1083

漆工芸—東洋の輝き—　5.19—7.2　大和文華館

ウルトラマン伝説展　ウルトラマン誕生40年の軌跡　7.16—9.24　川崎市岡本太郎美術館(広島県立美術館、郡山市立美術館)
朝日夕刊　8.29　西田健作

ウルトラマン伝説展　ウルトラマン誕生40年の軌跡　11.25—2.4　横浜放送ライブラリー
産経　12.13　黒沢綾子

うるま　ちゅら島　琉球　4.29—6.25　九州国立博物館

(エ)

栄光のルネサンスから華麗なロココまで　5.20—7.17　茨城県近代美術館

描かれた讃岐　6.29—9.3　香川県歴史博物館

絵かきの町・大王　大王大賞展5回　2.11—4.10　志摩市大王公民館／波切コミュニティーセンター／市内の商店街・宿泊施設など

「駅2006」Vol.1仙台—待ち人の眼差し　10.16—1.21　JR仙台駅
新美術新聞　1108
朝日夕刊　12.28　田中三蔵

The EXPOSED of the art vol.1 PHOTOGRAPHS　5.3—5.21　海岸通ギャラリーCASO
瓜生通信　37　岡田美幸
美術手帖　883　竹内万里子

エコ・アート大賞2006　12.14—12.16　東京ビッグサイト
読売　12.5

エコール・ド・パリ　4.29—9.3　松岡美術館

エコール・ド・パリ　プリミティヴィスムとノスタルジー　6.3—7.30　岡崎市美術博物館(熊本県立美術館、兵庫県立美術館)

越後妻有アートトリエンナーレ2006　大地の芸術祭3回　7.23—9.10　越後妻有2市町760㎢／新潟県十日町市、津南町
あいだ　130　前山忠
ギャラリー*　255
芸術新潮　682
美術運動　134　三田村龍伸
美術手帖　882　入澤美時 談／白坂ゆり 文・構成
美術手帖　884
美術手帖　884　中原佑介、李美那、北川フラム 鼎談
美術手帖　884　福武總一郎
美術手帖　884　北川フラム
美術手帖　885　新川貴詩
美術手帖　886　白坂ゆり
朝日　7.27　田中三蔵
産経　8.18、10.4　猪谷千香
東京　8.12　藤田一人
日経　7.29　富田律之
毎日夕刊　8.7、8　三田晴夫
毎日夕刊　9.8　手塚さや香
読売　8.10　前田恭二

越後湯沢全国童画展　10回　3.4—3.13　湯沢町公民館

依知の遺跡　2.4—2.12　厚木市立依知南公民館

エッセンシャル・ペインティング　1990年以降のヨーロッパとアメリカの絵画　10.3—12.24　国立国際美術館
STUDIO VOICE　372　原久子
美術手帖　887　中西博之／編集部
毎日夕刊　12.8　三田晴夫

絵で楽しむ日本むかし話—お伽草子と絵本の世界—　9.27—11.5　名古屋市蓬左文庫

江戸絵画の巨匠たち—池大雅・与謝蕪村・田能村竹田の名品　9.8—10.29　出光美術館(門司)
デアルテ　23　宗像晋作

江戸絵画へのいざない　11.11—12.20　遠山記念館付属美術館

江戸から明治へ—文人画家たちの近代—　10.28—12.17　佐野市立吉澤記念美術館
目の眼　363　末松さとみ

江戸時代の知恵とわざ—教える・学ぶ・伝える—　11.17—12.24　仙台市博物館

江戸の自然観察　国絵図と城絵図　7.26—9.24　名古屋市蓬左文庫

江戸の学び—教育爆発の時代—　今こそ寺子屋に学べ！　2.18—3.26　江戸東京博物館
新美術新聞　1082

江戸の誘惑　ボストン美術館所蔵肉筆浮世絵展　6.17—8.27　名古屋ボストン美術館(神戸市立博物館)
新美術新聞　1090　辻惟雄

江戸の誘惑　ボストン美術館所蔵肉筆浮世絵展　10.21—12.10　江戸東京博物館
美術の窓　279　庄司美樹

朝日　10.17　山盛英司
朝日　11.17　辻惟雄
産経　11.8　黒沢綾子
日経夕刊　11.14　宝玉正彦

江戸博でお正月　1.2—1.9　江戸東京博物館

江戸土産としての浮世絵—広重　名所江戸百景を中心に　5.9—6.3　城西国際大学水田美術館

NHKハート　人を思う心　NHKハート・プロジェクト　3.7—3.12　三越(日本橋)

絵の中のかたち—ひと、もの、ふうけい—　6.21—9.25　上原近代美術館

絵のまち　尾道四季 in 東京　3.19—3.25　東京交通会館

愛媛の名工　ふれあい展Ⅰ　1.6—1.29　愛媛県美術館

絵本のたび　野間国際絵本原画コンクール入賞作品とカルピス絵本のあゆみ　7.24—8.25　カルピス株式会社

絵本100年—日本の絵本芸術・本の世界—　9.16—11.26　萬鉄五郎記念美術館

エミール・ガレとドーム兄弟～フランスからロシア皇帝への贈物～　11.18—1.28　岩手県立美術館

笑み—歌会始御題によせて—　3.29—5.7　神宮美術館

MOA岡田茂吉賞展15回　7.7—8.6　MOA美術館

大エルミタージュ美術館展—いま甦る巨匠たち400年の記憶—　10.19—12.24　東京都美術館(名古屋市美術館、京都市美術館)
新美術新聞　1101　千足伸行
読売夕刊　10.16　岡谷公二

Eros & Khaos　X氏写真コレクション　9.6—9.9　ときの忘れもの

円覚東慶松ヶ岡の至宝　鈴木大拙没後40年記念　6.8—7.23　鎌倉国宝館

エンジョイ・アート　7.15—9.10　川越市立美術館

(オ)

王羲之と小野道風　9.29—10.15　春日井市道風記念館
書道界　203

黄金の美術館展　美術にみる金の素材と表現　6.24—7.30　釧路市立美術館

応神大王の時代　河内政権の幕開け　9.30—11.26　大阪府立近つ飛鳥博物館

近江西国三十三所—観音信仰のひろがりとはるかなる巡礼の旅路—　10.28—11.26　栗東歴史民俗博物館

お江戸の遊び心—メ～テレ浮世絵コレクションから—　4.25—5.28　岐阜市歴史博物館

大堰川と川漁　6.3—7.30　南丹市日吉町郷土資料館

大いなる遺産　美の伝統展　東京美術倶楽部創立百周年記念　2.5—2.26　東京美術倶楽部
アート・トップ　207　浅木正勝
芸術新潮　674　矢島新
芸術新潮　676　三浦篤
新美術新聞　1078　淺木正勝
新美術新聞　1078　山下裕二
新美術新聞　1078　淺木正勝／笹津悦也／林利彦／飯田國宏／浦上満
美術の窓　269
朝日　2.2　瀬木慎一
朝日夕刊　2.17　山盛英司
東京　2.18　藤田一人
読売夕刊　2.15

大江戸動物図館—子・丑・寅…十二支から人魚・河童まで—　9.22—11.5　仙台市博物館

大鏡が映した世界　平原遺跡出土品国宝指定記念　10.7—11.19　伊都国歴史博物館

大栗川・発掘物語　遺跡の宝庫・大栗川下流域を探る　2.24—7.24　パルテノン多摩

大阪人が築いた美の殿堂　館蔵・寄託の名品から　大阪市立美術館開館70周年記念　11.3—12.24　大阪市立美術館

大津絵と幕末・明治の戯画錦絵　5.30—7.2　町田市立博物館

大津絵の世界　ユーモアと風刺のキャラクター　3.4—4.16　大津市歴史博物館

お金と福の神—お札に描かれた大黒様—　12.9—3.4　日本銀行金融研究所貨幣博物館

岡本太郎記念現代芸術大賞展９回　2.4—3.26　川崎市岡本太郎美術館
朝日夕刊　3.7　西田健作

沖縄の紙の世界500年～古文書からアートまで～　8.15—9.10　浦添市美術館

お気に入り見つかる秋の名品選　9.1—11.5　遠山記念館付属美術館

おとこのおしゃれ—世界の男性衣装に見る美意識—　10.18—12.20　文化学園服飾博物館

江戸文化シリーズ22　お殿様の遊芸　9.23—10.22　板橋区立美術館
朝日夕刊　10.13　西田健作
読売　10.2

鬼の源流　鬼神・祭祀・鉄　7.15—9.30　島根県立八雲立つ風土記の丘資料館

お花がいっぱい　遊歩道に咲く花・美術館で見る花　現代に生きる花鳥画　3.21—6.18　海の見える杜美術館

おひなさま　2.21—4.9　愛媛県歴史文化博物館

オブジェ　私の好きな４つの版画と20のオブジェ　2.24—3.11　ときの忘れもの

オブジェクツ・サブジェクツ　イマジネイション　オブ　ウルトラ　12.8—12.31　パルコミュージアム
産経　12.13　黒沢綾子

お守り刀展　変わらぬ祈りをあなたの手元に　1.17—1.23　天満屋(岡山)
刀剣美術　590　全日本刀匠会

お水取り　2.14—3.21　奈良国立博物館
朝日夕刊　2.25　小滝ちひろ
日経　2.28

オルセー美術館展　19世紀芸術家

たちの楽園 9.29—1.8 神戸市立博物館(東京都美術館)
日経 8.19
日経 9.21 兼吉毅
日経 10.21
日経 11.18
日経 12.16

尾張徳川家 殿様の愛した名刀 6.3—7.17 徳川美術館

尾張徳川家の収納術—宝物はいかに伝えられてきたか— 4.15—5.28 徳川美術館

尾張徳川家の雛まつり 2.11—4.9 徳川美術館

おん祭と春日信仰の美術 12.9—1.21 奈良国立博物館

(カ)

GARDENS—小さな秘密の庭へ— 9.30—12.24 豊田市美術館
STUDIO VOICE 371
美術手帖 889 山本さつき

絵画にみる心—傷みと希望—表象B班 芸術学 研究展覧会 12.12—12.22 慶応義塾大学

絵画・墨蹟と李朝の陶芸 9.2—10.22 五島美術館

絵画名品100選 豊橋市美術博物館所蔵 10.6—11.5 豊橋市美術博物館

快走老人録—老いてますます過激になる— 9.16—11.15 ボーダレス・アートギャラリーNO—MA/旧吉田邸
芸術新潮 683
美術手帖 888 保坂健二朗

開廊10周年記念展 9.30—10.14 小山登美夫ギャラリー

人生の軌跡 顔展 2回 3.29—9.24 大川美術館

花外楼歴史ミュージアム 9.9 花外楼
日経夕刊 9.2

画家がいる「場所」 現代絵画のなかの記憶・風景・身体 11.11—12.24 小杉放菴記念日光美術館

科学の感情—あたらしい時代の感覚と表現— 11.3—12.17 和歌山県立近代美術館

画家たちの出会いと新しい日本画の創造 9.23—11.5 浜松市秋野不矩美術館

画家と絵皿 3.4—3.26 石川県立美術館
石川県立美術館だより 269

加賀百万石への道—戦国から太平へ— 4.22—5.28 石川県立歴史博物館

「加賀友禅染 西国三十三観音像」展 徳島県指定文化財 12.5—1.28 徳島市立徳島城博物館

香川県美術展覧会 71回 5.31—7.16 香川県文化会館

燕子花図と藤花図—館蔵屏風絵— 4.15—5.7 根津美術館
芸術新潮 678
朝日夕刊 4.21 西田健作
毎日 4.5 若井耕司

岳・楽・学都繁栄絵馬展 美術館に初詣 四村合併記念 1.2—2.19 松本市美術館

掛図にみる教育の歴史 10.30—2.2 玉川大学教育博物館

一豊と秀吉が駆けた時代—夫人が支えた戦国史— 1.3—11.30 市立長浜城歴史博物館

歌仙の饗宴 古今和歌集1100年記念祭 1.7—2.12 出光美術館
芸術新潮 674

火葬と古代社会—死をめぐる文化の受容— 3.18—5.7 上高津貝塚ふるさと歴史の広場

家族の情景展—日本の家族を考える— 9.16—11.5 茨城県近代美術館

花鳥画への誘い 9.9—12.23 松岡美術館

花鳥図の絵画工芸 4.10—7.1 敦井美術館

花鳥の詩 8.19—9.24 山種美術館
目の眼 360

秘蔵の名品アートコレクション12回 花鳥風月 日本とヨーロッパ 8.3—8.24 ホテルオークラ

花鳥風月のこころ 7.4—10.15 京都府立堂本印象美術館

花鳥風月の変貌 京都市美術館コレクション展 第4期 1.26—3.26 京都市美術館
新美術新聞 1079 後藤結美子

花鳥—愛でる心、彩る技〈若冲を中心に〉 3.25—9.10 宮内庁三の丸尚蔵館
芸術新潮 681 三浦篤
朝日夕刊 4.14 西田健作

活字書体の源流をたどる 11.8—11.27 女子美アートミュージアム

活字の国、朝鮮—朝鮮活字印刷文化との出逢い— 7.7—8.6 高麗美術館

滑石製模造品の神まつり 1.7—3.26 栗東市出土文化財センター

葛城氏の実像—葛城の首長とその集落— 4.22—6.18 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

仮名垣魯文百覧会 10.17—11.2 国文学研究資料館
毎日 10.25 窪田千代

金沢文庫古文書への誘い 6.8—8.6 神奈川県立金沢文庫

鹿沼市立川上澄生美術館 木版画大賞展12回 3.12—3.26 鹿沼市文化活動交流館
朝日夕刊 3.23 田中三蔵

鎌倉円覚寺の名宝 七百二十年の歴史を語る禅の文化 10.28—12.3 五島美術館
書道界 204
読売夕刊 10.24 佐藤留実

鎌倉会日本画展20回 10.25—10.31 高島屋(日本橋)
新美術新聞 1106 油井一人

鎌倉の至宝—国宝・重要文化財— 4.28—6.4 鎌倉国宝館

神々と出逢う—神奈川の神道美術— 2.18—5.7 神奈川県立歴史博物館
朝日夕刊 3.31 西田健作
読売夕刊 3.25 前田恭二

亀山市内の小学校～百三十四年前からいままでにどんな学校があったのかなあ～ 4.29—6.25 亀山市歴史博物館

亀山と天下人～豊臣秀吉・徳川家康の足跡～ 12.16—4.22 亀山市歴史博物館

亀山の自然～加太・関・亀山を探る～ 9.9—12.10 三重県立美術館
亀山の殿様～石川家を中心とした歴代城主～ 10.21—12.10 亀山市歴史博物館
カラーでよみがえる日本60年前～米国人の撮った戦後 1.30—2.14 新生ホール
毎日 1.27 橋口正
からくり人形師 玉屋庄兵衛の世界展—伝統と継承の技のすべて— 3.23—4.3 高島屋(京都)(田原市博物館、高島屋(日本橋))
唐津と高取 田中丸コレクション 5.30—7.17 福岡市美術館
からひね会～川喜田半泥子・荒川豊蔵・三輪休和・金重陶陽～ 11.17—11.28 しぶや黒田陶苑
目の眼 363
カルティエ現代美術財団コレクション展 4.22—7.2 東京都現代美術館
芸術新潮 678
STUDIO VOICE 365 編集部
美術手帖 880
朝日夕刊 6.7 高階秀爾
東京 5.27 中村隆夫
日経 5.21 (律)
日経 6.21 宝玉正彦
読売 6.8 前田恭二
華麗なる日本画の美 名都美術館所蔵名品 6.13—7.30 松伯美術館
華麗なるマイセン磁器 シノワズリー、ロココからアール・ヌーヴォーまで 10.1—11.26 MOA美術館
芸術新潮 682
東京 10.24～26 田中之博
川上澄生と創作版画の仲間たち—長谷川コレクションを中心に— 4.7—6.25 川上澄生美術館
川口太陽の家 工房集のアーティストたち 4.22—5.20 ヨコハマポートサイドギャラリー
川越を描くビエンナーレ3回 6.30—7.9 川越市立美術館
河内湖周辺に定着した渡来人—5世紀の渡来人の足跡—発掘された日本列島2006地域展 12.23—2.12 大阪府立近つ飛鳥博物館
文豪が蒐集した名宝 川端康成の眼力 東山魁夷との知られざる交遊 9.9—10.15 長野県信濃美術館
新美術新聞 1099 渡辺美保
変わり雛と共に見る「たつの」 2.25—4.16 たつの市立龍野歴史文化資料館
韓国の現代絵本原画展 9.15—11.30 安曇野ちひろ美術館
美術館・友の会だより 43 松方路子
韓国文化への誘い—全羅北道の歴史と文化— 10.14—11.26 石川県立歴史博物館
国宝鑑真和上展 6.24—8.20 北海道立近代美術館
観世音寺 いま甦る府の大寺の威容と軌跡 11.9—12.17 九州歴史資料館
館蔵品展 3.1—3.31 世田谷区立郷土資料館
観音塚古墳の世界—きらめく大刀・馬具・装身具— 10.28—5.6 高崎市観音塚考古資料館

(キ)

特集展示 黄色い箱の思い出～森永ミルクキャラメル・コレクションから～ 6.6—9.3 江戸東京博物館
芸術新潮 681
きえるかたち&ゆがむかたち 2.9—4.2 秋田県立近代美術館
出光美術館名品展Ⅱ 競い合う個性 等伯・琳派・浮世絵・文人画と日本陶磁 開館40周年記念 11.11—12.24 出光美術館
読売 12.8 八波浩一
北の縄文 美の世界 特別展62回 10.27—12.3 北海道開拓記念館
北の創造者たち展 10th Anniversary Lovely ～らぶりぃ～ 4.15—5.28 札幌芸術の森美術館
北畠氏とその時代 三重県埋蔵文化財展25回 8.5—9.18 三重県埋蔵文化財センター
北杜の旧石器時代～この地に初めて暮らした人びと～北杜の歴史シリーズ02 7.15—9.24 長坂郷土資料館
紀淡海峡の民—黄泉の世界— 10.3—12.24 和歌山県立紀伊風土記の丘
吉祥の美—幸福への願い— 1.5—2.12 大和文華館
木とのふれあいワールド パート2 7.22—9.3 香川県歴史博物館
キトラ古墳と発掘された壁画たち 4.14—6.25 奈良文化財研究所飛鳥資料館
朝日 5.5 天野幸弘
衣笠貞之助の世界 生誕110周年記念 10.3—3.31 東京国立近代美術館フィルムセンター
木村定三コレクションの江戸絵画—小世界を愉しむ— 3.10—5.21 愛知県美術館
芸術新潮 677
新美術新聞 1084 馬渕美帆
KIMONO 小袖にみる華・デザインの世界 4.28—6.11 女子美術大学 相模原キャンパス
ギャラリーコレクション—写真作品を中心に— 11.2—11.17 ギャラリー新居(東京)
旧朝香宮邸のアール・デコ 小客室新規公開 7.8—10.1 東京都庭園美術館
朝日夕刊 9.19 西田健作
九州から見た雪舟展 没後500年 2.21—3.26 福岡市美術館
九州南画の世界 長崎発・江戸時代のニューアート 3.18—4.16 長崎歴史文化博物館
シリーズ 九州派再訪—1 結成50周年記念 8.29—10.29 福岡市美術館
キュレーターズ・チョイス 写美専門スタッフが選ぶ名作、知られざる傑作から珍品まで 6.24—7.17 東京都写真美術館
朝日夕刊 7.4 田中三蔵
毎日夕刊 6.29 手塚さや香
読売 7.6
京漆器を愉しむ—京都国立博物館所蔵・美濃屋の漆器と名工たち— 11.1—12.2 昭和女子大学光葉博

物館

鏡像の美—鏡に刻まれた仏の世界— 10.7—11.12 大和文華館

京都画壇 師風の継承とその変化 9.9—9.26 海の見える杜美術館

京都社寺伝来の名刀 1.2—2.12 京都国立博物館

京都造形芸術大学卒業制作展・大学院展2006年度 3.1—3.5 京都市美術館
瓜生通信 36 芳賀徹／高階秀爾／大野木啓人／五島繁雄／宮崎聡子

京都に花ひらく日本画 4.22—5.28 平塚市美術館

郷土の人 橘守部 11.2—12.3 朝日町歴史博物館

京都美術文化賞18回 1.19—1.27 中信御池ギャラリー

京都府所蔵の人形と衣裳 2.8—4.2 京都府京都文化博物館

郷土を調べる—小神の今と昔— 8.12—9.24 たつの市立龍野歴史文化資料館

京焼—みやこの意匠と技— 10.17—11.26 京都国立博物館

巨匠たちが描くクレパス画 11.11—12.24 河口湖美術館

巨匠展 今そして未来2006 5.9—5.15 三越(日本橋)
新美術新聞 1087 米倉守

煌めきを求めて—シルクロードの匠たち— 4.29—12.24 湘南国際村センター

煌めく布～金更紗と金糸織～ 3.11—6.26 平山郁夫シルクロード美術館
目の眼 356

銀座アール・グラージュ・全作品展 10.26—10.29 銀座ロイヤルサロン
読売 10.26

住友コレクション 近世の花鳥画 5.20—7.2 泉屋博古館

近世和歌山の科学者たち 10.21—11.23 和歌山市立博物館

近代印刷のあけぼの スタンホープと産業革命 10.14—1.10 印刷博物館
読売 10.27 高野清見

近代絵画の流れ 明治・大正・昭和の絵画 香川県文化会館所蔵作品 1.14—2.5 香川県歴史博物館

近代工芸の百年 所蔵作品展 特集展示：ルーシー・リーとハンス・コパー 5.27—7.2 東京国立近代美術館工芸館

近代陶磁器にみる東と西 4.1—5.21 泉屋博古館分館

近代日本画の巨匠—大観、松園、清方など— 1.5—3.26 富士美術館

近代日本画の幕あけ 四条派 呉春・文鱗・栖鳳たち 4.25—5.31 大阪青山歴史文学博物館

近代日本画名品展—東西日本画壇の巨匠たち— 9.9—11.26 富士美術館

近代日本の水彩画—その歴史と展開— 7.22—9.3 茨城県近代美術館
新美術新聞 1096 山口和子

近代日本の洋画 5.27—7.23 講談社野間記念館

近代日本洋画の志深く もうひとつの〈鮭図〉からワーグマン・浅井忠・青木繁… 松本深志高校創立百三十周年記念 11.3—1.8 松本市美術館

近代日本洋画の名作展 4.8—5.28 神奈川県立近代美術館(鎌倉)

近代の高松城 松平頼寿とその時代03 4.13—6.18 香川県歴史博物館

近代の日本画 館蔵 5.13—6.11 五島美術館

近代の美人画 その耽美と憂愁 培広庵コレクション 4.29—6.18 うらわ美術館

近代の銘款を探る—コレクションの愉しみ— 3.21—4.9 佐賀県立九州陶磁文化館

近代文人のいとなみ 11.3—12.23 成田山書道美術館

近代洋画巨匠たちのクレパス画 4.11—5.21 静岡アートギャラリー

近代洋画の巨匠たち 浅井忠・岸田劉生そしてモネ—住友コレクション— 8.5—10.9 泉屋博古館分館

金の卵 学校選抜オールスターデザインショーケース 8.30—9.9 AXISギャラリー
AXIS 124 山本玲子

金蓮花の会 12.11—12.16 銀座スルガ台画廊

(ク)

空海と九州のみほとけ展 弘法大師帰朝千二百年記念特別展 9.15—10.29 福岡市博物館
デアルテ 23 末吉武史

空海マンダラ 弘法大師と高野山 北海道立近代美術館開館30周年記念 9.9—10.22 北海道立旭川美術館(北海道立近代美術館)
書道界 202

空間に生きる—日本のパブリックアート展 札幌芸術の森開園20周年記念 11.5—12.24 世田谷美術館(札幌芸術の森)
日経 11.27

公家雛と享保雛 2.11—4.3 さがの人形の家

春の彩り 公家文化と御所人形～高松宮家旧蔵品と五摂家筆頭近衛家の名品～ 2.21—4.10 大阪青山歴史文学博物館

熊野信仰と東北 名宝でたどる祈りの歴史 7.29—9.10 東北歴史博物館

熊野・那智山の歴史と文化—那智大滝と信仰のかたち— 10.7—11.19 和歌山県立博物館

熊野 山に生きる知恵 4.22—6.18 和歌山県立紀伊風土記の丘

熊本の華人展 12.1—12.8 熊本市現代美術館

熊本力の現在 アルス・クマモト 12.23—3.4 熊本市現代美術館

暮らしと共に ちょっと昔の道具たち 収蔵品 2.11—3.12 くにたち郷土文化館

くらしの植物苑 伝統の朝顔 8.8—9.3 国立歴史民俗博物館

くらべてみよう！ 日本画のたのし

み　6.1—8.30　足立美術館
クリーブランド美術館展　女性美の肖像　モネ、ルノワール、モディリアーニ、ピカソ　9.9—11.26　森アーツセンターギャラリー
朝日夕刊　10.17　山盛英司
産経　9.25　黒沢綾子
読売夕刊　9.5　千足伸行
グリム兄弟　カッセル　グリム兄弟博物館所蔵　4.1—5.21　河口湖美術館
グループ　プシケ展39回　9.4—9.9　シロタ画廊
久留米の考古資料展30回　チョットみ展—遺跡調査速報2005—出前展示　10.15—10.23　城島総合文化センター(筑邦市民センター多目的棟、山辺道文化館、田主丸そよ風ホール)
クレパス画名作展　6.3—9.3　笠間日動美術館
黒川古文化研究所名品展　4.15—5.14　黒川古文化研究所
クロノグラフ　7枚の写真から　9.22—10.20　ルーチェベルデオープンスペース
くんち三七二年展　大諏訪の神宝と祭礼　開館1周年記念　9.13—10.15　長崎歴史文化博物館
群馬の絵画一世紀—江戸から昭和まで　6.24—9.3　高崎市タワー美術館

(ケ)

GEISAI#9　3.12　東京ビッグサイト
STUDIO VOICE　363　松井みどり
美術手帖　880　児島やよい
読売夕刊　3.28　前田恭二
GEISAI#10　9.17　東京ビッグサイト
美術手帖　888　坂口千秋
朝日　9.21　西田健作
芸術家の書　12.2—2.4　笠間日動美術館
景徳鎮千年展　10.21—1.8　岐阜県現代陶芸美術館(茨城県陶芸美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館、渋谷区立松涛美術館)
芸能絵巻—舞い踊り囃す—　4.29—6.11　埼玉県立歴史と民俗の博物館
芸備の刀剣—刀剣をめぐる文化史—　10.13—11.19　広島県立歴史博物館
原始　MODE COLLECTION　10.20—12.10　地底の森ミュージアム
源氏絵の華やぎ　桃山時代の古典世界　2.21—3.31　和泉市久保惣記念美術館
国宝源氏物語絵巻　柏木(一)・宿木(一)　11.18—11.26　徳川美術館
現代茨城の陶芸展　器に描く・刻む自然と動植物　11.1—1.21　茨城県陶芸美術館
現代茨城の陶芸展　かたちの行方　3.1—5.21　茨城県陶芸美術館
現代茨城の陶芸展　線をもつ器たち　8.9—10.29　茨城県陶芸美術館
現代茨城の陶芸展　私の色・私のかたち　5.24—8.6　茨城県陶芸美術館
現代漆芸作家—輪島の今　開館15周年記念　12.1—1.28　石川県輪島漆芸美術館
現代中国の美術展　中国第10回全国美術展受賞優秀作品による　5.20—7.2　日中友好会館美術館ギャラリー*　253
朝日夕刊　5.30　山盛英司
現代中国の美術展　中国第10回全国美術展受賞優秀作品による　9.16—10.29　福岡アジア美術館
美術手帖　887　堀川理沙
現代陶芸の粋—東日本の作家を中心に　7.8—9.10　茨城県陶芸美術館
現代「日本画」の展望—内と外のあいだで—　6.10—7.30　和歌山県立近代美術館
現代の茶陶　造形の自由と用の見立て　智美術館大賞　8.5—10.15　菊池寛実記念智美術館
日経　8.30　竹田博志
現代琉球漆芸作家展　10.10—11.12　浦添市美術館
源平の時代展　歴史浪漫　2.11—3.21　茨城県近代美術館
元禄の大老　井伊直興　10.27—11.28　彦根城博物館

(コ)

広開土王碑　中村不折コレクション　10.7—12.24　台東区立書道博物館
工芸に表された春　3.26—5.28　遠山記念館付属美術館
広告の親玉　赤天狗参上！～明治のたばこ王　岩谷松平～　1.28—3.12　たばこと塩の博物館
読売夕刊　2.15　芥川喜好
都市の素シリーズ1　工事中景　1.25—2.20　デザインギャラリー1953
日経　2.16
皇室のご慶事　銀のボンボニエール展　9.27—10.9　高島屋(日本橋)
読売　9.25
翰翔会3回　3.25—4.3　ギャラリー昴
煌星会　11.27—12.2　銀座スルガ台画廊
高僧の書—日本仏教の祖師たち—　11.15—12.24　京都国立博物館
書道界　204
高知名所・名物観光めぐり展　絵画で巡る高知の旅　11.23—1.8　高知県立美術館
甲府盆地から見たヤマト—甲斐銚子塚古墳出現の背景—　10.7—11.26　山梨県立考古博物館
神戸考古学BEST50　7.22—9.3　神戸市埋蔵文化財センター
高野山大宝蔵展27　高野山の名宝　7.16—9.18　高野山霊宝館
GOLD～金色の織りなす異空間～　8.3—10.1　大倉集古館
鳳翔館秋季展　虚空へのワンピース垂板と吹返　9.22—12.11　平等院ミュージアム鳳翔館
読売夕刊　9.22
国画会会員9人展　10.9—10.14　銀座スルガ台画廊
国画会の画家たち　国展80周年記念　4.28—6.25　メナード美術館ギャラリー*　253

新美術新聞　1086　石川浩一

国際水墨画展25回　1.10—1.17　東京都美術館
新美術新聞　1079

国際扇面展27回　3.26—3.31　東京都美術館
新美術新聞　1087

国際ミーティング・エキスポ16回　9.22—9.23　東京ビッグサイト

極上の版画の時間　ピカソ、マティス、ルオーと過ごす　4.1—6.11　高知県立美術館

国民文化祭21回・やまぐち2006　11.3—11.12　山口県政資料館

古建築の意匠　京都を学ぶ　12.5—12.23　大谷大学博物館

ここは三重県亀山市～三重県立博物館所蔵資料から見た亀山市の江戸時代～　9.9—12.10　亀山市歴史博物館

「DESIGN WITH RESPECT　心から尊敬するデザイン」展　8.20—9.4　松屋(銀座)
産経　9.2　黒沢綾子

コシノヒロコ「襲展」展—墨象・色象—コシノヒロコ、誉田屋源兵衛、隈研吾によるアートコラボレーション　4.13—4.21　大丸(東京)

国宝　子島曼荼羅　復元模写完成記念　7.22—8.20　奈良国立博物館

古写真—よみがえる和歌山の姿—　4.22—6.4　和歌山市立博物館

古写真は語る　おおさか水辺の風景　3.18—5.7　大阪城天守閣

湖上の月と二刻の唄　10.6—10.9　湖山荘
美術手帖　889　小吹隆文

古代の工房　豊かなる都・寺のきらめき　4.29—7.2　大阪府立近つ飛鳥博物館

古丹波名品展観「丹波の古陶」　6.6—6.11　アートスペース「リビーナ」
目の眼　358

骨董誕生　日本が愛した古器物の系譜　開館25周年記念　5.30—7.9　渋谷区立松涛美術館
芸術新潮　679
朝日夕刊　6.22　山盛英司
読売　7.6　前田恭二

こども考古学入門　4.11—6.11　神戸市埋蔵文化財センター

こどもとおとなをつなぐもの　みんぱくキッズワールド　3.16—5.30　国立民族学博物館

子供の着物と孫ごしらえ　1.10—3.24　国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館

子供の情景　4.21—6.4　井原市立田中美術館

「こどものとも」の絵本展　4.22—5.28　高浜市やきものの里かわら美術館(姫路市立美術館、ひろしま美術館)

コネクティング・ワールド　創造的コミュニケーションに向けて　9.15—11.26　NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]
STUDIO VOICE　371　坂口千秋
美術手帖　887
美術手帖　889　土屋誠一
朝日夕刊　10.10　西田健作

この20年の、20のアート　広島市現代美術館コレクションによる札幌芸術の森開園20周年記念　11.3—1.14　札幌芸術の森美術館

戸方庵井上コレクション名品展～嗚呼しづかなる墨～　11.25—1.14　板橋区立美術館
朝日夕刊　12.15　田中三蔵

古文書が語る朝倉氏の歴史　7.21—9.3　福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館

御用絵師の仕事と紀伊狩野家　10.16—11.11　武蔵野美術大学美術資料図書館

コラージュとフォトモンタージュ　11.3—12.17　東京都写真美術館
芸術新潮　685

これが板橋の狩野派だ！　4.15—6.25　板橋区立美術館
朝日夕刊　6.8　田中三蔵
読売　4.27　前田恭二

コレクションでみる戸村美術　4.10—4.28　戸村美術

コレクション展　10.31—11.11　文京アート

コレクション展　収蔵作品にみる日本近代絵画の成熟と前衛　10.14—12.10　富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館

コレクション20年の熱情Ⅰ　心にひびく風景画　6.6—7.9　静岡県立美術館

コレクション20年の熱情Ⅱ　時代を超える個性—若冲、クレーから戦後アメリカ美術まで　7.26—9.3　静岡県立美術館

コレクションの歩み　田辺市立美術館開館10周年記念　6.24—9.3　田辺市立美術館

コレクション名作展'06　9.13—12.24　メナード美術館

コレクターのまなざし展　モネ《雪中の家とコルサース山》を囲んで　10.7—1.15　上原近代美術館

Continue Art Project2006　4.1—8.31　新潟県上越市、上野・桜木他

コンテンポラリーアートFes. 清水九兵衛追悼展覧会　9.11—9.30　大雅堂
アート・トップ　213　編集部 文

こんどは現代美術！　4.22—7.2　大阪市立近代美術館【仮称】

コンピュータに感覚を—京大情報学パターン情報処理の系譜—　6.7—8.27　京都大学総合博物館

(サ)

斎王のおひざもと—斎宮をめぐる地域事情—　10.7—11.23　斎宮歴史博物館

最新出土考古資料　7.10—12.28　印旛郡市文化財センター

最新出土品—地中からのメッセージ—　7.15—8.20　埼玉県立嵐山史跡の博物館(羽生市立郷土資料館)

最澄と天台の国宝　天台宗開宗一二〇〇年記念　3.28—5.7　東京国立博物館
新美術新聞　1085　松原茂
朝日夕刊　4.11　西田健作
産経　5.1　藤田綾子
日経　2.18　河野孝
読売　1.1　立松和平
読売　1.30、3.27、4.24　高山伸

康
読売　4.12　行徳真一郎
読売　4.13　丸山士郎
読売夕刊　3.1、29、30、4.3、4
前田恭二
読売夕刊　3.18　永井路子
読売夕刊　4.17

采展　8.28—9.2　銀座スルガ台画廊

材料よりみる日本画　2.11—2.18　杉並区産業商工会館

重文　境A遺跡出土品のすべて　9.13—11.30　富山県埋蔵文化財センター

堺の町探訪—寺町の文化財—　6.3—7.2　堺市博物館

佐賀城下　ひなまつり　2.18—3.31　佐賀市歴史民俗館

さかな・魚・肴　7.24—9.27　国立公文書館
芸術新潮　682

佐倉・房総ゆかりの作家たち　新収蔵作品　3.11—4.23　佐倉市立美術館

佐倉・房総ゆかりの作家たち　版画作品を中心として　6.10—7.17　佐倉市立美術館

作家たちの贈り物—川端実・堀内正和・宮崎進・保田春彦・渡辺豊重・江口週・李禹煥など23人　8.12—10.9　神奈川県立近代美術館(葉山)
毎日夕刊　9.4　三田晴夫

作家の視展2006　上野の森美術館大賞展受賞者展　5.10—5.15　上野の森美術館

サトウ画廊　1955—1981～若く・熱い日々～所蔵作品展2部　12.11—1.14　千葉市美術館

サトヱ記念21世紀美術館の5年間を振り返って—開館5周年記念展　4.8—7.2　サトヱ記念21世紀美術館

サファリパークプロジェクトin東京　11.23—11.26　栗東芸術文化会館さきら
美術手帖　891　酒井千穂

SUMMER SHOW at NEW GALLERY　7.11—8.5　西村画廊

更紗今昔物語　ジャワから世界へ　9.7—12.5　国立民族学博物館

舎廊房(サランバン)という空間　朝鮮男性がすごした時間　4.7—7.2　高麗美術館

ザ・リングII—too decorative—奥畑実奈・真田岳彦・三橋遵・森淳一　2.17—3.12　東京国際フォーラム・エキジビション・スペース

公募　サロン・デ・ボザール　アマチュア美術の祭典34回　11.26—12.1　東京都美術館

さわる文字　さわる世界　3.9—9.26　国立民族学博物館
博物館研究　458　広瀬浩二郎
読売　4.12

産学共同研究の20年展　3.21—3.26　東京国際フォーラム
多摩美術大学研究紀要　21　田中秀樹

参加してエンジョイ展—不思議なアートに触れてみよう—岐阜県美術館所蔵安藤基金コレクション　6.10—7.17　八王子市夢美術館(倉敷市立美術館、福井市美術館、安城市民ギャラリー)

産業資料を読む2　1.14—2.12　北海道開拓記念館

THUNDERBIRDS in JAPAN！！　12.8—12.25　パルコ(広島)
産経　12.13　黒沢綾子

(シ)

寺院に響く妙音　8.10—10.1　神奈川県立金沢文庫

詩画集『Chromatopoiema』展　8.18—9.2　ときの忘れもの

国宝　信貴山縁起絵巻　史上初の全三巻　全画面同時公開　「国宝」誕生百十周年記念・特別公開　9.1—9.24　石川県立美術館

子規晩年　いのちきらめく　1.1—1.29　松山市立子規記念博物館

四季礼讃　燃える秋　10.28—12.17　講談社野間記念館

時空のデザイン　7.22—10.9　東京大学総合研究博物館

始皇帝と彩色兵馬俑展　司馬遷『史記』の世界　8.1—10.9　江戸東京博物館(京都府京都文化博物館、北九州市立いのちのたび博物館、広島県立美術館、新潟県立万代島美術館)
芸術新潮　682
毎日　7.31
毎日　8.16　山之内郁治

四国・弥生の宝物　10.14—12.17　松山市考古館

獅子の会展7回　7.31—8.5　シロタ画廊

詩人の眼—大岡信コレクション展　4.15—5.28　三鷹市美術ギャラリー
版画芸術　132　浅倉祐一郎
美術手帖　883　高島直之
朝日　4.25　西田健作
朝日夕刊　4.14　辻井喬
東京　5.20　藤田一人
読売　4.27
読売　5.27　芥川喜好

静岡ゆかりの画家たち　最後の将軍から文化勲章受章者まで　3.3—4.4　静岡県立美術館

静かなアフリカ展　8.26—9.1　さる山
芸術新潮　682

紫星美術展37回　7.3—7.9　新宿区立区民ギャラリー
読売　7.5

自然讃歌　3.1—5.31　足立美術館

自然の恵みと祭り—海と川—　1.21—3.26　南相馬市博物館

持続／切断　毛利武士郎・村岡三郎・草間彌生・河原温　5.30—7.30　東京国立近代美術館
産経　6.30　藤田綾子

時代絵巻　よみがえる万葉の詩・平安の香り　4.29—6.4　浜松市秋野不矩美術館

実物とイラストで見る　鳥の巣の造形美—鈴木まもるコレクションから—　4.5—5.21　武蔵野市立吉祥寺美術館

四天王寺　新春名宝展　1.1—2.18　四天王寺(大阪)

信濃の陶器　7.22—9.11　下諏訪町立諏訪湖博物館

死絵　10.3—12.27　日本浮世絵博

物館

柴野栗山展 11.23—1.14 香川県歴史博物館

若冲と江戸絵画 プライスコレクション 7.4—8.27 東京国立博物館(京都国立近代美術館、九州国立博物館、愛知県美術館)
芸術新潮 681 三浦篤
新美術新聞 1095 島尾新
新美術新聞 1096 田沢裕賀
朝日夕刊 8.2 高階秀爾
産経 8.9 生田誠
日経 6.17
日経 7.15
日経 9.16
日経夕刊 7.8 辻惟雄
日経夕刊 7.11 福田美蘭
日経夕刊 7.12 森山真弓
日経夕刊 7.25 宝玉正彦
読売 7.13 前田恭二

近代日本絵画の諸相Ⅳ 写実と抽象 田辺市立美術館開館10周年記念 9.23—11.19 田辺市立美術館

写真で見る女性と仕事展２回 3.1—4.30 女性と仕事の未来館

JAPANESE GRAFFITI 1.17—2.18 SPACE FORCE

ジャパニーズ・ポップ—信長・秀吉・家康 ファッションにみる桃山時代— 10.21—12.3 郡山市立美術館

しゃれのめす女たち—肉筆浮世絵 江戸末期の美人たち— 4.7—4.27 羽黒洞

17・18世紀の博物誌～みんぱくの貴重図書から～ 11.2—11.28 国立民族学博物館

18世紀京都画壇の革新者たち 文化庁海外展帰国記念 3.25—4.9 京都国立博物館
新美術新聞 1084 狩野博幸

18世紀の日本絵画—屏風絵を中心に— 11.17—12.24 大和文華館

周辺のキリスト教聖画展 7.8—7.15 古道具坂田
芸術新潮 681

充満する四つの時間—日本画の手法— 4.26—5.2 高島屋(日本橋)
アート・トップ 212 山崎宏 談／編集部 取材

ジュエリーの今：変貌のオブジェ 10.7—12.10 東京国立近代美術館工芸館
芸術新潮 685

珠玉の日本美術 細見コレクションリクエスト展06 7.7—9.10 細見美術館

種の起源：ロシアの現代美術—私たちは生き残ることができるのか 8.19—9.24 富山県立近代美術館(広島市現代美術館)
美術手帖 888 鴻野わか菜
朝日夕刊 9.7 田中三蔵

浄教寺の文化財 1.21—3.5 和歌山県立博物館

将軍家への献上 鍋島—日本磁器の最高峰— 12.2—1.23 MOA美術館(佐賀県立九州陶磁文化館)
新美術新聞 1106 柴田伸雄

少々昔噺展 7.1—11.5 川上澄生美術館

正倉院展 58回 10.24—11.12 奈良国立博物館
読売 7.26
読売 7.28
読売 10.23
読売 10.25
読売 11.4 橋本聖圓／西山厚
読売夕刊 10.25 榊莫山
読売夕刊 10.26 志村ふくみ
読売夕刊 10.27 中村吉右衛門
読売夕刊 11.13

正倉院宝物のルーツと展開—参考館撰 教祖百二十年祭 9.20—12.4 天理大学付属天理参考館
朝日夕刊 9.22
日経 11.14

常総の大山信仰 3.18—5.7 土浦市立博物館

肖像の世界 2.14—5.7 鹿児島県歴史資料センター黎明館

松竹と映画 松竹創業110周年記念 1.13—3.26 東京国立近代美術館フィルムセンター

縄文人ってなかなかすごい！！ 7.15—9.3 岐阜県博物館(岐阜県ミュージアムひだ)

縄文人のくらし 2.18—3.11 東京都埋蔵文化財センター

縄文と現代 二つの時代をつなぐ『かたち』と『こころ』 10.7—12.10 青森県立美術館
美術手帖 889 福住廉

縄文のムラ 弥生の村 9.30—11.19 茨城県立歴史館

縄文の夜神楽 10.21—12.24 長坂郷土資料館

昭和会展41回 2.1—2.7 日動画廊

昭和の観光旅行～懐かしい旅のキオク～ 7.11—9.3 愛媛県歴史文化博物館

昭和の記憶 写真に甦る人々の情景 山口県立美術館所蔵作品より 7.1—9.3 群馬県立館林美術館

昭和の時代展 10.19—10.20 稲荷鬼王神社
毎日 10.20 森禎行
読売 10.19

昭和の前衛油彩画—独立美術協会の作家たち 9.15—11.17 蘭島閣美術館
新美術新聞 1098 加藤貞雄

昭和の鉄道写真100景—復興から高度成長へ 4.11—7.17 旧新橋停車場鉄道歴史展示室

昭和の美術 8.12—10.15 神奈川県立近代美術館(鎌倉)
朝日夕刊 9.15 西田健作

昭和はじめの地図の旅 4.29—8.27 横浜都市発展記念館

書教展91回 7.30—8.4 東京都美術館

女子美術大学芸術学部卒業制作展 GRADUATE EXHIBITION '06 3.12—3.15 女子美術大学 相模原キャンパス

女子美術大学大学院修了制作作品展 GRADUATE EXHIBITION '06 3.3—3.21 女子美アートミュージアム

女子美術大学短期大学部卒業制作展 GRADUATE EXHIBITION '06 3.12—3.15 女子美術大学 杉並キャンパス

書跡展—国宝 手鑑「翰墨城」 5.19—7.3 MOA美術館
書道界 198

所蔵作品展　開館記念　4.1—9.24　中村研一記念小金井市立はけの森美術館

書の技法　4.29—7.2　台東区立書道博物館

書の国宝　墨蹟展　4.18—5.28　大阪市立美術館
書道界　197　中川憲一
日経　5.17　竹田博志

書の国宝　墨蹟展　6.17—7.23　五島美術館
書道界　199　名児耶明

書の至宝　日本と中国　1.11—2.19　東京国立博物館
芸術新潮　674　富田淳
二松学舎大学東洋学研究所通信16　伊藤滋
目の眼　353
ユリイカ　517　竹西寛子
朝日　1.14　出久根達郎／俵万智／栗原小巻／奥本大三郎／陳舜臣
朝日夕刊　2.1　宮代栄一
日経　1.5
日経　2.1　竹田博志
読売夕刊　2.10　高野清見

書の美—墨蹟と古筆—　6.2—7.9　畠山記念館

シリア＆イラク映画祭　6.10—6.11　高知県立美術館

シルクロードの風・水・人～日本に至る遙かな道～　12.5—12.25　日本大学文理学部
読売　12.5

シルクロードのきらめき—正倉院文化の源流を尋ねて—　7.1—12.17　平山郁夫シルクロード美術館

シルクロードをめぐる美の物語Ⅱ　中央アジアの装飾と衣装から　10.13—10.23　ミキモトホール(銀座)
産経　10.20　黒沢綾子

死を超えた願い—黄金の言葉　6.12—8.4　龍谷大学

新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館　3.16—3.28　池袋西口地区
毎日　3.13　若井耕司
読売　3.17

神宮の刀2回　将軍奉納刀—家宣から家治まで—　1.1—3.5　神宮徴古館

神宮奉納美術—心とかたちⅡ—　9.13—11.12　神宮美術館

信州の歴史遺産1—新指定長野県宝と歴史館のお宝—　11.25—1.8　長野県立歴史館

新収蔵品からの展示　9.19—11.2　Fuji Xerox Art Space

新収蔵品展平成17年度　2.24—4.9　天童市美術館

信州高遠の四季展3回　日本画・洋画公募　8.5—9.24　信州高遠美術館

信州の豪商　田中本家のひな祭り　2.9—4.24　田中本家博物館

新春アートウォーキング2006　The能　PartⅡ　1.2—3.12　大倉集古館

新春を寿ぐ　1.8—2.5　遠山記念館付属美術館

新世代への視点2006　7.24—8.5　ギャルリー東京ユマニテ／藍画廊／コバヤシ画廊／なびす画廊／ギャラリー山口／ギャラリーQ／ギャラリー現／ギャラリー21＋葉／ギャラリーなつか／ギャラリィK
毎日夕刊　7.31　三田晴夫

神像と獅子・狛犬　1.2—3.26　京都国立博物館
目の眼　352

新発見！南総里見八犬伝　8.2—2.27　千葉県の文書館
千葉県の文書館　12

神仏習合の信仰—鏡像と懸仏—　1.21—2.12　奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

新平成美術展1回　6.19—6.25　銀座アートホール
新美術新聞　1095

まほろん春のてんじ　新編陸奥国風土記　巻之五　会津郡・耶麻郡その1　3.11—5.14　福島県文化財センター白河館
博物館研究　456　木村直之

新耀展4回　7.18—7.23　朝日アートギャラリー

(ス)

近代日本絵画の諸相Ⅰ　水彩画の近代　日本画の個性　田辺市立美術館開館10周年記念　9.23—11.19　田辺市立美術館／熊野古道なかへち美術館

国宝「随身庭騎絵巻」と男(をとこ)の美術　6.3—7.30　大倉集古館
朝日夕刊　7.18　山盛英司

スイス・スピリッツ　山に魅せられた画家たち　3.4—4.9　Bunkamuraザ・ミュージアム
芸術新潮　677
読売　3.16～18　宮澤政男

水墨画・古筆と陶芸　館蔵春の優品展　4.1—5.7　五島美術館

スーパーエクスタシー　至福への旅路　10.28—11.24　神奈川県民ホールギャラリー
アート・トップ　212　石井太

The Souvenir Mine—スーベニア・マイン—　5.17—6.17　ミヅマアクション／Artist Residency Tokyo
美術手帖　885　飯田志保子

杉浦豊治の仕事と蔵書　1.4—2.12　名古屋市蓬左文庫

スキノデリック　彫刻の表層　1.6—1.22　東京芸術大学大学美術館陳列館
芸術新潮　675
新美術新聞　1076　北郷悟
朝日夕刊　1.17　田中三蔵

杉野宣雄押し花展　花からはじまるアートの最先端　6.6—6.18　三越(日本橋)

須坂の古墳と大陸文化　10.18—11.19　須坂市立博物館

鈴鹿関～律令三関とその時代～　7.8—9.3　亀山市歴史博物館

鈴木大拙没後四十年記念展　6.8—7.23　鎌倉国宝館(金沢市立ふるさと偉人館、大谷大学博物館)

スターよ永遠に　追善浮世絵　7.22—8.27　千葉市美術館

ストーンサークル出現—縄文人の心、環の思想—　10.20—2.4　安中市ふるさと学習館

incubation 05　『砂の女』と現代の美術　2.7—2.26　京都芸術センター

美術手帖　878　酒井千穂

スヌーピーライフデザイン　7.8—9.24　サントリーミュージアム(天保山)

SPIRIT OF THE EAST　国連発足60周年記念ニューヨーク展の帰国　4.20—6.25　市川市東山魁夷記念館

スポーツウェアの革命　もうひとつの20世紀ファッション　9.16—11.28　島根県立石見美術館

住まいの絵本　世界のまちと暮らし　2.18—4.9　大阪くらしの今昔館

墨絵展 29回　9.20—9.25　元麻布ギャラリー

墨蹟(すみのあーと)　3.28—5.27　永青文庫

(セ)

「静嘉堂の名刀」五畿七道・千年の流れ　6.3—7.23　静嘉堂文庫美術館
目の眼　358

静嘉堂文庫の古典籍第六回　中国・日本の貴重書　12.2—12.17　静嘉堂文庫美術館
書道界　205

やきものに親しむV　青磁の美　秘色の探求　7.22—9.3　出光美術館
朝日夕刊　8.11　山盛英司
産経　8.4　黒沢綾子
日経　8.9　竹田博志

西神ニュータウン内の遺跡　2.15—3.12　神戸市埋蔵文化財センター

清風会　6.5—6.10　銀座スルガ台画廊

世界遺産からのSOS—アジア危機遺産からのメッセージ—　1.14—2.5　東京芸術大学大学美術館(西武(札幌)、そごう(心斎橋)、西武(筑波)、そごう(広島)、西武(福井)、そごう(徳島)、西武(池袋))
毎日　1.13

世界遺産からのSOS—アジア危機遺産からのメッセージ—　5.27—6.4　そごう(千葉)
毎日夕刊　5.25

世界遺産からのSOS—アジア危機遺産からのメッセージ—　7.27—8.6　そごう(横浜)
毎日　7.27　寺尾明人 談

世界遺産高句麗壁画古墳　9.2—9.24　奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

コレクション展1回　世界・日本・宇都宮にゆかりの美術　世界・日本のデザイン　4.4—7.9　宇都宮美術館

世界の絵本作家展II　絵本作家ワンダーランド　3.23—4.11　大丸ミュージアム(東京)(美術館「えき」KYOTO、三越(名古屋)、大丸(札幌)、川越市立美術館、秋田県立近代美術館、釧路市立美術館、北海道立函館美術館)

世界ポスタートリエンナーレトヤマ8回　2006　7.1—8.10　富山県立近代美術館

赤青会コレクション展　工芸の美と技を求めて　10.31—12.10　町田市立博物館

世田谷区内在住書家による　世田谷の書展25回—よろこびにみちて—　1.7—1.22　世田谷文学館

世田谷美術館展2006　開館20周年記念　2.25—4.9　世田谷美術館
新美術新聞　1080　野田尚稔
毎日　3.8　若井耕司

せっきとどきのはなし '06　4.21—6.11　広島県立歴史民俗資料館

石窟の仏　5.23—8.6　大谷大学博物館

雪・月・花—雛かざりとともに—　12.15—3.11　細見美術館

雪舟からポロックまで　石橋財団50周年記念　4.8—6.4　ブリヂストン美術館
新美術新聞　1085　中村邦子
朝日夕刊　5.2　山盛英司
日経　4.11　竹田博志

絶望と希望の半世紀　世界報道写真50周年記念　7.22—9.10　東京都写真美術館
朝日夕刊　7.18

好きなものと暮らすI　芹沢銈介の集めたもの　染織と木工　9.16—12.10　静岡市立芹沢銈介美術館

戦後強制抑留絵画展—凍土の大地シベリアで！強制抑留者の実相—　11.11—12.3　平和祈念展示資料館
毎日　11.29　窪田千代

戦国の城をさぐる　10.7—11.26　松戸市立博物館

戦国武将のよそおい　異形兜から祐乗目貫まで　1.5—2.6　佐野美術館
日経　1.15　(竹)

戦後日本　NIKON PLAZA Ginza開設記念 ニコンサロン1968—2006特別企画展I　10.7—10.24　銀座ニコンサロン
毎日　9.20　益子香里

戦後日本デザインの軌跡1953—2005　千葉からの挑戦　4.1—5.28　千葉市美術館

戦時中の暮らし—着物柄に見る戦争　8.9—8.19　港区立男女平等参画センター
芸術新潮　682

sensibilia センシビリア～所蔵品によるある試み～ソフトパッド＋滋賀県立近代美術館　2.11—4.2　滋賀県立近代美術館
新美術新聞　1082　長谷川祐子
STUDIO VOICE　364
美術手帖　878　保坂健二朗

扇状地の考古学—愛知・犬上の古代文化—　1.14—4.2　滋賀県立安土城考古博物館

善通寺　空海誕生の地　創建一二〇〇年　4.22—5.28　香川県歴史博物館

セントラルイースト東京2006(CET06)　11.23—12.3　神田、日本橋、小伝馬町、馬喰町、ほか各所
美術手帖　891　橋本誠

全日肖展53回　12.11—12.16　東京都美術館
新美術新聞　1112

千八百年前のモノたち　変わりゆく登呂遺跡の風景　7.22—8.31　静岡市立登呂博物館

千八百年前のモノたち　再考・登呂遺跡　10.1—11.30　静岡市立登呂博物館

千八百年前のモノたち　登呂の時代から小黒の時代へ　4.1—5.31　静岡市立登呂博物館

川柳と浮世絵で楽しむ江戸散歩　12.23—2.4　たばこと塩の博物館

(ソ)

造形集団　海洋堂の軌跡　5.20—7.17　高知県立美術館

造形現代芸術家展２回　2006年度　4.5—4.28　東京造形大学附属横山記念マンズー美術館

創作人形公募展　ドールファンタジア—創作人形作家140人の饗宴—　2.8—2.20　高島屋(横浜)

早春の茶会　1.7—3.21　茶道資料館

装飾文様生命考　3.21—3.21　彩都IMI大学院スクール
美術手帖　880　編集部

倉美会日本画展５回　11.28—12.4　三越(日本橋)
新美術新聞　1112　油井一人

幻の屏風　曽我物語図　10.7—11.26　渡辺美術館

素描する人々—或る日の洋画研究所　10.14—12.3　目黒区美術館
読売　11.25　芥川喜好

空にふれるまでのあいだ　7.8—9.12　ヴァンジ彫刻庭園美術館
美術手帖　886　大森俊克

損保ジャパン美術財団選抜奨励展25回　3.16—4.13　損保ジャパン東郷青児美術館
産経　3.31　藤田綾子

(タ)

大絵巻展—国宝　源氏物語絵巻　鳥獣戯画など一堂公開—　4.22—6.4
京都国立博物館
新美術新聞　1088　若杉準治

滞欧作品展　その３—洋画家と留学・美の交流の軌跡—　2.17—2.19　京都市勧業館みやこめっせ(星野画廊)

体験・発見！弥生時代—2000年前の美濃のくらし—　7.14—8.27　岐阜市歴史博物館

帯鉤　江川コレクションの中国古代青銅器　8.9—9.24　和泉市久保惣記念美術館

大古美術展　6.17—6.18　東京美術倶楽部

大正期の異色の画家たち　和歌山県立近代美術館所蔵名品展　4.22—6.4　練馬区立美術館
芸術新潮　678　三浦篤

大正昭和前期の美術　芸大コレクション　4.12—5.28　東京芸術大学大学美術館

大正・昭和　洋画の足あと　6.3—7.2　群馬県立近代美術館

大正・昭和を駆け抜けた画家たち～三岸好太郎と菅野圭介を中心に画廊コレクション～　4.24—5.13　不忍画廊

大正モダニズムと広告　8.1—9.23　アド・ミュージアム東京

大地の作品たち　収蔵品展　9.5—10.15　静岡県立美術館

大ナポレオン　文化の光彩と精神の遺産　12.2—1.14　ひろしま美術館

松平家名品展Ⅲ　大名家の生活と文化　1.4—4.9　香川県歴史博物館

大名　著書と文化　4.8—4.27　国立公文書館

高崎アートフェスタ　高崎ゆかりの作家たち　書部門　1.28—3.31　高崎市タワー美術館

高崎アートフェスタ　高崎ゆかりの作家たち　洋画／彫刻部門　2.5—3.31　高崎市美術館

宝塚歌劇と民俗芸能　10.11—12.3　阪急学園池田文庫

やきものの狛犬　愛知県陶磁資料館コレクション　1.5—3.26　大阪市立東洋陶磁美術館

竹尾ペーパーショウ2006「UNBALANCE／BALANCE」　4.13—4.15　東京スパイラルガーデン＆ホールデザインの現場　147　中山真理

竹の茶道具—花入・茶杓・煎茶器など—　2.11—3.26　静嘉堂文庫美術館
毎日夕刊　1.26　栗原俊雄
読売夕刊　2.25　前田恭二

武満徹　Visions in Time　4.9—6.18　東京オペラシティアートギャラリー
日経　4.28　宝玉正彦
読売夕刊　5.30　堀元彰

多層系表現展１回　2.1—2.10　アート・バイ・ゼロックス／Fuji Xerox　Art　Space

ただの犬プロジェクトvol. 2 Do you have home？　9.13—9.20　世田谷文化生活情報センター

鑪—中国山地の鉄と人—　10.6—11.19　広島県立歴史民俗資料館

タッチ、アート！体感する美術　小原馨・高田洋一・徳田憲樹・原田和男・松井紫朗・光島貴之　1.7—3.26　川越市立美術館
朝日夕刊　1.26　田中三蔵

塔頭悲田院の寺宝　8.29—12.24　泉涌寺心照殿

館林でみる群馬県立近代美術館名品　12.9—4.1　群馬県立館林美術館

Chaosmos '05　辿りつけない光景　Unreal Reality　1.31—3.5　佐倉市立美術館
美術手帖　880　大谷省吾
朝日夕刊　2.16　田中三蔵

愉しき家　8.4—10.1　愛知県美術館
美術手帖　887　秋庭史典
日経　9.6　宝玉正彦

旅と画家　7.1—8.13　山種美術館

旅人会日本画展18回　10.11—10.17　松屋(銀座)
新美術新聞　1104　油井一人

旅—モネ・ルノワール・マティス・マルケらがたどった道—　3.15—6.19　上原近代美術館

旅ゆけば—画家たちの旅と風景—　10.21—12.17　練馬区立美術館

ダフニスとクロエ～文学、美術、音楽、舞台の世界から～　4.15—6.11　田辺市立美術館

多摩新街事始　964遺跡に探る丘陵の恵み　2.18—3.19　パルテノン多摩

多摩の里山～『原風景』イメージを読み解く～　3.25—5.28　パルテノン多摩

多摩美術大学修士課程日本画専攻修了制作展2006 3.21—3.23 多摩美術大学八王子キャンパス
多摩美術大学博士課程展2006 3.8—3.23 多摩美術大学美術館
玉山の遺跡 7.1—8.20 盛岡市遺跡の学び館(盛岡市渋民公民館)
タワー—内藤多仲と三塔物語—展 6.2—8.18 INAXギャラリー名古屋(INAXギャラリー1、INAXギャラリー大阪)
国宝 俵屋宗達筆 関屋・澪標図屏風と琳派の美 4.8—5.14 静嘉堂文庫美術館
朝日夕刊 4.7 山盛英司
探検！仏さまの文様 親と子のギャラリー 7.22—8.20 奈良国立博物館
丹波市展1回 11.19—11.26 丹波市立春日文化ホール

(チ)

チェコ絵本とアニメーションの世界 チャペック・トゥルンカから21世紀の作家まで 9.8—11.8 北海道立帯広美術館
チェコ・ガラス図案展 4.4—4.21 小出由紀子事務所
芸術新潮 678
CHIKAKU／四次元との対話—岡本太郎からはじまる日本の現代美術 4.8—6.25 川崎市岡本太郎美術館
美術手帖 880
朝日夕刊 6.6 田中三蔵
館蔵 茶道具取合せ展 12.9—2.12 五島美術館
茶道具の四季 5.30—7.17 福岡市美術館
茶の湯と煎茶 器の魅力と茶の文化 6.3—7.30 和泉市久保惣記念美術館
茶の湯の香合 10.14—12.3 茶道資料館
茶の湯の名宝—大名家の格式と伝統— 10.7—11.5 徳川美術館
中央アンデスの編む・組む・織る 10.12—11.12 東京家政学院生活文化博物館
中近東の織物 コプト織とペルシア錦・絨毯 3.11—7.2 中近東文化センター
中径展5回—think ahead— 8.8—8.13 府中市美術館
ギャラリー* 256
中国書画名品展III 1.22—5.21 澄懐堂美術館
中国書画名品展IV 9.10—12.17 澄懐堂美術館
書道界 203
中国宋元画の精華 10.3—12.10 畠山記念館
中国陶磁—豊饒と洗練— 7.7—8.20 大和文華館
中国陶磁 美を鑑るこころ 11.3—12.10 泉屋博古館分館
日経 11.17 竹田博志
中国とモンゴルの絵本展 3.1—5.9 安曇野ちひろ美術館
美術館・友の会だより 40 松方路子
中国年画の世界 もう一つの青木コレクション 祝の造形II 1.1—2.5 小杉放菴記念日光美術館
芸術新潮 675
中国の近代絵画—定静堂コレクションの吉祥画— 12.10—1.28 和泉市久保惣記念美術館
財団法人 中信美術奨励基金 設立20周年記念展 12.5—12.10 京都府京都文化博物館
大勧進 重源 東大寺の鎌倉復興と新たな美の創出 御遠忌八百年記念特別展 4.15—5.28 奈良国立博物館
朝日 4.13 小滝ちひろ
彫刻 石川の昭和30年代 2.8—3.1 石川県立美術館
石川県立美術館だより 268
彫刻を楽しむ—木造雲中供養菩薩像— 7.22—8.20 朝日町歴史博物館
朝鮮の民画 芹沢銈介コレクション 1.28—5.21 静岡市立芹沢銈介美術館
目の眼 354
ちょっと昔を探してみよう 1960年代 くらし・教室・遊びの風景 7.15—9.10 横浜市歴史博物館
猪突猛進—十二支の考古学 亥— 12.16—1.28 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

(ツ)

辻邦生展 4.29—6.25 山梨県立文学館
伝え遺す想い—正木コレクション— 9.30—12.3 正木美術館
土に残る記憶IV—古墳と古代— 4.29—6.4 美濃加茂市民ミュージアム
土の中からのメッセージ10 百花繚乱 4.21—6.18 地底の森ミュージアム
土屋家の刀剣と甲冑 9.29—10.22 土浦市立博物館
鐔・笄・小柄・目貫—光村龍獅堂旧蔵の刀装具— 1.7—2.12 根津美術館
目の眼 353
つぼややき動植物園—やきものの文様— 1.5—2.12 那覇市立壺屋焼物博物館
国宝鶴岡八幡宮古神宝 9.14—10.15 鎌倉国宝館

(テ)

出会いの翼展 文化庁芸術家在外研修員の会美術部門40周年記念 8.15—8.20 三越(日本橋)
新美術新聞 1099
Tシャツアート展1回 7.11—7.15 日本財団ビル
東京 6.20 浅田晃弘
Take Me With You LOEWE創立160周年記念現代美術展 9.14—9.19 森美術館
産経 9.15 黒沢綾子
ディズニー・アート展 7.15—9.24 東京都現代美術館(新潟県立近代美術館)
STUDIO VOICE 368
朝日夕刊 7.21 小原篤
産経 8.23 上塚真由
読売 5.27
テーブルウェア・フェスティバル2006 暮らしを彩る器展 2.4—

2.12　東京ドーム
読売夕刊　1.26

デジタル遊園地―ネットワーキングアートの未来―　7.29―9.3　長崎県美術館

天下人たちの時代―信長・秀吉・家康―　7.22―9.3　徳川美術館

転換期の作法　ポーランド、チェコ、スロヴァキア、ハンガリーの現代美術　1.21―3.26　東京都現代美術館
芸術新潮　675
STUDIO VOICE　363　嘉藤笑子
美術手帖　878　鴻野わか菜
読売夕刊　3.16　前田恭二

電気用品安全法によって消え逝く可能性があったもの展　3.24―4.9　NANZUKA UNDERGROUND
産経　4.1　上塚真由

天空　地球　ユーラシア　古地図が描く世界の姿　9.16―12.10　横浜ユーラシア文化館

涼音堂茶舗「電子音楽の夕べ」　8.27　法然院
美術手帖　888　酒井千穂

電車にみる都市風景　1981―2006　11.18―12.25　パルテノン多摩

国宝　天寿国繍帳と聖徳太子像　飛鳥の祈り　3.14―4.9　東京国立博物館
朝日夕刊　3.24　山盛英司

伝承　受け継がれている、わざ　4.15―6.25　板橋区立郷土資料館

天台を護る神々―山王曼荼羅の諸相―　10.7―11.19　大津市歴史博物館

伝来の茶道具　開基足利義満公600年御忌記念　改築完成オープン　7.15―4.15　承天閣美術館

(ト)

ドイツ・デザイン展　「メイド・イン・ジャーマニー」の80年　1.28―3.12　森アーツセンターギャラリー
朝日夕刊　2.27　西田健作

十果会28回　7.5―7.11　高島屋(日本橋)
新美術新聞　1097　林紀一郎

童画の世界　7.21―8.31　足立美術館

陶器が語る来世の理想郷　中国古代の暮らしと夢―建築・人・動物　4.7―5.28　細見美術館

唐鏡　3.11―5.14　泉屋博古館(泉屋博古館分館)

東京駅の歴史展　3.22―4.9　東京ステーションギャラリー
毎日　3.19　斎藤正利

東京エコシティー―新たなる水の都市へ　1.27―3.5　江戸東京博物館

東京学芸大学美術科卒業修了制作・論文発表会54回　2.2―2.9　東京学芸大学・芸術館

東京ガラス工芸研究所学生作品展44回　10.19―10.25　東急(渋谷)

東京芸術大学卒業・修了作品展54回　平成17年度　2.22―2.26　東京都美術館／東京芸術大学大学美術館他

東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻卒業作品展　平成17年度　2.22―2.26　東京都美術館／東京芸術大学美術学部・音楽学部

東京国際コイン・コンヴェンション17回　日本の近代金貨～誕生から幻の金貨まで～　5.2―5.4　ロイヤルパークホテル

東京再発見　江戸名所図会から　10.3―11.30　中野区立歴史民俗資料館

東京戦災図　5.9―5.14　ギャラリーううふ

十一景　東京造形大学視覚伝達専攻写真コース　2005年度卒業制作作品展　2.21―2.27　新宿ニコンサロンbis21

東京大学大学院学際情報学府・東京大学大学院情報学環コンテンツ創造科学産学連携教育プログラム第9回制作展　III　Exhibition 6　12.8―12.13　東京大学本郷キャンパス工学部2号館
東京夕刊　12.18　引野肇

都展 42回　12.3―12.9　東京都美術館
新美術新聞　1111

東京―ベルリン／ベルリン―東京　1.28―5.7　森美術館
アート・トップ　208　神林恒道
芸術新潮　676
ジャポニスム研究　26　新畑泰秀
STUDIO VOICE　364　嘉藤笑子
デザインの現場　146　大城譲司
美術手帖　878　宮下誠
日経　3.15　宝玉正彦
毎日夕刊　3.16　飯沢耕太郎
読売夕刊　3.22　黒岩朋子

東京湾の船　3.18―5.14　千葉県立上総博物館

道具寺道具村建立縁起展　10.27―11.5　リビングデザインセンターOZONE
日経　10.29　(河)

陶芸の現在、そして未来へ　Ceramic NOW＋　6.10―8.27　兵庫陶芸美術館
朝日　8.24　福島建治

陶工たちの幕末・明治　11.16―1.28　香川県歴史博物館

東西の古墳文化　10.2―11.25　天理ギャラリー

東西の出土文物　8.29―10.29　福岡市美術館

東寺百合文書展21回―奉書と直状―　9.30―10.31　京都府立総合資料館

東寺法会用具の美～細部への情熱～弘法大師帰朝1200年記念　9.20―11.25　東寺宝物館

銅鐸の履歴書　10.7―12.3　辰馬考古資料館

東野芳明を偲ぶオマージュ展―水は複数で流れる　10.14―11.12　ギャラリーTOM
美術手帖　889　高島直之

東美アートフェア2006　3.31―4.2　東京美術倶楽部

東美アートフェア2006　秋　10.6―10.8　東京美術倶楽部

東北芸術工科大学　日本画第11期卒業　2.7―2.12　東京セントラル美術館

遠くと近くの熊野―中世熊野と北区展―　10.21―12.3　北区飛鳥山

博物館
北区飛鳥山博物館研究報告　9
野尻かおる
北区飛鳥山博物館研究報告　9
湯川恵子

遠山霜月祭の世界―神・人・ムラのよみがえり―　10.1―11.5　飯田市美術博物館

トーラーの成立からユダヤ教へ　聖書に生きる　5.25―7.23　東京大学駒場博物館

ときめくファッション―小町娘からモダンガールまで―　10.4―11.26　愛媛県歴史文化博物館

千代田・新宿・文京三区共同企画　徳川御三家江戸屋敷発掘物語　10.21―12.3　新宿歴史博物館／千代田区立四番町歴史民俗資料館／文京ふるさと歴史館
読売　11.17

徳川義親と文化遺産　4.12―5.28　徳川美術館

徳島城とその時代　築城420年　国指定史跡記念企画展　9.1―10.15　徳島市立徳島城博物館

特別記念きっぷ　再現硬券シリーズ～今はなき旧万世橋駅発…～　1.11―5.14　交通博物館

都市化する岡山県の村々　10.3―11.12　岡山県立記録資料館

都市と生活―生活圏へのまなざし　9.27―12.24　大川美術館

都市に生きるアール・デコ　4.1―5.28　資生堂ギャラリー

都市への視線　11.10―11.18　ときの忘れもの

栃木の遺跡―最近の発掘調査の成果から―　4.22―6.11　栃木県立しもつけ風土記の丘資料館(栃木県立博物館、栃木県立なす風土記の丘資料館)

とちぎ美術探訪　県内ミュージアムが誇る日本絵画の名品たち　10.29―12.10　栃木県立美術館

独起会展17回　7.3―7.8　銀座スルガ台画廊

とつげき！！おもしろ博物館　9.26―2.4　東北歴史博物館

とっておきの江戸名画―抱一も烏洲もあるでよう―　4.22―6.4　群馬県立歴史博物館

利根山光人記念大賞展ビエンナーレ・きたかみ3回公募　入賞入選作品　8.5―8.15　北上市市民交流プラザ／北上市生涯学習センター

殿様と学問　1.4―2.12　名古屋市蓬左文庫

DOMANI・明日展2006　未来を担う美術家たち　文化庁芸術家在外研修の成果　1.20―3.1　損保ジャパン東郷青児美術館
朝日夕刊　2.21　山盛英司
東京　1.28　中村隆夫

富岡重憲コレクションの近代美術―絵画・書・工芸・印章―　5.8―6.3　早稲田大学會津八一記念博物館

豊田市美術館のコレクション1995―2005　開館10周年記念VISION II　1.8―4.2　豊田市美術館

トランスイマージュ　フランスの現代メディア・アート　6.8―6.25　横浜赤レンガ倉庫1号館

取手アートプロジェクト2006　一人前のいたずら―仕掛けられた取手　11.11―11.26　旧戸頭終末処理場、宮ノ前ふれあい公園、旧取手宿本陣、キリンビアパーク取手、ほか市内各所
アート・トップ　213　編集部 文
美術手帖　891　村田真

登呂ムラの出現　静岡・清水平野の中の登呂遺跡　10.1―11.30　静岡市立登呂博物館

敦煌経と中国仏教美術　11.18―12.17　三井記念美術館
書道界　204
目の眼　363
産経　12.6　深堀明彦
日経　11.27　宝玉正彦

敦煌・トルファン出土の古写経　3.3―4.23　台東区立書道博物館
書道界　196

とんぼ玉100人展―魂のきらめき　現代作家とそのたまごたち―　7.15―8.6　大阪府立弥生文化博物館

(ナ)

内藤濯と星の王子さま～内藤濯没後30年～　5.20―6.24　昭和女子大学光葉博物館

直島スタンダード2　10.7―4.15　香川県直島および直島諸島
STUDIO VOICE　373　嘉藤笑子
美術手帖　889　白坂ゆり
産経　12.12、13　猪谷千香
毎日夕刊　11.13　三田晴夫

永井家十三代と高槻藩　3.11―5.28　高槻市立しろあと歴史館

長野県の遺跡発掘2006　3.18―5.11　長野県立歴史館／長野県伊那文化会館

長浜駅舎と鉄道文化―敦賀長浜鉄道物語―　7.22―9.18　市立長浜城歴史博物館

奈義の作家展　4.29―5.7　奈義町現代美術館

名古屋城下町散歩　なごやのまつり　5.31―7.23　名古屋市蓬左文庫

名古屋の美術―これまでとこれから―　2.4―3.26　名古屋市美術館
新美術新聞　1079　神谷浩

世界遺産ナスカ展　地上絵の創造者たち　3.18―6.18　国立科学博物館(鹿児島県歴史資料センター黎明館、静岡県立美術館、大分県立芸術会館)
芸術新潮　677
日経　4.9　(律)

夏色秋色―コレクション展―　7.5―7.31　女子美アートミュージアム

夏の思いで　今を生きる　美術館ワンダーランド　7.29―9.18　豊科近代美術館

夏休みこども美術館2006　見てみよう！神さま・仏さまのかたち　7.19―8.27　福岡市美術館

鍋島家伝来　武具甲冑展　9.4―11.24　徴古館
デアルテ　23　野口朋子

鍋島家の雛祭り　2.18―3.31　徴古館

ナポレオンとヴェルサイユ展　皇帝戴冠200年記念　ヴェルサイユ宮

殿美術館所蔵 4.8—6.18 江戸東京博物館
日経 3.1、2 浜部貴司
日経 4.15
日経 5.20
日経夕刊 4.21 浜部貴司
日経夕刊 5.17 渡辺守章

成田山の狩野派展 3.3—4.23 成田山書道美術館
書道界 196

南蛮 美術館友の会 寄贈作品展3 11.11—1.8 川上澄生美術館

(ニ)

新潟の作家100人展2回 新潟の美術2006 11.11—1.14 新潟県立万代島美術館

新潟の仏像展 中越大震災復興祈念特別展 9.30—11.12 新潟県立近代美術館
朝日夕刊 11.9 田中三蔵

肉筆浮世絵の美—氏家浮世絵コレクション— 1.4—2.12 鎌倉国宝館

西川寧への手紙—会津八一 西川寧往復書簡— 9.25—10.14 早稲田大学會津八一記念博物館

錦絵が語る美濃と飛騨 9.15—10.29 岐阜県博物館

西播磨発掘物語—埋もれた歴史の扉を開く— 9.27—11.6 たつの市立埋蔵文化財センター

20世紀コンピュータ・アートの軌跡と展望—現代アルゴリズム・アートの先駆者・現代作家の作品・思想 11.3—12.17 多摩美術大学美術館

日芸版画修了卒業制作展 日本大学芸術学部 1.30—2.4 ギャラリー川船

日曜美術館30年展 名品と映像でたどる、とっておきの美術案内 9.9—10.15 東京芸術大学大学美術館(京都府京都文化博物館、広島県立美術館、岩手県立美術館、長崎県美術館、静岡県立美術館)
芸術新潮 683 三浦篤
朝日夕刊 10.3 西田健作
読売 9.14 (前)

日韓現代陶芸—新世代の交感展2006 1.7—1.22 愛知県陶磁資料館
陶説 634 大長智広

日韓交流展 稲の来た道 10.20—12.17 宮崎県立西都原考古博物館

日経日本画大賞 東山魁夷記念3回 11.2—12.17 ニューオータニ美術館
東京 11.25 中村隆夫
日経 11.18

日中美術交流合同展6回 9.12—9.17 京都市美術館
新美術新聞 1101

日彫会新鋭選抜展5回 伝えたいこと・27の挑戦 7.16—7.29 ギャラリー青羅

日本コラージュ14景 Part1 6.19—6.24 ギャラリイK

NIPPONの美—切手・葉書原画でたどる日本美術 6.3—7.17 逓信総合博物館

ニッポン vs 美術 10.28—12.10 大阪市立近代美術館【仮称】

日本画・現代への歩み—東京都現代美術館所蔵名品展 開館5周年 9.16—11.12 高崎市タワー美術館

日本(にほん)×画展(ガテン!) しょく発する6人 7.15—9.20 横浜美術館
芸術新潮 681
新美術新聞 1094 柏木智雄
朝日夕刊 8.24 田中三蔵
産経 8.29 黒沢綾子
東京 8.19 草薙奈津子
日経 8.23 宝玉正彦
毎日夕刊 8.22 三田晴夫
読売夕刊 8.26 (前)

日本画にみる 富士と桜 富士の競作、桜の饗宴 5.13—6.11 豊橋市美術博物館

日本画の開拓者たち 横山大観を中心に 12.1—2.28 足立美術館

日本画の世界 香川県文化会館所蔵作品 10.21—11.19 香川県文化会館

日本画の特色 その表現と技法 8.31—11.30 足立美術館

日本画の魅力—美しき人と心 人間表現、明治から現代まで 4.29—6.11 徳島県立近代美術館

日本画100年のきらめき 東京国立近代美術館所蔵名品展 10.6—11.19 大分市美術館

日本・韓国・現代漆芸作家による漆芸の現在 9.28—10.15 東京芸術大学大学美術館(石川県輪島漆芸美術館)

日本新工芸展28回 6.1—6.7 上野の森美術館
新美術新聞 1095

日本人の情景 創業35周年記念特別展 11.1—12.24 星野画廊

日本剪画美術展22回 6.24—6.28 O美術館
読売 6.22

日本染織にみる青の魅力 6.3—7.30 遠山記念館付属美術館

日本・中国の書 黒川古文化研究所秋季展 展観96回 10.14—11.12 黒川古文化研究所

日本伝統工芸展53回 11.3—11.12 石川県立美術館

日本陶芸100年の精華 開館5周年記念 1.21—3.21 茨城県陶芸美術館
目の眼 355
朝日夕刊 3.9 田中三蔵

日本陶磁協会賞受賞作家—日本陶磁協会創立60周年記念 1.19—1.28 和光ホール

日本刀の華 江戸の名工 虎徹と清麿 7.1—8.1 佐野美術館
日経 7.14

日本人形の美と幻想 浅原コレクション 2.11—3.29 茨城県立歴史館

日本の絵本・イギリスの絵本 旧下関英国領事館築100周年記念 7.28—8.27 下関市立美術館

日本の海洋画展21回 現代日本画壇の海洋画を一堂に集めて 8.2—8.8 東京芸術劇場

日本の神々と祭り—神社とは何か?— 3.21—5.7 国立歴史民俗博物館
日経 4.20

毎日夕刊　3.31
読売夕刊　3.28

日本の郷土玩具　7.15—10.1　姫路市書写の里・美術工芸館

日本の現代住宅　1985—2005　ギャラリー・間20周年記念　12.8—2.25　ギャラリー・間
読売夕刊　1.21　高野清見

日本の城郭　日本の博物学シリーズ特集陳列　6.27—8.20　東京国立博物館
東京　7.19　中山洋子

日本の書—奈良から江戸へ　4.8—5.21　ふくやま書道美術館
書道界　198

日本の匠展　3.9—3.18　赤坂游ギャラリー
目の眼　355

日本の伝統美と技の世界　重要無形文化財保持団体秀作展14回　10.5—10.30　石川県輪島漆芸美術館

日本のパッチワーク　寄裂　9.5—11.18　国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館

日本のビール—横浜発　国民飲料へ—　7.22—9.10　神奈川県立歴史博物館

日本の美・江戸の華—狩野派から浮世絵まで—　12.2—3.25　富士美術館

日本のマジック・サーカス展　3.10—3.27　山脇ギャラリー
毎日　3.23　長尾真輔

日本橋絵巻　開館記念特別展Ⅱ　1.7—2.12　三井記念美術館
芸術新潮　673
朝日　1.17　山盛英司
産経　1.17　猪谷千香
東京　1.7　中山洋子
毎日　1.9　安高晋
読売　1.11

日本美術家連盟会員展1回—富山・石川・福井・新潟—　10.18—10.22　富山県民会館美術館

日本美術の逆輸入展　欧米で買われはじめた作家たち　9.2—9.22　ギャラリー北井
ギャラリー*　257

日本文様史大成(国貞の浮世絵)　3.28—7.2　日本浮世絵博物館

日本和紙絵画展21回　11.26—12.1　東京都美術館
新美術新聞　1110

ニューアート展2006　9.29—10.22　横浜市民ギャラリー
読売夕刊　10.14　(清)

人間国宝　制度制定50周年記念　1.2—1.16　高島屋(日本橋)

人間国宝　NHK横浜開局80年記念　制度制定50周年記念　4.5—4.17　高島屋(横浜)

人間国宝のうつわの美　収蔵品　近現代の工芸　12.12—1.31　とちぎ蔵の街美術館

人間の未来へ　ダークサイドからの逃走　2.25—5.7　水戸芸術館現代美術ギャラリー
芸術新潮　678
美術手帖　880　福住廉
朝日　3.29　山盛英司
東京　4.1　藤田一人
毎日夕刊　4.10　三田晴夫
読売　5.4　前田恭二

(ヌ)

布が伝える　和のこころ～着物・ふろしき・百徳・古袱紗～時代のぬくもり　4.29—6.28　北海道立釧路芸術館

布が伝える和のこころ　三瓶コレクション　8.5—9.17　河口湖美術館

(ネ)

next station—次の美術駅へ　10.18—10.29　名古屋市民ギャラリー矢田
美術手帖　889　森美樹

根開きの穴—1950年代'60年代—　7.3—7.21　文京アート

ねりまの美術2006—百年の100点—収蔵品名作展　2.18—3.26　練馬区立美術

年代のものさし—陶邑の須恵器—　1.28—3.5　大阪府立近つ飛鳥博物館

念力キャンバス　10.27—11.19　高知県立美術館

(ノ)

能楽資料館名品撰　9.16—12.10　能楽資料館

MOTアニュアル2006　No Border　「日本画」から／「日本画」へ　1.21—3.26　東京都現代美術館
アート・トップ　208　辻惟雄、町田久美、三瀬夏之介、篠塚聖哉、吉田有紀 談
芸術新潮　675
新美術新聞　1078　加藤弘子
STUDIO VOICE　364　北澤ひろみ
美術手帖　878　北澤憲昭
朝日夕刊　2.9　田中三蔵
東京　2.11　中村隆夫
毎日夕刊　3.13　三田晴夫
読売夕刊　2.16　前田恭二

信長の城・秀吉の城—織豊系城郭の成立と展開—　10.7—11.19　滋賀県立安土城考古博物館

のりもののお札おもしろ　7.19—10.9　お札と切手の博物館

(ハ)

ニューヨーク・バーク・コレクション展　日本の美　三千年の輝き　1.24—3.5　東京都美術館(岐阜県美術館、広島県立美術館)
新美術新聞　1077　正村美里
朝日夕刊　2.8　高階秀爾
産経　2.20　藤田綾子
東京　1.12　古田秀陽
日経　2.18
日経夕刊　1.24
日経夕刊　2.15
毎日　1.11　若井耕司
読売夕刊　1.28　前田恭二

ニューヨーク・バーク・コレクション展　日本の美　三千年の輝き　3.15—6.11　MIHO MUSEUM
目の眼　355

バース・ストーン　華麗なるジュエリー展　誕生石に秘められた宝石物語　10.7—1.14　東京富士美術館

俳諧絵画の美—西鶴・芭蕉・元禄の

人々—天理ギャラリー128回展 5.14—6.11 天理ギャラリー
ビブリア 126 末代美保
日経 6.2

羽織裏—日本の粋と伊達 12.27—1.22 デザインギャラリー1953
芸術新潮 687

はかる～くらしの中の単位・計測～ 3.25—4.16 香川県歴史博物館

ハギレの日本文化誌～時空をつなぐ布の力～ 9.9—10.15 福島県立美術館

博物館に初もうで 新春企画 1.2—1.29 東京国立博物館
新美術新聞 1076 小林牧

博物館モノ語り 11.18—4.15 秋田県立博物館

幕末維新の名士 書幅・書額 橋本秀孝コレクション 11.21—11.26 茨城県つくば美術館

幕末浮世絵アラカルト 北斎・広重・国貞・国芳らの世界 9.23—10.29 香川県歴史博物館

幕末から自由の権へ—本田家の人々が見た時代— 10.28—12.17 くにたち郷土文化館

幕末の残像—尾張の殿様が撮った写真— 9.9—10.1 徳川美術館

幕末の信州—時代を駈けた草莽たち— 7.22—8.27 長野県立歴史館

幕末・明治の浮世絵 みる・まなぶ・たのしむ 11.11—12.10 徳川美術館

幕末明治の銅版画—玄々堂と春燈斎を中心に— 2.20—4.1 天理ギャラリー
毎日夕刊 2.14

化け物の文化誌展 10.17—11.12 国立科学博物館

芭蕉塚古墳と王のまつり 7.8—9.3 城陽市歴史民俗資料館

長谷寺縁起絵巻 10.14—11.12 長谷寺宝物館

シリーズここまでわかった考古学 はたおりの歴史～古代の織物生産を考える～ 2.11—2.26 日本民家集落博物館

発掘された日本列島2006 新発見考古速報展 6.20—7.23 江戸東京博物館(佐野美術館、米沢市上杉博物館、福井県立若狭歴史民俗資料館、大阪府立弥生文化博物館、新潟県立歴史博物館)
文化財* 512 玉田芳英

発掘された日本列島2006 新発見考古速報展 7.29—9.3 九州国立博物館
芸術新潮 681

発掘された不滅の記録1954—1975 [VIET NAMベトナム]そこは、戦場だった 1.14—2.19 東京都写真美術館
東京 2.4 (司)
読売夕刊 2.7 前田恭二

発掘されたムラと宝 いにしえの暮らしと技を探る 6.24—9.24 愛知県陶磁資料館

八犬伝で発見！ 江戸庶民の生活文化 4.29—6.4 文京ふるさと歴史館

波濤の会展2回 10.18—10.24 松屋(銀座)
新美術新聞 1105 油井一人

花ごよみ 日本画に咲く花々 4.15—6.11 高崎市タワー美術館
新美術新聞 1086 辻瑞生

花と鳥～近代日本の花鳥画 9.2—10.22 講談社野間記念館

花のある作品展 4.1—5.14 神戸市立小磯記念美術館

花森安治と「暮しの手帖」展 2.4—4.9 世田谷文学館
読売夕刊 3.15 芥川喜好

華やぐ日本画名品選 酒井抱一、上村松園から村上華岳、橋本関雪へ 6.3—7.2 姫路市立美術館

花より工芸：新収蔵作品を中心に 2001—2005 3.14—5.21 東京国立近代美術館工芸館
朝日夕刊 4.4 西田健作
読売 4.13 前田恭二

埴輪V 所蔵出土品展示 11.13—11.18 宮内庁書陵部

はばたく日本画—近代から現代へ—佐久市立近代美術館所蔵名品展 7.22—9.3 新潟県立万代島美術館(佐久市立近代美術館)
新美術新聞 1095 小西珠緒

ばらばらになった身体 Body in Pieces 8.5—10.15 東京国立近代美術館

パラレル・ニッポン 現代日本建築 1996—2006 10.21—12.3 東京都写真美術館
東京 11.16 三宅理一

巴里憧憬 エコール・ド・パリと日本の画家たち 8.26—10.1 山梨県立美術館(徳島県立近代美術館、成羽町美術館、名古屋市美術館、埼玉県立近代美術館)
芸術新潮 681
読売夕刊 8.21 金子百合子

播磨工芸美術 2.18—3.31 姫路市書写の里・美術工芸館

播磨ゆかりの江戸絵画—応挙・芦雪・若冲を中心として— 4.1—5.28 大倉集古館

パリを愛した画家たち シャガール、ローランサン、荻須… 3.2—3.14 大丸ミュージアム(東京)(北海道立釧路芸術館)
毎日 3.2

春・夏—季節を愛でる 3.3—6.4 石川県輪島漆芸美術館

バルビゾンから印象派 コロー、ミレー、モネ、ルノワール… 4.28—7.6 北海道立帯広美術館

春よ来い・雛のまつり展 3.21—4.2 高津古文化会館
目の眼 355

春らんまん 雛の宴 愛と祈りの人形たち 1.31—3.5 水戸市立博物館

春を謳う 須坂藩のお雛さまと姿譜、印籠・根付 3.3—5.7 須坂市立博物館

パレスチナのハート展 8.21—8.29 Gallery olive eye
美術運動 134 青木エミ

版画交流展 シルパコーン大学(タイ)／アルバータ大学(カナダ)／多摩美術大学 4.1—4.30 多摩美術大学美術館

版画の青春—生命を描く、大正期『月映』の時代 8.5—9.24 町田市立国際版画美術館
朝日夕刊 9.5 田中三蔵

バンクス植物図譜～ICU図書館新収蔵資料より 4.4—7.14 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館

『版下バカ』の仕事展 6.1—6.30 珈琲&ギャラリー ウィリアムモリス
毎日夕刊 6.20

藩主の歩いた道 藩主の巡見と阿波の名所 4.8—7.9 徳島市立徳島城博物館

藩主奉納太刀 ささげられた刀と心 1.1—2.5 塩竈神社博物館

藩政時代の物語 11.14—2.4 鹿児島県歴史資料センター黎明館

国宝 伴大納言絵巻—新たな発見、深まる謎—開館40周年記念 10.7—11.5 出光美術館
芸術新潮 684
朝日夕刊 10.31 山盛英司
読売 10.12 前田恭二

バンダパール展 10.13—11.26 アニエスベー青山店
産経 9.29 黒沢綾子

(ヒ)

東アジアの十二支像 8.1—9.3 奈良文化財研究所飛鳥資料館

PICA PICA 佐賀大学美術・工芸科絵画展 7.31—8.5 銀座スルガ台画廊

光と影 12.23—2.18 東京都写真美術館

ピクサー pixar 20 Years of Animationトイ・ストーリーから最新作カーズまで 7.1—8.27 森アーツセンターギャラリー(郡山市立美術館)
朝日夕刊 7.21 小原篤
毎日 6.28

彦根ゆかりの画人 6.23—7.18 彦根城博物館

八代の歴史と文化16 肥後の磁器—その歴史と系譜— 10.20—11.26 八代市立博物館未来の森ミュージアム
デアルテ 23 福原透

美術館でなつやすみ 美術のなかの人間たち 6.30—9.3 メナード美術館

美術歳時記 夏によせて—所蔵作品による— 5.27—6.25 国立歴史民俗博物館

美術の遊びとこころ 美術のなかの写(うつし)—技とかたちの継承 7.11—9.3 三井記念美術館
新美術新聞 1097 外舘和子
産経 8.8 黒沢綾子
日経 7.2 (宝)
読売 8.24 前田恭二

美術の中の三国志 10.21—11.26 徳島市立徳島城博物館

美術館ボランティアが選ぶ 千葉市美術館コレクション 10.17—12.3 千葉市美術館

美人画—古今の女性美— 1.5—4.23 松岡美術館

肥前路を行く 10.27—11.26 佐賀県立美術館

微動展'06 9.25—9.30 シロタ画廊

人形は今なにを語る… やまがた近年の発掘事情 発掘された日本列島2006併催 10.15—11.12 米沢市上杉博物館

府中ビエンナーレ3回 美と価値 ポストバブル世代の7人 10.21—12.24 府中市美術館
芸術新潮 684
朝日夕刊 10.26 山盛英司

一橋徳川家のひなまつり 2.11—3.29 茨城県立歴史館

人のかたち—もうひとつの陶芸美 11.3—1.8 兵庫陶芸美術館

雛と寺宝 1.14—4.3 宝鏡寺門跡

ひな人形—公開・姉妹都市上田のひな人形— 2.16—3.12 鎌倉国宝館

ひな人形の世界6 2.7—4.2 徳島市立徳島城博物館

雛の宴 2.10—3.13 佐野美術館

雛の世界 2.11—3.21 遠山記念館付属美術館

雛まつりとお人形 2.18—4.2 京都国立博物館

雛祭り 虎屋の雛人形と雛道具 2.18—4.9 根津美術館
日経 2.26 (白)

美のかけはし—名品が語る京博の歴史 7.15—8.27 京都国立博物館
書道界 200

美の殿堂—日本芸術院所蔵名品— 9.30—11.12 富山県立近代美術館

火のめぐみ 教祖百二十年祭特別展 1.21—8.7 天理大学付属天理参考館

ビバ・テキーラ！～メキシコの伝統と文化～ 10.28—12.10 たばこと塩の博物館

日比谷三信ビルディング写真展—消えゆくビルが語るもの— 12.11—12.22 東京パークスギャラリー日比谷
毎日 12.10 市川明代
読売 12.18

美へのあこがれ 10.13—12.24 石正美術館

姫君のたしなみ 2.15—4.9 名古屋市蓬左文庫

姫路市美術展 公募展60回 1.14—1.22 姫路市立美術館

姫路のやきもの 1.6—4.2 姫路市書写の里・美術工芸館

百年前の暮らしと紙 1.24—3.5 紙の博物館(東京)

ビューティフル・ドリーマー—夢からのおくりもの— 12.13—1.28 北海道立近代美術館

表現される現在2006 宇留野隆雄・金大仲・古賀飛・菅谷扶美雄・関本欣哉 10.30—11.4 ギャラリイK

表現される現在2006 今村仁・内野由紀子・狩野邦彦・坂本靖美・野田貴子・原田潔 11.7—11.24 T&SGallery

表現される現在2006 石川雷太・伊丹祐喜・川村雅之・金憲正・清宮清子 11.20—11.25 exhibit Live&Moris

近代日本絵画の諸相Ⅲ 表現主義の流れ 田辺市立美術館開館10周年記念 9.23—11.19 田辺市立美術館

屏風絵と陶芸名品選 1.2—2.19 メナード美術館

平尾山古墳群を探る 7.8—8.27

柏原市立歴史資料館

開かれた港市　平戸の至宝とキリシタン文化　6.10—7.9　長崎歴史文化博物館

広田不孤斎コレクション　茶の湯の名品展　東京国立博物館所蔵　4.8—5.21　富山市佐藤記念美術館
陶説　637　編集部

SUMISEMI—PROJECT 5 「ピンホールルーム2006」—山中信夫なんて知らないよ—　12.10—12.15　和光大学

（フ）

ファッションで楽しむ世界の絵本～ちひろ美術館コレクション～　5.12—7.11　安曇野ちひろ美術館
美術館・友の会だより　41　宍倉惠美子

風景読本～絵の旅・東北～　10.28—12.10　福島県立美術館

風景との出会い　4.25—9.3　加藤栄三・東一記念美術館(岐阜市歴史博物館分館)

風景を描く　戦後関西の風景画1950—1970　10.28—12.3　西宮市大谷記念美術館

プーシキン美術館展　シチューキン・モロゾフ・コレクション　1.11—4.2　国立国際美術館
朝日夕刊　2.8　高階秀爾

国宝　風神雷神図屏風　9.9—10.1　出光美術館
朝日夕刊　9.21　山盛英司
産経　9.20　黒沢綾子
日経　9.20　宝玉正彦
読売　8.24　前田恭二

風俗画にみる日本の暮らし—平安から江戸　3.4—4.23　出光美術館
産経　3.7　堀晃和

フォトシティさがみはら6回　10.6—10.23　相模原市民ギャラリー

フォルムペルメル　1.21—1.31　フォルム画廊(銀座5丁目)

福井藩と豪商　9.30—11.5　福井市立郷土歴史博物館

福岡市美術展40回　3.7—3.19　福岡市美術館

福山城西三之丸の380年—家老屋敷、葦陽高校、そして県博まで—　4.28—5.28　広島県立歴史博物館

武家の古都鎌倉—世界遺産登録にむけて—　10.20—11.26　鎌倉国宝館

布穀会展　30回記念　10.6—10.11　朝日ギャラリー

藤井永観文庫の優品—生涯を古美術蒐集に捧げた精華—　6.3—7.2　細見美術館
書道界　199

藤岡の中世—平井城・金山城を中心として—　10.13—12.10　藤岡歴史館

富士山大噴火—宝永の「砂降り」と神奈川—　10.14—11.19　神奈川県立歴史博物館

武士の美と心　岡山のサムライたち　10.27—11.26　岡山県立博物館

ふぞろいな石たち　関孝行・虎尾裕・林武史・丸山富之＋手塚登久夫　1.16—1.28　ギャラリーせいほう

仏像　一木にこめられた祈り　10.3—12.3　東京国立博物館
新美術新聞　1103　浅見龍介
新美術新聞　1105　永井信一
朝日夕刊　10.12　田中三蔵
産経　10.18　黒沢綾子
日経　10.22　(敦)
読売　8.28
読売　9.25　半田行宏
読売　9.28　金子啓明
読売夕刊　10.6、7、11　前田恭二
読売夕刊　10.31

風土記の丘周辺の中世遺跡　2.7—4.10　島根県立八雲立つ風土記の丘資料館

文の京(ふみみやこ)の写真展　2.11—3.19　文京ふるさと歴史館
読売夕刊　2.27　永井一顕

不滅のヒーロー・ウルトラマン展　世田谷フィルムフェスティバル8回　7.15—9.10　世田谷文学館

ブラティスラヴァ世界絵本原画展　世界の絵本がやってきた　開館15周年記念　6.24—8.6　足利市立美術館(平塚市美術館、静岡アートギャラリー、広島県立美術館、三鷹市美術ギャラリー、小杉放菴記念日光美術館、北九州市立美術館分館、うらわ美術館)
読売夕刊　6.21　土方明司

プラド美術館展　スペインの誇り、巨匠たちの殿堂　3.25—7.2　東京都美術館
芸術新潮　677
新美術新聞　1086　大高保二郎
美術手帖　878
朝日夕刊　5.12　山盛英司
産経　4.11　桑原聡
東京　4.22　中村隆夫
読売　1.1　伊集院静
読売　3.14　大高保二郎
読売　3.14　ミゲル・スガサ／高野清見 聞き手
読売　3.27
読売　5.29　原田真由美
読売　6.1　宮下規久朗
読売夕刊　4.6～8、10～12、18　高野清見

プラド美術館展　スペインの誇り、巨匠たちの殿堂　7.15—10.15　大阪市立美術館
新美術新聞　1095　木下亮
新美術新聞　1097　守屋雅史

PLANET STREET　2000年後に発掘された駅～まち～美術館　11.7—12.24　佐倉市立美術館
朝日夕刊　12.19　山盛英司

プラモデルパッケージと戦後の日本文化　7.15—9.4　大分市美術館

フランス印象派からエコール・ド・パリへ　AIGコレクション　10.7—11.19　長崎県美術館

プリズム：オーストラリア現代美術展　10.7—12.3　ブリヂストン美術館
ギャラリー*　259
美術手帖　890　イーデン・コーキル
産経　11.24　黒沢綾子

Printed Matteres 2006 Artists' Books　9.4—9.22　横田茂ギャラリー

プリントアートへの招待　木版画編　11.17—1.8　北海道立帯広美術館

Print of view　6.15—7.8　TKG

Edition

Project the Projectors 2006　先端芸術表現科卒業・修了制作展
1.28—2.5　横浜旧関東財務局
新美術新聞　1079　長谷川祐子

文化大革命時代のポスター展　あの過ぎ去った紅海洋の時代　5.13—7.2　ギャラリーTOM
朝日夕刊　6.16　山盛英司
読売　4.15

文化庁メディア芸術祭受賞作品展
2.24—3.5　東京都写真美術館
東京　3.4　浜野保樹

文人たちの東アジア—詩書画がつなぐ中国・朝鮮・日本—　8.25—10.1　大和文華館
書道界　202

(へ)

ヘアーデザイン展　7.1—8.20　長野県信濃美術館

平成「梅花の宴」展—近・現代の日本画にみる—　11.3—12.3　奈良県立万葉文化館
新美術新聞　1103　大矢鞆音

北京故宮博物院　清朝末期の宮廷芸術と文化　9.6—9.25　高島屋(日本橋)(長崎歴史文化博物館)
読売夕刊　9.5

ベトナム漆画アートの世界　響き合う日本・ベトナムのこころ　3.22—3.31　国際交流基金フォーラム
日経　3.28

ベルギー王立美術館展　9.12—12.10　国立西洋美術館(長崎県美術館、国立国際美術館)
美術手帖　886
朝日夕刊　10.3　高階秀爾
産経　10.25　黒沢綾子
東京　10.28　中村隆夫
読売　8.28　津屋式子
読売　9.8　幸福輝
読売　11.2　假屋崎省吾　談
読売夕刊　9.16、19、21、27　高野清見
読売夕刊　10.17　高野清見／安野光雅　談

ペルシャ絨毯の世界　シルクロードがつなぐペルシャ宮廷文化の華と戦国大名の雅　4.25—6.4　広島県立美術館

ペルシャ文明展　煌めく7000年の至宝　8.1—10.1　東京都美術館(愛知県美術館、北海道立近代美術館、福岡市博物館、大阪歴史博物館)
芸術新潮　682
朝日夕刊　7.28、8.12　渡辺延志
朝日夕刊　9.1　西田健作
読売　9.8

ヘルマン・ヘッセ　画家と詩人
4.15—5.28　世田谷文学館

ヘンなツクリのみみず文字～江戸のくずし字パーツ分解～　7.21—9.3　中野区立歴史民俗資料館

(ホ)

HORSE—北海道の馬文化—　4.28—6.25　北海道開拓記念館

ポーラ美術館の印象派コレクション展　1.2—2.26　Bunkamuraザ・ミュージアム　(美術館「えき」KYOTO、福岡市美術館)
芸術新潮　676　三浦篤
毎日　1.7　三田晴夫
毎日　1.12、15　宮澤政男

ポーランド写真の100年　ポーランド国立ウッチ美術館所蔵　7.25—8.27　渋谷区立松涛美術館
毎日夕刊　8.14　手塚さや香
読売夕刊　8.5　(前)

ポーランド写真の100年　ポーランド国立ウッチ美術館所蔵　9.1—10.22　新潟市美術館
朝日夕刊　9.28　田中三蔵

北欧からのおくりもの　子ども本のあゆみ　7.15—1.28　国立国会図書館国際子ども図書館

北斎広重の湘南—風景と人物—
7.25—9.10　茅ヶ崎市美術館

星の記憶　大和を見つめた光　7.21—8.20　大和ミュージアム

ポスト・デジグラフィ　8.12—10.15　東京都写真美術館
東京　9.2　森山朋絵

細川幽斎の生涯と歌学—肖像画にみる公武との交流—　9.9—10.9
京都府立丹後郷土資料館

ボックスアート—タミヤ編—　6.8—7.9　三菱地所アルティアムギャラリー*　254

ボックスアート　プラモデルパッケージと戦後の日本文化　7.15—9.4　大分市美術館
読売　8.17　前田恭二

ポップアート　1960's→2000's　リキテンスタイン、ウォーホルから最新の若手まで　7.8—9.3　損保ジャパン東郷青児美術館
朝日夕刊　8.4　西田健作
産経　8.11　黒沢綾子

北方文化へのまなざし—河野広道生誕100年—　2.25—3.26　北海道開拓記念館

仏の荘厳～飾り讃えるもの～　2.16—4.16　神奈川県立金沢文庫

ボロボロ　ドロドロ展　帰ってきた日本のサブ・カルチャー　10.14—1.28　ワタリウム美術館
美術手帖　890　白坂ゆり
朝日夕刊　12.26　西田健作

本の仕立て屋さん—装丁を見る愉しさ、触れる愉しさ　4.3—4.26
ポーラミュージアム　アネックス
東京　4.15　藤田一人

ポンペイの輝き　古代ローマ都市最期の日　4.28—6.25　Bunkamuraザ・ミュージアム
芸術新潮　679　三浦篤
朝日夕刊　4.21
朝日夕刊　5.23
朝日夕刊　5.26　西田健作
産経　5.30　藤田綾子
読売　6.9

“ホンモノ”たちが教科書をとびだした！—ザヴィエルや銅鐸たちにあいにいこう—　7.22—9.3　神戸市立博物館
神戸市立博物館研究紀要　23　高久智広

(マ)

舞い降りた桜　ザハ・ハディットとめぐるドイツ銀行コレクション
3.25—5.21　原美術館
STUDIO VOICE　365　児島やよい

真魚のグループ展　33回　8.16—8.22　高島屋(日本橋)
新美術新聞　1101　油井一人

蒔絵の美—かがやく漆—　4.1—5.28　畠山記念館

巻物の伝える世界—職人・由緒・儀礼—　10.25—12.15　神奈川大学横浜キャンパス

正岡子規とその時代　9.23—11.23　山梨県立文学館

眞下美佐男版画コレクション　4.28—5.28　神奈川県立近代美術館(鎌倉)
版画芸術　132

松谷みよ子の世界　4.14—6.11　姫路文学館

松本零士コレクションでつづる　漫画誕生から黄金バットの時代　1.8—2.5　逓信総合博物館

麻蓬の会5回—名所絵　東京観光・京都観光—　5.7—5.16　羽黒洞

マミフラワーデザイン展2006　花いつも—花とのくらし、みつけた。—　5.25—5.30　大丸(東京)

マリア十五玄義図　修復記念　ザビエル生誕500年　2.1—2.26　京都大学総合博物館

マリア・テレジアとマリー・アントワネット　華麗なるハプスブルク家　母と娘の物語　マリー・アントワネット生誕250周年記念　4.1—5.7　そごう美術館

丸木舟の時代—びわ湖と古代人—　7.15—9.10　滋賀県立安土城考古博物館

マンダラ　チベット・ネパールの仏たち　7.8—9.24　埼玉県立近代美術館
朝日夕刊　9.8　西田健作

(ミ)

ミイラと古代エジプト展　大英博物館　10.7—2.18　国立科学博物館
朝日　10.3　近藤二郎

三重の大昔へタイムスリップ　4.18—6.4　斎宮歴史博物館

三島古墳群の成立—初期ヤマト政権と淀川—　10.7—11.26　高槻市立しろあと歴史館

水にうつる願い　10.7—11.26　大阪府立狭山池博物館

水をめぐって、　光を追って。自然のことば、美術のかたち2　西成田育男　根本美恵　間島秀徳　山田昌宏　12.12—2.25　日立市郷土博物館

みたてとやつし　浮世絵・歌舞伎・文芸　5.10—6.1　国文学研究資料館

三井家のおひなさま　2.1—4.2　三井記念美術館
目の眼　354

密教のほとけ—曼荼羅・仏像・仏画—善通寺創建千二百年記念　4.29—6.15　善通寺宝物館

3つのヒューマン・スケープ—ウエスト・コーストからの眼差し—　9.13—10.22　多摩美術大学美術館

「mite！」おかやま　アメリア・アレナスプロデュース　見るたのしさ・体感・展覧会　7.21—8.20　岡山県立美術館

水戸刀の魅力　埴輪の美　4.5—5.21　茨城県立歴史館

緑いきいき！岐阜の森　開館30周年記念　4.28—6.25　岐阜県博物館

南の貝のものがたり　7.29—9.3　九州国立博物館

美濃古陶(桃山時代～江戸時代前期)と中国・東南アジアのやきもの展　4.1—5.28　岐阜県陶磁資料館
目の眼　357

美濃ゆかりの赤羽刀　1.4—2.12　岐阜県博物館

み仏の美とかたち—大分の仏教美術—四〇〇年の輝き—開館25周年　10.20—12.3　大分県立歴史博物館
デアルテ　23　渡辺文雄

宮沢和史の世界　9.30—11.26　世田谷文学館

宮武外骨—もう一人の外骨—　11.18—2.18　いわき市立草野心平記念文学館

雅びの宴　有栖川宮家・高松宮家伝来　明治・大正・昭和三代のボンボニエールと食器　9.25—11.26　大阪青山歴史文学博物館

雅・みやび—宮中装束と根付　高円宮家所蔵　12.16—1.29　島根県立石見美術館

見ること／作ることの持続　後期モダニズムの美術　6.29—7.29　武蔵野美術大学美術資料図書館

魅惑のシルクロード展　中央アジアのオアシス都市、ヒワ・サマルカンド・ブハラ、豊饒なる東西文明の交差点　5.20—7.9　北海道立函館美術館(北海道立帯広美術館)

民芸運動の巨匠　日本民芸館創設70周年記念　7.4—9.24　日本民芸館

民芸が育んだ人間国宝　1.7—3.26　日本民芸館

(ム)

Move on Asia 2006 Clash and Network　4.29—5.28　トーキョーワンダーサイト渋谷ギャラリー*　254

昔の旭は？　身近なあさひの文化財～旭の埋蔵文化財　9.12—12.3　大原幽学記念館

武蔵野美術大学助手研究発表展　1.10—1.20　武蔵野美術大学美術資料図書館

無名会日本画展15回　6.4—6.20　松屋(日本橋)
新美術新聞　1094　油井一人

(メ)

名画の花束　モネ、ルノワール、ピカソ、ローランサン…　4.22—5.21　群馬県立近代美術館

迷宮美術館ミステリー・ツアー　1.11—4.19　北海道立帯広美術館

迷宮＋美術館—コレクター砂盃富男が見た20世紀美術—　9.17—10.22　高崎市美術館／群馬県庁・昭和庁舎特別展示室(渋谷区立松涛美術館)
版画芸術　132

明治大阪の錦絵新聞　大衆ジャーナリズムの開花　11.3—12.17　伊

丹市立美術館

明治宰相列伝 10.7—10.26 国立公文書館

名城 宇都宮城—しろとまちの移り変わり— 10.14—11.26 栃木県立博物館

明星大学造形芸術学科平成17年度卒業制作展 2.10—2.12 明星大学青梅校内

めでた尽くし 1.4—2.5 徳川美術館

(モ)

萌の会日本画展２回 11.29—12.5 松坂屋(銀座)
新美術新聞 1113 油井一人

モードとしての編み物 10.3—10.8 三越(日本橋)

木彫フォークアートおおや公募展13回～ふるさとの命の姿～ 9.27—10.11 おおやホール

もじゃもじゃペーターとドイツの子どもの本 1.28—7.2 国立国会図書館国際子ども図書館

モスクワ美術展「メッセージ」 7.4—8.20 福野文化創造センターヘリオス

モダン・パラダイス 大原美術館＋東京国立近代美術館 東西名画の饗宴 8.15—10.15 東京国立近代美術館
新美術新聞 1096 中林和雄
美術手帖 885
朝日夕刊 10.5 田中三蔵
産経 9.13 黒沢綾子
東京 9.2 中村隆夫
日経 7.15
日経夕刊 8.22
読売 8.31 高野清見

物語絵 奈良絵本と絵巻にみる古人のこころ 海の見える杜美術館開館１周年記念 前期 7.1—8.27 海の見える杜美術館

もの派—MONO-HA 1.25—5.14 愛媛県美術館
カンフォロ 28 杉山はるか

モノを運ぶ～鹿児島とアジアと～ 5.16—9.10 鹿児島県歴史資料センター黎明館

桃山—華麗なる黄金の世紀— 10.7—11.12 滋賀県立琵琶湖文化館

森鷗外と美術 7.14—8.28 島根県立石見美術館(和歌山県立近代美術館)
芸術新潮 684 三浦篤
美術研究 391 青木茂

森鷗外と美術 11.7—12.17 静岡県立美術館
美術手帖 891 北澤憲昭
朝日夕刊 12.5 西田健作
読売 12.15 前田恭二

埋蔵文化財調査資料展23回 盛岡を発掘する 平成17年度調査速報 2.1—3.21 盛岡市遺跡の学び館

「諸岡五十戸」木簡と横浜—大宝律令以前の支配システムを探る— 1.28—3.19 横浜市歴史博物館

(ヤ)

やおの古墳時代—古式土師器のうつりかわり— 10.4—3.2 八尾市立埋蔵文化財調査センター

八木重吉の詩を描く 10.25—11.8 堺市民センター
毎日 11.5 古関俊樹

やきものコレクション名品展～古陶磁から現代陶芸まで～ 9.5—9.24 明石市立文化博物館
陶説 642 稲原昭嘉

やきものの狛犬 愛知県陶磁資料館コレクション 1.5—3.26 大阪市立東洋陶磁美術館
目の眼 353

やきものの見方シリーズ２ やきものの成形 2.8—2.26 佐賀県立九州陶磁文化館

柳宗玄の世界～「学士会会報」表紙を飾った布たち～ 8.21—8.30 学士会館
芸術新潮 682

柳宗悦と朝鮮民画 日本民芸館創設70周年記念 10.3—12.21 日本民芸館

柳宗悦の心と眼 柳宗悦の民芸と巨匠たち 4.15—5.21 山梨県立美術館

ヤマ・サト・マチの民間信仰～具現化された民衆の心～ 10.29—11.12 元興寺総合収蔵庫

邪馬台国時代の阿波・讃岐・播磨と大和 9.16—11.12 香芝市二上山博物館

山種美術館コレクション展 美しき日本の情景 10.1—11.5 宇都宮美術館
新美術新聞 1101 青木理

やまとの匠 近世から現代まで 6.10—7.9 奈良国立博物館

大和を掘る24 2005年度発掘調査速報 7.8—8.20 奈良県立橿原考古学研究所付属博物館

やまなしはじめて物語 7.25—8.20 山梨県立博物館

闇に漕ぐ舟 建畠覚造文化功労者顕彰記念展 石井厚生 建畠覚造 野田裕示 堀浩哉 村井進吾 2.13—2.25 ギャラリー山口／ギャルリー東京ユマニテ
朝日夕刊 2.17 田中三蔵
朝日夕刊 2.21 三田晴夫
読売夕刊 2.20 前田恭二

弥生時代のムラ—葉山川流域の弥生遺跡— 9.9—10.22 栗東歴史民俗博物館

弥生人躍動す—池上曽根と吉野ヶ里— 10.7—12.3 大阪府立弥生文化博物館

弥生画帖—弥生人が描いた世界— 4.22—7.2 大阪府立弥生文化博物館

弥生の人びとの眠る場所—方形周溝墓と環濠集落— 4.8—6.25 横浜市歴史博物館

シリーズここまでわかった考古学 弥生ムラの風景—八尾南遺跡の最新成果— 2.18—3.21 大阪府立弥生文化博物館

(ユ)

雄雄会日本画展８回 5.10—5.16 松屋(銀座)
新美術新聞 1091 油井一人

I Love Art 8 写真展 夢の中からみつけた街 3.3—6.4 ワタリウム美術館
産経 4.24 上塚真由

夢のなかの自然—昭和初期のシュルレアリスムから現代の絵画へ— 9.16—11.26 群馬県立館林美術館
朝日夕刊 11.7 西田健作
揺らぐ近代 日本画と洋画のはざまに 11.7—12.24 東京国立近代美術館(京都国立近代美術館)
朝日夕刊 12.7 田中三蔵
東京 12.9 中村隆夫
日経 12.6 宝玉正彦
読売 12.14 前田恭二

(ヨ)

秋田の現在I 洋画界の精鋭たち—自由美術・秋田の軌跡— 9.2—10.22 秋田県立近代美術館
洋画の名品 京都国立近代美術館所蔵 7.28—8.27 そごう美術館
写大ギャラリー・コレクション展 ヨーロッパの写真家II 1970—2000 11.26—12.20 写大ギャラリー
芸術新潮 685
横浜の礎(いしずえ)・吉田新田いまむかし 吉田新田開発350周年記念 10.7—11.26 横浜市歴史博物館
横浜美術館がやってきた！横浜市民ギャラリーあざみ野開館1周年記念 横浜美術館収蔵作品 11.1—11.12 横浜市民ギャラリーあざみ野
与謝野寛・晶子展 10.13—11.26 姫路文学館
吉野ヶ里—見えてきた倭人伝の世界— 6.6—9.10 香川県歴史博物館
四人展—それぞれの人物像— 9.11—9.16 銀座スルガ台画廊
余白の美～象徴空間の魅力～ 10.17—12.3 松伯美術館
甦る古の輝き—古墳時代の金・金銅製装身具— 10.7—11.26 下関市立考古博物館
よみがえる鎌倉の学問 称名寺聖教重要文化財指定記念 12.7—2.12 神奈川県立金沢文庫
よみがえる源氏物語絵巻 平成復元絵巻のすべて 2.18—3.26 五島美術館
博物館研究 457 名児耶明
東京 3.4 藤田一人
よみがえる武田信玄の世界 開館記念特別展 3.28—5.14 山梨県立博物館
40年のあゆみと美術 コレクションにみる文化会館の足跡 2.11—2.26 香川県文化会館

(ラ)

Life ライフ 7.22—10.9 水戸芸術館現代美術ギャラリー
美術手帖 885
美術手帖 887 後藤繁雄
朝日夕刊 8.10 山盛英司
赤と黒の芸術 楽茶碗 開館1周年記念 9.16—11.12 三井記念美術館
芸術新潮 683
朝日夕刊 9.22 山盛英司
東京 10.7 藤田一人
日経 9.27 竹田博志
裸婦を見るまなざし 12.16—3.11 岩手県立美術館
蘭島閣美術館所蔵名品展—華麗なる巨匠たちの饗宴— 7.1—8.20 一宮市三岸節子記念美術館
ランビエンテ修復芸術学院 絵画技術 9.28—9.30 ナウ・サロン

(リ)

リアル・ユートピア～無限の物語 11.23—3.21 金沢21世紀美術館
美術手帖 889
LIONCEAUX～現代洋画の俊英たち～ 8.15—8.21 三越(日本橋)
アート・トップ 211
Re : search オーストラリアと日本のアート・コラボレーション 11.26—12.25 せんだいメディアテーク
李朝菓子型と女性の身のまわり 1.7—4.2 高麗美術館
リトルストーリー展 3.17—3.28 複眼ギャラリー
美術手帖 880 酒井千穂
琉球王国の煌めき 国宝琉球国王尚家関係資料 那覇市歴史博物館開館記念 7.8—8.30 那覇市歴史博物館
琉球の美 3.28—5.28 福岡市美術館
琉球八景—北斎の描いた琉球— 8.12—8.27 浦添市美術館
良寛と慈愛の世界 新潟市芸術祭2006 10.16—12.19 敦井美術館
両洋の眼展2006 2.14—2.19 三越(日本橋)(天童市美術館、尼崎市総合文化センター、河口湖美術館)
緑雨の景観—美しき日本の自然— 5.13—6.25 山種美術館
relations 銀座スルガ台画廊ゆかりの国画会作家展 10.16—10.21 銀座スルガ台画廊
写真の現在3 臨界をめぐる6つの試論 10.31—12.24 東京国立近代美術館
美術手帖 890 杉田敦
読売夕刊 12.2 (前)
琳派展IX 江戸琳派 抱一・其一の粋 9.15—12.10 細見美術館

(ル)

√roots—わたしの中の日本的なるもの— 6.15—6.24 法然院ギャラリー* 254
ルーブル美術館—古代ギリシア芸術・神々の遺産— 6.17—8.20 東京芸術大学大学美術館
朝日夕刊 7.21 山盛英司
東京 8.19 中村隆夫
読売夕刊 6.14
読売夕刊 6.26、29、30 前田恭二
ルッソーの会 11.6—11.11 ギャラリイK
RUBICON展6回 広島市立大学芸術学部絵画専攻(油絵)卒業生選抜展 7.6—7.12 天満屋(広島)
新美術新聞 1102 油井一人

(レ)

霊験仏—鎌倉人の信仰世界— 10.5—12.3 神奈川県立金沢文庫

田原市博物館コレクション展　歴史と美術　4.22—5.21　田原市渥美郷土資料館

歴史の中のあそびとまなび　7.21—9.3　岡山県立博物館

歴史のなかの鉄砲伝来　種子島から戊辰戦争まで　10.3—11.26　国立歴史民俗博物館

歴史を彩った人びと—日本武尊・義経・信長・秀吉・家康…—　1.28—3.5　山種美術館

歴の会　9.25—9.30　銀座スルガ台画廊

れきはくコレクション　9.7—11.12　香川県歴史博物館

レプリカ　真似るは学ぶ　3.1—5.20　INAXギャラリー(INAXギャラリー大阪、INAXギャラリー名古屋)

煉瓦のまち　タイルのまち—近代建築と都市の風景—　10.7—12.11　大阪歴史博物館
建築史学　48　酒井一光

(ロ)

ローマを夢見た美少年　天正遣欧使節と天草四郎　開館1周年記念　10.21—12.13　長崎歴史文化博物館

六世中村歌右衛門　当たり役を中心に　3.25—4.28　早稲田大学演劇博物館

六耀会二回　6.19—6.24　銀座スルガ台画廊

ロダンの系譜　近代西洋彫刻の流れ　9.16—11.3　姫路市立美術館(福井市美術館)

ロマノフ王朝と近代日本展　版画と写真でたどる日露交流—ロシア国立図書館所蔵品より　日露修好150周年記念　9.9—11.5　新潟県立万代島美術館(長崎歴史文化博物館、静岡アートギャラリー、北海道立函館美術館)
読売　10.5　前田恭二

(ワ)

ワイルドライフアート展2006　絶滅危惧線上の生きものたち／日本　9.20—9.24　新宿御苑インフォメーションセンターアートギャラリー
読売　9.20

我が心の陶芸　Tomo Collection　11.2—2.25　菊池寛実記念智美術館
産経　12.8　深堀明彦
日経　11.29　竹田博志

和歌祭—祭を支えた人々、祭に込めた思い—　4.29—6.4　和歌山県立博物館

和ガラスの心—勾玉からぴいどろ・ぎやまんまで—　7.15—8.20　MIHO MUSEUM

輪島と門前　新たな歩み　7.20—8.28　石川県輪島漆芸美術館

私のいる場所　新進作家展Vol.4　ゼロ年代の写真論　3.11—4.23　東京都写真美術館
芸術新潮　677
朝日夕刊　4.6　山盛英司
毎日夕刊　3.3　米本浩二

吾、天下を佐治す—大王と豪族—　4.22—6.4　滋賀県立安土城考古博物館

吾の会4回　吾妻美学校絵画作品展　3.28—4.2　東京銀座画廊

The Wonder Box　ユニヴァーシティ・ミュージアム合同展　11.4—12.17　東京芸術大学大学美術館

作家展

(ア)

自然／映像　PHYSIS／IMAGE[相内啓司]　9.5—9.16　人形町エキシビットスペース・ヴィジョンズ

靉嘔　七福神　2.13—3.4　南天子画廊

虹のかなたに　靉嘔 AY-O 回顧 1950—2006　3.1—3.30　福井県立美術館
美術手帖　880　楠見清

相原慶樹展　ギャラリイK推薦作家展『知性の触覚2006　それぞれの他者』　1.16—1.25　ギャラリイK

Yoshiki Aihara Exhibition sincerity　7.10—7.15　ギャラリイK

亜欧堂田善の時代　3.4—4.16　府中市美術館
アート・トップ　210　野地耕一郎

青木淳個展　taro nasu bambi　11.4—1.28　TARO NASU(大阪)
芸術新潮　686

青木野枝展　5.15—6.3　ギャラリー21＋葉
毎日夕刊　5.22　三田晴夫
読売夕刊　5.20

青木美弥子展　Rainbow Series II　10.9—10.14　シロタ画廊

青木美弥子展　開園100周年イベント　11.4—11.10　三渓園保勝会

青木龍山作陶展　文化勲章受章記念　9.19—9.25　三越(日本橋)
新美術新聞　1098　田代準治

青島三郎展　2.16—2.21　紀伊国屋画廊

青柳ナツエ個展　4.10—4.15　シロタ画廊

埼玉ゆかりの芸術家～近代・現代の埼玉の美術／特集　青柳ナツエ～　7.15—10.29　サトエ記念21世紀美術館

色彩の詩人　青山義雄　1.22—3.5　茅ヶ崎市美術館

赤木美日展　10.7—10.14　ギャラリー朋

赤沢清和・新谷良造遺作展　ガラスに懸けた生涯　5.12—6.4　岡山市立オリエント美術館

秋元典子　11.6—11.11　ギャラリー21＋葉

秋山さやか「あるく・時間のあしあと」　1.14—3.11　高橋コレクション

秋山庄太郎回顧展　異国情緒への憧憬　9.13—9.18　高島屋(横浜)

秋山俊也　日光アール・ブリュット　創造の根源を求めて　7.15—9.10　小杉放菴記念日光美術館

秋山正仁展　10.16—10.21　ギャラリイK

トリッキング・ホップ　秋山祐徳太子　新作ブリキ彫刻とパフォーマンスの記録　1.16—2.4　ギャラ

リー58
毎日夕刊　1.31　三田晴夫
読売夕刊　1.18　芥川喜好

こどものための収蔵作品展　なんてったって浅井忠！　7.22—9.24
佐倉市立美術館

浅井忠と関西美術院展　8.26—10.9
府中市美術館
朝日夕刊　9.14　田中三蔵
東京　9.29　服部展和

ドキュメント福島　日本の視点、福島との対話［朝岡あかね］　7.29—8.27　福島県立美術館

浅田政志「浅田家」展　10.31—11.19
ギルドギャラリー
美術手帖　890　酒井千穂

浅野竹二展　木版画—ユーモアと詩情—　9.11—9.29　ギャラリー新居（東京）

trait d'union21 VOL.6　浅羽昌二展　メディアアーティストコラボレーション　7.4—7.15　表参道画廊

グンナール・アスプルンド—癒しのランドスケープ—　2.11—4.16
松下電工汐留ミュージアム

Mayu Aso : TORSO 2006　［麻生マユ］　12.4—12.16　サエグサ画廊

与勇輝　人形芸術の世界　パリ・バカラ美術館開催記念展　3.15—3.27　松屋（銀座）
産経　3.16　堀晃和

足立知美　2004—2005　1.16—1.28　ギャラリー新居（大阪）（ギャラリー新居（東京））

現代アーチストセンター36回　阿部隆展　8.22—8.30　東京都美術館

阿部未奈子展　5.26—6.24　ベイスギャラリー

境界の風景　阿部佳明・市川美幸・滝波重人　2.25—3.26　横須賀市文化会館市民ギャラリー

天野裕夫彫刻展　5.11—5.23　椿近代画廊
ギャラリー*　253

雨宮庸介「トランスレーターズ・ハイ」展　9.9—10.14　Yuka Sasahara Gallery
美術手帖　888　宮村周子

所蔵作品展1部　草間彌生・荒川修作・篠原有司男　12.11—1.14
千葉市美術館

荒木幸史の世界展　光と風—記憶の風景　9.28—10.3　大丸（東京）

荒木経惟展『色淫女』　5.25—6.17
タカ・イシイギャラリー
STUDIO VOICE　366　内田真由美

荒木経惟—東京人生　10.17—12.24
江戸東京博物館
新美術新聞　1101　内田真由美
STUDIO VOICE　372
産経　11.29　重松明子

黙示　新正卓展　武蔵野美術大学退任記念　11.16—12.16　武蔵野美術大学美術資料図書館

有馬カヲル　『視覚文学論』　6.6—6.24　ギャラリーHONJOH
STUDIO VOICE　367

ジャン（ハンス）・アルプ　6.12—8.25　Fuji Xerox Art Space

＊ex・pose '06　粟津潔デザイン曼荼羅　4.29—6.4　印刷博物館P&Pギャラリー
朝日夕刊　5.25　田中三蔵
読売　5.11　高野清見

粟津杜子展　イタリア　4.3—4.12
番町画廊

安星金展　刀、そして武力—古川美佳連続企画〈21世紀の東アジア文化論〉vol.1　5.30—6.17　GALLERY MAKI
美術手帖　885　毛利嘉孝

収蔵品展　彫刻を撮る2—安斎重男による地獄の門—　7.26—9.3
静岡県立美術館

安西水丸＋和田誠　PARTNERS
3.27—4.1　SPACE YUI
毎日夕刊　3.30　手塚さや香

ダニエル・アンダーソン「不良外人」
8.7—8.26　ギャルリ・オーブ
美術手帖　887　酒井千穂

現代美術コンクール受賞作家展第2回　Antenna×ヤノベケンジ『森で会いましょう』　3.4—3.18　大阪府立現代美術センター
STUDIO VOICE　364

安藤郁子陶展　フクンデコエル
11.21—12.9　SILVER SHELL
芸術新潮　685

安東菜々　11.13—11.25　スペース11

（イ）

李在馥展 Lee Jae Bok　8.7—8.12
ギャラリー21＋葉

ロサリア・イアゼッタ「微笑みはあなたの心次第・他には由らない」
11.11—12.3　双ギャラリー

飯島一次展　純粋な漂白の詩魂
6.5—6.30　フジカワ画廊（大阪）

飯田善國—版画と彫刻　詩の光・色のかたち　9.30—11.26　町田市立国際版画美術館（足利市立美術館）
朝日夕刊　11.14　西田健作

飯田竜太展　6.13—7.2　(g)
美術手帖　885　高嶋雄一郎

飯原一夫絵画展—描かれた阿波の道—　7.15—8.27　徳島市立徳島城博物館

イリナ・イオネスコ　ロマンチカ写真展　3.6—4.4　美蕾樹
東京　3.25　中村隆夫

イリナ・イオネスコ展　10.27—11.4
ときの忘れもの

池内晶子　岩瀬殉一郎　版画展
1.23—2.4　ギャラリー21＋葉

損保ジャパン東郷青児美術館大賞と池口史子展　9.16—10.1　ひろしま美術館

池田太一展　愛おしき人々　9.11—9.16　シロタ画廊

池田龍雄展　3.13—4.1　ギャラリー58
毎日夕刊　3.28　三田晴夫

池田龍雄展—場の位相　ワームホール・線—　12.7—12.26　ギャルリー東京ユマニテ
朝日夕刊　12.21　田中三蔵

池田満寿夫展　1966年ヴェネチア・ビエンナーレ大賞受賞作品他
3.13—3.25　番町画廊

池田学展「景色」　9.13—10.14　ミヅマアートギャラリー
朝日夕刊　9.26　西田健作

きこえますか？　池田真弓展　9.14—9.27　アートギャラリー閑々居

池田宗弘彫刻展　旅人・雨上がる—過ぎて来た村—　12.12—7.31
今治市大三島美術館／ところミュージアム大三島

Casual Meeting—柴田敏雄キュレーションによる—[池田葉子]　5.13—6.18　双ギャラリー

池田良二新作銅版画展　Circle・円環　6.5—6.30　南天子画廊

池辺政人展　方法による作品—無限　12.5—12.10　ギャラリー16

イケムラレイコ展「うみのこ　u mi no ko」　9.23—12.25　ヴァンジ彫刻庭園美術館
毎日夕刊　10.16　三田晴夫

イケムラレイコ展「パシフィック」　9.26—11.4　SHUGOARTS
毎日夕刊　10.16　三田晴夫
読売夕刊　9.30　(前)

伊佐雄治展[モノタイプからドローイングへ]　10.30—11.4　シロタ画廊

惠俊彦展　1.9—1.14　銀座スルガ台画廊

伊崎圭展　9.4—9.9　銀座スルガ台画廊

伊佐治雄悟展—working—　12.11—12.16　ギャラリイK

政田武史＋石井友人展　4.8—4.28
ワコウ・ワークス・オブ・アート
芸術新潮　678

石井林響展　房総ゆかりの画家　後援団体「総風会」を中心に　10.3—10.28　城西国際大学水田美術館

石内都：mother's　9.23—11.5　東京都写真美術館
朝日　9.20
朝日夕刊　10.19　田中三蔵
産経　10.25　黒沢綾子
毎日夕刊　10.25　飯沢耕太郎

石踊達哉展　9.12—10.15　渋谷区立松涛美術館

石川九楊の世界展　4.13—4.25　大丸ミュージアムKYOTO
墨　179

石川賢治　月光写真　満月の光だけで撮った神秘の世界　8.17—9.5
大丸ミュージアム(東京)

「不可視」　石川智弥　10.2—10.9
東京芸術大学取手キャンパス

石阪春生展　5.20—7.30　神戸市立小磯記念美術館

飛べなくなった人[石田徹也]　11.10—12.28　駿府博物館
朝日夕刊　11.28　西田健作

石田智征「理念室～linen room～」展　2.21—3.5　ハートフィールドギャラリー
美術手帖　880　金井直

石原裕実展　創形美術学校研究科高澤賞受賞　11.13—11.18　ギャラリー21＋葉

石本正　我がイタリア　3.11—6.25
石正美術館

思い遙かに　石本正新作展　3.29—4.4　高島屋(日本橋)(石正美術館)
日経　4.3　竹田博志

石元康博フォト・ギャラリー　冬のシカゴ　高知県立美術館コレクション　10.26—12.24　高知県立美術館

画家泉茂の写真展　ニューヨーク60年代—街はキャンバスだったあの頃—　5.27—6.25　滋賀県立近代美術館

泉孝昭　7.4—8.5　TARO NASU(東京)
読売夕刊　7.15　(前)

レスポワール展40回　2006年新人選抜　泉東臣個展　2.6—2.11
銀座スルガ台画廊

磯井正美展　蒟醤　2.24—3.26　高松市美術館
新美術新聞　1080　住谷晃一郎

伊勢の画人　磯部百鱗　没後百年記念　7.20—8.31　神宮徴古館

板谷波山とその系譜—重要文化財指定記念—　7.18—9.30　敦井美術館

市川晶子展　さまざまな眼149　3.2—3.28　かわさきIBM市民文化ギャラリー

境界の風景　阿部佳明・市川美幸・滝波重人　2.25—3.26　横須賀市文化会館市民ギャラリー

市川裕司—genetic—　6.26—7.1
コバヤシ画廊
アート・トップ　211　(初)

市口清一展　さまざまな眼150　4.27—5.23　かわさきIBM市民文化ギャラリー

市野雅彦・中島宏—2005年度日本陶磁協会賞受賞記念—　7.26—8.3　和光ホール

～砂沼大橋「飛翔」の作者　彫刻家市村緑郎～　6.24—8.27　下妻市ふるさと博物館
下妻市ふるさと博物館研究紀要
2　武笠孝行

～竜宮伝説～伊東昭義個展　7.29—9.3　酒田市美術館
アート・トップ　210　(根)

「伊藤真乗の目と手」展　生誕100年記念　8.20—8.30　東京美術倶楽部
毎日　8.25
毎日夕刊　8.29　手塚さや香

伊東深水展　4.1—4.23　美術館「えき」KYOTO(茨城県天心記念五浦美術館、弘前市立博物館)

「素顔の伊東深水」展～Y氏コレクションから　4.8—6.4　目黒区美術館
目の眼　356

伊東深水の世界　艶麗な線の画家　9.23—11.5　三重県立美術館

伊藤草白展　生誕110年記念　4.29—6.4　笠岡市立竹喬美術館

三つの個展　伊藤存×今村源×須田悦弘　6.27—9.18　国立国際美術館
STUDIO VOICE　370　原久子
美術手帖　883
日経　7.16　(稔)

伊藤隆道展　退任記念　1.19—2.5
東京芸術大学大学美術館

伊藤隆道　光・動く彫刻　4.5—5.14　北海道立近代美術館

伊東豊雄　建築　新しいリアル　10.7—12.24　東京オペラシティアートギャラリー(せんだいメディアテーク、神奈川県立近代美術館(葉山))
芸術新潮　684
産経　12.20　黒沢綾子

伊藤彦造追悼—天才絵師100年の軌

跡―　7.1―9.24　弥生美術館
伊藤誠展　9.4―9.23　村松画廊
毎日夕刊　9.11　三田晴夫
Casual Meeting―柴田敏雄キュレーションによる―[伊奈英次]　5.13―6.18　双ギャラリー
伊奈英次展―都市のメカニズムを撮る　10.31―12.27　福岡市美術館
ラスコーの夢をみた―写真―稲憲一郎・倉重光則・みわはるき　2.20―3.11　SPC GALLERY
乾露予・清水真奈二人展　12.4―12.9　銀座スルガ台画廊
井上長三郎　生誕100年記念
10.17―10.28　Gallery olive eye東京　10.21　藤田一人
井上ゆかり　ツナギメの住人　1.9―1.14　ギャラリイK
猪熊弦一郎―歌う色彩・踊るかたち―香川県文化会館所蔵作品　12.9―1.21　香川県歴史博物館
今給黎久美子展　ギャラリイK推薦作家展『知性の触覚2006　それぞれの他者』　2.16―2.25　ギャラリイK
今沢正展　10.2―10.21　GALLERY TERASHITA
今野央輔展　2.20―3.4　ギャラリー21＋葉
芸術新潮　676
朝日夕刊　3.2　田中三蔵
三つの個展　伊藤存×今村源×須田悦弘　6.27―9.18　国立国際美術館
STUDIO VOICE　370　原久子
美術手帖　883
日経　7.16　(稔)
入江明日香展　第4回池田満寿夫記念芸術賞大賞受賞記念　4.17―4.29　シロタ画廊／番町画廊
岩井純　作陶30周年記念展　9.27―10.3　松屋(銀座)
岩尾恵都子展　IWAO Etsuko new works 2006　4.3―4.22　ギャルリー東京ユマニテ
芸術新潮　678
毎日夕刊　4.17　三田晴夫
岩尾恵都子展　4.10―5.10　第一生命南ギャラリー
芸術新潮　678
岩切裕子　新作展　bibliotheca lunae　月の図書館　6.12―6.24　シロタ画廊
ARTISTS ON BOARD　2つの展覧会[岩熊力也]　11.15―1.12　TAMADA PROJECTS ART SPACE
美術手帖　890　成相肇
岩崎タクジ展　勝者とウィンナワルツを―福住廉連続企画〈21世紀の東アジア文化論〉vol.2　6.20―7.8　GALLERY MAKI
美術手帖　885　毛利嘉孝
いわさきちひろ展　10.6―11.5　富山県水墨美術館
池内晶子　岩瀬殉一郎　版画展
1.23―2.4　ギャラリー21＋葉
岩田専太郎　挿絵画壇の鬼才　1.3―3.28　弥生美術館
朝日夕刊　2.3　山盛英司
いわむらかずおの世界　絵本・自然・子ども…　12.6―1.28　武蔵野市立吉祥寺美術館

(ウ)

ビル・ヴィオラ：はつゆめ　10.14―1.8　森美術館(兵庫県立美術館)
芸術新潮　684
STUDIO VOICE　371　児島やよい
美術手帖　887
美術手帖　889　難波祐子
朝日夕刊　10.10　帯金章郎
産経　12.6　島敦彦
毎日夕刊　11.16　三田晴夫
読売　11.23　前田恭二
ウィルコンさんの動物ファンタジー　ポーランドの絵本画家　ヨゼフ・ウィルコンの世界　7.8―10.9　うらわ美術館
ピーター・ウー展　10.21―11.11　小山登美夫ギャラリー
ジャン・クロード・ウーターズ：ポートレート展　6.22―7.21　丸の内ギャラリー
アート・トップ　211　(根)
産経　7.7　藤田綾子
イングリット・ヴェーバー「schiefer」　11.4―12.16　タグチファインアート
芸術新潮　685
上田豊治　きりえの世界II　1.31―2.5　三越(日本橋)
読売　2.2
CHAMBER of CURIOSITIES　東京大学コレクション―写真家上田義彦のマニエリスム博物誌　11.3―1.28　東京大学総合研究博物館
アート・トップ　213　(根)
美術手帖　891　山内宏泰
日本画二人展×2　2：鈴木忠実・上野未央展　6.13―7.9　大分市美術館
時間の庭へ・植松奎二展　6.10―7.30　西宮市大谷記念美術館
春の雅　上村松園・松篁・淳之
4.2―6.4　松伯美術館
夏から秋へ　誘われる世界～上村松園・松篁・淳之～　8.8―10.1　松伯美術館
ジェームス・ウェリング　「New Photographs」　1.18―3.5　ワコウ・ワークス・オブ・アート
芸術新潮　675
ヴィム&ドナータ　ヴェンダース写真展　尾道への旅　4.29―5.7　表参道ヒルズ
産経　5.2　堀晃和
アンディ・ウォーホル展　4.21―5.13　ときの忘れもの
for four hands[ジョーダン・ウォルフソン]　9.12―10.14　ワコウ・ワークス・オブ・アート
STUDIO VOICE　370　大森俊克
有佐祐樹「みんなうなずいてくれる」展　5.27―7.1　CAS特定非営利活動法人キャズ
美術手帖　885　酒井千穂
宇佐美圭司展　「人型／かたちを暴動へ還しに」　9.25―10.21　南天子画廊
毎日夕刊　10.2　三田晴夫
潮田登久子写真展　本の景色
10.28―11.5　明治学院大学図書館
芸術新潮　684
宇治山哲平展―絵に遊び、絵に憩う

2.4—4.9　東京都庭園美術館
朝日夕刊　3.28　西田健作
産経　3.1　藤田綾子
日経　2.20　竹田博志
毎日夕刊　2.13　三田晴夫
読売夕刊　3.8　芥川喜好

INAXギャラリー特別展10 daysセレクション—予兆のかたち8—碓井ゆい　8.19—8.29　INAXギャラリー2

浮世絵美人画の魅力　国貞・国芳・英泉　高橋博信コレクション受贈記念[歌川国貞・国芳]　2.7—3.12　北海道立近代美術館

明治の浮世絵—歌川派の巨匠　芳年と国周—　6.24—7.30　町田市立国際版画美術館

初代広重　名所江戸百景　復刻完成記念[歌川広重]　2.18—3.26　江戸東京博物館
読売　2.10

北斎・広重の東海道　浮世絵版画の楽しみ　4.8—5.28　和泉市久保惣記念美術館

広重・北斎・歌麿　UKIYO絵—眠りから覚めた秘蔵作品初公開—　4.23—5.21　石川県立美術館

広重　東海道五十三次のいろいろ　6.1—6.25　太田記念美術館
産経　6.13　堀晃和

広重　名所江戸百景—江戸切絵図と現代絵地図で辿る119名所—　6.27—9.24　とちぎ蔵の街美術館

広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展～歌麿・写楽から幕末バラエティーまで～　7.22—8.27　茨城県天心記念五浦美術館

東海道・木曾街道　広重二大街道浮世絵展　9.5—10.9　千葉市美術館(佐川美術館、郡山市立美術館)
読売　9.21　前田恭二

内海聖史個展　三千世界　9.8—9.30　ヴァイスフェルト
毎日夕刊　9.22　三田晴夫

内倉ひとみ「光の未発に」展　2.16—2.28　アートギャラリー閑々居
芸術新潮　676

内田あぐり　この世でいちばん美しい場所、あるいは—　10.14—12.3　平塚市美術館
朝日　11.16　田中三蔵
東京　11.4　藤田一人
日経　11.22　宝玉正彦

内田亜里「mirror model」展　5.22—5.27　MUSÉE F
美術手帖　885　高嶋雄一郎

内海伸彦展　4.24—5.6　ギャラリイK

梅佳代写真展「シャッターチャンス祭り」　8.22—9.24　リトルモア地下
芸術新潮　683

梅原龍三郎　色彩の画家　5.16—5.28　三越(日本橋)
読売夕刊　5.13　嶋田華子

浦上玉堂　9.29—10.29　岡山県立美術館
日経　10.11　竹田博志

浦上玉堂　11.3—12.3　千葉市美術館
書道界　204
新美術新聞　1104　松尾知子
朝日夕刊　11.17　山盛英司
産経　11.29　黒沢綾子
日経夕刊　11.21　宝玉正彦
読売　11.16　前田恭二

ウラサキミキオ　3.27—4.1　ギャラリイK

明治の彫金—海野勝珉とその周辺　9.23—12.10　宮内庁三の丸尚蔵館

(エ)

瑛九展17回　9.15—9.30　ときの忘れもの

H.K展　10.2—10.7　ギャラリイK

京焼の名工　永楽保全・和全　4.11—7.2　三井記念美術館

越後しの展　ギャラリイK推薦作家展『知性の触覚2006　それぞれの他者』　2.27—3.8　ギャラリイK

エッシャーの不思議世界　ハウステンボス美術館コレクションによる　7.22—8.27　いわき市立美術館

スーパーエッシャー展　ある特異な版画家の軌跡　11.11—1.13　Bunkamuraザ・ミュージアム
芸術新潮　685
新美術新聞　1107　宮澤政男
美術手帖　889
朝日夕刊　12.22　山盛英司
東京　12.9　結城昌子
日経　11.19　(白)
読売夕刊　11.4、12.26　宮澤政男

昭和史の風景　江成常夫写真展「偽満洲国・鬼哭の島」／神奈川新聞は「戦争」をどう伝えたか　8.1—9.24　日本新聞博物館
毎日夕刊　8.15　手塚さや香

その男・榎忠　2.11—4.16　KPOキリンプラザ大阪
STUDIO VOICE　363

江里康慧・江里佐代子展　仏像と截金～今、その語りかけるもの　11.15—11.25　和光ホール
朝日　11.14

Your Constants are Changing[オラファー・エリアソン]　5.31—7.8　ギャラリー小柳
毎日夕刊　6.26　三田晴夫

遠藤彰子展　Akism—生命を謳う　7.21—8.27　茨城県つくば美術館
新美術新聞　1094　舟木力英
朝日夕刊　8.15　田中三蔵

遠藤利克展　空洞説Ⅲ　3.6—4.1　秋山画廊

遠藤利克・小山穂太郎　DRAWINGS　6.10—7.2　秋山画廊

遠藤利克展　Trieb—振動(Rain Room)　7.15—9.24　下山芸術の森発電所美術館
朝日　9.13　田中三蔵

(オ)

汪洋展　3.7—3.16　金井画廊

生命の証　魂の書　大井錦亭　6.16—7.17　秋田県立近代美術館

大石芳野写真展　子ども戦世のなかで　1.11—2.3　江東区立森下文化センター
毎日　1.25　安高晋

大岩オスカール幸男展　見えない反射　6.29—9.26　池田20世紀美術館
朝日夕刊　8.31　田中三蔵

大浦峰郎個展　5.22—5.27　銀座ス

ルガ台画廊
大塩紗永展 2.28—3.9 番町画廊
大塩紗永新作展 7.10—7.22 シロタ画廊
太田和寿展 抽象油絵 10.9—10.14 ギャラリー21＋葉
太田圭—Largo— 5.15—5.20 画廊宮坂
太田三郎展 On the Beach 8.28—9.22 ギャラリーなつか
毎日夕刊 9.11 三田晴夫
太田三郎展 9.1—9.23 ABXギャラリー
毎日夕刊 9.11 三田晴夫
太田隆司ペーパーアートの世界 11.21—11.26 三越(日本橋)
新世代への視点2006—画廊からの発言—太田麻里 7.24—8.5 ギャルリー東京ユマニテ
芸術新潮 681
美術手帖 887 宮村周子
大竹伸朗 旅景 —TABI-KEI— 9.25—12.25 ベイスギャラリー
STUDIO VOICE 371
大竹伸朗 全景 1955 — 2006 10.14—12.24 東京都現代美術館
art_icle 0 正木敏洋
新美術新聞 1107 薮前知子
STUDIO VOICE 364 薮前知子
STUDIO VOICE 372 児島やよい
美術手帖 889 吉永マサユキ／森本美絵
美術手帖 889 ヤマタカEYE、宮村周子 取材
美術手帖 889 辛酸なめ子
朝日 11.23 田中三蔵
産経 10.24 猪谷千香
東京 12.2 藤田一人
毎日夕刊 12.12 三田晴夫
読売 10.14
読売 11.23 前田恭二
大津英敏展—伝えたい気持ち— 第28回損保ジャパン東郷青児美術館大賞受賞記念 11.23—12.26 損保ジャパン東郷青児美術館
新美術新聞 1105 武田厚
大西伸明展 Remnants of nature 5.13—6.10 Contemporary Art Space studio J
美術手帖 883 酒井千穂
大西美智子個展 5.1—5.6 銀座スルガ台画廊
大野五郎—画業80年の軌跡— 4.22—5.28 八王子市夢美術館
新美術新聞 1087 川俣高人
産経 5.25 藤田綾子
東京 4.29 藤田一人
大野智史展—asid garden— 3.18—4.8 小山登美夫ギャラリー
大野百樹展～自然が彩る四季の魅力を点描で描く～日本画の歩み六十年 11.25—3.25 サトエ記念21世紀美術館
特別陳列 卒寿記念人間国宝 大場松魚 9.28—11.12 石川県立美術館
石川県立美術館だより 276
大橋歩イラストレーション展 歩のあゆみ 『平凡パンチ』から『アルネ』まで。ファッション&イラストレーション 10.30—11.24 クリエイションギャラリーG8／ガーディアン・ガーデン
読売 11.7
タッチストン 大橋晃朗の家具展 9.16—11.18 ギャラリー・間
朝日夕刊 10.24 大西若人
産経 10.18 黒沢綾子
大橋仁展「ラッキーか?」 9.5—10.8 エモン・フォトギャラリー
美術手帖 887 竹内万里子
大原竜幸展 ネオテニー 10.9—10.14 ギャラリイK
Liminal Air—Descend—2006［大巻伸嗣］ 6.21—8.11 ギャラリーA4
朝日夕刊 7.11 西田健作
毎日夕刊 7.21 三田晴夫
読売夕刊 7.22 (清)
大宮政郎の世界 9.16—10.22 岩手町立石神の丘美術館
大矢紀日本画展 古稀記念 12.5—12.11 三越(日本橋)
新美術新聞 1106 横山秀樹
コージ・オガ「たしかにあるもの」展 3.3—5.28 アートドラッグセンター
美術手帖 880 金井直
岡岷山 没後二百年記念 10.21—11.19 広島城
岡義実展 印象派の旅25回 4.19—5.2 小田急(新宿)
新美術新聞 1085 村瀬雅夫
岡崎和郎 補遺の庭—HISASHIと水と— 2.27—3.24 横田茂ギャラリー
岡田修二展 10.10—10.28 ギャルリー東京ユマニテ
尾形純展 9.14—9.23 ギャラリー21＋葉
岡田由希展 西部新人美術作家後援会第２回下関展示 3.28—4.2 下関市立美術館
岡田由希彫刻展—清光— 8.7—8.12 GALERIE SOL
岡部昌生展 11.6—11.12 トキ・アートスペース
朝日夕刊 11.2 田中三蔵
岡村桂三郎展 挿絵『海女の珠とり』と大作で綴る岡村桂三郎の世界 1.12—2.26 佐藤美術館
朝日夕刊 2.9 田中三蔵
東京 1.21 藤田一人
日経 1.25 宝玉正彦
岡村桂三郎展 2.20—3.4 コバヤシ画廊
アート・トップ 209 (根)
毎日夕刊 2.27 三田晴夫
岡本敦生展 1.9—1.28 ギャラリー山口
毎日夕刊 1.17 三田晴夫
偸太人々—追悼・岡本謙次郎 3.16—3.31 ギャラリー・アート・ポイント
岡本太郎 明日の神話 7.8—8.31 日テレプラザ
東京 7.15 藤田一人
岡本太郎の絵画 衝動から実現まで展 10.7—1.8 川崎市岡本太郎美術館
朝日夕刊 12.8 西田健作
日経 12.16 小川敦生
雄川愛 4.25—5.20 TARO NASU(東京)
STUDIO VOICE 366
小川信治展—干渉する世界— 9.30

—12.24　国立国際美術館

荻須高徳展　没後20年　8.5—10.9　神戸市立小磯記念美術館(稲沢市荻須記念美術館)

高村光太郎と荻原守衛の交友　7.20—9.3　碌山美術館

新世代への視点2006—画廊からの発言—奥敬詩　7.24—8.5　なびす画廊

奥井ゆみ子　新作展　4.26—5.27　ケンジタキギャラリー(東京)
読売夕刊　5.13　(前)

奥田元宋と奥田小由女　響き合う二つの芸術　4.15—6.13　奥田元宋・小由女美術館
新美術新聞　1085　永井明生

小栗沙弥子「テリトリー」展　8.5—8.13　名古屋市政資料館
美術手帖　887　森美樹

小沢さかえ「そして私は霧の中」展　3.6—4.1　mori yu gallery
美術手帖　880　酒井千穂

落田彩展　9.4—9.9　ギャラリイK

尾長良範展 WORKS　11.16—11.29　アートギャラリー閑々居

小野隆生展　1.20—2.4　ときの忘れもの

日本ノ里　小野正人個展　12.12—12.17　ギャラリー16

小野友三展　9.2—9.17　Gallery Jin Projects
芸術新潮　683

小原馨展　2.13—2.25　ギャラリー椿

淤見一秀展　12.5—12.23　ギャラリエ　アンドウ
芸術新潮　686

小山田二郎油彩・水彩画—1950年代～'70年代—　6.12—6.30　文京アート

恩地孝四郎の版画・素描・フォトグラム　7.11—8.27　福岡市美術館

(カ)

甲斐すみ子展—プランツ・シューズ—INAX ART NEWS 275　3.1—3.29　INAXギャラリー2

皆藤将展　美学校　内海信彦絵画表現研究室　研究発表　5.22—5.27　ギャラリイK

加賀谷武展—思念の場—　3.6—3.18　シロタ画廊

東京デザイナーズウィーク2006　コンテナ　寺岡精工×柿谷耕司氏コラボレーション　10.31—11.5　明治神宮外苑絵画館前

掛井五郎の動物記　3.18—5.7　ギャラリーTOM
朝日夕刊　4.25　田中三蔵

笠木絵津子展　現代郷土作家展　3.4—3.26　姫路市民ギャラリー

真田太平記—風間完挿絵原画展　9.22—12.20　池波正太郎記念文庫
毎日　10.11　森禎行

笠松宏有回顧展　10.24—10.29　東京セントラル美術館
新美術新聞　1102　清水知恵子
東京　9.30　三品信
毎日夕刊　10.12　重里徹也

川崎広平展　7.3—7.8　ギャラリー21＋葉
美術手帖　886　高嶋雄一郎

梶井照陰「NAMI」展　5.3—6.11　エプソンイメージングギャラリーエプサイト
美術手帖　883　高嶋雄一郎

樫木知子展　9.5—9.16　ギャラリー16
美術手帖　888　酒井千穂

春日昌昭追悼写真展　10.1—10.5　梅若橋コミュニティ会館
読売　9.24

片山雅史—風のシリーズより　5.23—7.9　福岡市美術館

ピーター・モース・コレクションの世界　北斎展[葛飾北斎]　3.4—3.19　すみだリバーサイドホール・ギャラリー
朝日　3.10
読売　3.4

北斎・広重の東海道　浮世絵版画の楽しみ　4.8—5.28　和泉市久保惣記念美術館

広重・北斎・歌麿　UKIYO絵—眠りから覚めた秘蔵作品初公開—　4.23—5.21　石川県立美術館

広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展～歌麿・写楽から幕末バラエティーまで～　7.22—8.27　茨城県天心記念五浦美術館

勝野正則展　5.15—5.27　ギャラリーかわまつ
毎日夕刊　5.19　石川健次

角文平展　8.7—8.12　CUBIC GALLERY
美術手帖　887　酒井千穂

加藤学展　11.6—11.25　GALLERY TERASHITA

加藤崇展　4.10—4.15　ギャラリイK

陶のシルクロード　加藤卓男の陶芸展　1.14—3.26　岐阜県現代陶芸美術館(岡山市立オリエント美術館)
日経　3.8　竹田博志

加藤美佳展　12.16—1.20　小山登美夫ギャラリー
芸術新潮　686

加藤豊展—神話シリーズ—　9.4—9.16　ギャラリーせいほう
新美術新聞　1097　江口健

加藤良造展　10.20—10.28　戸村美術

加藤怜子展 — Search —　3.13—3.18　ギャラリー山口

門倉直子展—私たちの密かなクレイジー—　3.13—3.18　アートスペース羅針盤

角永和夫展　SILK　10.14—12.17　発電所美術館
読売夕刊　11.28　佐

山形の風土を愛した画家　金山平三・山形の風景展　9.29—10.29　天童市美術館

金子鷗亭の書　生誕100年記念　10.15—12.10　北海道立函館美術館

金子潤　4.15—7.9　岐阜県現代陶芸美術館(国立国際美術館)

金子祐介　CRITIC・OPERA　批評としての現在形　3.20—3.25　ギャラリイK

金田勝一「プラモ風景画」　11.10—12.2　戸村美術

幕末の怪しき仏画—狩野一信の五百羅漢図　2.14—3.26　東京国立博

物館

加納光於《充ちよ、地の髭》2005—'06—W・B頌 3.6—3.25 ギャルリー東京ユマニテ
毎日夕刊 3.13 三田晴夫

京琳派 神坂雪佳展 宗達、光琳から雪佳へ 5.24—6.5 高島屋(日本橋)
目の眼 356
毎日 5.23
毎日 5.24 武内由佳子

書 壮心やまず 上條信山 7.15—9.24 松本市美術館

日本画二人展×2 1:紙谷義久・宮崎喜恵 5.16—6.11 大分市美術館

神谷徹展 6.30—7.29 SCAI THE BATHHOUSE
美術手帖 886 高嶋雄一郎

亀井徹展 10.20—11.11 成山画廊
芸術新潮 685

亀倉雄策 1915—1997 日本デザイン界を牽引したパイオニア 1.11—1.31 ギンザ・グラフィック・ギャラリー
読売 1.26

デザイン・日本・亀倉雄策 11.19—1.21 宇都宮美術館

亀田鵬斎の書の世界 7.25—9.3 須坂市立博物館

加守田章二と竹内彰—大甕陶苑からの出発 3.21—5.14 日立市郷土博物館

萱原里砂展 10.7—10.28 void+

華麗なる美 加山又造展 5.19—6.25 富山県水墨美術館
読売 6.15

柄澤齋展 版画、オブジェ、水彩、本 1971—2006 7.16—9.3 栃木県立美術館
朝日夕刊 8.17 田中三蔵
東京 8.26 藤田一人
日経 8.2 宝玉正彦

柄澤齋展 版画、オブジェ、水彩、本 1971—2006 10.18—12.24 神奈川県立近代美術館(鎌倉)
毎日夕刊 11.6 三田晴夫
読売 11.2 前田恭二

ロダンとカリエール 考える人・彫刻家・画家 世紀末に生きた創造者たちの手と精神[ウジェーヌ・カリエール] 3.7—6.4 国立西洋美術館
新美術新聞 1081 大屋美那
朝日夕刊 5.19 西田健作
産経 5.24 藤田綾子
毎日 3.6
毎日 5.3 湯原かの子
毎日 5.4 山口昌男
毎日 5.17 伊集院静
毎日夕刊 3.13、14、16～18 高階秀爾
毎日夕刊 4.20 大屋美那
読売 4.13 前田恭二

華道家 假屋崎省吾の世界 4.18—4.24 三越(池袋)

アンリ・カルティエ=ブレッソン 大阪芸術大学グループ創立60周年記念 3.11—4.16 サントリーミュージアム(天保山)

詩情の造形 エミール・ガレ 生誕160年 4.15—5.14 郡山市立美術館

大観、栖鳳、玉堂 近代日本画の三巨匠[川合玉堂] 3.18—5.21 講談社野間記念館

河合晋平展 4.11—4.23 GALLERY はねうさぎ
美術手帖 882 酒井千穂

河井創太展 5.29—6.4 フジキ画廊

ヴィデオ・インスタレーション展覧会 メランコリック・ユートピア 河合政之 7.21—8.12 ヨコハマポートサイドギャラリー

川上澄生と物語—南蛮の系譜をたどって— 11.11—4.8 川上澄生美術館

木工芸と漆—木目を生かす技と艶—人間国宝・川北良造 9.1—10.1 石川県輪島漆芸美術館

河口龍夫展 「地下時間」 9.29—11.5 MACAギャラリー
毎日夕刊 10.12 三田晴夫

川口奈々子展—流路のペインティング—INAX ART NEWS 279 7.3—7.29 INAXギャラリー2

artificial heart:川崎和男展—いのち・きもち・かたち 9.16—11.12 金沢21世紀美術館
AXIS 125 藤崎圭一郎
芸術新潮 684

川崎広平 7.3—7.8 ギャラリー21+葉

川崎小虎と東山魁夷展 12.27—1.14 三越(日本橋)(山梨県立美術館、岐阜県美術館)
新美術新聞 1107 瀧悌三

川島清展 7.3—7.20 ギャルリー東京ユマニテ

川島清展 水量II 11.6—12.2 ギャルリー東京ユマニテ
毎日夕刊 11.28 三田晴夫

彫刻なるもの—川島清・土谷武・若林奮の作品から 11.17—12.17 いわき市立美術館
毎日夕刊 11.28 三田晴夫

レスポワール展40回 2006年新人選抜 川嶋陽介個展 3.6—3.11 銀座スルガ台画廊

正・昭和の風景版画家 川瀬巴水 7.25—9.3 ニューオータニ美術館
朝日夕刊 8.25 田中三蔵

川瀬巴水展 10.21—11.19 南アルプス市立春仙美術館

川村良紀展—アトリエの四季— 6.16—7.7 ギャラリー新居(東京)

菅野泰史「霧の思考 — thinking of fog」展 2.14—2.25 GALERIE 141
美術手帖 878 金井直

こいずみ道具展/神林學 8.12—8.19 こいずみ道具店
芸術新潮 682

(キ)

菊池省吾展 9.9—9.22 秋山画廊

菊池敏直展 1.31—2.12 ゆーじん画廊

木島隆康展—テンペラ画の一制作過程— 12.5—12.16 色彩美術館

北大路魯山人—世田谷美術館塩田コレクションから— 7.22—8.27 香川県文化会館

紙の彫刻～北岡謙輔作品～ 3.14—

5.7　紙の博物館(東京)

広重・北斎・歌麿　UKIYO絵―眠りから覚めた秘蔵作品初公開―
[喜多川歌麿]　4.23―5.21　石川県立美術館

北川聡展　絵画　6.22―7.1　ギャラリー21＋葉

北辻良央展　5.9―5.28　ギャラリー16

P.G.I. 10 Days Exhibition vol.13　北野謙 "ourface"　8.1―8.12　フォト・ギャラリー・インターナショナル
朝日夕刊　8.8　田中三蔵

北村昭斎―漆の技―　9.2―10.1
奈良国立博物館

北村奈津子　agri-house　アスパラガスの場合　7.24―8.5　ギャルリー東京ユマニテ

鬼頭健吾＋Robert Platt　2.1―2.28
ギャラリー小柳
美術手帖　878　高嶋雄一郎

鬼頭健吾＋田幡浩一　3.17―4.12
トーキョーワンダーサイト渋谷

鬼頭健吾「shimmer」展　8.26―9.22
ケンジタキギャラリー(名古屋)
美術手帖　888　森美樹

絹谷幸二　イタリアを描く　4.18―4.30　三越(日本橋)
新美術新聞　1085　宝木範義
毎日夕刊　4.12　石川健次

木之下晃作品展　「日本の演奏家」
9.26―10.29　JCIIフォトサロン
読売　9.26

黒の迷宮―凝視の刻―木下晋・小林敬生・日和崎尊夫　1.4―2.5　石川県立美術館

木下晋絵本原画展『ハルばぁちゃんの手』　12.5―12.17　神田日勝記念美術館

金謹中新作展　3.16―4.15　ケンジタキギャラリー(東京)
芸術新潮　677

キム・テクサン「時の色」　9.2―10.14　タグチファインアート
芸術新潮　683

金恵淑展―Metamorphosis―　8.28―9.2　シロタ画廊

木村伊兵衛のパリ　10.28―1.21
メゾンエルメス8階フォーラム
芸術新潮　685　原田治
STUDIO VOICE　372

木村直道＋遊びの美術　1.7―2.5
埼玉県立近代美術館
朝日夕刊　1.31　山盛英司

木村光江個展　油絵　内閣総理大臣賞受賞記念　10.2―10.8　東京銀座画廊

フランチェスカ・ギャビアーニ「Scare me up」展　2.17―3.24
GALLERY SIDE 2
美術手帖　878　河野晴子

Ça C'est Paris―清川泰次が写した藤田嗣治のアトリエ　4.1―7.23
世田谷美術館分館　清川泰次記念ギャラリー
芸術新潮　677

陰翳礼讃　清川泰次と日本美　青年が写した昭和の光と影　12.2―3.25　世田谷美術館分館　清川康次記念ギャラリー

喜代吉鐵牛展　pneuma　6.26―7.8
シロタ画廊

銅版画家　清原啓子展　3.30―4.16
八王子市夢美術館

追悼　清水九兵衛　新作展　8.25―9.20　フジテレビギャラリー
芸術新潮　682
朝日夕刊　9.12　西田健作
読売夕刊　9.9　(前)

(ク)

郭徳俊　大統領と郭　7.26―8.26
三鷹市美術ギャラリー

釘町彰　Seascape　9.5―9.11　そごう(横浜)

新世代への視点2006―画廊からの発言―くごうあい　7.24―8.5
ギャラリー山口

草間彌生展　12.1―12.16　ときの忘れもの

所蔵作品展1部　草間彌生・荒川修作・篠原有司男　12.11―1.14
千葉市美術館

楠本正明展　6.9―6.23　Arika Art Site
毎日夕刊　6.19　三田晴夫

工藤礼二郎展　2.20―3.4　ギャラリー現

國安孝昌展　静かに行く、遠く帰る
1.10―2.4　ギャラリーなつか
毎日夕刊　1.17　三田晴夫
読売夕刊　2.2　前田恭二

沖縄の壺体　國吉清尚　7.3―7.22
早稲田大学會津八一記念博物館
芸術新潮　681

国吉康雄展　3.10―5.7　岡山県立美術館

久野隆史展　不確かな姿　6.1―6.14　アートギャラリー閑々居

熊谷守一展　愛知県美術館所蔵・木村定三コレクションから　4.8―5.28　姫路市立美術館

熊谷守一展　もののかたち　いのち
4.15―5.28　笠間日動美術館

熊谷守一・高橋節郎　あこがれ／自由と自然と眼差しと　7.12―8.27
安曇野高橋節郎記念美術館
新美術新聞　1093　佐野順子

山名文夫と熊田精華展　絵と言葉のセンチメンタル　6.24―9.3　目黒区美術館

熊田千佳慕展　花、虫、スローライフの輝き　6.24―9.3　目黒区美術館

久米桂一郎・黒田清輝と東京美術学校の教え子たち　3.31―5.21　久米美術館

X-STaTIC PRO＝CeSS[スティーブン・クライン]　9.20―10.2　ルイ・ヴィトン六本木ヒルズ
産経　9.29　黒沢綾子

ラスコーの夢をみた―写真―稲憲一郎・倉重光則・みわはるき　2.20―3.11　SPC GALLERY

トニー・クラッグ新作展 new sculptures and prints　10.19―11.25
ケンジタキギャラリー(東京)
芸術新潮　684

久里洋二展　2.7―3.4　西村画廊

クリスチャン　道[アブラハム・ダーフィット・クリスチャン]
4.24―5.26　横田茂ギャラリー

パウル・クレー―線と色彩―パウル・クレー・センター開館記念
2.9―2.28　大丸ミュージアム(東京)

朝日夕刊　2.10　西田健作

コレクションの四半世紀　第1部　パウル・クレーに会おう　開館25周年記念　4.8—5.28　宮城県美術館

パウル・クレー　創造の物語　6.24—8.20　川村記念美術館(北海道立近代美術館、宮城県美術館)
美術手帖　883
美術手帖　886　宮下誠
朝日夕刊　8.3　田中三蔵
東京　6.23　前田富士男／平尾佐矢子
東京夕刊　7.18　合田佐和子
東京夕刊　7.21　宮下誠
東京夕刊　7.24　池内紀
日経　8.13　(敦)

カミーユ・クローデル 1864—1943　運命の凝縮されたかたち
7.23—8.20　府中市美術館(メルシャン軽井沢美術館、福島県立美術館)
朝日夕刊　7.28　田中三蔵
東京　8.5　中村隆夫

黒川弘毅展　10.23—11.4　コバヤシ画廊
毎日夕刊　10.30　三田晴夫

黒木美希展—木版画・コピーによる和紙のコラージュ—　1.30—2.10　シロタ画廊

黒崎彰—カタログレゾネ刊行記念展—新作木版画・ペーパーワーク
12.11—12.22　シロタ画廊

黒沢典子展　7.10—7.15　銀座スルガ台画廊

久米桂一郎・黒田清輝と東京美術学校の教え子たち　3.31—5.21　久米美術館

黒田清輝展　近代日本洋画の巨匠
7.15—8.27　豊田市美術館

黒田征太郎　PIKADON展　YES NO PIKADONイベント　黒田征太郎・デザイナーグループ・子供
4.27—5.2　ギャラリーGAN

クロチェッティ展　20世紀イタリア具象彫刻最後のマエストロ
7.19—8.31　鹿児島市立美術館

黒柳雅夫展　4.10—4.15　ギャラリー21＋葉

桑沢洋子　ふだん着のデザイナー　桑沢学園東京造形大学創立40周年記念　11.3—12.2　東京造形大学　附属横山記念マンズー美術館

桑原盛行展　5.8—5.20　かねこアートギャラリー
毎日夕刊　5.15　三田晴夫

桑山玉洲　7.22—8.27　和歌山市立博物館

桑山忠明ワンルームプロジェクト2006　4.8—7.23　愛知県美術館／名古屋市美術館

軍地克彦展　12.4—12.16　ギャラリー21＋葉

(ケ)

浮世絵美人画の魅力　国貞・国芳・英泉　高橋博信コレクション受贈記念[溪斎英泉]　2.7—3.12　北海道立近代美術館

マイケル・ケンナ展　「IN JAPAN」
5.20—6.25　東京都写真美術館
産経　6.23　藤田綾子
東京　6.3　藤田一人

(コ)

小池隆英 New Works　9.9—10.28　アキライケダギャラリー(田浦)
毎日夕刊　9.25　三田晴夫

小池唯徳展　美学校　内海信彦絵画表現研究室　研究発表　6.5—6.10　ギャラリイK

スペースピクトグラムの試論　劇場空間の基点を探る[小石新八]
9.11—10.7　武蔵野美術大学美術資料図書館

小磯良平作品選I—油彩—　4.1—5.14　神戸市立小磯記念美術館

小磯良平作品選III　8.5—10.9　神戸市立小磯記念美術館

小出ナオキ：Marriage　5.25—6.17　小山登美夫ギャラリー
芸術新潮　679

こいでやすこの絵本原画とこどものともの歩み　7.15—8.27　いわき市立草野心平記念文学館

コウ・ミョンクン展　4.7—4.28　東京画廊
芸術新潮　678

甲田洋二展　Y氏の場合＝圏央道・私的観察絵日記…風景・犬　12.4—12.9　シロタ画廊

甲谷匡賛作品展　A-LSD！　11.23—12.3　横浜美術館
日経夕刊　11.28

鴻池朋子展　第0章　4.28—5.28　大原美術館
朝日夕刊　5.11　田中三蔵

鴻池朋子個展　「惑星はしばらく雪に覆われる」　10.25—11.25　ミヅマアートギャラリー
芸術新潮　684
毎日夕刊　10.30　三田晴夫
読売夕刊　11.11　(清)

古賀飛展　11.27—12.2　ギャラリイK

古賀充展　2.2—2.22　(g)
芸術新潮　676

小金沢健人「数を忘れる」展　10.7—11.4　hiromi yoshii
美術手帖　889　成相肇

國府理展　6.26—7.9　アートスペース虹
美術手帖　886　酒井千穂

小坂泰子写真展　双国の貌　日本と韓国の石仏　5.26—6.11　世田谷文化生活情報センター
産経　5.24　堀晃和

児島善三郎　荻窪時代1951～1962　久遠の生命の把握　3.1—3.18　児島画廊

京橋界隈2006　小嶋悠司展　7.3—7.22　戸村美術／ギャラリー坂巻

小杉小二郎—巴里／日光　ふりむけば放菴　4.15—5.21　小杉放菴記念日光美術館

二世五姓田芳柳と近代洋画の系譜—近代の歴史画の開拓者—明治神宮外苑奉献80年記念特別展　5.27—7.2　明治神宮文化館
新美術新聞　1089
朝日夕刊　6.27　山盛英司

児玉幸子　MORPHOTOWER　9.7—9.20　ギャラリー坂巻
芸術新潮　683
日経　9.17　(敦)

古知屋恵子木版画展　10.28—11.4　ギャラリー遊

読売　10.30

牛腸達夫展　4.17—4.28　ギャラリー21+葉
芸術新潮　678
毎日夕刊　4.24　三田晴夫

饗宴～後藤仁美人画展　10.11—11.5　ギャラリーアートサロン

「ブルース・コナー」展　3.18—4.15　ミヤケファインアート
芸術新潮　677

レスポワール展40回　2006年新人選抜　小西千穂個展　3.27—4.1　銀座スルガ台画廊

小西真奈展「金華山」　3.20—3.25　Space Kobo & Tomo
美術手帖　880　高嶋雄一郎

黒の迷宮—凝視の刻—木下晋・小林敬生・日和崎尊夫　1.4—2.5　石川県立美術館

古径と模写—古典絵画との対話[小林古径]　7.7—9.3　小林古径記念美術館

小林孝亘　ものとこころ　10.3—10.28　西村画廊
芸術新潮　684
日経　10.18　宝玉正彦
毎日夕刊　10.23　三田晴夫

小林誠展　11.20—12.2　ギャラリー21+葉

小林正人展「ヌード」　2.10—3.11　SHUGOARTS
芸術新潮　676

小林良一展　9.11—9.30　ヒノギャラリー
毎日夕刊　9.25　三田晴夫

小堀鞆音と近代日本画の系譜—勤皇の画家と「歴史画」の継承者たち　10.21—12.3　明治神宮文化館

ぼくらの小松崎茂　子どもたちの夢やあこがれを描き続けた画家　10.7—12.3　逓信総合博物館
朝日夕刊　10.3　永井豪
朝日夕刊　10.24　西田健作

小松崎広子展　8.28—9.9　コバヤシ画廊
毎日夕刊　9.4　三田晴夫

レスポワール展40回　2006年新人選抜　小峰力個展　1.30—2.4　銀座スルガ台画廊

小宮弥栄子展　さまざまな眼152　9.21—10.17　かわさきIBM市民文化ギャラリー

フランシスコ・ゴヤ版画—気まぐれ・戦争の惨禍—　1.4—3.26　神奈川県立近代美術館(鎌倉別館)

ゴヤ版画展　2.25—4.9　町田市立国際版画美術館
朝日夕刊　3.17　西田健作
東京　3.24　近藤晶

小柳裕　1.12—2.25　ケンジタキギャラリー(東京)
美術手帖　878　高嶋雄一郎

コヤマカズマ展　月音　RUNON　12.4—12.9　ギャラリイK

小山穂太郎展　2.6—2.25　秋山画廊

遠藤利克・小山穂太郎　DRAWINGS　6.10—7.2　秋山画廊

小山利枝子　1.9—1.21　アートスペース羅針盤
東京　1.14　中村隆夫

レオン・ゴラブ　11.10—12.22　ワコウ・ワークス・オブ・アート
STUDIO VOICE　373
読売夕刊　12.9　(前)

近藤聡乃「てんとう虫のおとむらい」展　7.5—8.5　ミヅマアートギャラリー
美術手帖　886　宮村周子

光の水墨画　近藤浩一路の全貌展　9.10—10.15　練馬区立美術館(山梨県立美術館)
東京　9.23　藤田一人
読売　8.28
読売夕刊　9.7　野地耕一郎

十勝の新時代IX　近藤みどり展　9.8—1.8　北海道立帯広美術館

今野忠一展　こころの山河　追悼　6.16—7.16　天童市美術館

(サ)

斎藤佳三の軌跡　大正・昭和の総合芸術の試み　11.4—12.17　東京芸術大学大学美術館
朝日　12.6　吉田純子
産経　12.1　生田誠
毎日夕刊　11.17　畑中良輔

齋藤研の軌跡展　アポリアへの挑戦

川越の美術家たち　4.22—6.18　川越市立美術館
新美術新聞　1087　浅見千里

斎藤吾朗の軌跡　赤絵の世界　8.5—8.16　神田日勝記念美術館

斎藤真一遺作展14　「愛と、哀しみと。」　9.19—9.30　不忍画廊

斎藤美奈子・作間敏宏　2人展　さまざまな眼148　ダイアローグ　1.19—2.14　かわさきIBM市民文化ギャラリー
毎日夕刊　2.6　三田晴夫

ART TODAY 2006　齋藤芽生　曽谷朝絵　10.8—11.23　セゾン現代美術館

齋藤芽生「晒野団地四畳半詣」　11.24—12.23　ギャラリー・アートアンリミテッド
芸術新潮　686

レイモン・サヴィニャック展　パリの空のポスター描き　9.16—11.5　川崎市市民ミュージアム
朝日夕刊　10.20　西田健作
産経　10.27　黒沢綾子

レスポワール展40回　2006年新人選抜　三枝淳個展　2.20—2.25　銀座スルガ台画廊

Just Wait : Times Square 1966—70 [坂田栄一郎]　11.15—12.22　Photo Gallery International
朝日夕刊　12.12　田中三蔵

坂田峰夫展—FLOWER—　7.4—7.22　ギャラリエ　アンドウ
芸術新潮　681

坂本繁二郎展　石橋美術館開館50周年記念　6.16—7.8　ブリヂストン美術館(石橋美術館)
朝日夕刊　6.23　西田健作
読売　6.29　前田恭二

佐川晃司展　場からの創出　8.22—10.1　豊田市美術館

斎藤美奈子・作間敏宏　2人展　さまざまな眼148　ダイアローグ　1.19—2.14　かわさきIBM市民文化ギャラリー
毎日夕刊　2.6　三田晴夫

作間敏宏「交換／接着」　12.18—12.27　巷房
芸術新潮　686

櫻井美幸「盲亀の浮木」展 2.6—2.25 ギャラリー本城／ギャラリー覚
美術手帖 878 河野晴子

郷土作家シリーズ VIII 佐々木宗一郎展 12.9—2.4 秋田県立近代美術館
ARK 50 木村雅洋

佐々木裕而展 竹・田・山—四時三景— 10.11—10.21 ギャラリー白石
新美術新聞 1100 増崎隆広

笹倉洋平「ヤマノハヤマギワ」展 2.2—2.28 ギャラリー la galerie
美術手帖 878 酒井千穂

レスポワール展40回 2006年新人選抜 佐藤功個展 4.3—4.8 銀座スルガ台画廊

佐藤敬展 生誕100周年記念 12.1—2.5 大分市美術館

佐藤太清回顧展—終わりのない旅— 3.4—4.9 板橋区立美術館
新美術新聞 1081 佐藤さおり

佐藤卓「日常のデザイン」 10.21—1.14 水戸芸術館現代美術ギャラリー
デザインの現場 150 原田環
朝日夕刊 11.21 大西若人
産経 11.1 黒沢綾子

彫刻家が描く 佐藤忠良の絵本原画 1.21—3.26 宮城県美術館

佐藤朝山展 甦る近代木彫の鬼才—横山大観が天才と讃えた男— 9.15—10.22 小平市平櫛田中彫刻美術館(井原市立田中美術館)
芸術新潮 683

佐藤正明 Japan — London — New York 7.10—8.11 フジテレビギャラリー

佐藤正樹・武田圭介 二人展 4.3—4.8 ギャラリイK

佐藤守男展 彫刻 6.2—6.10 いのは画廊

佐藤好彦「1：4：9」 5.12—6.10 ヴァイスフェルト
芸術新潮 679
美術手帖 883 高嶋雄一郎

佐野未知展 こどうの伝言 6.5—6.10 シロタ画廊

佐野洋子絵本の世界 9.19—9.24 三越(日本橋)

佐原和行遺作展—みづゑの筆跡— 6.2—6.13 ごらくギャラリー
毎日夕刊 6.2 石川健次

ラインハルト・サビエ展《暗い森》 3.6—4.5 東邦画廊
読売夕刊 3.22 芥川喜好

飛び出す物語！紙の魔術師ロバート・サブダ しかけ絵本の世界展 12.13—12.28 西武ギャラリー
日経 12.24 (敦)

澤野水纓展 7.26—8.1 高島屋(日本橋)

(シ)

カティア・ストゥーケ／オリヴァー・ジーバー 芸術家交流事業16回「ART—EX」 アーティスト・イン・レジデンス 3.14—3.26 海岸通ギャラリーCASO

新世代への視点2006—画廊からの発言—塩入由美 7.24—8.5 藍画廊

塩谷よし子展 10.30—11.4 銀座スルガ台画廊

新世代への視点2006—画廊からの発言—塩津淳司 7.24—8.5 ギャラリイK

早見芸術学園造形研究所NIHONGA塾 第10期生卒業制作作品展[塩原将志] 2.27—3.4 exhibit LIVE & Moris

塩保朋子展—ブレッシングウォール— 6.1—6.29 INAXギャラリー2
読売夕刊 6.10 (前)

重森三玲の庭 地上の小宇宙 生誕110年 10.7—12.10 松下電工汐留ミュージアム
日経 11.5 (窪)
産経 12.1 黒沢綾子

イキスギタリヤ74[篠原有司男] 9.9—10.29 KPOキリンプラザ大阪
美術手帖 886

百花斉放[篠原有司男] 9.15—11.5 鹿児島霧島アートの森
美術手帖 886

所蔵作品展1部 草間彌生・荒川修作・篠原有司男 12.11—1.14 千葉市美術館

篠原猛史展 Biotope Shelter ビオトープの場 9.16—10.22 美濃加茂市民ミュージアム

四宮優 chandelier／WHITEOUT 4.7—5.29 鴎游舎
美術手帖 883 森美樹

芝章文展 "杜の覚者" 谷川渥企画 表層の冒険1 3.17—3.31 AKIRA ART SITE
毎日夕刊 3.28 三田晴夫

APS企画展シリーズ#07 柴川敏之 PLANET PIECES 3.13—3.25 a piece of space APS

柴田敏雄展 Waterfolio 新作版画&カラー写真 7.15—8.6 双ギャラリー

柴田祐輔展 9.16—9.30 西瓜糖
美術手帖 889 成相肇

渋谷明弘展 緑至力 9.18—9.23 ギャラリイK

渋谷清道『いばら姫』 4.28—5.26 GALLERY SIDE 2
STUDIO VOICE 366

島成園と浪華の女性画家展—木谷千種・岡本更園・松本華羊・生田花朝ほか— 2.2—2.14 大阪・なんば高島屋グランドホール(7階)
美術運動史研究会ニュース 80 山崎明子

レスポワール展40回 2006年新人選抜 鴻崎正武個展 2.13—2.18 銀座スルガ台画廊

島田鮎子展 たおやかな詩情 11.21—11.27 三越(日本橋)
新美術新聞 1105 宝木範義

嶋田しづ 5月の芳醇—未来より現在に 5.12—5.31 フジテレビギャラリー

乾露予・清水真奈二人展 12.4—12.9 銀座スルガ台画廊

志村節子展 9.13—9.19 高島屋(日本橋)
新美術新聞 1098 ワシオトシヒコ
東京 9.16 中村隆夫

志村みづえ　いけばなインスタレーション　10.2—10.7　ギャラリー21＋葉

下田嘉子　木版画展　9.18—9.23　シロタ画廊

下村観山展—観山と三溪　三溪園開園100周年記念特別展　6.1—7.2　三溪記念館

ベン・シャーン展　わたしは憎むものを描く。わたしは愛するものを描く。　2.11—3.26　埼玉県立近代美術館
芸術新潮　676
産経　3.21　藤田綾子

ベン・シャーン—所蔵作品展示　7.4—12.27　福島県立美術館

ベン・シャーンの第五福竜丸と絵本展　9.20—11.20　第五福竜丸展示館
毎日　10.7　沢田猛

見つめる　人間と社会　ベン・シャーンのアトリエ・コレクション　9.27—10.21　丸の内ギャラリー

ベン・シャーンが最晩年にたどりついた詩と文学　10.20—11.5　鎌倉ドゥローイング・ギャラリー

ベン・シャーン展　アトリエに残されたドローイング小品　11.1—11.25　ギャルリー412

線に魂がやどる　ベン・シャーンドローイング展　11.30—12.9　名古屋画廊

シャガールのオデュッセイア　1.5—4.2　福岡市美術館

シャガール版画　3.1—4.23　メナード美術館

マルク・シャガール—ラ・フォンテーヌの『寓話』—　3.21—6.11　川村記念美術館

シャガール　『アレコ』とアメリカ亡命時代　青森県立美術館開館記念展　7.13—9.24　青森県立美術館
STUDIO VOICE　368

ドガ、ダリ、シャガールのバレエ—美術の身体表現　9.23—3.18　ポーラ美術館

シャガール　リトグラフポスター　10.16—10.28　ギャラリー新居(東京)

マルク・シャガール　聖書の世界　10.27—11.19　高知県立美術館

ピカソ・マティス・シャガール…巨匠が彩る物語。　11.18—2.18　うらわ美術館

アルベルト・ジャコメッティ　6.3—7.30　神奈川県立近代美術館(葉山)(兵庫県立美術館)
芸術新潮　679
新美術新聞　1092　李美那
美術手帖　882
朝日夕刊　7.7　西田健作
東京　6.17　松岡正剛
東京　7.22　中村隆夫
東京夕刊　6.26　岡谷公二
東京夕刊　6.27　保田春彦
東京夕刊　6.28　中上清
東京夕刊　6.29　武田昭彦
日経　7.5　竹田博志
読売　6.1　前田恭二

アルベルト・ジャコメッティ　10.10—12.3　川村記念美術館
東京　11.6　武田昭彦
東京　11.7　鈴木尊志

張淑慶展—GREEN　DRAWING—　10.2—10.28　INAXギャラリー2

集治千晶展　2.20—3.4　シロタ画廊
毎日夕刊　3.3　石川健次

住宅都市整理公団「大団地展」　5.27—6.18　文化フォーラム春日井・ギャラリー
美術手帖　885　森美樹

首藤晃展—彫・動・体—　4.3—4.26　INAXギャラリー2

コジット・ジュンタラティップ「痛みのデュエット」展　11.22—12.15　KANDADA
美術手帖　891　宮村周子

庄司達展—見られている本—　4.25—5.6　ギャラリー16

少年少女科学クラブ「僕達が見つけた『沈黙の書』は真実だったのか？」展　6.6—6.18　立体ギャラリー射手座
美術手帖　885　酒井千穂

不屈の画家　白鳥映雪展　7.14—7.19　ながの東急
新美術新聞　1093　星野保彦

アダム・シルヴァーマン展　10.20—11.4　TKG Edition

城田圭介展　7.3—8.5　ベイスギャラリー

赤沢清和・新谷良造遺作展　ガラスに懸けた生涯　5.12—6.4　岡山市立オリエント美術館

(ス)

菅木志雄展　2.18—3.11　小山登美夫ギャラリー／東京画廊
朝日夕刊　3.2　田中三蔵
毎日夕刊　3.6　三田晴夫
読売夕刊　3.9　前田恭二

菅井汲　一億よりはみ出した日本人でありたい—SUGAI　没後10年　12.2—3.4　兵庫県立美術館

菅沼稔作品　1.23—1.28　GALERIE SOL

杉浦康益　陶の植物園　4.15—7.23　菊池寛実記念智美術館
朝日夕刊　7.6　田中三蔵
毎日夕刊　7.10　三田晴夫

杉本健吉展　遺贈記念　9.16—11.5　名古屋市美術館

杉本博司　本歌取り　11.8—1.27　ギャラリー小柳
毎日夕刊　11.14　三田晴夫

杉山邦展　3.20—3.25　純画廊銀座
毎日　3.1　益子香里

鈴木勲個展　4th in＊tension「流動」　11.6—11.12　東京芸術大学取手キャンパス

鈴木治　逝きて五年展　2.1—7.31　黒住教宝物館
日経　6.14　竹田博志

鈴木治作品展—抽象陶芸と用の器　4.7—7.2　資生堂アートハウス
日経　6.14　竹田博志

鈴木信太郎展　親密な空間、色彩の旅人　10.21—11.26　そごう美術館(八王子市夢美術館、笠間日動美術館、佐野美術館)
芸術新潮　686　原田治

鈴木隆展　Monochromes　5.15—6.3　GALLERY TERASHITA

日本画二人展×2　2：鈴木忠実・上野未央展　6.13—7.9　大分市美術館

鈴木竹柏日本画展　米寿記念―画業70年―　6.6―6.12　三越(日本橋)
新美術新聞　1089　大矢鞆音
生きるあかし　鈴木時治油彩展　11.22―12.4　ギャラリーアビアント
読売　11.23
読売　11.28
生きるあかし　鈴木時治油彩展　11.27―12.4　アート・紀元
読売　11.23
読売　11.28
鈴木久雄展　1.14―2.4　島田画廊
鈴木久雄　Irish Distance　10.6―11.4　ヨコハマポートサイドギャラリー
読売夕刊　10.28　(前)
鈴木雅明展　3.17―4.8　ギャラリーセラー
美術手帖　882　森美樹
niwa「knot」展[鈴木良]　2.18―3.11　hiromi yoshii
美術手帖　880　高嶋雄一郎
須田国太郎展　1.13―3.5　東京国立近代美術館
朝日夕刊　2.17　田中三蔵
日経　1.18　竹田博志
読売夕刊　2.1　芥川喜好
須田剋太展―生命の讃歌―生誕一〇〇年記念　10.7―11.5　明石市立文化博物館(京阪ギャラリー、うらわ美術館、田原市博物館)
三つの個展　伊藤存×今村源×須田悦弘　6.27―9.18　国立国際美術館
STUDIO VOICE　370　原久子
美術手帖　883
日経　7.16　(稔)
須田悦弘展　7.16―10.1　丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
読売　8.24　高野清見
カティア・ストゥーケ／オリヴァー・ジーバー　芸術家交流事業16回「ART―EX」　アーティスト・イン・レジデンス　3.14―3.26　海岸通ギャラリーCASO
ヤドランカ展　eyes of water[ヤドランカ・ストヤコヴィッチ]　10.23―11.1　セッションハウス・ガーデン
毎日　10.18　沢田猛
表現から表現へ2　田中信太郎＋鷲見和紀郎　1.13―2.4　ヨコハマポートサイドギャラリー
朝日夕刊　2.2　田中三蔵
角居康宏展　7.18―8.5　ギャラリー川船
諏訪未知展　quad　5.8―5.13　ギャラリー21＋葉

(セ)

雪舟への旅　没後500年記念　第21回国民文化祭・やまぐち2006特別企画展　11.1―11.30　山口県立美術館
新美術新聞　1104　荏開津通彦
デアルテ　23　斎藤郁夫
デアルテ　23　京谷啓徳
美術手帖　888
朝日夕刊　11.24　福島建治
日経　9.30　内田洋一
毎日夕刊　11.21　渡辺亮一
ドキュメント福島　日本の視点、福島との対話[瀬戸正人]　7.29―8.27　福島県立美術館
芹沢銈介の文字絵展　1.1―2.26　成田山書道美術館
目の眼　353
不思議の国・沖縄と芹沢銈介　開館25周年記念　6.10―9.3　静岡市立芹沢銈介美術館
LIVING with SERIZAWA　芹沢銈介の生活デザイン　静岡アートギャラリー・静岡市立芹沢銈介美術館合同企画　芹沢銈介美術館開館25周年記念　8.1―9.24　静岡アートギャラリー
POLA新鋭展2006[仙谷朋子]　9.1―9.16　ポーラミュージアム　アネックス
ギャラリー*　256
東京　9.9　藤田一人
千住博―フィラデルフィア松風荘襖絵を中心に―　12.2―3.4　山種美術館
日経　11.18

(ソ)

ミヒャエル・ゾーヴァの世界展　1.18―1.23　松屋(銀座)
読売夕刊　1.17　高野清見
祖母井郁展　神隠し　be Sprited Away　10.16―10.28　秋山画廊
ART TODAY 2006　齋藤芽生　曽谷朝絵　10.8―11.23　セゾン現代美術館
孫慶淑展　2.21―2.26　すどう美術館

(タ)

醍醐イサム展　7.13―7.25　紀伊国屋画廊
醍醐イサム個展　9.21―9.28　ギャラリーれがろ
Restoration―リュック・タイマンス展　5.12―7.1　ワコウ・ワークス・オブ・アート
芸術新潮　679
STUDIO VOICE　367　宮村周子
毎日夕刊　6.5　三田晴夫
高井貞二―ニューヨークのタカイ―　11.3―12.10　和歌山県立近代美術館
高内秀剛の茶碗　4.4―4.16　ギャラリー長谷川
高浦浩展22回　4.3―4.8　シロタ画廊
高尾みつ展　10.19―11.19　青梅市立美術館
鷹木朗展　11.28―12.3　ギャラリー16
高倉吉規展　12.18―12.26　ギャラリイK
アフリカ・ミュージシャンの肖像　高桑常寿写真展　7.15―7.26　世田谷文化生活情報センター
高沢日美子展　2.6―2.11　ギャラリー21＋葉
髙島野十郎展　没後30年　6.10―7.17　三鷹市美術ギャラリー
朝日夕刊　6.30　西田健作
読売　6.22　前田恭二
高田一夫―美術・民芸・生活―展　3.4―3.29　北九州市立美術館
高田洋一展　呼吸する翼　11.1―

12.24　高崎市美術館

「都会犬(。v・)／」　タカノ綾ソロエキシビション　4.7—4.24　パルコミュージアム
STUDIO VOICE　364　宮村周子
産経　4.8　猪谷千香

月光浴　高野えいみ個展　5.15—5.20　ギャラリイK

高橋秋華　郷土ゆかりの日本画家　7.19—8.20　岡山県立美術館

熊谷守一・高橋節郎　あこがれ／自由と自然と眼差しと　7.12—8.27　安曇野高橋節郎記念美術館
新美術新聞　1093　佐野順子

高橋俊文展「Blanket」　8.28—9.2　ギャラリー21＋葉

高橋信夫回顧展　5.12—5.25　ギャラリーアビアント
読売　5.5

高橋信行「絵の先生」展　10.14—11.11　白土舎
美術手帖　889　森美樹

高橋雅美展　12.18—12.23　銀座スルガ台画廊

高橋靖史展—3D人体系—　1.5—1.28　INAXギャラリー2

篁牛人展　富山が生んだ—水墨画の鬼才　2.3—3.12　富山県水墨美術館
新美術新聞　1079　八木宏昌

高村光太郎と荻原守衛の交友　7.20—9.3　碌山美術館

多賀谷無人　港町風景版画展　3.31—4.5　山手111番館

高山辰雄展2006　2.7—2.13　三越(日本橋)
アート・トップ　208　(富)
新美術新聞　1079　野地耕一郎

高山洋武作品展　10.27—12.25　創造学園大学ミュージアム三福庵
読売　12.17

ヴィデオ・インスタレーション展覧会　メランコリック・ユートピア　瀧健太郎　9.1—9.22　ヨコハマポートサイドギャラリー

境界の風景　阿部佳明・市川美幸・滝波重人　2.25—3.26　横須賀市文化会館市民ギャラリー

田口雅巳　描いた5年3ヶ月　'01～'06　236点　読売新聞編集委員が読む挿絵原画　12.4—12.22　東邦画廊

加守田章二と竹内彰—大甕陶苑からの出発　3.21—5.14　日立市郷土博物館

大観、栖鳳、玉堂　近代日本画の三巨匠[竹内栖鳳]　3.18—5.21　講談社野間記念館

竹内栖鳳と弟子たち—重要文化財斑猫登場—　9.30—11.19　山種美術館
日経　11.8　宝玉正彦

竹内怜子展　5.15—5.20　銀座スルガ台画廊

竹﨑勝代展　10.9—10.21　シロタ画廊

佐藤正樹・武田圭介　二人展　4.3—4.8　ギャラリイK

竹中英太郎と妖しの挿絵展～エロティシズムとグロテスク…闇にきらめく妖美の世界～生誕百年記念　9.30—12.24　弥生美術館

竹原真二展—如実知見堂—　9.11—9.16　ギャラリイK

夢二の夢[竹久夢二]　2.3—3.26　八王子市夢美術館

激しく創った!!—田島征彦と田島征三の半世紀　7.29—9.18　高知県立美術館

多田正美展　12.16—1.28　双ギャラリー

刀川昇平展　10.9—10.14　ギャラリー白
美術手帖　889　酒井千穂

橋天敬展　生誕100年記念屏風絵～芸は神なり　術は人なり～　5.12—5.17　東京美術倶楽部

立花文穂展「木のなかに森がみえる」　7.13—7.29　東青山
芸術新潮　681

SMTWTFS 07[立花文穂]　12.7—12.23　東青山
芸術新潮　686

田所美恵子・針穴写真展　静物　5.3—5.29　ポーラミュージアムアネックス
読売　4.22

リチャード・タトル版画展　3.1—3.31　TKGY at lammfromm

田中偉一郎「クラシック・カラオケ2006」　1.14—2.18　Yuka Sasahara Gallery
STUDIO VOICE　362　宮村周子

田中一村の世界　10.11—11.26　とちぎ蔵の街美術館

表現から表現へ2　田中信太郎＋鷲見和紀郎　1.13—2.4　ヨコハマポートサイドギャラリー
朝日夕刊　2.2　田中三蔵

life／art '05 Part 2 田中信行　1.5—1.22　資生堂ギャラリー
芸術新潮　675

田中広幸展　11.14—11.26　ギャラリー16

田中麻記子展　10.8—11.8　GALLERY at lammformm
美術手帖　889　宮村周子

田中みぎわ展　5.16—6.9　第一生命南ギャラリー
毎日夕刊　5.29　三田晴夫

棚田康司展　5.24—6.24　ミヅマアートギャラリー
読売夕刊　6.3　(清)

棚田康司展　9.9—9.30　void＋
芸術新潮　683

谷内六郎の軌跡—その人と仕事—没後25年　2.2—2.26　そごう美術館
朝日夕刊　2.14　山盛英司

谷川晃一展「ゲルニカ」　4.3—4.22　ギャラリー池田美術
水声通信　9　須藤哲生
水声通信　9　椹木野衣

ヨロヨロン　東芋　6.3—8.27　原美術館
芸術新潮　681
新美術新聞　1091　木ノ下智恵子
STUDIO VOICE　368　工藤キキ
美術手帖　885　福住廉
毎日夕刊　8.21　三田晴夫

鬼頭健吾＋田幡浩一　3.17—4.12　トーキョーワンダーサイト渋谷

田淵安一—かたちの始まり、あふれる光—　4.8—5.21　神奈川県立近代美術館(葉山)
朝日夕刊　5.16　田中三蔵
東京夕刊　4.25　田淵安一

毎日夕刊　5.8　三田晴夫

新世代への視点2006—画廊からの発言—タムラサトル　7.24—8.5　Gallery Q
読売夕刊　7.29　(前)

田村尚子　2.18—3.18　gallery. sora.
美術手帖　880　河野晴子

田村能里子カレンダー原画展 2007　美しい時間　12.12—12.18　三越(日本橋)
新美術新聞　1106

アン・タランティーノ「Near-maps」　4.10—4.23　gallery neutron
美術手帖　882　酒井千穂

ドガ、ダリ、シャガールのバレエ—美術の身体表現　9.23—3.18　ポーラ美術館

ダリ回顧展　生誕100年記念　9.23—1.4　上野の森美術館
art_icle　0　正木敏洋
朝日　9.13　田中三蔵
朝日　9.20　大岡信
朝日　10.30
朝日夕刊　9.29　田中三蔵
朝日夕刊　12.12　高階秀爾
日経　10.4　宝玉正彦
読売　9.28　前田恭二

多和圭三　新作展　1.23—2.25　ヒノギャラリー
朝日夕刊　2.2　田中三蔵
毎日夕刊　2.6　三田晴夫

(チ)

MAM PROJECT 004　チェ・ウラム　3.10—5.7　森美術館
日経　4.16　(敦)

ジャナイナ・チェッペ展　7.20—8.27　トーキョーワンダーサイト渋谷
芸術新潮　681

陳若冰「春の展示」　4.1—5.13　タグチファインアート
美術手帖　882　高嶋雄一郎

素景—陳若冰・平田五郎・尹熙倉—　10.27—12.24　資生堂ギャラリー

千々岩修　根源的なるものへ　12.4—12.16　東邦アート

千葉正也「4人展」　6.3—8.5　SHUGOARTS
美術手帖　885　宮村周子

長新太展ナノヨ　ありがとう！チョーさん　5.17—7.23　ちひろ美術館(出雲市立平田本陣記念館、刈谷市美術館)
東京　6.17　藤田一人

クリエイターズ—長大作／細谷巌／矢吹申彦　まだ見ぬ日常への案内者たち　7.15—9.24　世田谷美術館

エドゥアルド・チリーダ展　スペインが生んだ空間の詩人　2.21—4.2　長崎県美術館(三重県立美術館)
版画芸術　132　野中明

エドゥアルド・チリーダ展　スペインが生んだ空間の詩人　6.10—7.30　神奈川県立近代美術館(鎌倉)
朝日夕刊　7.13　田中三蔵
読売　7.20　(前)

陳進展　台湾の女性日本画家　生誕100年記念　4.5—5.14　渋谷区立松涛美術館(福岡アジア美術館)
朝日夕刊　4.13　山盛英司
読売夕刊　4.5　ラワンチャイクン寿子

陳進展　台湾の女性日本画家　生誕100年記念　6.3—7.23　兵庫県立美術館
ARTRAMBLE　12　ラワンチャイクン寿子

Chim↑Pom「スーパー☆ラット」　12.8—1.20　無人島プロダクション
STUDIO VOICE　373
美術手帖　892　宮村周子

(ツ)

塚田守—妖怪SPECTER—　3.18—4.8　小山登美夫ギャラリー

series—II　ながめのある部屋　宮本隆司・東島毅・津上みゆき　1.7—1.28　ギャルリ・オーブ

塚本智也「分散する光」展　6.3—6.18　Gallery芽楽
美術手帖　885　森美樹

明治の浮世絵—歌川派の巨匠　芳年と国周—[月岡芳年]　6.24—7.30　町田市立国際版画美術館

津久井利彰展　1.11—1.27　GALLERY OBJECTIVE CORRELATIVE
芸術新潮　675

都路華香展　11.17—12.24　京都国立近代美術館(東京国立近代美術館、笠岡市立竹喬美術館)

東京陶芸家　辻厚成　くつろぎの部屋　5.20—7.2　たばこと塩の博物館

津田亜紀子展　4.24—5.6　ギャラリー山口
芸術新潮　678

niwa「knot」展[津田直]　2.18—3.11　hiromi yoshii
美術手帖　880　高嶋雄一郎

ドキュメント福島　日本の視点、福島との対話[津田直]　7.29—8.27　福島県立美術館

水の詩　津田洋甫写真展　大阪府現代美術コレクション　6.17—7.17　大阪府立狭山池博物館

彫刻なるもの—川島清・土谷武・若林奮の作品から　11.17—12.17　いわき市立美術館
毎日夕刊　11.28　三田晴夫

土屋輝雄・禮一　父子展　3.16—5.21　奈良県立万葉文化館
新美術新聞　1082　福田道宏

堤建二個展　国展80回記念キャンペーン　10.2—10.7　銀座スルガ台画廊

恒松正敏展　メタモルフォシス　3.4—4.16　府中市美術館

坪内滄明日本画展　1.11—1.17　大丸(京都)
アート・トップ　207

鶴園哲美展　5.4—5.16　ギャラリーGAN

(テ)

デスティニー・ディーコン展　Walk & don't look blak　4.29—6.11　東京都写真美術館
毎日夕刊　6.5　飯沢耕太郎
読売　5.25　前田恭二

手塚雄二—花月草星展　現代日本画の探求者　4.20—5.1　高島屋(日

本橋)(高島屋(京都)、(横浜)、(名古屋)、(なんば))
新美術新聞　1086　佐藤道信

IS＝NESS[出町千鶴子]　9.7—9.18　ギャラリー猫町
毎日夕刊　9.14　森忠彦

ラウル・デュフィ　美、生きる喜び　4.5—4.17　大丸(心斎橋)(いわき市立美術館、静岡アートギャラリー、大丸ミュージアム(東京))

寺尾勝広「蜃気楼」　12.8—12.22　小出由紀子事務所
芸術新潮　686
美術手帖　891　宮村周子

ジェイソンテラオカ　隣人たち　11.3—1.14　原美術館
STUDIO VOICE　373　宮村周子
日経　12.19　宝玉正彦

寺崎廣業展　生誕一四〇年　10.28—12.3　秋田県立近代美術館

日本画の伝統を受け継ぐ　寺島節朗とその弟子たち　10.7—11.26　渡辺美術館

寺田就子「澄んだ　にごり」展　11.3—12.16　ギャラリーキャプション
美術手帖　890　森美樹

新世代への視点2006—画廊からの発言—寺田佳央　7.24—8.5　コバヤシ画廊

寺畑助之丞と構造社　昭和初期彫刻の鬼才たち　1.28—2.26　松戸市立博物館

コレクションシリーズ　デルヴォーとマグリット[ポール・デルヴォー]　1.28—3.26　姫路市立美術館

照屋勇賢　水に浮かぶ島　6.17—7.18　すみだリバーサイドホール・ギャラリー
朝日夕刊　6.29　山盛英司
東京　7.1　藤田一人
読売　6.18

天明屋尚「Made in Japan」　9.6—10.7　ミヅマアートギャラリー
産経　9.27　猪谷千香

(ト)

愛知曼荼羅　戦後写真の巨人　東松照明の原風景　6.2—7.23　愛知県美術館
美術手帖　885　楠本亜紀
毎日夕刊　7.10　飯沢耕太郎
読売　6.22　前田恭二

印象さんの物語絵[堂本印象]　10.17—12.17　京都府立堂本印象美術館

LE CHARIVARI. とドーミエ　田中栄作所蔵コレクション　19世紀フランス風刺版画　4.9—5.28　高崎市美術館

ドガ、ダリ、シャガールのバレエ—美術の身体表現　9.23—3.18　ポーラ美術館

徳岡神泉　凝視の眼　生誕110年記念　6.10—7.17　笠岡市立竹喬美術館

京都画壇の画家シリーズI　徳岡神泉展　12.15—2.4　松伯美術館

徳冨満展　plus, minus, infinity　6.24—7.15　小山登美夫ギャラリー
産経　7.11　猪谷千香

ニキ・ド・サンファル　没後初の回顧展　5.11—5.22　大丸ミュージアム(東京)
東京夕刊　5.12　松本路子
東京夕刊　5.13　YOKO増田静江
東京夕刊　5.15　白石かずこ

ニキ・ド・サンファル展　6.17—8.15　名古屋市美術館
日経　8.6　(律)

戸田勝久—旅の手紙　10.14—10.22　ぎゃらりぃ思文閣

特別陳列—日本画家—百々俊雅の世界　8.24—9.24　石川県立美術館
石川県立美術館だより　275

「自然／映像　PHYSIS／IMAGE」展[土橋公三]　9.5—9.16　人形町エキシビットスペース・ヴィジョンズ

新世代への視点2006—画廊からの発言—冨井大裕　7.24—8.5　ギャラリー現

鉄斎　新春名品[富岡鉄斎]　1.15—3.12　鉄斎美術館

鉄斎—躍動する色と形—　2.17—3.26　大和文華館

鉄斎　春季名作—多彩な画題・多様な画風—　3.15—5.7　鉄斎美術館

鉄斎の器玩　5.10—7.2　鉄斎美術館

鉄斎の粉本—画想の源泉・模写—　7.5—10.9　鉄斎美術館

富岡鉄斎展—厳しさと奔放さの芸術—　布施美術館コレクションによる　7.22—8.20　飯田市美術博物館

鉄斎　秋季名作—多彩な画題・多様な画風２—　10.12—12.14　鉄斎美術館

冨倉崇嗣展　7.3—7.8　Oギャラリーeyes
美術手帖　886　酒井千穂

富本憲吉のデザイン空間　生誕120年　7.22—9.24　松下電工汐留ミュージアム
東京　7.29　藤田一人

富本憲吉展　生誕120年　8.1—9.10　京都国立近代美術館(茨城県陶芸美術館、世田谷美術館、岐阜県現代陶芸美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館)

土門邦勝展　9.25—9.30　村松画廊
芸術新潮　683

土門拳の撮った早大生—『早稲田大学政治経済学部経済科卒業アルバム』1936年・1937年より—　3.25—4.22　早稲田大学西早稲田キャンパス２号館
芸術新潮　677
朝日　3.28　佐久間文子

戸谷成雄　ミニマルバロック　3.18—4.28　SHUGOARTS
毎日夕刊　4.13　三田晴夫
読売夕刊　3.30　前田恭二

豊島弘尚展　〈わたしと月と宙の花〉—熾りつづく風景—　4.1—6.27　池田20世紀美術館

鳥井林太朗展—無限のスキマ—　2.20—3.11　ギャラリー川船

(ナ)

名嘉睦稔原画展　『海のふた』文庫本・発売記念　7.18—8.4　中央公論新社ロビー

読売　7.18

レスポワール展40回　2006年新人選抜　永井健志個展　4.17—4.22　銀座スルガ台画廊

中井博個展　9.18—9.23　銀座スルガ台画廊

永井桃子展　5.26—6.3　ときの忘れもの

中畔千嘉展　5.29—6.3　銀座スルガ台画廊

長尾和典個展　7.20—8.2　アートギャラリー閑々居
芸術新潮　681

長尾孝明　原爆展：ヒロシマ　8.30—9.10　宮永岳彦記念美術館

長尾英子展　7.24—7.29　シロタ画廊

長尾英代展　10.2—10.7　戸村美術

中川紀元—辰野美術館所蔵作品による—　1.28—2.19　武蔵野市立吉祥寺美術館

未構築[長倉威彦]　1.16—2.28　ギャラリーA[4]
芸術新潮　675
日経　1.28　窪田直子

中里和人写真展『R』　写真集「R」出版記念　7.29—8.31　ギャラリー冬青
朝日夕刊　8.8　田中三蔵

中沢研展　3.27—4.8　ギャラリー現
毎日夕刊　4.3　三田晴夫
読売夕刊　4.1　(前)

中沢研　5.8—5.27　ギャラリー58
美術手帖　883　河野晴子

中沢弘光展 BOOK DESIGN　10.15—10.21　東京古書会館

中沢弘光美人画展　明治浪漫の画家　10.16—10.21　文房堂ギャラリー

永沢まことのアフリカ！アフリカ！　8.1—9.10　武蔵野市立吉祥寺美術館

永沢陽一展　METAMORPHOSIS変貌系　平成17年度金沢美術工芸大学教員作品　2.5—2.19　金沢21世紀美術館

永島京子「スパイラル」展　7.18—8.11　ギャラリー360°
美術手帖　886　宮村周子

新世代への視点2006—画廊からの発言—中島立雄　7.24—8.5　ギャラリー21＋葉

市野雅彦・中島宏—2005年度日本陶磁協会賞受賞記念—　7.26—8.3　和光ホール

中田和彦展　鈍色の記憶　4.24—4.29　銀座スルガ台画廊

永田萌の世界～夢がうまれるその時に～画業30年記念　佐野美術館開館40周年　3.17—4.17　佐野美術館

中田由絵「予感めいた静けさ」展　8.11—8.20　L Gallery, F-1
美術手帖　887　森美樹

今日の作家シリーズ45　中西信洋展　Saturation　2.15—2.27　大阪府立現代美術センター

長沼守敬とその時代展　7.15—9.10　萬鉄五郎記念美術館(一関市博物館)

中野幸枝展　銅版画　3.2—3.14　東北芸術工科大学東京サテライトキャンパス

ZEROs　中ハシ克シゲ—連鎖する記憶—　9.30—11.12　滋賀県立近代美術館

中村征夫写真展　海中２万7000時間の旅　8.5—9.18　東京都写真美術館
読売夕刊　7.26　関次和子 インタビュー・構成

「自然／映像　PHYSIS／IMAGE」展[中村功]　9.5—9.16　人形町エキシビットスペース・ヴィジョンズ

中村功展　Surface・Figaro　10.10—10.28　ヒノギャラリー
毎日夕刊　10.23　三田晴夫

中村一渓展—生と境涯—　5.15—5.20　シロタ画廊

MOTコレクション　1960年代以降の美術　特集展示—吉田克朗・中村一美　4.15—9.24　東京都現代美術館
毎日夕刊　8.28　三田晴夫

中村研一回顧展　10.7—11.26　中村研一記念小金井市立はけの森美術館

仲村進展—大地と語り、牛に歌う　1.14—2.19　飯田市美術博物館
飯田市美術博物館ニュース　72
新美術新聞　1077　槇村洋介

中村忠二展　6.5—6.17　羽黒洞

不折と子規・鴎外・漱石　中村不折生誕140周年　7.8—9.30　台東区立書道博物館
読売　9.21

子規と不折の句と絵のセッション　9.1—9.30　子規庵
芸術新潮　682

中村不折のすべて展　画家・書家生誕140年　10.20—11.19　長野県伊那文化会館

中村正義没後30年・春展　3.2—5.27　中村正義の美術館
jaic会報　9　笹木繁男

POLA新鋭展2006[流麻二果]　9.1—9.16　ポーラミュージアム　アネックス
ギャラリー*　256
東京　9.9　藤田一人

名取洋之助と日本工房[1931—45]　報道写真とグラフィック・デザインの青春時代　7.8—9.3　川崎市市民ミュージアム(福島県立美術館、足利市立美術館、長崎県美術館)
朝日夕刊　7.27　田中三蔵
毎日　7.7、12　山之内郁治
毎日夕刊　8.21　飯沢耕太郎
読売　8.3　前田恭二

名村可奈子「Gathering momentum　時が満ちるまで」展　2.9—2.14　エビスアートラボ　ギャラリー
美術手帖　878　金井直

新世代への視点2006—画廊からの発言—滑川由夏　7.24—8.5　ギャラリーなつか

奈良美智＋graf「A to Z」展　7.29—10.22　吉井酒造煉瓦倉庫
アート・トップ　211　梅原亜矢子
美術手帖　885　編集部
美術手帖　887　児島やよい
美術手帖　887　立木祥一郎
朝日　8.17　西田健作
東京　8.12　児島やよい
東京夕刊　4.28　(寿)

読売　9.28　高野清見

奈良美智展「moonlight serenade—月夜曲」 9.30—3.21　金沢21世紀美術館
芸術新潮　684

INAXギャラリー特別展 10 daysセレクション—予兆のかたち8—成清美朝 8.1—8.11　INAXギャラリー2

福田尚代×成清美朝 12.15—12.31　Gallery≠Gallery
美術手帖　892　成相肇

名和晃平—GUSH— 1.20—2.25　SCAI　THE　BATHHOUSE
STUDIO VOICE　362
朝日夕刊　2.15　山盛英司

（ニ）

新里陽一　標本　水の呼吸シリーズ2　やごの舌　カスタネット 1.31—2.18　SPC GALLERY

「妄想」　新津亜土華 6.12—6.18　東京芸術大学取手キャンパス

西尾周平展　ギャラリイK推薦作家展『知性の触覚2006　それぞれの他者』 1.26—2.4　ギャラリイK

西尾康之「優麗　Yuurei」 10.28—12.2　山本現代
芸術新潮　685
読売夕刊　11.18　(清)

平面から立体へ　西尾路子展—絵が椅子になった！— 7.14—9.12　安曇野ちひろ美術館
美術館・友の会だより　42　船本裕子

西川勝人展 10.16—11.22　横田茂ギャラリー

西成田育男展　ワードレス 10.23—11.4　シロタ画廊

西成田洋子展 2.20—3.4　村松画廊
芸術新潮　676
毎日夕刊　2.27　三田晴夫

天上のシェリー／西野達展 6.2—8.31　メゾンエルメス8階フォーラム
STUDIO VOICE　368　児島やよい
朝日夕刊　7.11　西田健作
毎日夕刊　7.21　三田晴夫

レスポワール展40回　2006年新人選抜　西原陽平個展 1.23—1.28　銀座スルガ台画廊

西村郁子展 11.14—11.26　ギャラリーすずき
美術手帖　890　酒井千穂

西村功展—パリを愛した画家— 4.15—5.21　西宮市大谷記念美術館

西村元三朗回顧展 10.14—1.14　神戸市立小磯記念美術館

蜷川実花　永遠の花1 11.11—11.26　トーキョーワンダーサイト渋谷

蜷川実花展 11.14—11.25　TKG Edition

蜷川実花　永遠の花2 11.17—12.9　小山登美夫ギャラリー

（ヌ）

額田宣彦—追加 1.16—2.4　ギャルリー東京ユマニテ

沼崎叙彦展　lime life 7.17—7.22　ギャラリイK

沼田直英展 3.14—3.26　ギャラリーGAN

（ネ）

エルネスト・ネト展 8.1—8.26　小山登美夫ギャラリー
産経　8.18　猪谷千香
毎日夕刊　8.15　三田晴夫

エルネスト・ネト展 8.1—8.31　ギャラリー小柳
産経　8.18　猪谷千香
毎日夕刊　8.15　三田晴夫

（ノ）

イサム・ノグチ　世界とつながる彫刻展　顔／神話・民族／コミュニティーのために／太陽 4.15—6.25　横浜美術館(滋賀県立近代美術館、高松市美術館)
朝日夕刊　6.1　田中三蔵
産経　5.8　猪谷千香
東京　6.10　中村隆夫

能島芳史展 11.20—11.25　銀座スルガ台画廊

野田哲也展　Works 2000—2005 6.9—7.1　フジテレビギャラリー
新美術新聞　1091　木戸英行
朝日夕刊　6.15　田中三蔵
読売夕刊　6.17　(清)

野田裕示展　絵画のうしろ姿 9.11—9.30　ギャルリー東京ユマニテ
毎日夕刊　9.22　三田晴夫

野田正明展　ニューヨークからのメッセージ 1.13—3.12　ふくやま美術館
版画芸術　132　野田正明 談

野町和嘉写真展　イスラーム巡礼 9.16—10.29　武蔵野市立吉祥寺美術館
毎日夕刊　10.24　手塚さや香

野見山暁治展 5.22—6.3　みゆき画廊
毎日夕刊　5.29　三田晴夫

野見山暁治展 9.11—9.23　ギャラリー山口
毎日夕刊　9.22　三田晴夫

ノルシュテインの絵本づくり展[ユーリー・ノルシュテイン] 3.1—5.8　安曇野ちひろ美術館(ちひろ美術館(東京))
美術館・友の会だより　45　松方路子

（ハ）

Halh Cocked[エリック・パーカー] 12.16—1.20　タカ・イシイギャラリー
芸術新潮　686

デール・バーニング「The Moth Sessions」展 11.24—1.27　takefloor
美術手帖　891　成相肇

ナムジュン　パイク展 2.1—2.26　korino
産経　2.23　藤田綾子／猪谷千香

トウキョウ・レクイエム[ナムジュン・パイク] 2.26—3.5　東京都現代美術館
産経　2.23　藤田綾子／猪谷千香
読売夕刊　3.3

さよならナム・ジュン・パイク展 6.10—10.9　ワタリウム美術館
美術手帖　885　野々村文宏

朝日　8.30　多木浩二
毎日夕刊　7.13　三田晴夫

lump & bunmps——ラング／バウマン的スパイラルの感じ方[ダニエル・バウマン]　9.8—9.24　スパイラルガーデン
STUDIO VOICE　370

朴宣姫展　6.12—6.21　ギャラリー21＋葉

HASHI(橋村奉臣)展　「一瞬の永遠」&「未来の原風景」　9.16—10.29　東京都写真美術館
産経　10.4　黒沢綾子

橋本邦助展　2.7—3.26　とちぎ蔵の街美術館

橋本夏夫展　紙の仕事　4.10—4.28　GALLERY TERASHITA

橋本博英展—色彩の交響曲—　6.6—6.17　城西大学(城西国際大学水田美術館)

橋本勝　油彩展5回　10.2—10.7　シロタ画廊

橋本由雄新作展　11.6—11.25　東邦画廊

銅版画家　長谷川潔展　作品のひみつ　横浜、そしてパリ　1.15—3.26　横浜美術館
芸術新潮　675　三浦篤
ジャポニスム研究　26　猿渡紀代子
新美術新聞　1076　猿渡紀代子
版画芸術　130　秋田
朝日夕刊　3.3　西田健作
産経　3.8　藤田綾子
日経　2.8　宝玉正彦

長谷川順也「まちとし」展　7.17—7.22　ガレリア　フィナルテ
美術手帖　886　森美樹

長谷川等伯～晩年水墨画の名作～　4.29—5.28　石川県七尾美術館

若き日の長谷川等伯～大法寺重要文化財仏画と新発見作品～　10.3—10.26　高岡市美術館
日経　10.20

特別展示　長谷川利行〈水泳場〉　8.16—8.26　不忍画廊
芸術新潮　682

長谷川利行の愛した下町　10.9—10.21　羽黒洞
東京　10.13　丹治早智子

長谷川富三郎の版画　清水公照交流の足跡　4.29—5.31　姫路市書写の里・美術工芸館

長谷川双葉展　考えないチカラ　3.28—6.18　川越市立美術館

畠山直哉展　"Zeche Westfalen I／II Ahlen"　6.24—7.22　タカ・イシイギャラリー
STUDIO VOICE　368　野々村文宏

幡谷純展　80回記念国展キャンペーン　10.16—10.21　シロタ画廊

八谷和彦—Open Sky 2.0　12.15—3.11　NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]
美術手帖　890
美術手帖　891　長谷川祐子

羽鳥賢二展　ギャラリイK推薦作家展『知性の触覚2006　それぞれの他者』　2.6—2.15　ギャラリイK

花村泰江展　9.25—9.30　ギャラリー21＋葉

羽田美奈展　2.13—2.18　シロタ画廊

馬場彬へのオマージュ　8.21—9.2　ギャルリー東京ユマニテ

花の譜　馬場伸子個展　4.13—4.26　アートギャラリー閑々居
アート・トップ　210

HABU写真展 SORA　11.23—12.13　フォトエントランス日比谷
読売　12.5

灰の時間　Cinza das horas—濱田康作共鳴体展—今福龍太連続企画〈世紀の時間〉Vol. 1　7.11—7.29　GALLERY MAKI
美術手帖　885　毛利嘉孝

浜田泰介の世界　世界文化遺産白川郷・明善寺襖絵完成記念　5.18—5.23　東武(宇都宮)
新美術新聞　1088　ワシオトシヒコ

浜田浜雄「これを何と呼ぶ？超現実的世界？」　9.9—10.9　米沢市上杉博物館

明日への物語[浜田真理]　11.9—11.25　島田画廊
芸術新潮　685

アン・ハミルトン[voce]　2.25—6.4　熊本市現代美術館
美術手帖　882　保坂健二朗

羽毛田信一郎展　かにの山　恋のぼる　5.29—6.3　ギャラリイK

早川俊二展　4.11—4.29　アスクエア神田ギャラリー
日経　4.21　竹田博志

林功展—幻の初期作品と郷土ゆかりの作品—　9.14—10.18　茂原市立美術館・郷土資料館

林武史展　4.20—6.11　伊勢現代美術館
毎日夕刊　5.31　石川健次

林武史「石間」展　12.8—12.28　東京画廊
朝日夕刊　12.19　三田晴夫

原真一　ホワイトサマー　7.3—7.15　ギャラリーせいほう
朝日夕刊　7.6　田中三蔵

美術の中のかたち　手で見る造形　原田和男　シデロ・イホス—鉄の響—　7.22—11.19　兵庫県立美術館

原田泰治とクロアチアの仲間たち　1.17—1.29　三越(日本橋)
朝日夕刊　1.14

シリーズ日本でみられるイタリア現代美術　ピーノ・バリッラ　2.1—3.24　イタリア文化会館(東京)

播磨みどり「フリーフォール—Free fall—」展　4.22—5.20　Gallery Jin Projects
美術手帖　883　河野晴子

エルンスト・バルラハ　ドイツ表現主義の彫刻家　2.21—4.2　京都国立近代美術館(山梨県立美術館)
ジャポニスム研究　26　池田祐子
新美術新聞　1083　池田祐子

エルンスト・バルラハ　ドイツ表現主義の彫刻家　4.12—5.28　東京芸術大学大学美術館
朝日夕刊　4.10　河合哲夫
朝日夕刊　4.27　田中三蔵
産経　5.26　藤田綾子
日経　4.17　宝玉正彦

(ヒ)

Paris〈…〉Tokyo Photograghs in vol-

ume[サビーヌ・ピガール] 11.1—12.3 ONE表参道セリーヌブティックギャラリースペース
産経 9.29 黒沢綾子

東裕二展 痕跡としての存在2—スクリーン 11.27—12.9 秋山画廊

series—II ながめのある部屋 宮本隆司・東島毅・津上みゆき 1.7—1.28 ギャルリ・オーブ

東山魁夷の世界 版画作品による 4.22—5.7 神田日勝記念美術館

東山魁夷 道への道—開館1周年記念— 11.8—12.10 市川市東山魁夷記念館

川崎小虎と東山魁夷展 12.27—1.14 三越(日本橋)
新美術新聞 1107 瀧悌三

ピカソ5つのテーマ 3.18—9.17 ポーラ美術館
朝日夕刊 4.28 田中三蔵
東京 6.3 内田真由美

ピカソとモディリアーニの時代 リール近代美術館所蔵 9.2—10.22 Bunkamuraザ・ミュージアム(愛媛県美術館、ひろしま美術館、秋田県立近代美術館、北九州市立美術館、大丸(梅田))
芸術新潮 682 三浦篤
毎日 9.1
毎日 9.13 南田奈穂
毎日 10.15 假屋崎省吾/立川明子、南田奈穂 聞き手
毎日夕刊 9.19 三田晴夫

変貌するひとのすがた ピカソの版画 11.1—12.17 徳島県立近代美術館

ピカソ・マティス・シャガール…巨匠が彩る物語。 11.18—2.18 うらわ美術館

樋口健彦展 11.7—11.25 ギャラリー川船

樋口保喜展 彫刻 9.4—9.13 ギャラリー21+葉

ヒグラシ・ワンダーワールド 日暮修一の世界 4.29—5.28 松戸市文化ホール/アートスポットまつど
毎日夕刊 4.28 桐山正寿

ARTISTS ON BOARD 2つの展覧会[彦坂敏昭] 11.15—1.12 TAMADA PROJECTS ART SPACE
芸術新潮 685
美術手帖 890 成相肇

Art Spirit/くしろの造形5 久本春雄展 生誕110年 9.30—11.5 釧路市立美術館

菱山裕子展 4.3—4.28 ギャラリーなつか
芸術新潮 678

レスポワール展40回 2006年新人選抜 樋田礼子個展 4.10—4.15 銀座スルガ台画廊

フィボナッチ・ドラゴン 日詰明男展 2.6—2.18 ASK? art space kimura

日野耕之祐 かたちと視線展 4.1—4.29 ギャラリーユニコン
新美術新聞 1083 高橋玄洋

日野之彦 新作展 1.14—2.4 ガレリア・グラフィカ
東京 1.28 中村隆夫

ベルナール・ビュッフェ 西本コレクション 4.4—5.21 福岡市美術館

平井一男展—まなざしは光へ—千葉成夫テキストより 4.10—4.28 東邦画廊

平賀敬 没後5年 「H氏の優雅な生活シリーズ」展—1960s酒と薔薇の日々— 1.10—1.28 文京アート

京橋界隈2006 平子真理展 7.3—7.15 いつき美術画廊

素景—陳若冰・平田五郎・尹熙倉— 10.27—12.24 資生堂ギャラリー

平野綾子展—しょっかく— 10.16—10.22 Oギャラリー

平野牧子個展 11.6—11.11 銀座スルガ台画廊

第V期コレクション展 平福穂庵—その一線が時代を切り拓く— 2.22—4.23 秋田県立近代美術館
ARK 47 保泉充

コレクションの四半世紀 第2部 平福百穂を知っていますか 開館25周年記念 6.3—7.30 宮城県美術館

平町公展 7.28—8.23 第一生命南ギャラリー 芸術新潮

黒の迷宮—凝視の刻—木下晋・小林敬生・日和崎尊夫 1.4—2.5 石川県立美術館

闇を刻む詩人 日和崎尊夫展 7.21—8.5 ときの忘れもの

(フ)

Henk Visch at Moriyama House[ヘンク・フィッシュ] 9.20—11.26 森山邸
芸術新潮 684 保坂健二朗

ドリス・フェター『Mindless Pleasures』 9.22—10.9 ラ・ガルリ・デ・ナカムラ
STUDIO VOICE 370

フォーゲラーとヴォルプスヴェーデ展[ハインリヒ・フォーゲラー] 6.9—6.17 ときの忘れもの

ジェローム・フォルタン:あちこちに 1.12—2.17 カナダ大使館高円宮ギャラリー
芸術新潮 675

深尾尚子展 オプチミスト 8.21—8.26 ギャラリイK

深沢史朗展 自由を生きた画家 生誕100年記念 12.8—2.4 馬頭町広重美術館

スーパーノーマル[深澤直人] 6.9—7.2 AXISギャラリー
AXIS 121 深澤直人 談
AXIS 123 神吉弘邦
デザインの現場 148 土田貴宏
文/細川真由美 通訳

吹田文明展 華麗なる木版画の世界 4.22—6.25 世田谷美術館
芸術新潮 679
新美術新聞 1088 村上由美
版画芸術 132 松山龍雄
朝日夕刊 6.15 田中三蔵
産経 5.16 堀晃和
日経 5.24 宝玉正彦

吹田文明展 華麗なる木版画の世界 9.2—10.22 徳島県立近代美術館
新美術新聞 1099 小林敏生

福井篤「the eyes of the midnight sun」展 10.21—11.11 小山登美夫ギャラリー

美術手帖　890　宮村周子

紫の雨—福井爽人の世界　6.3—7.30　札幌芸術の森美術館
アート・トップ　210　(富)

福王寺法林展　三鷹市名誉市民章受章記念　10.7—10.22　三鷹市美術ギャラリー
新美術新聞　1100　富田智子

福嶋敬恭展—MIND GARDEN—　9.1—9.27　INAXギャラリー2

福田尚代×成清美朝　12.15—12.31　Gallery≠Gallery
美術手帖　892　成相肇

福田半香展　9.15—10.22　田原市博物館

福永大介展　9.2—9.22　小山登美夫ギャラリー
美術手帖　888　宮村周子

福西三千春展　Buddha　7.24—7.29　銀座スルガ台画廊

福原廣展　7.15—8.31　古河市三和資料館

福村君雄展　10.23—10.28　ギャラリイK

福村龍哉展　5.8—5.27　ギャルリー東京ユマニテ

レスポワール展40回　2006年新人選抜　福山一光個展　3.13—3.18　銀座スルガ台画廊

ヤセ犬の軌跡—藤浩志の素描・水彩　8.29—10.29　福岡市美術館

藤川和宏　Stampo di legno　7.3—7.8　ギャラリイK

農と暮らしの残影50年　藤城昭写真　7.15—9.3　大原幽学記念館

藤城清治　光と影の世界　半世紀を超えて　5.16—6.25　岡山県立美術館

藤田邦統—量子—　9.9—11.8　いわき市立美術館

藤田嗣治展　パリを魅了した異邦人生誕120年　3.28—5.21　東京国立近代美術館(広島県立美術館)
jaic会報　6　笹木繁男
ジャポニスム研究　26　林洋子
美術運動　134　吉見敏治
美術運動　134　日夏露彦
美術手帖　878
美術手帖　882　会田誠
朝日　3.30　田中三蔵
産経　5.3　藤田綾子
東京　4.8　中村隆夫
日経　3.18
日経　4.6　宝玉正彦
日経　6.17
日経夕刊　4.20　高階秀爾
日経夕刊　4.24　宝玉正彦
毎日夕刊　4.28　三田晴夫
読売　5.11　前田恭二
読売　5.11　笹木繁男

Ça C'est Paris—清川泰次が写した藤田嗣治のアトリエ　4.1—7.23　清川泰次記念ギャラリー
芸術新潮　677

藤田嗣治展　パリを魅了した異邦人生誕120年　5.30—7.23　京都国立近代美術館
朝日　5.20　岩崎孝
日経　5.20

憧憬の巴里そして欧州～藤田嗣治の時代～　6.8—7.1　星野画廊(京都)

OFF—SENSE　離常識な世界　藤幡正樹作品　10.6—10.30　キャノンギャラリー

藤幡正樹　Portray the Silhouette—絵画の起源?—　10.25—11.18　ASK? art space kimura

藤本由紀夫展　美術館の遠足10／10　5.27　西宮市大谷記念美術館
ギャラリー*　253

藤本由紀夫　ここ、そして、そこ　FUJIMOTO Yukio Here and There　9.16—11.5　名古屋市美術館

タンブール三人展　星合博文　溝部聡　藤原秀一　10.18—10.28　泰明画廊

二川和之展—水の響—　9.21—9.27　天満屋(高松)
新美術新聞　1097　米倉守

船井美佐「nirvana—shine plexus—」展　7.1—7.9　ギャラリーレイ
美術手帖　886　森美樹

舟越桂展　11.7—12.9　西村画廊
芸術新潮　685
朝日夕刊　11.30　田中三蔵
毎日夕刊　11.21　三田晴夫
読売夕刊　11.25　(清)

舟越直木展　12.4—4.22　GALLERY TERASHITA
芸術新潮　686

トリシャ・ブラウン　ドローイング—思考というモーション　3.22—4.8　ときの忘れもの

アンドレ・ブラジリエ　画業55年　エルミタージュ美術館・パリ三越エトワール開催記念　10.10—10.22　三越(日本橋)

鬼頭健吾＋Robert Platt　2.1—2.28　ギャラリー小柳
美術手帖　878　高嶋雄一郎

ジョナサン・プラプチャック展　9.2—9.22　小山登美夫ギャラリー

収蔵品展　彫刻を撮る1　ブランクーシの写真・自作への視線[コンスタンティン・ブランクーシ]　6.6—7.9　静岡県立美術館
読売　7.6

フランシス真悟展　11.24—12.16　ヒノギャラリー

ミッフィー展　50 years with miffy [ディック・ブルーナ]　9.7—10.9　そごう美術館

古川弓子「FLICKER　白昼夢」　12.22—1.26　GALLERY SIDE　2
美術手帖　892　宮村周子

古川吉重展　6.12—7.1　ギャラリー山口
毎日夕刊　6.26　三田晴夫

古川龍生　栃木県立美術館所蔵　1.29—3.21　栃木県立美術館
芸術新潮　675

古郡弘展　盆景・茅屋・胞衣　3.26—5.21　渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館
朝日夕刊　5.9　田中三蔵

場の喚起力　古郡弘展　6.27—8.20　豊田市美術館

ギィ・ブルダン展　4.29—5.27　東京都写真美術館
芸術新潮　679
美術手帖　880　長澤均

古橋佳子展　2.13—2.18　コバヤシ画廊
芸術新潮　676

Casual Meeting — 柴田敏雄キュレーションによる—[ベス・ブロック] 5.13—6.18 双ギャラリー

フンデルトヴァッサー展 人と自然：ある芸術家の理想と挑戦 6.10—11.12 メルシャン軽井沢美術館(京都国立近代美術館)
朝日夕刊 7.14 山盛英司

(へ)

金武から来た女性[平敷兼七] 9.1—9.30 アガジベベー
毎日夕刊 9.14 明珍美紀

ケント・ヘンリクセン Patterns of Indulgence 5.25—6.17 hiromi yoshii
芸術新潮 679

(ホ)

Gailord Bovrisse—Rencontre& Evolution—[ゲイロード・ボヴリッセ] 5.19—5.30 ギャラリーGAN

Bertille de Baudinière「BLUE EARTH」[ベルティーユ・ドゥ・ボーディニエール] 12.11—12.22 戸村美術

Luminosity／Porosity[スティーヴン・ホール] 6.2—7.29 ギャラリー・間
産経 7.21 猪谷千香

タンブール三人展 星合博文 溝部聡 藤原秀一 10.18—10.28 泰明画廊

細井篤「ほほえみを添えて」展 9.5—9.23 ギャラリエ アンドウ
美術手帖 888 成相肇

球体写真二元論 細江英公の世界 12.9—1.28 東京都写真美術館
美術手帖 892 中森康文
朝日夕刊 12.14 山盛英司

クリエイターズ—長大作／細谷巌／矢吹申彦 まだ見ぬ日常への案内者たち 7.15—9.24 世田谷美術館

チェッコ・ボナノッテが描いた ダンテ「神曲」展 11.10—12.13 イタリア文化会館(東京)
産経 11.18 黒沢綾子

チェッコ・ボナノッテ展 12.10—2.18 彫刻の森美術館
産経 12.16 永井泰山

堀直子個展 花ごよみ—四季彩— 2.27—3.11 アートギャラリー環

相馬の画人 堀池雲岳をめぐる世界 9.30—12.3 南相馬市博物館

堀本恵美子新作展—宇宙の愛のメッセージ—2006 7.3—7.22 東邦画廊

道標—アナスタシア現代ロシア写真展[アナスタシア・ホロシロヴァ] 8.12—8.26 文房堂ギャラリー
芸術新潮 682

光悦と樂道入 二つの樂茶碗 二人の交友[本阿弥光悦] 9.12—11.26 樂美術館
日経 9.27 竹田博志

本城直季「small planet」展 4.12—5.12 (g)
美術手帖 882 高嶋雄一郎

本多栄子展—コラボレーションによるリトグラフ— 6.5—6.10 ギャラリー21＋葉

本田健展 6.2—7.2 ギャラリーGAN

本間洋展 ギャラリイK推薦作家展『知性の触覚2006 それぞれの他者』 3.9—3.18 ギャラリイK

(マ)

光が彩なす交響楽—真板雅文インスタレーション— 10.6—3.20 岩手県立美術館

光の魔術師 インゴ・マウラー 7.8—9.18 東京オペラシティアートギャラリー
朝日夕刊 7.25 西田健作
読売 7.13 前田恭二
読売 8.10 飯田志保子

生誕100年記念 前田藤四郎—版に刻まれた昭和モダニズム— 1.21—3.21 大阪市立近代美術館【仮称】

期間限定のモダン大阪—前田藤四郎カフェ・エピナール ふたたび前田藤四郎生誕100年記念イベント 3.1—3.21 長崎堂

前田朋子展「闇と空と白い花」 9.4—9.29 第一生命南ギャラリー
芸術新潮 683

前田政雄展 知られざる画業の全貌 1.21—3.21 北海道立函館美術館

コレクションシリーズ デルヴォーとマグリット[ルネ・マグリット] 1.28—3.26 姫路市立美術館

馬越純一郎個展 5.8—5.13 シロタ画廊

政田武史＋石井友人展 4.8—4.28 ワコウ・ワークス・オブ・アート
芸術新潮 678

密林への回廊 真島直子 4.29—5.21 国際芸術センター青森

真島直子展 地ごく楽 12.20—2.12 愛知県美術館

間島秀徳 Kinesis：発生 9.18—10.1 テラタスタジオ

増井淑乃展 1.21—2.10 小山登美夫ギャラリー

増川寿一展 10.2—10.14 秋山画廊

増原宗一遺作展 夭折した幻の大正美人画家 没後78年 忘れられた画家シリーズ30 7.8—7.30 星野画廊(京都)

町田久美展 6.6—7.1 西村画廊
朝日夕刊 6.20 西田健作
産経 6.16 猪谷千香
毎日夕刊 6.19 三田晴夫

町田洋二展—旅から旅絵— 6.4—7.5 高崎市美術館

松浦寿夫展 3.13—3.25 なびす画廊
水声通信 9 和田忠彦
水声通信 9 土屋誠一

松江泰治写真展「TAIJI MATSUE JP—22」 1.28—4.11 ヴァンジ彫刻庭園美術館
芸術新潮 675

松下康平展 3.29—4.9 ギャラリーGAN

松田権六の世界 漆芸界の巨匠 人間国宝 人間国宝制度誕生50年 9.29—10.29 石川県立美術館(MOA美術館)
石川県立美術館だより 276
芸術新潮 684

松田権六の世界 漆芸界の巨匠 人

間国宝　人間国宝制度誕生50年
12.19—2.25　東京国立近代美術館工芸館
日経　12.25　竹田博志
毎日　12.18　三田晴夫
毎日夕刊　12.19　平山郁夫

松原奈々展　4.15—4.29　ギャラリーキャプション
美術手帖　882　森美樹

松藤孝一　10.21—11.4　ギャラリープランネット
美術手帖　890　森美樹

松本かづち展　4.1—6.27　弥生美術館

松本力「宇宙登山　Climbing Universe」展　7.7—8.5　IID Gallery
美術手帖　887　宮村周子

松本哲男展「鼓動する大地」　東北芸術工科大学学長就任記念　4.28—5.20　ギャルリ・オーブ
瓜生通信　37　徳森由希子

松本勝素描展　1.2—1.10　松坂屋(銀座)
アート・トップ　208

松山賢「available」展　5.15—6.3　ギャラリー手
美術手帖　885　宮村周子

松山広視展　8.7—8.12　ギャラリイK

ピカソ・マティス・シャガール…巨匠が彩る物語。[アンリ・マティス]　11.18—2.18　うらわ美術館

イメージの構築　ホルガー・マティス　ポスター展　11.20—12.15　武蔵野美術大学美術資料図書館

野の画人　丸山永畝の写生帖
10.28—11.26　世田谷区立郷土資料館

丸山富之　新作展　5.29—6.24　ヒノギャラリー
毎日夕刊　6.5　三田晴夫

万代進個展　北の大地・層雲から
11.27—12.2　シロタ画廊

(ミ)

ヘレン・ファン・ミーネ—A Sense of You, Created by Me—　3.16—4.20　ギャラリー小柳
日経　3.29　宝玉正彦

ヘレン・ファン・ミーネ Tokyo Girls
3.17—4.12　トーキョーワンダーサイト渋谷
産経　4.8　猪谷千香
日経　3.29　宝玉正彦

三浦泉展　7.24—7.29　みゆき画廊

三浦逸雄新作展　インテリオール　閉じられた空間　2.6—2.25　東邦画廊

三浦小平二展　人間国宝　作陶50年　5.30—6.4　三越(日本橋)

三岸節子と装丁　文学者たちとの交流　10.14—11.19　一宮市三岸節子記念美術館

甦るハンガリーの歴史遺産—グラーニツ・ミクローシュによる教会写真展　10.21—11.19　久米美術館

三塩英春展—エングレーヴィングによる版画—　5.8—5.20　シロタ画廊

水越武写真展「大地への想い」　6.17—7.16　豊橋市美術博物館(北海道立釧路芸術館)

美術監督　水谷浩の仕事　生誕100周年記念　4.4—9.24　東京国立近代美術館フィルムセンター
芸術新潮　681

水野英子の世界　8.27—8.27　東京ビッグサイト
毎日夕刊　8.21　内藤麻里子

連続作家紹介10回　三瀬夏之介展『奇景』　11.6—11.15　アート・インタラクティヴ東京

タンブール三人展　星合博文　溝部聡　藤原秀一　10.18—10.28　泰明画廊

三田村光土里「遠くに住んでいる人からの伝言」記録展　3.9—4.9　古書一路
美術手帖　880　河野晴子

「間合」　三橋紀子　5.13—5.19　東京芸術大学取手キャンパス

南桂子　bonheur　4.25—8.6　ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション
朝日夕刊　8.1　田中三蔵
産経　5.19　桑原聡

南川史門「エジプト、貴婦人、丸と四角」　12.18—1.28　MISAKO&ROSEN
美術手帖　892　成相肇

峯孝遺作展　12.2—12.8　ギャラリーいがらし
読売　11.30

昨日のサンドウィッチ[ボリス・ミハイロフ]　12.22—2.3　SHUGO-ARTS
芸術新潮　686

宮川哲弥展　7.10—7.29　GALLERY TERASHITA

宮川ひかる「トリップ・オブ・ヒカル」展　10.28—11.25　高橋コレクション
美術手帖　890　成相肇

宮城澄展　2.27—3.4　ガレリア・グラフィカbis

徳島のコレクション2006—II　コーナー展示　三宅克己の作品と資料　江川淑夫氏寄贈　7.11—9.3　徳島県立近代美術館

日本画二人展×2　1：紙谷義久・宮崎喜恵　5.16—6.11　大分市美術館

宮崎進の仕事　6.9—6.29　ギャルリー東京ユマニテ
新美術新聞　1089　武田厚

宮崎真弓展—海響—　10.23—10.28　銀座スルガ台画廊

宮島達男展「FRAGILE」　3.3—4.8　SCAI THE BATHHOUSE
芸術新潮　677
産経　3.14　猪谷千香
毎日夕刊　3.24　三田晴夫

近代陶芸の精華　宮之原謙　11.20—1.22　千葉県立美術館
読売夕刊　1.11　芥川喜好

宮本三郎と風景　12.2—3.25　宮本三郎記念美術館

series—II　ながめのある部屋　宮本隆司・東島毅・津上みゆき
1.7—1.28　ギャルリ・オーブ

三好碩也　絵本の世界—絵本原画の魅力—　7.8—9.3　富士美術館

萩焼の造形美　人間国宝　三輪壽雪の世界　7.15—9.24　東京国立近代美術館工芸館(山口県立萩美術館・浦上記念館、三越(福岡)、松坂屋美術館、茨城県陶芸美術館)
陶説　642　廣崎裕哉

朝日夕刊　7.11　金子賢治
日経　7.26　竹田博志

ラスコーの夢をみた—写真—稲憲一郎・倉重光則・みわはるき　2.20—3.11　SPC GALLERY

(ム)

向井潤吉の歩いた時代　大正・昭和に残した画家の足跡　12.2—3.25　向井潤吉アトリエ館

向井良吉と6人　9.7—9.19　紀伊国屋画廊

心豊かに　実篤の画讃に生き方を学ぶ　没後30年[武者小路実篤]　4.29—6.4　調布市武者小路実篤記念館

ブルーノ・ムナーリ—アートとあそぼう—　7.15—9.3　米沢市上杉博物館

棟方志功と柳宗悦　日本民芸館創設70周年記念　5.12—6.11　そごう美術館
朝日夕刊　6.2　田中三蔵

棟方志功展　日本民芸館所蔵　日本民芸館設立70周年記念　10.3—11.5　鹿児島市立美術館

幻の棟方志功　大原美術館、クラレ秘蔵作品より　10.5—10.17　大丸ミュージアム(東京)
芸術新潮　684
目の眼　362
毎日　10.4

村井俊二展　Scrabble　7.10—7.29　ヒノギャラリー

村岡三郎展　Memory〈1944—2006〉　6.8—7.15　ケンジタキギャラリー(東京)
読売夕刊　7.1　(前)

村上友晴展　クリスマスブック　12.11—1.19　横田茂ギャラリー
朝日夕刊　12.21　田中三蔵

村上将城展　9.5—9.17　Gallery MOCA
美術手帖　888　森美樹

村上豊の世界　ふるさとの画家　佐野美術館創立40周年記念　8.5—9.4　佐野美術館

村上豊の挿絵原画　名作の名脇役　9.2—10.22　講談社野間記念館

村上善男—1950年代を中心に　冷たい計算から熱い混沌へ…　6.3—7.9　岩手町立石神の丘美術館

村瀬恭子展「月と森とシダの下のかたつむり」　3.18—4.15　タカ・イシイギャラリー
芸術新潮　677
STUDIO VOICE　365　北澤ひろみ

村田朋泰展　俺の路・東京モンターージュ　2.11—3.31　目黒区美術館
朝日夕刊　3.16　田中三蔵
東京　3.18　藤田一人
読売夕刊　3.2　前田恭二

連続作家紹介7回　村田佳彦—かげぼうし—　9.25—10.4　アート・インタラクティヴ東京

村松浩之展　5.8—5.13　銀座スルガ台画廊

レスポワール展40回　2006年新人選抜　村松元子個展　2.27—3.4　銀座スルガ台画廊

村山密展—パリを描いて半世紀—　12.2—1.14　茨城県近代美術(尾道市立美術館、ハウステンボス美術館)

武留井義男個展　11.20—11.25　櫟画廊

(モ)

パウラ・モーダーゾーン=ベッカー時代に先駆けた女性画家　1.7—3.26　神奈川県立近代美術館(葉山)
ジャポニスム研究　26　佐藤洋子
朝日夕刊　3.10　西田健作
東京　3.11　中村隆夫
読売夕刊　1.14　水沢勉
読売夕刊　1.31　高野清見

風景・窓・絵画—アーティストの視点から：母袋俊也の試み　7.21—10.15　埼玉県立近代美術館
毎日夕刊　8.4　石川健次

ピカソとモディリアーニの時代　リール近代美術館所蔵　9.2—10.22　Bunkamuraザ・ミュージアム(愛媛県美術館、ひろしま美術館、秋田県立近代美術館、北九州市立美術館、大丸(梅田))
芸術新潮　682　三浦篤
毎日　9.1
毎日　9.13　南田奈穂
毎日　10.15　假屋崎省吾／立川明子、南田奈穂 聞き手
毎日夕刊　9.19　三田晴夫

元田久治展　11.25—12.25　AIN SOPH DISPATCH
美術手帖　891　森美樹

元永定正の創作の世界　いろ・かたち・せん・ことばとあそぶ　8.2—9.3　練馬区立美術館
朝日夕刊　8.26　田中三蔵
毎日夕刊　8.15　三田晴夫

私の瀬戸内物語　大漁旗をテーマに[森庄平]　9.25—9.30　新井画廊
毎日　9.19　益子香里

森太三　Sky mountains　5.13—6.3　ギャラリーwks.
美術手帖　883　酒井千穂

Tom Na H-iu[森万里子]　4.21—6.3　SCAI THE BATHHOUSE
朝日夕刊　5.23　西田健作
毎日夕刊　5.15　三田晴夫

レスポワール展40回　2006年新人選抜　森川勝栄個展　1.16—1.21　銀座スルガ台画廊

ウィリアム・モリス　ステンドグラス・テキスタイル・壁紙・家具・書籍のデザイン　4.15—6.18　群馬県立館林美術館

スーパーノーマル[ジャスパー・モリソン]　6.9—7.2　AXISギャラリー
AXIS　121　ジャスパー・モリソン 談
AXIS　123　神吉弘邦
デザインの現場　148　土田貴宏
文／細川真由美 通訳

森田茂展　百歳記念　しもだて美術館拡大常設展　3.7—4.2　しもだて美術館
新美術新聞　1082　小山法子

烈火の季節／なにものかへのレクイエム・その壱[森村泰昌]　11.11—12.16　SHUGOARTS
芸術新潮　685
朝日夕刊　11.30　田中三蔵
産経　11.22　黒沢綾子

東京　11.18　藤田一人
毎日夕刊　12.4　三田晴夫

森山大道×滝沢直己×Stiletto Contact Sheet　4.21—5.31　ISSEY MIYAKE BY NAOKI TAKIZAWA 六本木ヒルズ店
産経　5.19　藤田綾子

Daido Moriyama it!　10.13—11.19　ラットホールギャラリー
STUDIO VOICE　371

細描画展[文殊四郎義博]　9.11—9.17　サッポロ銀座ビルロイヤルサロン
毎日夕刊　9.6

(ヤ)

八木良太「side : a　timer／side : b walts」　8.25—10.21　無人島プロダクション
美術手帖　888　成相肇

保田弥生—小鳥のフランチェスカ—　10.16—11.4　はたのファインアーツ

安彦良和原画展　7.28—9.18　八王子市夢美術館
東京　9.1　杉本慶一

柳沢正人日本画展　刻(とき)の旅人　5.13—6.11　五島美術館
アート・トップ　209　(根)

矢野和久展　12.19—12.24　ギャラリー16

現代美術コンクール受賞作家展第2回　Antenna×ヤノベケンジ『森で会いましょう』　3.4—3.18　大阪府立現代美術センター
STUDIO VOICE　364

クリエイターズ—長大作／細谷巌／矢吹申彦　まだ見ぬ日常への案内者たち　7.15—9.24　世田谷美術館

山喜多二郎太展　5.15—5.31　東邦画廊

山口晃「ラグランジュポイント」　12.5—1.20　ミヅマアートギャラリー
芸術新潮　686
読売夕刊　12.16　(清)

早見芸術学園造形研究所NIHONGA塾　第10期生卒業制作作品展
[山口育三]　2.27—3.4　exhibit LIVE & Moris

山口勝弘展　メディア・アートの先駆者　「実験工房」からテアトリーヌまで　2.4—3.26　神奈川県立近代美術館(鎌倉)(茨城県近代美術館)
美術手帖　880　佐々木成明
朝日夕刊　2.23　田中三蔵
日経　3.3　宝玉正彦
毎日夕刊　2.16　三田晴夫
読売夕刊　2.23　前田恭二

山口長男・脇田和展—A氏コレクションより—　1.3—3.26　大川美術館
新美術新聞　1078　春原史寛

山口蓬春と多彩な芸能の世界～昭和美術のアートディレクター～　1.7—3.26　山口蓬春記念館

葉山に開化した山口蓬春の芸術—友情に結ばれた画家と建築家—会館15周年記念初冬　10.21—12.24　山口蓬春記念館

山口蓬春—伝統とモダンの融合—日本画の変革者　10.21—12.24　神奈川県立近代美術館(葉山)
朝日夕刊　12.1　山盛英司

山倉研志「Flower」展　12.11—12.23　ギャラリー覚
美術手帖　891　成相肇

山崎桜子展　7.17—7.22　ギャラリー21＋葉

山﨑宏展—日本画の手法—充満する四つの時間Ⅰ　4.5—4.11　高島屋(日本橋)
毎日夕刊　4.7　石川健次

レスポワール展40回　2006年新人選抜　山下和子個展　3.20—3.25　銀座スルガ台画廊

山下清展　7.15—8.20　郡山市立美術館

山田浩司「homing—森の兆し—」展　4.1—4.30　潺画廊
美術手帖　882　河野晴子

山田脩二の軌跡—写真、瓦、炭…　2.4—3.19　兵庫県立美術館

山田展也個展　11.13—11.18　銀座スルガ台画廊

山田正亮展　2.14—3.24　色彩美術館
東京　2.25　中村隆夫

建築家山田守展～流動するフォルムにみた合理性～　12.12—1.31　日本建築学会建築博物館ギャラリー
建築史学　48　倉方俊輔

大和由佳—地表の鳥—INAX ART NEWS 274　2.1—2.25　INAXギャラリー2

山名文夫と熊田精華展　絵と言葉のセンチメンタル　6.24—9.3　目黒区美術館

山中現　新作木版画　11.6—11.18　シロタ画廊

山元勝仁"INNER LAYER SHOW"　4.15—5.20　Yuka Sasahara Gallery
芸術新潮　679

山本丘人展　開館15周年記念　日本画の巨匠　10.14—11.26　平塚市美術館
新美術新聞　1103　勝山滋
朝日夕刊　11.10　西田健作
日経　10.31　竹田博志

山本桂輔展　1.23—2.28　TKGY at lammfromm

山本佳輔展　9.1—9.30　大黒屋

山本昇雲展　東京初公開　高知県立美術館所蔵　3.1—4.26　太田記念美術館

山本高之展　10.14—11.12　muzz program space
美術手帖　889　酒井千穂

山本貞展—いつか見た森—　4.11—4.17　三越(日本橋)
新美術新聞　1084　宝木範義

山本秀明展　さまざまな眼151　6.22—7.18　かわさきIBM市民文化ギャラリー

山本森之助展　長崎の美術2　長崎が生んだ風景画家　11.29—3.25　長崎県美術館

備前　山本雄一作陶展　10.3—10.9　三越(日本橋)
毎日　10.2　浜田重幸

山本裕子展　継続する意志—Vol. 12　1.10—1.21　ギャラリー21＋葉

矢柳剛展　BRASILからJAPAN　絵

画芸術の旅57'～59' 11.6—11.22 いのは画廊

ホルスト・ヤンセン 北斎へのまなざし 4.5—5.21 埼玉県立近代美術館
朝日 4.18 山盛英司
東京 5.13 中村隆夫

(ユ)

油井瑞樹個展—霧門— 7.10—7.15 ギャラリー21+葉

弓良麻由子展 8.28—9.2 ギャラリイK

素景—陳若冰・平田五郎・尹熙倉— 10.27—12.24 資生堂ギャラリー

(ヨ)

横尾龍彦展 BLAUE SERIE 4.17—4.29 アートスペース羅針盤
毎日夕刊 4.24 三田晴夫

大観、栖鳳、玉堂 近代日本画の三巨匠[横山大観] 3.18—5.21 講談社野間記念館

足立美術館 横山大観 近代日本画を創造した芸術家の真髄 4.27—5.7 三越(福岡)

横山大観展 近代日本画の巨匠 7.30—9.3 福岡市美術館
新美術新聞 1095 柴田勝則

横山光輝の世界 11.18—1.8 川崎市市民ミュージアム
産経 12.13 黒沢綾子

吉川信一展 6.12—6.17 銀座スルガ台画廊

吉川民仁「風の吹くところ」 5.27—7.29 鎌倉画廊
毎日夕刊 7.10 三田晴夫

吉川龍展 Road To Nowhere Leads To Me—私を導く終わりなき道— 4.5—4.15 新生堂

吉澤美香展 2.10—3.12 ギャラリーGAN

吉田敦彦展06 11.20—11.25 シロタ画廊

MOTコレクション 1960年代以降の美術 特集展示—吉田克朗・中村一美 4.15—9.24 東京都現代美術館
毎日夕刊 8.28 三田晴夫

吉田直—まどろみの中で— 10.4—10.22 岩崎ミュージアム
東京 10.14 中村隆夫

吉仲太造の世界 3.1—3.18 文京アート/gallery坂巻

吉永裕の世界展 辿る今日・色の旋律 6.9—7.8 ヨコハマポートサイドギャラリー
毎日夕刊 7.3 三田晴夫

吉原治良展 生誕100年記念 6.13—7.30 東京国立近代美術館
新美術新聞 1092 松本透
朝日夕刊 6.8 森本俊司
朝日夕刊 6.29 田中三蔵
産経 7.25 黒沢綾子
東京 7.8 中村隆夫
日経 7.19 宝玉正彦
毎日夕刊 7.24 三田晴夫

吉村敏治展—陶変異体— 5.1—5.29 INAXギャラリー2

吉本直子 古着による造形—Life in Death 4.22—5.21 Gallery NAF
美術手帖 883 森美樹

依田順子展 6.19—7.8 村松画廊
毎日夕刊 7.3 三田晴夫

米田民穂展 4.18—4.30 ギャラリーGAN

米田知子展 「モノクロームの仕事 1996—2003」 5.9—5.27 SHUGOARTS
芸術新潮 679
毎日夕刊 5.22 三田晴夫

米林雄一彫刻展 4.18—4.30 アルスギャラリー
朝日夕刊 4.25 田中三蔵

米原昌郎展 11.27—12.16 ギャラリーほそかわ
美術手帖 891 酒井千穂

四方田草炎展「竹林」 4.29—6.18 うらわ美術館

New paintings 依藤奈奈展 4.3—4.8 ギャラリー山口

再考・萬鉄五郎展 4.29—7.9 萬鉄五郎記念美術館

(ラ)

光悦と樂道入 二つの樂茶碗 二人の交友 9.12—11.26 樂美術館
日経 9.27 竹田博志

lump & bunmps——ラング/バウマン的スパイラルの感じ方[サビナ・ラング] 9.8—9.24 スパイラルガーデン
STUDIO VOICE 370

ジム・ランビー展『P. I. L.』 4.12—5.13 ミヅマアートギャラリー
STUDIO VOICE 366 嘉藤笑子

ルイザ・ランブリ展 9.6—11.4 ギャラリー小柳
芸術新潮 683

(リ)

李曰鍾 1.20—2.18 GALLERY美術世界
東京 2.4 藤田一人

李禹煥展 4.10—5.2 村松画廊
毎日夕刊 4.17 三田晴夫
読売夕刊 4.22 (前)

李禹煥版画展 開廊40年記念 1.10—1.28 シロタ画廊

ルーシー・リー 器に見るモダニズム 4.1—6.15 とちぎ蔵の街美術館

ルーシー・リー展 うつわに宿るもの 12.12—1.28 静岡アートギャラリー

バーナード・リーチ 兵庫陶芸美術館開館記念II 3.18—5.28 兵庫陶芸美術館

アン・リスレガード「Bellona」展 4.7—5.13 nca—日動コンテンポラリーアート
美術手帖 882 河野晴子

バーシャ・リプスカ展 ヨガ魔法の絨毯 4.17—4.22 ギャラリイK

劉崢展 1.13—2.10 東京画廊

柳恵松展 12.18—12.25 ギャラリー21+葉

ジョージ・リランガ この世は精霊たちとともに 7.9—9.3 多摩美術大学美術館
朝日夕刊 8.22 山盛英司

(ル)

出光コレクションによる ルオー 4.8—6.4 名古屋市美術館

ルオーとローランサン—パリの踊り

子たち 4.29—7.9 松下電工汐留ミュージアム

ルオー 伝説的風景 12.23—1.28 松下電工汐留ミュージアム

ルソーの見た夢、ルソーに見る夢 10.7—12.10 世田谷美術館(愛知県美術館、島根県立美術館)
朝日夕刊 11.21 西田健作
産経 11.15 黒沢綾子
東京 10.2 岡谷公二／村上由美
東京 10.6
東京 11.4 宮崎克己
東京 11.11 中村隆夫
東京 11.29 木下亮
東京 11.30 矢吹申彦
東京夕刊 10.30 青木世一
東京夕刊 10.31 赤瀬川原平
東京夕刊 11.2 西尾幹二
東京夕刊 11.6 村上博哉
東京夕刊 11.7 横尾忠則
毎日 10.18 市川明代
読売 11.9 前田恭二

狂相曲 シャリヴァリ宮の才人たち Benjamin Roubaud—Le Panthéon charivarique展[バンジャマン・ルボー] 4.15—6.4 伊丹市立美術館
芸術新潮 678

（レ）

for four hands[ガブリエル・レスター] 9.12—10.14 ワコウ・ワークス・オブ・アート
STUDIO VOICE 370 大森俊克

（ロ）

Modeがとらえた Art パオロ・ロヴェルシ写真展 6.3—6.25 横浜赤レンガ倉庫1号館

ベルント・ローゼ写真展「希望の光」～ドイツ人特派員が撮った昭和26年の日本～ 国際プロシア文化財団絵画アーカイブ所蔵 2.25—4.9 昭和館
毎日 2.8 若井耕司
読売夕刊 3.1 芥川喜好

ロビン・ロード 6.6—7.30 資生堂ギャラリー
芸術新潮 681
東京 6.24 中村隆夫

ロートレック賛歌～ポスター芸術の魅力～サントリーミュージアム天保山所蔵 10.17—11.19 大分県立芸術会館

ルオーとローランサン—パリの踊り子たち[マリー・ローランサン] 4.29—7.9 松下電工汐留ミュージアム

ロダンとカリエール 考える人・彫刻家・画家 世紀末に生きた創造者たちの手と精神 3.7—6.4 国立西洋美術館
新美術新聞 1081 大屋美那
朝日夕刊 5.19 西田健作
産経 5.24 藤田綾子
毎日 3.6
毎日 5.3 湯原かの子
毎日 5.4 山口昌男
毎日 5.17 伊集院静
毎日夕刊 3.13、14、16～18 高階秀爾
毎日夕刊 4.20 大屋美那
読売 4.13 前田恭二

ロダン—創造の秘密—白と黒の新しい世界 フランス国立ロダン美術館コレクション 9.23—11.5 岩手県立美術館(下関市立美術館、静岡県立美術館、兵庫県立美術館)

収蔵品展 旅するロダン 10.17—11.26 静岡県立美術館

（ワ）

彫刻なるもの—川島清・土谷武・若林奮の作品から 11.17—12.17 いわき市立美術館
毎日夕刊 11.28 三田晴夫

山口長男・脇田和展—A氏コレクションより— 1.3—3.26 大川美術館
新美術新聞 1078 春原史寛

和久井恭子「いつもの風景」展 8.19—9.5 ゲンダイハイツ・ギャラリー・デン
美術手帖 887 高嶋雄一郎

涌田美江作品展 11.13—11.18 シロタ画廊

スコット＝ド・ワシュレー来日展～いつからハゲなんだろう 4.25—5.7 アートフロントギャラリー
STUDIO VOICE 365

ART TODAY 2006 和田賢一 渡邉野子 10.7—11.23 セゾン現代美術館

安西水丸＋和田誠 PARTNERS 3.27—4.1 SPACE YUI
毎日夕刊 3.30 手塚さや香

わたせせいぞうの世界 1.11—1.24 大丸(東京)

渡辺隆根展 4.1—6.25 宗教法人長泉院付属現代彫刻美術館
朝日夕刊 6.13 田中三蔵

渡辺達正展 銅版画 9.25—10.4 番町画廊

渡辺豊重の世界展 12.16—12.26 ATELIER K・ART SPACE

ART TODAY 2006 和田賢一 渡邉野子 10.7—11.23 セゾン現代美術館

渡辺雅絵個展 peTom銀座店 9.25—9.30 ギャラリイK

渡辺泰子「shadow」展 10.13—11.11 GALLERY SIDE 2
美術手帖 889 宮村周子

渡辺安友展 2.11—4.16 宇都宮美術館

渡辺力 リビング・デザインの革新 1.13—3.5 東京国立近代美術館
日経 2.25 窪田直子

綿引展子展 10.10—10.28 文京アート

和野哲也展 悪女 11.20—11.25 ギャラリイK

団体展

（ア行）

アート未来展11回 3.1—3.6 東京都美術館
美術の窓 272 高山淳／功刀知子

亜細亜現代美術展42回 6.12—6.22 東京都美術館
新美術新聞 1096
美術の窓 275 高山淳／功刀知子

一期会展41回 8.20—8.30 東京都

美術館
新美術新聞　1099
美術の窓　277　高山淳／切刀知子

一陽展52回　9.18—10.3　東京都美術館(大阪市立美術館、富山県民会館美術館)
新美術新聞　1102
美術の窓　278　高山淳／切刀知子／庄司美樹

一水会新鋭展3回　3.6—3.12　東京銀座画廊
新美術新聞　1085

一水会展68回　9.18—10.3　東京都美術館(井上百貨店(松本)、めいてつエムザ催事場(金沢)、大阪市立美術館、愛知県美術館ギャラリー)
新美術新聞　1102
美術の窓　278　高山淳／磯部靖

一線展57回　10.5—10.14　東京都美術館
新美術新聞　1104
美術の窓　279　高山淳／切刀知子

一創会展28回　2.28—3.5　東京都美術館
新美術新聞　1084

旺玄展72回　5.21—5.30　東京都美術館
新美術新聞　1093
美術の窓　274　高山淳／切刀知子

(カ行)

近美展33回　11.25—12.1　東京都美術館
新美術新聞　1110
美術の窓　281　切刀知子

近代美術協会展43回　8.20—8.30　東京都美術館
新美術新聞　1099
美術の窓　277　切刀知子

グループ玄2006　5.23—5.28　京都府立文化芸術会館
新美術新聞　1093　太田垣實

群炎展 44回　2.14—2.26　東京都美術館
新美術新聞　1082

ニュークリエイティブ展24回[現代手工芸作家協会]　11.26—12.1　東京都美術館
新美術新聞　1110

現水展45回　10.5—10.14　東京都美術館
新美術新聞　1104
美術の窓　279　高山淳／磯部靖

現創展32回　12.10—12.16　東京都美術館
新美術新聞　1112
美術の窓　281　切刀知子

現代童画展32回　12.2—12.9　東京都美術館
新美術新聞　1111
美術の窓　281　高山淳／切刀知子

現展62回　6.12—6.22　東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー)
新美術新聞　1096
美術の窓　275　高山淳／切刀知子

元陽展37回　11.25—12.1　東京都美術館(広島県立美術館、大阪市立美術館)
新美術新聞　1110
美術の窓　281　切刀知子

行動展61回　9.1—9.16　東京都美術館(大阪市立美術館、京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー、福岡市美術館、米子市美術館、岡山県天神山文化プラザ)
新美術新聞　1100
美術の窓　278　高山淳／切刀知子／庄司美樹

光風会展92回　4.6—4.21　東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館、広島県立美術館、高岡市美術館)
新美術新聞　1089
美術の窓　273　高山淳／切刀知子／磯部靖

光陽展54回　5.9—5.19　東京都美術館
新美術新聞　1091
美術の窓　274　高山淳／磯部靖

国画展37回　12.2—12.9　東京都美術館
新美術新聞　1111
美術の窓　281　切刀知子

国展80回　4.23—5.7　東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)
新美術新聞　1090
美術の窓　274　高山淳／小森佳代子／切刀知子／庄司美樹／磯部靖

ima展32回[国際現代美術家協会]　8.20—8.30　東京都美術館
新美術新聞　1099

齣展37回　5.31—6.10　東京都美術館
美術の窓　275　切刀知子

(サ行)

朔日会展75回　5.9—5.19　東京都美術館
新美術新聞　1091
美術の窓　274　高山淳

サロン・デ・ボザール展34回　11.26—12.1　東京都美術館
新美術新聞　1110

三軌展58回　3.26—4.4　東京都美術館
新美術新聞　1087
美術の窓　273　高山淳／切刀知子／磯部靖

示現会展59回　4.6—4.21　東京都美術館(兵庫県立美術館王子分館、北九州市立美術館、熊本県立美術館分館、福岡市美術館、和歌山県民文化会館県民ギャラリー、愛知県美術館ギャラリー、岐阜県立美術館、京都市美術館別館、山形県芸文美術館、青森市民美術展示館、長岡美術センター、福井県立美術館)
新美術新聞　1089
美術の窓　273　高山淳／切刀知子

写実画壇展34回　4.1—4.7　上野の森美術館
新美術新聞　1088

秋耕展32回　12.10—12.16　東京都美術館
新美術新聞　1112

自由美術展70回　10.17—10.31　東京都美術館

新美術新聞　1105
美術の窓　279　高山淳／庄司美樹

主体展42回　9.1—9.16　東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館)
新美術新聞　1100
美術の窓　278　瀧悌三／高山淳／磯部靖

朱葉会展86回　6.1—6.10　東京都美術館
新美術新聞　1095
美術の窓　275　高山淳／磯部靖

純展36回　12.10—12.16　東京都美術館
新美術新聞　1112
美術の窓　281　切刀知子

春陽展83回　4.23—5.7　東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、大阪市立美術館)
新美術新聞　1090
美術の窓　274　高山淳／切刀知子

富山春陽展2006　6.23—7.2　富山県民会館美術館

職美展60回　6.12—6.22　東京都美術館

女流画家協会展60回　5.21—5.30　東京都美術館
新美術新聞　1088　瀧悌三／大村智
新美術新聞　1093
美術の窓　275　高山淳／佐久間智香子／磯部靖

女流画家協会60周年記念展—歩みと展望—　5.22—5.31　上野の森美術館
新美術新聞　1088　瀧悌三／大村智

新塊樹社展50回　3.14—3.24　東京都美術館(大阪市立美術館、京都市美術館、松屋(銀座))
新美術新聞　1085
美術の窓　272　高山淳／切刀知子／磯部靖

新協展49回　10.5—10.14　東京都美術館
新美術新聞　1104
美術の窓　279　高山淳／切刀知子

極美展12回[新極美術協会]　12.19—12.24　東京都美術館
新美術新聞　1114

新芸術展31回　11.25—12.1　東京都美術館
新美術新聞　1110
美術の窓　281　高山淳／切刀知子

新構造展78回　6.12—6.22　東京都美術館
新美術新聞　1096
美術の窓　275　高山淳／切刀知子

新興展56回　5.21—5.30　東京都美術館(京都市美術館別館)
新美術新聞　1093
美術の窓　274　高山淳

新匠工芸会公募展61回　12.4—12.9　東京都美術館
新美術新聞　1111
美術の窓　281　小森佳代子

新象展49回　6.1—6.10　東京都美術館
新美術新聞　1095
美術の窓　275　高山淳／切刀知子

新世紀展51回　5.9—5.19　東京都美術館(兵庫県立美術館「原田の森ギャラリー」、大阪市立美術館、愛知県美術館ギャラリー、岡山県天神山文化プラザ、北九州市立美術館)
新美術新聞　1091
美術の窓　274　高山淳／切刀知子

新制作展70回　9.18—10.3　東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー、広島県立美術館県民ギャラリー)
新美術新聞　1097　澄川喜一 談
新美術新聞　1102
美術の窓　278　高山淳／切刀知子／庄司美樹

新美展39回　12.2—12.9　東京都美術館
新美術新聞　1111
美術の窓　281　切刀知子

晨鳥社展59回　6.6—6.11　京都府立文化芸術会館
新美術新聞　1093　太田垣實

新院展38回　11.25—12.1　東京都美術館
新美術新聞　1110
美術の窓　281　切刀知子

新日美展30回　12.10—12.16　東京都美術館
新美術新聞　1112
美術の窓　281　切刀知子

新美術協会展53回　6.1—6.10　東京都美術館
新美術新聞　1095
美術の窓　275　高山淳／切刀知子

新洋画会展28回　4.23—5.7　東京都美術館
新美術新聞　1090

水彩連盟展65回　3.26—4.4　東京都美術館
新美術新聞　1087
美術の窓　273　高山淳／切刀知子／磯部靖

青枢展33回　6.12—6.22　東京都美術館
新美術新聞　1096
美術の窓　275　高山淳／切刀知子

青塔社展51回　5.23—5.28　京都市美術館
新美術新聞　1093　太田垣實

全展　44回　8.20—8.30　東京都美術館
美術の窓　277　切刀知子

春季創画展32回　2.23—2.28　高島屋(日本橋)
アート・トップ　210　竹川リサ
新美術新聞　1084

創画展33回　10.17—10.31　東京都美術館
新美術新聞　1105
美術の窓　279　切刀知子

蒼騎展46回　10.5—10.14　東京都美術館
新美術新聞　1104
美術の窓　279　高山淳／磯部靖

創型展55回　5.9—5.19　東京都美術館
新美術新聞　1093

美術の窓　274　高山淳

創元展65回　4.6—4.21　東京都美術館(岡山県天神山文化プラザ、京都市美術館、高松市美術館、福岡市美術館、大阪市立美術館、クリエート浜松、山梨県立美術館、井上百貨店(松本))
新美術新聞　1089
美術の窓　273　高山淳／佐久間智香子

創展40回　10.5—10.14　東京都美術館
新美術新聞　1104
美術の窓　279　高山淳／切刀知子

蒼樹展31回　3.14—3.24　東京都美術館
新美術新聞　1085
美術の窓　272　高山淳／切刀知子

双樹展36回　8.22—8.30　東京都美術館
新美術新聞　1099
美術の窓　277　切刀知子

創造展59回　6.1—6.10　東京都美術館
新美術新聞　1095
美術の窓　275　切刀知子

(タ行)

第一美術展77回　5.21—5.30　東京都美術館(京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー)
新美術新聞　1093
美術の窓　274　高山淳／切刀知子

大潮展70回　12.11—12.24　東京都美術館
美術の窓　281　切刀知子

大調和展45回　3.14—3.24　東京都美術館(広島県立美術館)
新美術新聞　1085
美術の窓　272　高山淳／磯部靖

太平洋展102回　5.20—5.30　東京都美術館(福岡市美術館、愛知県美術館ギャラリー、千葉県立美術館、横浜市民ギャラリー、大阪市立美術館)
新美術新聞　1093
美術の窓　274　高山淳／切刀知子

大洋展28回　11.25—12.1　東京都美術館
新美術新聞　1110
美術の窓　281　切刀知子

太陽美術展32回　11.25—12.1　東京都美術館
新美術新聞　1110
美術の窓　281　高山淳／切刀知子

たぶろう展41回　5.31—6.10　東京都美術館
新美術新聞　1095
美術の窓　275　切刀知子

中美展58回　6.12—6.22　東京都美術館
新美術新聞　1096
美術の窓　275　高山淳／切刀知子

等迦展39回　12.2—12.9　東京都美術館
新美術新聞　1111
美術の窓　281　切刀知子

東京展32回　9.18—10.3　東京都美術館
新美術新聞　1102
美術の窓　278　高山淳／切刀知子

東光展72回　4.23—5.7　東京都美術館(大阪市立美術館、岡山県天神山文化プラザ、鹿児島市立美術館、広島県立美術館、熊本県立美術館、北九州市立美術館)
新美術新聞　1090
美術の窓　274　高山淳／切刀知子／佐久間智香子

東方美術展40回　3.14—3.24　東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館)
新美術新聞　1085
美術の窓　272　高山淳／磯部靖

独立展74回　10.17—10.31　東京都美術館(大阪市立天王寺美術館、京都市美術館、愛知県美術館ギャラリー)
新美術新聞　1105
美術の窓　279　高山淳／磯部靖

(ナ行)

二科展91回　9.1—9.16　東京都美術館／上野の森美術館
新美術新聞　1100
美術の窓　278　高山淳／切刀知子／庄司美樹

春季二紀展8回　4.18—4.23　東京銀座画廊
新美術新聞　1088

二紀展60回　10.17—10.31　東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、京都市美術館、広島県立美術館、福岡市美術館、大分県芸術会館、長崎県美術館、金沢21世紀美術館)
新美術新聞　1105
美術の窓　279　高山淳／切刀知子／庄司美樹

二元展45回　6.12—6.22　東京都美術館
新美術新聞　1096
美術の窓　275　高山淳／切刀知子

日洋展20回　第I期　4.23—5.7　東京都美術館
新美術新聞　1090
美術の窓　276　高山淳／切刀知子／磯部靖

日洋展20回　第II期　6.28—7.2　上野の森美術館
美術の窓　276　磯部靖

日洋展20回　第III期　7.3—7.7　上野の森美術館
美術の窓　276　磯部靖

日輝展31回　12.10—12.16　東京都美術館
新美術新聞　1112

日春展41回　3.29—4.3　松屋(銀座)
アート・トップ　210　鵜飼義丈
新美術新聞　1087

日展38回　11.2—11.24　東京都美術館
新美術新聞　1106
美術の窓　280　高山淳／切刀知子／庄司美樹
産経　11.17　黒沢綾子
東京　11.18　千葉千寿／塩野栄

日本画院展66回　5.9—5.19　東京

都美術館
新美術新聞　1091
美術の窓　274　高山淳／佐久間智香子

日府展53回　5.8—5.19　東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー)
新美術新聞　1091
美術の窓　274　功刀知子

JAG展29回[日本芸術家協会]　11.25—12.1　東京都美術館
新美術新聞　1110
美術の窓　281　功刀知子

日本現代工芸美術展45回　3.26—4.4　東京都美術館
新美術新聞　1087
美術の窓　273　高山淳

彩美展11回[日本彩美会]　4.23—5.7　東京都美術館
新美術新聞　1090

日本自由画壇展32回　8.22—8.30　東京都美術館
新美術新聞　1099
美術の窓　277　功刀知子

日本新水墨派展31回　11.25—12.1　東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、福屋(広島)、京都市美術館別館)
新美術新聞　1110
美術の窓　281　功刀知子

日本水彩展94回　6.1—6.10　東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、福屋(広島)、京都市美術館別館)
新美術新聞　1095
美術の窓　275　高山淳／功刀知子／佐久間智香子

日本水墨院展21回　6.1—6.10　東京都美術館
新美術新聞　1095

日本水墨画展39回　3.14—3.24　東京都美術館
新美術新聞　1085

清興展28回[日本清興美術協会]　12.10—12.16　東京都美術館
新美術新聞　1112

日中水墨画合同展23回　8.22—8.30　東京都美術館
新美術新聞　1101

日彫展36回　4.6—4.21　東京都美術館
新美術新聞　1090
美術の窓　273　高山淳／庄司美樹

日本南画院展46回　3.14—3.24　東京都美術館(京都市美術館、大阪市立美術館)
新美術新聞　1085
美術の窓　272　高山淳／功刀知子

板院展56回[日本板画院]　6.11—6.22　東京都美術館
新美術新聞　1096
美術の窓　275　高山淳／功刀知子

日本版画会展47回　11.25—12.1　東京都美術館
新美術新聞　1110
美術の窓　281　功刀知子

版画展74回[日本版画協会]　4.6—4.21　東京都美術館
新美術新聞　1089
美術の窓　273　高山淳／功刀知子

春の院展61回[日本美術院]　3.28—4.9　三越(日本橋)
アート・トップ　210　山功佳代
新美術新聞　1087

院展91回　9.1—9.16　東京都美術館(京都市美術館、大丸(心斎橋)、福島県文化センター、石川県立美術館、そごう美術館(横浜)、天満屋(岡山)、福屋(広島)、北九州市立美術館、三越(名古屋)、茨城県天心記念五浦美術館、クリエート浜松、今井美術館、三越(松山))
新美術新聞　1100
美術の窓　278　高山淳／功刀知子

日本アンデパンダン展59回　2.28—3.12　東京都美術館
新美術新聞　1084

日本表現派展50回　10.5—10.14　東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー)
新美術新聞　1104
美術の窓　279　高山淳／功刀知子

日象展33回　11.25—12.1　東京都美術館
新美術新聞　1110
美術の窓　281　高山淳

日本文人画府展35回　10.5—10.14　東京都美術館
新美術新聞　1104
美術の窓　279　高山淳／磯部靖

NEXT 9 回　5.31—6.5　高島屋(京都)
新美術新聞　1093　太田垣實

(ハ行)

白亜展29回　12.10—12.16　東京都美術館
新美術新聞　1112
美術の窓　281　功刀知子

白士会展42回　8.22—8.30　東京都美術館
新美術新聞　1099
美術の窓　277　高山淳／小森佳代子

白日展82回　3.26—4.4　東京都美術館(愛知県美術館ギャラリー、鹿児島県歴史資料センター黎明館、近鉄アート館(大阪))
アート・トップ　210　福井欧夏
新美術新聞　1087
美術の窓　273　高山淳／功刀知子

汎美展 2006　3.13—3.24　東京都美術館(愛知県美術館、京都市美術館)
新美術新聞　1085

美術文化展66回　3.26—4.4　東京都美術館(愛知県美術館、京都市美術館)
美術の窓　273　高山淳／功刀知子／佐久間智香子

从展32回　3.14—3.24　東京都美術館
新美術新聞　1085
美術の窓　272　高山淳／功刀知子

風子会展30回　12.2—12.9　東京都美術館
新美術新聞　1111

FAA富士美術展24回　4.23—5.7　東京都美術館

新美術新聞　1090
美術の窓　274　高山淳／磯部靖

（マ行）

モダンアート展56回　4.6—4.21
東京都美術館(京都市美術館、福岡市美術館、愛知県美術館ギャラリー、埼玉県立近代美術館)
新美術新聞　1089
美術の窓　273　高山淳／庄司美樹／佐久間智香子

（ヤ行）

遙玄展33回　12.3—12.9　東京都美術館
新美術新聞　1111
美術の窓　281　高山淳／切刀知子

（ラ行）

立軌展58回　2.13—2.19　東京セントラル美術館
新美術新聞　1082
流形展56回　12.2—12.9　東京都美術館
新美術新聞　1111
連展32回　1.31—2.5　東京都美術館
新美術新聞　1081
ローマン派美術協会展38回　12.10—12.16　東京都美術館
新美術新聞　1112

美　術　文　献　目　録

凡　　例

1. ここに採録した文献は平成18(2006)年中にわが国において発行された定期刊行物および諸新聞、主要美術展覧会図録に掲載されたものである。ただし雑誌により年外が含まれることもある。
2. 「美術文献目録」の欄は、平成12年版より従来の「定期刊行物所載文献」とは別に、「美術展覧会図録所載文献」の一項を設けている。これは、近年、美術展覧会図録の内容の充実がめざましく、図録所載の論文等も、研究成果として価値の高いものになっている現状に対応して行ったものである。
3. 「定期刊行物所載文献」の欄は、従来の「現代美術・西洋美術」、「東洋古美術」の分類を、「近現代美術」「古美術」に改め、また、両分類にかかわる記事については、「総説」「その他」中の各項目に統合して記載した。
4. 「定期刊行物所載文献」の欄は、近現代美術に関する文献の採録は、概ね明治以降の美術を対象とし、海外の美術に関しては西洋美術を主たる対象とした。また、古美術に関する文献のうち、新聞紙上に掲載された記事で、現代に関連する内容をもつものはここに採録した。
5. 「定期刊行物所載文献」の各項目の配列は、内容別に分類し、同一分類内では掲載誌名順に記した。なお、主題記載については、見出し易くするため多少変更している事がある。
6. 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、「企画展」と「作家展」の２つに分類した。美術展覧会の分類は、巻頭の凡例に準じることとした。記載は、展覧会名、最初の開催美術館名、文献名、執筆者名の順に記載し、展覧会名の50音順に配列した。なお、「作家展」中の二人展、三人展等、複数の作家による展覧会図録の場合、展覧会名、会場については複数作家各々について50音順で検索できるよう、複数回にわたりデータを採録している。その際、50音順で最初に現れるデータ部分に同展図録所載文献データを記し、その後に現れるデータにおいては、展覧会名、会場のみに限った。
7. 号数は主として通巻番号を採用した。なお757～759は、757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は、14号と15号の合併号を示す。9.1、3、6は平成18年9月1日、3日、6日の新聞を示す。
8. 題目の記載されていない文献については、便宜上編集部が仮題を付した。その題目は§記号を両端に付して示した。便宜上編集部が補った内容は末尾に[　]で示した。

収録定期刊行物誌名　（50音順）

ARK（秋田県立近代美術館ニュース）

art_icle

ART iT

アート・ドキュメンテーション研究

アート・ドキュメンテーション通信

アート・トップ

ART の森（上野の森美術館）

アートペーパー（名古屋市美術館）

ART LIBRARY（日本彫刻会）

ARTRAMBLE（兵庫県立美術館）

ARTLET（慶応義塾大学アート・センター）

あいだ

愛知教育大学研究報告

愛知県史研究

愛知県美術館研究紀要

愛知県立芸術大学紀要

愛知県立大学文学部論集

葵（徳川美術館）

青山史学

秋田県立博物館研究報告

秋田公立美術工芸短期大学紀要

秋田美術（秋田県立近代美術館）

AXIS

アジア文化交流研究（関西大学アジア文化交流研究センター）

アジア遊学

あじびニュース（福岡アジア美術館）

跡見学園女子大学人文学フォーラム

跡見学園女子大学文学部紀要

aprire（岩手県立美術館）

アマリリス（静岡県立美術館）

アルカディア（岡崎市美術博物館）

飯田市美術博物館研究紀要

飯田市美術博物館ニュース

池田文庫

石川県立美術館紀要

石川県立美術館だより

石川れきはく（石川県立歴史博物館）

伊丹市立美術館館報

一寸

五浦論叢（茨城大学五浦美術文化研究所）

出光美術館館報

出光美術館研究紀要

伊都国歴史博物館紀要

茨城県近代美術館研究紀要

茨城県近代美術館だより

茨城県立歴史館報

茨城大学人文学部紀要コミュニケーション学科論集

茨城大学人文学部紀要人文学科論集

岩手県立博物館研究報告

岩手県立博物館だより

印刷博物館　Printing Museum News

印度学仏教学研究

上原近代美術館だより

浮世絵芸術

浦添市文化部紀要　よのつぢ

瓜生通信（京都造形芸術大学）

叡山学院研究紀要

絵解き研究

etc.（言水制作室）

江戸東京博物館 NEWS

愛媛県美術館年報・研究紀要

愛媛県歴史文化博物館研究紀要

大分県立歴史博物館研究紀要

おおいた歴博（大分県立歴史博物館）

大阪城天守閣紀要

大阪成蹊大学芸術学部紀要

大阪大学大学院文学研究科紀要

大阪府立近つ飛鳥博物館館報

大阪文化財研究（大阪文化財センター）

大阪歴史博物館研究紀要

大田区立郷土博物館紀要

大谷大学真宗総合研究所研究紀要

大津市歴史博物館研究紀要

大妻女子大学紀要

大手前大学史学研究所紀要

大手前大学社会文化学部論集

大手前大学人文科学部論集

大美和（大神神社）

岡山県立記録資料館紀要

岡山県立美術館ニュース

岡山大学文学部紀要

岡山びと　岡山市デジタルミュージアム紀要

沖縄県公文書館研究紀要

沖縄県立芸術大学紀要

小樽市博物館紀要

お茶の水女子大学人文科学研究

オリエント（日本オリエント学会）

香川県歴史博物館調査研究報告

香川県歴史博物館年報

学術研究（早稲田大学教育学部）

学叢（京都国立博物館）

学鐙

鹿島美術財団年報別冊

柏原市立歴史資料館館報

ガス燈（大川美術館）

学校　史跡足利学校研究紀要

神奈川県立近代美術館年報

神奈川県立博物館研究報告

神奈川大学日本常民文化研究所調査報告

かながわの考古学（財団法人かながわ考古学財団

金沢学院大学紀要　文学・美術編

金沢大学考古学紀要

金沢大学文学部論集

金沢美術工芸大学紀要

金沢文庫研究

鎌倉（鎌倉文化研究会）

鎌倉遺文研究

カリスタ（東京芸術大学美術学部美学研究室）

Cultivate(文化環境研究所)

川崎市市民ミュージアム紀要

川崎市文化財調査集録

元興寺文化財研究所研究報告

関西大学東西学術研究所紀要

関山(中尊寺)

漢字文化研究年報(京都大学21世紀 COE プログラム)

カンフォロ(愛媛県美術館)

北九州市立自然史・歴史博物館研究報告

北区飛鳥山博物館研究報告

岐阜県博物館調査研究報告

ギャラリー(月刊)

九州産業大学芸術学部研究報告

九州史学(九州史学研究会)

九州歴史資料館研究論集

九州歴史資料館年報

京都工芸繊維大学工芸学部研究報告人文

京都嵯峨芸術大学紀要

京都市考古資料館年報

京都市美術館ニュース

京都市美術館年報

京都市立芸術大学芸術資料館年報

京都市立芸術大学美術学部研究紀要

京都精華大学紀要

京都大学総合博物館ニュースレター

京都美学美術史学(京都美学美術史学研究会)

紀要　Hokkaido Art Museum Studies

共立女子大学総合文化研究所研究叢書

金鯱叢書　史学美術史論文集(徳川黎明会)

近代(神戸大学)

近代画説(明治美術学会)

釧路論集(北海道教育大学釧路校)

久米島自然文化センター紀要

グリーンルーフ(鹿児島市立美術館)

クロノス(京都橘女子大学女性歴史文化研究所)

ぐんしょ(季刊)

群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要

群馬県立近代美術館研究紀要

群馬県立女子大学紀要

群馬の森美術館ニュース(群馬県立近代美術館)

慶応義塾大学アート・センター年報

芸術学(三田芸術学会)

芸術学研究(京都造形芸術大学)

芸術学研究(筑波大学大学院芸術学研究科)

芸術学研究(明治学院大学文学部芸術学科)

芸術新潮

芸術文化研究(大阪芸術大学大学院芸術文化研究科)

芸術論究(帝塚山学院大学美学美術史研究室)

芸叢(筑波大学芸術学系芸術学研究室)

芸大通信(東京芸術大学)

計量史研究

研究紀要金沢城研究

現代の眼(東京国立近代美術館)

建築雑誌(日本建築学会)

建築史学

県美協力会会報(山梨県立美術館協力会)

皇学館論叢

考古学雑誌

神戸市立博物館研究紀要

神戸大学文学部紀要

高野山大学密教文化研究所紀要

高麗美術館館報

国学院雑誌

国学院大学紀要

国語国文(京都大学文学部国語学国文学研究室)

国語と国文学(東京大学国語国文学会)

国際日本学研究(法政大学国際日本学研究所)

国文学解釈と鑑賞

国文学研究資料館紀要

国文学研究資料館調査研究報告

国立科学博物館ニュース

国立国際美術館月報

国立新美術館準備室ニュース

国立西洋美術館研究紀要

国立西洋美術館年報

国立民族学博物館調査報告

国立歴史民俗博物館研究報告

古代オリエント博物館紀要

古代文化(古代学協会)

古代文化研究(島根県古代文化センター)

国華

国華清話会会報

古文化研究(黒川古文化研究所)

コミュニケーション科学(東京経済大学コミュニケーション学会)

古文書研究(日本古文書学会)

斎宮歴史博物館研究紀要

斎田茶文化振興財団紀要

埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要

埼玉県立さきたま資料館調査研究報告

埼玉史談(埼玉県郷土文化会)

採蓮　千葉市美術館研究紀要

堺市博物館報

佐賀県立佐賀城本丸歴史館研究紀要

THE GALLERY(いわき市立美術館)

ザ・ルーフ(郡山市立美術館)

産業技術記念館館報

三の丸尚蔵館年報・紀要

寺院史研究

jaic 会報(日本美術情報センター)

史淵(九州大学文学部)

塩尻市立平出博物館紀要

Shiodome Museum REVUE(松下電工汐留ミュージアム)

史学(三田史学会)

史学雑誌

滋賀県安土城郭調査研究所研究紀要

滋賀県文化財保護協会紀要

滋賀県立安土城考古博物館紀要

滋賀県立近代美術館研究紀要

静岡県博物館協会研究紀要

静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要

静岡県立美術館紀要

静岡文化芸術大学研究紀要

死生学研究(東京大学大学院人文社会系研究科)

史迹と美術

漆工史(漆工史学会)

実践国文学

実践女子学園香雪記念資料館館報

実践女子大学美学美術史学

実践女子大学文学部紀要

実践女子大学文芸資料研究所年報

下妻市ふるさと博物館研究紀要

下関市立考古博物館研究紀要

ジャポニスム研究

史友(青山学院大学史学会)

自由美術(自由美術協会)

主体美術(主体美術協会)

種智院大学密教資料研究所紀要

純心人文研究(長崎純心大学)

巡礼記研究

正倉院紀要

聖徳(法隆寺)

縄文の森から(鹿児島県立埋蔵文化財センター)

続日本紀研究

女子美(女子美術大学)

女子美術大学研究紀要

女性歴史文化研究所紀要

書道界

書道文化(四国大学書道文化学会)

書陵部紀要

書論

市立函館博物館研究紀要

史林(京都大学文学部内史学研究会)

シルクロード学研究(シルクロード学研究センター)

塵界(兵庫県立歴史博物館)

新美術新聞

人文(京都大学人文科学研究所)

人文学(同志社大学人文学系)

人文研究(神奈川大学人文学会)

人文論究(関西学院大学人文学会)

人類学博物館紀要

人類文化研究のための非文字資料の体系化(神奈川大学21世紀COEプログラム)

水声通信

水墨芸術研究

椙山女学園大学研究論集

朱雀(京都府京都文化博物館)

STUDIO VOICE

墨

駿台史学

生活文化研究所年報

成城美学美術史

成城文芸

清泉女子大学紀要

西洋美術研究

ゼフュロス(国立西洋美術館)

セラ・パ(岐阜県現代陶芸美術館)

泉屋博古館紀要

仙台市博物館調査研究報告

醍醐寺文化財研究所研究紀要

大正大学研究紀要

大正大学綜合仏教研究所年報

たいせつな風景(神奈川県立近代美術館)

大日光(日光東照宮)

辰野美術館だより

田原市博物館研究紀要

田原の文化(田原市教育委員会)

玉川大学教育博物館館報

たまび(多摩美術大学)

多摩美術大学研究紀要

淡交

千葉県の文書館

千葉県立中央博物館研究報告

千葉市美術館ニュース C' n

地方史研究

徴古館(財団法人鍋島報效会)

朝鮮学報(朝鮮学会)

朝鮮大学校学報

潮流(下関市立美術館)

筑波大学芸術研究報告

筑波大学芸術年報

筑波大学先史学・考古学研究

土浦市立博物館紀要

壺屋焼物博物館紀要

津山弥生の里

デアルテ(九州芸術学会)

デザインの現場

哲学会誌(学習院大学哲学会)

哲学年報(九州大学哲学研究会)

帝塚山学院大学研究論集

帝塚山芸術文化

帝塚山大学現代生活学部紀要

帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要

天開図画(山口県立美術館)

天台学報

10＋1 (Ten Plus One)

天理参考館報

東海大学紀要教養学部

東京学芸大学紀要

東京家政学院生活文化博物館年報

東京家政大学研究紀要

東京芸術大学美術学部紀要

東京芸術大学美術学部論叢

東京国立博物館紀要

東京国立博物館ニュース

東京造形大学研究報

東京大学史料編纂所研究紀要

東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信

東京大学総合研究博物館標本資料報告

東京都現代美術館紀要

東京都写真美術館ニュース

東京都埋蔵文化財センター研究論集

刀剣美術

同志社大学博物館学年報

陶説

東風西声　九州国立博物館紀要

東方学

東方学報京都(京都大学人文科学研究所)

同朋大学仏教文化研究所紀要

東北アジア研究センター叢書

東北芸術工科大学紀要

東北文化研究室紀要(東北大学文学部東北文化研究室)

東北歴史博物館研究紀要

東洋史研究

東洋陶磁

東洋文庫書報

ドーム

徳島県立近代美術館研究紀要

徳島県立近代美術館ニュース

徳島県立博物館研究報告

栃木県立博物館研究紀要

とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター研究紀要

富山考古学研究

長崎歴史文化博物館研究紀要

長野県立歴史館研究紀要

名古屋市博物館研究紀要

名古屋造形芸術大学・名古屋造形芸術大学短期大学部紀要

名古屋大学文学部研究論集

鍋島報效会研究助成研究報告書

奈良県立美術館紀要

奈良大学紀要

奈良文化財研究所紀要

南山考人(南山考古文化人類学研究会)

南都仏教

新潟県立近代美術館研究紀要

新潟県立万代島美術館研究紀要

新潟県立歴史博物館研究紀要

にいくら(跡見学園女子大学花蹊記念資料館)

西アジア考古学

西宮市大谷記念美術館NEWS

二松学舎大学東洋学研究所通信

日仏美術学会会報

NICHIBUNKEN NEWS-LETTER

日展ニュース

日本研究(国際日本文化研究センター)

日本建築学会計画系論文集

日本史研究

日本大学芸術学部紀要

日本の民芸(日本工芸館)

日本歴史

人間文化(滋賀県立大学人間文化学部)

野村美術館研究紀要

博物館研究(日本博物館協会)

PATIO(高岡市美術館)

パルテノン多摩博物館部門研究紀要

版画芸術

美学(季刊)

美学芸術学(同志社大学文学部美学及芸術学研究室)

美学美術史研究論集(名古屋大学大学院文学研究科美学美術史研究室)

比較文化論叢(札幌大学文化学部)

美学論究(関西学院大学文学部美学研究室)

東アジアの古代文化(古代学研究所)

彦根城博物館研究紀要

美史研ジャーナル(武蔵野美術大学美学美術史研究室)

美術運動(日本美術会)

美術運動史研究会ニュース

美術館・友の会だより(ちひろ美術館・東京)

美術京都(中信美術奨励基金)

美術研究(東京文化財研究所)

美術史

美術史学(東北大学)

美術史研究(早稲田大学美術史学会)

美術史論集(神戸大学美術史学会)

美術史論叢(東京大学大学院美術史研究室)

美術手帖

美術の窓

美術フォーラム21

美のたより(大和文華館)

ビブリア(天理図書館)

姫路市立美術館だより

非文字資料研究(神奈川大学21世紀COEプログラム)

百万塔(紙の博物館)

百科(月刊)

氷華(北海道旭川美術館)

兵庫陶芸美術館研究紀要

平出博物館ノート

HILL WIND(三重県立美術館)

美連協ニュース(美術館連絡協議会)

広島県立美術館研究紀要

広島市立大学芸術学部紀要

フィロカリア(大阪大学大学院文学研究科芸術学・芸術史講座)

フェリス女学院大学文学部紀要

福井県文書館研究紀要

福岡市博物館研究紀要

ふくやま美術館・ふくやま書道美術館年報

府中市郷土の森博物館紀要

府中市美術館研究紀要

府中市美術館だより

府中市美術館年報

仏教芸術

仏教史学研究

仏教大学教育学部論集

仏教大学総合研究所紀要

仏教大学文学部論集

物質文化研究(城西国際大学物質文化研究センター)

Plug(大阪府立現代美術センター／大阪大学コミュニケーションデザイン・センター)

フラミンゴ(滋賀県立近代美術館)

ブリヂストン美術館・石橋美術館館報

文化学年報(同志社大学文化学会)

文学(隔月刊)

文化交流研究(東京大学文学部次世代人文学開発センター)

文化財(月刊)(文化庁文化財保護部)

文化財学報(奈良大学文学部文化財学科)

文化財研究紀要(東京都北区教育委員会)

文化財保存学専攻保存修復彫刻年報(東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室)

文化財レポート(京都文化財団)

文化史学

文化資源学

文化と芸術(静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター)

法政考古学

法政史学

法政大学国際日本学研究センター国際日本学研究所年報

北斎研究

保存科学(東京文化財研究所)

北海道開拓記念館研究紀要

北海道開拓記念館だより

北海道開拓記念館調査報告

北海道東海大学紀要

梵鐘(古鐘研究会)

マキエ(ポーラ文化研究所)

待兼山論叢(大阪大学大学院文学研究科)

町田市立国際版画美術館紀要

三重県埋蔵文化財センター研究紀要

瑞垣(神社司庁)

三田国文

密教図像

みづゑ

美濃加茂市民ミュージアム紀要

MIHO MUSEUM 研究紀要

宮崎県総合博物館研究紀要

宮崎県立西都原考古博物館研究紀要

MUSEUM(東京国立博物館)

MUSEUM STUDY(明治大学学芸員養成課程紀要)

MUSEOLOGY(実践女子大学美学美術史学科研究室博物館学課程)

MUSEOLOGIST(明治大学学芸員養成課程年報)

民具マンスリー

民俗学研究所紀要

みんぱく(国立民族学博物館)

民博通信(国立民族学博物館)

武蔵野(武蔵野文化協会)

武蔵野美術大学研究紀要

ムゼイオン(立教大学博物館研究)

棟方志功記念館だより

明治大学博物館研究報告

明星大学研究紀要

目の眼

文書館紀要(埼玉県立文書館)

八雲立つ風土記の丘(島根県立八雲立つ風土記の丘)

山形県埋蔵文化財センター研究紀要

山形大学歴史・地理・人類学論集

山口県文書館研究紀要

山口県立山口博物館研究報告

大和文華(大和文華館)

山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要

游美(茨城県立近代美術館友の会)

ユネスコ世界遺産年報

ユリイカ

横須賀美術館準備ニュース

横浜市歴史博物館調査研究報告

横山大観記念館館報

四日市市立博物館研究紀要

立正史学

栗東歴史民俗博物館紀要

龍谷史壇(龍谷大学史学会)

龍谷大学仏教文化研究所紀要

黎明(鹿児島県歴史資料センター黎明館)

黎明館調査研究報告(鹿児島県歴史資料センター黎明館)

歴史学研究

歴史研究(大阪教育大学)

歴史地理教育

歴史と地理

歴史と民俗(神奈川大学常民文化研究所)

歴史評論(歴史科学協議会)

歴博(国立歴史民俗博物館)

連盟ニュース(日本美術家連盟)

鹿園雑集　奈良国立博物館研究紀要

碌山美術館報

和歌山県文化財センター年報

和歌山県立近代美術館ニュース

和歌山市立博物館研究紀要

早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要

早稲田大学大学院文学研究科紀要

早稲田大学図書館紀要

朝日

朝日夕刊

産経

東京

東京夕刊

日経

日経夕刊

毎日

毎日夕刊

読売

読売夕刊

※尚、以下に記す刊行物の表記は略称を用い、末尾に*を付した。

茨城大学人文学部紀要コミュニケーション学科論集	茨城大人文紀要コ論集*
印刷博物館　Printing Museum News	印刷博物館 News*
浦添市文化部紀要　よのつぢ	よのつぢ*
岡山びと　岡山市デジタルミュージアム紀要	岡山びと*
学校　史跡足利学校研究紀要	学校*
神奈川大学日本常民文化研究所調査報告	神大常民文化研調査報告*
北九州市立自然史・歴史博物館研究報告	北九州自然史歴史博報告*
ギャラリー(月刊)	ギャラリー*
京都工芸繊維大学工芸学部研究報告人文	京都工繊大工芸学部報告*
紀要　Hokkaido Art Museum Studies	Hokkaido Art Mus. Studies*
共立女子大学総合文化研究所研究叢書	共立女子大総文研研究叢書*
金鯱叢書　史学美術史論文集	金鯱叢書*
ぐんしょ(季刊)	ぐんしょ*
群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	群馬県埋文調査団紀要*
埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	埼玉県埋文調査団紀要*
埼玉県立さきたま資料館調査研究報告	埼玉県さきたま資料館報告*
採蓮　千葉市美術館研究紀要	採蓮*
静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要	静岡県埋文調査研究所紀要*
帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要	帝塚山大大学院紀要*
10＋1 (Ten Plus One)	10＋1 *
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信	東大画像史料解析センター通信*
東京大学総合研究博物館標本資料報告	東大総研博標本資料報告*
東風西声　九州国立博物館紀要	東風西声*
とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター研究紀要	とちぎ埋文センター紀要*
名古屋造形芸術大学・名古屋造形芸術大学短期大学部紀要	名古屋造形芸大紀要*
NICHIBUNKEN NEWSLETTER	日文研 NEWS*
人類文化研究のための非文字資料の体系化	人類文化研究のための非文字資料*
百科(月刊)	百科*
ふくやま美術館・ふくやま書道美術館年報	ふくやま美・書道美年報*
ブリヂストン美術館・石橋美術館館報	ブリヂストン・石橋美術館報*
文学(隔月刊)	文学*
文化財(月刊)	文化財*
法政大学国際日本学研究センター国際日本学研究所年報	法大国際日本学研究センター年報*
文書館紀要(埼玉県立文書館)	文書館紀要(埼玉)*
山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要	山梨県考古博埋文センター紀要*
鹿園雑集　奈良国立博物館研究紀要	鹿園雑集*
早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要	早大會津八一記念博紀要*

目　　次

〔定期刊行物所載文献〕

総　　説……76
美　　学……76
概　　論……77
日本美術史……84
海外美術史(アジア)……89
海外美術史(その他)……90
保存修復……94
情報処理……99
文化財行政……100
美術教育……104
古　美　術……110
絵　　画……110
図像・文様……122
地図・絵図……123
彫　　塑……124
原始彫刻……128
書　　蹟……128
古文書・古記録……132
金石文など……133
工芸一般……134
宗教工芸……134
武具・馬具類……135
茶　道　具……136
装身具・化粧具……137
文　房　具……138
陶　　磁……138
土　　器……142
瓦　　……145
金　　工……145
鏡　　……146
青　銅　器……147
刀剣・刀装・槍……147
染織・服飾……149
漆　　工……150
石　　工……151
石　　器……151
木　竹　工……152
ガラス工……152
その他の工芸・民具……152
建築一般……153
都市・集落……153
建　　物……156
宮殿・官衙……156
宗教建造物……157
城　　郭……159
住宅・館……160
茶　　室……161
その他の建造物……161
庭　　園……162
墳　　墓……162
建築部材など……164
建築に付随するその他……164
近現代美術……165
絵　　画……165
漫画・アニメーション……167
版　　画……170
写真・映像……170
彫刻・空間表現……172
工　　芸……173
デザイン……175
建　　築……177
その他のジャンル……183
作　　家……184
日　　本……184
海　　外……272
そ　の　他……299
美術関係者……299
書　　評……305
時　　評……313
美術館・博物館・画廊……316
海　外　展……334

定期刊行物所載文献

総　説

美　学

ヨハン・ホイジンガの芸術観に関する一考察	杉浦　恭	愛知教育大学研究報告	55
世界と大地の闘い—ハイデッガーの芸術論—	中　敬夫	愛知県立芸術大学紀要	35
ポール・ド・マン著『美学イデオロギー』の邦訳刊行に寄せて—イデオロギーの媒介としての「美的なるもの」—	江藤　匠	カリスタ	13
美学史(7)	タタールケヴィッチ　太田　喬夫訳	京都工繊大工芸学部報告*	54
「人間」への「彫像」の生成における「自己」と「他者」—唯物論者ブロー＝デランドのピュグマリオニズム—	馬場　朗	群馬県立女子大学紀要	27
跳躍としての〈かたち〉・亀裂としての〈かたち〉—ノヴァーリスの Figur について(1)—	宮田　眞治	神戸大学文学部紀要	33
ニーチェの遠近法主義の前史—非真理の必然性を巡る初期遺稿の考察—	岸　貴介	国学院大学紀要	44
夏目漱石初期作品における〈詩〉と〈画〉—「一夜」を中心に—	神田　祥子	国語と国文学	988
カントにおける純粋活動性と自由	林　克樹	人文学	179
ヴィルマンにおける美的感覚と教育的努力について	武安　宥	人文論究	56-1
ベンヤミンのロシア《3》《4》	桑野　隆	水声通信	3、5
特集　ロシア・アヴァンギャルド芸術　造形芸術作品における空間性と時間の分析	パーヴェル・フロレンスキイ　五條歩紀子訳	〃	4
特集　表象とスクリーン		〃	11
空[くう]を見る　ラカンにおけるイメージとスクリーンの反転	原　和之		
アンチ表象としてのイコン　パーヴェル・フロレンスキイのイメージ論	貝澤　哉		
タブローを超えて『百科全書』とスクリーン	大橋完太郎		
事実性と明滅のフィギュール	ミハイル・ヤンポリスキー　乗松　亨平訳		
フィツィーノ『神的狂気について』(1457年)　翻訳と註解	田中　佳佑	成城文芸	196
テロール男爵の『古(いにしえ)のフランス、ピトレスク・ロマンティック紀行』 Le voyage pittoresque et romantique dans l'ancienne France par le Baron Taylor	石木　隆治	東京学芸大学紀要	57
視覚的記号の関わるフィギュール	松尾　大	東京芸術大学美術学部紀要	44
カント『「美と崇高の感情にかんする観察」における覚書』の道徳的感情について	鈴木　賢子	〃	〃
芸術による批判は可能か？—アドルノの文化批判論をめぐって—	石田　圭子	東京芸術大学美術学部論叢	2
アウラと複製の狭間	加藤　茂	東京造形大学研究報	7
造形の構造または構造の造形	〃	〃	別冊3
身体表象論—劇場型社会における都市と身体	長谷川　章	〃	別冊5
カントとデカルト的証明	山田　弘明	名古屋大学文学部研究論集	156
「日本的」美的概念の成立(二)—茶道はいつから「わび」「さび」になったのか？	岩井　茂樹	日本研究	33
近代絵画における語りの視点	西村　清和	美　学	224

想像と類比—ベルクソン的直観の論理—	瀧　一郎	〃	〃
ニーチェにおける〈芸術家の誠実さ〉について	山本　恵子	〃	〃
ヘルダーの共通感覚論—共感覚概念の誕生—	杉山　卓史	〃	225
フリードリヒ・シュレーゲルと「断片」の精神—ロマン主義の美学への一つの断章—	小田部胤久	〃	〃
創造性の伝播—ベルクソン美学への一視座—	村上　龍	〃	〃
W・J・T・ミッチェルにおけるイメージの機能	平塚　弘明	〃	226
近代オリンピックにおける芸術競技の考察—芸術とスポーツの共存（不）可能性をめぐって—	吉田　寛	〃	〃
例会・研究発表会要旨　西部会　第二五八回研究発表会「「類似」概念の実効性」	秋庭　史典	〃	〃
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨		〃	227
ヴァレリーにおける「純粋性」の概念と身体への生理学的関心	伊藤　亜紗		
美学と教育学を結びつけるもの—佐々木吉三郎の『教育的美学』をめぐって—	喜屋武盛也		
エドワード・ブロウにおける美的意識の問題	郡田　尚子		
ヴァルター・ベンヤミンの新即物主義批判—「アウラ」概念からの考察—	城丸　美香		
『美と崇高の感情にかんする観察』と『「美と崇高の感情にかんする観察」における覚書』におけるカントの感情論について	鈴木　賢子		
芥川龍之介における文人趣味—芸術と風流の両義的関係をめぐって—	髙橋奈保子		
知覚論としての芸術研究—ダーヴィット・カッツの絵画論—	平松　啓央		
芸術作品と尊敬の感情—カント「作品の才気」をめぐって—	古川　裕朗		
例会・研究発表会要旨		〃	〃
東部会　平成十八年度第三回例会　映画と政治—ベンヤミン「複製技術時代の芸術作品」において	長谷川明子		
西部会　第二六〇回研究発表会　エティエンヌ・スーリオのアイステーシス理性	春木　有亮		
特集：現代の美術とリアリティーV「リアリティー」断想	北野　輝	美術運動	133
美学論考　なぜ花は綺麗に見えるのか？—カント『判断力批判』における問と答	新田　博衛	美術フォーラム21	13
「生きている生」は、感じとる	春木　有亮	待兼山論叢	40
《イマージュ》の修辞学—ベルクソン『物質と記憶』における—	富松　保文	武蔵野美術大学研究紀要	36
美的判断力の可能性—シモーヌ・ヴェイユとハンナ・アーレント—	今村　純子	〃	〃
贈与論—テクネー、もしくは非対称性思考についての芸術人類学的考察—	中島　智	〃	〃
総特集　稲垣足穂研究		ユリイカ	525
タルホの鞄	寺村摩耶子		
哲学書は美しき肉体の如くに—再演される「美のはかなさ」	高橋　孝次		

概　　論

東京にチェルシーが生まれないわけ	山内　宏泰	ART　iT	10
日々の思索　第２回　新たなビエンナーレポリティクス—サイト、コミュニティ、パブリックに向けて	長谷川祐子	〃	〃

[特集]飛龍衝天—世界を翔る中国アート 北京アートシーンの地殻変動	マヤ・コヴスカヤ	ART iT	11
日々の思索 第3回 モダニズムの循環(サーキュレーション)	長谷川祐子	〃	〃
[特集2]アジア＝パシフィック 今年の注目国際展		〃	12
ローカルに、そしてグローバルに	アイリス・ムーン		
ビエンナーレの意味と意義	南條 史生、キム・ホンヒ 対談 小崎 哲哉 司会		
メディアアート国際展の可能性：岐阜おおがきビエンナーレ2006の現場から	吉岡 洋 グナラン・ナダラヤン		
往復書簡 第2回 不確実な未来のための実験場 from 侯瀚如(ホウ・ハンルク) to ハンス・ウルリッヒ・オブリスト	侯 瀚如	〃	〃
キム・ソンジョン、ARCO韓国コミッショナー辞任の背景	アイリス・ムーン	〃	〃
アートを支える仕組み 第1回 HUGO BOSS PRIZE	編 集 部	〃	13
往復書簡 第3回 インタビューマラソン ハンス・ウルリッヒ・オブリストto侯瀚如(ホウ・ハンルク)	ハンス・ウルリッヒ・オブリスト	〃	〃
巻頭特集 東京—ベルリンの邂逅 3. 大使館シリーズVol. 21 大使に聞く世界の文化だより 駐日ドイツ連邦共和国大使ヘンリク・シュミゲロー氏		アート・トップ	208
PERSON 大里洋吉 アミューズ会長が迎える五周年 アートジャムが大衆を惹きつける	編 集 部	〃	212
アートと矛盾—アンチ・フォームとしてのフォーム、アンチ・アートとしてのアート、アンチ・マーケットとしてのマーケット	F・E・ラクシャーン 高島 平吾 訳	あいだ	124
《海外情報》アパルトヘイト時代の文化遺産を取り戻せ—南アフリカでの運動	編 集 部	〃	128
documenta 12 magazines	ゲオルグ・シュルハマー 編 集 部 訳	〃	130
documenta 12 magazines 三つのキー・トピックス	編 集 部	〃	131
topic 1 「第3回 福岡トリエンナーレ」を終えて	黒田 雷児	あじびニュース	23
世界アーティストサミットレポート	大木美智子	瓜生通信	35
AMUSE ART JAM 2005 in KYOTO	吉澤 多聞	〃	35
蝋人形・銅像・肖像画—中国近代における身体と政治の関係についての覚書(1)—	遊左 徹	岡山大学文学部紀要	46
アートをめぐる制度とオルタナティヴ、あるいはマージンについて	徳山 由香	季刊Plug	2
「まちとアート・その1 フランス」ル・プラトー＞＞市民がつくったアートセンター	〃	〃	3
「まちとアート・その2 ドイツ」繰り返される「若者公民館」	高松 平蔵	〃	〃
特集 今年のアートシーンはどうなる？ 画廊が期待するアーティスト 2006 PART 1 の 20 名の作家たち		ギャラリー*	249
社会とアートの交差点4～6(最終回) 高齢化×アート		〃	249～251
特集 今年のアートシーンはどうなる？ 画廊が期待するアーティスト 2006 PART 2 の 26 名の作家たち		〃	250
リベラリズムと芸術—アートをめぐる正義(一)	平井 亮輔	京都工繊大工芸学部報告*	54
凝りと表現	池上 恵一	京都精華大学紀要	30
〈不在〉を通じて〈実在〉を表現する手法をさぐる	陳 維錚	〃	31
巻頭エッセイ 所感	青木 茂	近代画説	15

山中商会の文化支援活動と経済活動の関わりについて	小熊佐智子	芸術学研究(筑波)	10
「日曜美術館」のつくりかた	堀内　信久	芸術新潮	684
顔のリアル—松崎直臣の表象をめぐって・〈勇士〉の肖像Ⅱ—	酒井　敏	国語と国文学	996
「絵画の死」を超えて：具象絵画ルネサンスと現代美術の変容	松井みどり	国立国際美術館月報	157
アートの多様性…〈現実界〉〈象徴界〉〈想像界〉	彦坂　尚嘉	〃	〃
用語考(3)　美術家団体の定期展	中島　理壽	jaic会報	4
新聞旧聞　豪華本のこと	岩瀬　行雄	〃	5
共同研究「県展・市展の検証」について	富井　玲子	〃	8
「今、国際展は可能か」シンポジウムについて【美術評論家連盟主催】オープンな議論の継続を期待したい	岡部　美紀	新美術新聞	1077
通信 J to A アジアへ11　歴史の問題	南條　史生	〃	〃
更なる百年の文化の発展に期待『大いなる遺産　美の伝統展』によせて	根津　公一	〃	1078
通信 J to A アジアへ12　台頭するアラブ首長国連邦のアートシーン	南條　史生	〃	1080
新美術時評「書の至宝」展のこと	島尾　新	〃	1083
通信 J to A アジアへ13　中国現代美術とアジア	南條　史生	〃	〃
新美術時評　そろそろ「水墨画」について	島尾　新	〃	1086
通信 J to A アジアへ14「ヴェトナム事情」	南條　史生	〃	〃
新美術時評　一つの時代が終わりつつある	島尾　新	〃	1089
芸術教育、地域貢献そして芸大の存在意義とは？　国公立5芸術系大学学長トークセッション　5・25愛知芸大にて開かれる	島田　章三、中西　進、宮田　良平、平野　拓夫、朝岡　康二談	〃	1090
発句一代　夏目四郎の覚え書70　東北芸術工科大学創立15周年記念式典に参列して	夏目　四郎	〃	1091
通信 J to A アジアへ16　アフリカとアジア	南條　史生	〃	〃
新美術時評「盗作」とは何だろうか	島尾　新	〃	1092
通信 J to A アジアへ17　日本の切り口、アジアの可能性	南條　史生	〃	1094
現在通信From NEW-YORK MoMAのダダ展	富井　玲子	〃	1095
通信 J to A アジアへ18　第3回越後妻有トリエンナーレ開催	南條　史生	〃	1096
東京芸大が丸の内を変える？　丸ビルで「モダンと粋の“わ”」フォーラム開催		〃	1097
新美術時評　アメリカ訪問で感じたこと	島尾　新	〃	1098
第2回日展「Oneday Art」開催　子どもたちが見せた集中力		〃	〃
通信 J to A アジアへ19　美術と未来と志	南條　史生	〃	1099
現在通信From NEW-YORK　膨張するアート	富井　玲子	〃	1100
新美術時評　審査の公平性—長野の挑戦	外舘　和子	〃	1103
現在通信From NEW-YORK　コンテクストの展覧会	富井　玲子	〃	〃
新美術時評「江戸絵画ブーム」について	島尾　新	〃	1104
新美術時評　対話への意志—韓国の存在	外舘　和子	〃	1106
a-chroniques《3》～《6》テーブルとタブロー[その二]～[その五]	松浦　寿夫	水声通信	3～6
特集　ダダ　1916—1924　ダダの世界化から世界のダダ化へ二〇〇六年の透視図	塚原　史	〃	7
a-chroniques《10》非展望性について	松浦　寿夫	〃	10
現代日本における〈水墨画〉の語義をめぐって	河内　利治	水墨芸術研究	1

第一特集　アートブックを楽しむ　ART BOOK　BEST　150 and more…！		STUDIO VOICE	368
スペシャリストが選ぶ	宮村　周子 児島やよい 原　　久子 鈴木　　行 有太マン 松井みどり 北澤ひろみ 毛利　嘉孝 畠中　　実 伏見　京子 濱中マコト 中山　亜弓 坂口　千秋 浅生ハルミン 編　集　部		
専門ブックストアが選ぶリンドバーグ／ザ・コンランショップ新宿本店／リムアート／プロジェット／カフェ＆ブックスビブリオテーク／クルック／ギャラリー360°	神田こまるら 原　　久子		
島田敦子×石井孝之　海外アート事情に精通するギャラリストが推す14冊	編　集　部		
藤本やすし×柏木篤　将来の市場価値を睨みながら、経験則で選ぶ12冊	〃		
[研究論文]風景における「記憶」というDNAの継承について—横浜港産業遺産を活用した「汽車道」のデザインプロセスからの考察	祐乗坊　進	多摩美術大学研究紀要	20
国際美術展とグローバリゼーション—マニフェスタ５と光州ビエンナーレ2004—	藤川　　哲	デアルテ	22
特集　ここまでできるオフセット印刷		デザインの現場	146
若手プリンティングディレクターのリアルな印刷テク	石田　純子		
デジタル製版時代の印刷の授業	杉瀬　由希		
技術と歴史４　開放系技術について	石山　修武	10＋１*	42
リアリティについて	日埜　直彦	〃	
３　軽さ・速さ　その二			〃
４　正確さ・視覚性			43
５　視覚性			44
「悪い場所」にて15　美、あいまい、分裂　新・日本主義と「未生」の美術史	椹木　野衣	〃	45
リアリティについて　６　多様性　その一	日埜　直彦	〃	〃
「野外美術展の系譜」アート・リージョナリズムが時代を変える。	鈴木　敏春	名古屋造形芸大紀要*	12
コンピュータ・グラフィック鳥瞰図における景観写真を用いた立体像構成法による制作アルゴリズム	宮崎　保光	〃	〃
例会・研究発表会要旨　東部会　平成十八年度第二回例会　「ロジェ・ド・ピールと遠近法—ある幾何学的理念の批判のかたち」	渋谷　　拓	美　　学	226
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨		〃	227
イメージのレトリカルな分析について—ポール・ド・マンの方法と美術史学—	江藤　　匠		
日本的美意識と場の論理—〈物のあはれをしる心〉の構造—	大石　昌史		
スティーヴ・ライヒの「プロセスとしての音楽」とポストミニマリズムの美術	篠田　大基		
ボートレールのパリ万博評とその余波	伊達　立昌		
永続的な戦争の痕跡—ベトナム戦争の30年後、イラクを考える	レベッカ・ジェニスン	美術運動史研究会ニュース	79
対談　遊びの美と美術	三好　閏三 秦　　恒平	美術京都	37
第五十九回全国大会研究発表要旨　絵画作品の記述とその重層性—アンドレ・フェリビアン『対話』を中心に—	今村　信隆	美術史	161

特集　アートの授業！　表現＆制作～鑑賞＆マネージメント　もっとアートをわかちあいたい！　オカンに「アート」	東谷　隆司	美術手帖	874
40×40　Project for BT　昭和40年会の七人も侍		〃	
第拾参号	有馬　純男 昭和40年会 責任編集	〃	
第拾四号	昭和40年会 責任編集		876
最終号　昭和40年会―シャイなオヤジの趣味の会？	片岡　真美		877
横浜ドキュメント2005　6　横浜トリエンナーレ2005　キュレーター＆スタッフインタビュー	白坂　ゆり	〃	874
「世界アーティストサミット」は何を語りかけるのか？	山内　宏泰	〃	876
安養（アニャン）パブリックアートプロジェクト	編　集　部	〃	〃
芸術の新しい時代は宇宙開発とともに	足立　　元	〃	877
特集　創造する脳　どうしてヒトは絵を描くのか？		〃	880
脳科学から見た絵画史　イメージ認識と描画の関係	岩田　　誠		
どうやってロボットは絵を描くのか？	藤幡　正樹 池内　克史		
越後妻有ドキュメント2006		〃	
1	白坂　ゆり		〃
2	編　集　部		882
3	白羽　明美		883
［特別編］　総合ディレクター北川フラムインタビュー	編　集　部		889
横浜ドキュメント2005　番外編　収支決算で振り返る横浜トリエンナーレ2005	編　集　部	〃	〃

［保存版］ゼロゼロ・ジェネレーション2006　2000年代から未来へ向かう日本の新世代アーティスト108人		〃	883
アーティスト・ファイル	東谷　隆司 飯田志保子 石井　芳征 市原研太郎 北澤ひろみ 河野　晴子 小西　信之 酒井　千穂 椹木　野衣 清水　　穣 白坂　ゆり 住友　文彦 住吉　智恵 高橋　瑞木 土屋　誠一 橋本　　誠 畠中　　実 原　　久子 福住　　廉 藤城　里香 保坂健二朗 松井みどり 宮村　周子 山本　淳夫		
状況分析編―２０００（ニセンゼロゼロ）年代の日本のアートシーンを読む　認識と身体の境界を越えて―きたるべき時代へのアプローチ	松井みどり		
状況分析編―２０００（ニセンゼロゼロ）年代の日本のアートシーンを読む　GEISAIの2000年代	宮村　周子		
状況分析編―２０００（ニセンゼロゼロ）年代の日本のアートシーンを読む　∞（無限大）ジェネレーション　Generation Infinity	東谷　隆司		
特集　アートの旅にでかけよう		〃	885
青森編　青森～恐山　深く青き森に根付く、縄文のこころをたどる	暮沢　剛巳		
瀬戸内編　直島　アートの島で出会う人と暮らし、そして人生を見つめなおす	藤田　千彩		

瀬戸内編　高知よさこいの地のバガボンドたちと南国の開放感にひたる	藤田　千彩		
瀬戸内編　讃岐平野　うどんとアートのラビリンス。香川でお宝を掘り当てる	〃		
特集　BTの画材講座　画材を「知る」今さら聞けない？知っておきたい！画材の基礎知識Q&A	植木誠一郎	美術手帖	886
特集　入門★中国美術		〃	887
杭州・中国美術学院訪問記	松永　康		
北京、新陳代謝のエネルギー	多田　麻美		
画廊で展覧会を開こう！　展覧会の開き方マニュアル	斎藤　博美	〃	888
大判インクジェットプリンタがアート市場に革命を起こす	粟田　大輔	〃	889
現代美術の歩き方　異論反論・現代美術　地方のアートの行方　秋田市でのトークショウを終えて		美術の窓	269
巻頭特集　実践！海外留学ガイドブック　留学十年生：華やかなアート留学の裏に隠された現実	伊東　豊子	〃	270
私の空想美術館26「パリ島」	粟津　則雄	〃	〃
博物学的美術史		〃	
File. 6　見立てに遊ぶ			〃
File. 8　花へのセクシャル・ハラスメント			272
芸苑雑事記	瀧　悌三	〃	
163　平成丙戌花前線日乗抄（はなさきはなちる ころのことども）			273
168　備中讃州独り旅			279
特集　美術史家の価値評価を問う	熊田　司編集	美術フォーラム21	13
特集　メディアが「美術」をつくる。	島本　浣編集	〃	14
仲介の感性論５　視点のアリバイ？―ヴィジュアル・エデュケーションのために	岩城　見一	〃	〃

地球規模で広がる「ビエンナーレ」	武居　利史	府中市美術館だより	18
プロジェクト　近代史のとらえなおし　共同研究：展示という語りの様式の多様性と政治性	川口　幸也	民博通信	112
デジタル時代におけるビジュアルアートの著作権集中管理団体の役割	ゲルハルト・プフェニッヒ	連盟ニュース	419
袖のボタン　日本美とバーコード	丸谷　才一	朝　日	1.17
アートの力で闘病手助け　入院患者と家族の不安和らげたい	深町あおい	〃	8.12
ツウのひと声　美術東西超え共振、「水と油」	村田　真	朝日夕刊	1.27
ナビゲーター　自在に国超える人と芸術	西田　健作	〃	2.7
ツウのひと声　美術モダニズム忘れられた？	村田　真	〃	3.10
「迷宮美術館」NHK総合でも　BSから地上波へ今月登場	塩野　浩子	〃	4.18
アジアで国際現代美術展花盛り　多様性の主張、地域から	山盛　英司	〃	5.19
境界線で〈4〉パクリとオリジナル　違法・合法、せめぎ合い	赤田　康和	〃	8.15
トレンド　アートプロジェクト支援　アイデアで募る個人寄付	星野　学	〃	11.17
こころの風景	山梨　俊夫	〃	
多重の視点			12.19
絵の力			12.20
パリの美術事情「楽しませる」高い意識	上塚　真由	産　経	6.21
メディア芸術100選「太陽の塔」「エヴァ」…これが人気		〃	10.4
「新日曜美術館」が30周年	小田　克也	東　京	7.8
サタデー発言　日本からの移民が一翼担うブラジル美術界	名古屋　覚	〃	12.9
同一犯？売却目的？謎深まる仏像盗	中澤　佳子	東京夕刊	1.28
ドイツでみた「芸術の力」　現代世界の疲弊を提示	三品　信	〃	2.24

コンパス　ユニークな美術情報誌	（陽）	〃	3.4
アフガニスタンに日本を近づけた人びと幸福な関係史が未来の展望を示す	前田　耕作	〃	8.30
コンパス　美術著作権の戦時加算	（寿）	〃	9.9
「ピカソ」で日本を守る　文化こそが最大の国防	池内　了	〃	10.26
問われる日本の文化力　文化財の消滅に歯止めなし	瀬木　慎一	〃	11.14
議論高まる著作権問題　期間延長と創作意欲は別　法に遅れる関係者の理解	稲葉　千寿	〃	11.28
文化往来　日ロ国交回復50年、ロシア文化祭始まる		日　経	1.16
文化の力で街再生進む「創造都市」づくり	白木　緑	〃	1.21
何でもランキング一度は見てみたい名画		〃	1.28
文化往来　映画館を窓口に現代美術に親しむ		〃	2.3
アートの力患者癒やす	遠藤　邦生	〃	4.16
説教「ご絵解き」全国行脚　宗教・僧俗の枠越え一座結成、道行く人呼び込む	椰野　明仁	〃	4.26
世界遺産の寺院群尖塔の破片が散乱	伊東　義章	〃	5.29
個人メセナの出番自治体は財政難、企業の支援も縮小…	野村　義博	〃	6.25
琉球の宝を取り戻せ米軍人が持ち帰った文化財回収へ奔走20年	喜舎場静夫	〃	7.7
文化往来　博物館学芸員出身の知事が担う滋賀県政		〃	7.21
老男・老女十選　1～10	やなぎみわ	〃	11.1～3、6、7、9、10、14～16
幻の遺跡地雷原から蘇る　タイとカンボジア国境のプレア・ビヒア寺院で活動	冨田　洋	〃	11.27
国際文化フォーラム—文化の多様性		〃	12.24

鼎談	高階　秀爾 佐渡　裕 平野啓一郎		
座談会　美術と文化	高階　秀爾 三輪　嘉六 フランソワーズ・カシャン ジャン・パトリス・マランデル 李　仁淑		
アートのある暮らし	野村　義博	〃	〃
自由な拝観か盗難対策か　仏像受難ほころぶ絆	白木　緑	日経夕刊	4.17
こころの玉手箱　福岡県知事　麻生渡４肖像を見る	麻生　渡	〃	7.13
壮　仏像彫刻に挑む「こころの時代」シニアの関心高く	藤巻　秀樹	〃	7.20
アートの中心に微細な技術　見て感じて理解深めて	佐々木正人 堤　篤史 聞き手	〃	11.1
芸文余話　メセナの幅広げる社外の声	内田　洋一	〃	11.18
罰当たり仏像ドロ何のため？　横流しせず扱い乱暴　「集めろと夢のお告げ…」	中村　敦茂 矢島　弓枝	毎　日	2.11
病院にアートを飾ろう！　絵画や彫刻採用徐々に	小島　正美	〃	8.26
人文知を創造する「亡命者」の場　表象文化論学会の目指すもの	手塚さや香 田中　純	毎日夕刊	7.5
レバノン東部のローマ神殿遺跡　世界遺産も被害か　空爆との関連調査	高橋　宗男	〃	8.17
なぜか今、仏像ブーム　入門書が好評　楽しいイラストも	佐藤　由紀	〃	12.1
美しさの行方		読　売	
2　感動「目の後ろ」で味わう　芸術鑑賞　脳の変化を分析			1.3
10　おたく文化は現代アート　「かわいい」世界が求める			1.13
時の余白に　芸術と権威の距離	芥川　喜好	〃	6.24
著作権と文化４　出版元、美術館…自己規制迫る　作る側使う側でルールを	近藤　孝 佐藤　憲一 高野　清見 清川　仁	〃	8.3

四季　奈良・東大寺で	長谷川　櫂	読　　売	9.22
達人・図鑑　日本通運技術顧問　海老名和明さん　運んだ仏像数百体		〃	10.1
来信返信新聞に聞きたい　美術展の見所は？　国内外の傑作ずらり		〃	10.15
時の余白に　モノの声に耳を澄ます	芥川　喜好	〃	10.28
「浅草絵巻」彩り新たに　17年ぶりお色直し		〃	12.13
「文化政策学会」発足へ		〃	12.22
建築望見　誰も責任とらぬ社会のツケ	高野　清見	読売夕刊	2.4
手帳　竹佐中原遺跡公開議論に「ねつ造の教訓」	片岡　正人	〃	3.14
言葉を生きる	前田　耕作	〃	
3　夢想を疎む思考の先は			3.18
4　真実を告げる言葉は単純			3.25
NHK 日曜美術館 30周年　ゲストが作品への思い語る　知られざる画家発掘の役割も	市原　尚士	〃	9.14
東京の散歩道　商店街にシュワッチ！―祖師谷周辺	梅沢　清次	〃	10.3
ジュニアプレス　一木彫に込められた思い	平井絵未理 田中　成美 平岡　涼子 本橋　優穂	〃	11.18

日本美術史

[特集1]コラボレーション　飛躍への挑戦　「主体」からの逃走	住友　文彦	ART　iT	12
逸失(ないの)なら、創ってしまおう「扶桑名画伝」	恵光院　白	アート・ドキュメンテーション通信	68
巻頭特集　写真と絵画の対話　往還する「リアル」とその行方　第1章　写真と絵画の関係		アート・トップ	207
迫真性から理想化へ(幕末、明治～ピクトリアリズム)	飯沢耕太郎		
絵画の模倣、写真の自立(新興写真～戦後)	金子　隆一		
メセナ大賞受賞の三越　展覧会史百年をひもとく　デパートメントストアで楽しむ日本美術の醍醐味	大島　英仁	〃	〃
傷ついた美術史　連載38　21世紀の時代精神と美術の行方　もの派が変えたもの	小泉　晋弥	〃	〃
巻頭特集　東京―ベルリンの邂逅　2.両都市を往還する人々　山田耕筰	五十殿利治	〃	208
近代日本洋画の巣立ちを見守った文豪―森鷗外と美術　森鷗外と明治・大正の美術家たち	川西　由里	〃	210
あいだのすみっこ不定期漫遊連載　第40回　フランスと日本の「あいだ」:「美術史におけるフランスと日本」―日仏美術学会25周年記念シンポジウムをめぐる感想若干	稲賀　繁美	あいだ	121
《貴賓席》夜目　遠目　仲間内　北村淳子氏の戦後日本美術史シンポジウム見聞記を読んで	八田　　淳	〃	123
あいだのすみっこ不定期漫遊連載　第42回、第43回　表象による憎悪を断ち切るために―国際シンポジウム「戦争と表象／美術　20世紀以降」より(上)(下)	稲賀　繁美	〃	123、124
《連載》戦時下日本の美術家たち　第5回　南方従軍画家Ⅰ	飯野　正仁	〃	127
「森鷗外と美術」展・補記―「多様性」について	堀切　正人	アマリリス	83
次郎長と少年	丹尾　安典	一　　寸	26
新・旧刊案内	青木　　茂	〃	
27　高崎正男の遺稿、その他いろいろ			27
28　書痴、戦時下の非美術書を読む			28
日本美術院五浦移転100年に思うこと	稲葉　睦子	茨城県近代美術館だより	73

特集コラム　大衆読者の成立—雑誌がお茶の間で読まれるまで—	篠澤美佐子	印刷博物館News*	21
岩手県内の戦後美術に関する基礎的研究	根本　亮子	鹿島美術財団年報別冊	23
近代木曽林業と第二回内国勧業博覧会—「第二回勧業博覧会関係文書」より—	田原　昇	金鯱叢書*	33
特集　昭和の美術		近代画説	15
［解題］「美術」の昭和	河田　明久		
プロレタリア美術とエロ・グロ・ナンセンス	足立　元		
戦時期美術作品の複数制作について	河田　明久		
プロレタリア美術運動と造形美術家協会	喜多　孝臣		
研究発表〈要約〉「李王家徳寿宮日本美術陳列」について	朴　昭炫	〃	〃
研究小話 群馬NOMOについて—「迷宮＋美術館」予備知識—	染谷　滋	群馬の森美術館ニュース	125
戦時下における「展示及宣伝技術講習会」について	山本　佐恵	芸術学研究(筑波)	10
中間評価論文梗概　美術家の居住地分布における考案　昭和戦前期(1926—1955)の東京において	浅野　智子	〃	〃
特集　はじめての武満徹　武満徹をきく		芸術新潮	677
実験工房の時代　1950年代			
草月アートセンターの時代　1960年代			
［特集１］はざまの画家たち	木下　直之	現代の眼	560
［特集１］日本画と洋画のはざま—そのゲリラ的要素	菊屋　吉生	〃	〃
フランス近代美術と日本	永井　隆則	国立国際美術館月報	152
国華余話(八)　経営事情(一)	水尾比呂志	国華清話会会報	8
モースと川越の明治文化について	高津戸　映 小泉　功	埼玉史談	284
『美術』	橋川　英規	jaic 会報	4
回顧と展望　二〇〇五年の歴史学界　日本		史学雑誌	115-5
古代十　美術	岩崎　和子		
中世一一　美術	浅見　龍介		
近世一八　美術	神谷　浩		
近現代一一　美術	野地耕一郎		
行為と現象　「具体」と「ゼロ」をめぐって	山本　淳夫	滋賀県立近代美術館研究紀要	6
静岡近代美術年表稿　大正編	立花　義彰	静岡県博物館協会研究紀要	29
倒叙太子信仰史　近・現代編９—聖徳太子の実像を求めて—聖徳太子奉讃会の航跡(下)	河野　昭昌	聖　徳	189
民芸運動と女子美術大学工芸科	原　聖 清水　明子 大澤美樹子	女子美術大学研究紀要	36
私の美術放浪	永井　信一	新美術新聞	
26　天台寺の鉈彫像			1083
32　民話の観音・国宝の釈迦			1099
狩野永徳の“新発見”屏風	島尾　新	〃	1101
私の美術放浪33　ユーモラスな鎌倉彫刻	永井　信一	〃	1102
講演　夏期公開講座　近代京都と国風文化・安土桃山文化	高木　博志	人　文	53
関門美術史探索ノート(事始め９)「アカネ会」のこと	濱本　聰	潮　流	85
愛知万博余聞(下)	鶴　勲	陶　説	634
日本陶磁協会六十年の歩み(１)～(12)昭和二十年、協会創立までの経緯～昭和三十一年	森　孝一	〃	634～645
東京美術倶楽部創立百周年記念　美術商の百年	〃	〃	635
「加賀百万石」の記憶—前田家の表象と地域の近代—	本康　宏史	日本史研究	525
例会・研究発表会要旨　東部会　平成十八年度第一回例会「近代日本のハイカルチャーと美術」	河合　正朝	美　学	226

座談会：日本アンデパンダン展の今日的意義と今後の方向をさぐる	小坂 元二、新美 猛、松林 良政、村永 泰、百瀬 邦孝、結城あつみ、渡辺 皓司、山本 良三 司会 十滝 歌喜 記録	美術運動	133
第68回例会の報告 プロレタリア美術展覧会にみられる弾圧と抵抗	喜多 孝臣	美術運動史研究会ニュース	85
異文化評価におけることばの重み―十九世紀欧米のキュリオシティー、キュリオと日本―	クリスティーン・グーテ 鈴木 廣之 訳	美術研究	388
後期印象派・考―一九一二年前後を中心に(上)―	田中 淳	〃	390
[保存版]ゼロゼロ・ジェネレーション2006 2000年代から未来へ向かう日本の新世代アーティスト108人 状況分析編 ― 2000(ニセンゼロゼロ)年代の日本のアートシーンを読む〈内向〉の技法、帰属なき〈表象〉―「ゼロゼロ・ジェネレーション」という時代	椹木 野衣	美術手帖	883
芸苑雑事記167 日展洋画とフランス美術アカデミー	瀧 悌三	美術の窓	278
日本三景と狛八景―歴史のなかの名所と景観―	伊藤 太	文化財レポート	19
開拓使に雇われた「画工」に関する基礎的研究	三浦 泰之	北海道開拓記念館研究紀要	34
特集 書斎の骨董～安東次男の流儀～近代目利きの系譜	矢島 新	目の眼	358
総特集 稲垣足穂研究 第二回未来派美術協会展(1921年開催)と詩人たち 稲垣足穂、平戸廉吉、尾形亀之助、萩原恭次郎	五十殿利治	ユリイカ	525
三井呉服店における高橋義雄と意匠係	向後恵里子	早稲田大学大学院文学研究科紀要	51
歌麿美人 日仏ふたり 肉筆画発見	山盛 英司	朝日	1.4
踊る埴輪踊ってない？ 「馬曳く姿」説広がる 国立博物館所蔵の２体	宮代 栄一	〃	4.20
北斎「幻の一枚」あった 20代の作、江戸の名所描く 欧州に流出220年ぶり「帰国」	進藤 健一	〃	4.23
狩野永徳の屏風絵か「洛外図」京都で発見 来秋公開	山盛 英司	〃	9.13
目の冒険 日本絵画のまなざし１～12	榊原 悟	〃	10.1、8、15、22、29、11.5、12、19、26、12.3、10、17
豊臣時代の大坂鮮やか オーストリア古城に屏風絵	阪本 輝昭	〃	10.19
奇想遺産		〃	
御塩殿の天地根元造 日本	鈴木 博之		11.5
会津さざえ堂 日本	松葉 一清		12.17
一展逸点 加賀の情熱映す再興九谷「鯛図平鉢」吉田屋窯	山盛 英司	朝日夕刊	1.6
広重の写生帳発見 各地の歓待ぶりも記す		〃	9.5
窓 論説委員室から「松林図屏風」	駒野 剛	〃	12.19
蕪村ら江戸期画家ニセ落款大量発見		産経	5.7
旬の民俗学～幽霊と妖怪 応挙が生み出した「足なし」	神崎 宣武	〃	8.26
奈良時代の絵馬発掘 雨ごい・疫病払いに使用？		〃	11.15
北斎の龍虎“再会”		〃	12.23
天平の色彩 唐招提寺金堂で花弁文様発見 金具で風雨から守られ		東京	8.25
いのちの炎 心の残像12景	瀬木 慎一	東京夕刊	
7 雙身歓喜天			2.14
11 北斎「雨中の虎図」			3.14
12 「山越阿弥陀図」			3.28
日本めっき事始め 腐蝕防止、避雷針に最適 6世紀ごろ技術習熟	香取 忠彦	〃	2.9

古墳時代の建物と家形埴輪　―よみがえる古代の大和	黒田　龍二	〃	9.28
思うままに　日本美術史における新説	梅原　猛	東京夕刊	
2　奈良時代にも木彫仏が！			12.11
3　泰澄作と伝わる仏像も			12.18
4　宗教芸術家・円空の証明			12.25
変動の歴史浮世絵が映す　「絵になる風景」江戸に原点　広重「名所江戸百景」150年	宝玉　正彦	日経	1.1
絵馬に映る時代の心　淡路島に残る1000点から、民衆の祈りや生活たどる	永田　誠吾	〃	1.4
かたち百景　古墳時代の埴輪犬　狩猟の主役、素朴に造形	(白)	〃	1.8
日記をのぞく　ルイス・フロイス「日本史」2	牧内　岩夫	〃	1.15
見立ての妙高山の飾り物　飛騨の知恵比べ、身近な物で別世界を生み出す	小鳥　幸男	〃	1.18
かたち百景　大仏の手　おおらかに駅へお出まし	(竹)	〃	1.29
消えた白色秘伝ひもとく　江戸前期に日本画に使われた材料を調査	上田　邦介	〃	3.1
伝来の古代刀　鋳造の妙技　復元実験で確認、鍛造の常識を覆す	鈴木　勉	〃	3.17
美の美		〃	
清風の妙味―煎茶と文人画　上、下	河野　孝		3.26、4.2
吉利支丹の聖画　上、下	内田　洋一		4.9、23
消えた琉球絵画再生国王の肖像画「御後絵」、写真をもとに描く	佐藤　文彦	〃	5.11
江戸の遊び絵奇想天外　謎解き型や上下逆さ型、大先達の作品200点収集	稲垣　進一	〃	5.24
美の美　曼荼羅　上、中―宇宙と心の設計図	竹田　博志	〃	6.18、25
日記をのぞく　鷹見泉石「鷹見泉石日記」3、4	牧内　岩夫	〃	〃
和風モダーン十選　1～10	杉本　博司	〃	7.3、4、6、7、11～14、17、18
獅子頭　風土を映す黒光り　なでられて光沢を放つ、日本各地の200頭を収集	岸　和雄	〃	7.11
祇園祭　飾り幕蕪村が下絵　自筆の書簡発見	竹田　博志	〃	7.15
妖怪あらわる十選　1～10	湯本　豪一	〃	8.7、8、10、11、15～18、21、22
かたち百景　大阪・一心寺の「お骨仏」遺骨の仏極楽浄土を体現	(田)	〃	8.20
秀吉の陣羽織きらびやか　京都の企業、色を「復活」		〃	8.22
けったいな日本の絵十選　1～10	黒川　博行	〃	8.24、25、28、29、31、9.1、4、5、7、8
唐招提寺　極彩色花弁　仏教美術解明に光		〃	8.25
「ハギレ」が織りなす美　継ぎはぎの着物、庶民の愛情やおしゃれ心映す	佐治ゆかり	〃	9.29
京都・三千院　天井画、850年ぶり再現		〃	10.15
弥生の遺跡に7メートルの柱　鳥取　10メートル超える建物か		〃	11.11
讃岐漆芸伝統の祖に迫る　創始者「玉楮象谷」生誕200年、作品や発祥の地研究	住谷晃一郎	〃	11.15
ちりめん本魅惑の日本　明治期の生まれ、海外向けに挿絵付きで文化紹介	石澤小枝子	〃	12.26
幻の安土城屏風いずこ？　織田信長がローマ法王に献上、町を挙げて調査	パオラ・カヴァリエレ	〃	12.28
だるま研究手も足も出す　ルーツは中国の遊具、40年で3000点以上を収集	中村　浩訳	〃	12.30
銅鐸は呪器だった　埋められた青銅器、白川静氏が新解釈	松岡　資明	日経夕刊	1.16

旅		日経夕刊	
織部焼のふるさと 岐阜県土岐市	岩田　三代		1.25
飛騨路に癒やしの円空仏　江戸時代の名僧、晩年を過ごす	滝沢　英人		5.24
喫茶文化と日本人 熊倉功夫さんに聞く	岩田　三代	〃	6.15
尾形光琳の「布袋図」発見　琳派の精神的系譜示す	宝玉　正彦	〃	6.26
旅　水田に染みる荘園の栄華　大分・豊後高田	田中　信宏	〃	7.12
愛知県田原市　渡辺崋山、最期の地	星　睦夫	〃	12.6
国宝「万葉集」に亀裂	長尾　真輔	毎　日	5.17
重文「長英像」に誤って穴開ける　岩手・奥州市教委	石川　宏	〃	5.23
平安初期以前の板絵４枚　全身女性クッキリ　島根・山持遺跡	久野　洋	〃	10.5
最古の白虎くっきりと　奈良・発掘当時の写真処理	林　由紀子	〃	10.7
江戸のメーンストリート　「熙代勝覧」に見る200年前の日本橋	小澤　弘	毎日夕刊	3.7
遺跡の現在形　三内丸山遺跡(青森市)　膨らむ縄文観に危うさも	伊藤　和史	〃	6.20
日本の水彩画が取り結んだ　漱石のスコットランド旅行	出口　保夫	〃	8.11
蕪村の屏風絵真作　茨城県立歴史館が断定	山本　将克	〃	9.19
遺跡の現在形　吉野ヶ里遺跡(佐賀県)　やっぱり邪馬台国が見えている？	伊藤　和史	〃	9.21
江戸博蔵めぐり　冨嶽三十六景「凱風快晴」　葛飾北斎・画	小澤　弘	読　売	1.6
江戸博蔵めぐり　からくりほととぎす　田中久重・作	益田　茂	〃	1.20
江戸博蔵めぐり　名所江戸百景　隅田川水神の森　真崎　歌川広重・画	小山　周子	〃	1.27
江戸博蔵めぐり　頭書増補訓蒙図彙大成　額田正三郎・版	金子　未佳	〃	2.17
江戸博蔵めぐり　飛鳥山花見の図　歌川広重・画	丸山はるか	〃	3.31
江戸博蔵めぐり　長板中形型紙「竹」　幕末～明治	畑　麗	〃	6.2
法隆寺金堂　「間尺」合わぬ非再建論	溝口　明則	〃	6.2
江戸博蔵めぐり　白檀塗本小札青糸威童具足　作者不詳	斎藤　慎一	〃	6.23
“箸墓の秘”絵図が語る　陵墓整備事業の下絵「文久山陵図草稿」	片岡　正人	〃	〃
江戸博蔵めぐり　弘前藩津軽家上屋敷図面　1831年	原　史彦	〃	6.30
浮世美人十二箇月　江戸博蔵めぐり　七月　星まつり　渓斎英泉・画	小山　周子	〃	7.7
高野山の「信玄」実は別人？　議論呼ぶ新説	岡本　公樹	〃	7.14
江戸博蔵めぐり　隅田川風物図巻　18世紀中ごろ	我妻　直美	〃	7.28
海考４　招く・送る・遮る・つなぐ	前田　恭二 高野　清見	〃	8.10
戒律の唐招提寺　扉の花文様　極彩色イメージ覆す	百橋　明穂	〃	9.8
木と仏像	前田　恭二	〃	
上　鑑真来朝で転機　カヤ材が主流に			9.21
下　霊木から現れ出る仏			9.22
江戸博蔵めぐり　『江戸名所花暦』版本　岡山鳥・作	畑　麗	〃	9.29
江戸博蔵めぐり　燭台付化粧箱	金子　未佳	〃	10.20
「東海道中膝栗毛」に裏話　十返舎一九の“年賀状”発見		〃	12.6
私と20世紀のクロニクル47　井の中の蛙、大海を知らず	ドナルド・キーン 角地　幸男訳	〃	12.9
「金印」真贋論争再び？　中国の「兄弟印」に不審点	岡本　公樹	〃	12.14
天武天皇　実は弱かった権力？　すぐに新たな「宮」造らず・正統性誇示あの手この手…	林部　均	読売夕刊	3.29

広重の旅日記米で発見　80年ぶり「甲州写生帳」		〃	7.26
世の中探検隊　1250年の宝物庫　奈良の正倉院	久保山　健	〃	9.2

海外美術史(アジア)

[特集]百花斉放—進撃する中国アート		ART　iT	10
「世界に向かう中国」から「グローバル化の中の中国」へ—1990年代半ば以降の中国現代アートの概要	栗　憲庭		
加速する上海アートシーン	原田　幸子		
東洋美術史学の起源における歴史観・文化的価値観・分析方法をめぐる日本と欧米の競合について(総合的検討)	藤原　貞朗	茨城大学人文学部紀要人文学科論集	45
バングラデシュ美術の成立に果たしたチッタゴン派の役割	五十嵐理奈	鹿島美術財団年報別冊	23
韓国のコンテンポラリー・アート、そして「出会い／マンナム」の境界	姜　太姫	カリスタ	13
自宅に飾りたいほど愛らしいイスラム美術の至宝たち	永島　章雄	芸術新潮	679
私の美術放浪	永井　信一	新美術新聞	
25　彫刻の原点—マトゥラ			1080
27　サンチーの浮彫芸術			1086
28　百済の武寧王陵			1088
30　百済か、新羅か、半跏思惟像の故郷			1094
35　慶州のペルシア人			1107
特集　ダダ　1916—1924　ダダ、極東1916—1924　バッシュ＆ソウル—ダダ覚え書き	波潟　剛	水声通信	7
個人研究　中国の文明と文化遺産—多様性・歴史性・芸術性について—	張　忠志	大正大学綜合仏教研究所年報	28
〈研究ノート〉戦前の在日朝鮮人社会の文化様相に関する研究	金　仁徳	日本研究	33
台湾ローカルカラーの戦時動員について	李　淑珠	美術史	161
特集　入門★中国美術		美術手帖	887
中国現代アートが譲れないもの	牧　陽一		
中国現代美術　二都物語　上海・北京　上海：莫干山路50号、上海施大現代芸術館ほか	万　里		
中国現代美術　二都物語　上海・北京　北京：798廠、酒廠、芸術東区ほか	多田　麻美		
実験水墨画　中国伝統絵画の現代化をめぐる試み	〃		
作品・技法・歴史を知る　中国美術★まるわかり事典　中国美術館館長　範迪安さんに聞く中国美術の可能性	〃		
作品・技法・歴史を知る　中国美術★まるわかり事典　歴史を知れば「いま」が見えてくる　20世紀の中国美術	ラワンチャイクン寿子		
日本におけるバーミヤーン研究の歩み	樋口　隆康	仏教芸術	289
バーミヤーン調査・研究の新段階	前田　耕作	〃	〃
特集　革命の実践と表象		民博通信	114
「雷鋒おじさんに学ぼう」の図像学—20世紀における、ひとつの怪物誌	武田　雅哉		
プロパガンダの男と女—中国現代アートへ	牧　陽一		
小特集2　地球上で最も幸せな南洋の楽園　バヌアツの芸術	オフェル・シャガン　樋口　義彦訳	目の眼	363
11世紀中国幻の壁画　京大保存来月公開		朝　日	5.31
奇想遺産　タ・プローム　カンボジア	鈴木　博之	〃	10.1
バーミヤン壁画発見　人面と猿「同居」	中村　俊介	〃	10.2

世界遺産バーミヤンはいま　中　玄奘の記憶　涅槃仏の謎を解け	中村　俊介	朝　　日	10.25
五千年の粋　悠久の美　中国国家博物館名品展　形と色への執念感じる	谷　　豊信	〃	12.22
韓国古墳からクスノキ木棺出土　飛鳥仏のなぞに迫るか　古代東アジア文化の姿に一石	大橋　一章	朝日夕刊	3.7
百花斉放　中国モダンアート	小川　　雪	〃	
1　圧力去って商業主義			11.4
2　脱「西洋」価値観を模索			11.6
3　商業主義の矛盾を描く			11.7
4　アニメ世代内面に関心			11.8
5　日中「根は同じ」、出発点に			11.9
宋代の宝船引き揚げへ　数万件の文化財満載　中国広東省の近海		日　　経	1.4
前漢末の墓に極彩色の壁画　西安の考古所が公表		〃	3.29
中国・西安郊外の大型陵墓　始皇帝の祖母葬る？	小橋　弘之	〃	7.29
かたち百景　チベット仏教のバター彫刻異例の素材、精密な作り	(宝)	〃	7.30
中国・西安壁画墓特集　西安の前漢時代壁画墓	小橋　弘之	日経夕刊	4.12
中国古代の蜀王朝成都で遺跡調査	〃	〃	8.7
中国遺跡特集　定辺郝灘墓(陝西省)　靖辺楊橋畔漢墓(陝西省)　金沙遺跡(四川省)　成都に新博物館		〃	8.18
西安に残る壁画墓の謎解明　被葬者は「直言の高官」	小橋　弘之	〃	8.21
晴れても降ってもアボリジニ美術の力強さ	飯島　和一	毎日夕刊	7.21
よみがえるバーミヤン1　大仏はなぜ造られたか　仏教の普遍体現	片岡　正人	読　　売	10.13
バーミヤン大仏「胎内経」を発見　6～7世紀の文字で記述		〃	11.12
バーミヤンに巨大仏塔跡　玄奘が見た涅槃仏に関連？	岡本　公樹	読売夕刊	2.16
2006シルクロード行仏教が来た道	池口　次郎	〃	
1　ガンダーラ			10.16
2　スワート			10.17
3　カラコルム・ハイウエー			10.18
4　クチャ			10.19
5　敦煌			10.20
6　洛陽			10.23
7　西安			10.24

海外美術史(その他)

19世紀フランスで出版されたポルトガル美術文献—ラチンスキ著『ポルトガルの美術』と『ポルトガルの美術史事典』の紹介—	一瀬あゆみ	アート・ドキュメンテーション研究	13
西洋美術史見直誌	瀬木　慎一	アート・トップ	
第10回　美術品展示の変化			207
第15回　アート・ギャラリーの独立			212
第14回分離派展—1902年ウィーンにおける展覧会の様相	(akko)	アートペーパー	68
『蛾の踊り』イメジャリー試論	鯨井　秀伸	愛知県美術館研究紀要	12
クーロス—古代ギリシア彫刻における様式の変化と発達—	神田　毎実	愛知県立芸術大学紀要	35
特集　碑石は語るⅢ石の比較文化史		アジア遊学	91
碑文を見る人・碑文を読む人　古代ギリシアの公的碑文の開放性と閉鎖性	師尾　晶子		
ビザンティン・エピグラフィーの可能性	益田　朋幸		
[翻訳]トレボニウスの花冠	エドガー・ウィント　森田　義之、甲斐　教行訳	五浦論叢	13

[翻訳]想像力の諸段階	カルロ・デル・ブラーヴォ 甲斐　教行 訳・註解	〃	〃
ロシア・アヴァンギャルドとフォトモンタージュ	島岡　　將	茨城大人文紀要コ論集*	19
「浮遊する風景」—ボスコトレカーゼの「聖なる牧歌的風景 Sacro-Idyllic Landscape」を中心に—	辻　　成史	大手前大学人文科学部論集	6
エジプト・ナカダ期の土器製作技術—土器粘土の分析ならびに生産形態の変容に関する一考察—	齋藤　正憲	オリエント	49-1
中世都市イメージの出現：中部ライン流域における都市印章	古川　誠之	学術研究	54
古代ローマ世界の「マント式ヘルマ柱」—ローマ人によるギリシア美術のパトロネージ—	芳賀　京子	鹿島美術財団年報別冊	23
ビザンティン福音書写本における扉絵の研究—メルボルン、ヴィクトリア・ナショナル・ギャラリー、Felton 710／5を中心に—	桜井夕里子	〃	〃
聖俗劇の遠近法	池上　英洋	〃	〃
カンタベリー大聖堂セント・アンセルム礼拝堂のロマネスク壁画の研究	武井　美砂	〃	〃
「飲み込む龍」と通過儀礼—ヨーロッパの図像における「死と再生」の概念について—	溝井　裕一	関西大学東西学術研究所紀要	39
短期連載1　モスクワ最新事情と20世紀初期のロシア・アバンギャルド　絵画探求への旅	津田　礼二	ギャラリー*	260
フォルチュニイとプルースト—『失われた時を求めて』におけるフォルチュニイの《ライトモチーフ》	武藤　剛史	共立女子大総文研研究叢書*	24
研究小話10　描かれた頭蓋骨	定森　晶子	群馬の森美術館ニュース	124
研究小話　画商兼刊行者アンブロワーズ・ヴォラール—Livre d'artiste(アーティスト・ブック)の先駆者	佐藤　聖子	〃	126
「イギリスのポップ・アート」再考—一九五六年の「これが明日だ」展をめぐって	平野千枝子	芸術学	9
芸術史におけるザルツブルグの位置—ザルツブルグにおける第八回ドイツ歴史家会議席上講演(一九〇四年)—	アーロイス・リーグル 細井　雄介 訳	芸術学研究(京都造形)	1
マルティンスヴァントのマクシミリアン主題と造形(一)	大原まゆみ	芸術学研究(明学)	16
大特集　シチリアの秘密	陣内　秀信 解説	芸術新潮	673
小特集　ナポレオンの美術戦略　その「虚」と「実」	鈴木杜幾子	〃	674
大特集　パリ　中世の美と出会う五日間	木俣　元一	〃	675
1　パリシイ族からはじまる			
2　ゴシック誕生！			
3　聖なる居酒屋ものがたり			
4　恋する一角獣			
5　中世はなぜ終わったか			
地獄の獣と形而上学中世写本の動物を楽しむ	浦田　　薫	〃	〃
ローマの大邸宅跡から甦る古代の赤、フレスコの庭	高橋　恵理	〃	〃
岩窟の愉快な聖人たち　エチオピアのキリスト教壁画		〃	676
ブルガリアの古墳から麗しき副葬品	高橋　恵理	〃	677
コロッセオに集まった9人のミューズと賢人たち	〃	〃	〃
後期ゴシックの忘れ形見　ジェンティーレの優美な板絵	〃	〃	679
20世紀初頭の芸術運動　キネティスムス再評価	小笠原正佳	〃	683
最近の「ブリュッケ」研究の動向—ベルリンのグループ結成百周年記念展を観て—	大森　淳史	芸術論究	33

建築史学会二〇〇六年度大会　研究発表会報告一　エジプト、アブ・シール南丘陵遺跡から出土した石積み遺構について	柏木　裕之	建築史学	47
ロシアから来た印象派の名画たち　プーシキン美術館展—シチューキン・モロゾフ・コレクション—	安來　正博	国立国際美術館月報	152
彼岸への回路としての祭壇衝立—ニュルンベルク、聖ロレンツ聖堂ヨハネ祭壇衝立をめぐって	秋山　聰	死生学研究	2006秋
講演研究会　ポルタ・マッジョーレの地下バシリカ	ジョン・ノース 鈴木 順 訳	〃	〃
デルフォイのアテナ・プロナイア神域の「マッサリア人の宝庫」の彫刻遺物の研究	勝又　俊雄	女子美術大学研究紀要	36
私の美術放浪	永井　信一	新美術新聞	
24　アレクサンドロスの頭部			1077
31　ペルセポリス			1096
特集　ロシア・アヴァンギャルド芸術		水声通信	4
ロシア・アヴァンギャルド、その歴史と理解	タチヤナ・コトヴィチ 桑野 隆 訳		
ロシア発「ロシア・アヴァンギャルド」	桑野　隆		
芸術家とは誰か　ニコライ・タラブーキンの理論から	江村　公		
特集　ダダ　1916—1924		〃	7
ダダ、ベルリン　1916—1924　破壊の美学、武器としての笑い	鈴木　芳子		
ダダ、パリ　1916—1924　出来事の痕跡をめぐるパフォーマンスについて	鈴木　雅雄		
ダダ、東欧　1916—1924　東欧のダダ、その波動の周辺で	井口　壽乃		
ダダ、ほとばしりと切断の間で	マルク・ダシー 塚原 史 訳		
いくつものダダイズム	白川　昌生		
ベルリン・ダダの体現者メーリング	平井　正		
ダダの触媒と磁極　フランシス、アルチュール、そしてふたりのジャック	谷　昌親		
ロシア・アヴァンギャルド文学理論における〈ダダ的コラージュ〉　クルチョヌイフ、テレンチエフ、ズダネヴィチ、シャルシュン	エレーナ・ガリツォヴァ 桑野 隆 訳		
a-chroniques《9》手と鏡[その二]	松浦　寿夫	〃	9
特集　宮廷と美術		西洋美術研究	12
ルネサンス期の宮廷芸術家たち　光と影に彩られたその栄達	小佐野重利		
原典資料紹介　史料に見る宮廷の中の芸術家たち　メディチ家の宮廷と芸術家の地位	北田　葉子		
展覧会評　「パリ1400年」展　ゴシック美術における恩寵の時	クリスチャン・エック 木俣　元一 訳		
論文　中世におけるマリアとマルタ	ジャイルズ・コンスタブル 橋川　祐之	〃	〃
特集　書体の選び方目で学ぶ　欧文書体見本帳博物館	早川　浩 スコット・リッチー 小泉　均 高岡　昌生	デザインの現場	149
聖ゲオルギオスの奇跡伝—イクヴィ(グルジア)、ツミンダ・ギオルギ聖堂北翼廊の壁画を中心に	高　晟俊	新潟県立万代島美術館研究紀要	1
初期ネーデルラント絵画の降誕図に見られる聖地巡礼の影響	木川　弘美	日仏美術学会会報	25
講演　印象派漫歩—風景とタームをめぐって—	島田　紀夫	〃	〃
例会発表要旨　第100回例会：初期ネーデルラント美術—信仰とその形態—ディジョン市立美術館蔵「マリアの三連祭壇衝立」(ブルーデルラム、バールズ作)	石井　真理	〃	〃

例会発表要旨　第101回例会：15世紀フランスのミニアチュール研究—彩飾システムの諸相—	〃　〃		
フランス15世紀時祷書における植物装飾の役割とその意義—マルグリット・ドルレアンの時祷書(フランス国立図書館、ms. lat. 115を用いて—)	田辺めぐみ		
クリスチーヌ・ド・ピザン『著作集』Harley4431写本ミニアチュールの最終段階—貴婦人の都の画家にみる1410—1414年パリ写本革新の最前線—	小林　典子		
25周年記念シンポジウム「美術史におけるフランスと日本」要旨	〃　〃		
基調報告：フランスにおける中世美術史研究—1960—80年代を中心に—	辻　佐保子		
パネル発表：1980年代以降のフランス美術史学の状況—INHAの創設に向かって—	三浦　篤		
パネル発表：20世紀前半期のフランスにおける東洋美術研究の理念と方法—植民地主義・形式主義・普遍主義—	藤原　貞朗		
パネル発表：ジャポニスム研究の現在—芸術とポリティクス—	馬渕　明子		
パネル発表：フランス新古典主義美術研究—身体論・ジェンダー論の視点から—	鈴木杜幾子		
パネル発表：フランスと日本における女性のアーティストをめぐって—女性による表現の再評価について—	岡部あおみ		
大修道院長シュジェールのサン＝ドニにおけるモノリスの円柱に関する考察—〈アン・デリ〉の円柱と細円柱という観点からの、シュジェールの記述の再解釈—	加藤　耕一	日本建築学会計画系論文集	600
1584年から1658年にかけてのマッテーイ広場の噴水の変様	佐々木　学	〃	606
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨　〈フランス〉美術の起源を求めて—ルイ・クラージョのエコール・デュ・ルーヴル講義録(一八八七～一八九六)を読む—	泉　美知子	美　学	227
ヴィア・ラティーナ・カタコンベの装飾モティーフについて	宮坂　朋	美学美術史研究論集	21
教会内の備品とその絵画による再現—リアリティーとアナクロニスム	辻　佐保子	〃	〃
教員研究ノート・随想　ベルギー・ロマネスク美術の論争点《リエージュの洗礼盤》を巡る論争	馬杉　宗夫	美史研ジャーナル	3
ダダの女性作家たち	由本みどり	美術運動史研究会ニュース	83
プロペラと絵画——九一二年の前衛美術の場所についての一考察	速水　豊	美術史	160
第五十九回全国大会研究発表要旨		〃	161
ビザンティン聖堂装飾の方法	益田　朋幸		
アメリカのスペクタクル——九六四年ヴェネツィア・ビエンナーレ考—	池上　裕子		
貧の範囲—アルテ・ポーヴェラ再検討—	金井　直		
カッパドキアにおける「慈愛の聖母」の受容	菅原　裕文		
レオン王国サンチャ王妃の『語源論』写本(一〇四七年)をめぐって	久米　順子		

ヴァラッロのサクロ・モンテ第三十六礼拝堂〈カルヴァリオへの道〉礼拝堂における予型論図像採択の意味	大野　陽子		
『テオファニス福音書』の柱頭聖人について	桜井夕里子	美術史研究	44
特集　美術史家の価値評価を問う２　美術史は何を語っているのか	島本　浣	美術フォーラム21	13
特集　メディアが「美術」をつくる。１　一九世紀フランスの美術全集―研究ノートとして	〃	〃	14
なぜ「芸術と生政治」か	岡田　温司	百　科*	524
古代トラキアの金銀器１　フィアレについて	ジュリア・ヴァレヴァ	MIHO MUSEUM 研究紀要	6
前近代におけるメディア　近世イタリアにおける「古典の教養」とメディア	北田　葉子	歴史学研究	820
2006年度歴史学研究会大会報告批判　合同部会　北田報告批判	徳橋　曜	〃	822
研究フォーラム　ジェンダーと歴史学教育―古代ローマ史の場合	樋脇　博敏	歴史と地理	596
第39回大会報告特集／歴史のなかの伝統Ⅲ　バイエルン王国における支配の正統性の創出と統合政策―マクシミリアン二世の時代(一八四八―一八六四)を中心に―	鍋谷郁太郎	歴史評論	673
「最後の印象派」としてのオートクローム・リュミエール	北村　陽子	早稲田大学大学院文学研究科紀要	51
修士論文概要　古代エジプト新王国第一八王朝時代のディール・アル＝マディーナに関する研究―ディール・アル＝マディーナの墓地資料を中心に―	高橋　寿光	〃	〃
ソンマ・ヴェスヴィアーナ遺跡　「もう一つのポンペイ」発掘	青柳　正規	朝日夕刊	6.8
イタリア南部　２世紀様式の壁画　ポンペイ後息づく色	郷　富佐子	〃	11.10
まなざしの行方十選１～10	青柳　正規	日　経	3.22、23、27、28、30、31、4.4、5、7、8
かたち百景　クレオパトラの銀貨　鼻は低くて長かった？	(竹)	〃	3.26
サンタの島　美術の贈り物　トルコ南部ゲミレル島で発見、教会装飾の認識新たに	浅野　和生	〃	12.5
ナスカに新たな地上絵　山形斎助教授ら、100種発見		日経夕刊	4.20
スイス現代美術展　リアルワールド―現実世界　映像軸に際立つ多様性	三田　晴夫	毎日夕刊	1.24

保存修復

美術品修復の理論(1)	ジュゼッピーナ・ペルジーニ　森田　義之、大竹　秀美、西村　明子、池田　奈緒　訳	愛知県立芸術大学紀要	35
匠のかたち　「絵画修復」	石黒　知子	ＡＸＩＳ	122
活動レポート　岩手県立博物館の収蔵資料を守る―博物館資料を汚損する有害生物対策の現状―	佐々木　整	岩手県立博物館だより	110
乾陵・順陵の石彫像の保存修復	(山田)	おおいた歴博	20
報告　大阪歴史博物館所蔵の装飾大刀―その保存処理作業にともなって―	加藤　俊吾　伊藤　幸司　福田さよ子	大阪歴史博物館研究紀要	5
十年を振り返って―沖縄県公文書館における保存修復業務について	大湾ゆかり	沖縄県公文書館研究紀要	8
出土鉄製品の脱塩処理におけるリン酸イオン溶出の由来究明	中越　正子	元興寺文化財研究所研究報告	2005
保存処理材料の光劣化の研究１―接着剤・充填剤・補彩材料について―	江野　朋子　山岡奈美恵	〃	〃
紙資料の劣化を予測するための調査・分析	井上美知子　金山　正子	〃	〃
研究報告　近現代紙資料にみられる酸性劣化とインク・コロージオン	金山　正子	〃	〃

調査・研究(概要) 近現代図面資料の劣化抑制に関する研究	〃	〃	〃
展示ケース及び収蔵庫の温度・相対湿度の測定	山城　勇人	久米島自然文化センター紀要	6
特集　七つの謎でめぐる飛鳥　キトラ古墳壁画、修復保存はいばらの道か　東京文化財研究所修復技術部　川野邊渉氏にきく	編　集　部	芸術新潮	681
連載　今日の現場９ 唐招提寺金堂・平成の大修理	山田　　宏	建築雑誌	1551
連載　モノづくりビト11　漆工　小西美術工芸社	蟹澤　宏剛	〃	1553
特集　中国―そこに日本の建築世界はどう関われるかⅢ　インタビュー６　中国で考える歴史都市の保存再生	大西國太郎 包　慕萍 聞き手	〃	1554
縄紋時代研究における炭素14年代測定	小林　謙一	国立歴史民俗博物館研究報告	133
島根県かわらけ谷古墳から出土した金銅装双龍環頭大刀飾りの鉛同位体比	平尾　良光 齋藤美奈子 谷水　雅治	古代文化研究	14
蓮田周辺採集大珠の鉱物分析	大屋　道則	埼玉県埋文調査団紀要*	21
北本市内出土石製品の鉱物分析	磯野　治司 斉藤　成元 清水　慎也 大屋　道則	〃	〃
石器材料及び石器の理化学的分析値(１)―XRFによる黒曜石分析値(2005年度)―	大屋　道則 西井　幸雄 上野真由美 亀田　直美 国武　貞克 島立　　桂 田村　　隆 望月　明彦	〃	〃
宮内庁三の丸尚蔵館所蔵　伊藤若冲作品に関する彩色材料調査	早川　泰弘 佐野　千絵 三浦　定俊	三の丸尚蔵館年報・紀要	11
平成十六年度収蔵品修理報告　一		〃	〃
平成16年度館蔵資料保存修理事業報告	髙木　叙子	滋賀県立安土城考古博物館紀要	14
紙プログラム報告～和紙通して文化財の保存を学ぶ～	特定非営利活動法人NPO文化財を守る会	静岡県博物館協会研究紀要	29
進む第一次大極殿正殿復原工事(奈良)	村田　和義	史迹と美術	766
復元された佐賀城本丸御殿	中西　　亨	〃	770
実験報告　漆塗膜の乾燥固化後の重量増加について	豊島　　清	漆工史	29
資料修理　武内小鸞《唐美人図》	児島　　薫	実践女子学園香雪記念資料館館報	3
正倉院宝物特別調査報告　皮革製宝物材質調査	出口　公長 竹之内一昭 奥村　　章 小澤　正実	正倉院紀要	28
正倉院宝物に見る皮革の利用と技術	出口　公長	〃	〃
資料集成　科学分析報告一覧	南の縄文調査室	縄文の森から	4
FEATURE 保存修復の世界で活躍する卒業生たち―未来に引き継ぐ私たちの文化遺産―修復　模写　復元制作　仏像修復　調査撮影		たまび	44
東京芸術大学構内における煉瓦文化財の破損と劣化(１)―音楽および美術学部正門の煉瓦およびモルタル―	建石　　徹 澤岡織里部 北田　正弘	東京芸術大学美術学部紀要	43
重ね染め絹布の可視紫外反射スペクトルおよび三次元蛍光スペクトル―染液濃度の影響および褪色の影響―	星　恵理子 地村　敦子 北田　正弘	〃	44
東京国立博物館所蔵経筒の科学的研究―蛍光X線分析・鉛同位対比法分析―	原田　一敏 平尾　良光	東京国立博物館紀要	41
ミュージアムサイエンスノート		東風西声*	
２　文化財の健康診断装置―文化財用X線CTスキャン(Computed Tomography Scanner)―	鳥越　俊行 今津　節生		2
３　文化財保存修復施設の設置について	九州国立博物館学芸部博物館科学課保存修復室		2別冊

ドイツにおける保存修復家の職業像	メヒトヒルト・モスト 眞鍋　千絵 訳	東北芸術工科大学紀要	13
ベイスギ揮発成分とその文化財物質への影響Ⅲ—レーザーラマン分光分析法による顔料の変質原因物質の推定—	及川　　規	東北歴史博物館研究紀要	7
特集　山梨県立博物館かいじあむのバースディ２　幕絵修復・半田九清堂でわかったこと	井澤英理子、高橋　　修、半田　幾子、半田　昌規 談	ド　ー　ム	84
短報　徳島県立鳥居記念博物館の展示室および収蔵庫における温湿度変化—空調設備のない博物館施設における湿度制御の可能性について—	魚島　　純一	徳島県立博物館研究報告	16
カンボジア・アンコール石造寺院遺跡の風化破壊	池田　　碩	奈良大学紀要	34
復原建物の設備整備における現状と課題	金井　　健	奈良文化財研究所紀要	2006
キトラ古墳出土遺物の科学的調査	村上　　隆	〃	〃
西谷２号墓出土ガラス釧などの考古科学的調査	肥塚　隆保 降幡　順子	〃	〃
光学的物性と出土陶磁器表面の風化に関する調査	降幡　順子	〃	〃
19世紀から20世紀前半の英国における廃墟保護：その技術・法・理念の形成に関する研究	穎原　澄子	日本建築学会計画系論文集	608
文化財レポート　震災後の埋蔵文化財保護とその成果	岡崎　正雄	日本歴史	697
巻頭エッセイ　富岡市の歴史的街並み保存	今井　幹夫	博物館研究	459
韓国仏教壁画の保存と修復	村松　裕美	美術運動史研究会ニュース	83
「古糊」について—材料科学から見た日本画修復—	早川　典子	美術京都	37
2004年度修復報告 作者不明（狩野派）福山城旧伏見御殿襖絵（４面）（日本画）	上田　修三	ふくやま美・書道美年報*	2003–2004年度
バーミヤーン仏教壁画の保存修復の現状	宇野　朋子 大竹　秀実	仏教芸術	289
バーミヤーン仏教壁画の技法材料概観—その彩色構造を中心に—	谷口　陽子	〃	〃
「流出文化財バーミヤーン仏教壁画片」の調査	関　　博充 籾井　基充	〃	〃
カッツァネッロ（タルクィニア）のローマ遺跡発掘調査（第11次・12次・13次）中間報告	青柳　正規 編	文化交流研究	19
レバノン共和国・ティール市郊外ラマリ地区所在地下墓TJ04保存修復研究 2004・2005年度概要報告	西山　要一	文化財学報	23・24
３Dレーザースキャニング計測事業～		文化財保存学専攻保存修復彫刻年報	2005年度
３Dレーザースキャニングによる彫刻文化財調査の概要～	東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻		
規矩による平等院阿弥陀如来坐像台座蓮弁の作図方法における検討～	山田　　修 東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室		
「荒海海進」と較正曲線—縄紋式終末における環境（気候）変動と年代推定—	鈴木　正博	法政考古学	32
バーミヤーン仏教壁画の材質分析（１）—クロスセクションによる彩色技法の調査—	谷口　陽子 大竹　秀実 前田　耕作	保存科学	45
バーミヤーン遺跡における環境調査（１）—外部環境と石窟内の温湿度環境—	宇野　朋子 谷口　陽子 大竹　秀実 青木　繁夫	〃	〃
バーミヤーン仏教壁画の保存修復（１）—グラウティングによる応急処置—	大竹　秀実 谷口　陽子 青木　繁夫	〃	〃
タイ王国スコータイ遺跡における大仏の保存修復—表面水分量と藻類等の繁殖に関するモデル柱における実験—	宇野　朋子 石崎　武志 西浦　忠輝 チラポーン アランヤナーク	〃	〃
高松塚古墳の微生物対策の経緯と現状	木川　りか 佐野　千絵 石崎　武志 三浦　定俊	〃	〃

高松塚古墳墳丘部の生物対策としての冷却方法の検討	石崎　武志 三浦　定俊 犬塚　将英 カリル　マグディ	〃	〃
高松塚古墳墳丘部の土質および水分分布調査	石崎　武志 犬塚　将英 三村　衛	〃	〃
キトラ古墳保護覆屋内の環境について—温度・湿度と炭酸ガス濃度—	佐野　千絵 犬塚　将英 吉田　直人 森井　順之 加藤　雅人 村上　隆 高妻　洋成 降幡　順子 肥塚　隆保 石崎　武志 三浦　定俊	〃	〃
キトラ古墳における菌類等生物調査報告(2)	木川　りか 間渕　創 佐野　千絵 三浦　定俊	〃	〃
古墳の保存と活用のための生物等被害状況アンケート調査—九州—	佐野　千絵 石崎　武志 三浦　定俊	〃	〃
ガス電子増幅フォイルを用いた文化財調査用X線検出器の開発	犬塚　将英	〃	〃
透過X線撮影におけるフィルムとIP特性曲線の比較	松島　朝秀 三浦　定俊	〃	〃
紫外・可視反射スペクトル法による染料非破壊分析のための基礎研究(2)—緑色系漆に用いられるインディゴの検出—	吉田　直人 三浦　定俊	〃	〃
ポータブル・マルチLED分光装置の試作と蛍光スペクトル法による水彩絵の具同定への応用	北見　周子 横島瑛莉奈 岡村　秀樹 佐野　千絵	〃	〃
根津美術館所蔵燕子花図屏風のX線分析	早川　泰弘 松島　朝秀 三浦　定俊	〃	〃
「独々涅烏斯(ドドネウス)草木譜」原本の科学的調査(1)	吉田　直人 加藤　雅人 佐々木良子 吉川也志保 岡本　幸治	〃	〃
古代地方寺院の外装塗装の色について	朽津　信明	〃	〃
漆芸技法に用いられる金属への文化財燻蒸薬剤の残留影響評価—臭化メチル・酸化エチレン製剤の影響—	神谷　嘉美 加藤　寛 佐野　千絵	〃	〃
文化財公開施設内生物調査における浮遊菌測定手法の検討	間渕　創 小鷲　悠 篠原　史彦 岩田　利枝 木川　りか 佐野　千絵	〃	〃
展示ケース、展示施設の換気回数測定のための基礎実験	犬塚　将英 石崎　武志	〃	〃
文化財公開施設の空気環境評価における変色試験紙法の再評価—パッシブインジケータ®との相関	佐野　千絵 吉田　直人 石崎　武志	〃	〃
熊本城「細川家舟屋形」の保存環境に関する研究	石崎　武志 白石　靖幸 肥塚祐美子	〃	〃
「北海道開拓の村」の歴史的建造物の壁面劣化調査	高見　雅三 石崎　武志	〃	〃
劣化した漆塗膜に対する強化手法の外観への影響	神谷　嘉美 加藤　寛	〃	〃
厳島神社丹塗柱の退色と柱内水分量の相関	森井　順之	〃	〃
鎌倉市百八やぐらにおける乾湿繰り返しと岩石風化について	朽津　信明 関　博充 陳　建平	〃	〃
展示公開施設の館内環境調査報告—平成16年度—	吉田　直人 佐野　千絵 石崎　武志	〃	〃
“バクトリア遺宝”の科学的調査—奉納板の蛍光X線分析(1)—	桑原　康郎	MIHO MUSEUM 研究紀要	6
東京国立博物館所蔵ポール・ルヌアール筆素描と版画—描画材料・技法および保存修理—	土屋　裕子	MUSEUM	604
ルヌアール素描・版画コレクションの台紙に用いられた接着剤の化学分析	塚田　全彦	〃	〃
山形県内遺跡出土試料の^{14}C年代測定(その2)	国立歴史民俗博物館・年代測定研究グループ	山形県埋蔵文化財センター研究紀要	4
山形県内遺跡出土試料の^{14}C年代測定と較正年代の検討	小林　謙一 小林　圭一	〃	〃
正倉院学術シンポジウム　正倉院事務所における近年の調査	杉本　一樹	鹿園雑集*	8
修理報告　奈良　円生院所蔵　絹本著色楊柳観音像の保存修理	中島　博	〃	〃

調査報告　平成十三～十五年度　修復文化財関係銘文集成		鹿園雑集*	8
平成十七年度　修復文化財(木造)材質調査報告		〃	〃
トレンド　古代壁画保存修復のいま　国・地域で異なる理念	中村　俊介	朝　日	2.23
時時刻刻　敦煌・莫高窟　消えゆく名画　砂漠の宝水に泣く	塚本　和人	〃	3.26
深大寺の謎にX線の光　早大・宇田さん独自の装置で釈迦如来像を分析		〃	5.8
ニュースがわからん！　古墳のカビは何が問題？	今井　邦彦	〃	5.30
壁画「受難」解明足踏み　高松塚調査委　損傷・カビ食い違う証言	小滝ちひろ 筒井　次郎	〃	6.4
伝統の技たどる作業維新後に美術品流出表具師も共に海渡る		〃	6.25
劣化防止技術は未確立　高松塚壁画　工事機にカビ頻発		〃	9.16
ツタンカーメンX線分析　輝きの秘密は「薄化粧」	渡辺　延志	〃	9.17
ニュースがわからん！　高松塚古墳の壁画、どう補修？	今井　邦彦	〃	9.28
茨城県の壁画古墳傷まぬ虎塚そのわけは　念入り点検、出入りは数人　高松塚と対照的　地元も管理にかかわる	宮代　栄一	〃	11.9
フレスコの聖人再びイタリア北部62年前の空襲で破損　平和信じ破片８万個保管	郷　富佐子	〃	11.18
楽山大仏　酸性雨で「黒い涙」	塚本　和人	〃	12.15
科学で推察、絵巻鮮明　東京文化財研究所など復元		朝日夕刊	3.9
ツタンカーメン合金で「薄化粧」　王のブルー新たに合成　過去の色集めて開発か	宇田　応之	〃	10.10
大型日本画修復に「光」　運べる高精度スキャナー		〃	10.20
金堂扉に華麗な文様唐招提寺極彩色の花弁		産　経	8.25
最新技術が明かした秘密　伴大納言絵巻10年ぶりに全巻公開	栫井　千春	〃	10.17
響きあう文化時空を超えて50　カンボジア―荒廃の大地から復活する伝統芸能９　修復オリンピック	武田　洋平	東京夕刊	3.7
国宝・投入堂90年ぶり修復		〃	8.21
高松塚・キトラ古墳特集　古墳壁画保存ヤマ場	猪熊　兼勝	日　経	1.4
文化往来　壁画修復国際会議、相互協力の可能性示す		〃	2.27
トピックス　シルクロード文化財　保存・修復に専門家育成へ		〃	3.29
世界の石造物よ永遠に　石工として遺跡修復などに40年以上携わる	左野　勝司	〃	4.18
優しき仏像　幻の天平技法　特殊な漆を使う脱活乾漆造で柔らかな造形再現	小林　泰弘	〃	5.19
ジャワ地震　寺院群、修復に半年以上	代慶　達也	〃	6.1
アート探究　利休の茶室復元	川口　一枝	〃	6.24
興福寺中金堂、アフリカ材で再建　国際色豊かに創建の姿	兼吉　毅	日経夕刊	3.13
出雲大社復元を競作建築学者が５案を完成		〃	8.10
絶壁の国宝修理命懸け　鳥取・投入堂、90年ぶりに		〃	8.21
キトラ技法、エジプトへ　しっくい壁画はぎ取り　関西大が成功		〃	10.28
高松塚古墳を考える	佐古　和枝 増田　勝彦 小林　三郎	毎　日	5.13
高松塚損傷問題で報告書	河上　邦彦 松田　真一	〃	6.24
屏風の顔料触れずに解析　高精細スキャナー　文化財修復に期待	永山　悦子	〃	10.20
キトラ古墳盗掘前は密閉状態　文化庁分析　築造技術優秀さ証明	林　由紀子	毎日夕刊	3.14

解体、再建「望ましい」 ジャワ地震で被害世界遺産寺院	佐藤賢二郎	〃	6.6
実用化まであと一歩のカビ防止法 高松塚壁画保存に有効の可能性 実現すれば石室解体不要に	佐々木泰造	〃	7.4
日中韓が文化財保護探る 宮崎で国際会議 08年にも学会設立へ	〃	〃	11.2
キトラ古墳「白虎」の壁画片を公開 神秘もはぎ取られた？	片岡 正人	読 売	5.19
高松塚古墳壁画劣化「新発見、埋め戻しがベスト」 専門家、保存・公開に悲観的	〃	〃	6.20
宝物を守る１～５ 正倉院1250年		〃	10.11 ～13、17、19

情 報 処 理

韓国における文化財情報のデジタル化とネットワーク化について	田窪 直規	アート・ドキュメンテーション研究	13
美術抄録索引(主要４オンライン)サービスにおける雑誌重複タイトルの比較調査	トニー・ホワイト 水谷 長志 訳・補	〃	〃
九州だより	後藤 純子	アート・ドキュメンテーション通信	
（その１）：長崎県美術館の所蔵文献資料について			68
（その２）：九州国立博物館の所蔵文献資料について			69
年次大会参加記 デジタル画像活用に対する試み	奥本 素子	〃	70
ノートする四人―土方、瀧口、ノグチ、油井	渡部 葉子	ARTLET	26
《貴賓席》和光大学図書館の美術展カタログ	三上 豊	あいだ	125
浦添市美術館webサイトのリニューアル作業から見た諸問題	渡辺 巧	よのつぢ*	2
東京大学史料編纂所「鎌倉遺文フルテキストデータベース」	海老澤 衷	鎌倉遺文研究	18
デジタル化による古籍版本の校勘処理の技術―CBETA大正蔵電子仏典を例として―	釋惠敏 杜正民 周邦信 王志攀	漢字文化研究年報	1
Report 新しい美術作品鑑賞法		ギャラリー*	254
土方巽アーカイヴ 瀧口修造アーカイヴ ノグチ・ルーム・アーカイヴ 油井正一アーカイヴ	森下 隆	慶応義塾大学アート・センター年報	13
図書の分類と整理について―文献データベースの作成―	新屋 雅明 金井 義直	埼玉県埋文調査団紀要*	21
日本語のローマ字表記について(続)	富井 玲子	jaic 会 報	3
雑誌を調べるためのツール	橋川 英規	〃	6
美術情報展望	〃	〃	
（１）連載を始めるにあたって			7
（２）人物に関する情報			8
台東区「ヴァーチャル美術館」を開設 東京芸大卒業制作、同区長賞受賞の54作品を掲載		新美術新聞	1083
コンテンツのデジタル化など共同研究を開始 川崎市民ミュージアムと慶応義塾大学DMC機構		〃	1098
友枝啓泰アンデス民俗学画像コレクション	加藤 隆浩 河邉 真次	人類学博物館紀要	24
特集 戦後マンガ史論をどう書くか マンガデータベース私論	秋田 孝宏	水声通信	14
動向 アーカイブズ学		地方史研究	
シンポジウム「戦争の記憶とアーカイブズ学」参加記	清水 善仁		321
日本アーカイブズ学会の今後に向けて―大会参加記―	西向 宏介		322
「日本アーカイブズ学会二〇〇六年度大会」参加記	荒川 将		〃
京都アート・エンタテイメント創成研究	川嶋 將生	日本歴史	692
民俗学研究のための情報発信	木下 宏揚	人類文化研究のための非文字資料*	3

〈ノート〉千葉県のデジタルアーカイブについて	久保田正道	物質文化研究	3
特集　最新の彫刻史研究　彫刻文化財における三次元デジタルデータの集積と活用	籔内佐斗司	文化財*	512
「ミュージアム資料情報構造化モデル」の構築	村田　良二	MUSEUM	602
連載　歴史研究最前線21　利用しやすくなった絵画史料の活用で授業を新しく	加藤　友康	歴史地理教育	698
研究フォーラム　東アジアを描く非文字資料のデータベース化	貴志　俊彦	歴史と地理	594
古典籍総合データベースの構築と展開	松下　眞也	早稲田大学図書館紀要	53
文化財をクリック　教材ソフト開発中　情報学研究所		朝日夕刊	3.10
スキャナーでアート　精細な作品制作広がる　文化財、保護→活用へ	前田　浩次	〃	9.8
京都・大徳寺に百数十年ぶり　ふすま絵「堅田図」デジタル複製寺に帰る		日　経	4.22
文化往来		〃	
映像アート保存の専門団体設立へ			5.11
アーカイブズ、専門職養成が課題			5.16
川崎市のミュージアム、デジタルで情報発信			8.25
美術品のデジタル保存記録　複製・情報提供に威力	小川　敦生	〃	8.12
「風神雷神」NY出張　京都国際文化交流財団　高精細の複製完成		〃	11.1
みやこに脈々もの作りDNA　伝統の技からハイテク	笠谷和比古談	〃	11.24
寺院の精密なCG　アンコール遺跡「バーチャル見学」東大教授ら作製		日経夕刊	2.9
芸術家２万人一発検索　文化庁データベース構築へ		〃	2.27
世界遺産からのSOS　カンボジア・アンコール遺跡群　寺院データをデジタル化	佐藤　岳幸	毎　日	2.27
ネットに仮想美術館開設　台東区所有の作品公開		読　売	1.27
三蔵法師が見たバーミヤンCGで再現		〃	7.13
ヴィーナス自在に“鑑賞”　3Dで衣服のひだまで再現	前田　恭二	読売夕刊	1.16

文化財行政

特集　中国社会構造の変容　観光開発に伴う世界遺産「麗江古城」の変容	杜　国慶	アジア遊学	83
学界動向　文化財研究所によるバーミヤーン遺跡保存事業	岩井　俊平	オリエント	48-2
平泉の世界遺産登録と骨寺村荘園遺跡	大石　直正	関　山	12
インタビュー　北川フラムに聞く　大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ2006		ギャラリー*	253
麗江旧市街地の保全に関する社会文化的課題の考察～観光地化が世界遺産都市の空間および社会に与える影響の多角的分析その１～	山村　高淑 張　天新 藤木　庸介	京都嵯峨芸術大学紀要	31
修復トピックス　重要文化財　清水寺奥院舞台の耐震対策について	鶴岡　典慶	建築史学	46
京都大学所蔵「ジョサイア・コンドル建築図面」重要文化財指定	岸　泰子	〃	47
法隆寺学入門(二十五)、(二十六)	髙田　良信	聖　徳	188、189
平成18年度国宝・重文新指定―文化審答申　書籍・典籍の部　智証大師伝など六件が重文に		書道界	198
11.3声明　「効率性追究による文化芸術の衰退を危惧する」を推し進めて　市場化テストの適用は慎重にすべし	平山　郁夫、 高階　秀爾 対談	新美術新聞	1076
新美術時評　市場化テストについて	島尾　新	〃	1077
美術市場レーダー	瀬木　慎一	〃	

167　文化問題の取り上げ方はこれでいいのか			1078
169　平成18年度文化庁予算案から何を読み取るか			1084
176　政治が文化をしようとしている			1105
平成18年度文化庁予算―国内外の人々を魅了する「文化力」の向上―国立新美術館整備推進に98億4600万円		〃	1081
神戸ビエンナーレ2007年　10月19日プレイベントでシンポジウムを開催		〃	1104
高校生以下無料化と博物館法	渡部　誠一	セラ・パ	8
伝統的建造物群保存地区における修景方法の考察―佐原市佐原景観形成地区におけるケーススタディ―	上北　恭史 斎藤　英俊	筑波大学芸術研究報告	47
高畠町の都市計画道路沿道街並み形成における建築審査会の役割に関する研究	相羽　康郎	東北芸術工科大学紀要	13
動向　デール・エル・カラー遺跡の史跡公園化計画について―レバノンにおける観光開発と遺跡保存―	辻村　純代	西アジア考古学	7
白川村荻町の伝統的景観管理とその変遷歴史的集落における景観管理能力の発展条件に関する研究　その1	高口　愛 西山　徳明	日本建築学会計画系論文集	605
「武力紛争の際の文化財保護のための条約(1954年ハーグ条約)」成立過程の議論にみられる日本の役割　国際社会における文化財保護と日本　その2	平賀あまな 斎藤　英俊	〃	608
ドイツにおける面的記念物保護制度の研究―ヘッセン州とノルトライン＝ヴェストファーレン州を中心として―	井川　博文	〃	〃
特集　陵墓研究の新地平　時評　近年の陵墓問題の動向について	後藤　真 福島　幸宏	日本史研究	521
時評　陵墓に関わる新動向について―2006年陵墓「懇談」の報告	〃	〃	530
要望書		〃	
八上城・法光寺城遺跡群の整備活用に関する要望書			531
高知城の保存と整備に関する要望書			532
文化財レポート		日本歴史	
二〇〇五年度前期の史跡等の指定(上)、(下)			694、695
二〇〇五年度後期の史跡等の指定(上)、(下)			699、701
生活デザインの現場から6　地域でのまちづくりにおけるユニバーサルデザインの取り組み	宮本　雅子	人間文化	19
丸の内だより　平成18年度　文部科学省・文化庁における博物館振興施策の概要について		博物館研究	453
文化財としての文化的景観の保護と博物館に期待する役割	黒田　乃生	〃	459
知覧フィールドミュージアム事業の展開	上田　耕	〃	〃
施設のない“博物館”の生き残り戦術―日常にある文化財をめざして―	小林奈緒美 稲坂　恒宏 田原みちる	〃	461
古代史情報	片岡　正人	東アジアの古代文化	126
特集　古代をめぐる諸問題　高松塚古墳の現状と将来―古墳保存への一考古学者の提言―	大塚　初重	〃	129
特集　メディアが「美術」をつくる。9　メディアの中の「高松塚」	高松　良幸	美術フォーラム21	14
新指定の文化財(記念物)	文化庁文化財部	文化財*	509
登録有形文化財(建造物)一覧　第49・50回登録有形文化財(建造物)	〃	〃	510
新指定の文化財(美術工芸品)	〃	〃	513
新登録の文化財(登録有形文化財)	〃	〃	〃

新指定の文化財(建造物)	文化庁文化財部	文化財*	514
新選定の文化財(伝統的建造物群)	〃	〃	〃
新指定の文化財(記念物)	〃	〃	515
登録有形文化財(建造物)一覧　第51回登録有形文化財(建造物)	〃	〃	〃
新指定の文化財(建造物)	〃	〃	519
新選定の文化財(伝統的建造物群)	〃	〃	〃
登録有形文化財(建造物)一覧　第52回登録有形文化財(建造物)	〃	〃	〃
〈速報〉旧渋沢家飛鳥山邸と旧古河氏庭園の国文化財指定について		文化財研究紀要	19
2005年登録の世界遺産	城戸　一夫 吉田　正人	ユネスコ世界遺産年報	11
蘇ったアンコール保存修復に貢献した国際支援と日本の取り組み		〃	〃
アンコール遺跡の将来像	鈴木　博之		
カンボジア民族の象徴、アンコール復興の25年間	石澤　良昭		
現地の人たちとの連帯感で達成したアンコール復興	赤澤　　泰		
カンボジアの人びとに受け継がれていく遺跡研究	杉山　　洋		
世界遺産ニュース		〃	〃
［国際編］			
［国内編］			
世界遺産Q&A		〃	〃
特集　危機遺産		〃	12
危機遺産とは何か？			
レポート　2006年10月危機遺産シンポジウムからの報告			
危機を脱した世界遺産			
特別レポート　景観の危機	カロリン・フンク	〃	〃
アニュアルレポート		〃	〃
1　日本の世界遺産この1年の動き			
2　第30回世界遺産委員会ニュース	稲葉　信子		
世界遺産基本情報		〃	〃
文化財建造物／保存修理・史跡整備		和歌山県文化財センター年報	2005
重要文化財　旧中筋家住宅保存修理の設計監理	御船　達雄		
重要文化財　福勝寺本堂ほか2棟保存修理の設計監理	多井　忠嗣		
県指定文化財　荒田神社本殿保存修理の設計監理	鈴木　徳子		
重要文化財　那智山青岸渡寺本堂保存修理の設計監理	寺本　就一		
史跡　和歌山城御橋廊下復元工事の工事監理	鳴海　祥博		
「白虎」公開　信頼回復目指し解禁　文化庁秘密主義の批判受け		朝　　日	3.17
日伊共同シンポ「人類の文化遺産」　国境超え宝を守る	ジュゼッペ・プロイエッティ、ステファノ・デカーロ、マリオ・ミケーリ、青柳　正規、石澤　良昭、青木　繁夫談	〃	3.21
社説　高松塚壁画　文化庁に任せられるか		〃	4.16
社説　キトラ公開　白虎が語りかけるもの		〃	5.19
シンポ「高松塚古墳・キトラ古墳を考える」　病む壁画救う道は	沢田　正昭、坂井　秀弥、三浦　定俊、佐古　和枝、増渕　　徹、百橋　明穂、和田　晴吾談 天野　幸弘司会 坪井　清足、青柳　正規特別講演	〃	5.24

危機感の欠如浮き彫り　高松塚壁画損傷、調査大詰め	宮代　栄一 筒井　次郎	〃	6.15
海外の文化遺産　日本の力で守れ　「保護国際協力法」が成立	宮代　栄一	〃	6.22
壁画損傷甘い認識　文化庁、高松塚資料を公開		〃	6.29
高松塚問題　河合隼雄・文化庁長官に聞く　庁も責任／「石室解体」は維持	大脇　和明 今井　邦彦	〃	7.6
社説　高松塚壁画　白虎消失は人災だ		〃	9.18
世界遺産バーミヤンはいま　上、下	中村　俊介	〃	10.24、26
登録文化財6000件　マンホールも像の台座も　町の「お宝建築」多彩	新谷　祐一	〃	12.10
縦横コラム　今信長美術への貢献は天と地	田中　三蔵	朝日夕刊	1.6
高松塚古墳・作業日誌に記録　文化庁、抜本対策とらず	大脇　和明	〃	4.13
キトラ古墳壁画「白虎」公開　全村を体験型博物館に	今井　邦彦 中山　彰仁	〃	5.12
学のいま　芸術を社会で生かすアートマネジメント	星野　学	〃	7.20
高松塚古墳こっそり修復　職員、誤って損傷　文化庁４年間“隠蔽”	小田　博士	産経	4.13
高松塚古墳　石室解体前四面楚歌の文化庁	小畑　三秋	〃	5.29
社説　壁画の損傷　まだ隠しているのでは		東京	4.14
社説　盗作芸術選奨“情報不足”で済むのか		〃	6.9
社説　高松塚壁画　石室解体は白紙に戻せ		〃	6.23
所管財団「差別だ」　文化庁面目丸つぶれ　役職員の刀剣審査禁止	市川　隆太	〃	8.26
高松塚古墳　「石室解体」最後の一手か　人災？カビ被害　地元ショック「裏切られた気分だ」		〃	9.27
高松塚壁画の損傷未公表問題　渡辺座長辞任の意向　保存検討会		日経	4.17
社説　「高松塚」損ねる文化庁の過ち		〃	4.19
高松塚問題証言に「？」　損傷検証関係者ヒアリング		〃	6.4
高松塚壁画で調査委報告書案　縦割りの弊害指摘		〃	6.16
「高松塚」調査委報告　文化財保護抜本見直し　文科省、元幹部４人を処分		〃	6.20
高松塚古墳壁画保存　立て直し急ぐ　解体後の活用策も検討	松岡　資明 白木　緑	〃	6.24
常磐線沿線芸術で振興　周辺８自治体、芸大などと連携		〃	9.14
高松塚古墳特集　34年ぶり公開	竹内　義治	〃	9.16
ジャワ中部地震から半年　世界遺産修復進まず　ヒンズー教寺院群プランバナン	代慶　達也	〃	11.25
国際フォーラム「世界遺産と文化交流」	水野　正好 愛川フォール紀子 ジョバンニ・ボッカルディ	〃	12.2
高松塚壁画　作業中に損傷、公表せず　文化庁４年前にすでに修復		日経夕刊	4.12
正月特集２　世界遺産からのSOS　バーミヤン遺跡の今　アンコール遺跡群　危機遺産マップ	栗田　慎一、佐藤　岳幸 松浦晃一郎寄稿	毎日	1.1
世界遺産からのSOS　カンボジア・アンコール遺跡群　大気汚染招く観光客急増	佐藤　岳幸	〃	1.16
世界遺産登録に向け　地域の取り組み進む　歴史の深奥後世に残す	天野　典文 念佛　明奈 船津　健一 吉野　正浩 松井　圀夫	〃	2.22
高松塚劣化作業日誌　飛鳥美人汚すずさんな日々	佐々木泰造 百橋　明穂 白石太一郎、網干　善教談	〃	4.15
新聞時評　迫力あった高松塚壁画の劣化報道	上野　誠	〃	5.9

高松塚問題　調査委報告案　文化庁の体質批判	林　由紀子 大森　顕浩 栗原　俊雄	毎　　日	6.16
高松塚損傷非公表文化庁４人を処分河合長官ら「国民におわび」	林　由紀子 手塚さや香 佐々木泰造	〃	6.20
バーミヤン遺跡　新たな壁画発見　色鮮やかな千仏など	伊藤　和史	〃	7.26
「世界遺産」の現状を考える	古田　陽久 鎌田　道隆 宮川　　徙	〃	8.5
文化審議会　高松塚石室の解体承認	林　由紀子	〃	9.16
若手芸術家に創作の場　ワンダーサイト・レジデンス	北村　和巳	〃	11.8
国際シンポジウム　危機世界遺産をどう守るか	平山 郁夫、テオドール・B・バギラットJr.、クウオン・ワン・ニアイ、前田 耕作、はな、オマラ・カーン・マスーディ、サイードムラッド・ババムラーエフ 西村　幸夫 コーディネーター	〃	12.2
高松塚古墳　壁画損傷、隠ぺい　文化庁調査員ひそかに修復	栗原　俊雄	毎日夕刊	4.12
レバノン東部のローマ神殿遺跡　壁の一部が崩落　空爆との関連調査	高橋　宗男	〃	8.17
文化財保護の「神奈川問題」　自前の発掘調査組織の廃止表明　民間、市場原理になじむか	伊藤　和史	〃	9.4
バーミヤン保護「よいアイデア得られた」　アフガン文化担当副大臣京都・奈良を視察	岡本　公樹	読　　売	4.14
高松塚壁画　国の宝を守る役所がこれでは		〃	5.1
記者ノート　高松塚古墳壁画損傷の調査委発足　文化庁の対応厳しく検証を	片岡　正人	〃	5.5
高松塚劣化で法改正検討　縦割り行政解体　総合的保護へ	〃	〃	6.23
社説　文化遺産保護「人類の財産」の視点に立って		〃	7.30
唐草と聖獣　異教も融和？　バーミヤン壁画甦った文様	前田　耕作	〃	8.4
つばぜり合い　理事の刀剣審査に出せる？		〃	8.24
記者ノート　財団放出　発掘調査の“損質”	片岡　正人	〃	9.1
キトラの壁画はぎ取りに新兵器　文化庁石室解体回避へダイヤモンドカッター検討		〃	9.21
よみがえるバーミヤン２～５	片岡　正人	〃	10.20、11.3、10、17
芸術支援　運営は透明に	(中)	〃	11.12
八幡製鉄所・三井三池炭坑は“近代遺跡”「世界遺産」めざす九州		〃	11.17
観音さま　三宅帰島国の重文　来月上旬、５年半ぶりに		読売夕刊	1.31

美術教育

デザイン演習論１～ワン・ツー・ワン・デザイン演習～	渡邉　有一	秋田公立美術工芸短期大学紀要	11
石川県立美術館での児童・生徒を対象とした教育普及活動について　平成十六・十七年度　実践報告	西　ゆう子	石川県立美術館紀要	16
北斎の霞、セザンヌの布	金子　一夫	一　　寸	27
工作―モノづくりの転回	森　　仁史	〃	28
書の鑑賞教育プログラムⅡ―美術館と高等学校の連携プログラム(実践報告)	笠嶋　忠幸	出光美術館研究紀要	11
ミロのヴィーナス来校!!　大デッサン大会　in　ギャルリ・オーブ	杉浦　幸子	瓜生通信	35
京都国立近代美術館『ドイツ写真の現在』関連企画『uniformed museum　staffs』	斎田　千織	〃	36

利用者との「対話」を主とする新しいワークシートの試み　聖徳太子と国宝法隆寺展・家族プログラム『たんけん！はっけん！法隆寺!!』の取り組みから(報告)	鈴木　有紀	愛媛県美術館年報・研究紀要	5
指導要領からみる日本の美術・工芸教育	森　邦彦	大阪成蹊大学芸術学部紀要	2
教師のイメージ力活性化に関する「臨床教育学」的研究(1)—山本鼎の自由画教育論における〈語り〉のストラテジー—	鈴木　卓治	〃	〃
「戦時下における児童文化」について(その一一)—「東日小学生新聞」の「紙上作品展覧会」における位相と展開(一一)—	熊木　哲	大妻女子大学紀要	38
岡山市デジタルミュージアムの学校教育での活用	二宮　典子	岡山びと*	1
学びのユニバーサルデザイン　「視覚を超える芸術：学習への多面的アプローチ」会議に参加して	半田こずえ	Cultivate	27
「たいけんミュージアム」における体験学習の現状と課題—平成17年度開催記録から—	羽毛田智幸	川崎市市民ミュージアム紀要	18
特集　卒展2006！この時代からどこに向かうのか？　美大生たちの声　座談会卒展を迎えた美大生たちのいま		ギャラリー*	251
建築合同ワークショップの報告～建築系学生間の交流をとおして～	藤木　庸介 幸家　大郎 柏原　誉 山口　慶大	京都嵯峨芸術大学紀要	31
産学共同プロジェクトのカリキュラムへの試み	奈良平宣子	〃	〃
描画による児童理解と支援の試み	浪岡　美保 新山　博子 後藤　守 奥山　洌	釧路論集	38
変わる建築／デザイン教育		建築雑誌	
1　理解能力向上を目指した教育手法と地域対応教育　北海道工業大学建築学科	苫米地　司 谷口　尚弘		1541
1　新しいデザイン教育の先駆　九州大学芸術工学部環境設計学科／同大学院芸術工学府芸術工学専攻	大井　尚行	〃	
2　コミュニケーション能力開発型のデザイン教育　東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻／同大学工学部建築学科・大学院工学系研究科建築学専攻	大野　秀敏		1542
2　国際建築ワークショップ　東北大学、東北工業大学、宮城大学ほか	本江　正茂	〃	
3　現場で考え、地域と連携し、「人間の場所」をつくる力を育てたい　千葉大学工学部都市環境システム学科	北原　理雄		1545
3　実社会をフィールドとした建築教育の試み　北九州市立大学国際環境工学部空間デザイン学科	赤川　貴雄	〃	
4　アート・デザインによるプロデュース力と集産力の育成　筑波大学芸術専門学群・大学院芸術研究科	渡　和由		1546
4　研究室からまちへ出る「サイト・リノベーション」　昭和女子大学生活科学部生活環境学科	杉浦　久子	〃	
5　空間デザインの感覚を全てのデザイン学生に　女子美術大学芸術学部デザイン学科	横山　勝樹		1547
5　設計教育の現在　京都工芸繊維大学大学院工学科学研究科建築設計学専攻	岸　和郎	〃	
6　デザインの説得力を身につける　首都大学東京21世紀COEプログラム都市建築ストック賦活・更新研究センター　東京理科大学工学部建築学科大月敏雄研究室	西田　司		1548

6　未来をつくる学校　横浜国立大学／横浜建築学校	北山　恒		1548
7　デザインスクールの構築に向けたいくつかの試み　芝浦工業大学工学部建築工学科　同大学院建設工学専攻	八束はじめ		1549
7　現実の接点としてのフィールドワーク　日本女子大学家政学部住居学科	篠原　聡子		〃
8　現場での実践をとおして　東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科	竹内　昌義		1550
8　「現場」で鍛えるイマジネーション　東海大学大学院工学研究科建築学専攻	岩岡　竜夫		〃
9　模型だけの教育―CADもスケッチも禁止　武蔵工業大学工学部建築学科	手塚　貴晴		1551
9　大学校舎を具体的教材として利用した建築保存活用についての体験学習　大阪芸術大学芸術学部建築学科　環境デザイン学科	宮本　佳明		〃
10　「文系」の建築教育　愛知淑徳大学現代社会学部都市環境デザインコース	日色　真帆 清水　裕二		1552
10　抽象的思考とリアリティをつなぐ―ドミニク・ペロー・ワークショップ　大阪大学大学院工学研究科地域総合工学専攻建築工学コース	小浦　久子		〃
11　社会人特別選抜修士課程「木造建築コース」における木造教育　東京大学大学院農学生命科学研究科	稲山　正弘		1553
11　「森林へ行こう」という木造教育方法のexport―オーストラリアUNSWとの合同スタジオ　岐阜県立森林文化アカデミー	三澤　文子		〃
12　異分野協働のシミュレーションとしての卒業計画　早稲田大学理工学部建築学科	古谷　誠章		1554
12　JABEEからみた建築資格と教育　三重大学工学部建築学科	今井　正次		〃
美術鑑賞支援教材「アート・ゲーム・ボックス」の制作とその成果	平田　健生	滋賀県立近代美術館研究紀要	6
〈事例報告〉ミュージアム・スクール「ミュージアムでアート探し」の実践―歴史資料をとおした子どものための美術鑑賞教育の試みとして―	橋村　愛子	塵　界	17
平成18年度　東京芸大大学院映像研究科に「メディア映像専攻」を開設　産学共同、電通と協定書締結		新美術新聞	1077
第二特集　ダッチ・デザインの新潮流～DROOG以降のニュー・クリエーション！　デザイン・アカデミー・アイントフォーヴェン	編集部	STUDIO VOICE	371
[研究報告]認知症予防教室におけるアートセラピー―高齢者の生活と芸術療法の接点	伊集院清一 渡辺　達正 中山　隆右 保高　一仁 世一　安子	多摩美術大学研究紀要	20
第2特集　新しいデザインの授業　学校から始まる新しい授業　佐藤雅彦	大城　譲司	デザインの現場	150
教育現場における木材を活かしたデザインの基礎的研究　2005年6月～2006年5月の活動報告　リアリティー(実感)のあるデザイン教育の実践／九州・沖縄デザイン研修等から	鉄矢　悦朗 八重樫幾世子	東京学芸大学紀要	58
スペインの美術教育の現状Ⅱ―教科書にみる制度及び内容に関する研究(初等教育)―	藤井　康子 金子　亨	〃	〃
総合的な学習としての授業実践における考察	小林　貴史	東京造形大学研究報	7

日本とトルコで東西文化ほんもの体験プログラム連携事業 トルコの子どもたちに陶芸体験プログラムを通した国際交流	津屋結唱子	陶　説	637
現代備前―交差する世代と文化―ハーバード大学のセラミック・プログラムと備前展―	外舘　和子	〃	639
鑑賞のメカニズムと発達段階、鑑賞支援のあり方について―美術館と学校教育との連携の実践で考えてみたこと―	森　芳功	徳島県立近代美術館研究紀要	8
報告３：名古屋造形芸術大学の美術教育―創造の場、内容と目的―	日比野ルミ	名古屋造形芸大紀要*	12
巻頭エッセイ　ヴィジュアル・エデュケーション	岩城　見一	美術京都	37
特集　アートの授業！　表現＆制作～鑑賞＆マネージメント		美術手帖	874
オルタナティブ・スクールへ行こう！　BankART School	白坂　ゆり		
オルタナティブ・スクールへ行こう！　プレイスM	三橋　純		
オルタナティブ・スクールへ行こう！　現代美術センター・CCA北九州	遠藤　水城		
オルタナティブ・スクールへ行こう！　美学校	福住　廉		
美大が変わる？ 藤幡正樹×佐藤雅彦　東京芸術大学大学院映像研究科メディア映像専攻	楠見　清 聞き手		
美大が変わる？ 中沢新一　多摩美術大学芸術人類学研究所・芸術学科	石川　直樹 聞き手		
アートのプロデュースを勉強するには？　AIT　MAD「キュレーション・インテンシブ」	小澤　慶介 小沢　有子		
アートのプロデュースを勉強するには？　京都造形芸術大学芸術表現・アートプロデュース学科	中原沙代子		
アートのプロデュースを勉強するには？　文化政策学科のアート戦略	山下　里加		
もっとアートをわかちあいたい！〈子どものアトリエ〉にようこそ！	小出　彩子		
もっとアートをわかちあいたい！ アートナビゲーターに挑戦！	美術出版社アートナビゲーター事務局		
もっとアートをわかちあいたい！ 大人と子どものエデュケーション・スポット案内	小沢　有子 奥村　雅樹		
特集　マンガは芸術(アート)か？　進化するマンガ表現のゆくえ　大学でマンガを教えるということ―京都精華大学　竹宮惠子	酒井　千穂	〃	876
子どもと美術		〃	
8　JAZZ　MAN ジャズマン　ボディ＆ソウル！　ミュージシャンになりきって楽しむ	柘植　響		874
9　色と形のシンフォニー　身体で感受する色や形のリズム	〃		876
10　ムナーリさんの「アートとあそぼう！」出会い、遊び、体験する	〃		877
11　花園百景　この町だいすき　子どもの絵がつなぐ人と町	〃		878
12　ありがとう図工室　一枚の板から　６年生の卒業制作	〃		880
13　ココロのマド 自分の心を見つめる時間	〃		882
14　「子ども」と「美術」の未来について考える	〃		883
15　石づくり工房 本物そっくりの石をつくってだます!?	斉藤　博美		885

16　人生劇場　人生は出会いである！	柘植　響		886
17　はじめまして図工室　おえかきダンボール	〃		887
18　ヒーローマスク　石膏像を型取りして彩色する	斉藤　博美		888
19　色と形で構成しよう　自分の世界を表現する	柘植　響		889
芸術系大学の未来形—芸術と工学の融合を目指す東京工芸大学		美術手帖	885
アン・グラハムが小学校で図工の授業	白坂　ゆり	〃	887
がんばれ！図工の時間フォーラム	谷口　幹也	〃	889
仲介の感性論		美術フォーラム21	13
世界におけるヴィジュアル・エデュケーション	岩城　見一		
1　明治図画教育覚え書き	中村　隆文		
2　「美　労」から「芸術与人文」へ—台湾における美術の初等教育	李　淑珠		
3　イギリスの視覚教育	ジェラルド・シブリアーニ、モニカ・キーティング　杉山　卓史訳		
4　フィンランドにおける視覚美術教育	ソニア・サーヴォマー、マーティナ・パーテラ＝ニーミネン　花澤　志　訳		
5　スロヴェニアにおける視覚教育	アレシェ・エリヤヴィツ、エルネスト・ジェンコ　高橋　千晶訳		
仲介の感性論		〃	14
世界におけるヴィジュアル・エデュケーション　その2	岩城　見一		
アメリカの視覚美術教育論	カーティス・L・レーター　中川　克志訳		
トルコの視覚(ヴィジュアル)教育—共和国時代、そして現代において	ジェール・N・エルツィン　中村　史子訳		
ギリシアにおけるヴィジュアル・エデュケーション	ディオニシウス・A・ジバス　中間　志織訳		
中国における普通高校の美術教科書編集の新思考—広東省の例を中心に	皮　道坚、吳　文星　黄　龍求訳		
いま、教育普及は—1　ビジュアル・シンキングとビジュアル・リテラシー	成相　肇	府中市美術館だより	18
小学校図画工作科における造形遊びの位置	西村　隆司	仏教大学教育学部論集	17
デザイン教育に新たなデジタル表現手法の提案	梅本　良作　川島　奈々	文化と芸術	4
日本・中国・台湾・韓国美術大学学生の色彩認知と色彩感情に関する交差文化的研究	千々岩英彰　森江　健二　王　超鷹　宋　璽徳　崔　貞伊　多賀いずみ　白石　学	武蔵野美術大学研究紀要	36
特集　マンガ批評の最前線　まんが表現行為について　まんが教育の立場から	ササキバラゴウ	ユリイカ	515
特集【授業が生きる博物館学習】		歴史地理教育	695
「参加する博物館」—内外の博物館教育から	小島　道裕		
高校「総合」における博学連携の試み—その理念・実践・展望	會田　康範　藤實久美子		
博物館における学習とその評価をめぐって	竹内　有理		
小学校六年　小学校の教室と博物館をつなぐ—歴博ホームページ「江戸図屏風」から朝鮮通信使の学習へ—	木村　誠		
博学連携の構築のために—本誌六九五号の事例に関する補足説明—	會田　康範　藤實久美子	〃	705

子どもの目　博物館と子ども	渡辺　明	〃	706
多摩美大に芸術人類学研　野生の感覚生かせ		朝　日	4.25
就職力　東北芸術工科大　美術史・文化財保存修復学科　実践重ね知識・技術磨く	長沢美津子	朝日夕刊	6.20
芸術人類学研を創設多摩美大		東京夕刊	4.15
商品開発に学生の感性　日大・多摩美・武蔵美、中小と組む		日　経	3.4
横浜のMM21に東京芸大が新拠点　映像関連で		〃	4.13
小中学校、美術館と連携強化	宝玉　正彦	〃	10.21
フォーカス　マンガ学で考える力養う　京都精華大学学長中尾ハジメ氏		日経夕刊	3.9
筑波大大学院が世界で初　保存・保護博士を養成へ	川俣　享子	毎　日	2.22
芸術人類学とは何か？　中沢新一所長「野性を再び」	手塚さや香	毎日夕刊	4.14
上智大　カンボジアの文化遺産教育強化		読　売	6.9

古　美　術

絵　画

東アジア

東アジアにおける釈迦誕生図像の変遷とその影響—13～16世紀を中心として—	松田　妙子	鹿島美術財団年報別冊	23
風俗表現における図様の伝統と創造—東アジア風俗画資料の作例から—	金　貞我	人類文化研究のための非文字資料*	3

中　国

壁画主題から見たキジル第118窟の性格	井上　豪	秋田公立美術工芸短期大学紀要	11
敦煌仏画の彩色法	真鍋　俊照	印度学仏教学研究	110
観ることから読むことへ—女史箴図巻の場合—	中村　興二	大阪成蹊大学芸術学部紀要	2
西夏時代敦煌の水月観音図研究	瀧　朝子	鹿島美術財団年報別冊	23
ギメ東洋美術館所蔵『五台山文殊菩薩化現図』について	張　南南	京都美学美術史学	5
中間評価論文梗概 徐渭の書画編年についての一考察—自用印を材料として—	荒井　雄三	芸術学研究（筑波）	10
特輯　五代・北宋の絵画		国　華	1329
「五代・北宋の絵画」特輯に当たって	小川　裕充		
五代・北宋の絵画—伝統中国の歴史的・文化的アイデンティティーの淵源	〃		
仁和寺蔵　孔雀明王像	増記　隆介		
清涼寺蔵　大迦葉図	井手誠之輔		
黒川古文化研究所蔵　伝董源筆　寒林重汀図	竹浪　遠		
澄懐堂美術館蔵　伝李成筆　喬松平遠図	藤田　伸也		
台北・国立故宮博物院蔵　范寛筆　谿山行旅図	救仁郷秀明		
台北・国立故宮博物院蔵　燕文貴筆　渓山楼観図	小川　裕充		
大阪市立美術館蔵　胡舜臣筆　送郝玄明使秦図巻	板倉　聖哲		
台北・国立故宮博物院蔵　崔白筆　双喜図	宮崎　法子		
台北・国立故宮博物院蔵　枇杷猿戯図	河野　道房		
景教聖像の可能性—栖雲寺蔵伝虚空蔵菩薩画像について—	泉　武夫	〃	1330
唐代の樹石画について—松石図を中心に—（上）	竹浪　遠	古文化研究	5
中国巧芸散記（24）八大山人書画の真贋	蘭花堂主人	書道界	194
アジア図像探検	杉原たく哉	〃	
（24）羽人と羽民			〃
（25）「食われても」の覚悟			195
（26）桑から生まれた子供			196
（27）虎に育てられた人間			197
（28）河伯と浦島太郎			198
（29）許されて恥を知る			199
（30）～（33）「義」に生きる男たち（1）～（4）			200～203
（34）古代中国のエドモン・ダンテス			204
（35）孝養の光景（1）			205
形神論～『中国画論輯要』より抜粋～	周積寅 編 遠藤　光一 訳	水墨芸術研究	1
書論の広場　徐渭書画の自用印について	荒井　雄三	墨	180
北京四合院の門における壁画調査について	土屋　昌義	東京学芸大学紀要	58
特集陳列「平成17年度新収品」雪中花鳥図	湊　信幸	東京国立博物館ニュース	677
姜紹書と王越石—『韻石斎筆談』に見る明末清初の芸術市場と徽州商人の活動—	井上　充幸	東洋史研究	64-4

平成十七年度支部例会研究発表要旨　敦煌莫高窟壁画の水月観音図における場面表現	瀧　朝子	美術史	160
第五十九回全国大会研究発表要旨　中国山水画の内と外	宮崎　法子	〃	161
南宋・(伝)李唐「坐石看雲図冊頁」(台北・故宮博物院)の史的位置	板倉　聖哲	美術史論叢	22
明清絵画史研究における重要課題——個人の回顧と展望	石　守謙 板倉　聖哲、玉川　潤子訳	〃	〃
特集　入門★中国美術		美術手帖	887
若冲、雪舟はすごい！中国絵画はもっとすごい!?	山下　裕二 板倉　聖哲		
大衆のための多色摺り版画「中国年画」　その歴史と東アジアとの交流	田所　政江		
敦煌仏爺廟湾西晋画像磚墓および敦煌莫高窟における漢代の伝統的なモチーフについて	北村　永	仏教芸術	285
敦煌西晋墓出土の墨書題記画像磚をめぐる考察	殷　光明 北村　永　訳	〃	〃
朗世寧筆「魚藻図」(台湾・故宮博物院収蔵)について	王　凱	武蔵野美術大学研究紀要	36
頂相瑣談—造形主体をめぐって—	海老根聰郎	大和文華	115
「明皇幸蜀図」(大和文華館)の図様と描法について—故宮博物院本との比較を中心に—	竹浪　遠	〃	116
日　本			
巻頭特集　若冲の衝撃波		アートトップ	210
年譜　若冲の京都ライフ85年			
若冲を読み解く七つの入口	佐藤　康宏		
若冲と出合う			
巻頭特集　自由人浦上玉堂		〃	211
浦上玉堂の生涯1　四十九歳の転機	守安　收		
ゴッホもセザンヌも真っ青!? 玉堂の“前衛”はここがスゴイ	小林　忠、MAYA MAXX対談		
浦上玉堂の生涯2　琴を携えて諸国遊歴	守安　收		
浦上玉堂年譜			
巻頭特集　眼のちから　目利きという創造		〃	212
本阿弥光悦と俵屋宗達	編　集　部		
蔦屋重三郎と東洲斎写楽	小林　忠　談		
雪舟　国宝「山水長巻」と遊ぶ	島尾　新 解説	〃	〃
日本画における秘伝として伝承されてきた墨と胡粉	原田千夏子	愛知県立芸術大学紀要	35
資料紹介『足栗毛』	石井　志徳	秋田県立博物館研究報告	31
秋田の美術によせて一	河野　元昭	秋田美術	42
大坂画壇と清代の中国絵画—沈南蘋と葛蛇玉を中心にして—	中谷　伸生	アジア文化交流研究	1
幻の金屏風	王　思穎	アジア遊学	88
特集　漢籍と日本人		〃	93
鎌倉・室町　源氏物語注釈書に見える中国古典	岩坪　健		
江戸　木村蒹葭堂なにわの大コレクター	高津　孝		
清拙正澄の頂相について	織田　顕行	飯田市美術博物館研究紀要	16
江戸期銅版年表　銅・石版画遺聞23	森　登	一　寸	27
研究余録　一九三九年、ベルリンの浮世絵	内藤　正人	出光美術館館報	135
文人書画鑑賞	宗像　晋作	〃	
1　青木木米について(上)			〃
2　青木木米について(下)—「急須画賛」の紹介—			136
表紙図版解説　古器観図帖(部分)	〃	〃	〃
表紙図版解説　伴大納言絵巻　下巻(部分)　国宝	黒田　泰三	〃	137
狩野長信の画業について	〃	出光美術館研究紀要	11

春章と北斎—北斎が師から学んだもの	内藤　正人	出光美術館研究紀要	11
仙厓筆「トド画賛」考—仙厓の動物画と博物学趣味	八波　浩一	〃	〃
江戸後期日本文人画における明清画受容の一側面—三面石について	宗像　晋作	〃	〃
特集「旅」		浮世絵芸術	151
浮世絵と女旅日記 女の旅日記による浮世絵の絵解きの試み	柴　桂子		
浮世絵に見る『東海道中膝栗毛』滑稽の旅	康　志賢		
歌舞伎役者と旅『手前味噌』を中心に	池山　晃		
浮世絵随談	新藤　茂	〃	
怪談深川洲崎十万坪			〃
其のまゝ地口　猫飼好五十三疋			152
作品解説　一養亭芳瀧「片岡我童」	北川　博子	〃	151
作品解説　旅姿の七代目団十郎	新藤　茂	〃	〃
作品解説　葛飾応為「吉原格子先夜景之図」（仮題）	清水　久男	〃	〃
第七回　国際浮世絵学会大会発表報告 ワーグマンとベアトによる幕末画像資料と錦絵新聞	ヒロコ・ジョンソン 植田彩芳子訳	〃	〃
特集「犬と猫と」		〃	152
浮世絵の「八犬伝」	服部　仁		
化け猫、海を渡る	横山　泰子		
歌川国芳画『朧月猫草紙』と猫図	津田　眞弓		
蚕織錦絵にみられる猫	伊藤　克枝		
資料紹介　甲州日記写生帳の発見について	市川　信也	〃	〃
作品解説　一筆斎文調画「初代中村野塩の女三の宮」、「二代目山下金作の女三の宮侍女むつ花」	大江　令子	〃	〃
作品解説　歌川国芳画「猫のすゞみ」	藤澤　茜	〃	〃
作品解説　初代歌川豊国「七代目市川団十郎の山樵斧右衛門」	新藤　茂	〃	〃
技術紹介　木版における合羽摺り技法①	竹中　健司	〃	〃
第十回国際浮世絵大会		〃	〃
基調講演報告「女形の身体を描く—肉体表現と流光斎—」	C. アンドリュー・ガーストル		
特別講演講演録　歌麿と『絵本太閤記』	ジュリー・ネルソン・デイヴィス		
『地獄草紙』の天台	渡邊　守順	叡山学院研究紀要	28
特集　熊野観心十界曼荼羅を読み解く		絵解き研究	20・21
フォーラム絵解きの世界『熊野観心十界曼荼羅を読み解く—生と死を結ぶもの—』概略	鷹巣　純		
熊野比丘尼を絵解く文字説く—備前国下笠加の熊野比丘尼たち—	根井　浄		
地方に残る熊野観心十界曼荼羅—三重県の作例から—	瀧川　和也		
持ち歩かれた説教用絵画—武久家に伝来した熊野比丘尼資料—	小栗栖健治		
熊野系「浄土双六」論序説	〃		
熊野観心十界図の表現技法と表現解釈—相同・相違を視座として—	高橋　平明		
賽の河原の口寄せのミコ	水谷　類		
近松浄瑠璃『主馬判官盛久』に描かれた熊野比丘尼の絵解き	細川久美子		
巻子本「熊野観心十界図」絵解き—表紙によせて—	林　雅彦		
天野方壺印章についての覚書—角田家旧蔵品を中心に—	梶岡　秀一	愛媛県美術館年報・研究紀要	5
錦絵に描かれたアットゥシ—大坂へもたらされたアイヌ風俗—	中野　朋子	大阪歴史博物館研究紀要	5

史料紹介　十河節堂『展観録』について（一）	岩佐　伸一	〃	〃
アイヌ風俗画画稿の研究―林家旧蔵のアイヌ風俗画画稿の分析―	石川　直章	小樽市博物館紀要	19
笠置寺磨崖線刻菩薩像の制作時期をめぐって	泉　武夫	学　叢	28
「見立て絵」の記号論的研究	馬渕　美帆	鹿島美術財団年報別冊	23
「天稚彦草子」研究―初期長文系諸本の図様の展開過程―	大月　千冬	〃	〃
大宋屏風研究―宮中儀式に用いられた屏風の制作と使用・画題の分析―	吉田さち子	〃	〃
十七世紀日本絵画における中国像―狩野山雪「藤原惺窩閑居図」（根津美術館）を例に―	板倉　聖哲	〃	〃
池玉瀾研究―柳陰呼舟の図様を中心に―	濱住　真有	〃	〃
狩野探幽「富士山図」における左右非対称・稜線の長い構図の成立	樋口　一貴	〃	〃
菅公イメージの変容と系譜―京都・常照皇寺伝来の北野天神縁起絵巻について―	鈴木　幸人	〃	〃
中世における不動明王画像の展開―倶利伽羅龍剣をめぐって―	山口　直子	〃	〃
「応徳涅槃図」試論―陰陽道と星辰信仰をめぐる二重のイメージ―	シュワルツ―アレナレス・ロール	〃	〃
足利学校本　柿本人麿像について	大澤　慶子	学　校*	6
史料紹介「内山友山懐徳」関係史料	菊池　卓 大澤　慶子	〃	〃
資料紹介　總持寺所蔵の中世絵画―春日社寺曼荼羅と役行者像―	梅沢　恵	神奈川県立博物館研究報告	32
資料紹介　ペリー来航絵巻について（二）	嶋村　元宏	〃	〃
奥会津地方の職人巻物―書承と口承の交錯　巻物の話―その印象・扱い・機能に関する民俗学的考察―	小池　淳一	神大常民文化研調査報告*	20
東アジアの本草学と博物学の美術史的一考察（上）―大口金谷編「爾雅釈草図」（関西大学図書館蔵）について―	中谷　伸生	関西大学東西学術研究所紀要	39
収蔵資料紹介『敵討高砂松』と『南詠恋秋書』―中芝居の上演台帳―	青木　繁	館報池田文庫	28
新収資料紹介　北洲の役者絵、五点	荻田　清	〃	〃
恵心院本仏画粉本と南都絵所芝座	松尾　芳樹	京都市立芸術大学芸術資料館年報	15
自戒する蛇身―道成寺縁起のゆくえ	堤　邦彦	京都精華大学紀要	30
「マリア十五玄義図」について	岩崎奈緒子	京都大学総合博物館ニュースレター	21
浮世絵「浄瑠璃づくし」をめぐって―江戸庶民に向けられたその“魅力”は何か	中村　聖司	Hokkaido Art Mus. Studies*	2006
天神信仰と先哲―近衛龍山（前久）―	真壁　俊信	ぐんしょ*	72
慶福院花屋玉栄考	ゲイ・ローリー	〃	〃
仁和寺蔵僧形八幡神影向図小考―神との密約―	萩原　裕貴	芸術学研究（京都造形）	1
my favorite things 企画者にも選ばせろ！「人麿を神と崇めたことから、多種多様なイメージが生まれました」柿本人麿像	笠嶋　忠幸	芸術新潮	673
art news　長大画巻でしのぶ日本橋黄金時代		〃	〃
art news　亜欧堂田善の洋風画プロジェクト	金子　信久 解説	〃	675
my favorite things 企画者にも選ばせろ！「俳諧一枚摺は、生き方上手、楽しみ上手の文化のあらわれでした」月居春興　南岳画乞食図	瀬川　照子	〃	677
特集　芭蕉から蕪村へ　俳画は遊ぶ		〃	678
解説	雲英　末雄		
コラム　もうひとつの俳画「俳諧一枚摺」の魅力	伊藤　善隆		
対談　俳画今昔	坪内　稔典 雲英　末雄		

my favorite things 企画者にも選ばせろ！「殿様は暇だから、好きな絵を存分に描けたんです」伊達吉村　六所玉河和歌御手鑑	安村　敏信	芸術新潮	681
特集　七つの謎でめぐる飛鳥　謎の六　終末期古墳は「縮みの文化」？	今尾　文昭　解説	〃	〃
my favorite things 企画者にも選ばせろ！「玉堂は絵に墨がこぼれても気にしない」浦上玉堂　山澗読易図	守安　收	〃	682
道明寺天満宮所蔵「天神之縁起」の寄進者と寄進の背景	加藤　耀子	芸術文化研究	10
亜欧堂田善鐫「コロンブス謁見図」をめぐって	勝盛　典子	神戸市立博物館研究紀要	22
国学者の絵画論	南　啓治	国学院雑誌	1195
草双紙の読者—表象としての読書する女性—	板坂　則子	国語と国文学	990
『正本製』三編をめぐって	佐藤　悟	〃	〃
復元模写から読み解く「源氏物語絵巻」と『源氏物語』—「夕霧」「御法」「東屋(二)」を中心に—	河添　房江	〃	991
特集　説話・物語の異空間		国文学解釈と鑑賞	900
中世・近世の異空間　「龍宮」という名の異郷とそのイメージ—御伽草子『浦島太郎』における異郷表現の変遷	林　晃平		
中世・近世の異空間　大江山—『酒呑童子』	石川　透		
特集　続・人はなぜ旅に出るのか　近世文学に見る		〃	903
弥次・喜多と行く旅—江戸の旅文化の成熟	石井　正己		
東海道五十三次と浮世絵	永田　生慈		
特集　古典文学の女人像		〃	907
作中の女性たち　女性の「鬼」変身の象徴性—お伽草子『かなわ』・『いそざき』の場合	李　鎔美		
男を夢中にさせた女たち　西鶴「好色物」の女人像	水谷　隆之		
男を夢中にさせた女たち　西川祐信の描いた春画の女	白倉　敬彦		
熊野比丘尼の聖と俗	林　雅彦		
国立国会図書館蔵『木やり大全』について	中島　次郎	国文学研究資料館紀要	32
酒井抱一『軽挙館句藻』・『屠龍之技』をめぐる諸問題	井田　太郎	〃	〃
忠臣蔵物の錦絵と泉岳寺	大久保純一	国立歴史民俗博物館研究報告	125
しぐれ絵巻	佐野みどり	国　華	1323
曽我蕭白筆　調馬図	辻　惟雄	〃	〃
渡辺崋山筆　田園雑興・三月図・五月図	小林　忠	〃	〃
特輯　香雪美術館		〃	1324
長沢芦雪筆　山家寒月図	松島　仁		
曽我蕭白筆　鷹図	辻　惟雄		
松村景文筆　箭竹図	河野　元昭		
喜多川歌麿筆　月見の母と娘	小林　忠		
特輯　新出逸品　第五輯		〃	1325
岸駒筆　龍虎図屏風	水尾比呂志		
稚児大師画像	関口　正之		
池大雅筆　白隠慧鶴賛　葛の葉図	辻　惟雄		
遊里風俗図屏風	小林　忠		
俵屋宗達筆　伊勢物語図色紙	河野　元昭		
祥啓筆　鍾馗騎虎図	島尾　新		
研究資料　狩野探幽筆笛吹地蔵像の図像	錦織　亮介	〃	〃
道明寺天満宮蔵「北野天神縁起絵扇面貼交屏風」の特質—モチーフ絵画化の観点から—	山本　五月	〃	1327
法華経絵—旧宇佐神宮第三殿神輿障子絵—	関口　正之	〃	〃
池大雅筆　墨竹図屏風	小林　優子	〃	〃

研究資料　狩野永納筆　泉涌寺図と東山記	パトリシア・グラハム　松島 仁 訳	〃	1327
研究資料　東山泉涌寺と黄檗高泉性激	大槻　幹郎	〃	〃
「山雪」印　住吉社頭・須磨明石図屏風	北野　良枝	〃	1330
岡本秋暉筆　蝶に孔雀図	郡司亜也子	〃	〃
特輯　洛外図		〃	1331
洛外図特輯に当って	佐野みどり		
狩野永徳筆　洛外名所遊楽図屏風（宇治川・大堰川）	狩野　博幸		
洛外名所図屏風	宮島　新一		
「東山名所図屏風」について	上野　友愛		
随論　六日のあやめ	丸谷　才一		
与謝蕪村筆　山水図屏風	河野　元昭	〃	1332
円山応挙筆　梅林雪暁図	山本ゆかり	〃	〃
特輯　石橋コレクション　古美術篇		〃	1333
雪舟筆　四季山水図	島尾　新		
宗達派　保元平治物語絵扇面	河野　元昭		
円山応挙筆　牡丹孔雀図屏風	平間　理香		
狩野典信筆　墨松墨梅図屏風	小林　法子		
木米筆　秋渓渡橋図	小林　忠		
池田弧邨筆　青楓朱楓図屏風	平間　理香		
特輯　金刀比羅宮の絵画		〃	1334
「金刀比羅宮の絵画」特輯に当って	島尾　新		
金刀比羅宮の信仰と絵画	伊藤　大輔		
狩野探幽筆　山水図屏風	〃		
伊藤若冲筆　花丸図障壁画	辻　惟雄		
長沢芦雪筆　鯉図	小林　忠		
円山応挙筆　瀑布古松図床壁貼付	近藤　壮		
冷泉為恭筆　天井龍図	松島　仁		
釈迦三尊十六羅漢図	関口　正之		
逸品紹介　久隅守景筆　西湖・金山寺図屏風	松島　仁	国華清話会会報	7
写楽・役者絵・芸―渡辺保氏聞き書き―	小林　忠　聞き手　天羽　直之　構成	〃	8
逸品紹介　伝尾形光琳筆　白楽天図屏風	松嶋　雅人	〃	〃
逸品紹介　伊藤若冲筆　三十六歌仙図押絵貼屏風	松島　仁	〃	〃
鑑賞の勘どころ（一）―水墨画―	島尾　新	〃	〃
池大雅の作画と文人性	杉本　欣久	古文化研究	5
個人蔵「蛤合かるた屏風」をめぐって	松田　珠美	斎宮歴史博物館研究紀要	15
妻沼能護寺縁起と格天井絵画と板碑	大山　雄三	埼玉史談	285
狩野派の画家　高橋新川	佐藤　繁	〃	287
寄託作品紹介《椿図屏風》について	松尾　知子	採　蓮*	9
資料紹介　大砲鋳造絵巻	本多　美穂	佐賀県立佐賀城本丸歴史館研究紀要	1
「動植綵絵」の修理を終えて―伊藤若冲の絹本着色画	辻　惟雄　小林　忠	三の丸尚蔵館年報・紀要	11
若冲、描写の妙技―「動植綵絵」、および「旭日鳳凰図」の修理を終えて	太田　彩	〃	〃
禅林寺所蔵当麻曼荼羅の由来譚とその周辺―『月庵酔醒記』所収説話に於ける「肥後」の地をめぐって―	日沖　敦子	寺院史研究	10
柴田勝家画像模写事業報告	髙木　叙子	滋賀県立安土城考古博物館紀要	14
記念講演「日本近世絵画について」	佐々木丞平　佐々木正子	史迹と美術	764
新出東寺蔵『〔七天狗絵詞抜書（外題「延暦園城東寺三箇寺由来」）〕』一巻をめぐる二、三の問題	牧野　和夫	実践国文学	69
十四行本『一休はなし』について	渡辺　守邦	〃	〃

『草双紙年代記』考—上巻部分を中心として—	松原　哲子	実践国文学	69
カラー図版解説　武内小鸞　唐美人図	仲町　啓子	実践女子学園香雪記念資料館館報	3
「義湘絵」について	古賀　康子	実践女子大学美学美術史学	20
芥子園画伝の和刻をめぐって	仲町　啓子	実践女子大学文芸資料研究所年報	別冊10
グラビア解説　地蔵菩薩来迎図	谷口　耕生	聖　徳	188
失われた法隆寺壁画の再現研究(三)～(五)	松田　真平	〃	188～190
竹尺に刻まれた聖徳太子絵伝	小松　光江	〃	189
熊野曼荼羅の構図とその配置について—本地仏・垂迹神を中心に—	吉田　麻里	女子美術大学研究紀要	36
海外紹介２　大英博物館 “KABUKI HEROES on the Osaka stage,1780-1830”(大坂歌舞伎のヒーローたち)展をめぐって	林　久美子	女性歴史文化研究所紀要	14
瘦蘭斎楽事異聞(22)指ヶ谷残夢	坂田　進一	書道界	195
『弁慶物語』諸本についての一考察—写本類を中心に—	田代　圭一	書陵部紀要	57
九条幸家と京狩野家	五十嵐公一	塵　界	17
資料紹介　兵庫県立歴史博物館所蔵の一巻本「福富草子」	橋村　愛子	〃	〃
からくりと能(二)—『三笠山春日龍神』を中心に—	山田　和人	人文学	179
『模地数理』に描かれた松前—長春丸・女商人・馬—	菊池　勇夫	人類文化研究のための非文字資料*	3
江戸中期・京都の狩野派における絵画学習 — 雲鯨「学画巻」(画道秘録)の紹介をとおして—	野口　剛	朱　雀	18
研究ノート　京都文化博物館所蔵「誓願寺門前図」の概要	大塚　活美 洲鎌佐智子 野口　剛	〃	〃
広重の名所絵における背景モチーフの描法(上)(下)	堀内　圭子	成城文芸	195、196
資料紹介　文化三年御屏風本帳附渡帳	樋口　智之 齋藤　潤	仙台市博物館調査研究報告	26
中間報告　アジアの死生観研究—仏教儀礼と基層信仰—水陸会	清水　浩子	大正大学綜合仏教研究所年報	28
重要文化財「一掃百態図」の渡辺崋山風俗画における位置付け	鈴木　利昌	田原市博物館研究紀要	1
夭折の天才画家　椿華谷	増山　禎之	〃	〃
渥美郷土資料館所蔵『漂民聞書』について—永久丸の漂流とその漂流者たち—	天野　敏規	〃	〃
渡辺崋山の漢詩について	磯部奈三子	〃	〃
特集　桜のころに　桜の意匠—多様なメディアに顕現する生命と美	玉蟲　敏子	淡　交	737
実践と基礎知識　絵のあそび書の楽しみ	笠嶋　忠幸	〃	
「上畳本三十六歌仙絵」			〃
歌川広重筆「狂筆蝙壽の姿見」			738
尾形光琳筆「鵜舟図」			739
俵屋宗達筆「伊勢物語図色紙」			740
尾形乾山筆「茄子図」			741
雪村周継筆「潭底月図」			742
白隠慧鶴筆「布袋和尚図」			744
仙厓義梵筆「菊画賛」			745
小林一茶筆俳画扇面「うまさふな」			746
実践と基礎知識　きものの系譜[トータルファッション]	馬場　まみ	〃	745
特集　没後三百五十年　金森宗和を偲ぶ　金森宗和の肖像画	谷　晃	〃	746
聖なる山と巡礼　美術史的観点から見た日本における聖地、巡礼のあり方	守屋　正彦	筑波大学芸術年報	2005
住吉具慶の徒然草図制作について—斎宮歴史博物館蔵「徒然草図下絵」を中心に—	下原　美保	デアルテ	22

王権と恋、その物語と絵画―〈源氏将軍〉徳川家と『源氏物語』をめぐる政治学	松島　仁	哲学会誌	30
正法寺所蔵「仏涅槃図」の制作とその周辺―北畠氏、醍醐寺、金剛王院実助、宅磨派―	藤元　裕二	〃	〃
円山応挙研究―特に「登竜門図」を中心に―	宇都木恵美	〃	〃
熊野那智参詣曼荼羅と本願寺院	大高　康正	帝塚山芸術文化	13
江戸時代のストリート・ファニチュアを探る―２つの屏風絵にみる―	辻川ひとみ	帝塚山大学現代生活学部紀要	2
雪舟研究会十周年にあたって	島尾　新	天開図画	6
『島隠漁唱』に読む桂庵玄樹の動向と雪舟(前編)	渡邊　雄二	〃	〃
雪舟入明補遺―シンポジウム報告と「破墨山水図」のこと―	綿田　稔	〃	〃
『竹生島縁起』の天台	渡邊　守順	天台学報	48
特集　グラウンディング　地図を描く身体　歌川広重　名所江戸百景に見る江戸―東京の地形	元永　二朗	10＋1*	42
特集　都市景観スタディ　いまなにが問題なのか？　キーワード　名所	木下　剛	〃	43
天台宗開宗一二〇〇年記念　特別展　最澄と天台の国宝		東京国立博物館ニュース	675
国宝　最澄像(聖徳太子及び天台高僧像のうち)	行徳真一郎		
国宝　六道絵	沖松健次郎		
特集陳列　狩野一信の五百羅漢図―幕末の怪しき仏画―	松嶋　雅人	〃	〃
平常展見どころ案内 2006年２月・３月 国宝　地獄草紙	沖松健次郎	〃	〃
重要文化財　風神雷神図屏風　尾形光琳筆	松嶋　雅人	〃	676
平常展見どころ案内 2006年４月・５月 国宝　伝藤原光能像	沖松健次郎	〃	〃
特集陳列「平成17年度新収品」		〃	677
長恨歌図屏風	松嶋　雅人		
重文　山中結廬図 浦上玉堂筆	松原　茂		
特別展　プライスコレクション「若冲と江戸絵画」展		〃	678
鳥獣花木図屏風 伊藤若冲筆	田沢　裕賀		
猛虎図　伊藤若冲筆	〃		
柳に白鷺図屏風 鈴木其一筆	松嶋　雅人		
雪中松に兎・梅に鴉図屏風　葛蛇玉筆	〃		
白象黒牛図屏風 長沢芦雪筆	松原　茂		
雪中美人図　磯田湖龍斎筆	小野真由美		
新たな国民のたから―文化庁購入文化財展―紙本著色西行法師行状絵詞(巻第三断簡)		〃	〃
平常展見どころ案内 2006年８月・９月 重文　夏秋草図屏風 酒井抱一筆	松原　茂	〃	〃
中世僧侶肖像の研究―袈裟に関する問題を中心に―	浅見　龍介	東京国立博物館紀要	41
史料紹介　「藤谷家歴代当主等肖像画」について	松澤　克行	東京大学史料編纂所研究紀要	16
史料研究と紹介　失われた土佐光信書状	末柄　豊	東大画像史料解析センター通信*	35
酒田市安祥寺蔵の十字名号	小山　正文	同朋大学仏教文化研究所紀要	25
「東本願寺寛政度再建絵伝」とその背景	青木　馨	〃	〃
木曽谷東野阿弥陀堂初期真宗本尊に関する考察―如信・覚如の描かれた和朝先徳連坐影像と常陸国真壁郡との関係―	祢津　宗伸	〃	〃
研究所調査記録　秋田調査記録		〃	〃
『花濺涙帖』と『清風集』―江戸時代後期絵画史資料二点	山田　烈	東北芸術工科大学紀要	13
日光山輪王寺蔵　板絵勝道上人像について	本田　論	栃木県立博物館研究紀要	23

口絵　四季農耕図屏風	酒井　健次	長野県立歴史館研究紀要	12
資料紹介　長野県立歴史館所蔵の「四季農耕図屏風」	〃	〃	〃
源氏物語絵巻の特性―複数視点画面構成法の特性から見る４グループの絵画制作の考え方の違い（１）―	池田　洋子	名古屋造形芸大紀要*	12
口絵　鋳銅刻画蔵王権現像	伊東　哲夫	日本歴史	693
研究余録　『春日権現記絵』の奉納をめぐって	末柄　豊	〃	695
口絵　国宝紺綾地金銀泥両界曼荼羅（子島曼荼羅）復原模写　胎蔵界	谷口　耕生	〃	698
研究余録『蒙古襲来（竹崎季長）絵詞』の再検討―海東郷地頭職を得たのはいつか―	服部　英雄	〃	〃
特集　日本史の論点・争点		〃	700
伝・源頼朝像論―肖像画と像主比定をめぐって―	佐多　芳彦		
上杉本洛中洛外図屏風―景観・制作をめぐって―	阿部　哲人		
狩野永納筆〈十二ヶ月歌意図屏風〉について―画域の拡大による新規需要への対応―	多田羅多起子	美　学	225
例会・研究発表会要旨　西部会　第二五八回研究発表会　近世初期京の絵師と唐物屋	山本真紗子	〃	226
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨		〃	227
風俗・名所図における瀟湘八景の図象的要素―瀟湘八景図の再生産とその影響を中心に―	呉　永三		
描かれた朝鮮通信使の楽隊	尹　芝惠		
日本北方民族学・考古学と絵画―「クマ祭り図」の分析をとおしての問いかけ―	池田　貴夫	美学芸術学	21
《勝興寺本洛中洛外図》を読み解く―画中の少女を鍵として―	内村　周	〃	〃
二〇〇四年度同志社大学大学院修士論文梗概　聖衆来迎寺本《六道絵》―典拠『往生要集』からのズレが語る本作品の目的と歴史的位置付け―	森　この美	〃	〃
中世浄土真宗における善光寺如来絵伝と聖徳太子絵伝の共存―本證寺本善光寺如来絵伝の図像をもとに	村松加奈子	美学美術史研究論集	21
平成15年度修士論文要旨　本證寺本善光寺如来絵伝の研究	〃	〃	〃
平安時代の「男絵」について―史料的考察を中心として―	小林　学	美学論究	21
滋賀・崇徳寺伝来の武家肖像画の像主について―賛文を中心に―	高木　文恵	彦根城博物館研究紀要	17
図版解説　狩野勝川院雅信《龍田図屏風》ジュネーヴ　バウアー・コレクション	塩谷　純	美術研究	388
図版解説　菊池容斎《観音経絵巻》	〃	〃	390
伊勢物語絵百十九段と能〈松風〉―「形見こそ」の和歌を中心に―	大口　裕子	美術史	160
「擬人化」の図像学、その物語表現の可能性について―御伽草子『弥兵衛鼠』（慶應義塾図書館蔵）を主たる対象として―	田口　文哉	〃	〃
研究動向　又兵衛風諸作品の再検討	佐藤　康宏	〃	〃
平成十七年度支部例会研究発表要旨		〃	〃
若冲作品における版本の影響	新江　京子		
雪村周継筆《七隠士騎馬野游図屏風》の主題について	陳　達明		
近世初期風俗画における宴の描写―歴博甲本・上杉本洛中洛外図屏風を中心に	口井　知子		
「清水寺参詣曼荼羅」研究―〈塔〉が果たす役割について―	上野　友愛		
「彦火々出見尊絵巻」の制作目的について	五月女晴恵		

高野山親王院所蔵「勝軍地蔵」画像に関する考察	大原　嘉豊		
泉屋博古館所蔵《大原御幸図屏風》について	実方　葉子		
義湘絵における宋代絵画の受容をめぐる一考察	森實久美子		
西院曼荼羅の研究	入江　多美		
渡辺始興草花図にみられる琉球植物―薩摩絵師木村探元との関係をふまえて―	斉藤　全人	〃	161
十八世紀前半期京都の屏風絵にみる一特質―渡辺始興、山本宗川の耕作図・草花図を中心に―	鎌田　純子	〃	〃
若冲画と大岡春卜の画譜―版本学習と「物に即する」画の考察―	新江　京子	〃	〃
長谷寺蔵「阿弥陀聖衆来迎図」―色紙形の讃をめぐって―	鈴木　雅子	〃	〃
三千院蔵阿弥陀聖衆来迎図考―来迎図の成立に関する一考察―	吉村　稔子	〃	〃
石山寺蔵涅槃図考	古谷　優子	〃	〃
研究動向　景山家時代の狩野永岳	小嵜　善通	〃	〃
第五十九回全国大会研究発表要旨		〃	〃
「三国」をめぐる中世の仏教世界観とその造形への視座	津田　徹英		
所謂「丁類（安楽寺本系）」の詞書をもつ天神縁起絵巻について	鈴木　幸人		
やまと絵屏風における金雲金霞表現の機能と展開	岡本　明子		
佐竹本三十六歌仙絵と人麿像について	笠嶋　忠幸		
土佐光信筆小絵「高野雲」試論―東京国立博物館蔵「粉河寺縁起」並びに学習院文学研究室蔵「粉河寺の草子」について―	谷川　ゆき		
徳川美術館所蔵「豊国祭礼図屏風」の検討―祭礼の周縁モチーフをめぐって―	廣海　伸彦		
名古屋城本丸御殿上洛殿障壁画について	薬師寺君子		
仏伝と本尊縁起の邂逅―「釈迦堂縁起絵巻」第一・二巻を基点に―	土谷　真紀		
松平定信賛・住吉広行筆「和歌三神図」について―国学興隆が及ぼした絵画製作への影響―	鎌田　純子		
『大和絵つくし』にみる菱川師宣の「大和絵」学習について	日野原健司		
『絵事鄙言』への道程―新出の桑山玉洲著『桑氏扇譜考』をめぐって―	近藤　壮		
風景画の成立と絵地図―東アジアにおける山水画から近代の風景画へ―	黄　龍求		
日本水墨画の原型―伝周文筆望海楼図をめぐって―	松木　寛	美術史学	26
楊枝をくわえたかぶき者―近世初期風俗画における姿型継承の一例―	畠山　浩一	〃	〃
豊国祭礼図の成立と展開	坂本　明子	〃	〃
竹の肖像―大窪詩佛「画竹碑」について―	岡戸　敏幸	美術史研究	44
「天稚彦草子」初期長文系諸本系統の再考	大月　千冬	〃	〃
『源誓上人絵伝』についての一考察	鴈野佳世子	〃	〃
国宝松浦屏風の制作年代とその制作の指導者について	成瀬不二雄	美術史論集	6
ボストン美術館蔵伝宗祇像の像主考―伝来と像容―	志賀　太郎	〃	〃
論文要旨《修士》地獄草紙・餓鬼草紙・病草紙について	横山　孝祥	〃	〃
「彦火々出見尊絵巻」の姿態表現と画面構成について―「伴大納言絵巻」との共通項に注目しながら―	五月女晴恵	美術史論叢	22
鈴木其一『癸巳西遊日記』解題	高橋　佳奈	〃	〃

日本美術のススメ 知られざる日本美術		美術の窓	
浦上玉堂筆「水流雲在図」MIHO MUSEUM蔵 珠玉の山水画	小林　忠		272
狩野山雪筆「馬図」パラゴンの魔術師	河野　元昭		273
葛飾北斎筆「杣人春秋山水図」 天空のパラダイス	浅野　秀剛		275
田能村竹田筆「東山図」 自娯というかたち	黒田　泰三		276
狩野安信筆「達磨図」「達磨図」の真骨頂	榊原　悟		277
「熊野縁起」断簡 室町へタウマ絵巻、入手の記	山下　裕二		278
芸愛筆「柳陰閑適」やなぎはみどり	島尾　新		279
特集　美術史家の価値評価を問う6　岡倉天心が評価したもの・しなかったもの—江戸狩野と大坂の文人画	中谷　伸生	美術フォーラム21	13
トピックス　箔師・野口康氏に聞く	美術フォーラム21編集部	〃	
尾形光琳筆《紅白梅図屏風》の「金地」をめぐって			〃
尾形光琳筆《紅白梅図屏風》の流水部分を再現する			14
表表紙　作品・作家解説　伝狩野永岳《琴棋書画図》幕末京狩野の光芒	中谷　伸生	〃	13
特集　メディアが「美術」をつくる。浮世草子がつくる浮世絵イメージ—絵画行為論の立場から	岸　文和	〃	14
講演　もてなしの文芸—俳諧画賛—	石川　真弘	ビブリア	125
『安永三年蕪村春帖』の位置—挿絵の解釈をふまえて—	田中　道雄	〃	126
講演　俳人の肖像画を考える	石川　真弘	〃	〃
雪舟史料を読む	大西　廣	百　科*	
29、30　季弘大叔『蔗軒日録』記事（四）（五）			519、523
31～33　一枝希維山水図巻・金湜題記（一）～（三）			525、527、529
厳島図〈Ⅱ類〉小考	知念　理	広島県立美術館研究紀要	9
岳翁—了庵桂悟との関わりにみる周文派詩画軸制作の様相—	城市真理子	フィロカリア	23
新出資料フェリス女学院大学本「竹取物語」紹介	三田村雅子 新生　優希	フェリス女学院大学文学部紀要	41
江戸の洋風画と明治前期の油彩画をつなぐもの	志賀　秀孝	府中市美術館研究紀要	10
「密教図像と鳥獣戯画」再論（下）	中野　玄三	仏教芸術	284
個人所蔵「三十番神絵像」小考	佐伯英里子	〃	288
龍神になった皇円—孝行集と法然上人伝—	坪井　直子	仏教大学総合研究所紀要	別冊（浄土教典籍の研究）
特集　松平定信の文学圏		文　学*	7-1
松平定信の絵巻物フェティシズム	鈴木　淳		
資料紹介　松平定信『戊子桜狩之絵巻』—ニューヨーク市立図書館・スペンサーコレクション所蔵—	渡辺　憲司 安原　真琴		
特集　古典知　想起する力		〃	7-3
神話と連想—『道成寺縁起』から『信貴山縁起絵巻』まで	彌永　信美		
スペンサー本『百鬼夜行絵巻』と幕末の『平家物語』—冷泉為恭と遷都の物語—	小峯　和明		
法座の言葉—真宗史料から見た言文一致—	塩谷　菊美	〃	〃
特集　源氏物語のことばへ　「橋姫」の段の多層的時間—物語の《記憶》をめぐって—	河添　房江	〃	7-5
「月次風俗図屏風」の成立と享受に関する一考察—旧岩国藩吉川家伝来について—	井戸　美里	〃	〃
転換期の絵草紙—幕末の新聞が挟まれていた明治の草紙—	服部　仁	〃	7-6
絹本著色百犬図　一幅　伊藤若冲筆	増記　隆介	文化財*	508

特集　お正月と文化財―正月を寿ぐ　将軍様の書初め	松原　茂	〃	〃
文化庁平成十七年度海外展報告　サンフランシスコにおける「一八世紀京都画壇の革新者たち」	狩野　博幸	〃	515
「多武峯縁起絵巻」考―画面構成の性質について―	塩出貴美子	文化財学報	23・24
北斎とその流派　目録　ボストン美術館日本美術部　日本・中国絵画特別展	山口　静一訳	北斎研究	38
浮世絵類考系写本に残る北斎の記録	中嶋　修	〃	〃
飯島虚心の触れた北斎の油絵	永田　生慈	〃	〃
葛飾北斎肉筆鑑賞(七十二)「梅樹図」一幅	〃	〃	〃
大宋屏風と馬形障子	金子　岳史	待兼山論叢	40
福寿寺千手観音菩薩立像と納入印仏	佐々木守俊	町田市立国際版画美術館紀要	10
ウィーン国立民族学博物館蔵『西行記』(春・夏)解題・翻刻	辻　英子	三田国文	43
『安珍清姫一代記』解題・影印	石川　透	〃	〃
『四十二の物あらそひ(縦型断簡)』解題・影印	〃	〃	44
薬師寺の聖徳太子像と四天王寺の「秦川勝像」	石川　知彦	密教図像	25
金剛界八十一尊曼荼羅諸本に於ける各尊像の若干の相違について―五仏を中心に・制作側の観点から―	長谷　法寿	〃	〃
北野天満宮所蔵「北野社絵図」に関する一考察	郷司　泰仁	〃	〃
新出の酒井抱一画・加藤千蔭書「桐図屏風」と永田コレクション	井田　太郎	MUSEUM	601
新収品紹介　探幽縮図　狩野探幽筆(下)	小野真由美	〃	〃
七尾市・長寿寺蔵「無分印涅槃図」―等伯研究への波及―	松原　茂	〃	603
東京国立博物館蔵「護持院ヶ原図」(伝司馬江漢筆)の作者	金子　信久	〃	605
尾形光琳の絵画学習と画風形成について	江村　知子	武蔵野美術大学研究紀要	36
はてな？おもしろ浮世絵　目の眼	中右　瑛		
236　忠臣蔵綺譚　本懐を果たした赤穂浪士にもてなしをする忠僕の話			352
237　忠臣蔵綺譚　夜蕎麦売りに扮した杉野十平次と俵星玄蕃の友情			353
238　忠臣蔵綺譚　大根売りに身をやつした勝田新左衛門・妻子の別れ			354
239　忠臣蔵綺譚　大高源五　謎かけの俳句「あすを待たれる宝船」			355
240　忠臣蔵綺譚　「赤垣源蔵　徳利の別れ」の虚と実			356
241　忠臣蔵綺譚　主君と今生の別れ　涙の片岡源五右衛門			357
242　忠臣蔵綺譚　亡父の遺志を果たす16歳の少年　矢頭右衛門七			358
243　忠臣蔵綺譚　内蔵助の愛妾おかる実伝			359
244　「安政大地震」の原因は大なまず　パロディ「なまず絵」が大流行			360
245　将軍享楽のパロディ　「源氏絵」の流行			361
246　禁止令を無視した国芳の新機軸の役者絵			362
247　ラッキーカード福助の有卦絵			363
江戸化政期の粋人、文人たち	渥美　國泰	〃	
(54)(山本梅逸・中林竹渓)驟雨渡橋図二題			352
(55)(谷文晁)文晁の白蔵主			354
(56)(蹄斎北馬)狐拳の三幅対			356

(58)(山口素絢・皆川棋園)上方の妖艶美			360
(59)(僧月僊)画僧・乞食月僊の利休像			362
特集　室町の美学 十五世紀の京文化—将軍・公家・禅僧—	高橋　範子	目の眼	357
物に執して(八四)(九十)	鈴木　皓詞	〃	357、363
特集　目の眼と古美術の30年　浮世絵の世界の30年	永田　生慈	〃	360
小特集２　浮世絵のネコ大集合　江戸のペットブームをみる		〃	362
小特集１　激動の時代を生きた文人たち	末武さとみ	〃	363
景甫寿陵賛瀑岩等神像について	山本　英男	大和文華	116
田能村竹田筆「親鸞上人剃髪図」に関する一考察	宮崎　もも	〃	〃
栗東の方便法身尊像について	佐々木　進	栗東歴史民俗博物館紀要	12
木村探元の京都における作画活動	山下　廣幸	黎明館調査研究報告	19
山路探定の新出作品	〃	〃	〃
『琉球寫真景』にみる奄美の民俗文化—『大嶋古図』・『南島雑話』・東南アジア大陸北部少数民族の民俗文化との比較から—	川野　和昭	〃	〃
作品研究　奈良国立博物館蔵　絹本著色大威徳明王像について—五輪塔が描かれる大威徳明王画像—	谷口　耕生	鹿園雑集*	8
野呂介石筆「台山踏歴略記」	榎本　邦雄	和歌山市立博物館研究紀要	20
大名庭園「西園」と赤坂離宮—「赤坂御庭図」をめぐって—	近藤　壮	〃	〃
白隠の描いた観音図	浅井　京子	早大會津八一記念博紀要*	7
「やまと絵白描画」の特質と展開	村重　寧	早稲田大学大学院文学研究科紀要	51
宗達障屏画作品における金地構成	岡本　明子	〃	〃
修士論文概要　日本絵画作品の評価と変遷—明治期から現代までの雪舟評価—	松嶋　文代	〃	〃
博士論文概要　酒井抱一の文事と絵事	井田　太郎	〃	〃
翻刻・影印『本哥取絵入　百人一句』	雲英　末雄 伊藤　善隆 二又　淳	早稲田大学図書館紀要	53

朝鮮・その他

高麗玄化寺碑について—とくに線刻の図文の紹介—	齊藤　忠	朝鮮学報	199・200
朝鮮に伝来した利瑪竇『両儀玄覧図』	鈴木　信昭	〃	201
西域北道における誓願図の研究—ベゼクリク石窟を中心に—	森　美智代	鹿島美術財団年報別冊	23
新出楼蘭壁画に関する二、三の考察	田辺　勝美	古代オリエント博物館紀要	26
オレステスの名誉とアイギストスの怯懦—クラシック初期アテナイ陶器画と社会規範の形成—	長田　年弘	筑波大学芸術研究報告	47
特集陳列「平成17年度新収品」インド細密画	小泉　惠英	東京国立博物館ニュース	677
第五十九回全国大会研究発表要旨		美術史	161
アジャンター後期石窟における「舎衛城の神変」図の諸相	福山　泰子		
十七世紀ムガル皇帝肖像画における英国美術の影響について	池田　直子		
コリ・ジャラールと東崩落石窟の壁画	岩井　俊平	仏教芸術	289
よみがえる仏教壁画—バーミヤーンN(a)窟	山内　和也	〃	〃
アジャンター石窟における「従三十三天降下」図について	福山　泰子	密教図像	25

図像・文様

中　国

特集　古代日本の諸問題　画文帯神獣鏡の図像—神仙像を中心として—	古川　京子	東アジアの古代文化	127
咸陽出土の塼をめぐって	林　巳奈夫	泉屋博古館紀要	22

日　本

『覚禅抄』「六字経法」について	上川　通夫	愛知県立大学文学部論集	54
仏教図像の表現と理論	真鍋　俊照	印度学仏教学研究	108
称名寺本『覚禅抄』のうち「大威徳転法輪法」および「灌頂抄」について—翻刻と紹介—	向坂　卓也	金沢文庫研究	317
美術史料紹介　東寺観智院金剛蔵本(建武二年写)『諸説不同記』巻第三・蓮華部院(上)翻刻・校註・影印	津田　徹英 淺沼　桂子 高橋かおり 東條　由紀 原　浩史	史　友	38
醍醐寺所蔵仏教絵画総合目録Ⅳ—白描図像—	有賀　祥隆 川村　知行	醍醐寺文化財研究所研究紀要	21
小特集1・宗家文書研究　武鑑にみる対馬宗家の家紋の変遷と「十万石以上之格」について	古賀　直美	東風西声*	2
園城寺蔵『五部心観』について	王　雲	仏教芸術	284
和泉市久保惣記念美術館蔵胎蔵旧図様について—西大寺性瑜の事蹟—	内田　啓一	〃	286
対葉花文について	栗田美由紀	文化財学報	23・24
但馬・今滝寺所蔵孔雀明王像の図像学的考察—中世日本における祈雨・孔雀経法の実践、そして思想をめぐって—	橋村　愛子	密教図像	25

地図・絵図

中　国

特集　碑石は語る Ⅱ告知と顕彰と刻印の世界　地図と石刻された都市空間	伊原　弘	アジア遊学	91
台南道教の符箓について—放赦科儀の九龍符命とその歴史を中心に—	丸山　宏	人類文化研究のための非文字資料*	3
東洋文庫所蔵ダンヴィルシナ地図帳	海野　一隆	東洋文庫書報	37

日　本

国絵図と藩政—秋田藩を事例に—	新堀　道生	秋田県立博物館研究報告	31
新田開発をめぐる軋轢と享保再検地—河内御供田村東恩智家所蔵絵図の分析—	井上　伸一 小林　義孝	大阪文化財研究	29
特集　環シナ海世界と古琉球　『海東諸国紀』の日本・琉球図と『琉球国図』	佐伯　弘次	九州史学	144
竹森道悦と地図奉納—『世界図』・『肥前長崎図』の紹介を中心に—	渡辺　美季	〃	146
研究ノート　寛永江戸全図—臼杵市所蔵の新出江戸図について—	金行　信輔	建築史学	46
彙報　平成十七年新指定文化財紹介〔古文書の部〕　重要文化財	梅澤亜希子	古文書研究	61
武蔵国鶴見寺尾郷絵図			
浄光明寺敷地絵図			
推定中川寺成身院指図について	冨島　義幸	醍醐寺文化財研究所研究紀要	21
治水・治山をめぐる歴史文化—名所図会と地域環境史研究—	羽賀　祥二	名古屋大学文学部研究論集	155
調査報告　森幸安の地図を追って—函館市中央図書館と国立国会図書館における調査報告	辻垣　晃一	日本研究	32
『杵築大社近郷絵図』と杵築大社の中世的景観—神仏分離期からの考察—	佐伯　徳哉	日本歴史	703
近江国・河合寺伽藍図について	齋藤　望	彦根城博物館研究紀要	17
口絵解説　伯劣角磐山大山寺絵図	山口　剛	文化財*	518
近世の大坂の地図に関するノート	鳴海　邦匡	待兼山論叢	40
史料紹介　天明二年(一七八二)加茂郡太田村絵図に関する一考察	村瀬　英彦	美濃加茂市民ミュージアム紀要	5
小特集　埼玉　古地図を読む		文書館紀要(埼玉)*	19
近世中期の新田開発と検地絵図—武蔵国大里郡樋口村の原地新田を事例に—	白井　哲哉		
武蔵国における天保国絵図の調査過程	重田　正夫		

「芸州吉田行程記」について	山田　稔	山口県文書館研究紀要	33
史料紹介　徳山藩絵図方史料「絵図方之事全録」	〃	〃	〃
中世の神奈川郷白幡と矢野氏「文禄三年武州橘樹郡　神奈川之内亀窪御縄帳」の検討	阿諏訪青美	横浜市歴史博物館調査研究報告	2
平成十七年度立正大学史学会大会研究発表要旨　「巣鴨町軒別絵図」の世界―江戸時代の巣鴨町を再現する―	高尾　善希	立正史学	99
歴史の証人　写真による収蔵品紹介　流宣日本図の地理情報	青山　宏夫	歴　博	134

彫　塑

東アジア

二本の指を立てる特殊な「印相」と「成仏」―「与願印」への一視点―	漆　紅	仏教芸術	286

中　国

天龍山石窟北斉窟に関する一考察	神谷麻理子	愛知県立芸術大学紀要	35
古代仏菩薩像の衣服と名称	吉村　怜	国　華	1332
表紙・新シリーズ　龍門奉先寺　唐の仏顔	日守菜穂子	書道界	195
龍門石窟古陽洞の開鑿年代（上）（下）―北魏孝文帝の洛陽遷都以後と見做す現行の通説の誤謬を正す―	上原　和	成城文芸	195、196
北魏太和期の金銅坐仏について―新出の二作品を中心に―	外山　潔	泉屋博古館紀要	22
麦積山石窟北周窟についての一考察	八木　春生	筑波大学芸術研究報告	47
特別展　仏像　一木にこめられた祈り　重要文化財　十一面観音菩薩立像	金子　啓明	東京国立博物館ニュース	679
学界展望　中国・日本の中世における王権と仏教との関係	大原　嘉豊	東洋史研究	65-3
隋代の道教造像	神塚　淑子	名古屋大学文学部研究論集	156
行像考	吉村　怜	南都仏教	88
研究資料　兵庫・法恩寺　木造菩薩坐像	津田　徹英 皿井　舞	美術研究	389
中国仏教初伝期に於ける仏像受容の実態に関する一考察―仏像付揺銭樹の視座から―	金子　典正	美術史	160
研究動向　中国仏教造像の供養者像―仏教美術史研究の新たな視点―	石松日奈子	〃	〃
第五十九回全国大会研究発表要旨　中国河北省正定市広恵寺華塔蔵唐代白大理石仏像について	張　南南	〃	161
中国四川資州の千手千眼観音大像龕について	濱田　瑞美	美術史研究	44
平山郁夫シルクロード美術館コレクション	編集部 平山郁夫シルクロード美術館学芸部	美術の窓	
⑮加彩婦人用俑			268
⑲如来及菩薩比丘衆尊像			273
中国初唐時代の洛陽周辺における優填王像について	濱田　瑞美	仏教芸術	287
龍門石窟敬善寺洞の神将像と鼻緒履物	竹下　繭子	〃	288
現存する「大清乾隆年敬造」銘の仏像群と宝相楼仏像群について	那須真裕美	密教図像	25
地蔵・観音並列像資料攷―四川地域の造像例と霊験説話―	肥田　路美	早稲田大学大学院文学研究科紀要	51

日　本

“見仏”はこんなにもグッとくる	山本　勉 みうらじゅん	アートトップ	212
『仏像のひみつ』番外編　一木造りのひみつ	山本　勉	〃	〃
調査報告　津島・西光寺地蔵菩薩立像（水落地蔵）	伊東　史朗	愛知県史研究	10
大分県朝地町・神角寺金剛力士像をめぐって	渡辺　文雄	大分県立歴史博物館研究紀要	7
比叡山延暦寺里坊等所在彫刻調査目録（追加２）	寺島　典人	大津市歴史博物館研究紀要	12
寺社総合調査		香川県歴史博物館年報	7

京都西寿寺本尊の丈六阿弥陀如来坐像について―移坐の経緯と製作年代―	淺湫　毅	学　叢	28
作品紹介　木造阿弥陀如来坐像（京都・西寿寺蔵）	〃	〃	〃
仏像の魅力	副島　弘道	学　鐙	103-2
時宗成立期の本尊―阿弥陀像に関する研究―	薄井　和男	鹿島美術財団年報別冊	23
比叡山延暦寺における仏像、仏画安置状況の復元―現存仏像、寺誌史料、山王曼荼羅の悉皆調査による現状確認―	寺島　典人	〃	〃
院政期における宋代美術の受容について―五台山騎獅文殊菩薩像を中心に―	皿井　舞	〃	〃
逗子・神武寺伝阿弥陀如来像考	山本　勉	金沢文庫研究	316
鎌倉の至宝（2）木造初江王坐像　一軀　円応寺蔵	内藤　浩之	鎌　倉	102
特集　鎌倉学　鎌倉大仏の再興と明治維新	浪川　幹夫	〃	〃
市指定重要歴史記念物法雲寺木造阿弥陀如来坐像修理報告	川尻紀久夫	川崎市文化財調査集録	41
主要寺社の調査		九州歴史資料館年報	H17年度
作品紹介　退耕庵　木造性海霊見坐像	根立　研介	京都美学美術史学	5
発表要旨　蓮華王院造像と治承兵火以前の造仏界	武笠　朗	〃	〃
特集　七つの謎でめぐる飛鳥　謎の四　新発見続々！水と石を結ぶ「点と線」	森　浩一、今尾　文昭解説	芸術新潮	681
愛蔵版　大特集　日本の仏像誕生！	金子　啓明、岩佐　光晴解説	〃	683
京都峰定寺釈迦如来像納入品と貞慶	野村　卓美	国語国文	858
中世六角堂縁起異説	橋本　正俊	〃	861
興福寺炎上言説、その展開の一端―『平家物語』と『建久御巡礼記』をめぐって―	大橋　直義	国語と国文学	986
岩屋寺旧本尊十一面観音坐像	伊東　史朗	古代文化研究	14
特輯　香雪美術館		国　華	1324
木造薬師如来立像	田邊三郎助		
石造釈迦三尊像	藤岡　穣		
特輯　常陸の仏像		〃	1326
「常陸の仏像」特輯に当って	関口　正之		
常陸の仏像	後藤　道雄		
楽法寺蔵　観音菩薩立像　妙法寺蔵伝阿弥陀如来坐像・伝観音菩薩立像・伝虚空蔵菩薩立像	長岡　龍作		
神向寺蔵　如来坐像及菩薩立像	浅井　和春		
真壁町山口地区蔵虚空蔵菩薩坐像	岩佐　光晴		
小松寺蔵　浮彫如意輪観音像	川瀬　由照		
西光寺蔵　薬師如来坐像	武笠　朗		
五大力堂蔵　五大力菩薩像	津田　徹英		
観世音寺（佐白観音）蔵　千手観音菩薩坐像	山本　勉		
中染阿弥陀堂蔵阿弥陀如来立像　西光院蔵　阿弥陀如来立像	瀬谷　貴之		
万福寺蔵　阿弥陀如来及両脇侍立像	奥　健夫		
善重寺蔵　聖徳太子立像	津田　徹英		
熊野速玉大神像、夫須美大神像、家津御子大神像、国常立命像　四躯	伊東　史朗	〃	1330
表紙写真解説　薬師堂石仏（皆野町金沢浦山）	四方田　悟	埼玉史談	286
口絵写真解説	井上　國夫	〃	
荒川堤外菖蒲沼の馬頭観音石仏（志木市）			〃
中宗岡三貫田の虚空蔵菩薩石仏（志木市）			287
石山寺木造狛犬の制作時期をめぐって	山下　立	滋賀県立安土城考古博物館紀要	14
甲賀市甲南町・正福寺の金剛力士像とその周辺―新出の平安後期の力士像―	高梨　純次	滋賀県立近代美術館研究紀要	6
黄檗信仰史　六十五～七十	江口　正尊	史迹と美術	761、763、765、767、769、770

神戸市潮音寺不動明王像と、大和多武峰、経ヶ谷不動明王像の共通点	清水　俊明	史迹と美術	762
資料紹介　宿院仏師の新出例　長久寺の木造虚空蔵菩薩坐像について	甲斐　常興	〃	767
大阪・金剛寺金堂大日如来像考	武笠　　朗	実践女子大学美学美術史学	20
グラビア解説　阿弥陀三尊像	稲本　泰生	聖　　徳	187
女性と考えられてきた(？)聖徳太子孝養像	木村　　博	〃	〃
関八州・太子講発祥の地―太子山聖徳寺―	小松　光江	〃	〃
お面がご縁の聖徳太子像―築地本願寺―	〃	〃	188
グラビア解説　阿弥陀三尊像	稲本　泰生	〃	189
鵤荘の聖徳太子像	小松　光江	〃	190
平安・鎌倉時代における童子形文殊像の展開	福地佳代子	女子美術大学研究紀要	36
所内研究発表会発表要旨		大正大学綜合仏教研究所年報	28
安然の造像観	寺本　亮晋		
仏頂尊の成立について	佐々木大樹		
天台宗開宗一二〇〇年記念　特別展　最澄と天台の国宝　重文　薬師如来及両脇侍立像	丸山　士郎	東京国立博物館ニュース	675
特別展　仏像　一木にこめられた祈り		〃	679
国宝　菩薩半跏像(伝如意輪観音)	岩佐　光晴		
重要文化財　十一面観音菩薩立像	金子　啓明		
国宝　十一面観音菩薩立像	岩佐　光晴		
善財童子立像　円空作	浅見　龍介		
鳥羽勝光明院における造仏活動―仏像修正の理由を中心に―	榊　　拓敏	同志社大学博物館学年報	37
東北文化講演会　国際シンポジウム　山と神―東アジアの視点から―山の像―古代日本の山岳観と神仏	長岡　龍作	東北文化研究室紀要	47
長谷観音の御衣木と説話	横田　隆志	南都仏教	88
特集　新潟県中越大震災　5　被災資料からの発見(2)長岡市内の被災仏像の修復と銘板の発見	前嶋　　敏	新潟県立歴史博物館研究紀要	8
口絵　香る仏像と経典	湯山　賢一	日本歴史	692
口絵　仏手	岩田　茂樹	〃	694
口絵　木造源頼朝坐像	鈴木　喜博	〃	700
八世紀日本彫刻の彩色材料―材料の性質と適性に関する問題を中心に―	國本　学史	美　　学	227
六波羅蜜寺(西光寺)創建期諸像について	井上　大樹	美術史	160
平成十七年度支部例会研究発表要旨		〃	〃
快慶及びその周辺作品にみる来迎形阿弥陀三尊像の成立と展開―益子・地蔵院の観音・勢至菩薩像を中心として―	大澤　慶子		
福岡市個人蔵　木造毘沙門天立像について―北部九州における平安後期神将形像の一典型として	末吉　武史		
奈良時代における中門〈四天王像〉についての基礎的考察	鹿谷亜由美		
京都西寿寺の阿弥陀如来坐像二躯について	淺湫　　毅		
肥前松浦寿昌寺・如意輪観音像と仏師幸心	竹下　正博		
平安時代末期から鎌倉時代初期奈良仏師の新形式形成とその展開―菩薩形・明王坐像における裙・腰布の着衣形式の検討より―	佐々木あすか	〃	161
第五十九回全国大会研究発表要旨		〃	〃
興福寺の脱活乾漆造八部衆像について―中国・韓国の作例からみた図像的位置づけ―	水野　さや		
奈良朝光背に関する一考察	小林　裕子		

醍醐寺三宝院弥勒菩薩坐像に関する一考察—弥勒の図像を足掛かりに—	海野　啓一		
日本美術のススメ 今月の逸品　国宝十一面観音菩薩立像	岩佐　光晴	美術の窓	277
薬師寺金堂薬師如来像台座に表された異形像の意義	戸花亜利州	仏教芸術	284
八世紀制作の立像光背に関する一考察—聖林寺十一面観音立像の光背残欠を中心に—	小林　裕子	〃	288
資料紹介　三重県多気郡明和町納願寺・木造阿弥陀如来立像について	瀧川　和也	〃	〃
特集　お正月と文化財—干支の文化財「こまいぬ」考	伊東　史朗	文化財*	508
特集　最新の彫刻史研究		〃	512
総論	〃		
悉皆調査と彫刻史研究	川瀬　由照		
東国の仏像—東北大学の科学研究費による研究成果—	長岡　龍作		
X線透過撮影による塑像研究のいま—東大寺戒壇堂四天王像を例に—	稲本　泰生		
彫刻用材研究の最前線	金子　啓明		
頂相彫刻	根立　研介		
熊本・阿蘇高千穂の神像調査	有木　芳隆		
神像研究の現在	伊東　史朗		
造像銘記からわかること	奥　健夫		
塑像—断片を中心に—	寺島　典人		
表紙解説　女神像 広島・御調八幡宮	伊東　史朗	〃	〃
口絵解説　写真でしか見られない文化財—木造金剛薩埵坐像(所在金堂)の写真—	川瀬　由照	〃	517
光照寺地蔵菩薩立像修復および研究中間報告書	村上　清	文化財保存学専攻保存修復彫刻年報	2005年度
浄瑠璃寺灌頂堂大日如来坐像保存修復事業報告書(第1次事業報告書)	高宮　洋子	〃	〃
光林禅寺開山仏智弘済禅師坐像修復中間報告書	柿田　喜則	〃	〃
個人蔵木造薬師如来立像保存修復報告書	岡田　靖	〃	〃
2005年度　仏像調査および3Dレーザースキャニング計測実績	東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究室	〃	〃
法隆寺金堂釈迦三尊像光背銘を読む	井上　一稔	文化史学	62
研究ノート　加茂地域の円空仏について	杉浦　綾子	美濃加茂市民ミュージアム紀要	5
修理報告　裾野市願生寺の阿弥陀如来坐像	浅見　龍介	MUSEUM	601
資料紹介　東寺旧蔵観音菩薩像・勢至菩薩像	伊東　史朗	〃	603
新収品紹介　木造阿弥陀如来立像	浅見　龍介	〃	605
高賀山信仰と那比新宮神社虚空蔵菩薩像について	清水　眞澄	民俗学研究所紀要	30
聖武東遊の謎をめぐって　大仏構想からみた伊勢行幸	赤川　一博	四日市市立博物館研究紀要	13
研究ノート　東大寺俊乗上人像についての覚書　構造について	〃	〃	〃
仏像調査報告	〃	〃	〃
大宝神社の神像	松岡久美子	栗東歴史民俗博物館紀要	12
講座—仏教美術　中世の仏教美術　彫刻史の展開を中心に	山本　勉	歴史と地理	600
悔過と仏像	長岡　龍作	鹿園雑集*	8
修理報告		〃	〃
奈良　南明寺所蔵木造僧形坐像の保存修理	岩田　茂樹		
奈良　東大寺所蔵木造不動明王坐像の保存修理	神田　雅章		
朝　鮮			
統一新羅時代礼拝像の機能とその意味についての研究—仏教彫刻に現われた香炉を手がかりにして—	池　江伊	鹿島美術財団年報別冊	23
全一冊　韓国　未知の美と出会う旅	編集部	芸術新潮	680

中間報告　アジアの死生観研究—仏教儀礼と基層信仰—韓国における弥勒信仰	金　永晃	大正大学綜合仏教研究所年報	28
統一新羅の美術に現れる“西域人のイメージ”	林　玲愛	仏教芸術	287
高麗初期の石造菩薩像について	崔　聖銀 芹生　春菜 訳	〃	288

その他

amridaha/amridae銘像は果たして阿弥陀仏を表すに非ざるか—ガンダーラ彫刻の一碑銘の解釈をめぐって—	岩松　浅夫	印度学仏教学研究	108
ラジャスターン州ジャガットのアンビカー寺院	森　雅秀	金沢大学文学部論集	26
南アジアにおける密教図像の形成と展開パーラ朝の仏教美術作例リスト	〃	高野山大学密教文化研究所紀要	別冊3
第二十五回　史学会大会報告　アンコール・ワットの三二地獄	東條　由紀	史　友	38
中間報告　アジアの死生観研究—仏教儀礼と基層信仰—インドの行像と民間信仰	田中　純男	大正大学綜合仏教研究所年報	28
第五十九回全国大会研究発表要旨　ベトナム・チャーキエウ出土リンガ祭壇基壇部の連続説話場面に対する新解釈	朴　亨國	美術史	161
平山郁夫シルクロード美術館コレクション⑯仏陀立像	編集部 平山郁夫シルクロード美術館学芸部	美術の窓	269
タイ南部におけるシュリーヴィジャヤ期の塼仏	横倉　雅幸	仏教芸術	287
パーミヤーンの「涅槃仏および臥像の伽藍」の位置に関する一つの仮説	山内　和也	〃	289
スワート・カシュミール地域のブロンズ像の様式的源流について—パキスタン山間部の仏坐像を中心として—	安元　剛	密教図像	25
アマラーヴァティー大欄楯の研究	島田　明	MUSEUM	
(1)—大欄楯の建造過程—			601
(2)—大欄楯の建造年代—			602

原始彫刻

日本

資料紹介　東京都町田市内出土の土偶4点—高橋光蔵氏採集の考古遺物—	加藤　緑	大田区立郷土博物館紀要	16
資料報告　埼玉稲荷山古墳出土家形埴輪の復原について	若松　良一	埼玉県さきたま資料館報告*	19
宇和奈辺陵墓参考地採集の埴輪について	土生田純之 清喜　裕二 加藤　一郎	書陵部紀要	57
名古屋市における埴輪の導入	瀬川　貴文	名古屋市博物館研究紀要	29
特集　お正月と文化財—干支の文化財考古資料に見る十二支の動物たち	清野　孝之	文化財*	508
歴史の証人　写真による収蔵品紹介　女だけをあらわしたか—上黒岩の石偶—	春成　秀爾	歴　博	139

その他

資料紹介　テル・エル・ケルク1号丘出土女性形土偶をめぐって—北西シリア，テル・エル・ケルク遺跡2005年度発掘調査から—	長谷川敦章	筑波大学先史学・考古学研究	17

書蹟

中国

顔真卿　早年の楷書碑誌	横田　恭三	跡見学園女子大学文学部紀要	39
敦煌写本による『金蔵論』巻五、六の解明	宮井　里佳	印度学仏教学研究	110
篆書の「篆」についての一考察	山元　宣宏	漢字文化研究年報	1
趙孟頫筆　蘭亭十三跋	角井　博	国　華	1330
続・書人今昔(76)〈楊守敬〉	田中　有	書道界	194
新倉田廬拾古録	渡邉　寒鷗	〃	
(43)徐三庚　張裕釗			〃
(45)万経　巴慰祖			196
(46)王文治　弘仁			197
(47)祁寯藻　費丹旭			198
(48)莫友芝　胡震			199

(53)魏稼孫　沈樹鏞			204
中国巧芸散記	蘭花堂主人	〃	
(25)(26)八大山人書画の真贋(2)(3)			195、196
(27)中国明清書札の楽しみ			197
(28)中国明清書札の楽しみ(続)			198
記念講演　王羲之の尺牘を問う	祁　小春	書道文化	2
千字文の書道史的研究	大林　佳代	〃	〃
禹碑と鄧石如の篆書	高畑　常信	書　論	35
明末清初の書法における異体字使用の風潮について(4)	白　謙慎 祁　小春 訳	〃	〃
特集　書体シリーズ⑤楽しくマスターする「行書」		墨	179
鑑賞①精拓碑法帖選 行書六種「蘭亭序」「集王聖教序」「晋祠銘」「行書千字文」「積時帖」「文皇哀册」	伊藤　滋 解説		
ガイダンス①代表的な作例で見る中国の行書	須田　茂樹		
論考　行書のはじまりと展開	大橋　修一		
コラム　唐代の行書墓誌について	横倉　佳男		
中国レポート　上海図書館蔵「善本碑帖展」観記	伊藤　滋	〃	〃
ギャラリー　瘞鶴銘 天監十三年(514)	木　雞　室	〃	180
紙型別書き方レッスン②条幅(漢字編)		〃	181
鑑賞①青山杉雨コレクション　条幅の名品	高木　聖雨		
エッセイ　建築と書の形式〈中国編〉長条幅と建築とのありそうでなさそうな相関性	村松　伸		
対聯　対聯とはなにか	北川　博邦		
鑑賞③清代名家対聯の美			
ギャラリー	木　雞　室	〃	
北魏太武帝東巡碑 太延三年(437)			〃
賀知章『草書孝経』(刻本)			182
書家の目　孫過庭書譜の諸法帖を透映鑑別する	表　立雲	〃	〃
永青文庫所蔵の魯庵純拙筆　贈雪舟送別詩并序	救仁郷秀明	MUSEUM	605
特集　書のながれをみる		目の眼	352
王羲之　書の源流にして頂点に位置する書聖			
解説　人と作品でたどる　日中能書列伝	島谷　弘幸 富田　淳		
『海外書』小論—北宋三館秘閣の文物収集の史的意義と、美術外交についての一考察—	塚本　麿充	大和文華	115
特別指定研究　旅順博物館大谷探検隊収集漢文資料について—トルファン出土陀羅尼仏典を中心として—		龍谷大学仏教文化研究所紀要	45
はじめに	三谷　真澄		
トルファン出土陀羅尼仏典について	磯邊　友美		
『長沙走馬楼三国呉簡　竹簡[壱]』釈文補注(稿)	伊藤　敏雄	歴史研究	43
日　本			
野村望東尼筆『柞葉集』について	谷川佳枝子	出光美術館館報	137
鎌倉時代後期の古筆切資料—京極派を中心に	別府　節子	出光美術館研究紀要	11
『賢愚経』諸本の調巻と品題について	興津　香織	印度学仏教学研究	110
『洞門亀鑑』の写本について	駒ヶ嶺法子	〃	〃
京都国立博物館蔵『金剛峯楼閣一切瑜伽瑜祇経』の訓点について—真言宗広沢流の訓読を巡って—	宇都宮啓吾	学　叢	28
審海の書入れがある称名寺最古の声明資料	高橋　秀榮	金沢文庫研究	316
大宰府史跡出土文字資料の調査		九州歴史資料館年報	H17年度
資料紹介　大治元年八月　摂政左大臣家歌合—新出の廿巻本類聚歌合の紹介をかねて—	四辻　秀紀	金鯱叢書*	33

近世禁裏の歌書収蔵史における近衛家の関わりについて	酒井　茂幸	ぐんしょ*	72
特集　古今和歌集1100年　ひらがなの謎を解く		芸術新潮	674
解説	石川　九楊		
ひらがな対談	小松　英雄 石川　九楊		
久世家旧蔵書と久世本『俊頼髄脳』奥書筆者	赤瀬　知子	国語国文	859
「大治本」玄応『一切経音義』について	張　　娜麗	〃	863
研究ノート　則天文字を記した墨書土器	住田明日香	古代文化	566
図版解説　鹿児島県・京田遺跡出土木簡	中村　和美	〃	〃
特輯　石橋コレクション　古美術篇「古今和歌集巻第一断簡　高野切」について	笠嶋　忠幸	国　　華	1333
筆跡研究をめぐる二・三の問題点—疋田妙玄の筆跡を中心に—	上島　　有	古文書研究	61
日本古文書学会　第三十七回学術大会要旨　後深草法皇とその周辺—妙蓮寺蔵『妙法蓮華経』紙背文書の検討を通して—	杉山　　巖	〃	〃
彙報　平成十七年新指定文化財紹介	梅澤亜希子	〃	〃
〔書跡・典籍の部〕重要文化財　讃岐入道集　附　柳流水鴛鴦蒔絵箱			
〔古文書の部〕重要文化財　惟康親王願文　文永十一年十一月日			
口絵解説	〃	〃	
惟康親王願文　文永十一年十一月日			〃
写経料紙充帳			62
貫名菘翁と泉州の文化人	下村　欣司	堺市博物館報	25
東寺観智院蔵『〔貞慶鈔物〕』一帖・影印	牧野　和夫 田口　和夫	実践女子大学文学部紀要	48
聖武天皇宸翰『雑集』所収「鏡中釈霊実集」注解	東京女子大学古代史研究会	続日本紀研究	
その二十八　No.一〇六　為人為息賽恩斎文　并為母慶造経成了			361
その二十九　No.一〇二　為人母祥文			362
聖武天皇宸翰『雑集』巻末の三言四句—聖武天皇と天台宗第二祖慧思の思想の接点—	有富由紀子	〃	365
記念講演　漢字仮名交じり書の考察—漢字の表記法と仮名の成立過程との関連において—	富田富貴雄	書道文化	2
張即之の尊重	春名　好重	書　　論	35
特集　書体シリーズ⑤楽しくマスターする「行書」　ガイダンス②代表的な作例で見る日本の行書	杉浦　妙子	墨	179
ギャラリー　伊藤仁斎筆「蘭亭記」	木　雞　室	〃	〃
特別寄稿「書の至宝—日本と中国」展雑考　名品の“墨”と“紙”が語りかけてくるもの	表　　立雲	〃	180
紙型別書き方レッスン②条幅(漢字編)エッセイ　建築と書の形式〈日本編〉条幅と床の間の不即不離の関係	西嶋　慎一	〃	181
書論の広場　ふくやま書道美術館所蔵新調古筆手鑑『常盤』—栗原蘆水氏寄贈古筆切資料について—	中村健太郎	〃	〃
レポート　再発見三輪田米山の書		〃	182
米山の人と書	小池　邦夫		
松山リポート　米山の書に魅せられて	田中　仁子		
書論の広場　「定家様」とは何か—日本語史研究の観点から—	林田　定男	〃	〃
特別企画　天台宗開宗一二〇〇年記念　最澄から受け継ぐ「書の精神」	飯島太千雄	〃	183
特別企画　天台宗開宗一二〇〇年記念　最澄から受け継ぐ「書の精神」　墨宝より見られる特色	西郊　良光	〃	〃

泉屋博古館蔵手鑑付、堀河院中宮歌合考	久保木哲夫	泉屋博古館紀要	22
実践と基礎知識　絵のあそび　書の楽しみ	笠嶋　忠幸	淡　交	
岩佐又兵衛筆「三十六歌仙図　赤人」			734
近衛信尹筆「渡唐天神像」			735
隆房卿艶詞絵巻			736
特集　茶人の筆跡　茶人の書の魅力	水田至摩子	〃	739
特集　鎌倉円覚寺の裂　円覚寺の僧と墨蹟	名児耶　明	〃	745
天台宗開宗一二〇〇年記念　特別展　最澄と天台の国宝　国宝　天台法華宗年分縁起	島谷　弘幸	東京国立博物館ニュース	675
特別展　書の至宝—日本と中国	富田　淳	〃	〃
特集陳列「平成17年度新収品」石山切(伊勢集)伝藤原公任筆	島谷　弘幸	〃	677
新たな国民のたから—文化庁購入文化財展—重文　文選集注(巻第六十三、巻第八十八残巻、巻第九十三)		〃	678
岩崎文庫貴重書書誌解題稿　歌書之部(一)	深沢　眞二	東洋文庫書報	37
資料紹介　新出の「本阿弥光悦書状巻」について	山本　祐子	名古屋市博物館研究紀要	29
藤原宮出土荷札木簡補遺—『藤原宮木簡一』『同二』—	市　大樹	奈良文化財研究所紀要	2006
信円の花押—興福寺所蔵「有法差別本作法義」をめぐって—	吉川　聡	〃	〃
難波津の歌の新資料—姫路市辻井遺跡出土木簡の再釈読—	山本　崇	〃	〃
東大寺収蔵経巻調査報告(一)—奈良時代(一)—	東大寺図書館	南都仏教	87
口絵　香薬抄	野尻　忠	日本歴史	695
口絵　伊勢集	梅澤亜希子	〃	697
二条大路木簡にみえる瓜の進上	池尾　直洋	〃	699
研究ノート　藤原時代の文字と装飾料紙について—「西本願寺本三十六人家集」を例に—	陳　碧華	野村美術館研究紀要	15
史料紹介　金森宗和の書状(三)	谷　晃 武田　清明	〃	〃
宝暦六(一七五六)年紀州船エトロフ島漂流記について	川上　淳	比較文化論叢	17
日本美術のススメ　今月の逸品　国宝　空海筆「灌頂歴名」(部分)	赤尾　栄慶	美術の窓	278
天理図書館蔵『シヤカニヨライネンシユノシタイ』(釈迦如来念誦次第)—影印と翻刻—	大槻　信	ビブリア	125
伊勢と俳人—神宮徴古館特集展示によせて—	芝本　行亮	瑞　垣	203
特集　書のながれをみる　かなのかたち	編集部	目の眼	352
新春特別寄稿1　定家本万葉集への道	田中　大士	〃	354
物に執して(八二)	鈴木　皓詞	〃	355
江戸化政期の粋人、文人たち(57)(大田南畝)江戸人、関東人としての意地	渥美　國泰	〃	358
文書形式「牒」の受容をめぐる一考察	三上　喜孝	山形大学歴史・地理・人類学論集	7
研究ノート　大樹寺(市内市場町)の新規寄託資料　とくに、大般若波羅蜜多経の現存巻について	堀越　光信	四日市市立博物館研究紀要	13
形木の題目曼荼羅と金石文	阪田　正一	立正史学	99
指定研究　龍谷大学図書館蔵『太平記』の研究		龍谷大学仏教文化研究所紀要	45
端書	大取　一馬		
龍谷大学大宮図書館写字台文庫蔵『太平記』解題	浜畑　圭吾		
太平記の古筆切について	小林　強		
特集／古代東アジアの交流と人・モノ・文化　習書木簡からみた文字文化受容の問題	三上　喜孝	歴史評論	680
正倉院学術シンポジウム　正倉院文書研究の来し方	北　啓太	鹿園雑集*	8

徳川治宝一行書　青松多寿色	寺西　貞弘	和歌山市立博物館研究紀要	20
口絵・早稲田大学図書館新収貴重書(25)「枯枝に・笠やどり」画賛　松尾芭蕉筆		早稲田大学図書館紀要	53

朝　鮮

聖語蔵『大方広仏華厳経　自巻七十二至巻八十』の書誌的考察	山本　信吉	正倉院紀要	28
彙報　第五十六回朝鮮学会大会報告　研究発表　城山山城木簡と六世紀新羅の地方支配	橋本　繁	朝鮮学報	198
国際研究集会の研究報告　韓国古代木簡の調査現況とその形態的特性	朴　仲煥 重見　泰　訳	鹿園雑集*	8

古文書・古記録

中　国

『澄心論』再読考	瀧瀬　尚純	印度学仏教学研究	110

日　本

翻刻『白山寺歴代記』『白山宮霊験記』『白山三社大権現縁起』	小池　貞彦 織田　顕行	飯田市美術博物館研究紀要	16
金沢文庫蔵『往生裏書』について	上杉　智英	印度学仏教学研究	108
資料紹介・翻刻　延暦寺本『延暦寺三塔諸堂』—『阿婆縛抄』「諸寺縁起」の古写本—	寺島　典人	大津市歴史博物館研究紀要	12
特集　善通寺総合調査報告(1)	胡　光	香川県歴史博物館調査研究報告	2
善通寺文書について			
善通寺文書翻刻			
善通寺文書目録			
作品紹介　京都国立博物館所蔵「押小路家関係文書」の翻刻と紹介	羽田　聡	学　叢	28
『金剛山縁起』の基礎的研究	川崎　剛志	金沢文庫研究	317
『鎌倉遺文』未収録「東寺百合文書」(17)(18)	早稲田大学大学院中世史ゼミ	鎌倉遺文研究	17、18
資料目録　八幡西区黒崎・岡田神社資料目録	有川　宜博	北九州自然史歴史博報告*	3
徳川林政史研究所所蔵史料目録　徳川林政史研究所所蔵　尾張徳川家文書目録(二)		金鯱叢書*	33
資料紹介　金沢城作事所に関する断簡資料(1)—名倉氏採取襖下張文書(金沢大学文学部日本史研究室蔵)—	木越　隆三	研究紀要金沢城研究	4
図書寮本『類聚名義抄』院政期点における漢音声調	佐々木　勇	国語国文	860
研究ノート　古文書に付された角筆—古文書修復時に留意したいこと—	横内　裕人	古文書研究	61
随筆　吊下げた古文書	藤本　孝一	〃	〃
古文書めぐり　兵庫県立歴史博物館収蔵の中世文書	前田　徹	〃	〃
研究余滴　書札料紙の呼称	永村　眞	〃	〃
彙報　平成十七年新指定文化財紹介〔古文書の部〕　重要文化財　四、大徳寺文書	梅澤亜希子	〃	〃
角筆書(全文)折本二帖の出現とその史料価値—高松藩執政松崎渋右衛門殺害事件の新資料—	小林　芳規	〃	62
大乗院尋尊と幸徳井家—『大乗院寺社雑事記』と『大乗院寺社雑事記紙背文書』—	木村　純子	〃	〃
日本古文書学会　第三十八回学術大会要旨　平城上皇の受灌頂と空海—正倉院出納文書の検討を中心に—	西本　昌弘	〃	〃
「年中行事掛幅」に関する考察	星野　利幸	斎宮歴史博物館研究紀要	15
翻刻篇　恵什作『伝教大師御受法不審』紹介	北尾　隆心	種智院大学密教資料研究所紀要	8
勝賢作『護身法潅頂』について(一)—長谷文庫蔵『護身法口秘』を中心として—	〃	〃	〃
長谷文庫蔵『ア観最極秘要(阿字黒箱)』について(一)	〃	〃	〃
史料紹介『僧綱補任』巻第六の校訂(完)	湊　敏郎	続日本紀研究	362

『三宝院経蔵目録』(二)	小原　仁	醍醐寺文化財研究所研究紀要	21
『枝葉抄』翻刻並解題(二)	馬渕　和夫	〃	〃
『寛永日々記』(七)	神田　千里	〃	〃
昆陽寺所蔵『行基菩薩起文遺式状』—解説と翻刻	米山　孝子	大正大学研究紀要	91
隆瑜撰『五輪九字明秘密釈拾要記』の研究(6)—本文翻刻—	福田　亮成	〃	〃
研究例会報告要旨・参加記		地方史研究	320
金沢文庫古文書にみられる料紙の製法と品質	永井　晋		
地域例会(神奈川県立金沢文庫)参加記	北爪　寛之		
翻刻　宝暦13年の道中日記『西国道中記』—琵琶湖北方地域から塩津、鳳来寺、伊勢、大峯山、西国への旅—	上野　利夫	天理参考館報	19
史料紹介『日光山別当次第』(慶長十四年写)—『当山秘所并代々別当次第』の翻刻紹介—	千田　孝明	栃木県立博物館研究紀要	23
『兼見卿記』(八)文禄五年自七月至十二月	岸本　眞美	ビブリア	126
正倉院学術シンポジウム　弘化四年　東大寺宝物録に見る正倉院宝物について	森本　公誠	鹿園雑集*	8

そ　の　他

大会抄録　古チベット文献研究の現段階	武内　紹人	東洋史研究	65-3

金石文など

東アジア

特集　碑石は語る Ⅰ石が語る東アジア世界　広開土王碑から東アジア国際情勢を読む　碑文の〈読者〉についての一考察	古畑　徹	アジア遊学	91

中　　国

特集　碑石は語る Ⅱ告知と顕彰と刻印の世界		〃	〃
墓誌銘研究における石刻の重要性	アンゲラ・ショッテンハンマー　吉田　真弓訳		
文字をのこす人、みる人、語る人　南通市狼山の磨崖文をたずねて	山根　直生		
刻石されなかった墓表の一節　米芾撰「朱長文墓表」	須江　隆		
「石刻熱」から二〇年	森田　憲司		
金元代石刻史料集—霊巌寺碑刻—	桂華　淳祥編	大谷大学真宗総合研究所研究紀要	23
雲居寺の碑文—CD-ROMのための準備作業—	マティアス・アーノルド	漢字文化研究年報	1
和刻本「劉子」攷—日本列島に伝来せる漢語文献—	山崎　誠	国語国文	865
表紙解説　金印　福岡市博物館	前田麻衣子	国　華	1330
現代中国巧芸事情3『淳化閣帖』落札の顛末	仲　佑樹	書道界	202
表紙・新シリーズ　天に向かう梵唄　北朝の摩崖刻経	日守菜穂子	〃	204
印の側款から何を読み取るか—鑑定者・交友関係・印譜編纂事情など—	高口　盛幸	書道文化	2
特集　遊印—文人の遊び心—鑑賞①明清名家刻印彙存	味墨山房	墨	183
書論の広場　国宝金印の実像　「漢委奴国王」の名称と所在地の関係を正す(Ⅱ)	佐藤　容齋	〃	〃
慶応義塾図書館所蔵閲斎堂刊『新刻増補批評全像西遊記』の研究と資料(上)	磯部　彰　編	東北アジア研究センター叢書	19
大会抄録　唐代墓誌銘の史料上の諸問題	愛宕　元	東洋史研究	65-3
全体会シンポジウム　テーマ　中世仏教の国際環境　考古・石刻資料よりみた契丹(遼)の仏教	古松　崇志	日本史研究	522
史料紹介　広州重修天慶観記	深見　純生	仏教芸術	287
陳建『皇明資治通紀』の禁書とその続編出版(二)	新宮　学	山形大学歴史・地理・人類学論集	7

史料・文献紹介　井真成の墓誌	石見　清裕	歴史と地理	592

日　本

特集　碑石は語る　Ⅰ石が語る東アジア世界		アジア遊学	91
寧波で発見された博多在住の宋人寄進碑文続編	伊原　弘		
墓石に残る隠し十字紋　隠れキリシタンが石に秘めたメッセージ	川島　恂二		
社寺の木版印刷における刷り具の研究(2)—近江、若狭地方の社寺が所蔵する刷り具の調査及び研究	黒崎　彰	京都精華大学紀要	30
那須国造碑と那須直氏私考	高島　英之	群馬県埋文調査団紀要*	24
近衛本『大唐六典』の板行と京儒のかかわり—元文四年十二月蔵板成就説—	高橋　俊和	国語国文	865
国文学研究資料館蔵『太平記』および関連書マイクロ資料書誌解題稿	小秋元　段	国文学研究資料館調査研究報告	26
熊野牛玉宝印への信仰	小山　聡子	古文書研究	61
菊水寺の阿六句碑ともう一つの菊塚	内野　勝裕	埼玉史談	284
研究ノート　高越寺所蔵「蔵王権現永正十一年四月再興棟札」—細川元常奉納棟札について—	岡田　謙一	寺院史研究	10
痩蘭斎楽事異聞(23)東都嘉慶樹	坂田　進一	書道界	196
上代金石文の毛彫り刻銘技法から見る我が国の「流れの変化」—法隆寺金堂釈迦三尊・薬師座像両光背銘の刻銘時期をめぐって—	鈴木　勉	書論	35
早稲田大学服部文庫所蔵の「朝鮮語訳」について—「隣語大方」との比較—	岸田　文隆	朝鮮学報	199・200
東洋文庫所蔵本に押捺された蔵書印について(三)—僧侶・寺院の蔵書印　附神官、神社の蔵書印(下)	中善寺　慎	東洋文庫書報	37
梁粛撰「台州隋故智者大師修禅道場碑」研究序説	池　麗梅	南都仏教	88
特集　松平定信の文学圏　定信の風流を支えた人々—南湖詩碑建立をめぐって—	池澤　一郎	文　学*	7-1
種智院大学・龍谷大学・横浜市歴史博物館所蔵『杣保隠遁鈔』の版本並びに古活字本について	遠藤　廣昭	横浜市歴史博物館調査研究報告	2

朝鮮・その他

海東禅宗を巡って—聖住寺朗慧和尚白月葆光塔碑銘を資料として—	長田　夏樹	朝鮮学報	199・200
朝鮮版『唐駱賓王詩集』攷	藤本　幸夫	〃	〃
研究発表要旨　シュメール語王碑文、年名、王讃歌	前田　徹	オリエント	48-2
印章におけるスペード形樹木	石田　恵子	古代オリエント博物館紀要	26
『御製満珠蒙古漢字三合切音清文鑑』モンゴル語配列対照語彙	栗林　均、呼日勒巴特尔 編	東北アジア研究センター叢書	20
付録　東洋文庫所蔵本『三合切音清文鑑』校訂表	〃	〃	〃
カージャール朝期の印刷	岩見　隆 編訳	東洋文庫書報	37

工芸一般

日　本

正倉院学術シンポジウム　全体討論記録	内藤　栄、西川　明彦、杉本　一樹、森本　公誠 パネラー 戸田　聡 司会 阪田　宗彦、橋本　聖圓、平岡　昇修 会場質問	鹿園雑集*	8

宗教工芸

中　国

『古代の梵鐘』と『東アジアの梵鐘』	杉山　洋	梵　鐘	19
第一回北京古鐘文化交流シンポジウム	五十川伸矢	〃	〃

日　本

鎌倉の至宝(1)覚賢塔納置品の内　銅骨蔵器　五基　浄光明寺蔵	永井　正憲	鎌　倉	101

金沢城五十間長屋石垣鍬初に係る神具机について—金沢市波自加弥神社所蔵神具机裏書の調査—	出越　茂和	研究紀要金沢城研究	4
春日神鹿御正体	久保　智康	国　　華	1332
尊号を本尊とする懸仏	山下　　立	滋賀県立安土城考古博物館紀要	14
廻国聖の道２—上野・下野を歩く—	足立　順司	静岡県埋文調査研究所紀要*	12
谷口法悦寄進、京都深草宝塔寺多宝塔内板曼荼羅について	木下　幹夫	史迹と美術	762
グラビア解説　金銅装唐組垂飾山形金具	内藤　　榮	聖　　徳	190
大会特集Ⅰ　東西交流の地域史—列島の境目・静岡—問題提起４　軍勢の東西移動と鐘・鰐口	小和田哲男	地方史研究	322
今治真光寺の密教法具	関根　俊一	帝塚山芸術文化	13
長岡京における厄神を祓う祭祀	坂東　典子	帝塚山大大学院紀要*	7
研究ノート　経塚副納品にみる造営者	寺岡　希華	〃	〃
天台宗開宗一二〇〇年記念　特別展　最澄と天台の国宝　国宝　金銅宝相華唐草文経箱	加島　　勝	東京国立博物館ニュース	675
遊行上人縁起絵に描かれた善光寺境内社の薙鎌	小柳　義男	長野県立歴史館研究紀要	12
東大寺八角燈籠の姿形と製作年代	神田　雅章	南都仏教	87
第五十九回全国大会研究発表要旨　奈良・西大寺所蔵（大安寺旧蔵）金銅透彫舎利容器について—造形的特徴と原型の存在—	酒井　元樹	美術史	161
孔雀文磬の図様とその変遷—近江の作例を中心に—	古川　史隆	美術史論集	6
金銅装笈の図様構成について—神奈川県立歴史博物館所蔵金銅装笈を中心に—	佐々木登美子	仏教芸術	284
長野県千曲市出土の木製仏塔、六角木幢について	町田　勝則	〃	287
梵鐘の音の時代的変遷に関する研究	大熊　恒靖	梵　　鐘	19
千葉県佐原市浄土寺所在の梵鐘について	池上　　悟	〃	〃
研究余録　梵鐘研究の現状と課題—国際シンポジウム「東アジアの梵鐘」に参加して—	湯川　紅美	〃	〃
隠元・黄檗に係る梵鐘の形状と文様	斉藤　善夫	〃	〃
立正大学博物館所蔵の長徳寺鐘	内田　勇樹	〃	〃
兵庫県・損保川町の金工品	鈴木　　武	〃	〃
平安時代初期の古鐘を復元	編　集　部	〃	〃
未詳の鐘と江戸鋳物師椎名伊予守吉寛	石塚　雄三	〃	〃
新収品紹介　金銅輪宝	加島　　勝	MUSEUM	605
特集・古代中世の武蔵野の鉄生産　武蔵における古代から中世の製鉄・鋳造遺跡—金井遺跡の梵鐘鋳物師を探る—	赤熊　浩一	武蔵野	344
物に執して（八五）	鈴木　皓詞	目の眼	358
福島県の経塚小考—中通り地方を中心として—	大河原　勉	立正史学	99
古代鉄製祭祀具から見た蝦夷の信仰と儀礼—錫杖・三鈷鐃・鉄鐸・錫杖状鉄製品—	井上　雅孝	〃	〃
古代相模国における祭祀遺物について	安井千栄子	〃	〃
珍皇寺鐘論—『古事談』鋳鐘説話をめぐって—	高津希和子	早稲田大学大学院文学研究科紀要	51

朝　　鮮

蔚山から来た高麗鐘—帰郷を進める会発足—	姜　　健栄	梵　　鐘	19

武具・馬具類

中　　国

戦国魏国における「県」制の成立—魏国兵器の検討を中心として—	下田　　誠	古代文化	564

日　　本

南信州の渡来系文化—古墳時代を中心として—	岡田　正彦	飯田市美術博物館研究紀要	16

鍵手文の盾—文様から見た石上神宮鉄盾の出現背景—	櫻井　久之	大阪歴史博物館研究紀要	5
『蒙古襲来絵詞』にみる竹崎季長着用大鎧—小桜萌黄返威の可能性と再現実験—	佐藤　佳代	デアルテ	22
岡山市三門周辺の古墳から出土した甲冑	藤原　郁代	天理参考館報	19
新たな国民のたから—文化庁購入文化財展—重文　色々威腹巻(大袖付)		東京国立博物館ニュース	678
方形板革綴短甲の基礎的研究(1)	古谷　毅	東京国立博物館紀要	41
天正十九年インド副王宛秀吉書簡と進物追跡考	的場　節子	日本歴史	699
特集　古墳時代　三重・古墳時代の馬文化—続・三重県出土の古墳時代馬具集成—	山中由紀子	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	15

そ　の　他

特集　馬と車		西アジア考古学	7
前2千年紀前半中央ユーラシアの円盤型鑣について	雪嶋　宏一		
馬面から見た文化交流	巽　善信		

茶　道　具

中　　国

尾張徳川家蔵帳にみる唐物染付の名称	佐藤　豊三	金鯱叢書*	33
特集　新春を寿ぐ吉祥の茶道具　中国産まれの吉祥の茶道具	長谷川祥子	淡　交	734
中国喫茶文化と茶書の系譜	高橋　忠彦	東京学芸大学紀要	57

日　　本

「茶」に関する文書リスト　重要文化財「金沢文庫文書」より	山地　純	金沢文庫研究	316
三つの紹鷗茄子—『大正名器鑑』の方法と遺産—	田中　秀隆	金鯱叢書*	33
出島のオランダ人蒐集家と彼らの茶の嗜好	マティ・フォラー　駒田　牧子訳	斎田茶文化振興財団紀要	6
今月の表紙より　裂地を楽しむ	吉岡　明美	淡　交	
表具裂			734
茶碗の仕覆			735
挽家袋			736
能装束			737
茶碗の仕覆			738
茶入れの仕覆			739
茶入の包布			740
帛紗			741
茶入の仕覆			742
茶壺の口覆			744
名物裂			745
切手鑑			746
特集　新春を寿ぐ吉祥の茶道具		〃	734
黒田家の新年のしつらえ	黒田　正名構成		
日本における「目出度き」もの	砂澤　祐子		
仮想茶会潜入記	谷　晃	〃	
13、14　稲田宗雁の利休相望茶会(其の二)(其の三)			734、735
15　有楽天満屋敷へ秀頼御成			736
16　伏見六地蔵の遠州茶会			737
17　大和小泉の片桐石州茶会			738
18　仙洞の口切茶会			739
19　金森宗和の茶料理			740
20　千宗旦隠居座敷の茶会			741
21　川上不白茶会へ中川久貞様奥方の御成			742
22　松平不昧の江戸下屋敷茶会			744
23　彦根藩士・宇都木宗洗の茶会			745
24　野村得庵の東山大茶会			746
好み物の歴史	杉山　左近	〃	
1、2　黒手桶水指(一)(二)			734、735
3　「好み」ということば			736

4　宗旦文書にみる「好み」			737
5　好み物の二つの側面			738
6　庸軒好みの「凡鳥棗」			739
7　利休形と好み物			740
8　駒留棗			741
9　好み物の確立			742
特集　華麗なる再興九谷　茶会記にみる九谷焼	北　春千代	〃	735
特集　桜のころに名品の鑑賞—伝世品にみる桜の姿	小田　達也	〃	737
特集　柄杓のはなし柄杓のルーツをたどる	水口　千里	〃	738
特集　花入の魅力	菱本　芳明	〃	741
数寄のデザイン—利休・織部・遠州・不昧—		〃	743
巻頭に寄せて　利休形という「真理」	竹内　順一		
意匠・デザイン、好み、形	杉山　左近		
利休のデザイン 利休の生涯	矢部誠一郎		
利休のデザイン 利休の美意識	清水　実		
利休のデザイン 利休の茶道具	〃		
利休のデザイン 利休の功績	筒井　紘一		
利休のデザイン 千利休の年譜			
織部のデザイン 織部の生涯	矢部誠一郎		
織部のデザイン 織部の美意識	清水　実		
織部のデザイン 織部の茶道具	〃		
織部のデザイン 織部の功績	筒井　紘一		
織部のデザイン 古田織部の年譜			
遠州のデザイン 遠州の生涯	矢部誠一郎		
遠州のデザイン 遠州の美意識	清水　実		
遠州のデザイン 遠州の茶道具	〃		
遠州のデザイン 遠州の功績	筒井　紘一		
遠州のデザイン 小堀遠州の年譜			
不昧のデザイン 不昧の生涯	矢部誠一郎		
不昧のデザイン 不昧の美意識	清水　実		
不昧のデザイン 不昧の茶道具	〃		
不昧のデザイン 不昧の功績	筒井　紘一		
不昧のデザイン 松平不昧の年譜			
特集　没後三百五十年　金森宗和を偲ぶ		〃	746
金森宗和の基礎知識			
座談会「姫宗和」を考える	日向　進 岡　佳子 池田　瓢阿 谷　晃		
中日茶文化交流論—日本茶道成立のメカニズムについて—	滕　軍	野村美術館研究紀要	15
小特集　利休再考		〃	〃
侘数寄と千利休	神津　朝夫		
『利休茶会記』の再検討—『利休百会記』と『利休茶湯記』—	影山　純夫		
利休神話の形成	谷　晃		
翻刻　野村得庵茶会記(七)	野村美術館学芸部	〃	〃
特集　茶杓と竹の茶道具		目の眼	355
茶杓の造形			
人のこころを映す、千変万化の道具たち	池田 瓢阿、長谷川祥子対談		
小特集2　茶の湯の春		〃	357

装身具・化粧具

中　国

研究ノート　中国遼代の帯金具～館蔵資料をめぐって～	小浜　成	大阪府立近つ飛鳥博物館館報	10

日　本

近世都市・伊丹郷町遺跡における化粧道具の変遷	川口　宏海	大手前大学社会文化学部論集	6
資料　近藤芳樹著『冠服考』—翻刻と解題—	中澤　伸弘	皇学館論叢	229

研究ノート　九州における縄文時代の二つの耳飾り—九州の玦状耳飾と耳栓について—	新東　晃一	縄文の森から	4
根付の意匠	吉田ゆか里	目の眼	
(二七)日荷上人			353
(二八)足取り			355
(二九)白鬚明神と龍神			357
(三〇)白鼠と鯛			359
(三一)蟬			361
(三二)珊瑚採り			363

文房具

中国

連載　文房四宝の話	北畠　雙耳 北畠　五鼎	〃	
48　堆黒倶梨紋筆			352
49　暁艶寒香墨			353
50最終回　卵様硯			354

朝鮮

辰砂双鶴人物文水滴	渡邊　祥午	陶説	639

陶磁

東アジア

陶磁貿易における太平洋ルート—アジアとラテン・アメリカを結ぶ東洋陶磁の流れ—	宮田絵津子 矢島　律子	鹿島美術財団年報別冊	23

中国

江西景徳鎮明清御窯遺址における二〇〇四年の発掘	北京大学考古文博学院 江西省文物考古研究所 景徳鎮市陶瓷考古研究所 金沢　陽訳註	出光美術館館報	134
表紙図版解説　青磁鳳凰耳花生(瓶)	金沢　陽	〃	135
三件の国宝青磁—「青磁の美—秘色の探求—」展予習—	〃	〃	〃
明代景徳鎮御器廠生産の変質過程について	〃	出光美術館研究紀要	11
康熙年間の琺瑯彩における「満」「漢」「洋」の表象—漢人高官への下賜品としての側面—	柏木　麻里	鹿島美術財団年報別冊	23
安徽省繁昌県柯家冲窯跡—五代北宋青白磁窯—	佐々木達夫	金沢大学考古学紀要	28
永楽宣徳様式の青花磁器とイスラム金属器に関する一考察	杉谷香代子	芸術学研究(筑波)	10
特輯　石橋コレクション　古美術篇　飛青磁花瓶	今井　敦	国華	1333
中国青瓷ものがたり26—東晋の青瓷1—	森　達也	陶説	634
陶器が語る来世の理想郷「中国古代の暮らしと夢—建築・人・動物」展	矢島　律子 森　達也	〃	635
豆彩束蓮文水指　景徳鎮窯「大清雍正年製」銘	森　孝一	〃	637
広田松繁氏とそのコレクション	林屋　晴三	〃	〃
重要文化財　青磁下蕪瓶	金沢　陽	〃	640
「青磁の美—秘色の探求—」展より	〃	〃	〃
粉彩菊蝶図盤	長谷川祥子	〃	643
雍正帝と清朝陶磁	中澤富士雄	〃	〃
静嘉堂の清朝陶磁—その蒐集の経緯について—	長谷川祥子	〃	〃
重要美術品　三彩貼花文鳳首水注	中澤富士雄	〃	644
紅緑彩断想	長谷部楽爾	〃	〃
想青磁	佐藤サアラ	〃	〃
泉屋博古館分館展覧会「中国陶磁　美を鑑るこころ」展によせて		〃	〃
作品解説	中澤富士雄 矢島　律子		
明代官窯における成化闘彩の位置—「天」字銘罐上に見られる龍文様からの考察—	佐藤サアラ	東洋陶磁	35
資料紹介　首里城跡二階殿地区出土の中国・ベトナム陶磁	瀬戸　哲也	〃	〃
明代晩期の宋代官窯青磁鑑賞と「碎器」の流行	謝　明良 矢島　律子訳	美術研究	389
平山郁夫シルクロード美術館コレクション㉓女子馬球俑	編集部 平山郁夫シルクロード美術館学芸部	美術の窓	277
小特集　中国、アジアを虜にした秘色		目の眼	360

小特集１　磁州窯の真骨頂を味わう		〃	361
小特集１　清朝歴代皇帝がめざした美の極北		〃	362
SPOT２　よみがえる「史記」の世界		〃	〃
特集　この秋冬、４つの展覧会でふり返る　日本人が愛した中国陶磁　中国陶磁を鑑る―その蒐集の軌跡	川島　公之	〃	363
『格古要論　古窯器論』に見る中国古陶磁鑑賞の成立	矢島　律子	大和文華	115
歴史の証人　写真による収蔵品紹介　貿易陶磁器コレクション	小野　正敏	歴　博	135

日　本

巻頭特集　眼のちから　目利きという創造　千利休と長次郎	樂吉左衛門談	アートトップ	212
黄釉草葉文壺(灰釉画花文広口壺)	藤澤　良祐	愛知県史研究	10
若杉窯染付吉祥文様について	北澤　寛	石川県立美術館紀要	16
吉田屋の色絵磁器―再興九谷の精華―	荒川　正明	出光美術館館報	134
伊予近世窯跡出土の青磁皿	石岡ひとみ	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	11
研究ノート　古代窯道具の基礎的検討―愛知県域を対象として―	市川　創	大阪歴史博物館研究紀要	5
研究随想　京焼の「陶法傳書」―『陶工必用』・『陶磁製方』・『陶器指南』―	河原　正彦	学　叢	28
佐賀県有田市所在の朝鮮系窯址についての考察―朝鮮前期白磁との影響関聯を中心に―	金　寅圭	鹿島美術財団年報別冊	23
特集　環シナ海世界と古琉球　琉球における中世貿易陶磁の様相	池田　榮史	九州史学	144
筑前国焼高取焼の様式変化について	副島　邦弘	九州歴史資料館研究論集	31
特別展示の開催「桃山文化の陶磁器～つちの中から～」		京都市考古資料館年報	H15・16年度
研究ノート　尾張徳川家の幕末期における什宝(収蔵品)の種類と数量について(二)―陶磁器・硝子器編―	山本　泰一	金鯱叢書*	33
戦国期の都市消費を支えた陶器生産地の対応　備前焼を例に	小野　正敏	国立歴史民俗博物館研究報告	127
特輯　香雪美術館　尾形光琳・乾山合作銹絵小禽図角皿	柏木　麻里	国　華	1324
初期信楽鉢の変遷について	松澤　修	滋賀県文化財保護協会紀要	19
第二十五回　史学会大会報告		史　友	38
南関東における東海産無釉陶器の流通状況	沖元　道		
有田焼～磁器創始期とその後の発展～	黒田　智章		
渥美焼の消費地の名品―渥美焼の流通―	小野田勝一	田原の文化	32
特集　華麗なる再興九谷		淡　交	735
再興九谷とは	田嶋　正和		
永楽和全と九谷焼	中矢　進一		
特集　茶の湯の造形楽茶碗を知る	赤沼　多佳	〃	742
特集　京焼の流れ―黎明期から乾山まで―	尾野　善裕	〃	744
動向　文化財保存　菊川城館跡群国指定記念シンポジウム『陶磁器から見る静岡県の中世社会～東でもない西でもない～』に参加して	望月　保宏	地方史研究	320
大会特集Ⅰ　東西交流の地域史―列島の境目・静岡―問題提起５　中世考古学の成果から見る静岡―東でも西でもない―	池谷　初恵	〃	322
特集陳列「平成17年度新収品」色絵荒磯文鉢	伊藤　嘉章	東京国立博物館ニュース	677
在外日本関係史料研究　オランダ東インド会社日本商館文書における肥前陶磁貿易史料―1650～70年代の医療製品取引に関する史料研究の再考―	櫻庭　美咲	東京大学史料編纂所研究紀要	16

尾張藩市谷邸で使用された陶磁器・土器の様相（Ⅰ）—陶磁器碗類素描—	内野　正	東京都埋蔵文化財センター研究論集	22
兵庫で焼かれた陶磁器		陶　説	
（8）須磨焼について	青木　重雄		634
（9）龍野藩窯　野田焼—寛政九年～明治四三年—	苅尾　七彦		635
(10)播州龍野の焼きもの	〃		636
(11)播州龍野周辺の焼きもの	〃		637
(12)新宮焼について	村上　泰樹		638
(13)播州相生のやきもの	那波　鳳翔		639
(14)人丸焼とほのぼの焼	稲原　昭嘉		640
(17)播州赤穂焼	苅尾　七彦		643
(18)阪神とその周辺の焼きもの	〃		644
(19)神戸の焼きもの	〃		645
叩き朝鮮唐津徳利	森　孝一	〃	636
斑唐津ぐい呑			
最上位稲荷さんと唐人町御茶碗窯	中里　逢庵	〃	〃
古唐津陶片考	岡本　作礼	〃	〃
古唐津百選—田中丸と出光　二大コレクションの出会い	荒川　正明	〃	〃
座談会・古唐津を語る（上）（下）	中里　逢庵 中里　重利 中里　紀元 盛　峰雄 陣内　康光 梶原　靖元 中里太郎右衛門	〃	636、639
多久高麗谷窯と類似の古唐津諸窯—多久高麗谷窯の陶片調査より—	中里　逢庵	〃	636
古唐津の謎と絵唐津の世界	中里　紀元	〃	
（一）—古唐津研究の問題提起—			〃
（二）—古記録のなかの唐津陶—			639
（三）—始原期古窯群の絵付—			644
古唐津の風景・考察	梶原　靖元	〃	636
奥高麗をめぐる謎（その十）『月とイノシシと盗人と』—唐津の古窯跡を訪ねて—	葛城三千子	〃	〃
巡回展　愛知県陶磁資料館コレクション陶磁のこま犬百面相	神崎かず子	〃	637
三井記念美術館企画展「京焼の名工—永楽保全・和全—」より～確かな箱書でたどる作風と時代背景～	清水　実	〃	638
木村定三コレクションの陶磁　茶陶を中心として	仲野　泰裕	〃	〃
美濃古陶と中国・東南アジアのやきもの展（桃山時代から江戸時代前期）	河合　竹彦	〃	〃
唐津筒盃　銘「虫歯」	森　孝一	〃	639
骨董誕生展によせて	矢島　新	〃	〃
帰化陶工の実像について—山鹿上野焼陶工の事例を中心に—	福原　透	〃	〃
日本陶磁協会創立六十周年記念講演「楽茶碗について」	樂吉左衛門	〃	641
日本陶磁協会創立六十周年記念茶会および特別展観「楽茶碗」より	森　孝一	〃	〃
鍋島最盛期は延宝時代（一）～（三）	小木　一良	〃	641～643
重要文化財　色絵桃文大皿	大橋　康二	〃	642
鍋島三題	工藤　吉郎	〃	〃
鍋島の思い出　閑叟公と鍋島	大塚　清吾	〃	〃
鍋島展—将軍家への献上　鍋島—	大橋　康二	〃	〃
二彩獅子像　三彩獅子香炉	赤沼　多佳	〃	643
三井記念美術館「赤と黒の芸術　楽茶碗」展より	〃	〃	〃
色絵花卉南天図手焙	尾野　善裕	〃	644
サロンとしての法蔵禅寺—乾山研究の場として	西川　秀敏	〃	〃
京焼の技術系譜—特別展覧会「京焼」によせて—	尾野　善裕	〃	〃

「京焼」考	岡　佳子	〃	644
細川忠利のお庭焼、牧崎窯について	福原　透	〃	〃
八代市立博物館　未来の森ミュージアム肥後の磁器―その歴史と系譜―		〃	〃
丹波大壺	中西　薫	〃	645
ロンドン九谷焼見聞記	中矢　進一	〃	〃
吉田屋展図録に対する私見	田嶋　正和	〃	〃
「古九谷論争」と「古九谷の歴史性」	正和　久佳	〃	〃
南海から出土する古唐津―三島唐津と二彩唐津―	中里　逢庵	〃	〃
欽古堂亀祐の型物成形法をめぐる諸問題―「王地山焼」開窯期の検討を通して―	橘　倫子	東洋陶磁	35
研究ノート　島津家文書にみる薩摩焼	松村真希子	〃	〃
学会彙報　二〇〇四年の陶磁研究の回顧		〃	〃
東日本	平田　禎文		
西日本	小林　仁		
学会彙報　二〇〇五年古陶瓷科学技術国際討論会	佐々木達夫	〃	〃
朝鮮へ輸出された江戸時代の肥前・対州磁器	家田　淳一	鍋島報效会研究助成研究報告書	2
窯道具から見た我国の施釉陶器の起源	巽　淳一郎	奈良文化財研究所紀要	2006
日本美術のススメ　今月の逸品　重要文化財「色絵桃文大皿」	大橋　康二	美術の窓	279
丹波焼における中核窯と周辺窯	長谷川　眞	兵庫陶芸美術館研究紀要	1
持ち運ばれた器―灰釉陶器―	直井　雅尚	平出博物館ノート	20
古陶随伴録		目の眼	
31　ユニークな名古屋のやきもの　豊楽焼　三、豊楽焼三代	三好　一		352
32　ユニークな名古屋のやきもの　豊楽焼　四、四代以降～八代迄	〃		353
33　ユニークな名古屋のやきもの　正木焼	〃		354
34　名古屋の風流人のやきもの　正木父子、正木(香西)文京と昇庵	〃		355
35　趣味のやきもの造りから陶磁器製造会社へ　市江鳳造・村瀬美香と不二見焼	〃		356
38　特別編　荒木集成館と名古屋のやきもの	水野　知枝		359
39　四国　土佐のやきもの　尾土焼	三好　一		360
40　四国　土佐のやきもの　尾土焼２　久野正伯旧跡、大阪高津を訪ねて	〃		361
42　大阪のやきもの　吉向焼　初代～三代について	〃		363
特集　吉田屋～古九谷再興に挑んだ仕事師たち～天・地・人の出逢いで生まれた名陶	編集部	〃	353
特集　百花繚乱　伊万里のうつわ　私と伊万里	杉山　克己	〃	356
小特集　永楽焼の華と艶～永楽保全・和全～		〃	357
特集　目の眼と古美術の30年　古伊万里研究の30年	大橋　康二	〃	360
特集　鍋島焼最前線～将軍家と鍋島藩との関係からみる～解説　将軍家への献上　鍋島―日本磁器の最高峰―５つの画期で読み解く	鈴木由紀夫	〃	362
SPOT１　光悦と楽家のやきもの交友		〃	〃
SPOT２　九州古陶磁を一望に		〃	363
研究ノート　万古焼の文様について	岡村奉一郎	四日市市立博物館研究紀要	13
資料紹介　千葉県佐原市光福寺所蔵の常滑焼大甕	村山　卓	立正史学	99
朝　鮮			
朝鮮半島出土の高麗・朝鮮王朝・中国陶磁―2006年新安沈没船見学と関連陶磁器について―	佐々木達夫 吉良　文男 井上喜久男 佐々木花江 野上　建紀 中野　雄二 小川　光彦	金沢大学考古学紀要	28

韓国全羅道出土青磁の胎土に含まれるジルコンを用いた産地推定の試み	小瀬戸恵美	国立歴史民俗博物館研究報告	130
粉青沙器鉄絵唐草文俵壺	李　喜寛	陶　説	638
湖林博物館所蔵　李朝陶磁の名品—白磁と粉青沙器—	中村祐美子	〃	〃
朝鮮時代の軟質白磁に関する基礎研究—様式と科学分析を視座として—	姜　景仁 張　起薫 片山　まび 権　素玄	東洋陶磁	35
小特集　李朝が尊んだ白、日本人が愛した白	井上　英明	目の眼	358
SPOT　梅瓶の優美なフォルムに酔いしれる		〃	361

その他

スペイン時代のマニラ出土磁器	野上　建紀 Wilfredo P. Ronquillo Alfredo B. Orogo Nida T. Cuevas 田中　和彦	金沢大学考古学紀要	28
ジュルファール出土陶磁器の重量	佐々木達夫	金沢大学文学部論集	26
特集　文物逍遥　かつて世界は、やきもので繋がっていた—		目の眼	361

土　器

中　国

中国新石器時代における甑の出現と展開—一体型甑と結合型甑—	槙林　啓介	古代文化	566

日　本

平成十六年度博士論文(課程)要旨　弥生時代の土器と社会	長友(中村)朋子	大阪大学大学院文学研究科紀要	46
鍵手文の形成と展開—久宝寺遺跡出土の手焙形土器を手掛りとして—	櫻井　久之	大阪文化財研究	29
讃良郡条里遺跡・小路遺跡出土の墨描人面土器について	青柳　佳奈	〃	〃
三宅西遺跡出土縄文時代後期中葉の北白川上層式土器について	清水　梨代	〃	30
特集　シンポジウム「赤松氏と播磨の城館」　戦国期西播磨の土器様相—御着・坂本・置塩—	中井　淳史	大手前大学史学研究所紀要	6
播磨弥生土器編年研究史序論	森岡　秀人 荒木　幸治	〃	〃
高松平野における弥生時代後期の土器編年	乗松　真也	香川県歴史博物館調査研究報告	2
神奈川県における縄文時代文化の変遷Ⅷ—後期初頭期　称名寺式土器文化期の様相　その1—主要遺跡の集成・一括出土事例—	縄文時代研究プロジェクトチーム	かながわの考古学	11
宮ノ台式土器の研究(5)	弥生時代研究プロジェクトチーム	〃	〃
考古学の先駆者　赤星直忠博士の軌跡(3)—通称「赤星ノート」の古墳時代資料の紹介—	古墳時代研究プロジェクトチーム	〃	〃
神奈川県内の「やぐら」集成(4)—「やぐら」出土の土器・陶磁器類について—	中世研究プロジェクトチーム	〃	〃
長野県富士見町の墨書・刻書土器	小松　隆史	金沢大学考古学紀要	28
小島コレクションについて—寄贈考古資料の紹介—	吉澤　宏 品川　欣也 浜田　晋介	川崎市市民ミュージアム紀要	18
川崎市市民ミュージアム所蔵の東高根遺跡発掘調査資料について	小坂　延仁	〃	〃
焼成前後穿孔による土器可飾法の研究	角南聡一郎	元興寺文化財研究所研究報告	2005
古代日本と朝鮮(韓)半島の交流—4～5世紀を中心として—	申　敬澈	北九州自然史歴史博報告*	3
資料紹介　福岡県北九州市八幡西区永犬丸貝塚出土遺物の紹介(1)—竹中岩夫氏収集資料の紹介(6)—	敦賀啓一郎	〃	〃
資料紹介　塚崎東畑遺跡出土丹塗磨研土器の墨書状痕跡について	酒井　芳司	九州歴史資料館研究論集	31
赤彩浅鉢について—嬬恋村今井東平遺跡の資料から—	松島　榮一 山口　逸弘	群馬県埋文調査団紀要*	24

渋川市赤城町所在・滝沢天神遺跡２号住居出土古式土師器の位置づけ―群馬県渋川地域の古式土師器の編年作業を通して―	深澤　敦仁 小林　　修	〃	〃
特集　七つの謎でめぐる飛鳥　蘇我氏と渡来人　信仰とテクノロジーの最先端	森　浩一、今尾　文昭解説	芸術新潮	681
埼玉中の山古墳出土の有孔平底壺系円筒形土器	太田　博之	考古学雑誌	90-2
縄文前期末における北陸集団の北上と土器系統の動き（上）（下）	今村　啓爾	〃	90-3、90-4
縄文土器の文様構造	石井　　匠	国学院雑誌	1191
弥生時代中期の実年代　長崎県原の辻遺跡出土資料を中心に	藤尾慎一郎 今村　峯雄	国立歴史民俗博物館研究報告	133
古代集落における文字の伝播と展開―茨城県つくば市中原遺跡出土文字資料の検討―	石崎　高臣	古代文化	564
北陸の弥生深鍋の作り分けと使い分け	小林　正史	〃	566
山陰地方における墳丘墓出土土器の検討	重松　辰治	古代文化研究	14
縄文時代前期の土器編年～山添遺跡・鳥浜貝塚・彦崎貝塚出土資料からみえるもの～	小濱　　学	斎宮歴史博物館研究紀要	15
伊勢国における古代土器編年のための基礎的研究	水橋　公恵	〃	〃
古墳時代西日本を中心とする製塩土器の用途について―東海地方内陸部出土製塩土器考察の準備作業として―	大林　　元	静岡県埋文調査研究所紀要*	12
縄文時代後期・北久根山式土器の再評価（下）	澤下　孝信	下関市立考古博物館研究紀要	10
研究ノート　土器胎土の鉱物を求めて―土器製作推定地のための基礎的研究（２）―	調査第二課第二調査係	縄文の森から	4
資料集成　鹿児島県出土土師器の法量データベース（２）	調査第一課第一調査係	〃	〃
平安時代宮廷社会の〈土器〉	吉江　　崇	史　　林	460
安行２式・安行３a式の成り立ちと地域性に関する一視点	宮内　慶介	駿台史学	127
大会特集Ⅱ　東西交流の地域史―列島の境目・静岡―問題提起18　島嶼からの視線―伊豆諸島の考古資料に見る交流―	谷口　　榮	地方史研究	323
特集　柏崎窯跡群古墳時代須恵器窯の研究		筑波大学先史学・考古学研究	17
調査報告　柏崎窯跡群発掘調査報告―古墳時代須恵器窯の調査―	渥美　賢吾 小野寿美子 中尾麻由美		
調査報告　柏崎１号窯の考古地磁気学的研究	広岡　公夫 越前　国恭 渥美　賢吾		
調査報告　柏崎１号窯出土炭化材の樹種	能城　修一		
調査報告　柏崎１号窯出土炭化木試料の放射性炭素年代測定	小元久仁夫		
調査報告　柏崎１号窯出土須恵器の胎土分析	松本　建速		
金属器模倣須恵器の出現とその意義	桃崎　祐輔		
古墳時代須恵器窯の構造とその築窯技術の系譜―いわゆる「溝付窯」をめぐって―	渥美　賢吾		
東京大学総合研究博物館　人類先史部門所蔵　陸平貝塚出土標本	初鹿野博之 山崎　真治 諏訪　　元	東大総研博標本資料報告*	67
研究ノート　栃木県出土の古代製塩土器について	津野　　仁	とちぎ埋文センター紀要*	14
土製円形層塔についての基礎的検討	池田　敏宏	〃	〃
富山県における石組炉に関する一考察	西川　麻野	富山考古学研究	9
特殊な胎土をもつ須恵器について―任海宮田遺跡B地区の出土傾向から―	武田健次郎	〃	〃
大野中遺跡A地区における古代の土器組成について	中村　亮仁	〃	〃
富山県における古代末・中世の回転台土師器（資料編）	森　　隆	〃	〃

研究ノート　愛知県馬見塚遺跡F地点出土の西日本系浅鉢の再検討　その1	松本　泰典	南山考人	34
特集　新潟県中越大震災　5　被災資料からの発見(1)破損資料からの発見と中間報告	宮尾　亨	新潟県立歴史博物館研究紀要	8
口絵　装飾付台付壺	森田　稔	日本歴史	701
特集　韓国・日本の考古学の最新情報　熊本県大矢遺跡の籾圧痕土器と縄文農耕	山崎　純男	東アジアの古代文化	126
修了生論文　縄文土器の彫刻的造形はどこからくるのか	鈴木　希帆	美史研ジャーナル	3
平出三類A土器と唐草文系土器	島田　哲男	平出博物館ノート	20
研究ノート　古墳時代中期の区画溝と高杯—南橋遺跡第二四地点の調査から—	牛山　英昭	文化財研究紀要	19
「表裏縄文土器」の終末に関する地域的様相—神奈川県馬の背山遺跡・平根山遺跡、湘南地区出土資料の分析から—	鈴木　啓介	法政考古学	32
畿内産土師器の模倣をめぐって	鶴間　正昭	〃	〃
縄文文化の彩色土器とその技術—北海道における事例を中心に—	小林　幸雄	北海道開拓記念館研究紀要	34
ヨモツヘグイ再考—古墳における飲食と調理の表象としての土器—	寺前　直人	待兼山論叢	40
特集　古墳時代　古墳時代前・中期における伊勢の土器相	伊藤　裕偉	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	15
尾崎遺跡出土の弥生時代から古墳時代前期の土器—尾崎遺跡発掘調査報告書　補遺—	磯谷　祐子	美濃加茂市民ミュージアム紀要	5
資料紹介　本館所蔵の「天盃」について	籾木　郁朗 永友　良典 堀田　孝博	宮崎県総合博物館研究紀要	27
宮崎県日南市風田に所在する狐塚古墳の出土遺物	東　憲章 岡本　武憲 柄本　久子	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	2
資料紹介　板付遺跡環濠第11トレンチ出土土器の報告	所　一男	明治大学博物館研究報告	11
山形県における複式炉の様相	菅原　哲文	山形県埋蔵文化財センター研究紀要	4
複式炉の復元について—鮭川村小反遺跡の竪穴住居STIの複式炉の復元—	水戸部秀樹	〃	〃
山形県天童市宮田遺跡から採集された縄文時代晩期前葉の注口土器	小林　圭一	〃	〃
西日本沈線文系土器集成Ⅰ	幸泉　満夫	山口県立山口博物館研究報告	32
山梨県出土の人面・土偶装飾付深鉢形土器	渡辺　誠	山梨県考古博埋文センター紀要*	22
山梨県出土の畿内系叩き甕に関する覚書—甲府市塩部遺跡の調査から—	小林　健二	〃	〃
江戸とその周辺部の中・近世移行期のかわらけ	永越　信吾	立正史学	99
特集　土器の始まりのころ		歴　博	139
縄文時代の始まりを探る	小林　謙一		
縄文時代の始まりを探る—西日本における上黒岩遺跡の位置—	遠部　慎		
歴史の証人　写真による収蔵品紹介　上黒岩の土器と石器—共同研究の成果から—	小林　謙一	〃	〃
和歌山市三葛採集の考古資料について—名草山西麓の新発見複合遺跡の紹介—	前田　敬彦	和歌山市立博物館研究紀要	20
千葉県印旛郡印旛村戸ノ内貝塚第1次発掘調査概報	高橋龍三郎 小高　敬寛 馬場　匡浩 井出　浩正 矢澤　健 高橋　淳 菅原　広史	早稲田大学大学院文学研究科紀要	51
阿玉台Ⅱ式土器における文様要素の複列化に関する予察	井出　浩正	〃	〃
朝　鮮			
近畿地方出土三韓・三国系土器の再検討	寺井　誠	大阪歴史博物館研究紀要	5
房総における白鳳時代の新羅系土器—日本列島産の可能性を探って—	三辻　利一 松本　太郎 松田　礼子	考古学雑誌	90-1
平城京出土の新羅土器	千田　剛道	奈良文化財研究所紀要	2006

国際研究集会の研究報告　泗沘期百済土器の生産と流通	金　鍾萬 重見　泰　訳	鹿園雑集*	8

その他

短報　テル・ゼロール出土のランプと葬送儀礼	巽　善信	オリエント	48-2
研究発表要旨　西アジアにおける最初期の土器の展開	小高　敬寛	〃	〃
アムール下流域の青銅器時代再考―サルゴリ遺跡出土土器の検討―	木山　克彦	古代文化	566
イスラーム時代の土製箱型香炉	川床　睦夫	シルクロード学研究	25
イスラーム時代の遺跡から出土した直方体香炉とその他の香炉	ラナ・ミカティ、ドナルド・ウィットコム 水野　恵子　訳	〃	〃
古代南アラビアの香炉と香料―博物館所蔵品調査から―	徳永　里砂	〃	〃
資料考察　天理参考館所蔵ミケーネ土器	飯降　美子	天理参考館報	19
東京大学総合研究博物館　考古美術(西アジア)部門所蔵考古学資料目録　イラン、デーラマン古墓の土器	西秋　良宏 三國　博子 小川やよい 有松　唯	東大総研博標本資料報告*	63
資料紹介　北イラク、テル・アシク遺跡で採集された後期新石器時代の彩文土器片について	近藤　康久	西アジア考古学	7
マラヤ・グラチャ遺跡新石器時代の土器	川名　広文	比較文化論叢	17
マラヤ新石器時代テンクレンブ遺跡の土器	〃	〃	18

瓦

中国

新収品紹介　饕餮文軒丸瓦	谷　豊信	MUSEUM	603

日本

常陸における高句麗系瓦の受容について―長者屋敷遺跡(薬谷廃寺跡)出土瓦の分析から―	黒澤　彰哉	茨城県立歴史館報	33
柳之御所遺跡出土瓦についての再検討～主に瓦の年代と使用方法について～	鎌田　勉	岩手県立博物館研究報告	23
琉球近世瓦関係文献資料の集成と諸問題の検証～琉球近世瓦の研究～	石井　龍太	よのつぢ*	2
吉田良介コレクションについての覚書（Ⅰ）	村上　久和	大分県立歴史博物館研究紀要	7
瓦からみた保良宮―石山国分遺跡の調査から―	青山　均	大津市歴史博物館研究紀要	12
青谷遺跡出土瓦の再整理Ⅰ	安村　俊史	柏原市立歴史資料館館報	18
伊勢国府跡と大角遺跡における重圏文軒丸瓦	新田　剛	考古学雑誌	90-3
古瓦調査ノート―柳田コレクションの整理より―	富山　直人	神戸市立博物館研究紀要	22
安土城跡出土軒平瓦・平瓦の分類について	仲川　靖	滋賀県安土城郭調査研究所研究紀要	12
近江の法隆寺式軒瓦	北村　圭弘	滋賀県文化財保護協会紀要	19
鬼瓦百選(四十)～(四十九)	小林　章男	史迹と美術	761～770
瓦―悠久の時を積んで―	藤井　忠	田原の文化	32
天狗沢系軒丸瓦の諸問題	甲斐　弓子	帝塚山大大学院紀要*	7
資料紹介		〃	〃
帝塚山大学大学院所蔵の瓦	梁　淙鉉		
帝塚山大学大学院所蔵の瓦	手島芙実子		
帝塚山大学大学院所蔵の８世紀の瓦	金政　雄介		
法隆寺の瓦(２)	太田　三喜	天理参考館報	19
古代伊勢における官営瓦工房	梶原　義実	名古屋大学文学部研究論集	155
第一次大極殿の瓦の製作―瓦の色と表面調整方法―	大林　潤	奈良文化財研究所紀要	2006

金工

中国

中世渡来銭にみられる所謂星形孔銭の検討―北宋の貨幣政策と銭貨化学組成の変動―	清水　慎也	埼玉県埋文調査団紀要*	21

日　本

律令期の陸奥国官営施設における鉄器獲得方法—城柵・官衙出土鉄器の解析を通して—	関　博充 女鹿　潤哉 赤沼　英男 佐々木　整	岩手県立博物館研究報告	23
盛岡藩御釜師　小泉仁左衛門家の系譜について　付　小泉仁左衛門家文書	齋藤　里香 時田　里志	〃	〃
資料紹介　羽間家旧蔵「古銅戎器花生」について	内藤　直子	大阪歴史博物館研究紀要	5
豊前地域出土銅鉾の材質分析	加藤　和歳	九州歴史資料館研究論集	31
考古基準資料調査		九州歴史資料館年報	H17年度
古代上野国群馬郡有馬郷の鉄生産	笹澤　泰史	群馬県埋文調査団紀要*	24
弥生時代と鉄器	春成　秀爾	国立歴史民俗博物館研究報告	133
金銅四鐶壺の発見—関連史料の紹介—	時枝　務	史迹と美術	767
口絵　銀製鍍金狩猟文小壺	吉澤　悟	日本歴史	696
特集・古代中世の武蔵野の鉄生産		武蔵野	344
南武蔵の古代鍛冶関連遺跡と鉄器生産	松崎　元樹		
古代榛沢郡の鉄生産	鳥羽　政之		
伊奈町大山遺跡の発掘調査	栗岡　潤		
ふじみ野市大井の東台製鉄遺跡	高崎　直成		
横浜市域の古代製鉄関連遺構	平野　卓治	横浜市歴史博物館調査研究報告	2
正倉院学術シンポジウム　黄銅合子の模造で得た新知見—正倉院宝物模造の意義—	西川　明彦	鹿園雑集*	8

朝鮮・その他

韓国における製鉄遺跡研究の現状と課題	角田　徳幸	古代文化研究	14
平山郁夫シルクロード美術館コレクション	編集部 平山郁夫シルクロード美術館学芸部	美術の窓	
⑰銀製山羊装飾鉢			270
㉑鍍金銀製水差			275
㉕アレクサンドロス３世（前336－326）金貨と銀貨			279
MIHO MUSEUM所蔵“古代バクトリア遺宝”の銀器について１	稲垣　肇	MIHO MUSEUM研究紀要	6

鏡

中　国

館蔵資料の紹介	藤永　正明	大阪府立近つ飛鳥博物館館報	10
三角縁九神三獣鏡の新出資料	西川　寿勝 佐々木健太郎	大阪文化財研究	30
建安廿二年重列神獣鏡の製作について	上野　祥史	泉屋博古館紀要	22
特集　古代をめぐる諸問題　鉛同位体比から見て三角縁神獣鏡は非魏鏡—副葬期で鉛が変る奇妙な舶載鏡群と関連して—	新井　宏	東アジアの古代文化	129
第五十九回全国大会研究発表要旨　三段式神仙鏡の地域的源流と図像解釈の再検討—四川出土作例をもとにして—	楢山　満照	美術史	161
大和文華館蔵瑞獣双鳥六稜鏡について	杉山　洋	大和文華	114
旧奈良歴史教室所蔵海獣葡萄鏡について	服部　敦子	〃	〃
大和文華館所蔵　銅製貼金霊獣唐草文方鏡に関する一考察	瀧　朝子	〃	〃

日　本

三角縁神獣鏡の製作技法について—同范鏡番号37鏡群の場合—	藤丸詔八郎	北九州自然史歴史博報告*	3
和鏡にみえるもの—神戸市立博物館所蔵の中世和鏡の検討—	池田　毅	神戸市立博物館研究紀要	22
三角縁神獣鏡の出土した卯内尺古墳	河野　一隆	東風西声*	2
所謂、卑弥呼の鏡とされる『陳是紀年鏡』銘文の釈読（上）（下）	光武　英樹	東アジアの古代文化	126、127
文学のひろば　懸鏡	森　正人	文　学*	7-3
表紙解説　福岡県平原方形周溝墓出土品	石橋　茂登	文化財*	513

唐式鏡にみる舶載と国産	中川　あや	大和文華	114
上方作系浮彫式獣帯鏡の基礎的研究	山田　俊輔	早大會津八一記念博紀要*	7

青　銅　器

中　　国

館蔵中国青銅器実測図・拓本選	徐　　天進	出光美術館館報	
(3)饕餮文斝　一対			134
(4)饕餮文瓿			135
(5)饕餮文鼎			136
(6)饕餮文尊			137
三角援青銅戈の雲南への伝播と変容　日本青銅戈との類似的要素の比較を含めて	印　　群	国立歴史民俗博物館研究報告	130
中国の青銅器における塗漆と彩色について	中野　　徹	古文化研究	6
西周王権と王統譜	武者　　章	史　　学	75-1
第二十五回　史学会大会報告　西周青銅器副葬配置研究	田畑　　潤	史　　友	38
中国戦国～漢代における青銅製品へのメッキ—蛍光X線分析から—	小田木治太郎 植田　直見	天理参考館報	19

そ　の　他

特集　馬と車　伝チョガ・ザンビル出土の青銅製輪縁及び轂カヴァーについて	長谷川敦章	西アジア考古学	7

刀剣・刀装・槍

日　　本

二〇〇五年度九州史学研究会大会公開講演・研究発表要旨 中世武家社会における刀剣の贈答—在銘古刀ブームの成立過程—	吉原　弘道	九州史学	145
古墳出土鉄剣の外装とその変遷	岩本　　崇	考古学雑誌	90-4
出雲市馬木町小坂古墳出土蕨手刀の再検討	黒済　和彦	古代文化研究	14
新たな国民のたから—文化庁購入文化財展—国宝　太刀　銘　正恒		東京国立博物館ニュース	678
名刀鑑賞	田野辺道宏	刀剣美術	
太刀　銘　国綱			588
重要文化財　太刀　銘　信房作			589
重要美術品　太刀　銘　備前国長船住光長　建武五年八月日			590
重要刀剣　太刀　銘　恒次			591
重要美術品　太刀　銘　備前国長船住光長　建武五年八月日			〃
特別重要刀剣　太刀　銘　来国次			592
特別重要刀剣　太刀　銘　国光			593
重要美術品　刀　銘　出羽大掾藤原国路(切付銘)嘉永元年戊申冬求之為佩刀　大泉藩士金井允文			594
特別重要刀剣　太刀　銘　康次			595
特別重要刀剣　太刀　銘　俊次			596
重要美術品　太刀　銘　包永			597
特別重要刀剣　刀　銘　越後守藤原国儔			598
重要美術品　太刀　銘　宇多国房			599
重要刀装具　菅公留守模様図三所物	小林　暉昌	〃	588
重要刀装具　節分図小柄　戸尻銘　光寿(花押)	〃	〃	589
重要刀装具　槌目文鐔　銘　信家(花押)	〃	〃	590
猿猴捕月図鐔　銘　珍久(彫之)	〃	〃	591
特別重要刀装具　二疋馬図小柄　銘　宗珉(花押)	〃	〃	592
重要刀装具　干網千鳥図鐔　銘　天光堂秀国　江戸時代末期	〃	〃	593
特別重要刀装具　運有天文字鐔　銘　信家	〃	〃	594
重要刀装具　伊勢海老図鐔　銘　越前大掾源長常(花押)	〃	〃	595
福禄寿図小柄　銘　雪舟図　宗與(花押)	〃	〃	596

重要刀装具　普賢文殊図目貫　割際端銘　萩谷・勝平	小林　暉昌	刀剣美術	597
重要刀装具　四睡図小柄　銘　豊干　寒山拾得　程乗(花押)　廉乗(花押)　光寿(花押)	〃	〃	598
特別重要刀装具　親子雉子図三所物　小柄　銘　石黒斎寿命政常(花押)　笄　銘　石黒政常　目貫　割短冊銘　石黒・政常	〃	〃	599
陸奥大掾三善長道の受領の時期と改名の事由について	小島つとむ	〃	588
刀装・刀装具初学教室	福士　繁雄	〃	
(134)～(144)水戸金工について			588～598
(145)武州鐔工について			599
刀装具の画題	〃	〃	
(134)末広がり・能面と面箱			588
(135)梔子・雨龍(蛟龍)			589
(136)沢瀉(将軍草)・百索縷軸(糸巻)			590
(137)韓愈(韓退子)・邯鄲の夢枕			591
(138)高野聖・四睡			592
(139)児島高徳・梟			593
(140)大原女(黒木売り)・柴刈老爺			594
(141)氷室・塩屋			595
(142)菅公留守模様(菅原道真)・花籠(生け花)			596
(143)紅葉狩・斜め輪違い			597
(144)布袋唐子・四つ手網(月下漁舟)			598
(145)張飛・長坂橋に戦う			599
資料紹介～審査の現場から～大森家の真価表わす、英満の大小鐔	久保　恭子	〃	588
改訂増補　日本古刀史(34)～(44)	本間　順治	〃	588～594、596～599
「金工国親・昌親研究」拾遺	中野　秀哉	〃	589
正月本部定例鑑賞会	大井　岳	〃	〃
資料紹介～審査の現場から～波平一門の清左の脇指	飯田　俊久	〃	〃
「謹鍛之」添銘の市毛徳鄰脇指についての一考察	宮本　三郎	〃	590
二月本部定例鑑賞会	中村　良和	〃	〃
資料紹介～審査の現場から～梶田半古の父・政晴の小柄	久保　恭子	〃	〃
奥州岩城国平城下鍛冶町のルーツをたずねて　根本和泉守藤原国虎の生涯を追う(一)～(三)	石山　卓	〃	591～593
三月本部定例鑑賞会	檜山　正則	〃	591
資料紹介～審査の現場から～一竿子忠綱の彫が施された助広の脇指	飯田　俊久	〃	〃
四月本部定例鑑賞会	石井　彰	〃	592
資料紹介～審査の現場から～岩本宗寛、魚尽しの縁頭	久保　恭子	〃	〃
五月本部定例鑑賞会	岩田　隆	〃	593
清麿　武器講・長州行き伝説　疑異(一)～(四)	花岡　忠男	〃	594～597
ニッカリ青江と京極家	川辺　勝一	〃	594
六月本部定例鑑賞会	飯田　俊久	〃	〃
七月本部定例鑑賞会	日野原　大	〃	595
資料紹介～審査の現場から～時代を見つめる、石黒一美の縁頭	久保　恭子	〃	596
九月本部定例鑑賞会	〃	〃	597
資料紹介～審査の現場から～「草土」と居住地を誌した法華一乗実家の作	飯田　俊久	〃	〃
刀と金と江戸庶民の暮らし	杉山　清	〃	598
十月本部定例鑑賞会	大井　岳	〃	〃
資料紹介～審査の現場から～御家彫りを墨守する、武嶋寿孝の縁頭	久保　恭子	〃	〃
勝村徳勝の研究　補訂	宮本　三郎	〃	599
十一月本部定例鑑賞会	中村　良和	〃	〃

北陸の弥生後期～古墳中期の短剣・ヤリ類の検討	杉山　大晋	富山考古学研究	9
肥前刀の総合的な研究―八代忠吉の懸案事項、新左衛門銘の再検討―	横山　学	鍋島報效会研究助成研究報告書	2
古墳出土の曲げられた鉄器について―同志社大学所蔵西山2号墳出土鉄剣の観察から―	門田　誠一	仏教大学文学部論集	90
装剣小道具の世界	善財　一	目の眼	
56　烏への視線　濡烏図小柄　後藤江戸時代初期、月に烏図鐔　浜野政髄　江戸時代中期			352
57　正月の印象　正月飾盆図鐔　土屋安親　江戸時代中期			353
58　万葉風景と琳派　和歌ノ浦図二所　河野春明　江戸時代後期			354
59　切り取られた波　波文図鐔　古金工　桃山時代、荒波文図縁頭　大森英秀　江戸時代後期、立波図目貫　川原林秀國　江戸時代後期			355
60　桜花のデザイン　誰が鈴図小柄　後藤光理　江戸時代中期、桜花文図鐔　光忠　桃山時代			356
61　古典への回帰　松鶴遐齢図鐔　赤城軒元孚・元貞・元茂　江戸時代後期			357
62　虎の児渡し図は禅の教え？　虎の児渡し図小柄二題　後藤程乗　江戸時代初期、利寿　江戸時代中期			358
63　瓜の夏　南瓜図笄　古後藤　室町時代後期、野瓜図目貫・小柄二所・荔枝図笄　後藤乗真　室町時代後期			360
64　海辺の鮮烈な光景　百貝図鐔　喜多河宗典　江戸時代中期、藻貝図笄　後藤乗真　室町時代後期			361
65　耳長兎の長い耳　兎図目貫　古金工　室町時代、兎図小柄　後藤栄乗　桃山時代			362
66　町彫金工の視点　月見舟図小柄・牧童に暴れ牛図小柄　土屋安親　江戸時代中期			363
特集　美術刀剣の楽しみII　乱刃の魅力	〃	〃	359

染織・服飾

中　国

西域出土の錦について―中国における経錦から緯錦へのプロセス―	古田　真一	芸術論究	33
平山郁夫シルクロード美術館コレクション	編集部　平山郁夫シルクロード美術館学芸部	美術の窓	
⑱狩猟連珠円文錦裂			271
㉔赤地格子蓮花文蜀江錦裂			278
中国古代儒服詮議	福井　重雅	早稲田大学大学院文学研究科紀要	51

日　本

中世の能装束に使用される舶来染織の基礎的研究―関・春日神社所蔵能装束を中心に―	小山弓弦葉	鹿島美術財団年報別冊	23
京都市立芸術大学所蔵の染織裂コレクション―1	吉田　雅子	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	50
一七世紀後半における御所風小袖の流行	小野　彰子	京都美学美術史学	5
my favorite things　企画者にも選ばせろ！「いかに戦場で目立つかってことしか考えていないんです」樺色羅紗地水玉模様陣羽織	佐藤　秀彦	芸術新潮	683

帷子の基礎的研究 室町時代から江戸時代初期に於ける材質の変遷について	澤田　和人	国立歴史民俗博物館研究報告	125
実践と基礎知識　きものの系譜	馬場　まみ	淡　交	
小袖ファッションの誕生			734
衣装比べを楽しむ			735
生地の魅力			736
染色技術の革新			737
小袖を作る人・商う人			738
ころもかへ			739
儀礼の装い			740
小袖をかざる			741
東西の好み			742
帯のかたちと結び方			744
特集　鎌倉円覚寺の裂		〃	745
円覚寺の裂と歴史	佐藤　留実		
円覚寺の袈裟のはなし	朝比奈恵温		
名物裂と円覚寺	吉岡　明美		
倭文についての文献研究	植村　和代	帝塚山大学現代生活学部紀要	2
聖徳太子御忌日記念特別公開　国宝・天寿国繍帳と聖徳太子像	澤田むつ代	東京国立博物館ニュース	675
『男色大鑑』にみる男性服飾の表現—若衆の振袖を中心に—	森　理恵	美　学	224
第五十九回全国大会研究発表要旨　慶長小袖試論—一領の小袖に表された伝統の継承と流行の摂取の意味を手掛かりに—	佐藤　浩子	美術史	161
国宝　琉球国王尚家関係資料	松本　純子	文化財*	513
天寿国繍帳銘文再読—橘大郎女と殯宮の帷帳—	北　康宏	文化史学	62
天寿国繍帳についての一考察	野見山由佳	法政史学	66
新収品紹介　振袖 白絖地楓竹矢来文字模様	小山弓弦葉	MUSEUM	602
歴史の証人　写真による収蔵品紹介　振袖と少年	澤田　和人	歴　博	137

そ の 他

所謂ザンダニージー Zandaniji錦をめぐって	横張　和子	古代オリエント博物館紀要	26
平山郁夫シルクロード美術館コレクション	編集部 平山郁夫シルクロード美術館学芸部	美術の窓	
⑳天馬文緯錦裂			274
㉒赤地連珠双鴨円文緯錦靴下			276

漆　　工

日　　本

中国に献上された琉球の東道盆	岡本　亜紀	よのつぢ*	2
仙台藩白老元陣屋資料館蔵の琉球漆器	安里　進	〃	〃
琉球王国漆芸技法復元の実証的研究—琉球漆器の美はどのようにして作られたか—	〃	鹿島美術財団年報別冊	23
諸家所蔵の菊桐紋蒔絵風呂桶類について—豊臣秀吉所用とする伝承の検討と初期高台寺蒔絵の編年論として—	小池　富雄	金鯱叢書*	33
特集　そろそろうるし　豆知識コラム　漆にかぶれよう　正倉院から廃刀令まで		芸術新潮	684
肖像図蒔絵プラークの原図に関して	日高　薫	国立歴史民俗博物館研究報告	125
江戸時代後期の漆工品に見る洋風表現について	岡　泰正	国　華	1323
徳川美術館所蔵　重要文化財「朱漆花鳥七宝繋密陀絵沈金御供飯」—技法および材料を中心とする新知見—	室瀬　和美	漆工史	29
仙台と薩摩に伝世した琉球漆器の祭具—朱漆牡丹唐草七宝繋箔絵食籠と黒漆鳳凰雲点斜格子沈金入子椀—	安里　進	〃	〃
神宮式年遷宮の御装束神宝　その漆芸文様等について	小西　晫也	〃	〃

ベネチア・佐賀・仙台に在る竹に雀雪薄紋桜折枝蒔絵三棚について―黒棚（ベネチア東洋美術館蔵）・厨子棚（鍋島報效会蔵）・書棚（仙台市博物館蔵）―	高橋あけみ	仙台市博物館調査研究報告	26
特集　漆塗りの技法　漆に思う	松久保秀胤	淡　交	736
平常展見どころ案内 2006年６月・７月 国宝　八橋蒔絵螺鈿硯箱　尾形光琳作	竹内奈美子	東京国立博物館ニュース	677
館蔵「大航海時代の工芸品」に関する小考	猪熊　兼樹	東風西声*	2
古文献に見る「金漆」について	増田　昌弘	東北芸術工科大学紀要	13
修理報告　奈良国立博物館所蔵　春日龍珠箱の保存修理	北村　昭斎 荒木　臣紀 清水　健	鹿園雑集*	8

石　工

中　国

北京・上方山兜率寺の仏塔群	松木　民雄	北海道東海大学紀要	18

日　本

茨城県石下町の建長銘板碑について（下）	飛田　英世 編 伊藤　宏之 磯野　治司 糸賀　茂男	茨城県立歴史館報	33
鎌倉将軍の八万四千塔供養と育王山信仰	西山　美香	金沢文庫研究	316
近世地誌類にみる板碑―『遊歴雑記』と北区の板碑を中心に―	中村　洋子	北区飛鳥山博物館研究報告	8
寺社および個人所蔵資料の調査		九州歴史資料館年報	H17年度
接触による文化変容の型式学的モデルの作成	竹岡　俊樹	古代文化	564
表紙写真解説	四方田　悟	埼玉史談	
金剛院無縫塔　吉田町下吉田			284
坂戸市森戸・大中臣氏銘の文永七年板碑			285
観音寺六角柱塔婆（熊谷市上中条）			287
都幾川流域の同一紀年板碑三基	〃	〃	〃
未発表旧稿　深谷市国済寺中世石塔の調査（一）	青木　忠雄	〃	〃
当館に移設されてきた石造品をめぐって	田井中洋介	滋賀県立安土城考古博物館紀要	14
遠江中・東部地域の中世石塔の出現と展開―静岡県下における中世石塔の研究２―	松井　一明 木村　弘之 溝口　彰啓	静岡県博物館協会研究紀要	29
尼崎・如来院の笠塔婆と『師守記』―西大寺律宗と時宗の関係―（上）～（下）	八田　洋子	史迹と美術	761～763
口絵写真説明　埼玉の図像板碑（四）弥陀坐像・七薬師　自然石板碑／地蔵図像板碑	村田　和義	〃	762
箕面市勝尾寺への西国巡礼道の町石	辻尾　榮市	〃	764
近世墓標の調査（Ⅱ）	服部　敬史	東京家政学院生活文化博物館年報	16
栃木県域における黒色安山岩の産地に関する諸問題	森嶋　秀一 布川　嘉英 竹下　欣宏	栃木県立博物館研究紀要	23
文化財レポート　石造物調査と地域史研究―大学と地域貢献―	稲葉　継陽	日本歴史	693
宮崎県出土の滑石製石鍋	二宮　満夫	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	2
関東地方における安山岩製板碑について―板碑減少期における小型板碑の造立を中心に―	山田　雄正	立正史学	99
平成十七年度立正大学史学会月例報告会研究発表要旨　武蔵型板碑の基礎的研究―中世墓に造立された板碑をめぐって―	村山　卓	〃	〃
日蓮宗墓石における頭書について	池上　悟	〃	100

石　器

中　国

中国河南省安陽小南海遺跡の石器群	加藤　真二	奈良文化財研究所紀要	2006

立教大学所蔵中国遼寧省金州附近出土資料—遼東半島先・原史時代磨製石庖丁の様相—	古澤　義久	ムゼイオン	52

日　本

角田司郎氏採集資料リスト(2)	宮内　克己	大分県立歴史博物館研究紀要	7
武蔵野台地における後期旧石器時代前半期石器群の変遷過程	山岡　拓也	古代文化	566
黒曜石製石器の産地推定とその様相について—雅楽谷遺跡と周辺遺跡—	上野真由美 望月　明彦	埼玉県埋文調査団紀要*	21
赤玉と黄玉の入手先を明らかにする	前嶋　秀張 森嶋富士夫	静岡県埋文調査研究所紀要*	12
研究ノート		縄文の森から	4
城ヶ尾遺跡の再検討—後期旧石器時代第Ⅱ文化層～第Ⅲ文化層の石器群を中心として—	馬籠　亮道 長野　眞一		
剥片尖頭器石器群とその前後の石器群について—南九州における最新の調査成果から—	宮田　栄二		
後期旧石器時代中盤期の加工具の転換に関する新視点	比田井民子	駿台史学	127
槍先形尖頭器の出現と渋川遺跡の左右非対称形槍先形尖頭器	飯田　茂雄	〃	128
大会特集Ⅰ　東西交流の地域史—列島の境目・静岡—問題提起1　石器・石材からみた遺跡と地域	笹原　芳郎	地方史研究	322
土浦市木田余台遺跡群の旧石器時代～縄文時代草創期石器の研究	窪田　恵一	土浦市立博物館紀要	16
特集　古墳時代　三重県神殿遺跡出土の独鈷状石製品について	奥　義次	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	15
黒曜石産地推定分析からみた長野県矢出川Ⅰ遺跡出土細石核の構成	島田　和高 鈴木　尚史 飯田　茂雄 杉原　重夫	明治大学博物館研究報告	11
縄文時代の剥片剥離手法—酒呑場遺跡出土黒曜石石核の分析から—	保坂　康夫	山梨県考古博埋文センター紀要*	22
両極敲打技法による礫石錘の製作	久保田正寿	立正史学	99
特集　土器の始まりのころ　石器から見た縄文時代のはじまり	綿貫　俊一	歴　博	139

そ　の　他

研究発表要旨　シアルク0～Ⅲ期の半月形石器の機能について	足立　拓朗	オリエント	48-2

木　竹　工

日　本

讃良郡条里遺跡出土の木製品について	黒須亜希子 上本　志穂	大阪文化財研究	29
讃良郡条里遺跡出土の木製品について 讃良郡条里遺跡03-6出土遺物を中心として	黒須亜希子 村田　昌也	〃	30
道祖神信仰の源流 古代の道の祭祀と陽物形木製品から	平川　南	国立歴史民俗博物館研究報告	133
琴板雑考	阿刀　弘史	滋賀県立安土城考古博物館紀要	14
木製横櫛の変遷	山内　七恵	山形県埋蔵文化財センター研究紀要	4
平成十八年度立正大学史学会大会発表要旨　古代の木器—東京都多摩ニュータウン遺跡出土の木製食器—	竹花　宏之	立正史学	100
正倉院学術シンポジウム　北倉の楽器	内藤　栄	鹿園雑集*	8

ガラス工

日　本

正倉院ガラス玉と古代珠玉の機能	秋山　浩三	大阪文化財研究	30
特集　ガラスの茶道具　和ガラス小史	岡　泰正	淡　交	740
薩摩藩のガラス技法書について(1)	岡本　文一	明星大学研究紀要	14
小特集1　和ガラスの妙なるひかり		目の眼	359

その他の工芸・民具

日　本

資料紹介　八代村庄屋菊池家の節句飾り資料について	宇都宮美紀	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	11

古典は家具史のアーカイブ	小泉　和子	学　鐙	103-3
速報展の開催「平安京右京六条三坊六町出土の人形」		京都市考古資料館年報	H15・16年度
彙報　平成十七年新指定文化財紹介〔歴史資料の部〕　重要文化財　二、銅人形	松本　純子	古文書研究	61
弥生時代の副葬に見られる玉類の呪的使用とその背景	小寺智津子	死生学研究	2006秋
上久津呂中屋遺跡の井戸側転用桶	新宅　茜	富山考古学研究	9
調査報告　多摩市の脱穀調整具～千歯扱き・唐箕・万石・米選機・足踏脱穀機の調査～(2)	橋場万里子	パルテノン多摩博物館部門研究紀要	9
信濃紙文化史(四)～(六)	河野　徳吉	百万塔	123～125
和紙の古代製法再考	久米　康生	〃	124
竹の紙の閑話	町田　誠之	〃	〃
はしきらず　企画展「紙の着物・紙の服～紙の装い～」によせて	御衣黄	〃	125
口絵「紙衣　道中引廻し」		〃	〃
笛吹市御坂町亀甲塚古墳出土管玉の再整理	石神　孝子	山梨県考古博埋文センター紀要*	22
横浜市域の犂	刈田　均	横浜市歴史博物館調査研究報告	2

そ　の　他

研究発表要旨　ウルの〈スタンダード〉はリラの共鳴箱に非ず	小野山　節	オリエント	48-2
続シルクロード織機研究		シルクロード学研究	26
トルコとコーカサス、およびその周辺地域の織機	吉本　忍		
トルコとコーカサス、およびその周辺地域の織物技術と織機	柳　悦州		
調査日誌	〃		
続シルクロードの織機	吉本　忍 柳　悦州		
小乗仏教国の箔打ち紙(その二)タイの箔打ち工程とその紙	小林　良生	百万塔	123
サマルカンドペーパー紀行	松本　昌子	〃	〃

建築一般

中　国

特集　中国—そこに日本の建築世界はどう関われるかⅢ　インタビュー7　中国で構想する建築史	田中　淡 田村　広子 聞き手	建築雑誌	1554

都市・集落

日　本

三雲・井原弥生集落の成立と変遷	角　浩行	伊都国歴史博物館紀要	1
中田遺跡群の具体(1)	市村慎太郎	大阪文化財研究	29
平成14～16年度大田区埋蔵文化財調査概要報告	大田区教育委員会	大田区立郷土博物館紀要	16
三輪山セミナー講演録　聖樹と王宮	辰巳　和弘	大美和	111
神奈川県における旧石器時代の遺構(その5)—L3層以下—	旧石器時代研究プロジェクトチーム	かながわの考古学	11
考古学における集落研究史—研究の開始から「原始聚落の構成」まで—	浜田　晋介	川崎市市民ミュージアム紀要	18
川崎市宮前区三荷座前遺跡第4地点発掘調査報告	大坪　宣雄 渡辺　昭一	川崎市文化財調査集録	41
関東地方の初期S字甕出土遺跡の立地について	能登　健 小島　敦子	群馬県埋文調査団紀要*	24
気候変動と竪穴住居増減との関連について	石守　晃	〃	〃
棟高辻久保遺跡における中世の水田開発と水路	廣津　英一	〃	〃
特集　七つの謎でめぐる飛鳥		芸術新潮	681
解説	森　浩一 今尾　文昭		
ぼくは飛鳥をこう考える	森　浩一		
謎の七　野を越え山を越え、どこまでものびるよ藤原京	森　浩一、今尾　文昭解説		
「古京」は谷のひろがりのなかに	黒川　創		

古墳時代における地域首長の政治領域—首長居館三ッ寺Ⅰ遺跡と北谷遺跡の検討から—	若狭　徹	考古学雑誌	90-2
平城京の都市計画	阿部　義平	国立歴史民俗博物館研究報告	125
肥前名護屋城下町の空間構造とその特異性	宮武　正登	〃	127
関東地方における弥生時代農耕集落の形成過程	設楽　博己	〃	133
古代北奥羽の律令的祭祀	新井　隆一	古代文化	564
図版解説　落地遺跡の発掘調査	小田　賢	〃	〃
特輯　弥生社会の群像—高地性集落の実態—		〃	〃
『高地性集落』論の今日	下條　信行		
武力への序曲—高地性集落の意義—	近藤　玲		
吉野川河谷における弥生集落の展開	中村　豊		
ヤジリと高地性集落	寺前　直人		
弥生時代中期～後期の木製品の出土動向と高地性集落	中原　計		
弥生時代中期における漁業システムの変革と『高地性集落』	乗松　真也		
北部九州の高地性集落—集落動態からの検討—	小沢　佳慶		
中・西部瀬戸内の高地性集落と山住みの集落—特に燧灘～伊予灘・安芸灘沿岸域を中心として—	柴田　昌児		
山陰地方における弥生時代集落の立地と動態—大山山麓・中海南東岸地域を中心に—	濱田　竜彦		
丘陵上弥生集落と複合社会の拡大—近畿地方の事例から—	若林　邦彦		
弥生集落の景観構造をめぐる試論—伊勢湾周辺地域を中心に—	石黒　立人		
東京湾東岸における弥生後期から古墳前期の集落構成—『臨海型大形集落』の性質をめぐって—	高瀬　克範		
〈コメント〉移住現象からみた社会分析方法の模索	荒木　幸治		
〈コメント〉高地性集落研究の今日的清算と提言の二、三—本特輯の論評にかえて—	森岡　秀人		
図版解説　宇治市街遺跡	浜中　邦弘	〃	566
池上・小敷田遺跡の土壙について—その配置と性格を中心に—	宅間　清公	埼玉県埋文調査団紀要*	21
縄文時代の平出遺跡	小松　学	塩尻市立平出博物館紀要	23
八世紀の宮都造営—唐制との比較を通じて—	十川　陽一	史　学	74-3
天神川流域における生産遺跡群の展開	畑中　英二	滋賀県文化財保護協会紀要	19
下関市の遺跡分布について	太田　雅史	下関市立考古博物館研究紀要	10
特集　歴史学の現在2006		史　林	455
縄文時代集落研究の課題	泉　拓良		
日本中世都市の空間とその研究視角	山村　亜希		
市内遺跡試掘・確認調査報告(平成13～16年度)		津山弥生の里	13
撚糸文期住居跡が崩れた—遺構の変形と遺跡形成論・考古記録(多摩ニュータウンNo.200遺跡の研究　縄文編その2)	及川　良彦	東京都埋蔵文化財センター研究論集	22
多摩の近世村落と民家の成立—多摩市連光寺村馬引沢—	今井　惠昭 秋元　孝雄	〃	〃
多摩ニュータウン遺跡発掘調査の40年展—記念講演会　講演記録—		〃	〃
多摩ニュータウンの先住者	小林　達雄		
古代の武蔵と多摩ニュータウン	坂詰　秀一		

防御性集落とその時代―前九年・後三年の合戦前夜の北東北―	工藤　雅樹	東北歴史博物館研究紀要	7
平成17年度第５回職員研修会・講演要旨 東日本弥生時代研究の諸問題	小林　青樹	とちぎ埋文センター紀要*	14
下老子笹川遺跡弥生時代集落の変遷―集落景観の復元にむけて―	岡本淳一郎	富山考古学研究	9
飛鳥地域等の調査		奈良文化財研究所紀要	2006
石神遺跡（第18次）の調査―第140次	金田　明大		
甘樫丘東麓遺跡の調査―第141次	豊島　直博 筧　和也		
平城京と寺院の調査		〃	〃
東一坊大路の調査―第396次	小田　裕樹		
右京三条一坊の調査―第384・388次	金井　健 今井　晃樹		
公家町の再編過程に関する基礎的考察―宝永の大火と公家町再編に関する研究 その１―	登谷　伸宏	日本建築学会計画系論文集	600
近世熱海の空間構造と温泉宿「湯戸」の様相	松田　法子 大場　修	〃	603
竹富島における祭祀の機能と集落の空間構成に関する研究―穂利祭（プイ）の祭祀空間について　その１―	金城　正紀 片山　和俊 光井　渉	〃	604
近世琉球の絵画史料の表現と建築	髙屋麻里子	〃	609
元禄・宝永期における公家の集住形態と幕府の対応について	登谷　伸宏	〃	610
研究余録　百済大井宮と百済大井家の所在地	渡里　恒信	日本歴史	702
文化財レポート　常陸における中世から近世にかけての製塩の村―村松白根遺跡・沢田遺跡の調査成果―	皆川　修	〃	〃
滋賀県の考古学８ 最新の成果と課題（第８回）近江における弥生時代の集落研究の現状と課題	細川　修平	人間文化	19
古代越前国と愛発関	舘野　和己	福井県文書館研究紀要	3
高麗と博多―平安後期の出土資料から―	佐藤　一郎	福岡市博物館研究紀要	16
越前国鯖江における武家地の形成―新規城下町の御用地引上げから―	渡邊　秀一	仏教大学文学部論集	90
口絵解説　湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区	前田　和昭	文化財*	519
聖徳太子の都市計画―斑鳩の里で太子の髭に逢い―	酒井　龍一	文化財学報	23・24
田端西台通遺跡・中里峡上遺跡発掘調査報告	富田　健司	文化財研究紀要	19
西ヶ原遺跡群発掘調査報告―西ヶ原三丁目児童遊園地内防火水槽地点―	斉藤　進	〃	〃
南橋遺跡第二四地点発掘調査報告	五十嵐祐介	〃	〃
中山道鵜沼宿の幕末期の様相―建物の復原検討を中心に―	西　和夫	歴史と民俗	22
特集／平泉・衣川・北奥の遺跡群と北方世界		歴史評論	678
北方世界のなかの平泉・衣川―日本史における「北」の可能性―	斉藤　利男		
「都市平泉」像の再構築―新発見・衣川遺跡群の視点から―	菅野　成寛		
衣川遺跡群とは何か―前平泉と平泉の接点―	及川　真紀 福島　正和		
北奥の巨大防御性集落と交易・官衙類似遺跡―平泉誕生の前史―	三浦　圭介		
特集　内海の世界 沖積低地にくらした縄文人―新潟県青田遺跡の事例から―	荒川　隆史	歴博	136
埋蔵文化財／発掘調査・出土遺物整理		和歌山県文化財センター年報	2005
太田・黒田遺跡の（県１次）発掘調査	仲原　知之		
旧吉備中学校校庭遺跡の発掘調査	川崎　雅史		
野田地区遺跡の発掘調査	〃		

朝鮮・その他

近世日朝通交拠点「草梁倭館」に関する指図の比較とその編年	夫　学柱	日本建築学会計画系論文集	609
特集　韓国・日本の考古学の最新情報　新羅王京の変遷—道路を通じてみる都市計画—	黄　仁鎬	東アジアの古代文化	126
エン・ゲヴ遺跡(イスラエル)の成立年代	杉本　智俊	オリエント	48-2
研究発表要旨　カスピ海南西岸域(イラン)における遺跡分布の特異性	大津　忠彦	〃	〃
東京大学総合研究博物館　考古美術(西アジア)部門所蔵考古学資料目録　イラクの遺跡写真　序言	西秋　良宏	東大総研博標本資料報告*	64
内外東方学界消息(百十一)モンゴル国アウラガ遺跡の調査とその意義	白石　典之	東方学	112
バーミヤーン谷における考古調査	森本　晋	奈良文化財研究所紀要	2006
ベトナム社会主義共和国ハタイ省ドンラム村の調査と保存	島田　敏男	〃	〃
アッカド王朝サルゴン王碑文に言及されるトゥトゥル市の所在地同定	川上　直彦	西アジア考古学	7
遺構の分布と都市の中核区—クメール古代都市イーシャナプラの構造に関する研究　その1—	下田　一太 中川　武	日本建築学会計画系論文集	602
バーミヤーン遺跡の地下探査と試掘調査	森本　晋 西山　伸一	仏教芸術	289
ニムルド研究1　ニムルド：古代の居住	アンソニー・グリーン	MIHO MUSEUM研究紀要	6
アヴェスタとタフティ・サンギン	ナルギス・ホジャエヴァ	〃	〃
タフティ・サンギン発掘中間報告　2004年	A. P. ドゥルジニナ N. R. ボロフカ	〃	〃
釈迦の故郷を探る	坂誥　秀一	立正史学	99
テヘラン大バーザールの一サライ　ワクフと遺言に見るその背景	近藤　信彰	歴史と地理	591

建　物

日　本

和様・唐様・天竺様の語義について	光井　渉	建築史学	46
大仏様建築研究の現在—研究史における主要な論点—	山之内　誠	南都仏教	88
内法上の建築的装置に着目した〈座敷列〉に関する研究　断面情報による近世初期書院造の再検討　その1	木村　顕 光井　渉	日本建築学会計画系論文集	600
物語絵を通してみた近世における上流階級の住宅観に関する研究	赤澤　真理 波多野　純	〃	
(2)住吉如慶筆『伊勢物語絵巻』からみた江戸前期における寝殿造への憧憬と理解の水準			601
(3)絵師による寝殿造の復原考証とその背景			610

宮殿・官衙

日　本

大宰府史跡の発掘調査		九州歴史資料館年報	H17年度
美作国府跡確認調査報告(14・16年度)		津山弥生の里	13
藤原宮の調査		奈良文化財研究所紀要	2006
朝堂院東第六堂の調査—第136次	市　大樹 石田由紀子 金田　明大 渡辺　丈彦 豊島　直博 井上　和人		
内裏地区・内裏東官衙地区の調査—第138-2次	箱崎　和久 石田由紀子 金田　明大		
朝堂院東地区の調査—第138-3次	加藤　雅士 石田由紀子		
平城宮の調査		〃	〃
東院地区西北部の調査—第381次	神野　恵 高橋　克壽 今井　晃樹 井上　和人 金井　健		
中央区朝堂院の調査—第389次	中川　あや 西口　壽生 次山　淳 清永　洋平		

内裏北外郭の調査—第386次・387次・397次	今井　晃樹 金井　　健		
朝集殿院の調査—第394次・399次	今井　晃樹 森川　　実		
修学院離宮における「離宮」の場所についての一考察　『霊元院法皇御幸宸記』の解読を通して	田中　　明 前田　忠直	日本建築学会計画系論文集	601
宇宙を象る宮殿—平城宮第一次大極殿院—	内田　和伸	東アジアの古代文化	128
朝　　鮮			
特集　韓国・日本の考古学の最新情報　益山王宮里遺跡の王宮と寺刹	金　　容民	〃	126

宗教建造物

中　　国			
安徽九華山における地蔵信仰	二階堂善弘	アジア文化交流研究	1
漳州の寺廟について	〃	関西大学東西学術研究所紀要	39
法均と燕京馬鞍山の菩薩戒壇—契丹(遼)における大乗菩薩戒の流行—	古松　崇志	東洋史研究	65-3
雲岡における堡塁の建造と古寺の衰退	張　　焯 小澤　正人訳	仏教芸術	285
平成十七年度立正大学史学会大会研究発表要旨　唐代における道観造営について—玄宗期の宗教統制策との関連から—	近藤　吉泰	立正史学	99
日　　本			
白山社奥社　拝殿・随身門について	吉澤　政己	飯田市美術博物館研究紀要	16
河内国壺井通法寺に就いて—羽曳野市通法寺址の隆光墓碑に因んで—	古賀　克彦	印度学仏教学研究	108
三木市の中近世寺社建築の調査研究	多淵　敏樹 尾瀬　耕司	大手前大学史学研究所紀要	6
東大寺の成立過程に関する研究—大養徳国金光明寺の所在地を中心に—	児島　大輔	鹿島美術財団年報別冊	23
資料紹介　古代の壁土～田辺廃寺出土・壁土～	島内　洋二	柏原市立歴史資料館館報	18
鎌倉の「延寿堂」考	三浦　勝男	鎌　　倉	101
西寺の塔—明恵上人和歌の西寺について—	徳岡　弘之	ぐんしょ*	71
奈良県の水分神社と高鼻神社における環境デザイン序論	浦崎　真一	芸術文化研究	10
1910年[明治43年]現在　五重塔震動調査—大森房吉調査から震動台実験	河合　直人	建築雑誌	1546
研究ノート　良源による延暦寺横川の再興とその実態	清水　　擴	建築史学	46
修復トピックス　重要文化財岩屋神社本殿の復原時期について	丸本　英司	〃	〃
鎌倉期・南北朝期における禅宗寺院の仏殿とその意味	野村　俊一	〃	47
修復トピックス　重要文化財　生和神社末社春日神社本殿　当初形式とその後の改変について	菅原　和之	〃	〃
厳島神社玉殿　内宮と外宮の玉殿	山田　岳晴	国立歴史民俗博物館研究報告	133
八世紀前期の郡司任用と「新造院」	石飛　美穂	古代文化研究	14
東海地域の古代寺院造営氏族に関する基礎研究—伊勢北部を例として—	竹内　英昭	斎宮歴史博物館研究紀要	15
六角堂縁起の展開と太子伝	橋本　正俊	巡礼記研究	3
例会報告要旨　古代寺院の守門将の変遷—大安寺の事例—	鈴木　景二	続日本紀研究	361
造興福寺仏殿司再考	谷本　　啓	〃	365
登録有形文化財　東照宮武徳殿について	浅尾　和年	大日光	76
夜半廃寺跡確認調査報告		津山弥生の里	13
興福寺造営の研究	木本　挙周	帝塚山大大学院紀要*	7
近世初期毘沙門堂相承の経緯について	中川　仁喜	天台学報	48
飛鳥地域等の調査　川原寺の調査—第133-12次	箱崎　和久 花谷　　浩	奈良文化財研究所紀要	2006
平城京と寺院の調査　興福寺一乗院跡の調査—第393次	大林　　潤 高橋　克壽 林　正憲	〃	〃

唐招提寺創建当初の戒壇と現金堂盧舎那仏像について	真田　尊光	南都仏教	87
玉井家蔵「大仏殿再建記」解説および史料翻刻　第二回	島津　良子 坂東　俊彦	〃	88
古代建築の柱間寸法計画と垂木割計画	溝口　明則	日本建築学会計画系論文集	
(2)法隆寺金堂の柱間寸法計画について			603
(3)法隆寺五重塔の垂木割計画について			608
法隆寺昭和大修理の初期工事における武田五一の理念と手法	青柳　憲昌 藤岡　洋保	〃	603
北口本宮富士浅間神社境内空間の変遷過程	串田　優子 伊藤　裕久	〃	604
貫前神社の式年遷宮における祭礼空間構造の特質と変化過程—歴史的環境における居住空間の社会性に関する研究　その2—	石田　寿信	〃	610
第五十九回全国大会研究発表要旨　法華寺阿弥陀浄土院の造営の意義—唐代長安寺院の「浄土院」との関連—	三宮　千佳	美術史	161
西大寺の造営と造東大寺司	近藤　有宜	美術史研究	44
私の空想美術館24「ある日の法隆寺」	粟津　則雄	美術の窓	268
国府のなかの寺と堂—武蔵国府跡の発掘調査事例から—	深澤　靖幸	府中市郷土の森博物館紀要	19
方位からみた大津宮と崇福寺	宮原　健吾 宇野　隆夫 臼井　正	仏教芸術	285
特集　お正月と文化財—正月を寿ぐ　善光寺の修正会と戒壇ならびに本堂の原形	黒田　龍二	文化財*	508
特集　中世寺院関連遺跡の調査とその保護		〃	518
中世寺社の考古学	時枝　務		
中世寺院関連遺跡の調査とその保護—特集にあたって—	坂井　秀弥		
国東六郷山寺院—いまに生きる信仰のヤマ・サト—	櫻井　成昭		
伯耆大山寺—山陰の霊峰大山の山岳信仰—	山口　剛		
根来寺遺跡——大宗教勢力の調査三〇年の歩み—	窪田　雅秀		
予州奈良山等妙寺旧境内—四国における戒律復興の拠点寺院—	幡上　敬一		
百済寺遺跡—近江湖東天台寺院の変遷—	嶋田　直人		
若狭神宮寺関連遺跡—古代から中世への展開—	下仲　隆浩		
三村山極楽寺跡遺跡群—忍性による東国布教の拠点—	広瀬季一郎		
表紙解説　姿をあらわした中世の石畳道—白山信仰の拠点寺院　平泉寺—	宝珍伸一郎	〃	〃
研究ノート　法隆寺式堂塔配置の採択の背景～常総地域の事例分析を交えて～	内藤　亮	法政考古学	32
データファイル　日本の世界遺産1　法隆寺地域の仏教建造物	編集部	ユネスコ世界遺産年報	12
古代出雲大社本殿成立のプロセスに関する考古学的考察	藤田富士夫	立正史学	99
中世の大隅国分寺について	栗林　文夫	黎明館調査研究報告	19
七世紀後半期における法輪寺建立に関する予察	平田　政彦	歴史研究	43
講座—仏教芸術　近世の装飾建築と庶民層への広がり	太田　富康	歴史と地理	597
資料紹介　大和古代寺院出土遺物の研究—法輪寺出土資料—	奈良国立博物館 帝塚山大学考古学研究所	鹿園雑集*	8
光明子の阿弥陀信仰と利他行について—法華寺阿弥陀浄土院発願の原点—	三宮　千佳	早稲田大学大学院文学研究科紀要	51

朝鮮・その他

韓国と日本の伝統木造建築における小屋組と組物に関する比較研究—寺院建築を中心に—	柳　和先	芸術学研究(筑波)	10

韓国における桧巌寺跡の僧堂遺構について―東アジア禅宗史から見て―	韓　志晩	日本建築学会計画系論文集	602
ルンミンデーイーのアショーカ法勅再考―マヤ堂出土の「自然石」に関連して―	塚本　啓祥	印度学仏教学研究	109
カンボディア・西トップ寺院の調査―第３次・第４次・第５次―	杉山　洋 神野　恵 豊島　直博	奈良文化財研究所紀要	2006
バーミヤーン遺跡の石窟寺院遺構―2005年11月建造物班調査―	窪寺　茂	〃	〃
アヌラーダプラの僧房遺構の寸法計画について（２　主要部位の計画）スリランカ仏教寺院建築の設計法則　その４	黒河内宏昌	日本建築学会計画系論文集	605
18世紀後期におけるアジア協会員Ｃ・Ｗ・マレットのサンスクリット語観と石窟群　Ｃ・Ｗ・マレットによるエローラ石窟群の解釈	高松　由子 土居　義岳	〃	〃
18世紀後期のアジア協会員によるサンスクリット文化観と建築　アジア協会員によるジェントーの建築にたいする特徴的な視点	〃	〃	609
インド前期仏教石窟寺院の再検討―編年の問題を中心に―	平岡三保子	美学美術史研究論集	21
私の空想美術館26「バリ島」	粟津　則雄	美術の窓	270
アフガニスタンおよび周辺地域の仏教寺院の変遷	岩井　俊平	仏教芸術	289

城　郭

中　国

研究ノート　漢長安城建設における南北の中軸ラインとその象徴性	黄　曉芬	史学雑誌	115-11

日　本

特集　シンポジウム「赤松氏と播磨の城館」　遺構から見た播磨坂本城跡	多田　暢久	大手前大学史学研究所紀要	6
古代山城からの可視範囲	狭川　真一	元興寺文化財研究所研究報告	2005
大野城出土柱根の刻書	杉原　敏之	九州歴史資料館研究論集	31
太宰府岩屋城の研究（上）～城郭構造（縄張り）からの検討～	岡寺　良	〃	〃
『長楽寺永禄日記』に見る新田金山城の構造―付、『長楽寺永禄日記』正誤訂正―	峰岸　純夫	ぐんしょ*	72
特集　金沢城フォーラム　石垣と匠の技		研究紀要金沢城研究	4
講演　石垣と匠と技	北垣聰一郎		
報告１　金沢城の石垣調査	滝川　重徳		
報告２　戸室石切丁場の調査	冨田和気夫		
報告３　城郭石垣を築いた人々	木越　隆三		
報告４　金沢城の石垣に学ぶこと	北野　博司		
討論	北垣聰一郎、北野　博司、木越　隆三、冨田和気夫、滝川　重徳 パネラー 田嶋　明人 コーディネーター		
金沢城本丸櫓群の図面類について―辰巳櫓・三階櫓の図面類の検証―	正見　泰	〃	〃
古代城柵の研究	阿部　義平	国立歴史民俗博物館研究報告	
（二）城郭の成立と機能			130
（三）城柵展開史と南北交流			133
観音寺城跡に残る採石場（推定）と石垣の矢穴痕	伊庭　功	滋賀県安土城郭調査研究所研究紀要	12
甲賀の城のネットワーク	木戸　雅寿	滋賀県文化財保護協会紀要	19
講演録　発掘でよみがえる日本の城	千田　嘉博	下関市立考古博物館研究紀要	10
津山城今昔⑩～お城の井戸～	行田　裕美	津山弥生の里	13

平成17年度第５回職員研修会・講演要旨 北方世界との交流と城柵の形成	熊谷　公男	とちぎ埋文センター紀要*	14
藩政期における酒田の亀ヶ崎城とその本丸について	岡田　悟 飯淵　康一 永井　康雄	日本建築学会計画系論文集	605
「穴太」論考―石積み技術者「穴太」の誕生と展開をめぐって―	中村　博司	日本歴史	694
文化財レポート　近世城郭と石垣普請の実像―近年の研究動向と遺跡の保存―	北野　博司	〃	696
奈良県高山城の構造	千田　嘉博	文化財学報	23・24
稚内市泊岸１号・２号チャシの地形測量調査報告	右代　啓視 鈴木　琢也 山田　悟郎 平川　善祥 村上　孝一 添田　雄二	北海道開拓記念館調査報告	45
日本史のひろば　世界文化遺産　姫路城	堀田　浩之	歴史と地理	592

そ の 他

2005年度　ロシア・クラスキノ土城発掘調査概要報告(遺構編)	クラスキノ土城発掘調査団	青山史学	24

住 宅 ・ 館

中　　国

中国貴州少数民族の建築	江浪　滋	史迹と美術	768
場所を構成する「屏風」について　『金瓶梅』にみられる住まいの空間構成に関する研究　その３	藤原　美樹 松本　静夫	日本建築学会計画系論文集	607

日　　本

研究ノート「大曽根御下屋敷」の土地開発と屋敷年貢について―現徳川園の歴史に関して―	青木　忠夫	愛知県史研究	10
懐徳堂の祭祀空間―中国古礼の受容と展開―	湯浅　邦弘	大阪大学大学院文学研究科紀要	46
特集　シンポジウム「赤松氏と播磨の城館」　戦国期兵庫県下の平地居館	山上　雅弘	大手前大学史学研究所紀要	6
近世民家の集成(３)	近世研究プロジェクトチーム	かながわの考古学	11
研究ノート　重要文化財旧遠山家住宅(岐阜県大野郡白川村)便所の復原考察	宮澤　智士 松本　継太	建築史学	47
特定研究　東国の豪族居館　茨城県常総市国生本屋敷遺跡発掘調査報告	阿部　義平	国立歴史民俗博物館研究報告	129
竪穴住居からみた斎宮の変遷	田中　久生	斎宮歴史博物館研究紀要	15
西御殿敷地の変遷について	乾　貴子	津山弥生の里	13
２つの通り土間を持つ家―塩尻市における２件の歴史的建造物調査から―	清水　重敦	奈良文化財研究所紀要	2006
佐川町・竹村家住宅の調査	清永　洋平	〃	〃
倉敷市・野崎家旧宅の調査	箱崎　和久	〃	〃
藤原道長の住宅と儀式会場―藤氏長者・摂関家の儀式会場の変遷過程に関する研究(３)―	飯淵　康一 永井　康雄	日本建築学会計画系論文集	599
京都の町家に関する「むしこ」	丸山　俊明	〃	〃
本棟造民家の分布と信濃小笠原氏支配地域の関連について	中尾　七重	〃	603
御茶屋絵図から見た福岡藩御茶屋の空間・意匠構成　福岡藩御茶屋に関する研究(１)	安高　尚毅 宮本　雅明	〃	〃
裏松固禅『院宮及私第図』に関する研究	藤田　勝也	〃	
３―「寝殿図」の成立経緯―			〃
４―「古図　両中門」「両中門図」について―			606
棟持柱構造と軸部・小屋組構造を併せ持つ切妻小規模建造物	島崎　広史 土本　俊和	〃	603
笛吹川流域の民家　四建ないしウダツ造に至る掘立棟持柱構造からの展開	滝澤　秀人 島崎　広史 土本　俊和 遠藤　由樹	〃	604
京都の町家と梁間規制に関する試論	丸山　俊明	〃	606
洛中洛外図屏風に描かれた町家と土蔵の変遷	髙屋麻里子	〃	607
近代以前の絵画資料に描かれたアイヌ民族の建築に関する研究	小林　孝二 大垣　直明	〃	608

壁立ちの住居—復元された古墳時代の住居—	桐原　健	平出博物館ノート	20
環礫方形配石遺構の復元について—塩瀬下原遺跡敷石住居から—	末下　健	山梨県考古博埋文センター紀要*	22
特集／平泉・衣川・北奥の遺跡群と北方世界　南北奥羽の居館遺跡と平泉政権	羽柴　直人	歴史評論	678

茶　室

日　本

茶室でたどる茶の湯の歴史	中村　利則	淡　交	
一、東求堂同仁斎と珠光庵			734
二、通僊院庭玉軒と祖形待庵			735
三、妙喜庵待庵と裏千家又隠			736
四、表千家不審庵と裏千家今日庵			737
五、藪内家燕庵と有楽苑元庵			738
六、有楽苑如庵と金地院八窓席			739
七、孤篷庵忘筌と龍光院密庵			740
八、西翁院澱看席と江戸千家蓮華庵			741
九、旧竹林院天の川席と久田家半床庵			742
十、聚光院閑隠席・枡床席と玉林院蓑庵・霞床席			744
十一、松陰神社花月楼と仁和寺飛濤亭			745
十二、西本願寺飛雲閣憶昔席と裏千家咄々斎			746
数寄のデザイン—利休・織部・遠州・不昧—		〃	743
利休のデザイン　利休の茶室	矢ヶ崎善太郎		
織部のデザイン　織部の茶室	〃		
利休　茶室の意匠	桐浴　邦夫		
遠州のデザイン　遠州の茶室	矢ヶ崎善太郎		
不昧のデザイン　不昧の茶室	〃		
小特集　利休再考「待庵の床の間」考—『数寄屋工法集』の「利休囲之事」について—	〃	野村美術館研究紀要	15

その他の建造物

中　国

紹介　登封天文台の中国計量史上の価値	関　増建 加島淳一郎訳	計量史研究	31

日　本

史料紹介「和田岬・湊川砲台関係史料」について　二	髙久　智広	神戸市立博物館研究紀要	22
炉穴考　東海地区における炉穴の分布と形態研究—静岡県を中心として—	筒井　京	静岡県埋文調査研究所紀要*	12
口絵写真（三二九、三三〇頁）説明　鹿児島五大橋の現状について	中西　亨	史迹と美術	769
越中守大伴家持の能登巡行をめぐって	笹川　尚紀	地方史研究	320
中近世の井戸跡について—任海宮田遺跡C地区の資料より—	細辻　真澄	富山考古学研究	9
長崎製鉄所の洋風工場建築について—フェイエノールト社図面等からみた建築概要—	村田　明久	長崎歴史文化博物館研究紀要	1
築地における簀と須柱	早見　洋平 新川　竜悠 土本　俊和	日本建築学会計画系論文集	600
築地と土塀　土を用いた牆壁の諸形態に関する基礎的研究	〃	〃	604
奄美大島製糖史における慶応年間白糖製造工場の建築と技術—イギリス資本から見た集成館事業の研究（3）—	水田　丞	〃	610
埋蔵文化財／発掘調査・出土遺物整理　県指定史跡水軒堤防の発掘調査	仲原　知之	和歌山県文化財センター年報	2005

朝　鮮

『小右記』所載「内蔵石女等申文」にみえる高麗の兵船について	石井　正敏	朝鮮学報	198

庭　園

東アジア

古代東アジアの「池と島の園林」と「池と築山の園林」	外村　中	仏教芸術	286

中　国

唐大明宮太液池の調査と共同研究	今井　晃樹	奈良文化財研究所紀要	2006

日　本

兼六園とはどこのことか	長山　直治	研究紀要金沢城研究	4
平城京と寺院の調査 旧大乗院庭園の調査—第390次	高橋　克壽 林　正憲 和田一之輔	奈良文化財研究所紀要	2006
特集　庭園の保護		文化財*	511
日本人の美意識—庭園に表現された自然観—	吉田　博宣		
史跡および名勝平等院庭園の整備	杉本　宏		
表紙解説　平成整備の完了した平等院庭園と鳳凰堂	〃	〃	〃
特集　古墳時代　古墳時代祭儀空間の成立—古墳時代の庭状遺構の評価を巡って—	穂積　裕昌	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	15

墳　墓

中　国

研究ノート　中国遼東半島漢代墓制の内部空間利用にみる地域性　遼陽・瀋陽地区との比較を含めて	石川　岳彦	国立歴史民俗博物館研究報告	133
華北新石器時代の墓制上にみられる集団構造(二)—山東新石器時代の階層表現と礼制の起源—	宮本　一夫	史　淵	143
江陵張家山漢墓出土「二年律令」訳注稿その(三)	「三国時代出土文字資料の研究」班	東方学報京都	78

日　本

シンポジウム「二上山をめぐる終末期古墳」金剛葛城地域博物館ネットワーク主催第3回共同シンポジウムより	藤井　雅乗記録	大阪府立近つ飛鳥博物館館報	10
研究ノート　一須賀古墳群の調査Ⅵ～分布図・出土遺物の再整理作業から～	宮崎　泰史	〃	〃
横口系埋葬施設に関する試論—河内の事例を中心に—	関本優美子	大阪文化財研究	30
石櫃を持つ火葬墓二題—伊福吉部徳足比売墓と名古曽古墓—	岡本　敏行	〃	〃
伯耆国分寺古墳の再検討	岩本　崇	大手前大学史学研究所紀要	6
文堂古墳測量調査報告	岩本　崇 魚津　知克 森下　章司	〃	〃
近世における神櫛王墓	大山　真充	香川県歴史博物館調査研究報告	2
川崎北西部に分布する古墳の概況	野中　和夫 赤堀　岳人	川崎市文化財調査集録	41
川崎市麻布区東柿生小学校北遺跡(王禅寺東古墳)第2・3次発掘調査報告	大坪　宣雄 渡辺　昭一	〃	〃
群馬県における横穴式石室構築法について	新山　保和	群馬県埋文調査団紀要*	24
特集　七つの謎でめぐる飛鳥		芸術新潮	681
謎の一　古墳の住所で「被葬者」を探れ！	森　浩一、今尾　文昭解説		
謎の二　高松塚古墳　頭蓋骨はどこへ？	〃		
謎の三　見上げてごらん、平壌の星を	宮島　一彦解説		
石棺墓の展開とその意義—縄文時代後期の関東甲信越—	加藤　雅士	考古学雑誌	90-1
資料紹介　香川県丸亀市綾歌町岡田万塚出土の鋳造鉄斧	日高　慎	〃	90-4
大阪府瓜生堂遺跡出土　弥生中期木棺の年代	坂本　稔 春成　秀爾 小林　謙一	国立歴史民俗博物館研究報告	133
研究ノート　斎瓮を斎ひ掘り据ゑ	桐原　健	古代文化	566
島根県東部における中世墓の様相—火葬墓を中心として—	岩橋　康子	古代文化研究	14
旧入間川水系下流域の周溝墓と周溝(上)	福田　聖	埼玉県埋文調査団紀要*	21

飯塚古墳群の様相	山本　禎	〃	〃
さきたま講座講演記録　古代史上の埼玉古墳群	森田　悌	埼玉県さきたま資料館報告*	19
埼玉古墳群陣場地区所在古墳についての覚書	杉崎　茂樹	〃	〃
国分大塚古墳に関する補遺	細川　修平	滋賀県文化財保護協会紀要	19
米原市村居田古墳の再検討	辻川　哲朗	〃	〃
遠江の横穴式木室墳と土器の副葬	田村隆太郎	静岡県埋文調査研究所紀要*	12
聖徳太子磯長墓内「中段結界石」保存処理及び調査報告	陵墓調査室	書陵部紀要	57
平成16年度　陵墓関係調査報告	〃	〃	〃
動向　陵墓問題　陵墓見学会参加記	原　淳一郎	地方史研究	320
大会特集Ⅰ　東西交流の地域史—列島の境目・静岡—問題提起2　静岡県の古墳時代にみる東西交流	鈴木　一有	〃	322
松岳山古墳の立石	中西　靖人	帝塚山大学現代生活学部紀要	2
飛鳥地域等の調査 雷丘の調査—第139次	神野　恵 飛田恵美子	奈良文化財研究所紀要	2006
浦添ようどれの石棺にみられる建築表現と王陵の変遷	髙屋麻里子	日本建築学会計画系論文集	600
神道式墳墓とは何か(二)	此経　啓助	日本大学芸術学部紀要	43
古代史情報	片岡　正人	東アジアの古代文化	126
縄文時代の習俗—埋甕—	桐原　健	平出博物館ノート	20
墳丘の形と大きさ	倉林眞砂斗	物質文化研究	3
研究ノート　樺太アイヌの埋葬形態についての一考察	内山　達也	〃	〃
例会発表要旨　関東地方における弥生中期後半の集団様相—方形周溝墓と土器棺墓の検討を中心として—	林　純子	法政史学	66
特集　古墳時代　近代古墳の研究	豊田　祥三	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	15
再論・南境の民の墓制—地下式横穴墓研究の現在—	北郷　泰道	宮崎県立西都原考古博物館研究紀要	2
地下(竪坑)式横穴墓と墳丘の相関関係	置田　雅昭 東　憲章 高野　政昭 森本　征明 古環境研究所 金原　正子 金原　正明	〃	〃
南武蔵・多摩川流域における横穴式石室墳の展開	池上　悟	立正史学	99
関東地方における終末期古墳の墳丘企画	紺野　英二	〃	〃
平成十七年度立正大学史学会月例報告会研究発表要旨		〃	〃
武蔵の上円下方墳	白石　祐司		
東国における古墳終末期の様相—横穴墓の埋葬様式を中心に—	増井　有真		
歴史の証人　写真による収蔵品紹介　古墳への死者送り	杉山　晋作	歴　博	138
埋蔵文化財／発掘調査・出土遺物整理 特別史跡岩橋千塚古墳群の保存修理事業に伴う第3次調査	丹野　拓	和歌山県文化財センター年報	2005
下毛野の中期大型古墳と古式群集墳	米澤　雅美	早稲田大学大学院文学研究科紀要	51

朝　鮮

高句麗王陵と巨大積石塚—国内城時代の陵園制—	東　潮	朝鮮学報	199・200
日本に散在する朝鮮考古遺物—朝鮮総督府の古蹟調査事業に伴う搬出遺物を中心に—	康　成銀 鄭　泰憲	朝鮮大学校学報	7
特集　韓国・日本の考古学の最新情報　公州水村里の墳墓群	李　勳	東アジアの古代文化	126
特集　古代日本の諸問題　韓国の古墳から出土したクスノキ木棺	渡辺　延志	〃	127

建築部材など

日　本

年輪年代法による正倉院正倉の建築部材の調査(2)	光谷　拓実	正倉院紀要	28
古代建築の大棟中央飾り—平城宮大極殿の復原研究—	山田　宏 窪寺　茂 清水　重敦	奈良文化財研究所紀要	2006
浄土寺浄土堂における部材寸法について—大仏様における部材寸法の規格化に関する研究　その3—	佐藤　隆久	日本建築学会計画系論文集	602
ウダツと大黒柱　切妻民家の中央柱列における棟持柱の建築的差異	滝澤　秀人 島崎　広史 土本　俊和 遠藤　由樹	〃	604
斗栱各部寸法の木割分析—『鎌倉造営名目』における斗栱木割の特質　その1—	坂本　忠規	〃	608

朝鮮・その他

韓国木造建築における斗栱形式分類の再考察—柱心包式とその解釈について—	崔　ゴウン	〃	602
アンコール・トムにおけるプラサート・スープラテラスの構築年代の編年と変遷過程に関する考察　クメール建築におけるテラスに関する研究　その1	コウ・ベット 中川　武	〃	608

建築に付随するその他

東アジア

古代東アジアにおける土地計量制度の変遷	新井　宏	計量史研究	31

日　本

木割書における宝塔類の内容と分類	清水　隆宏 河田　克博 内藤　昌	日本建築学会計画系論文集	600
寺社に対する文政御改による作事規制について—江戸時代後期の肥後藩における寺社建築規制に関する研究　その2—	津野　友彦 北野　隆	〃	602
享保から宝暦期における江戸町名主による小建築物の営繕に関わる文書についての考察—神田明神神事能舞台及び舞台を収納する土蔵の普請事例から—	丸山　奈巳	〃	607
近世の在方集住大工とその形態—発生の背景・要因と大工集住率—	高橋　恒夫 菅谷　真典	〃	609
史料紹介　萩藩「普請所記録」に記載された普請所の種類と数量	河村　克典	山口県文書館研究紀要	33

近　現　代　美　術

絵　　画

一　　般

「キミ子方式」と水可溶性油絵具(3)—地塗り及び筆と画用液に関する考察—	松本　昭彦	愛知教育大学研究報告	55
円筒鏡アナモルフォーズの作図法について—歴史的見地から種々の作図法についての検証を主として—	井村　俊一	金沢美術工芸大学紀要	50
[平成十七年度共同研究報告]天然ウルトラマリンの抽出1	寺田英次郎 荒木　恵信	〃	〃
—巴里憧憬—エコール・ド・パリと日本の画家たち	和田佐知子	県美協力会会報	27
表現療法技法としてのフィンガーペインティング—精神科臨床における適応とその実際—	岡田　　敦	椙山女学園大学研究論集	37
「下地」「地」「地塗り」—油彩画の下地に関する用語の現在—	内藤　定壽	筑波大学芸術研究報告	47
史料紹介と研究　戊辰戦争期の風刺画にみる駐日プロイセン代理公使フォン・ブラント(8)～(10・終)	箱石　　大	東大画像史料解析センター通信*	32～34
第66回例会の報告「満州美術」へのまなざし	崔　　在爀	美術運動史研究会ニュース	81
特集　創造する脳　どうしてヒトは絵を描くのか？　中沢新一　なぜ、いま脳が注目されるのか—時代は芸術の再編成を求めている	中沢　新一談 平林　享子取材・構成	美術手帖	880
特集　BTの画材講座		〃	886
画材から「見る」	古田　　亮		
画材を「知る」　油絵／日本画／アクリル画／水彩画／色鉛筆画の基本	柘植　　響 編集部		
画材を「解く」　論考　画材の現在と未来1　物質としての油画の原理	佐藤　一郎		
画材を「解く」　論考　画材の現在と未来3　アクリル絵具～現在の問題点と展望	植本誠一郎		
画材で「描く」　2006年度版最新画材カタログ　「BTセレクション」こだわりの画材	原田　環＋中山　真理(カワイイファクトリー)		
特集　華麗なる植物画(ボタニカルアート)の世界　植物画がわかる。		美術の窓	272
かけ足でたどる、植物画の世界			
植物画を語る、4つのキーワード	大場　秀章		
読書をする人十選　1～10	伊集院　静	日　　経	1.5、6、9、10、12、13、16、17、19、20
画家の肖像十選　1～10	福井　爽人	〃	2.9、10、15～17、21、22、24、27、28
ぞっとする絵十選　1～10	茂木健一郎	〃	6.8、9、12、13、16、17、19、20、22、24
人の輪膨らむ絵本原画展　イタリア・ボローニャの国際展を日本で紹介	松岡希代子	〃	7.17
男を惑わす美女十選　1～10	張　　競	〃	7.20、21、24、25、27、28、31、8.1、3、4

日　　本

《連載》戦時下日本の美術家たち　第1回「戦争は惨の惨たるもの」—大陸従軍画家は何を見たのか	飯野　正仁	あいだ	122
雑誌「秋田」に載った県人画家の作品(1)	小峯　秀夫	秋田美術	42
上原近代美術館第9回講演会　コレクターの「目」…『白樺』中心の西洋美術の受容について—『白樺』のコレクターたち	山田　俊幸	上原近代美術館だより	31
池田文庫ギャラリー		館報池田文庫	
錦絵「極しんぱん切組燈篭廿四孝」			28
絵看板「廓文章吉田屋の場」			29

[共同研究]民俗学における現代文化研究 近代における遺影の成立と死者表象　岩手県宮守村長泉寺の絵額・遺影奉納を通して	山田　慎也	国立歴史民俗博物館研究報告	132
さし絵画家と小説家のあいだ(一)	重金　敦之	国華清話会会報	7
街角アート　絵看板の復活	星野　清一	新美術新聞	1095
絵葉書にみる明治イマジュリィの形成と国粋主義の時代へ(一九〇六～一八)	山田　俊幸 資料提供 安田　政彦 執筆	帝塚山学院大学研究論集	41
研究ノート　近代水墨画のなかの人物(下)	森　芳功	徳島県立近代美術館ニュース	56
戦後の社寺障壁画研究序論―近・現代障壁画研究へ向けて―	吉田　俊英	奈良県立美術館紀要	20
平成十七年度修士論文要旨　聖戦美術の変遷　油彩画を中心として	三田　良美	美史研ジャーナル	3
論考　日本画の表現―描かれなかった主題―	大須賀　潔	美術京都	36
特集　BTの画材講座　画材を「解く」論考　画材の現在と未来２　日本画の画材と“自由”	荒井　経	美術手帖	886
特集　華麗なる植物画(ボタニカルアート)の世界　植物画がわかる。　日本の植物画のルーツを探れ!!　ARTICLE 1　川原慶賀、清水東谷、柴田是真	薩摩　雅登	美術の窓	272
江戸の洋風画と明治前期の油彩画をつなぐもの	志賀　秀孝	府中市美術館研究紀要	10
「私」と美術が出会うとき	成相　肇	府中市美術館だより	17
資料紹介　中村為治・満蒙開拓従軍紀行	山口　徹	歴史と民俗	22
表現の秋　物語絵画30・40代作家に広がる　混迷の時代、想像の快楽求め	田中　三蔵	朝　日	11.8
「絵画の行方―現代美術の美しさって何？」展　絵画の領域正面から問う	〃	朝日夕刊	1.19
幕末明治のバタ臭い絵十選　1～10	野地耕一郎	日　経	5.1～4、8～11、15、16
世界平和に尽くした「国宝」　安達峰一郎博士の肖像画、国際司法裁判所に	小和田　恒	〃	6.14
異郷で描く京都人十選　1～10	尾崎　眞人	〃	10.2、3、5、6、9、12、13、16、17、19
「大人の塗り絵」で気楽なアート　脳活性化ブームで人気を集める		日経夕刊	12.20
ボタニカルアート　自然の美手軽に再発見		読　売	8.19

海　外

アメリカのイメージ、イメージのアメリカ	池上　裕子	ART RAMBLE	11
特集　古今東西のおさな神　政治論争に使われたおさな神「ポール・ヴィルジニ」と「アンクル・トムス・ケビン」	アンヌ＝ロール・セヴノ＝ゲーノ	アジア遊学	87
パオロ・ピーノ『絵画問答』　翻訳と註解(5)	パオロ・ピーノ 森田　義之、細野　喜代 訳・註解	五浦論叢	13
プラハ・マニエリスム期のルドルフ宮廷における「帝国」の表象―インプレーサ集『神と人間のシュンボルム集』の成立過程をめぐって―	小川　浩史	鹿島美術財団年報別冊	23
フロベール作『心臓の城』とジャポニスム	柏木加代子	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	50
アルス・コスモグラフィア　初期近世ヨーロッパにおける風景画と世界形状誌	ニルス・ビュットナー 深谷　訓子 訳	京都美学美術史学	5
デカメロン絵巻の意外な二都結婚物語	高橋　恵理	芸術新潮	674
藍よりも青いモナ・リザのそっくりさん	内田　さり	〃	684
脳死した近代絵画(後)	新田　博衛	芸術文化研究	10
『ビーブル・モラリゼ』とゴシック期フランスの死生観(三)	黒岩　三恵	死生学研究	2006秋
「死」の変容　壁画「死の舞踏」への文学的アプローチ(1)	田桐　正彦	女子美術大学研究紀要	36
PARIS発　フランス叙情的芸術	安部　雅延	新美術新聞	1093

オスマン帝国における祝祭の社会史的考察—王家主催の1582年祝祭を中心に—	奥　美穂子	駿台史学	129
ペトラルカ『凱旋』の図像をめぐって	京谷　啓徳	哲学年報	65
『サライ・アルバム(宮廷詩画帳)』(トプカプ宮殿美術館蔵)に描かれた音楽・舞踊	小柴はるみ 松本奈穂子	東海大学紀要教養学部	36
ロサンゼルス市ボイルハイツ地区における90の壁画—資料と地理学的アプローチ—	矢ヶ崎典隆 椿　真智子 佐々木智章 深瀬　浩三	東京学芸大学紀要	57
印象主義の「印象」とは何か	伊達　立晶	美学芸術学	21
中世末期の降誕図における幻視文学の影響—『いとも豪華なる時禱書』における「キリスト降誕」と聖女ビルギッタの『啓示』—	木田沙弥佳	〃	21
平成十七年度修士論文要旨　アメリカ都市リアリズムの空間における座視　再現から定見としての新たな画面について	鈴木　香織	美史研ジャーナル	3
礼拝堂に描かれた天井壁画の研究と写真	若山　映子	美術史	160
展覧会評　ヴェネト絵画の潮流を見る	森田　優子	美術史学	26
ボローニャ派の諸問題—形成期からルネサンス期まで—	池上　英洋	美術史論集	6
特集　入門★中国美術　大衆のための多色刷り版画「中国年画」　その歴史と東アジアとの交流	田所　政江	美術手帖	887
特集　マドンナ　王道というアヴァンギャルド　絵本作家マドンナ	金原　端人	ユリイカ	517
現代中国の美術展「興隆する中国の内なる活力」	藤田　一人	東京夕刊	1.7
絵で読むシェークスピア十選　1～10	河合祥一郎	日　経	3.6、7、9、10、13、14、16、17、20、21
喜びの風景画十選　1～10	酒井　健	〃	11.20、21、23、24、27、28、30、12.1、4、5
これがシェークスピアの顔だ　候補作6枚中の1枚　英美術館「可能性高い」	山科　武司	毎日夕刊	3.3

漫画・アニメーション

一　般

国際アニメーションデー2005　in　京都	吉澤　多聞	瓜生通信	35
ブラジルの日本漫画	ダニエラ・唐沢	国文学解釈と鑑賞	902
立体アニメーション撮影システムの構築	渡辺　正臣 辻　英男 斎賀　和彦 長谷川拓郎	東北芸術工科大学紀要	13
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨　空間表象の非ユークリッド的転回—3D CG アニメーション論—	金　日林	美　学	227
特集　マンガは芸術(アート)か？　進化するマンガ表現のゆくえ		美術手帖	876
海外マンガ事情　世界のコミックスの大海を泳ぎながら	小野　耕生		
椹木野衣×伊藤剛　スーパーフラット以降のマンガと美術	福住　廉 構成		
マンガの展覧会は何を提示したか　大衆文化と芸術、社会性に関する試論	東谷　隆司		
総特集　アーシュラ・K・ル＝グウィン『闇の左手』から『ゲド戦記』まで　ふたつの戦記		ユリイカ	523
元型とミセス・ブラウン—あるいはアニメ映画というファンタジー—	井辻　朱美		
アニメに適さない題材、ファンタジー—あるいは「プリン／ターキッシュ・ディライト」問題	藤津　亮太		
ツウのひと声　出版米に根づくMANGA	藤本由香里	朝日夕刊	2.10
ウィーン　漫画に躍る　日本文化知る入門編　初の展示会	古田　秀陽 中山　洋子	東　京	1.23

フランス印象派ヌーボー上　21世紀のジャポニスム　「MANGA」若者を魅了		日経夕刊	9.1
世界に羽ばたくMANGA	野島　康祐	毎　　日	6.30
マンガの居場所　枠があることと越境者であること	宮本　大人	毎日夕刊	2.28
日本のマンガを中国語に翻訳、配信　シンガポールのサイトで開始	岸　　桂子	〃	10.2
アニメ、見てますか 1　「キャプテン翼」イラク駆ける		読　　売	10.3

日　　本

研究発表〈要約〉『萬朝報』の「端書ポンチ」—主な傾向と常連投稿者—	加藤　真弓	近代画説	15
研究ノート　ジブリ作品から見た環境問題	前田あゆみ	皇学館論叢	231
特集　戦後マンガ史論をどう書くか		水声通信	14
ギャグ漫画におけるフレームの多重化	斎藤　　環		
残れるはこれか、憤怒の記憶　「赤本マンガ」あるいは前「貸本マンガ」と戦争体験	梶井　　純		
神もなく境界もなく　漫画史論の不可能性と可能性	永山　　薫		
「戦後」「マンガ」「歴史」を接着するために	吉村　和真		
マンガ研究の現在	竹内オサム		
第一特集　現在進行形コミックガイド　コミックを読む方法 2006—2007		STUDIO VOICE	369
PARTⅡ　現在進行形コミックを語る！　コミック・シーンはどのように再編されるのか？　座談会伊藤剛×芝田隆広×ヤマダトモヒコ	吉田　大助		
PARTⅡ　現在進行形コミックを語る！　『DEATH NOTE』から『魔人探偵脳噛ネウロ』へ	イズミノウユキ		
PARTⅢ　現在進行形コミックを考える！　「コミック・ファウスト」の提示するマンガ雑誌のあり方！　編集長・太田克史インタヴュー	吉田　大助		
PARTⅢ　現在進行形コミックを考える！　00年代マンガ・シーンの興隆を支える！　文化庁メディア芸術祭事務局・阿部芳久インタヴュー	〃		
PARTⅢ　現在進行形コミックを考える！　作家の原画はどうあるべきなのか！？	ヤマダトモコ		
PARTⅢ　現在進行形コミックを考える！　単行本と雑誌の関係	〃		
PARTⅢ　現在進行形コミックを考える！　「ジャンプ三原則」から「努力」は失われたのか？	イズミノウユキ		
PARTⅢ　現在進行形コミックを考える！　「キャラクター」でなければならない理由	〃		
PARTⅢ　現在進行形コミックを考える！　この作家の短篇作品が面白い！	ヤマダトモコ		
特集　書体の選び方　マンガのフキダシが変わる！『コミックファウスト』のフォントディレクション	大輪　俊江	デザインの現場	149
特集　マンガは芸術(アート)か？　進化するマンガ表現のゆくえ		美術手帖	876
Manga into Art —マンガがアートになる日	楠見　　清		
マンガ史を変える30人	暮沢　剛巳 編　集　部		
当世マンガ事情 2006　90年代以降のマンガの流れを振り返る	今　　秀生		
この壊れやすい世界で危機のメディアとしてのマンガと現代美術	松井みどり		

戦中漫画映画におけるウツの用法—蠱惑する『くもとちゅうりっぷ』—	渡辺　守雄	文　学*	7-4
特集　マンガ批評の最前線		ユリイカ	515
マンガ表現論の革新　キャラの近代、マンガの起源『テヅカ・イズ・デッド』をめぐって	夏目房之介、宮本　大人、伊藤　剛談		
「日本マンガ学会」ができるまで　情報の共有に向けて	藤本由香里		
アニメが先かマンガが先か　アニメ＝マンガ言説に関する一考察	津堅　信之		
「萌え」と「乙女ちっく」のあいだにあるもの、あとからくるもの	ヤマダトモコ		
「キャラ／キャラクター」概念の可能性	夏目房之介、東　浩紀、伊藤　剛談		
ヤオイ・イズ・アライヴ　わかりたいあなたのための、やおいマンガ・マップ	金田　淳子		
デジタルマンガの現在	竹熊健太郎		
マンガ編集者覆面座談会　マンガ雑誌はどこへ行くのか	週刊少年マンガ誌編集者、月刊少年マンガ誌編集者、月刊少女マンガ誌編集者　伊藤　剛聞き手		
マンガの「語り」を楽しみたくて	青井　どり		
視線力学の基礎　読者の〈目〉が漫画に与える力	イズミノウユキ		
必読！マンガ論ブックガイド	斎藤　宣彦　横井　周子		
マンガ・アニメに女装少年　「らしさ」から自由に、ギャップを楽しむ	小原　篤	朝　日	11.9
境界線で〈3〉マンガと美術　世界発信力巡る綱引き	西田　健作	朝日夕刊	8.14
時評圏外　エロマンガよ永遠なれ	小川　ぴい	〃	12.1
学のいま　夜明け前のマンガ学	西田　健作	〃	
手塚の偉大さ、認めつつ相対化			12.21
膨張期終わり、等身大の検証へ			12.28
九州の漫画研究拠点に　日本マンガ学会に２つ目の部会		東　京	10.14
今を読み解く　現代マンガはどこへ行く内実欠く「認知」「振興」	宮本　大人	日　経	2.5
アニメ人材育成を強化　三鷹のNPO　制作会社で“実地”研修		〃	8.24
文化往来　ベネチア映画祭、日本アニメに厳しい評価		〃	9.14
人間発見　現代のキャラクター王３、４　作家・大阪芸術大教授　小池一夫さん	藤井　良広聞き手	日経夕刊	3.23、24
ローテク・アニメ人気復活　CG時代に手作りの味	窪田　直子	〃	3.28
まんがどこに行くのか　TV・海外頼み、話題作生めぬ雑誌	村上　知彦	〃	10.17
復刊マンガ、団塊に人気　発表から50年、画業50年を記念	内藤麻里子	毎日夕刊	6.23
マンガの居場所　不可視ジャンルの成熟表す本	ヤマダトモコ	〃	12.21
アニメ１位は「エヴァンゲリオン」　文化庁ネット公募「メディア芸術100選」		読　売	10.4
アニメ、見てますか５　ファン“二極化”の憂うつ		〃	10.7
名作マンガ復刊ブーム　懐かしの昭和文化　中高年に感動再び	佐藤　憲一	読売夕刊	6.28

海　外

特集【私たちが学ぶイラク戦争】世界の無視と沈黙に向かいアラブのマンガは訴える	吉田　悟郎	歴史地理教育	696
風刺画事件　民衆へ配慮足りぬ漫画家	清水　勲	朝　日	2.18

版　　画

一　　般

レポート　デジタル版画制作の現状を追う	ナレン・バーフィールド 秋田　真波訳	版画芸術	134
レポート　国際版画公募展　PRINTS TOKYO　2007来春開催	天野　純治、古谷　博子談 秋田　真波聞き手	〃	〃

日　　本

[口絵写真解説]「氷川公園萬松楼高島之景」（銅版画）		埼玉史談	285
[研究報告]嗚呼、頁が折れちゃった―草双紙のオカシミ	近藤　秀實	多摩美術大学研究紀要	20
〈研究ノート〉『博覧図』の出版をめぐって	渡辺　善司	千葉県立中央博物館研究報告	19
特集　ここまでできるオフセット印刷　敏腕プリンティングディレクターに聞くオフセット印刷の匠と技	カワイイファクトリー	デザインの現場	146
巻頭特集　コレクターが気になる版画のめばえ　日本の新しいエディション　版画工房・ギャラリーエディション作品―制作の現場から	加山　智章、木戸　均、黒田　悠子談 辺　見取材・構成	版画芸術	131
飾る愉しみを追う file10　美味しいパンとコーヒーとジャズと版画	秋　田	〃	〃
STUDIO　版画工房		〃	
三戸町立現代版画研究所	〃		〃
東京版画研究所	辺　見		132
版画工房訪問　ザボ・ハウス　東京都渋谷区	辺見　海	〃	134
プロふぇっしょなるず　千年越しの「色」再現　文化財複製伝統技法で精巧に	松浦　祐子	朝日夕刊	9.19
版画東京新風景十選　1～10	中林　忠良	日　経	5.18、19、22、23、25、26、30～6.2

海　　外

世界一高額なエロ本は16世紀イタリアの性戯書	編　集　部	芸術新潮	678
連載　黒崎彰の続・版画史解剖20世紀編　4　戦争と版画―大戦のはざまに生きた画家たち	黒崎　彰	版画芸術	132
フランス革命における新聞版画とテキスト―新聞報道にみられる出版戦略のズレ―	平　正人	歴史学研究	811
ベトナム版画願い刻む　祭祀用として民衆に根付いた絵を調査	田所　政江	日　経	3.2

写真・映像

一　　般

写真を表現する私性の軌跡―視覚世界を読む眼差し、創る眼差しへの考察―	今野　徳好	愛知県立芸術大学紀要	35
映像断片の継時的群化に関わる「ベクトル」の効果	井上　貢一	九州産業大学芸術学部研究報告	37
第一特集　PHOTOGRAPHY LITERACY　写真の基礎知識～より深く写真を楽しむために　徹底座談！写真を見渡す15のキーワード	竹内万里子 日高　優 富田　秋子 森屋　恵美	STUDIO VOICE	362

1　PORTRAIT

2　STREET/ROAD

3　SEX／DRUG／VIOLENCE

4　INTO THE CIRCLE

5　ALTERNATIVE

6　GERMAN PHOTOGRAPHY

7　FASHION

8　CINEMATIC

9　GIRLS FANTASY

10　CONSUMERISM

14　DIGITAL

第一特集　PHOTOGRAPHY LITERACY　写真の基礎知識～より深く写真を楽しむために　今、是非見ておきたい写真集45冊	竹内万里子 富田　秋子 森屋　恵美	〃	〃
第二特集　DOCUMENTARY NOW！ドキュメンタリー写真の現在		〃	〃
ドキュメンタリー・フォトの「戦略」	飯沢耕太郎		
戦場の目撃者	相原　理歩		
都市表象分析25　狩人たちの物語—都市博物誌の座に向けて	田中　　純	10＋1*	43
私のいる場所—新進作家展Vol.4　ゼロ年代の写真論		東京都写真美術館ニュース	49
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨　写真と指示—その類比についての分析の試み—	岡本　源太	美　　学	227
特集　メディアが「美術」をつくる。4　写真のありか再考—ヴィンテージプリントと写真の複数性	光田　由里	美術フォーラム21	14
特集[記憶と記録]写真における再現と表現について	宮田　公佳	歴　　博	134
デジタル化で変わる写真表現　もっと「感じたまま」へ　フィルム派、強いこだわり	西岡　一正	朝　　日	4.25
「東京写真月間2006」地域、アジアの隣人にフォーカス	飯沢耕太郎	東京夕刊	6.1
現代セルフポートレート十選　1～10	笠原美智子	日　　経	9.12、14、15、18、19、21、25、26、28、29

日　　本

連載：日本実験映像史31～33(最終回)	西村　智弘	あいだ	121～123
デジタルカメラ時代の写真評論	飯沢耕太郎	学　　鐙	103-4
国際写真サロン入選作にみる“日本的イメージ”—フランス写真協会所蔵作品調査—	光田　由里	鹿島美術財団年報別冊	23
CSCDコラム／コミュニケーションの風景2　風景としての映像～ホームムービーのススメ	久保田テツ	季刊Plug	5
幕末・維新期における尾張家の撮影写真と技術開発	白根　孝胤	金鯱叢書*	33
[史料紹介]徳川慶勝写真研究関連資料(二)	〃	〃	〃
『椿三十郎』とジャンル	橋本　　淳	人文論究	55-4
古写真調査　鍋島報效会所蔵写真調査について—東京大学史料編纂所付属画像史料解析センター古写真研究プロジェクト—	谷　　昭佳	徴古館	11
ファルサーリと日本写真史	木下　直之	美術史論叢	22
1000枚の写真をたどって～民俗学者宮本常一写真の追跡調査記録～	博物館ボランティア資料整理班 佐藤　智敬	府中市郷土の森博物館紀要	19
特集　写真と文化財		文化財*	517
写真と文化財—その目的・概要—	川瀬　由照		
写真資料の重要文化財指定	松本　純子		
文化財としての写真	金子　隆一		
「文化財」としての写真の保存と取り扱い	高橋　則英		
壬申検査と写真	佐々木利和		
文化財を写真に記録するということ—文化財写真技師はなぜ必要か—	金井　杜男		
奈良国立博物館の撮影現場から	森村　欣司		
文化財写真への思い—東京国立文化財研究所—	野久保昌良		
写真に残されたアイヌ資料—セントルイス万国博覧会に参加したアイヌの人々とその道具—	出利葉浩司	北海道開拓記念館研究紀要	34
家族写真をめぐる覚え書	川村　邦光	待兼山論叢	40
「歴史の目撃者」を保存　写真保存センター設立へ要望書	山盛　英司	朝日夕刊	9.1
「今」がわかる名著写真　上、中、下	飯沢耕太郎	東　　京	3.12、19、26

英旅行家が見た明治日本　貴重な写真、ケンブリッジ大で発見・分析	小山　騰	日　経	3.8
こども＝未来　小さな実力派1　早咲きITピカソ		日経夕刊	1.25
ピンホールカメラ復活!!　幻想風景遊び心刺激	小川　敦生	〃	6.13
フォーカス　誰でも3D画像、常識覆す世界最大のCG学会で表彰された東大助教授　五十嵐健夫氏		〃	8.30
人間発見　「勇気を奮って変わろう」1　富士フィルムホールディングス社長　古森重隆さん	野村　義博 聞き手	〃	11.27
戦後の記録写真保存へ　「センター」計画始動		〃	12.21
江戸博蔵めぐり		〃	
ナポレオン肖像画の複写写真　明治中期	岡本　純子		4.28
リコーフレックスVI型1953年・発売	丸山はるか		9.22

海　外

アジアアート交換記事『典蔵　今芸術』大いに期待される中国人写真の将来	張　禮豪 潘　廣宜 訳	ギャラリー*	258
善への欲望　映像に見る倫理学の可能性	今村　純子	女子美術大学研究紀要	36
速報　From NEW-YORK　9・11から5年　テロ直後の現場の目	富井　玲子	新美術新聞	1098
ディープ・フォーカスとイメージの深さ—ドゥルーズ『シネマ』の奥行き論への一考察—	岩城　覚久	人文論究	56-3
第一特集　PHOTOGRAPHY LITERACY　写真の基礎知識～より深く写真を楽しむために　徹底座談！写真を見渡す15のキーワード	竹内万里子 日高　優 富田　秋子 森屋　恵美	STUDIO VOICE	362
13　LONDON YOUTH CULTURE			
15　AFRICA			
第一特集　PHOTOGRAPHY LITERACY　写真の基礎知識～より深く写真を楽しむために　フォトマスターで辿る写真の系譜	鈴木　行	〃	〃
写真的信仰について1～4	ジェラール・ヴァイクマン 橋本　一径 訳	百　科*	526～529
修士論文概要　死児写真をめぐる考察—写真における「出会い」と「よみがえり」—	小林　杏	早稲田大学大学院文学研究科紀要	51

彫刻・空間表現

一　般

インスタレーション用パワードライブシステムの開発と評価	野上　文天	東北芸術工科大学紀要	13
特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する		美術手帖	877
人はなぜ彫刻をつくるのか？	暮沢　剛巳		
彫刻のメカニズム　彫刻とはいったいどういうメディアか？	小谷　元彦		
彫刻／人形／フィギュア　彫刻と人形—比較論の地平	谷川　渥		
特集　美術史家の価値評価を問う1　古典古代彫刻石膏模造のために	金井　直	美術フォーラム21	13
彫刻の力十選　1～10	小谷　元彦	日　経	4.12～14、18～20、24～27

日　本

空間演出デザイン学科共同企画「danform」	氷室　和夏	瓜生通信	35
〈研究報告〉神戸市の野外彫刻の総合的研究	六人部昭典 岩﨑　奈美	大手前大学史学研究所紀要	6
筑波大学付属図書館蔵『彫刻写真帖』について	伊藤可奈子	芸術学研究(筑波)	10
街角アート	星野　清一	新美術新聞	
大井埠頭の「お化け彫刻」			1078

いたずら描きではありません			1084
街を歩けば…			1087
都市・建築・彫刻の調和			1089
銀座に舞いおりたキューピッド			1092
緑陰の中の爽やかなモニュメント			1097
バンブーインスタレーションの展開Ⅱ	西尾　貞臣	名古屋造形芸大紀要*	12
第五十九回全国大会研究発表要旨　「大東亜美術」としての《八紘之基柱》	千葉　　慶	美術史	161
特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する　「彫刻」の行旅　あるいは「第二芸術」のゆくえ	北澤　憲昭	美術手帖	877
古い民家アートに脱皮　新潟・十日町　学生ら、のみで彫刻奮闘中	西田　健作	朝日夕刊	3.24
「角栄像」風化拒む屋根　雪国に現代の「笠地蔵」物語	木下　直之	読　　売	8.21

海　　外

民間伝承における救済の諸表現—「燃える人」と他界のトポロジー	嶋内　博愛	死生学研究	2006春
ギリシア彫刻等の複製活用　アテネ地下鉄駅の新公共芸術	長谷川　栄	新美術新聞	1094
特集　宮廷と美術　研究ノート　はりぼて凱旋門の語るもの　16世紀の君主の入城式におけるアッパラートに関する覚書	京谷　啓徳	西洋美術研究	12
イタリア蝋型美術鋳造法研究—ローマ・フラミニア鋳造所の技法について	中村　義孝	筑波大学芸術研究報告	47
現代美術における凹状の造形にみる超越	藤枝由美子	〃	〃
野辺の民間信仰・路傍の神々Ⅶ	村越　信子	東京家政大学研究紀要	46
工匠マテオの「対異教徒大門」—越境するロマネスク彫刻—	岡林　　洋	文化学年報(同大)	55
西欧中近世における権力者の彫像—フランスを中心に	江川　　溫	歴史と地理	594

工　　芸

一　　般

明治時代の輸出漆器とヨーロッパにおけるその受容	ビンチク・モニカ	漆工史	29
欧米人による「鍋島」収集の歴史と現在	今泉　吉博	陶　　説	642
例会発表要旨　第99回例会：ジャポニスムからマチスまで—19世紀後半から20世紀前半までのフランスにおける芸術場—シャンフルーリと陶磁器	今井　祐子	日仏美術学会会報	25
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨　工芸の製作における「反復」という概念	猪谷　　聡	美　　学	227
開館記念シンポジウム「いま、陶芸とは何か」	林屋　晴三、榎本　　徹、乾　　由明　パネリスト　弓場　紀知　コーディネーター	兵庫陶芸美術館研究紀要	1
アール・ヌーヴォー期における造形研究　キルンワーク(パート・ド・ヴェール)におけるガラスの黒色変化と発泡現象について	齊藤　昭嘉　近岡　　令　篠原　規行	武蔵野美術大学研究紀要	36

日　　本

匠のかたち　火箸風鈴	石黒　知子	ＡＸＩＳ	123
貫戦工芸史—工芸学会の消長	森　　仁史	一　　寸	26
日本における、ろう染作品・技法の独自性と国際性、表現の可能性について	阿部　　緑	大阪成蹊大学芸術学部紀要	2
人づくり、町づくりの拠点としての博物館—岡山で「桃太郎展」開催の意義—	加原菜穂子	岡山びと*	1
「おかやまと桃太郎展」での郷土玩具の役割	東　　隆志	〃	〃
金沢銅器会社研究(一)　史料紹介『金沢銅器製造元記』	山崎　達文	金沢学院大学紀要文学・美術編	4
昭和初期京都における染織産業の一側面—寺田資料の紹介と位置付け	並木　誠士　青木美保子　山田由紀代	京都工繊大工芸学部報告*	54

研究発表(要約)　明治輸出工芸の岐路—繭絲織物陶漆器共進会を中心に	花井　久穂	近代画説	15
特集　そろそろうるし		芸術新潮	684
一　高森寛子　このうるしがおすすめ	高森　寛子		
二　産地を訪れる			
五　紀行　琉球漆器に会いにいく	編　集　部		
特輯　明治の工芸		国　　華	1328
「明治の工芸」特輯に当って	佐藤　康宏		
明治工芸論—国民国家における職人的「技芸」の役割—	樋田　豊郎		
[研究論文]金工の埋蔵物—「湯床吹き」と「鍛金」をめぐって	関井　一夫	多摩美術大学研究紀要	20
県外輸出商品について　戦前期の壺屋焼き　1	倉成　多郎	壺屋焼物博物館紀要	7
アラヤチの製作と焼成について	赤嶺由紀子	〃　　〃	
近現代陶芸一三〇年の歩み(前編)～(後編)	外舘　和子	陶　　説	635～637
幻の瀬田窯(中)	近藤　京嗣	〃	638
昭和の桃山復興—陶芸家と近代—	木田　拓也	東洋陶磁	35
特集　工芸発見！日本美術ってすごい！		美術手帖	882
辻惟雄インタビュー　日本美術と工芸の歴史	橋本　麻里		
現代美術としての工芸	暮沢　剛巳		
もうひとつの工芸—展覧会シーン1985—2005	冨田　康子		
工芸におけるコトバ	提髪　明男		
偽装のジャンル—もしくは「工芸」という橋	北澤　憲昭		
グローバル時代の日本の伝統的工芸品産業—秋田県川連漆器産地の海外進出事業を事例に—	漆原　拓也	文化資源学	4
御装束神宝の調整	釆野　武朗	瑞　　垣	202
古陶随伴録	三好　　一	目の眼	
36　名古屋のやきもの　醉雪焼から夜寒焼			357
37　名古屋のやきもの最終回　米禽焼、大島楽庵、東雲焼、鶴舞焼			358
40　明治期の「なにはやき」と続・高原焼について			362
明治陶磁器コレクションのなかの萬古焼	岡村奉一郎	四日市市立博物館研究紀要	13
現代陶芸、女性が席巻　手軽に始め、自由・大胆　受賞や大学を「占拠」	秋山　亮太	朝　　日	9.27
書画飾る表装の美を復元　文化財の掛け軸・巻物に使われる「古典織物」制作	中島　洋一	日　　経	10.23
挑む伝統産業　鮮やかに革新　美濃和紙　三河仏壇　常滑焼		〃	10.30

海　　外

近代イギリスの中国観—陶磁器の文様＝柳模様に浮かぶ中国—	東田　雅博	金沢大学文学部論集	26
ミャンマーの漆芸	城崎　英明	金沢美術工芸大学紀要	50
民族衣装の新潮流　近・現代における中国雲南省麗江ナシ族女性の民族衣装デザインの変遷に関する基礎資料の収集	北川　恵美 山村　高淑	京都嵯峨芸術大学紀要	31
世界やきもの比べの珍品はドール・ハウスの微少磁器	永島　章雄	芸術新潮	675
インドネシア・スマトラ島の伝統的装身具における金工技術について—バタック人、ミナンカバウ人の装身具を中心に	柿崎　博孝	玉川大学教育博物館館報	3
平成十七年度支部例会研究発表要旨　ミュンヘン手工芸連合工房の活動理念と博覧会活動	針貝　　綾	美術史	160
ベトナム工芸愉快な仲間　生産地を訪ね10年、伝統守るお手伝い	丸岡　隆之	日　　経	1.26
ジャワ地震　伝統産業にも打撃	代慶　達也	〃	6.2

デザイン

一　般

「デザインのことば」—デザインボキャブラリーの再定義[ひ]～[み]	川崎　和男	ＡＸＩＳ	119～124
ユニバーサルデザインの推進手法に関する研究	古瀬　敏	静岡文化芸術大学研究紀要	6
０～３歳児を対象とした絵本の選書～心理学的発達対応と形態学的発達対応～	白須　康子	人文研究	159
特集　デザインを読む！　ブックガイド300		デザインの現場	145
はじめに揃えたい必読の書　理論／思想／プロダクト／タイポグラフィ／印刷／素材・加工／色彩	池田美奈子 紫牟田伸子 桐山登士樹 永原　康史 大城　穣司 川村　雅徳		
デザインの幅を広げる「この６冊」社会／政治／経済／心理／教育／環境／建築／カルチャー／ジェンダー	毛利　嘉孝 五十嵐太郎 桝山　寛 堀口　裕美 西村　佳哲 太田　浩史 長澤　均 暮沢　剛巳		
第１特集　ホテルをつくる		〃	150
デザインの“贅”を尽くしたホテル	編　集　部		
ワザありホテル＆旅館	大輪　俊江		
テクノロジーロマン１　ユニバーサリズムのオブセッション	ヨコミゾマコト 山中新太郎 太田　浩史 大村　洋平 落合　正行 金　龍大 権藤　智之 見立竜之輔	10＋１*	45
特集　もうひとつのデザイン・ユートピア　テクノロジカル・デザイン＆アーキテクチャー　身体のリダンダンシーとしてのサイボーグ技術	藤崎圭一郎	美術手帖	878
日本奇術発展の種あかし　最古の指南書含め、約五千点の資料を収集	河合　勝	日　経	3.23
デザイン季評	生井　英考	読　売	
情報の「泡」に飲まれて			5.25
前衛の先行く満足「感」		〃	11.30
デジカメ引き算の美学		読売夕刊	2.28

日　本

匠のかたち　クレイモデル	石黒　知子	ＡＸＩＳ	119
URYUYAMA PEOPLE 011 佐藤淳	佐藤　淳	瓜生通信	37
小樽における印の現況報告—小樽市博物館歴史文化調査会調査報告２—	小樽市博物館歴史文化調査会	小樽市博物館紀要	19
中間評価論文梗概　デザインギャラリー銀座・松屋の研究—その企画展に関する芸術支援学的考察—	土屋　伸夫	芸術学研究(筑波)	10
「素っぴんの家具」デザイン開発～静岡家具を対象としたサスティナブルデザインの可能性～	宮川　潤次 黒田　宏治	静岡文化芸術大学研究紀要	6
函館市中央図書館ポスターコレクションから　港まつりポスターとその周辺	霜村　紀子	市立函館博物館研究紀要	16
第一特集　プロダクト・デザインの現在 NEW DESIGN PARADIGM		STUDIO VOICE	365
NEW DESIGN PARADIGM	紫牟田伸子		
90s—00s DESIGN DECADE JDN	ＪＤＮ		
90s—00s DESIGN DECADE 90s—00sナナメ読みデザイン・ヒストリー	大城　譲司 佐々木タケシ		
CONCEPT & DESIGN METAPHYS	畠山　美咲		
CONCEPT & DESIGN LEADING EDGE DESIGN	大城　譲司		
CONCEPT & DESIGN デザインで蘇る地場産業	紫牟田伸子		
CONCEPT & DESIGN 老舗リノベーション	〃		
MARKET&DESIGN デザインケータイ狂騒期	藤崎圭一郎		
MARKET & DESIGN ASKUL	大城　譲司		

MARKET & DESIGN 消費者と企業におけるデザイン・リテラシー	柳本　浩市		
MARKET & DESIGN 未来化する乗り物デザイン	パラダイス山本		
LONG LIFE DESIGN ロングライフデザインを巡る磁場	高澤　敬介		
LONG LIFE DESIGN G－MARK 50th	編　集　部		
グラフィカルなアプローチから生まれるプロダクツ	深沢　慶太		
デザイナーへの登竜門～デザイン・コンペティション	編　集　部		
UNDER 35 DESIGNERS LIST 新たなムーブメントを生みだす革新的なアプローチ	桐山登士樹		
交通機関のサインフェイスデザインリニューアル試案	西川　潔 山本　早里	筑波大学芸術研究報告	46
これ、誰がデザインしたの？	渡部　千春	デザインの現場	
36　道路標識			145
37　老舗週刊誌の表紙			146
38　トップスのデザイン			147
39　MONO消しゴム			148
40　紙おむつのデザイン			149
41　サッカーのエンブレム			150
特集　心をつかむ展示空間、ディスプレイ、広告　プレゼンテーションの底力		〃	147
ウィンドウ・ディスプレイ展示術	石井　芳征		
デザインワークの展示手法	山本　高樹		
光の演出でこれだけ変わる！　五十嵐久枝×山田照明	杉瀬　由希		
特集　紙選びのABC 紙使いの“技”見せます！　デザイナー8人の実践例	伊部　玉紀 杉瀬　由希 高橋　美礼	〃	148
第1特集　ホテルをつくる　エキスパートに聞く　ジャンル別デザインのポイント	高橋　美礼 白坂　ゆり 古田　陽子 山内　宏泰	〃	〃
学芸大こども未来プロジェクト立ち上げ企画展の報告とその考察　企画展「こどモード―子どもと未来と遊びを考える―」におけるデザイン展開について	正木　賢一 鉄矢　悦朗 山田　修平 宮坂　雄悟 嶽　里永子 新名佐和子	東京学芸大学紀要	58
情報のデザイン	秋田　寛	東京造形大学研究報	7
飾る愉しみを追う file11　飾る暮らしの“贅沢さ”	秋　田	版画芸術	132
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨　明治二十一年意匠条例と応用美術思想について	天貝　義教	美　学	227
特集　もうひとつのデザイン・ユートピア　テクノロジカル・デザイン&アーキテクチャー　1980年代のデザインと社会を読み解くキーワード　ブランディングと文化戦略／自動車／80年代的身体／万博	暮沢　剛巳	美術手帖	878
特集　メディアが「美術」をつくる。8　正倉院展へのメディア展開―二〇〇五年秋の「事件」を読む	小川　伸彦	美術フォーラム21	14
表紙解説〈表〉　一九七九年切手趣味週間「立美人」	岸　文和	〃	〃
気鋭のデザイナーで甦る伝統工芸	小泉　誠　談	日　経	2.6
独創デザイン長寿の秘訣　Gマーク創設半世紀、オリジナルの大切さ浸透	平野　拓夫	〃	10.27
幻のグラフ誌「NIPPON」全貌現す　現代デザイン・写真の原点	窪田　直子	日経夕刊	7.4
発言席　「グッドデザイン」誰のため？	桂　英史	毎　日	11.19
デザイン季評　“トリ字”若者に救世主？	生井　英考	読　売	8.31
あんぐる　プリンターで簡単染色		読売夕刊	10.3

海　　外

特集　ブラジルとインド—デザインの新潮流	上條　昌宏 仁尾　帯刀 グレン・ドウザ 鈴木　隆文	ＡＸＩＳ	121
メゾン・エ・オブジェが提案するインテリアトレンド	上條　昌宏	〃	124
アメリカにおける環境グラフィックの現代的様相　1960年代以降を中心に	高　　台泳	芸術学研究(筑波)	10
切手に見る世界建築		建築雑誌	
1　建築家の肖像	横山　　正		1541
2　鉄とガラスの世紀	〃		1542
3　米国現代建築の殿堂	磯　　達雄		1545
4　建築切手の図的表現［1］	横山　　正		1546
5　世界の七不思議	五十嵐太郎		1547
6　方寸の世界に庭を描く	横山　　正		1548
7　プロト・モダーンの名作	後藤　　武		1549
8　階段—空間のドラマの演出者	横山　　正		1550
9　都市の肖像	村田　あが		1551
10　時計塔のある風景	横山　　正		1552
11　黒アフリカのコンパウンド	藤井　　明		1553
12　橋—二つの端をつなぐ異界	横山　　正		1554
第二特集　ダッチ・デザインの新潮流～DROOG以降のニュー・クリエーション！		STUDIO VOICE	371
ドローグデザインの13年	岡田　栄造		
モダンとポストモダンが交差するダッチ・デザイン	柳本　浩市		
モア・ダッチ・デザイン	加藤　孝司		
ダッチ・デザイン@100%DESIGN TOKYO	編　集　部		
Design Office Report From USA	道添　　進	デザインの現場	147
14　Gee＋Chung Design　サンフランシスコ			
15　Kiku Obata＆Company　セントルイス			148
平成十七年度修士論文要旨　バウハウス・デザイン理念の変遷と実施	河野　佑美	美史研ジャーナル	3
特集　もうひとつのデザイン・ユートピア　テクノロジカル・デザイン＆アーキテクチャー		美術手帖	878
失敗が成功だったポストモダン	竹原あき子		
廃墟と新素材—マテリアル・テクノロジーが生んだデザイン	長澤　　均		
特集　メディアが「美術」をつくる。2　失われた宝石本を求めて—タイタニックと『グレート・オマー』	気谷　　誠	美術フォーラム21	14
第一次大戦期の戦意高揚ポスター　東大がネットで661枚公開	手塚さや香	毎日夕刊	4.12
「ブラック・スタイル・ナウ」展　ド派手＆ルーズ	高橋　直彦	読　　売	9.22

建　　築

一　　般

民家研究	御船　達雄	建築史学	46
1990年代以降の建築・都市18　醜い景観狩り	五十嵐太郎	10＋1*	42
現代建築思潮　「東京オリンピック計画二〇一六」のための序　四つの提言と討議	今井公太郎 今村　創平 日埜　直彦 吉村　靖孝 村井　　一 梅岡　恒治 岩元　真明 金子　祐介	〃	〃
現代建築思潮［討議］　バルセロナ・オリンピック、都市の成長と発展	梅岡　恒治 岩元　真明 今浦　友恵 今井公太郎 今村　創平 日埜　直彦 吉村　靖孝	〃	43
技術と歴史5　近代建築における素材について　伝統と革新	安田　幸一	〃	〃
現代住宅論	難波　和彦	〃	

1　現代住宅の諸問題1　なぜサステイナブル・デザインなのか			44
2　建築の四層構造			45
住まいの絵本にみる子どもへの住情報の分析—子どもと住文化に関する研究(1)—	北浦かほる 宮崎　育子 藤野　淳子	日本建築学会計画系論文集	606
展覧会企画：ヴァイオレイティッド・パーフェクションとその背景	入江　　徹	〃	609
日米つなぐ日本建築守る　「松風荘友の会」、屋根葺き替えや障壁画制作に奔走	小澤　悠一	日　　経	11.1
都市の深化論　比べる・見える　ビジネスセンター6　「日本の価値」を据える	橋爪　紳也	毎　　日	6.24
焦点06　建築　都心再開発　様々なアイデア	(清)	読売夕刊	1.16
建築望見　寒々しさ・安っぽさ…“精錬”次第	高野　清見	〃	3.18

日　　本

戦時下大阪における女性建築家の育成　建築工芸技術研究所婦人建築研究部の卒業生への聞き取りを通して	小川　知子 酒井　一光	大阪歴史博物館研究紀要	5
山﨑家住宅主屋　調査報告書	大田区教育委員会 建築文化研究所	大田区立郷土博物館紀要	16
もう一つの「半牀庵」	竹鼻　圭子	大手前大学人文科学部論集	6
茨城県における納屋の機能と構法の類型化	濱　　定史	芸術学研究(筑波)	10
郊外住宅地における神社林の景観的役割についての研究—西宮市南部地域を事例として—	東村　哲志	芸術文化研究	10
増価する建築、甦る地域		建築雑誌	
1　活性化資源としての〈まち遺産〉—下田市旧南豆製氷所	橋本憲一郎		1541
2　マンションの建替えとコミュニティの継承—同潤会江戸川アパートメント	田村　誠邦		1542
「作品選集2006」ならびに「2006年日本建築学会作品選奨」選考報告	宗本　順三	〃	1544
増価する建築、甦る地域		〃	
3　城崎このさき100計画　兵庫県城崎温泉	後藤　春彦		1545
4　ネットワーク資源としての〈地域遺産〉—米蔵からアートコミュニティスペースへ	梶原　良成		1546
5　都市産業インフラの地層と科学教育の聖地—旧万世橋駅遺構と交通博物館	池田　靖史		1547
6　職住共存の文化を支える長屋の再生—京町屋	中島　吾郎		1548
7　“モノ”づくりから“コト”づくりへ—湊町再生プロジェクト[YOKOHAMA KOTOBUKI STYLE]	岡部　友彦		1549
8　歴史的建造物を活かした高田市街地活性化戦略—上越市	藤井　恵介		1550
9　婚礼家具のまちからデザインのまちへ—「堀江ブランド」を生みだした大阪堀江・立花通り商店街	岡　絵理子		1551
10　低成長時代におけるまちづくりのモデル構築を目指して—イノベイティブ卸町	堀口　　徹		1552
11　“I don't mind, if you forget me.”—弘前の真夏の奇跡から「原っぱ」へ	北原　啓司		1553
12　新幹線開業とともに生かす100年の鉄路　JR九州肥薩線	砂田　光紀		1554
近代の茶室評価のための一試論　小林一三の茶室を通して	松本　康隆	建築史学	47

研究室リポート　上野公園の近代建築史	久保田稔男	国立科学博物館ニュース	450	
第八九九回例会　京都大学博物館と清風荘	東　　暲	史迹と美術	767	
第九〇〇回例会　旧藤田邸庭園より大丸心斎橋店へ	三和　勝彦	〃	768	
街角アート　欅並木の「欅」の建築—「TOD'S」	星野　清一	新美術新聞	1076	
上野駅前「じゅらく」老朽化で取り壊しへ昭和レトロ文化の遺産また一つ消える		〃	1101	
街角アート　シンプル・イズ・ザ・ベスト	星野　清一	〃	1106	
地方都市における開業時の百貨店の立地と景観—鹿児島・山形屋、岡山・天満屋そして福井・だるま屋—	野中　勝利	筑波大学芸術研究報告	47	
第１特集　ホテルをつくる　ニッポンデザインを継承するホテルオークラ東京	岡野　　民	デザインの現場	150	
1990年代以降の建築・都市19　本物の教会／フェイクの教会	五十嵐太郎	10＋１*	43	
CONCEPTUAL日本建築８　第八章モダニズム編	黒沢　　隆	〃	〃	
現代建築思潮　オリンピックと団地二〇一〇年問題	今井公太郎 今村　創平 日埜　直彦 吉村　靖孝 金子　祐介 アリ・セリグマン	〃	44	
芸術系資格戦略—美を拒否する日本の都市のために—	山下　将太	南山考人	34	
開拓使旧蔵建築関連洋書と開拓使洋風建築の意匠　開拓使旧蔵建築関連洋書に関する研究　その２	池上　重康 角　　幸博	日本建築学会計画系論文集	599	
わが国戦前期の都市独立住宅における外部意匠の変容過程に関する一考察—「あめりか屋」の住宅作品の外部意匠を中心に—	中嶋　直子 内田　青蔵	〃	〃	
戦後「新建築」誌での商業建築の設計論における外形表現からみた都市認識	谷川　大輔 塩崎　太伸 奥山　信一	〃	600	
オフィスビルのファサードにおける建築家の設計意図と実現手法　現代日本の建築における技術と意匠の関係に関する研究	横山　天心 奥山　信一	〃	〃	
東京大学理学部博物場の建築と公開について	西村　公宏 飯淵　康一 永井　康雄	〃	602	
３代木津宗詮の職能と茶室の全体的把握のための基礎的研究	松本　康隆	〃	〃	
赤坂離宮の室内装飾の調達・製作実態	児島由美子	〃	603	
国会仮議事堂の図面の変遷史—わが国の国会仮議事堂に関する研究	堀内　正昭	〃	604	
「内務省勧業寮屑糸紡績所」主屋の現存状況について	清水　慶一 中島　久男 湯本　　桂	〃	〃	
初代国会仮議事堂の小屋組について—わが国の国会仮議事堂に関する研究　その２	堀内　正昭	〃	607	
明治初期における官舎制度の形成過程について—近代日本の官舎建築に関する歴史的研究—	崎山　俊雄 飯淵　康一 永井　康雄 安原　盛彦 尾川　幸奈	〃	608	
現代日本住宅の創作における与条件と建築の関係イメージ　建築家の言説にみられる空間的思考に関する研究	佐々木夕介 山田　　深	〃	〃	
戦前広島における建築家活動の実態について—地方都市における建築家活動の形態とその特徴に関する研究—	李　　明 石丸　紀興	〃	〃	
建築家による構法をテーマとした住宅の設計論にみられる設計意図と構築モデル　現代日本の建築における技術と意匠の関係に関する研究(２)	横山　天心 山根　美紀 奥山　信一	〃	610	
現代日本の建築家の設計論にみられる対概念　対照性を利用した建築的思考の文脈と形式に関する研究	塩崎　太伸 奥山　信一	〃	〃	
転用主体の活動実績から見た歴史的建造物の転用プロセスに関する研究—小樽無尽ビルと油津赤レンガ館の事例分析を通じて—	白木里恵子 久保　勝裕 大垣　直明	〃	〃	

新潟県岩船郡における歴史的建造物群の残存状況と外観特性—下越地方の街道沿いを対象として(その1)—	佐藤　憲明 岡崎　篤行	日本建築学会計画系論文集	610
廃仏毀釈と群中小学校　近世初頭から近代初頭に至る領主的土地所有の解体過程を背景にもつ小学校の動向	古川　晴之 土本　俊和	〃	〃
笛吹嘉一郎の職能と茶室の全体的把握のための基礎的研究	松本　康隆	〃	〃
第67回例会の報告「分離派建築会」と1920年代の日本の建築	菊地　潤	美術運動史研究会ニュース	82
哲学堂散歩—近代日本の科学・哲学・宗教—	岡田　正彦	仏教史学研究	48-2
戦後建築が重要文化財に指定されたことの意味	鈴木　博之	文化財*	514
珠玉の近代数寄屋・野村碧雲荘	矢ヶ崎善太郎	〃	519
〈調査報告〉東京砲兵工廠銃包製造所(現・自衛隊十条駐屯地)　旧二七五号棟の保存・活用のための調査報告	初田　亨 穐本　美緒	文化財研究紀要	19
白川郷・五箇山の合掌造り集落の現状	矢野　和之	ユネスコ世界遺産年報	11
史跡を歩く		歴史地理教育	
94　近代日本の縮図「軍艦島」(長崎市)	葛西よう子		694
95　学習院大学史料館(東京都豊島区目白)	長佐古美奈子		695
103　仁風閣(鳥取市東町)	小川　周作		703
日本史のひろば　近代土木文化財探訪	北河大次郎	歴史と地理	
農業土木施設　二、三			592、597
上下水道施設　三			595
道路橋　四			600
大正末期の早稲田キャンパス整備に関する資料紹介—『早稲田大学図書館等建築現場写真帖』第三冊—	丹尾　安典 佐藤　香里	早大会津八一記念博紀要*	7
東京・小石川の「銅御殿」旧磯野邸　重文前にマンション計画	渡辺　延志	朝日	1.17
奇想遺産　耕三寺日本	鈴木　博之	〃	1.22
探求　都市再開発　銅御殿は守れるか	渡辺　延志	〃	3.16
よみがえる東京駅　3階建て復元に奮闘	加戸　靖史	〃	3.22
奇想遺産　首里城正殿と玉陵　日本	松葉　一清	〃	5.14
奇想遺産　笠森観音日本	鈴木　博之	〃	6.25
東京と大阪の中央郵便局　建築学会など「保存を」　モダニズム建築の代表作	西田　健作	〃	9.19
「狭い」「高い」は創造の母　「日本の現代住宅」展　変わる家族や暮らし映す	山盛　英司	朝日夕刊	2.10
素材色々私の氷上小屋　群馬・赤城山の大沼　建築家「釣り人に負けられぬ」	西田　健作	〃	3.10
現代建築に「洞窟的空間」安藤忠雄氏　伊東豊雄氏　青木淳氏　IT社会と通じる感覚	大西　若人	〃	3.30
日本の住宅が問いかける	岡本　耕治	産経	1.9
建築と保存　新・旧「共存の街」模索	猪谷　千香 堀　晃和	〃	2.16
名建築を訪れる　東京都庭園美術館　新邸に込めた幸福の記憶	金杉　貴雄	東京	12.6
産業遺産都市と生きる　横浜で保存・活用を推進、新たな文化の創造めざす	北沢　猛	日経	1.13
かたち百景		〃	
五稜郭タワー　星形を見下ろす五角形	(田)		2.5
通天閣　ずんぐりした姿に親しみ	(稔)		9.10
茨城県三の丸庁舎　歴史の重み、映画で多用	(田)		11.12
金沢の鼓門　空から謡が降ってくる	(敦)		12.10
旧下関英国領事館　赤レンガ100年の変遷	(田)		12.17

古建築小さな「本物」作り　ミニチュア制作、実物と同じ工法の手作業で再現	沖永　考一	〃	11.22
アートで再生街づくり新時代　若手建築家、都市問題に遊び心で挑む	窪田　直子	日経夕刊	1.17
建築、多彩に味わうお菓子作りで創造過程体験　写真撮影会やスケッチ講座	〃	〃	8.8
旧吉田邸保存　悩む地元　神奈川・大磯町		〃	8.14
歴史を育て景観美しく　都市整備が生む「にせもの」を警戒	鈴木　博之 窪田　直子 聞き手	〃	10.18
夕張市・大正の和風建築「旧鹿ノ谷倶楽部」財政難、修復進まず		〃	12.5
都内の高層建物奇抜な色×　街並み重視景観規制広がる		〃	12.14
「島宇宙」都市・東京の出発点　アークヒルズ誕生から20年	鈴木　博之	毎日夕刊	5.1
建築史的評価や保存方法を議論　「東京中央郵便局」シンポジウム	手塚さや香	〃	8.1
美しさの行方８　光を感じ、影を愛する日本家屋の魅力再発見		読　売	1.11
とうきょう歴史散歩旧近衛師団司令部庁舎　明治のレンガ造り今に		〃	1.18
街を見直そう　“銅御殿”大丈夫？　10メートル脇にマンション計画		〃	3.17
景観と歴史の間		〃	
3　六本木ヒルズは美しいか　文化生む「土地の記憶」			5.10
4　六本木ヒルズは美しいか　「後世」の目に堪える街に			5.11
東京文化会館　愛され45年　修繕どうする	宮下　　博	〃	6.1
建築望見　町役場設計　幻の住民参加案	高野　清見	〃	6.15
“文化財”よみがえらせた改修	片岡　正人	〃	7.21
赤レンガの夢		〃	
3　旧富岡製糸場工業立国日本の原点	池田　和正		7.21
4　南禅寺水路閣難工事、執念の記念碑	渡辺　達治		7.28
5　旧下野煉化ホフマン式輪窯　十六角形の美　町の宝	岡本　公樹		8.4
7　旧宇津ノ谷隧道　明治トンネル94年目の灯	片岡　正人		8.18
8　油津赤レンガ館　旦那衆31人自腹で守った「往時」	岡本　公樹		8.25
建築望見　曲線空間斬新さと窮屈さ	高野　清見	〃	8.10
建築望見　「日本橋」景観改善どう展開	〃	〃	9.21
建築季評　空間の質社会的な評価を	中川　　理	〃	12.21
建築望見　「よく知る」が保存への一歩	高野　清見	〃	12.22
建築望見　象徴の塔圧倒的な存在感	〃	読売夕刊	3.4
建築季評　「誠実さ」わかりにくく	中川　　理	〃	3.22
柳宗悦邸修復　人間国宝のテーブル　欧風出窓に障子　８日から公開		〃	6.3
「国際文化会館」再生建築学会の総力　ハイテク駆使		〃	7.4
戦前の東京モダン風前　取り壊し方針　日比谷・三信ビル		〃	7.28

海　　外

中世フィレンツェの都市建築(Ⅱ)	森田　義之	愛知県立芸術大学紀要	35
「ポルトガルの家」建築におけるポルトガルらしさを求めて	中島　恭子	ＡＸＩＳ	119
特集　中国社会構造の変容　農村・都市の構造変化　北京の都市空間的社会特徴	李　　国慶	アジア遊学	83
ジャカルタのいまを読む　秩序とケイオスの都市　景観の中のジャカルタ　旧市街・モール・下町	瀬川　真平	〃	90

ドレスデンのフラウエン教会とドライケーニッヒス教会の再建をめぐって	田﨑　祐生	大阪成蹊大学芸術学部紀要	2
サンテチェンヌ聖堂の壁	佐藤　達生	学　鐙	103-1
麗江旧市街地における伝統的建築物の現状と保全に関する考察～観光産業が世界遺産都市の空間および社会に与える影響の多角的分析その２～	藤木　庸介 山村　高淑 平田　隆行 張　天新	京都嵯峨芸術大学紀要	31
滇西古道沿いの伝統的建築物～中国雲南省・茶馬古道沿いの伝統的建築物に関する報告～	藤木　庸介 北山めぐみ	〃	〃
歴史的建築(四合院)再生による北京豊盛地区都市住まい空間の再構築―歴史性を根拠としての持続的空間デザイン	謝　璞	京都精華大学紀要	31
1930年代イタリアの鉄道デザイン研究　チネジョルナーレの中の駅舎建築と鉄道車両を事例として	臼井敬太郎	芸術学研究(筑波)	10
欧州各地中世建築における古代ローマ尺汎用について	藤本　康雄	芸術文化研究	10
フラ・ベルナルディーノ・カイーミの「代用エルサレム」―ヴァラッロのサクロ・モンテの失われた初期の形態について(下)	関根　浩子	芸　叢	22
論文　中世シトー会建築の平面に見る尺度について	西田　雅嗣	計量史研究	31
パラッツォ・ルチェッライの腰壁に見られる網目積みを模した表面仕上げについて	飛ヶ谷潤一郎	建築史学	46
日本統治期の台湾原住民住居研究とその評価	角田　憲一	〃	47
建築史学会二〇〇六年度大会　研究発表会報告二　クリュニー第三次修道院建築と葉飾り柱頭の展開	常田　益代	〃	〃
建築物・装飾・歴史からみる国境地域の多元的文化―雲南省騰衝県和順郷の事例研究に基づいて	韓　敏	国立民族学博物館調査報告	63
特集　宮廷と美術 論文　宮廷と宮殿 17世紀のピッティ宮における宮廷儀礼と建築の関連	金山　弘昌	西洋美術研究	12
技術と歴史６　共同体の歴史構造と技術の性格	中川　武	10 ＋ 1 *	44
1990年代以降の建築・都市21　ゴースト・イン・ザ・サンプリング・マシーン	五十嵐太郎	〃	45
「ポートレイト(pourtraict)」から「プラン(plan)」へ―ルネサンスのパリに於ける都市設計の概念的萌芽とそのための技術的転換に関する研究その２(完)―	鳥海　基樹	日本建築学会計画系論文集	600
ケース・スタディ・ハウス・プログラムにおける「空間的広がり」―場所に根差す感覚をもつ「戦後住宅」のキー・コンセプトとして―	山中　章江 川向　正人	〃	604
サンティアゴ・デ・ペニャルバ教会堂：工法について	伊藤　喜彦	〃	605
ボスニア地域における箱柱式教会の特質について―フィンランドの17世紀、18世紀木造教会に関する研究(その１)―	竹内　晧	〃	606
サンタニェーゼ・フォーリ・レ・ムーラ聖堂の建築的特徴と階上廊の意義	高根沢　均	〃	610
「渋沢フィルム」撮影地の景観変容―韓国・蔚山を事例として―	浜田　弘明	人類文化研究のための非文字資料*	3
韓国におけるコロニアルタウンの景観―同化と異化、保存・利用・破壊―	須山　聡	〃	〃
北京市都心部および郊外農山村の景観変容	藤永　豪	〃	〃
旧朝鮮の神社跡地調査とその検討―全羅南道、和順郡を中心に―	津田　良樹 中島三千男 金　花子 川村　武史	〃	〃
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨　シュパイヤー大聖堂の小型ギャラリー―歩廊としての機能について―	小倉　康之	美　学	227

平成15年度修士論文要旨　ブールジュ大聖堂　内陣周歩廊のステンドグラスについて	小野　康子	美学美術史研究論集	21
私の空想美術館33　オータンのサン・ラザール大聖堂	粟津　則雄	美術の窓	277
特集　美術史家の価値評価を問う4　「作品」としての景観—イングリッシュ・カントリーサイドの空間編成	三枝憲太郎	美術フォーラム21	13
奇想遺産		朝　日	
クリスチャン・サイエンス派第1教会パークリー　アメリカ	鈴木　博之		3.26
サン・シュルピス教会　フランス	松葉　一清		6.11
ロイヤルパビリオン　イギリス	鈴木　博之		8.27
テンペルホフ空港　ドイツ	松葉　一清		9.10
ブラックプール・タワー　イギリス	木村　伊量		9.17
サンタンジェロ城　イタリア	松葉　一清		10.15
ウインターガーデン　米国	〃		11.19
アジアの近代再評価　建築遺産から歴史見直し	窪田　直子	日　経	11.18

その他のジャンル

一　般

乗越たかお×前田圭蔵　観る前に跳べ—劇場通いのススメ—第2回：舞台芸術家たちを取り巻く「現実」	乗越たかお、前田　圭蔵対談	ART　iT	10
現在通信From NEW-YORK　コンテンポラリー・アート	富井　玲子	新美術新聞	1084
MobLab モブラボ：日独メディアキャンプ2005	石井　芳征	美術手帖	886
境界線で〈1〉芸術と科学　先端技術通じ再び接近	山盛　英司	朝日夕刊	8.8

日　本

書をもっと楽しむ鑑賞のすすめ	笠嶋　忠幸	出光美術館館報	137
井上道義総合プロデュース「ブリリアント・モーツァルト」舞台美術制作プロジェクト	徳森由希子	瓜生通信	37
CSCDコラム／コミュニケーションの風景		季刊Plug	
1　音楽が生命として見えるとき	本間　直樹		4
3　駅を、新しいコミュニティスペースに…	平田オリザ		6
パパ・タラフマラ考—1960年代以降の日本のパフォーミング・アーツについて	西澤　晴美	芸　叢	22
千葉アートネットワーク・プロジェクト2005「となり×となり」	山根　佳奈	千葉市美術館ニュースC'n	37
境界を無効にする「電気」な試み　テクノポリタンミュージアム	有馬　純寿	美術手帖	887
日本庭園って粋だね　伝統派～モダン、新たなブーム	菅野みゆき	朝　日	11.22
デバイスアート　伝統と最先端技術の融合	猪谷　千香	産　経	3.18
神さま刈り取り　青森「田んぼアート」		日　経	9.25
「アート」実って風神雷神に別れ　青森で稲刈り	太田　圭介	毎　日	9.25

海　外

韓国の「アート・トゥ・ウェア」の位置付けと特性—先行研究を中心に—	趙　採沃	芸術学研究(筑波)	10
例会・研究発表会要旨　西部会　第二五九回研究発表会「バウハウスの舞台概念をめぐって—シュライヤー、グロピウス、シュエレンマー」	青木　加苗	美　学	226
バウハウスの舞台概念をめぐって—シュライヤー、グロピウス、シュレンマー	〃	〃	227
修了生論文　対峙し続けるダンサーの身体　イヴォンヌ・レイナーとジャドソン・ダンス・シアター	久郷雄一朗	美史研ジャーナル	3

舞台　ダンスと映像で多面的魅力　パリ・シャトレ座「レ・パラダン」	石井　達朗	朝　　日	11.8

作　　家

日　　本

(ア)

《追悼》岡部徳三君の死に際して思うこと—ぼくとシルクスクリーン・プリンター	靉　　嘔	あいだ	126
アーティスト訪問30 靉嘔		ギャラリー*	251
靉嘔(美術家)　壁埋め尽くす虹	西田　健作	朝日夕刊	3.24
今年の名残３　美術家靉嘔氏　回顧展でもっと自由に	高野　清見	読　　売	12.28
追悼　隣人ナムジュン・パイク　破壊と建設　働き抜く	靉　　嘔	読売夕刊	2.6
日々好日　桜を描くこと	相笠　昌義	新美術新聞	1085
動物園にて　サルを描くこと	〃	多摩美術大学研究紀要	20
巻頭特集　私の好きな人物画Part.1　相笠昌義インタビュー「相笠流・現代人の描き方」		美術の窓	268
新・私のアルバム10 相笠昌義	小森佳代子	〃	277
佐々木豊のホンネでファイト　第３回“スキャンダル”からの足の洗い方	会田　誠 ゲスト 佐々木　豊 聞き手	アート・トップ	207
アーティスト訪問28 会田誠		ギャラリー*	249
第一特集　映像表現のニュー・ヴィジョン！ Ultimate Motion Graphics 先鋭映像クリエイター対談　ART対談：会田誠×田中功起	工藤　キキ	STUDIO VOICE	370
藤田嗣治さんについて	会田　　誠	美術手帖	882
特集　藤田嗣治　フジタの「戦争」　わだばフジタになる！？「戦争画RETURNS」制作秘話	〃	ユリイカ	519
ナビゲーター　かむほどに、味わい深い作品群[会田誠]	西田　健作	朝日夕刊	1.10
芸州美術協会と広島の美術家—《眼のある風景》に至る靉光の活動を中心に—	藤崎　　綾	鹿島美術財団年報別冊	23
art news　亜欧堂田善の洋風画プロジェクト	金子　信久 解説	芸術新潮	675
亜欧堂田善の一本の樹	安村　敏信	府中市美術館だより	18
旬を読む　『査察機長』内田幹樹著　臨場感あふれるサスペンス	青木　　勝	産　　経	1.15
建築　佐伯市蒲江　海の資料館[青木茂]	五十嵐太郎	毎日夕刊	1.23
「イメージとイメージの間」『はたらくカッパ』逆柱いみり著	青木　　淳	ＡＸＩＳ	122
特集　ジャコメッティ　アルプス生まれの全身芸術家　ジャコメッティ　私だけの愉しみ方　「彼のつくる空間は、建築家とは似て非なるもの」	青木　淳、 保坂健二郎 対談	芸術新潮	679
小特集　鈴木理策、雪国の美術館を旅する[青木淳]		〃	681
SV CUT UP ART　青木淳設計『タロウナス・大阪』	乾　久美子	STUDIO VOICE	369
第一特集　Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　建築家	青木　　淳	〃	371
青木淳　JUN AOKI COMPLETE WORKS 2　AOMORI MUSEUM OF ART	石井　芳征	美術手帖	885
こころの風景	青木　　淳	朝日夕刊	11.6～8
目黒区　旧前田侯爵邸洋館　建築家　青木淳さん　階段下は自分の居場所みたい	今村　守之	東京夕刊	7.29
特集　座談会　若いエネルギーで明日を拓く　C—DEPOTのアーティスト達[青木伸介]		ギャラリー*	255
交錯する夢１　ルソー展から	青木　世一	東京夕刊	10.30
雲谷(もや)—I	青木　野枝	多摩美術大学研究紀要	20
日展100年記念企画「上野の思い出」　初入選の思い出	青木　龍山	日展ニュース	122

第一特集　Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　アーティスト	青木　陵子	STUDIO VOICE	371
描くことが人生！あこがれアーティスト編　青木陵子	宮村　周子	美術手帖	879
帝国大学のパブリックアート―青山熊治「九州大学工学部壁画」―	後小路雅弘	美術研究	389
巻頭特集　実践！海外留学ガイドブック column　帰国のタイミングを図る	青山　　悟	美術の窓	270
第一特集　Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　アーティスト	青山　千穂	STUDIO VOICE	371
Close―up50　青山ひろゆき　甘酸っぱいモチーフが追憶を誘う		ギャラリー*	255
from美濃―岐阜県支部通信　大窯Ⅳ期・連房式登窯Ⅱ期の小皿類にみられる粘土紐輪積み成形について	青山　双男	陶　　説	635
特集　そろそろうるし　四　鼎談「漆って何だろう？」	髙森　寛子、赤木　明登、青木　奈緒鼎談	芸術新潮	684
特集　回想・上野　私と上野	赤木　幸輝	自由美術	2006
巻頭特集　東京―ベルリンの邂逅　2.両都市を往還する人々　赤瀬川原平	南條　史生	アート・トップ	208
巻頭特集　眼のちから　目利きという創造　発見者の系譜　青山二郎・赤瀬川原平・坂田和實	矢島　　新	〃	212
特集　はじめての武満徹　武満徹をみる　その1　ようこそ、武満美術館へ　タケミツ謹製現代美術[赤瀬川原平]	編　集　部	芸術新潮	677
特集　藤森照信　方法としての歩く、見る、語る。　論考　笑う路上観察学会のまなざし　都市のリズム分析に向けて[赤瀬川原平]	南後　由和	10＋1*	44
特集　メディアが「美術」をつくる。6「座」としてのメディア―赤瀬川原平における連載と投稿	鷲田めるろ	美術フォーラム21	14
路上観察の視点ベネチアで紹介　藤森さんら伊・ビエンナーレに[赤瀬川原平]	山盛　英司	朝　　日	2.22
きょうの論点　フィルムvs.デジタル　美術家・作家　赤瀬川原平さん	成田　太郎聞き手	〃	6.5
人生遊あり趣味の達人が行く　道楽学　カメラ１～３	赤瀬川原平	産　　経	9.17、24、10.1
交錯する夢２　ルソー展から	〃	東京夕刊	10.31
青春の道標１、２	〃	日　　経	12.18、25
発見された画家１～６	〃	日経夕刊	1.9、26、2.2、9、16、23
ベネチア・ビエンナーレ　藤森照信さんら出品　「俳諧的な文化を欧州へ」[赤瀬川原平]	米本　浩二	毎日夕刊	2.20
歩きたい　赤瀬川原平の散歩の言い訳　第１回～第35回	赤瀬川原平	〃	4.5、12、19、26、5.10、17、24、31、6.7、14、21、28、7.5、12、19、26、8.2、9、16、23、30、9.13、20、27、10.4、11、18、25、11.1、15、22、29、12.6、13、20、27
歩きたい　赤瀬川原平の散歩の極意　今年を振り返って　好きなのは「におい」のする所　予算は1000円	〃	〃	12.27
赤瀬川原平さんのお品書き　ビフテキ　アンパン燃えていた	斎藤　雄介	読　　売	1.16
特集　戦後マンガ史論をどう書くか　赤塚不二夫、その孤独について	長谷　邦夫	水声通信	14
大波小波　赤塚不二夫という伝説	(チビ太)	東京夕刊	1.26

山下裕二の今月の隠し球13、14　赤塚美知子　場末のロセッティ、あるいはモロー〈上〉〈下〉	山下　裕二	美術の窓	268、269
第19回「京都美術文化賞」　受賞者のことば	上野真知子	美術京都	37
特集　回想・上野　私と上野美術館	赤堀　正己	自由美術	2006
思い出図書館　『少年ケニヤ』山川惣治著　空腹でも、漫画本は見られた	秋　竜山	産　経	8.7
PAPER IN MY WORK103　秋田寛 TAKEO PAPER SHOW 2006	橋本　麻里	デザインの現場	146
第2特集　新しいデザインの授業 interview デザインを教えること　秋田道夫	杉瀬　由希	〃	150
ひと　漫画「こち亀」が連載30周年を迎えた　秋本治さん	野波　健祐	朝　日	9.13
両さん"無欠勤"30年愛される「不良警官」こちら葛飾区亀有公園前派出所　作者・秋本治さんに聞く	堀　晃和	産　経	9.26
「両さん」愛されて30年　マンガ「こち亀」、時代映すネタ探しも楽しく	秋本　治	日　経	9.13
ひと　漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」連載30年　秋本治さん	内藤麻里子	毎　日	9.10
連載30周年　"怪物"3作持続の秘密「面白さの王道」貫きひたむきな情熱歌う［秋本治］	石田　汗太	読売夕刊	5.31
漫画家秋本治さん　両さんは「友人」　自分の夢託した	(U)	〃	9.9
東京―ベルリン／ベルリン―東京　破壊と創造を繰り返す2つの都市の物語　2006年ベルリン／東京のアートシーンを追え！　秋山さやか	北澤ひろみ	美術手帖	878
Humor Illustration Poster	秋山　孝	多摩美術大学研究紀要	20
［研究論文］日本・中国のイラストレーションポスター(その1)―中国建国初期と文化大革命のイラストレーションポスター	〃	〃	〃
おまけの芸術、大逆転　秋山祐徳太子	西田　健作	朝日夕刊	1.27
《連載》戦時下日本の美術家たち　第4回「通州事件」と朝井閑右衛門	飯野　正仁	あいだ	125
特集ワールド　ケータイでパシャパシャ［浅井慎平］	鈴木　琢磨	毎日夕刊	9.25
新・旧刊案内26　蔵書印、浅井忠の版画、『陸軍』の最後、ほか	青木　茂	一　寸	26
「多目的食器」	浅井　治彦	明星大学研究紀要	14
浅蔵五十吉　2004～2005年　作品の解説	浅蔵五十吉	金沢学院大学紀要文学・美術編	4
舞台美術、たゆまず「勉強」　文化功労者の朝倉摂に聞く	山口　宏子	朝日夕刊	12.6
文化功労者　舞台美術家朝倉摂さん　国内外で感性光る作品		読売夕刊	10.27
慶応義塾大学所蔵作品調査・保存活動	小林　嘉樹 柳　井 担当・記	慶応義塾大学アート・センター年報	13
4. 朝倉文夫《小山内薫胸像》の洗浄保存処置			
5. 朝倉文夫《平和来》の洗浄保存処置			
展覧会から　企画展「キャンバスに刻まれた魂―浅野弥衛の世界」	磯川　浩	四日市市立博物館研究紀要	13
Weekly日誌	浅葉　克己	毎日夕刊	
8月22～28日　コンテスト、漢字ポスター、卓球大会			9.1
8月29日～4日　世界のデザイナー集結へ準備、山本寛斎ショー			9.8
9月5日～11日　石の卓球台、デザインアワード審査、臨書			9.15

9月12日～18日 9・11特集、メディア芸術祭、コウモリ			9.22
9月19日～25日 買い物、タイポグラフィー、時天空			9.29
特輯　明治の工芸 旭玉山　牙彫宮女置物	大熊　敏之	国　　華	1328
表紙解説―浅見松江筆「一葉女」	川口　直宜	刀剣美術	597
第2特集　新しいデザインの授業 interview デザインを教えること　安次富隆	杉瀬　由希	デザインの現場	150
NIPPONのカタチ デザインの挑戦6 建築家兼インテリアコーディネーター アシハラヒロコ氏		日経夕刊	1.11
第一特集　現在進行形コミックガイド コミックを読む方法 2006―2007　PART Ⅱ現在進行形コミックを語る！『よつばと！』の何が面白いのか！？［あずまきよひこ］	保坂　和志	STUDIO VOICE	369
特集　マンガ批評の最前線　インタビュー　キャラクターがそこにいるというマンガを	あずまきよひこ談 伊藤　剛聞き手	ユリイカ	515
Close―up45　東強 写実絵画の今日的な意味を求めて		ギャラリー*	253
教員は語る　芸大への期待・抱負・提言 第4回	東谷　武美 毛利　嘉孝	芸大通信	12
惜別　画家・ボストン名誉市民　麻生花児さん　多才な冒険家　最期も笑顔	洞口　和夫	朝日夕刊	5.8
憧れワークにつくために今日からはじめること　あだちなみ	藤田　容子	みづゑ	77
今月の読書　『佐々木豊画集　悦楽と不安と』作品の魅力を引き出す演出や構成	安達　博文	新美術新聞	1079
東陽堂・吾妻健三郎の仕事	岩切信一郎	一　　寸	27
ひと　第10回手塚治虫文化賞のマンガ大賞を受賞　吾妻ひでおさん	西田　健作	朝　　日	5.10
第10回手塚治虫文化賞　大賞「失踪日記」吾妻ひでお作	呉　智英 村上　知彦	〃	〃
スピーチでどっと笑い　手塚賞贈呈式 受賞4氏それぞれ感想［吾妻ひでお］	西田　健作	〃	6.8
「すべてを忘れて歩く」『日本の名随筆・別巻32「散歩」』川本三郎編	安積　朋子	ＡＸＩＳ	120
アトリエ・ワン・フロム・ポスト・バブル・シティ　アトリエ・ワン	石井　芳征	美術手帖	882
クリエーターズワーク＆ソウル　阿部伸吾		ＡＸＩＳ	121
特集　もうひとつのデザイン・ユートピア　テクノロジカル・デザイン＆アーキテクチャー　creator's edge 1　阿部仁史	松本　　淳	美術手帖	878
建築　阿部仁史「菅野美術館」　裏表のない無重力の空間	五十嵐太郎	毎日夕刊	5.30
幕末明治文人画家天野方壺に関する基礎研究	梶岡　秀一	鹿島美術財団年報別冊	23
日展100年記念企画「上野の思い出」　旧美術館の思い出	雨宮　敬子	日展ニュース	122
雨宮庸介　不確かなリンゴたち　「われらの時代」展より		芸術新潮	674
巻頭特集　人気画家10人のミクストメディア㊙技法講座　ガラクタに命を吹き込む！？　荒井茂雄が素材について語る		美術の窓	273
Happy「大東亜共栄軒」！―自前パフォーマンス・フェスティヴァル制作日記	荒井　真一	あいだ	126
特集　工芸発見！日本美術ってすごい！	Daisuke Awata	美術手帖	882
コンテンポラリーなモノ作家たち 新井達矢			
つくってみたくなる3　能面　新井達矢			
永島正人×荒井良二、競作	來嶋　路子	みづゑ	
第3回「ガソリンスタンド」を描く			75

第４回「壁」を描く			76
第５回「ひらがな」を描く			77
第６回「本」を描く			78
永島正人　クレパスを塗り込んで塗り込んで、巨大な作品が現れる	荒井良二、駒形克己談 來嶋路子、工藤あおい取材	みづゑ	〃
第２回みづゑ賞「絵本部門」審査員・座談会　荒井良二、飯野和好、スズキコージ	來嶋路子取材	〃	76
憧れワークにつくために今日からはじめること　荒井良二	藤田容子	〃	77
特集　はじめての武満徹　武満徹をみる　その１ようこそ、武満美術館へ　タケミツ謹製現代美術［荒川修作］	編集部	芸術新潮	677
荒川／ギンズ『建築する身体』のために	ジャン＝ジャック・ルセルクル 塚原史訳	水声通信	3
特集　ダダ　1916―1924　新しい産業としての「手続きを通した建築」不確かな建築	荒川修作	〃	7
奇想遺産　養老天命反転地　日本［荒川修作］	隈研吾	朝日	9.3
生老病死の旅路　荒川修作さん　物質文明より“生命文明”	高野清見聞き手	読売夕刊	4.18
茶室の工芸学―現代工芸家の茶器　荒川豊蔵「黄瀬戸竹花入」	今井陽子	淡交	744
特集　菊地成孔　正装の、あるいは裸のアンケート　あなたに似た人、なんていません	荒木経惟 内田也哉子 沖野修也 カヒミ・カリィ 川瀬正幸 小島麻由美 佐々木敦 西島大介 野宮真貴 穂村弘 山本精一	ユリイカ	518
アラーキーがゆく		産経	1.7、14、21、28、2.4、11、18、25、3.4、11、18、25、4.1、8、15、22、29、5.13、20、27、6.3、10、17、24、7.1、8、15、22、29、8.5、12、19、26、9.2、9、16、23、30、10.7、14、21、28、11.4、11、18、25、12.2、9、16、23
欧州にアラーキー旋風	重松明子	〃	1.24
旬を読む『幸福写真』荒木経惟著	内田真由美	〃	7.3
東京人生　アラーキー総決算	吉岡逸夫 青木孝行構成	東京	8.25
わが街わが友１～６	荒木経惟	〃	10.25～27、30、11.1、2
荒木さん写真展　美術館に火炎瓶　ベルギー、裸体に抗議		東京夕刊	9.27
顔は究極の裸、人生が全部出ている　写真家　荒木経惟さん	白木緑聞き手	日経夕刊	3.29
ニッポン写真の革新者たち３　荒木経惟、私写真という表現	飯沢耕太郎	〃	5.25
特集ワイド　撮り続けて44年東京は墓場だ　byアラーキー	小国綾子	毎日夕刊	11.6
さくら考４　生に向かう未練の美　荒木経惟さん八重桜の記憶	前田恭二	読売	4.6
三笠焼のこと　その一［有島生馬］	井嵩帰山	陶説	638
VOICE OF VOICE いまどきの卒制３　卒制に見る、出口としての“日常”	有田ハンタ	STUDIO VOICE	364
ターナーの絵具箱 vol.19　アリタマサフミさん、本当にほしい手づくりプレゼントは？	山本亜実	みづゑ	76
オークションの逸品　有元利夫「間奏曲」		ギャラリー*	252

10 Questions for New Generations 次世代写真家アンケート	在本　彌生	STUDIO VOICE	367
MAGICAL TRANSIT DAYS　在本彌生	辻　絵理子	美術手帖	882
特集　書体の選び方 有山達也　さりげなく、慎ましい文字	杉瀬　由希	デザインの現場	149
絵とものづくりの基本のき　安西水丸、スズキコージ、菊池しほ	水田　由紀	みづゑ	77
わが街わが友１～10	安西　水丸	東　京	11.24、27～29、12.1、4～8
食べたい　しあわせ食堂　「カレー」　唇吹っ飛ぶ刺激　体もシャキッと元気に	〃	毎日夕刊	7.25
フランソワ・ピノー＆安藤忠雄　セーヌ川からヴェネツィアへ		芸術新潮	679
新東京タワー　デザイン監修は澄川喜一氏、安藤忠雄氏に決まる		新美術新聞	1095
安藤忠雄さんのスキッ！　体操　１日50分を日課に30年	吉野　園子	朝　日	4.29
たいせつな本　安藤忠雄	安藤　忠雄	〃	
上　フェルナン・ブイヨン『粗い石』			6.11
下　岡潔『日本の国という水槽の水の入れ替え方』			6.18
主題なき時代をどう生き抜くか　闘う建築家・安藤忠雄さん、大学生に語る	安藤　忠雄談 佐藤日出夫コーディネーター	〃	11.16
公共放送像を語る１信頼回復　視聴率競争とは決別を	安藤　忠雄	朝日夕刊	7.28
交遊抄　芸術薫る島［安藤忠雄］	福武総一郎	日　経	6.26
早くも「安藤詣で」!? 五輪招致当て込み 不動産・建設トップ都庁にズラリ		〃	11.22
都市の中で自然と共存　建築家　安藤忠雄さん	上原　克也聞き手	日経夕刊	1.25
こころの玉手箱　建築家　安藤忠雄１～５	安藤　忠雄	〃	10.2～6
建築　表参道ヒルズ都市の記憶を継承する挑戦［安藤忠雄］	五十嵐太郎	毎日夕刊	2.15
ベネチアの貴族邸宅現代美術館に改築 安藤忠雄さん　窓からの光生かす工夫も	栗原　俊雄	〃	6.1
新東京タワーデザイン　監修に安藤忠雄さんら		読　売	7.5
地下の誘惑１　安藤忠雄さんの地中美術館　光と闇交錯「モネ」を体感		〃	8.1
安藤忠雄さん五輪の基本構想　市民と「森」を作る	梅崎　隆明	〃	9.14
迎賓館別館設計　安藤忠雄さんら		読売夕刊	9.19
作品“CIRCULATION—循環—”について	安藤　泰彦	大阪成蹊大学芸術学部紀要	2
ホモ・テクニクス、ホモ・ナトゥーラ《５》　宮崎駿、押井守、庵野秀明のサイボーグ形姿たち	高橋　透	水声通信	8
著者に会いたい『空想亭の苦労咄』安野光雅さん	大上　朝美	朝　日	4.23
本の現場　安野光雅さん著作は200点80歳の好奇心いっぱい見えないもの描いている	佐藤　由紀	毎日夕刊	10.27
ベルギー王立美術館展開催中　画家・安野光雅さん400年との対話	高野　清見 安野　光雅	読売夕刊	10.17
仕事を語る　漫画家安野モヨコさん	古知　朋子	朝日夕刊	5.16

（イ）

人・模・様　幻想テーマにパリで個展［飯沢成美］	福井　聡	毎日夕刊	10.25
惜別　彫刻家　飯田善國さん　哲学的知性の奥に熱情	田中　三蔵	朝日夕刊	5.22
文化往来　彫刻・絵画・文学、自在に生きた飯田善国		日　経	4.24
茶室の工芸学—現代工芸家の茶器　飯塚琅玕斎「花籃　あんこう」	北村　仁美	淡　交	739

特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する　注目の新進彫刻家　飯沼英樹	編　集　部	美術手帖	877
第２回みづゑ賞「絵本部門」審査員・座談会　荒井良二、飯野和好、スズキコージ	來嶋　路子　取材	みづゑ	76
憧れワークにつくために今日からはじめること　飯野和好	藤田　容子	〃	77
特集　華麗なる植物画(ボタニカルアート)の世界　植物画がわかる。　日本の植物画のルーツを探れ!! ARTICLE 3　明治に植物画の先駆者がいた!?—五百城文哉	寺門　寿明	美術の窓	272
作家の顔20　五百住乙人	一井　建二	〃	273
第一特集　Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　漫画家	五十嵐大介	STUDIO VOICE	371
テークオフ　マンガ家　五十嵐大介さん	西田　健作	朝日夕刊	11.16
デザインから彫刻へ五十嵐威暢の転換と連続と		芸術新潮	673
今月の発見　白と黒が刻む[五十嵐威暢]		〃	674
彫刻家、五十嵐威暢の挑戦	藤崎圭一郎	デザインの現場	145
毎日デザイン賞特別賞　「五十嵐威暢シリーズ展」の活動		毎　日	3.2
「ぼのぼの」作者・いがらしみきおさん　いじめ題材に「絵本」	西田　健作	朝日夕刊	7.21
顔　日本クラフト展で大賞を受賞した漆芸家　生田真弓さん	上原　三和	読　売	4.19
巻頭特集　コレクターが気になる版画のめばえ　日本の新しいエディション　池内晶子　見えないものの気配を繋ぐ—結ぶ点・穿つ点	岡部　万穂	版画芸術	131
《追悼：村上善男》暖色と直線—陸奥で闘った才人	池田　龍雄	あいだ	127
《書評》通底する「戦後」の想像力—『池田龍雄画集 The Works of Tatsuo Ikeda 1947—2005』刊行に	ヨシダヨシエ	〃	132
視点　国展彫刻部の新しい試み、盲学校の生徒とのワークショップ	池田　秀俊	美術の窓	274
近代の茶杓	池田　瓢阿	淡　交	734～742、744～746
池田晶紀のお子さま劇場　「私のいる場所　新進作家展 Vol. 04　ゼロ年代の写真論」より		芸術新潮	677
うたた寝　患者に美術の癒やし[池田満寿夫]	野村　義博	日経夕刊	9.7
日々好日　絵画の導入路	池田　幹雄	新美術新聞	1087
Voice's Art Space Four Artists Show：千葉正也、イルバ・オーグランド、徐美姫、池田光弘	宮村　周子　横山いくこ　鈴木　行　保坂健二朗	STUDIO VOICE	367
特集　回想・上野　私と上野	池田　宗弘	自由美術	2006
CLOSE UP ARTIST 池田良二　円環—根源的なるものを求めて	秋　田	版画芸術	132
団塊はいま　歌が一人前　人生の夢　劇画家・声楽家　池田理代子さんに聞く	若垣　文子　聞き手	朝　日	4.15
《貴賓席》私の言いたかったこと—国立国際シンポジウム「野生の近代　再考—戦後日本美術史」に触れて	池水　慶一	あいだ	124
Voice's Art Space イケムラレイコ『うみのこ』	住吉　智恵	STUDIO VOICE	371
日展会員賞制作意図「朝茶」	池山　阿有	日展ニュース	123
[作品研究]きものののもよう—伊砂利彦の型染	今井　陽子	現代の眼	559
新しき誘惑への使徒たちVol. 22　井坂仁		アート・トップ	207
憧れワークにつくために今日からはじめること　イシイリョウコ	藤田　容子	みづゑ	77
OGインタビュー　作家石井礼子さん	三ツ木知昭　インタビュー・文	女子美	153

第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　写真家	石内　都	STUDIO VOICE	371
作家インタビュー　石内都：mother's		東京都写真美術館ニュース	51
喪失が生む存在感　母の遺品シリーズから	石内　都	毎日夕刊	9.28
すてき私流　写真家石内都さん　和服まとって晴れ姿	高橋　直彦	読売夕刊	10.12
アーティスト訪問29　石垣定哉		ギャラリー*	250
第一特集　プロダクト・デザインの現在　NEW DESIGN PARADIGM UNDER 35 DESIGNERS LIST　石上純也	紫牟田伸子	STUDIO VOICE	365
特集　もうひとつのデザイン・ユートピア　テクノロジカル・デザイン&アーキテクチャー　creator's edge 2　石上純也	石井　芳征	美術手帖	878
特集　工芸発見！日本美術ってすごい！　コンテンポラリーなモノ作家たち　石上純也	Daisuke Awata	〃	882
特集　古今和歌集1100年　ひらがなの謎を解く	石川　九楊解説	芸術新潮	674
この悪戦を見よ！時代と切り結んだ石川九楊の書		〃	677
あの人に迫る　肉筆の縦書きが「考える力」養う　石川九楊書家	松山　義明聞き手	東京夕刊	9.22
新十字十選　1～10	石川　九楊	日　経	1.23、24、26、27、30、31、2.2、3、6、7
中特集　国展80周年記念　国画会の画家たち　スペシャル対談石川浩一VS島田章三		美術の窓	272
10 Questions for New Generations 次世代写真家アンケート	石川　直樹	STUDIO VOICE	367
第一特集　Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　写真家	〃	〃	371
第一特集　現在進行形コミックガイド　コミックを読む方法　2006—2007　PART I現在進行形コミックガイド！『もやしもん』石川雅之インタヴュー　作家・柴崎友香の訪問を受ける！	編　集　部	〃	369
マンガの居場所　手作り感あふれる「もやしもん」[石川雅之]	瓜生　吉則	毎日夕刊	7.25
特集　華麗なる植物画(ボタニカルアート)の世界　植物画を体験する。注目のボタニカル展ガイド　石川美枝子インタビュー		美術の窓	272
特集　もうひとつのデザイン・ユートピア　テクノロジカル・デザイン&アーキテクチャー　creator's edge 3　石黒猛	西本　基久	美術手帖	878
茶室の工芸学—現代工芸家の茶器　石黒宗麿「黒釉葉文盌」	金子　賢治	淡　交	734
憧れワークにつくために今日からはじめること　石坂しづか	藤田　容子	みづゑ	77
日々好日　遠い　古い　写真	石阪　春生	新美術新聞	1088
山本覚馬『京都名所案内』と石田版　銅・石版画遺聞24[石田旭山]	森　登	一　寸	28
第53回日本伝統工芸展　諸工芸　パート・ド・ヴェール線刻文筥「草原を行く風」石田知史	柳橋　眞	朝日夕刊	9.22
特集　野村喜和夫　詩の未来に賭ける　近傍の詩人	石田　尚志	水声通信	5
山下裕二の今月の隠し球20～22　石田徹也　本当に、本当に、切実な絵〈上〉〈中〉〈下〉	山下　裕二	美術の窓	275～277
視線　石田徹也遺作集　石田徹也著	〃	朝　日	7.16

こよりアート結び合う心　お供え物の包装使い、幻想的光景を演出	石田　智子	日　　経	4.20
10 Questions for New Generations 次世代写真家アンケート	石塚元太良	STUDIO VOICE	367
巨匠の片鱗　石ノ森章太郎さん14歳の3コマ漫画		産　　経	9.15
高校時代の一コマ漫画発見　故石ノ森章太郎さん母校に足跡ユーモアと皮肉等身大で描く		東京夕刊	1.5
故石ノ森章太郎さんデビュー前の3コマ巨匠14歳の原点　掲載の広告紙を発見		〃	9.14
等身大の石ノ森ワールド　学校新聞に1コマ漫画　母校で発見		日経夕刊	1.5
名画のなかの女性たち32　石橋和訓《美人読詩》	中山　忠彦	美術の窓	279
第一特集　Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　建築家	石山　修武	STUDIO VOICE	371
特別掲載　二一世紀型オリンピックのための博多湾モデル	磯崎　新 石山　修武	10＋1*	43
一つの技法から新しい技法が生まれる	石山　亮一	主体美術	79
Go！ Artists Go！22 和泉賢太郎	柘植　　響	美術手帖	887
「桂」／タウト　重層的なテクストとしての	磯崎　新 日埜　直彦 聞き手	10＋1*	42
特別掲載　二一世紀型オリンピックのための博多湾モデル	磯崎　新 石山　修武	〃	43
インタヴュー　堀口捨巳—モダニズムから「日本的なもの」への転回	磯崎　新 日埜　直彦 聞き手	〃	〃
インタヴュー　五旗会、『現代建築愚作論』、スターリニズムからの脱却—一九五〇年代における建築運動とその思想性	磯崎　新 日埜　直彦 聞き手	〃	44
インタヴュー　『空間へ』《お祭り広場》『日本の都市空間』一九六〇年代における都市論の方法をめぐって	〃	〃	45
オリンピックと建築トリノで21世紀型実現　維持可能・メディア対応型会場	磯崎　　新	朝日夕刊	2.7
単眼複眼　福岡五輪が残した名作　磯崎新の集大成未完に	大西　若人	〃	9.6
私のデビュー時代占拠されたトリエンナーレ　制度を攻撃過激と自滅繰り返す	磯崎　　新	東　　京	6.4
建築季評　幻の五輪案　磯崎新の挑戦	中川　　理	読　　売	9.28
色彩が切り開く時代企業とアーティストが果たす社会的役割	奥村　晃三 磯田　妃芳	アート・トップ	211
エッセイ・展覧会評旅のエッセイ～ゴンパ(チベット仏教寺院)にマチス・ピカソが～	磯見　明子	美術運動	133
アトリエインタビュー　磯見輝夫　木版はすべてをうけいれてくれる	磯見　輝夫 柿崎　　兆 聞き手	版画芸術	134
現代作家紹介　人間の営みの「間」を表現しようとした作家—井田照一の場合	尾崎　眞人	美術フォーラム21	14
三笠焼のこと	井髙　帰山	陶　　説	
その一～その四			638、640、642、643
(後記)			645
全一冊　韓国　未知の美と出会う旅　韓国と私　清雅の建築	伊丹　　潤	芸術新潮	680
板谷波山における大正時代中期の作風展開—「第三回波山会」出品作を中心として	荒川　正明	出光美術館研究紀要	11
近代の茶杓　板谷波山	池田　瓢阿	淡　　交	737
美の美　結集する個性—アトリエ村三景下[板谷波山]	富田　律之	日　　経	5.14
座談会　2006新人賞展「受賞作家に聞く」	栗本　浩二、佐々木三枝子、山口　道子、吉田　文也、横尾　　茂、市川　秀光、窪田　旦佳司会、遠藤　知義、西村　幸生記録	自由美術	2006
素顔型録Vol.22　絵画学科日本画専攻市川保道教授の巻	萩原　朔美	たまび	43

杜	市川　保道	多摩美術大学研究紀要	20
市島桜魚　2004～2005年　作品の解説	市島　桜魚	金沢学院大学紀要 文学・美術編	4
中島宏・市野雅彦の陶芸	乾　由明	陶　説	640
土曜訪問　イチハラヒロコさん　「愛」を支える「笑い」	稲葉　千寿	東京夕刊	3.4
ギャラリー散策　ワタシの視線4　「愛を交換する時」[一色映理子]	雨宮　舜	ギャラリー*	256
「アランの毛糸帽子会議」、人の持つ風景についての考察	出月　秀明	武蔵野美術大学研究紀要	36
特集　回想・上野　上野の森	伊藤　朝彦	自由美術	2006
特集　回想・上野　あるピリオッド―上野―	伊藤　和子	〃	〃
伊東慶―「白磁」による造形表現と彩色の可能性を探る	柴辻　政彦	陶　説	641
第一特集　Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　グラフィック・デザイナー	伊藤　桂司	STUDIO VOICE	371
旬を読む　『生体から飛翔するアート』中村英樹著	伊藤　公象	産　経	9.25
《連載》戦時下日本の美術家たち　第7回　南方従軍画家Ⅲ　伊東深水　戦時下の「美人画」	飯野　正仁	あいだ	129
第一特集　Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　アーティスト	伊藤　存	STUDIO VOICE	371
NEW TOWN　刺繍美術家・伊藤存の作品集的刺繍入門書　伊藤存	石井　芳征	美術手帖	887
学会120年―職能についての発言再録1「アーキテクチュール」が「建築」となる瞬間[伊東忠太]	新堀　学	建築雑誌	1541
創立120周年記念特集号[Ⅰ]建築学120年間の現場　アジア古建築調査―伊東忠太と関野貞	藤井　恵介	〃	1546
学会120年―職能についての発言再録11「建築学術」のミッション[伊東忠太]	新堀　学	〃	1553
特集　藤森照信　方法としての歩く、見る、語る。　論考　世界建築地図の展開／〈伊東忠太＋藤森照信〉のその後　近代アジア調査術	林　憲吾	10＋1*	44
Section 2：個人研究・教員年譜　美術学科彫刻専攻　金属及びミックストメディアによる現代彫刻の研究	伊東　敏光	広島市立大学芸術学部紀要	11
「創造する図書館」をつくる　設計者・伊東豊雄客員教授からのメッセージ		たまび	41
伊東豊雄(建築家)　常識の先へ軽く楽しく	西田　健作	朝日夕刊	10.20
自然の仕組みを建築に　建築家　伊東豊雄さん	窪田　直子　聞き手	日経夕刊	5.10
顔　王立英国建築家協会ゴールドメダルを受賞　伊東豊雄さん	高野　清見	読　売	3.8
「建築の自由」注目　伊東豊雄　生命体のような構造追求	〃	〃	11.23
[制作記録]インタラクティブインスタレーションの制作	伊藤　英高	金沢美術工芸大学紀要	50
特集　回想・上野　私と上野の杜	伊藤　鈞	自由美術	2006
特集　文と文章の諸相　絵本からはじまる語りことば　いとうひろし「だいじょうぶだいじょうぶ」を例として	浜野　豊美	国文学解釈と鑑賞	896
第16回タカシマヤ美術賞決定　伊藤誠氏彫刻　橋本夕紀夫氏デザイン　やなぎみわ氏　写真・映像		新美術新聞	1079
第一特集　現在進行形コミックガイド　コミックを読む方法2006―2007　PART Ⅰ現在進行形コミックガイド！　『皇国の守護者』伊藤悠インタヴュー	宮　昌太朗	STUDIO VOICE	369

第10回手塚治虫文化賞　短編賞　伊藤理佐氏	藤本由香里	朝　　日	5.10
スピーチでどっと笑い　手塚賞贈呈式　受賞4氏それぞれ感想[伊藤理佐]	西田　健作	〃	6.8
第一特集　Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　写真家	伊奈　英次	STUDIO VOICE	371
聖地―神々の庭	稲田　美織	瑞　　垣	203
春から夏へ　森の命	〃	〃	204
初夏から秋へ―永遠の光―	〃	〃	205
アール・デコ　ザ・ホテル　稲葉なおと著		日　　経	4.23
日々好日　或る年期明け	井波　唯志	新美術新聞	1093
悠遊閑歓[稲嶺盛吉]	竹澤　勝美	アート・トップ	211
私のいる風景　工芸家・作家稲本正さん　木　一粒のドングリから始まる	永井　一顕	読売夕刊	8.5
第一特集　Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　建築家	乾　久美子	STUDIO VOICE	371
日韓交流・日本美術会展―2004　創作研究会の記録―	井上　圭史	美術運動	133
第一特集　映像表現のニュー・ヴィジョン！　Ultimate Motion Graphics 先端映像クリエイター対談　JINGLE 対談：中尾浩之×西郡勲×井上卓	庄野　祐輔	STUDIO VOICE	370
大河内菊雄元館長関連記録[独創諧謔の画家　井上長三郎展]講演会　「井上長三郎と自由美術について」	大河内菊雄談	伊丹市立美術館館報	2003～2004
日々好日　ペンジケント悲話	井上　俊郎	新美術新聞	1098
リレー・エッセイ　空間の空気を創る作家―井上雅之	宮崎　　進	アート・トップ	212
石を積むこと	井上　雅之	多摩美術大学研究紀要	20
竹尾　PAPER IN MY WORK 105　井上庸子　基準となる“ちょうどいい白”	杉瀬　由希	デザインの現場	148
巻頭特集　写真と絵画の対話　往還する「リアル」とその行方　第3章　写真と絵画を往還する新たな眼差し　絵画が深めるモノの質感、そこにある空気	伊庭　靖子談 中谷　至宏	アート・トップ	207
憧れワークにつくために今日からはじめること　今井彩乃	藤田　容子	みづゑ	77
顔写真9000枚で語る自分史　日記を記した前日の1枚を手に27年半、撮影続ける	今井　祝雄	日　　経	11.23
今井祝雄著「デイリーポートレイト」	(前)	読　　売	10.1
アトリエ訪問　古里の魚鳥や草花を土に嵌めて茶華の道に親しむ今井政之―それは二律背反的な現代の野性と雅を秘めて現存する	原田　平作	美術フォーラム21	14
日々好日　スペイン北西部を走る	今関　一馬	新美術新聞	1080
今村紫紅《宇津の山路》考	森　　充代	静岡県立美術館紀要	21
今村源と須田悦弘の「life／art」	樋口　昌樹	国立国際美術館月報	154
特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する　彫刻の生まれる場所　今村源	原　　久子	美術手帖	877
受賞者インタビュー135　第4回池田満寿夫記念芸術賞　入江明日香		ギャラリー*	249
第2特集　銅版画に拡がる新しい感覚	入江明日香	版画芸術	134
青春プレイバック　入江観　東京都台東区上野公園　東京芸術大学グランド	西澤　美子	新美術新聞	1087
追悼　「日中文化交流の礎」白土吾夫さんを偲ぶ	入江　　観	〃	1098
巻頭特集　'06心にのこる風景画ベスト118　入江観インタビュー「風景からの呼び声に耳をすまして」		美術の窓	276

特集　写真と文化財 仏像写真家と文化財(彫刻)写真[入江泰吉]	川瀬　由照	文化財*	517
美の美　秘められた源流３―入江波光	宝玉　正彦	日　経	9.10
こどもと育つ　ものづくりでライバル	岩井　俊雄	日経夕刊	6.13
第25回損保ジャパン美術財団選抜奨励展受賞作品紹介　平面作品部門「損保ジャパン美術賞」	岩岡　航路	産　経	3.15
特集：現代の美術とリアリティーV　絵に託されたメッセージNO.6(余白に込められたリアリティ)	岩木　茂太	美術運動	133
岩切裕子　書物から拡がる世界	辺　見	版画芸術	132
「編集とはデザインである」『知の編集術』松岡正剛著	岩倉　信弥	ＡＸＩＳ	119
[研究報告]「デザイン・マネジメント」のための組織運営	〃	多摩美術大学研究紀要	20
版木の縁から	岩佐　徹	筑波大学芸術年報	2005
藤田嗣治展　戦争画に反戦の意図を見た	岩崎　孝	朝　日	5.20
青春プレイバック 岩崎巴人　千葉県館山市見物向原　アトリエ	林　茂樹	新美術新聞	1089
特集　山頭火を書くインタビュー　漫画家に聞く	いわしげ孝談	墨	180
巻頭特集　コレクターが気になる版画のめばえ　日本の新しいエディション　岩瀬殉一郎	岩瀬殉一郎	版画芸術	131
小説家とさし絵画家のあいだ(二)―岩田専太郎―	重金　敦之	国華清話会会報	8
美の美　結集する個性―アトリエ村三景下[岩田専太郎]	富田　律之	日　経	5.14
第一特集　写真を撮る方法～カメラ選びから、撮影、プリント、それを人に見せるまで　Lesson８ "DEVELOPING／PRINTING"　久保元幸×岩田めぐみ　写真家とプリンター、イメージの摺り合わせ	編集部インタヴュー	STUDIO VOICE	367
絵になるロッキー山脈　走行距離40万キロ、四季折々の姿を写真10万枚に	岩橋　崇至	日　経	9.12
作家の言葉	岩見　健二	主体美術	79
3.教育普及事業 1)公開制作　24「生成・呼吸・現前」岩本拓郎		府中市美術館年報	2000-2005

（ウ）

第一特集　プロダクト・デザインの現在 NEW DESIGN PARADIGM UNDER 35 DESIGNERS LIST VINTA	岡田　栄造	STUDIO VOICE	365
Section２：個人研究・教員年譜　美術学科彫刻専攻	植草　永生	広島市立大学芸術学部紀要	11
Artist　Interview81 うえだしげこ	石田　純子	デザインの現場	149
巻頭特集　写真と絵画の対話　往還する「リアル」とその行方 第２章　植田正治が紡ぎ出す物語(ストーリー)		アート・トップ	207
「記憶の夏」	高橋　睦郎		
劇場的なリアリティー	加藤みや子談		
視線　吹き抜ける風 植田正治著	飯沢耕太郎	朝　日	2.12
一展逸点　妻のいる砂丘風景(Ⅲ)　植田正治	田中　三蔵	朝日夕刊	1.13
鳥取砂丘が育てたモダンな感覚[植田正治]	岡本　耕治	産　経	1.12
モダン、シュール…「UEDA-CHO」　都写真美術館で没後国内初の回顧展[植田正治]	吉田　宇洋	東　京	1.20
白と黒[上田豊治]	小野　博宣	毎日夕刊	1.25
特集　工芸発見！日本美術ってすごい！コンテンポラリーなモノ作家たち　上田博文＋竹田直樹		美術手帖	882
第27回読売国際漫画大賞　総評	植田まさし	読　売	1.1
わが絵の原風景―伊賀への思い　鳥で描く―	上田　保隆	大阪成蹊大学芸術学部紀要	2
第一特集　Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　写真家	上田　義彦	STUDIO VOICE	371

建築家上浪朗の逓信局舎建築作品に関する考察—広島郵便局電話分室と広島逓信局庁舎建築を中心として—	李　明 石丸　紀興	日本建築学会計画系論文集	610
「上野彦馬歴史写真集成」 馬場章編	(前)	読　売	8.27
座談会：日本アンデパンダン展の今日的意義と今後の方向をさぐる　ひとこと提言　日本アンデパンダン展の今後はどうあるべきか	上原　二郎	美術運動	133
日韓美術交流2005「思うこと、そして思い出すこと」	〃	〃	〃
日本美術のススメ わが愛する日本の美 徳岡神泉「鯉」	上村　淳之	美術の窓	275
エッセイ・展覧会評 キューバISAのこと(1)	上村　昌弘	美術運動	133
第一特集　プロダクト・デザインの現在 NEW DESIGN PARADIGM		STUDIO VOICE	365
宇川直宏デザイン探訪	前田　毅		
グッドデザイン・下流コレクション	宇川　直宏		
第一特集　映像表現のニュー・ヴィジョン！ Ultimate Motion Graphics YouTubeガイド！ 宇川直宏の「YouTube大陸の(新)歩き方」	前田　毅	〃	370
RANGOON RADIO 宇川直宏[著]、白根ゆたんぽ[イラスト]、弓田ヒロ[写真]	辻　絵里子	美術手帖	883
収蔵品解説　宇佐美圭司《溶解・身体No.3》	成相　肇	府中市美術館研究紀要	10
美の美　崇高なる廃墟　下—終末の幻想[宇佐見圭司]	河野　孝	日　経	12.17
青春プレイバック 宇佐美江中　東京都奥多摩町数馬峡橋畔奥田元宋歌碑	高岡　忠雄	新美術新聞	1081
御免なさい宇治山さん[宇治山哲平]	野見山暁治	芸術新潮	676
明治一五年の高松～ケンブリッジ大学図書館所蔵の高松城・城下の写真について～[臼井秀三郎]	野村　美紀 佐藤　竜馬	香川県歴史博物館調査研究報告	2
江戸博蔵めぐり　東京海運橋第一国立銀行の全図　歌川虎重・画	米山　勇	読　売	2.3
画家たちの美術史37 内田あぐり	鷹見　明彦	美術手帖	876
青山二郎が選ばなかったもの	内田　鋼一	芸術新潮	683
特集　工芸発見！日本美術ってすごい！	Keiichi Murakami	美術手帖	882
コンテンポラリーなモノ作家たち 内田鋼一			
つくってみたくなる2　やきもの 内田鋼一			
学会120年—職能についての発言再録12[内田祥三]	新堀　学	建築雑誌	1554
半歩遅れの読書術 青空に混ざる宇宙の匂い　形になる前をとらえた漫画[内田善美]	穂村　弘	日　経	3.26
こと場　写真家　内山英明さん		朝日夕刊	4.19
地下潜む近未来　首都圏の知られざる顔 撮影13年[内山英明]	古田　秀陽	東　京	6.6
第25回土門拳賞特集 受賞者の言葉	内山　英明	毎　日	3.25
ひと　地下空間を写し続け第25回土門拳賞受賞　内山英明さん	山越峰一郎	〃	4.8
第一特集 Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　INTERVIEW 梅佳代　たたかう笑いのドキュメンタリストたち	編集部	STUDIO VOICE	371
『うめめ　Today's Happening』梅佳代著	粟田　大輔	美術手帖	888
旬発力　独自の「眼」持つ天然系　写真家梅佳代	岡本　耕治	産　経	10.7
[研究資料]楳図かずお『ガモラ』の原画一葉	高橋　明彦	金沢美術工芸大学紀要	50
コミック教養講座 おろち　楳図かずお[著]	吉田　豪	朝　日	2.26
わたしの失敗　漫画家楳図かずおさん1～4	上塚　真由	産　経	2.28～3.3
ALL ABOUT 楳図かずお	尾崎　未央	読売夕刊	12.6

梅田仙吉と佐野大川鋳物製造所	髙橋　久敬	梵　鐘	19
山下裕二の今月の隠し球18、19　梅津庸一　独りよがりな「歴史家」〈上〉〈下〉	山下　裕二	美術の窓	273、274
特集　マンガ批評の最前線　インタビュー　浦沢直樹、マンガを語る	浦沢　直樹 宮本　大人 聞き手	ユリイカ	515
嵐電　うらたじゅん著　懐かしさと詩情あふれる	松永　美穂	読　売	10.29
特輯　明治の工芸　海野勝珉　太平楽置物	松原　龍一	国　華	1328

（エ）

特集　昭和の美術　前衛絵画と機械的視覚メディア—古賀春江から瑛九へ—	谷口　英理	近代画説	15
シュルレアリスムの影響を受けた日本の画家たちにおける、生と死の表象について—瑛九、矢崎博信、浜田浜雄を例に	大谷　省吾	芸　叢	22
美の美　結集する個性—アトリエ村三景上[瑛九]	富田　律之	日　経	4.30
ギャラリー散策　ワタシの視線4　「愛を交換する時」[榮水亜樹]	雨宮　舜	ギャラリー*	256
私の修業時代　江川達也さん　4カ月だけアシスタント	松本　明子	産　経	2.27
第一特集　映像表現のニュー・ヴィジョン！　Ultimate Motion Graphics　先端映像クリエイター対談　INTERACTIVE対談：EXONEMO×長谷川踏太(TOMATO)	庄野　祐輔	STUDIO VOICE	370
日韓交流・日本美術会展—2004　創作研究会の記録—	江草　昭治	美術運動	133
絵のある暮らしって素晴らしい！　life with artを実践している作家たちの作品とテクニック　江口あさ子	小神野そのこ	美術手帖	879
神代杉を彫る	江口　週	たいせつな風景	6
作家訪問359　陶芸家　衛藤信恭さん	編集部	目の眼	362
アメリカのリトル・ピープル　逞しさと自尊心社会の包容力実感	榎並　悦子	東京夕刊	6.29
こころの風景	江成　常夫	朝日夕刊	1.23～25
生と死の時　江成常夫著		日　経	11.12
第25回土門拳賞特集選評	江成　常夫	毎　日	3.25
過激な父さん　榎忠氏の生活と意見		芸術新潮	676
榎忠インタビュー　半刈りと女装と発掘と鉄と	榎忠　談 樋口ヒロユキ 聞き手・構成	美術手帖	878
EVERY LIFE／ART：ENOKI CHU　榎忠	粟田　大輔	〃	888
2007年ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館　プレ・リポート　指名コンペ結果発表＋応募案誌上公開3　Revolutions Per Minutes in Venice　榎忠	椹木　野衣	〃	889
第25回損保ジャパン美術財団選抜奨励展受賞作品紹介　平面作品部門「秀作賞」	榎本香菜子	産　経	3.15
榎本耕一　ファースト・モノグラフ　MIWA	辻　絵理子	美術手帖	885
江端博行　2005年作品の解説	江端　博行	金沢学院大学紀要文学・美術編	4
フェイス21世紀84　蛭子真理央　体を鍛え画を磨く	油井　一八	新美術新聞	1078
[研究報告]「あそびじゅつ」の理論と実践	海老塚耕一 大塚　藍	多摩美術大学研究紀要	20
視点　藤田嗣治と海老原喜之助	笹木　繁男	美術の窓	273
佐々木豊のホンネでファイト　第5回　果てしなき迷宮を創り出すのは“子供の目”?!	佐々木豊、遠藤彰子談	アート・トップ	209
新美術時評　“教科書作家”と現代のダイナミズム[遠藤彰子]	外舘　和子	新美術新聞	1100
巻頭特集　実践！海外留学ガイドブック　dialogue　遠藤彰子×山本明比古		美術の窓	270
作家の顔22　遠藤彰子	一井　建二	〃	275

建築　遠藤秀平「大阪城公園のパヴィリオン」	五十嵐太郎	毎日夕刊	9.21
アーティスト訪問34 遠藤利克		ギャラリー*	255
座談会　2006新人賞展「受賞作家に聞く」	栗本浩二、佐々木三枝子、山口道子、吉田文也、横尾茂、市川秀光、窪田旦佳、司会　遠藤知義、西村幸生　記録	自由美術	2006

（オ）

ARTIST MEETS ARTIST　坂手洋二　大石芳野	米原　範彦	朝日夕刊	1.27
あの人に迫る　表情かげる一瞬　子の深い傷思う　大石芳野写真家	稲葉　千寿　聞き手	東京夕刊	2.3
映画『9.11—8.15 日本心中』[大浦信行]	福住　廉	美術手帖	888
第五十九回全国大会研究発表要旨　大熊氏廣作《大村益次郎像》の台座についての考察	吉田　朝子	美術史	161
版画を使った平面絵画	大塩　紗永	多摩美術大学研究紀要	20
新作の背景　大塩紗永《Scenery in the next in waterside》	石川　健次	毎日夕刊	7.7
美術出版社創業100周年特別記事　水彩画家・大下藤次郎　100年前のスケッチ・ツアー	伊藤　匡　川西　由里	美術手帖	874
赤ちゃんたちの大合唱　パリで開催中の「誕生」展を見て[大島和代]	中川　素子	毎日夕刊	3.28
追悼　中村敬治　中村さんのことを少し	O J U N	水声通信	5
厳選100駅画集出版　現場にこだわり18年で描いた1000駅　元国鉄マンの大須賀さん[大須賀一雄]		読　売	9.12
粒はり絵　粒よりの表現力　米粒や植物の種、立体感あり色もきめ細かく	太田としこ	日　経	10.17
特集　初夢—なお日本で造らねばならない建築　建築各分野から8　新素材の夢	太田　浩史	建築雑誌	1541
座談会：日本アンデパンダン展の今日的意義と今後の方向をさぐる　ひとこと提言　日本アンデパンダン展の今後はどうあるべきか	太田眞素巳	美術運動	133
[特集]未知なる既景：大竹伸朗のすべて		ART iT	13
大竹伸朗インタビュー	小崎　哲哉		
突破口：大竹伸朗作品15選	椹木　野衣　選・文		
椹木野衣インタビュー	小崎　哲哉		
小池一子インタビュー	住吉　智恵		
巻頭特集　眼のちから　目利きという創造　目利きは語る　芸術か芸術じゃないかは関係ない	大竹　伸朗　編集部　取材・文	アート・トップ	212
特集NOTE～ノートする～今、記すること	大竹　伸朗	ARTLET	26
小特集　大竹伸朗と別海　原景への旅	〃	芸術新潮	684
第一特集　大竹伸朗全景　フルカラー、フルスロットルで走る画家！		STUDIO VOICE	364
極長対談　大竹伸朗×都築響一			
ジャンルの狭間で　大竹伸朗×生西康典			
Ohtake Books 24　15Select／豆本／コラボレーション	原　久子　中山　亜弓		
大竹伸朗インタビュー　その日起こったこと全部の記録	後藤　繁雄　聞き手・構成	美術手帖	888
特集　東京に落ちた最後の美術爆撃　全身全景　大竹伸朗		〃	889
誰が大竹伸朗を語れるか	浅田　彰		
境界線上の開拓者たち[特別編]　大竹伸朗×斎藤環	大竹　伸朗、斎藤　環　談		

大竹伸朗と私、「全景」と私　いつの間にか17年経った今	南條　史生		
大竹伸朗と私、「全景」と私　ジャージの信頼	森村　泰昌		
大竹伸朗と私、「全景」と私　既にそこにある宇和島の大竹伸朗	東谷　隆司		
大竹伸朗と私、「全景」と私　直島と大竹伸朗	秋元　雄史		
20世紀スクラップブック、21世紀ビルト・オン　ポップ・アートとコラージュ、デュシャンと《宇和島駅》	楠見　清		
大竹伸朗と私、「全景」と私　ザ・絶景　批評いらずの作家	イルコモンズ		
まぶたの世界にあるもの—大竹伸朗と写真	後藤　繁雄		
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術インタビュー　大竹伸朗		美術の窓	279
特集　大竹伸朗　全身表現者の半世紀		ユリイカ	527
〈大竹伸朗〉創造史 世界を貼り倒せ！	大竹　伸朗 談 永江　朗 聞き手		
既にそこにある風景　日本写貼(シャバ)景	大竹　伸朗		
戦う人の遠心力 大竹・サイクロトロン・伸朗氏について	山本　精一		
アートとはなにか、大竹伸朗とはだれか　大竹リターン　戦略なき闘いの向こうに見えるもの	岡部あおみ		
切貼の余波　「日本」を宙吊りにする「日本景」	中川　理		
戦う人の遠心力 世界の中心で、アサーーーッと叫ぶ	飯田　和敏		
作家が見た作家 偶然を切り貼りする必然　『ラインマーカーズ』ができるまで	穂村　弘		
作家が見た作家 犬譚、夢譚、鴉譚	清水アリカ		
作家が見た作家 今、大竹伸朗作品についてボールペンで	福永　信		
アートとはなにか、大竹伸朗とはだれか　ヒリヒリした視線、豊かな画面	鈴木　恒成		
ココロとココロが出会った日　四半世紀の片想い　大竹伸朗最古のファンを訪ねて	菊地 和子、都築　響一 談		
アルバム　旅の記憶	都築　響一		
切貼の余波　少年・大竹伸朗と切手ブームの時代	内藤　陽介		
アート探究　大竹伸朗のアトリエ	富田　律之	日　経	8.26
ALL ABOUT　大竹伸朗　アートは理解する手段	桜井　学 聞き手	読　売	10.11
オオタケシンロウとは	U A ヤマタカeye 浅野　忠信	〃	〃
3.教育普及事業 1)公開制作　17「キミドリの部屋」大谷有花		府中市美術館年報	2000-2005
この人　「スヌーピーの世界展」を開くアーティスト　大谷芳照さん	野呂　真聡	東　京	12.7
ニッポン残像　魔術的な写真の力　大東元「東京雪景」1951年	飯沢耕太郎	産　経	12.25
Section 2：個人研究・教員年譜　デザイン工芸学科　光と闇の邂逅	大塚　智嗣	広島市立大学芸術学部紀要	11
大樋長左衛門　2004～2005年　作品の解説	大樋長左衛門	金沢学院大学紀要 文学・美術編	4
ベルギーでの展覧会と個展における作品発表	大手　裕子	大阪成蹊大学芸術学部紀要	2
第一特集　プロダクト・デザインの現在 NEW DESIGN PARADIGM UNDER 35 DESIGNERS LIST 大友学	紫牟田伸子	STUDIO VOICE	365

第一特集　Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　プロダクトデザイナー	大友　学	STUDIO VOICE	371
彫刻家の現場から９ 大成浩	武田　厚	美術の窓	268
Close—up51　大西信之　日本とアメリカの挟間で描かれるモノクロームの世界		ギャラリー*	256
東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究Ⅲ、Ⅳ	佐藤　一郎 木島　隆康 大西　博 田中智惠子 大竹　秀実	東京芸術大学美術学部紀要	43、44
新・私のアルバム６ 大沼映夫	小森佳代子	美術の窓	272
アート探究　47人が撮った大野一雄	瀬崎久見子	日　経	9.30
大野一雄レンズ越しの素顔　写真集２冊出版	祐成　秀樹	読　売	11.9
悼　書家、毎日書道会常任顧問大野篁軒さん　品格ある書目指し	桐山　正寿	毎　日	11.8
北欧レポート　新しい花—スウェーデンの番傘アート	大野　静子	新美術新聞	1097
特集　回想・上野　採点・上野・六本木	大野　修	自由美術	2006
フレスコにおけるビアンコ・サン・ジョヴァンニに関する実験(２)—練り返しによる粒度分布の変化及び、有色顔料との混色による効果について—	大野　彩	武蔵野美術大学研究紀要	36
AT210　Remarkable WORK　大野木恭子　冬薔薇(ふゆそうび)」	(根)	アート・トップ	210
神宮名品解説　神宮美術館所蔵奉納美術品　工芸「平文箱『花宇宙』」　工芸「平文喜久盤」[大場松魚]	(本多)	瑞　垣	202
大庭大介個展「LABYRINTH」	伊藤　美紀	瓜生通信	37
金沢駅東広場ドームにおける「大型空間の演出デザイン」についての考察	大場　吉美	金沢学院大学紀要文学・美術編	4
BAD INTERVIEW 大橋歩	神田こまるら	STUDIO VOICE	371
語る　イラストレーター　大橋歩		日　経	12.30
第一特集　Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　写真家	大橋　仁	STUDIO VOICE	371
軍艦島最後の輝き復活　かつて働いた長崎の炭坑島、人々の生き様を写真に	大橋　弘	日　経	7.4
街づくりと彫刻についてⅠ　つくば市フクロウ彫刻設置事業を例にして	大原　央聡	筑波大学芸術年報	2005
日本陶磁協会発会六〇年によせて	大樋長左衛門	陶　説	634
視線　サナヨラ　大森克己著	飯沢耕太郎	朝　日	12.17
クリエーターズワーク＆ソウル　大谷敦志		ＡＸＩＳ	119
佐藤圀夫さんを偲ぶうらやましかった二間の下宿	大山　忠作	新美術新聞	1081
文化勲章に大山忠作氏　日本画		〃	1104
土曜訪問　文化勲章を受章　見る人の気持ちを明るく　大山忠作さん(日本画家)	稲葉　千寿	東京夕刊	11.11
エッセイ・展覧会評キューバISAのこと(２)	大脇千鶴子	美術運動	133
わたしの宝もの９「ギフト」	大和田いずみ	新美術新聞	1078
10 Questions for New Generations 次世代写真家アンケート	大和田　良	STUDIO VOICE	367
視点　岡鹿之助と藤田嗣治	笹木　繁男	美術の窓	268
大正ロマンあふれる着物　まるで夢二の世界、幾何学模様あしらった200枚収集	岡　信孝	日　経	8.30
第一特集　Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　アーティスト	小粥　丈晴	STUDIO VOICE	371
特集　はじめての武満徹　武満徹をみるその１ようこそ、武満美術館へ　タケミツ謹製現代美術[岡崎和郎]	編　集　部	芸術新潮	677

特集　アートの授業！　表現＆制作〜鑑賞＆マネージメント　先生、どんなアートの授業していますか？　3時限目　岡崎乾二郎	保坂健二朗	美術手帖	874
境界線上の開拓者たち［特別編］　対談　岡崎乾二郎×斎藤環〈関係〉と〈学習〉の創造	岡崎乾二郎、斎藤　環談	〃	880
特集　藤田嗣治　フジタの「戦争」　主体なき悲劇	岡崎乾二郎	ユリイカ	519
『KAJIMA彫刻コンクール』大賞決定　KAJIMA大賞　小笠原伸行氏　特別賞　Ray　Katz・前田哲明・Artur　Lescher・湯村光の各氏		新美術新聞	1081
VOICE OF VOICE　いまどきの卒制2　卒制のプロになりたい	岡田　栄造	STUDIO VOICE	364
新・私のアルバム5　岡田菊恵	小森佳代子	美術の窓	271
生ける現在と界面	岡田　修二	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	50
学会120年—職能についての発言再録3　建築の二分法と資格制度［岡田信一郎］	天内　大樹	建築雑誌	1545
新聞旧聞　岡田穀(みのる)のこと	岩瀬　行雄	jaic会報	6
Close—up54　岡野浩二　出版記念展で明確に語った画家が描く「美」とは何なのか		ギャラリー*	258
現代作家紹介　岡部俊彦：天然の異端	三井　知行	美術フォーラム21	13
第52回ヴェネチア・ビエンナーレ　日本館コミッショナー港千尋氏　出品作家に岡部昌生氏決まる		新美術新聞	1103
雑報　ヴェネツィア・ビエンナーレに岡部昌生の広島プロジェクト		美術運動史研究会ニュース	84
2007年ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館　プレ・リポート　指名コンペ結果発表＋応募案誌上公開1　私たちの過去に未来はあるのか。　岡部昌生	港　千尋	美術手帖	889
文化往来　ベネチア・ビエンナーレで「ヒロシマ」問う［岡部昌生］		日　経	10.6
［私の一点］絵を描くという行為は、呪術なのではないか	岡村桂三郎	現代の眼	559
2006戊年新春企画　年男年女	〃	新美術新聞	1076
特別対談：上桜田アートラボ　パンデッド・ブルー／日本画を語る	松本　哲男 岡村桂三郎 長沢　明 番場　三雄 末永　敏明 谷　善徳 松田　泰典	東北芸術工科大学紀要	13
大臣賞制作意図　内閣総理大臣賞　「蘇」	岡村　倫行	日展ニュース	123
特集　書体の選び方　岡本一宣　写真を引き立てる文字遣い	杉瀬　由希	デザインの現場	149
古唐津陶片考	岡本　作礼	陶　説	636
岡本太郎の《森の掟》には、何が隠されているのか？（上）	(sy)	アートペーパー	71
《追悼：村上善男／講演再録》岡本太郎と私、そして東北	村上　善男	あいだ	127
日本モダニズムの伝統観—「伝統と創造」という主題をめぐるノート［岡本太郎］	北澤　憲昭	跡見学園女子大学人文学フォーラム	4
岡本太郎作30mの巨大壁画　「明日の神話」全体像が初公開！		新美術新聞	1078
岡本太郎の大壁画「明日の神話」が修復完成　8月末まで一般公開中　東京・汐留		〃	1095
Voice's Art Space　岡本太郎『明日の神話』	深沢　慶太	STUDIO VOICE	362
時評：岡本太郎の現在—評価のアポリアは続く	足立　元	美術運動史研究会ニュース	84
特集　岡本太郎「明日の神話」再生プロジェクト		美術手帖	885
対談　平野暁臣×鶴田真由　太陽のエネルギーをシャワーのように浴びて	石井　芳征 編集部		
修復ドキュメント《明日の神話》はいかにして甦ったか	吉村絵美留		

再説「爆心地」の芸術—岡本太郎と「明日の神話」	椹木　野衣		
超核の神話　縄文から岡本太郎、そして未来へ	中沢　新一談 平林　享子構成	美術手帖	889
時を超えてふりそそぐ、岡本太郎さんのメッセージ「明日の神話」	栗山　千明	みづゑ	77
岡本太郎の「遺作」修復　汐留で一般公開		朝日夕刊	7.8
岡本太郎写真展　シャイな芸術家の息遣い伝わる	上塚　真由	産　　経	1.23
故岡本太郎氏「明日の神話」　安住の地探しています		〃	7.30
いのちの炎　心の残像12景6　岡本太郎「挑み」	瀬木　慎一	東京夕刊	2.7
ライトアップ[岡本太郎]		〃	4.15
岡本太郎の贋作100点超　ネット出品組織的の疑いも		〃	4.20
岡本太郎さんの壁画設置綱引き　広島、長崎で誘致活動		〃	6.13
岡本太郎描く原爆巨大壁画一般公開		〃	7.8
思うままに　日本美術史における新説1　岡本太郎の縄文再発見	梅原　　猛	〃	12.4
被写体と共に躍動　写真展岡本太郎の視線	宝玉　正彦	日　　経	1.11
幻の絵生き返る岡本太郎　巨大壁画「明日の神話」の修復プロジェクト進める	石井　　匠	〃	1.20
没後10年岡本太郎を再評価　展覧会を開催　著作復刻続く	小川　敦生	〃	5.27
岡本太郎氏の壁画パネル公開　燃える骸骨原爆禍照らす		日経夕刊	4.15
岡本太郎さん作「明日の神話」大阪・吹田が名乗り	川上　克己	毎　　日	9.1
若き太郎「電撃」作　現存最古59年ぶり発見	戸澤　美佐	〃	11.29
置く場所ない　岡本太郎壁画「明日の神話」受け入れ先決まらず	川辺　康広	毎日夕刊	8.19
太郎さんの「神話」復活		読売夕刊	6.6
座談会：日本アンデパンダン展の今日的意義と今後の方向をさぐる　ひとこと提言　日本アンデパンダン展の今後はどうあるべきか	岡本　　博	美術運動	133
世親への問い	岡本　文一	明星大学研究紀要	14
特集　藤田嗣治　フジタマニア対談　やっぱりフジタが好き	小川　　格 丹治　　匠	ユリイカ	519
特集　写真と文化財　小川一眞の近畿宝物調査写真—日本美術への視点をつくった写真—	岡塚　章子	文化財*	517
茶室の工芸学—現代工芸家の茶器　小川松民「松竹梅漆画会席飯汁椀」	三上　美和	淡　　交	745
「パーフェクト・ワールド」に倫理的問題はあるか？[小川信治]	秋庭　史典	国立国際美術館月報	156
《ラス・メニーナス》2002　小川信治(1959～)	平芳　幸浩	〃	〃
特集　写真と文化財　仏像写真家と文化財(彫刻)写真[小川晴暘]	川瀬　由照	文化財*	517
日々好日　ラスコーの壁画	小川　博史	新美術新聞	1099
3.教育普及事業1)公開制作　19「OOB—アウト・オブ・ボディ」沖啓介		府中市美術館年報	2000–2005
わたしの宝もの17　画家と妻[小木曽夏奈子]	小木曽　誠	新美術新聞	1100
次代の息吹 file.001　小木曽誠	編　集　部	アート・トップ	212
第41回昭和会賞に小木曽誠氏		新美術新聞	1079
わたしの宝もの17　画家と妻	小木曽　誠	〃	1100
特集　2006新人大図鑑　デビューへの道…若手作家の成功への道を辿る　昭和会賞への道—小木曽誠		美術の窓	271
アクリリックス・ワールド31　小木曽瑞枝	石井　芳征	美術手帖	874

心はぐくむ積み木王国　手作り1万個、創作・崩し繰り返し古い自分越える	荻野　雅之	日　　経	7.5
荻原守衛・青春日記(四)『つくまのなべ』―新注釈つき―	榊原　好恭	碌山美術館報	26
碌山研究　荻原守衛がアカデミー・ジュリアンで制作した彫刻二十五点の検証	幅谷　啓子	〃	〃
アトリエの扉をあけて66　奥まゆみ　“グロ可愛い”クレージーな魅力	杉瀬　由希	デザインの現場	146
第53回日本伝統工芸展　漆芸　乾漆箱「結」　奥井美奈	高橋　隆博	朝日夕刊	9.22
URYUYAMA　PEOPLE　010　奥田輝芳	奥田　輝芳	瓜生通信	37
発句一代　夏目四郎の覚え書69　奥田元宋・小由女美術館が広島県三次市に開館	夏目　四郎	新美術新聞	1089
中特集　奥田元宋・小由女美術館誕生　発足を祝するの記	瀧　　悌三	美術の窓	271
日本で一番、月が美しく見える美術館―響き会う二つの芸術―奥田元宋・小由女美術館開館　原風景に抱かれて	奥田小由女	アート・トップ	210
発句一代　夏目四郎の覚え書69　奥田元宋・小由女美術館が広島県三次市に開館	夏目　四郎	新美術新聞	1089
中特集　奥田元宋・小由女美術館誕生　発足を祝するの記	瀧　　悌三	美術の窓	271
特集　回想・上野　平和の広場・上野	奥田　　紘	自由美術	2006
日々好日　読者とともに	奥津　国道	新美術新聞	1094
奥村信吉と奥村究果について―或いは戦後美術に展開しなかった創造	尾崎　眞人	京都市美術館年報	H17年度
トヨタコレクション奥村菅次作「からくり噴水器」の素材と技法の調査および復元品の制作	宮田　亮平 篠原　行雄 三浦　定俊 丸山　智巳 押元　信幸 手銭　吾郎 原　　智	東京芸術大学美術学部紀要	43
ローマ法王に全身像を寄贈　彫刻家の奥村さん[奥村信之]		日経夕刊	9.29
特集　アートの授業！　表現&制作～鑑賞&マネージメント　もっとアートをわかちあいたい！　大人と子どものエデュケーション・スポット案内	小沢　有子 奥村　雅樹	美術手帖	874
第3回東山魁夷記念日経日本画大賞には奥村美佳氏		新美術新聞	1104
第3回東山魁夷記念日経日本画大賞　奥村美佳「かなたⅦ」	宝玉　正彦	日　　経	10.23
《書評》「作品論」と「作家論」の裂け目　千葉成夫『未生の日本美術史』	奥村　雄樹	あいだ	132
特集　ジョルジュ・ペレック　暗黒の方陣	オクヤナオミ	水声通信	6
画家たちの美術史38　奥山民枝	鷹見　明彦	美術手帖	877
制作ノート　奥山直人	奥山　直人	武蔵野美術大学研究紀要	36
アトリエの扉をあけて69　尾崎玄一郎　人を引き寄せるパワフル・アート	杉瀬　由希	デザインの現場	149
エッセイ・展覧会評　新しい人の方へ展	オザキユタカ	美術運動	133
ふみ出す男	小作　青史	多摩美術大学研究紀要	20
版画教育レポート　多摩美術大学小作青史のリトグラフ教育	〃	版画芸術	131
第一特集　Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　アーティスト	小沢　　剛	STUDIO VOICE	371
東京―ベルリン／ベルリン―東京　破壊と創造を繰り返す2つの都市の物語　2006年ベルリン／東京のアートシーンを追え！　小沢剛	北澤ひろみ	美術手帖	878
2007年ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館　プレ・リポート　指名コンペ結果発表＋応募案誌上公開2　日本醤油画館　小沢剛	神谷　幸江	〃	889
古典の美にときめいて　群馬の書道家小沢蘭雪さん	神野　光伸	東　　京	3.6

ホモ・テクニクス、ホモ・ナトゥーラ《5》 宮崎駿、押井守、庵野秀明のサイボーグ形姿たち	高橋　透	水声通信	8
SV CUT UP FILMS 押井守『立喰師列伝』	三田　格 インタヴュー	STUDIO VOICE	365
EXTRA COLUMN 押井守監督作品『立喰師列伝』の映像はどのようにして作られたのか？～IKIFに訊く	編集部	〃	370
アート探究　押井守のアニメ「立喰師列伝」	田村　広済	日経	3.25
文化往来　アニメ作家の押井守、ラジオドラマに挑戦		〃	5.30
画家たちの美術史41 押江千衣子	林　洋子	美術手帖	882
トヨタコレクション奥村菅次作「からくり噴水器」の素材と技法の調査および復元品の制作	宮田　亮平 篠原　行雄 三浦　定俊 丸山　智巳 押元　信幸 手銭　吾郎 原　智	東京芸術大学美術学部紀要	43
近代美術の東京　織田一磨　ほていや六階から新宿三越遠望	都築千重子	読売	5.12
第一特集　現在進行形コミックガイド　コミックを読む方法 2006—2007 PART I 現在進行形コミックガイド！　『団地ともお』小田扉インタヴュー	吉田　大助	STUDIO VOICE	369
Artist Interview82 小田島等	石田　純子	デザインの現場	150
特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する		美術手帖	877
彫刻のメカニズム　彫刻とはいったいどういうメディアか？	小谷　元彦		
舟越桂　正面突破の秘密	小谷　元彦 聞き手		
彫刻の力十選　1～10	小谷　元彦	日経	4.12～14、18～20、24～27
日本美術院新同人に齋藤満栄氏と小田野尚之氏		新美術新聞	1106
作家訪問350　陶芸家　越智伸明さん	編集部	目の眼	353
日韓美術交流2005 交流に参加して「50年も100年も交流を」と	落合　峯子	美術運動	133
憧れワークにつくために今日からはじめること　落合恵	藤田　容子	みづゑ	77
小津映画『お早よう』の住宅におけるコミュニケーション・シーンについて—建築計画のための空間シーンの構成及び分析に関する基礎的研究［小津安二郎］	田口　徹也 宇杉　和夫	日本建築学会計画系論文集	603
茶室の工芸学—現代工芸家の茶器　音丸耕堂「彫漆薺文茶入」	今井　陽子	淡交	738
第一特集　写真を撮る方法～カメラ選びから、撮影、プリント、それを人に見せるまで　Lesson 9 “EXHIBITION”　尾仲浩二×金村修　展示で見せる	富田　秋子 インタヴュー	STUDIO VOICE	367
尾仲浩二　GRASSHOPPER　懐かしさは罪か？—「普通の写真」であるためのたえざる歩み	竹内万里子	美術手帖	886
尾仲浩二写真集「GRASSHOPPER」	(前)	読売	6.4
Art Scape　画一的な価値観に疑問を持つ　尾長良範インタビュー	編集部	アート・トップ	212
エッセイ・展覧会評　靖国訪問記	小野　章男	美術運動	133
《貴賓席》よみがえる記憶の中の絵—我が家にあった高崎剛の作品のこと	小野　絵理	あいだ	129
マンガの居場所　アートな絵柄で描く「萌え」［オノ・ナツメ］	ヤマダトモコ	毎日夕刊	8.29
「彼女への色眼鏡が、ぽろっと外れる」『グレープフルーツ』オノ・ヨーコ著	韓　亜由美	AXIS	121
1960年代ニューヨークにおける日本人アーティストたち—草間彌生と小野洋子の場合—	坂上　桂子	美術史研究	44

特集ワイド　オノ・ヨーコさん　40年越しのジョンとの夢最北の地から　世界に平和の光を	小松　浩	毎日夕刊	10.12
アニメ、見てますか２　監督・脚本・声優…ぜんぶ一人[小野亮]		読　売	10.4
故おのざわさん　大空襲の惨状伝える戦災資料センター遺族が絵画４点寄贈　来月３月の再開の目玉に[おのざわけんいち]	森　禎行	毎　日	12.28
私のいる風景　写真家オノデラユキさん遠くへ　カメラの中の静かな異界	前田　恭二	読売夕刊	11.18
第２特集　新しいデザインの授業　interview　デザインを教えること　織咲誠	杉瀬　由希	デザインの現場	150
作家の今　アーティストと美術館の新しい展開[折本立身]		ギャラリー*	251
連載　黒崎彰の続・版画史解剖20世紀編３　山本鼎と恩地孝四郎―近代日本の創作版画運動	黒崎　彰	版画芸術	131
今月の発見　四角の視覚[恩塚正二]		芸術新潮	677

（カ）

Beautiful Women in Kyoto　甲斐扶佐義著		日　経	6.18
AT 208　Remarkable PERSON　３月９日はアートのために開発好明さんが広める「39アートの日」	(根)	アート・トップ	208
Close―up43、55　加賀谷武		ギャラリー*	251、258
ギャラリー散策　ワタシの視線６　「評論が孵るとき」[加賀谷武]	雨宮　舜	〃	258
アトリエインタビュー　磯見輝夫　木版はすべてをうけいれてくれる	磯見　輝夫 柿崎　兆 聞き手	版画芸術	134
フェイス21世紀85　柿原岳史　熱き思いを木に託して	油井　一八	新美術新聞	1081
茶室の工芸学―現代工芸家の茶器　角谷一圭「独楽釜」	木田　拓也	淡　交	736
巻頭特集　実践！海外留学ガイドブック　想像を絶するマイペース!?	筧　本生	美術の窓	270
特集　回想・上野　私と上野	加古マツオ	自由美術	2006
青春プレイバック　笠井誠一　神奈川県津久井郡城山町　城山湖	林　茂樹	新美術新聞	1100
彫刻家の現場から19　笠原鈇明	武田　厚	美術の窓	278
Section２：個人研究・教員年譜　デザイン工芸学科　アニメーション技法を主とした映像創作支援システム研究	笠原　浩	広島市立大学芸術学部紀要	11
現代工芸作家シリーズ24　魔術師たちの贈り物　笠原由起子	冨田　康子	アート・トップ	209
コミック教養講座　短編マンガ集　バニーズほか　笠辺哲[著]	南　信長	朝　日	2.12
特集　回想・上野　私と上野	笠松　昭吾	自由美術	2006
巻頭特集　眼のちから　目利きという創造　目利きは語る　わからへんけどやってみようか[梶井照隠]	竹井　正和 藤田　礼子 取材・文	アート・トップ	212
第25回損保ジャパン美術財団選抜奨励展受賞作品紹介　平面作品部門「秀作賞」	樫原　隆男	産　経	3.15
茶室の工芸学―現代工芸家の茶器　鹿島一谷「布目象嵌秋之譜銀水指」	三上　美和	淡　交	742
巻頭特集　自由人浦上玉堂　大自然のエネルギーを直感で描く	加島　祥造	アート・トップ	211
フェイス21世紀92　柏本龍太　現代の女性像を描く	油井　一八	新美術新聞	1100
座談会・古唐津を語る(上)(下)	中里　逢庵 中里　重利 中里　紀元 盛　峰雄 陣内　康光 梶原　靖元 中里太郎右衛門	陶　説	636、639
古唐津の風景・考察	梶原　靖元	〃	636
クリエーターズワーク＆ソウル　華雪		ＡＸＩＳ	124

憧れワークにつくために今日からはじめること　カタオカメグミ	藤田　容子	みづゑ	77
あの人が推す、今注目のクリエーター3　片桐飛鳥	藤崎圭一郎	ＡＸＩＳ	122
NIPPONのカタチ　デザインの挑戦4　インテリアデザイナー片山正通氏		日経夕刊	1.7
毎日デザイン賞「佐藤雅彦研究室展」にみるコミュニケーションワークス	勝井　三雄	毎　　日	3.2
巻頭特集　画肌(マチエール)の秘儀　絵具はいかにして生命を育むか　香月泰男　黒の画肌　油絵で東洋画の余白を表現する	安井雄一郎	アート・トップ	209
巻頭特集　画肌(マチエール)の秘儀　絵具はいかにして生命を育むか　香月泰男　シベリアの壁に還った日　坂倉秀典さんは語る	荒川由紀子	〃	209
香月泰男の「東洋的油絵」―《石と壷》をめぐって―	林田　龍夫	デアルテ	22
愛の旅人　山口・三隅　戦地から360通の絵手紙　香月泰男と家族　ハイラル通信	神谷　裕司	朝　　日	7.1
神宮名品解説　神宮美術館所蔵奉納美術品　工芸「直刀　銘(表)貞一(裏)平成庚午年秋」[月山貞一]	(深田)	瑞　　垣	203
マンガの居場所「あしながおじさん」をさわやかに翻案[勝田文]	ヤマダトモコ	毎日夕刊	4.25
名誉館長館話実施報告抄[勝平得之]	新野　直吉	秋田県立博物館研究報告	31
10 Questions for New Generations 次世代写真家アンケート	勝又　邦彦	STUDIO VOICE	367
第一特集　Creator's Favorite Books 今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　写真家	〃	〃	371
日々好日　粘土と彫刻	加藤　昭男	新美術新聞	1078
巻頭特集　コレクターが気になる版画のめばえ　日本の新しいエディション　篠田教夫×アーティーデジタル版画の可能性[加藤泉]	秋　田	版画芸術	131
中特集　加藤勝久　光と空気と時間	加藤勝久、一井　建二談	美術の窓	273
加藤舜陶さんと鈴木八郎さん　二人の“回顧展”のこと	鶴　　勲	陶　　説	642
受賞者インタビュー144　第10回新生展　加藤隆之		ギャラリー*	259
唐九郎と哲学[加藤唐九郎]	鶴　　勲	陶　　説	643
第一特集　プロダクト・デザインの現在　NEW DESIGN PARADIGM UNDER 35 DESIGNERS LIST　加藤弘之	岡田　栄造	STUDIO VOICE	365
特集　アートの授業！　表現&制作～鑑賞&マネージメント　アーティストたちのセルフエデュケーション　加藤美佳		美術手帖	874
彫刻家の現場から10　加藤豊	武田　　厚	美術の窓	269
10 Questions for New Generations 次世代写真家アンケート	加藤友美子	STUDIO VOICE	367
漫画家・加藤芳郎さんを偲ぶ　気さくなパイオニア	清水　　勲	朝日夕刊	1.20
惜別　漫画家　加藤芳郎さん　オモシロ打率7割維持	小原　　篤	〃	2.13
追悼　加藤芳郎さん「月月火水木金金」の人生	西村　　宗	産　　経	1.21
喪友記　加藤芳郎さんを悼む　気概蓄えたヒゲ	小島　　功	日　　経	1.20
追想録　加藤芳郎さん(漫画家)		日経夕刊	2.17
ナンセンス漫画一筋　加藤芳郎さん　テレビ司会でも活躍	内藤麻里子	毎　　日	1.17
困難を生き抜く力　加藤芳郎さんを悼む	鶴見　俊輔	毎日夕刊	1.17
加藤芳郎さんを悼む　斬れ味抜群大人のナンセンス	夏目房之介	読売夕刊	1.17
日展会員賞制作意図「響奏」	加藤　令吉	日展ニュース	123

門坂流　眼のエデン・離陸の尖筆　門坂流のアトリエを訪ねて	石川　翠	版画芸術	132
はぐれ者の心和紙に注ぐ　水俣で20年余、見捨てられた原料を生かす	金刺　潤平	日　経	2.20
まばたく星の先に	金澤　一水	瓜生通信	37
特集　座談会　若いエネルギーで明日を拓く　C—DEPOTのアーティスト達[金丸悠児]		ギャラリー*	255
視点　次代のステージを見据えて	金丸　悠児	美術の窓	276
日々好日　柚子の香り	金山　桂子	新美術新聞	1077
金山平三と大石田	服部　正	ART RAMBLE	13
竹のデザイン／INSPIRED BY BAMBOO	金氏　脩介	京都嵯峨芸術大学紀要	31
[保存版]ゼロゼロ・ジェネレーション2006　2000年代から未来へ向かう日本の新世代アーティスト108人　アーティスト・ファイル　金氏徹平	清水　穣	美術手帖	883
オランダシリーズ—光と影の間	金子　潤	国立国際美術館月報	155
《無題》2004　金子潤(1942～)	安來　正博	〃	〃
書ルネサンス世界を開拓　金子卓義さんを悼む	荒井　魏	毎日夕刊	4.5
Singular Dialogues インタヴュー　金村修×アントワン・ダガタ	編　集　部	STUDIO VOICE	363
第一特集　写真を撮る方法～カメラ選びから、撮影、プリント、それを人に見せるまで　Lesson 9 "EXHIBITION"　尾仲浩二×金村修　展示で見せる	富田　秋子インタヴュー	〃	367
静嘉堂文庫美術館所蔵加納鉄哉模刻仮面群	村山　閑	東京芸術大学美術学部紀要	43
日本画—材料から考えること～狩野芳崖の遺品顔料など	岡本　正康	潮　流	86
狩野芳崖の謎〈その三〉	(I)	〃	88
表紙解説—狩野芳崖筆「悲母観音」	川口　直宜	刀剣美術	588
ギャラリー散策　ワタシの視線8　「あの人は紳士です」[加納光於]	雨宮　舜	ギャラリー*	260
特集　はじめての武満徹　武満徹をみるその1ようこそ、武満美術館へ　タケミツ謹製現代美術[加納光於]	編　集　部	芸術新潮	677
特集　加納光於の芸術		水声通信	8
『アララットの船』のこと	大岡　信		
対話　色彩の宇宙、まなざしの海	加納　光於 谷川　渥		
澁澤龍彦と加納光於—そして瀧口修造	巌谷　國士		
星座的なカオス	建畠　晢		
加納光於—遥かなる航海者	中村　隆夫		
(かつて、詩と美術は、睦みあっていた—)	野村喜和夫		
加納光於—光の絵画	山口　啓介		
加納光於の絵画—絵画に即して読む	土屋　誠一		
印象批評への賭け　加納光於の物質性(マテリアリティ)をめぐって	暮沢　剛巳		
一度来なかった青年　加納光於と瀧口修造	岩崎美弥子		
言葉の磁界—加納光於の油彩画	光田　由里		
加納光於のイメージ	黒岩　恭介		
加納光於のオブジェ展拾遺	牧野研一郎		
加納光於の装幀について1959—1970	高麗　隆彦		
大島旅行と加納さん	谷川　晃一		
加納光於初期版画再照—色彩の根源としての黒	馬場　駿吉	〃	9
泉鏡花『風流線』『続風流線』をめぐる　鏑木清方と鰭崎英朋	岩切信一郎	一　寸	25
『苦楽』と鏑木清方	宮崎　徹	鎌　倉	102

研究発表〈要約〉 鏑木清方の造形と文学	角田　拓朗	近代画説	15
時の余白に　巨大建築と人類の愚[鏑木清方]	芥川　喜好	読　　売	9.30
巻頭特集　自由人浦上玉堂　玉堂は天を仰ぎ我は奈落を覗く	下保　　昭	アート・トップ	211
第25回損保ジャパン美術財団選抜奨励展受賞作品紹介　立体作品部門　新作秀作賞	神山　茂樹	産　　経	3.15
亀井徹　禁じられた仔犬　「戌の名前」展より		芸術新潮	673
講演会記録　鴨居玲さんの思い出	長谷川智恵子　談	石川県立美術館だより	270
造形された土の生命—加守田章二の陶芸—	青木　　宏	陶　　説	635
美の美　秘められた源流４—加山又造	宝玉　正彦	日　　経	9.17
アーティスト訪問35 柄澤齋		ギャラリー*	256
柄澤齊「インクは歴史の血液である」	小池　寿子　聞き手	芸術新潮	682
巻頭特集　美術館で版画を楽しむ　鼎談 柄澤齋とミュージアムの挑戦　「宙空の輪舞」と「イメージの迷宮に棲む」—柄澤齋の全貌を美術館で解剖する	柄澤　齋 小勝　禮子 水沢　勉	版画芸術	132
巻頭特集　プロ18名があかす細密画㊙技法と画材　インタビュー＆コラム　柄澤齋インタビュー「木口木版が見せる魔術」		美術の窓	277
陶芸家・河井寛次郎の釉薬ノートの調査研究(第３報)	川原　康孝	沖縄県立芸術大学紀要	14
[研究報告]バナナ・テキスタイル・プロジェクト—2004年度報告書	橋本　京子 川井　由夏 福岡　裕子 長沢　桂一 樋口　明久	多摩美術大学研究紀要	20
巻頭特集　眼のちから　目利きという創造　目利きは語る　わからへんけどやってみようか[川内倫子]	竹井　正和 藤田　礼子 取材・文	アート・トップ	212
第一特集 Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　写真家	川内　倫子	STUDIO VOICE	371
特集　回想・上野『私と上野』…懐かしき旧美術館…	川上　十郎	自由美術	2006
特集　デザインを読む！　ブックガイド300　デザイナーを読み解く！	川上　元美　選 土田　貴宏　取材・文	デザインの現場	145
岸田劉生に厭な奴だ、嫌いだといわれた画家たち—岸田劉生日記を中心として〈其の一〉川上涼花と中川一政	横田　洋一	美術運動史研究会ニュース	83
茶室の工芸学—現代工芸家の茶器　川喜田半泥子「志野茶碗赤不動」	冨田　康子	淡　　交	737
近代の茶杓　川喜田半泥子	池田　瓢阿	〃	738
第15回 MOA 岡田茂吉賞　工芸部門優秀賞	川北　浩彦　談	アート・トップ	210
この人　第51回小学館漫画賞を受賞したかわぐちかいじさん	谷口　　学	東　　京	4.16
私のいる風景　漫画家かわぐちかいじさん　鏡　戦後映す「もう一つの日本」	石田　汗太	読売夕刊	12.16
画家たちの美術史36 河口龍夫	鷹見　明彦	美術手帖	874
川崎小虎と東山魁夷展開催記念　座談会 誠実・純真、清らかな画境が響きあう　川崎一族170余年の豊かな画系を展覧	宝木　範義、土屋　禮一、川崎　春彦、川崎　麻児　談	新美術新聞	1107
「デザインのことば」—デザインボキャブラリーの再定義[ひ]～[み]	川崎　和男	ＡＸＩＳ	119～124
特集　もうひとつのデザイン・ユートピア　テクノロジカル・デザイン＆アーキテクチャー　川崎和男　ほんとうの「学際化」が拓くデザインの未来像	川崎　和男　談 編　集　部　取材・構成	美術手帖	878
NIPPONのカタチ　デザインの挑戦１　名古屋市立大学教授　川崎和男氏		日経夕刊	1.4
川崎小虎と東山魁夷展開催記念　座談会 誠実・純真、清らかな画境が響きあう　川崎一族170余年の豊かな画系を展覧	宝木　範義、土屋　禮一、川崎　春彦、川崎　麻児　談	新美術新聞	1107
絵は自らたのしむもの[川崎小虎]	川崎　鈴彦	〃	〃

ギャラリー散策　ワタシの視線1～8［川崎千恵子］	雨宮　舜	ギャラリー*	253～260
ひと　熊本で絵本を描き始めた「巨人の星」の漫画家　川崎のぼるさん	豊平　行	朝　日	9.6
川崎小虎と東山魁夷展開催記念　座談会　誠実・純真、清らかな画境が響きあう　川崎一族170余年の豊かな画系を展覧	宝木範義、土屋禮一、川崎春彦、川崎麻児談	新美術新聞	1107
Close—up56　川島清　可能性のある質とは何か　それを彫刻作品で問い続ける		ギャラリー*	259
日影眩の360°のニューヨーク116　アメリカの夜—2006年ホイットニー・バイエニアル　川島猛—34年ぶり、小さな画廊での大きな回顧展	日影　眩	〃	253
巻頭特集　コレクターが気になる版画のめばえ　日本の新しいエディション　川島秀明	川島秀明談	版画芸術	131
特集　美術史家の価値評価を問う5　美術と舞踏の交錯—川島理一郎の舞踏経験から	木村理恵子	美術フォーラム21	13
巻頭特集　私の好きな人物画Part.1　川下成海彫刻展によせて	中垣　克久	美術の窓	268
たてはな神話【連載】第一回～第十一回	川瀬　敏郎	芸術新潮	673～679、681～684
版画と日本観光の誘致について　川瀬巴水の鉄道省ポスターの制作	小山　周子	浮世絵芸術	151
映画・日常の冒険	かわなかのぶひろ	東京造形大学研究報	別冊4
映画・日常の冒険　かわなかのぶひろの映像作品「イメージのリアリティの実現」	鈴木志郎康	〃	〃
文明開化を嗤った男　河鍋暁斎の画業	山口　静一	東京夕刊	5.30
わたしのお気に入りパンとデザイン　ドイツ・マルク緊急紙幣	川畑　直道談	芸術新潮	675
不明シーボルト画、70年ぶり発見［川原慶賀］	金杉　貴雄	東　京	11.18
陶芸家・河井寛次郎の釉薬ノートの調査研究(第3報)	川原　康孝	沖縄県立芸術大学紀要	14
横浜トリエンナーレ2005　アート・オークション　川俣正ディレクターに聞く		ギャラリー*	250
PS1プロジェクトの頃	川俣　正	国立国際美術館月報	154
10 Questions for New Generations　次世代写真家アンケート	川村　麻純	STUDIO VOICE	367
AT 208　Remarkable MOVIE　現代によみがえった曼荼羅　川本喜八郎監督「死者の書」	三崎　連雀	アート・トップ	208
アート探究　「死者の書」を人形アニメに［川本喜八郎］	浦田　憲治	日　経	2.4
Close—up52　神戸智行　100メートルの壁画に挑む個展　大作中心の「イノセント・ワールド」		ギャラリー*	257
大臣賞制作意図　文部科学大臣賞　「長風」	神戸　峰男	日展ニュース	123

（キ）

追悼抄　優佳良織織元木内綾さん　北海道の色織り込む	伊藤　進一	読売夕刊	11.21
こころの玉手箱　総合地球環境学研究所所長　日高敏隆5　キキのイラスト	日高　敏隆	日経夕刊	12.15
正論　規模拡大から機能の連結・統合へ　転換求められる都市設計の発想	菊竹　清訓	産　経	7.3
正論　生活圏に核シェルターを実現すべき　地下鉄や小中学校を避難施設に	〃	〃	11.1
正論　「永久」と「更新」の文化新統合をめざせ　「木造の洗練性」を生かした新工法を	〃	〃	12.31
絵とものづくりの基本のき　安西水丸、スズキコージ、菊池しほ	水田　由紀	みづゑ	77
北国の民俗に根ざした孤高の芸術　画家・村上善男さんを悼む	菊畑茂久馬	毎日夕刊	5.17

日々好日　北アメリカの風景	木澤　定一	新美術新聞	1105
館蔵品にみる図案化・岸光景と精工社の作品について	五味　聖	三の丸尚蔵館年報・紀要	11
日韓美術交流2005 交流に参加して　又いきたいなあ韓国　又食べたいなあキムチ	貴志　早苗	美術運動	133
学芸随想６　終わってくれない資料調査［岸竹堂］	高梨　純次	フラミンゴ	88
交遊抄　不思議な会合［岸田夏子］	戸矢　博道	日　経	11.3
劉生・大正十年断片―表紙図案から［岸田劉生］	森　登	一　寸	25
劉生の金銭感覚と蒐集感覚　「劉生日記」から	〃	〃	26
岸田劉生に厭な奴だ、嫌いだといわれた画家たち―岸田劉生日記を中心として〈其の一〉川上涼花と中川一政	横田　洋一	美術運動史研究会ニュース	83
美の美　秘められた源流２―岸田劉生	宝玉　正彦	日　経	9.3
東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究Ⅲ、Ⅳ	佐藤　一郎 木島　隆康 大西　博 田中智惠子 大竹　秀実	東京芸術大学美術学部紀要	43、44
青春プレイバック　岸本太郎　東京北区・飛鳥公園、日下部鳴鶴書「桜の賦」碑	宗像　克元	新美術新聞	1106
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　INTERVIEW　村上隆　「あの時代」の天才、北大路魯山人	村上　隆	STUDIO VOICE	371
物に執して（八八）［北大路魯山人］	鈴木　皓詞	目の眼	361
いのちの炎　心の残像12景４　歌麿「山姥と金太郎」［喜多川歌麿］	瀬木　慎一	東京夕刊	1.24
版画集―詩想と謎を搦め捕る装置	北川　健次	版画芸術	131
巻頭特集　私の好きな人物画Part.1　フェルメールまたは矛盾した二相の絵画	〃	美術の窓	268
北川民次の第24回二科展（1937年）出品作に関する考察―《メキシコ、タスコの祭日》を中心に	菊地　由花	美学美術史研究論集	21
平成15年度修士論文要旨　北川民次研究―1936年から1938年における「壁画」的タブローの制作について	〃	〃	〃
特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する　注目の新進彫刻家　北川宏人	不動　美里	美術手帖	877
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　写真家	北島　敬三	STUDIO VOICE	371
Section２：個人研究・教員年譜　美術学科日本画専攻　日本画の創作と研究	北田　克己	広島市立大学芸術学部紀要	11
画家たちの美術史43　北辻良央	中井　康之	美術手帖	885
心の中の別世界―きたむらさとしのUFO Diary―	笹田　裕子	清泉女子大学紀要	54
慶応義塾大学所蔵作品調査・保存活動　3.北村四海（朝倉文夫複製制作）《鎌田栄吉胸像》の修復	小林　嘉樹 柳　井 担当・記	慶応義塾大学アート・センター年報	13
特集　回想・上野　相互合評会の思い出	北村　隆博	自由美術	2006
［作品研究］吉川霊華の人と作品	古田　亮	現代の眼	556
特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する　彫刻の生まれる場所　城戸孝充	福住　廉	美術手帖	877
［保存版］ゼロゼロ・ジェネレーション2006　2000年代から未来へ向かう日本の新世代アーティスト108人　アーティスト・ファイル　鬼頭健吾	小西　信之	〃	883
即興チェーンソー彫刻　丸太を削って動物など造形、これまで1500点以上完成	城所ケイジ	日　経	10.2
ことばのデッサン　連載第21回～第26回	絹谷　幸二	アート・トップ	207～212

アモーレ　カンターレ　マンジャーレ 絹谷幸二のイタリア賛歌		〃	209
対談　イタリアは日本を教えてくれる　ゲスト・青柳正規	絹谷　幸二 青柳　正規		
新作「時の船・慈愛」語る	絹谷　幸二		
伊太利亜回想録	絹谷　幸二 大塚千枝子		
絹谷幸二・宏美夫妻に聞く　結婚35周年デビューから今日まで	油井　一人 聞き手	新美術新聞	1085
「日本の美」シンポジウム」講演会開催 上野の歴史を知る・シリーズ第3回　絹谷幸二、辻惟雄氏ら日本と西洋の美術を話題に		〃	1086
書を感じる人たち3	絹谷　幸二	墨	182
高松塚古墳について思うこと	〃	東京夕刊	5.18
交遊抄　奈良の開拓精神［絹谷幸二］	千本　倖生	日　経	1.25
こころの玉手箱　日本電産社長　永守重信2　絹谷幸二	永守　重信	日経夕刊	2.14
人間発見　色彩と夢の力は元気の源1～5　画家　絹谷幸二さん	宝玉　正彦 聞き手	〃	5.8～12
スペシャル対談　絹谷幸太 VS 一井建二 自然は人間のメタファ		美術の窓	268
知的障害持つデザイナー　AKIさんが絵本出版［木下明幸］		読　売	9.15
木下綾乃さんのクリスマス絵本、バースデイ絵本	藤田　容子	みづゑ	78
作家訪問355　陶芸家　木下和美さん	編　集　部	目の眼	358
講演会記録　対談「生命の炎を、みる」	木下　晋 窪島誠一郎	石川県立美術館だより	271
特集　ここまでできるオフセット印刷 奥行きのある表現を実現『ハルばあちゃんの手』［木下晋］	中江　一夫 唐　亜明	デザインの現場	146
巻頭特集　コレクターが気になる版画のめばえ　日本の新しいエディション　木原千春	木原　千春	版画芸術	131

《連載》戦時下日本の美術家たち　第3回 南京事件と従軍画家たちII—木村伊兵衛・清水登之・西條八	飯野　正仁	あいだ	124
『木村伊兵衛のパリ』50年代幻のカラー作品を刊行	西岡　一正	朝　日	8.9
視線　木村伊兵衛のパリ　木村伊兵衛著、田沼武能・金子隆一監修	飯沢耕太郎	〃	9.3
この道［木村伊兵衛］	田沼　武能	東京夕刊	
13　雲の上の人			4.24
64　木村伊兵衛			6.27
96　ライバル			8.4
98　我が師の本			8.7
木村伊兵衛のパリ 木村伊兵衛著		日　経	8.6
ニッポン写真の革新者たち1　木村伊兵衛、スナップの妙技	飯沢耕太郎	日経夕刊	5.11
こころの玉手箱　写真家　田沼武能2 木村伊兵衛にもらったジャケット	田沼　武能	〃	11.21
座談会：日本アンデパンダン展の今日的意義と今後の方向をさぐる　ひとこと提言　日本アンデパンダン展の今後はどうあるべきか	木村　勝明	美術運動	133
巻頭特集　実践！海外留学ガイドブック 奨学金で留学する	木村　崇人	美術の窓	270
巻頭特集　'06心にのこる風景画ベスト118　異郷の陽だまり、木村忠太	野見山暁治	〃	276
「ザ・キムラカメラ」木村恒久構成	（前）	読売夕刊	9.10
特集　回想・上野ファインダーを通して	木村　恭己	自由美術	2006
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　アーティスト	KATHY	STUDIO VOICE	371
慶応義塾大学所蔵作品調査・保存活動1. 清川泰次《Painting No. 97980》の修復	小林　嘉樹 柳　井 担当・記	慶応義塾大学アート・センター年報	13

【事業報告】ワークショップ「この人にカシャ！～新釈肖像写真 in 多摩三小～」レポート[清真実]	須見　裕子	パルテノン多摩博物館部門研究紀要	9
新・私のアルバム 9 清塚紀子	小森佳代子	美術の窓	276
追悼　清水九兵衛さんを悼んで	酒井　忠康	新美術新聞	1098
街角アート　朱色の野外彫刻―清水九兵衛	星野　清一	〃	1100
“二つの顔”に揺れ動きながら作家精神を貫いた清水九兵衛氏	藤　慶之	陶　説	643
アトリエ訪問　調和と対峙を律する現代的な知性を硬質な素材によって視覚化した清水九兵衛～それは外柔内剛的といってもよい～	原田　平作	美術フォーラム21	13
環境との親和を求めて　彫刻家・清水九兵衛さんを悼む	木村　重信	毎日夕刊	7.25
オランダで活躍する建築家　吉良森子さん		日　経	1.1
巻頭特集　若冲の衝撃波　若冲からのインスパイア　輪廻の世界観を抽出	紀里谷和明談	アート・トップ	210

（ク）

高松宮殿下記念世界文化賞受賞者決まる絵画部門・草間彌生氏、彫刻部門・クリスチャン・ボルタンスキー氏ら５人に		新美術新聞	1101
草間彌生のLOVE FOREVER　第７回～第11回、最終回	草間　彌生	STUDIO VOICE	361～366
TRIP ON THE STYLE THE CUSTOMIZED CONVERSE by 草間彌生		〃	364
草間彌生ドキュメンタリー　第１回～第６回	草間　彌生	〃	367～372
1960年代ニューヨークにおける日本人アーティストたち―草間彌生と小野洋子の場合―	坂上　桂子	美術史研究	44
高松宮殿下記念世界文化賞　絵画部門　草間彌生		産　経	9.8
世界文化賞受賞者会見　新たな創造への情熱[草間彌生]		〃	10.18
話の肖像画　無限の芸術永遠の愛１～４　世界文化賞・絵画部門受賞現代美術家草間彌生さん	猪谷　千香　聞き手	〃	10.22～25
春の叙勲　旭日小綬章　抽象美術作家草間弥生さん		読　売	4.29
アトリエ訪問　北京個展開いた、鯨井洪	伊藤　定夫、武田　昭一、森田　隆一、十滝　歌喜談	美術運動	133
座談会：日本アンデパンダン展の今日的意義と今後の方向をさぐる　ひとこと提言　日本アンデパンダン展の今後はどうあるべきか	鯨井　洪	〃	133
日々好日　道のり	工藤　和男	新美術新聞	1081
津村耕佑　妄想オーダーモード　第７回　お客様：工藤キキ	津村　耕佑、工藤　キキ　対談	ART　iT	13
わが愛する日本の美	工藤　甲人	美術の窓	273
現代工芸作家シリーズ22　魔術師たちの贈り物　工藤茂喜	冨田　康子	アート・トップ	207
特集　書体の選び方和文書体の選び方	工藤　強勝	デザインの現場	149
第２特集　新しいデザインの授業　学校から始まる新しい授業　福田哲男×工藤強勝	石田　純子	デザインの現場	150
話の肖像画　現代の空気を書く１～５　書家国井誠海さん	山本　雅人　聞き手	産　経	3.8～12
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　アーティスト	國方真秀未	STUDIO VOICE	371
探訪　日本画家國司華子先生を訪ねて　ワ・ス・レ・モ・ノはどこ		游　美	53
旬発力　書道界の開拓者目指した　書家國重友美	柳谷　昇子	産　経	9.30
焼土によるインスタレーションの制作についてⅪ『いちぬ～けた。』(21世紀芸術登場の予感)	國安　孝昌	筑波大学芸術年報	2005
3.教育普及事業　1)公開制作　6「森に棲む環」國安孝昌		府中市美術館年報	2000-2005

国吉康雄の転換期についての考察―《寡婦》にみるベン・シャーンとの接近	山口　泰二	美術運動史研究会ニュース	81
日々好日　ジョットの家	久野　和洋	新美術新聞	1086
座談会　2006新人賞展「受賞作家に聞く」	栗本　浩二、佐々木三枝子、山口　道子、吉田　文也、横尾　茂、市川　秀光、窪田　旦佳司会　遠藤　知義、西村　幸生記録	自由美術	2006
日韓美術交流2005　交流に参加して　体も心も元気になって	久保田壹重郎	美術運動	133
日韓交流・日本美術会展―2004　創作研究会の記録―	〃	〃	〃
久保田繁雄タピストリー・ワーク［1972―2006］	久保田繁雄	大阪成蹊大学芸術学部紀要	2
Go！Artists Go！20　久保田弘成	柘植　　響	美術手帖	882
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　イラストレーター	久保田真理	STUDIO VOICE	371
特集　中国―そこに日本の建築世界はどう関われるかⅢ　インタビュー4　ザラザラとした多様性を保つために	隈　　研吾談　藤村　龍至聞き手	建築雑誌	1554
特集　都市景観スタディ　いまなにが問題なのか？　インタヴュー　景観の現在―グローバリゼーションのなかでの変容	隈　　研吾　今村　創平聞き手	10＋1＊	43
2007年ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館　プレ・リポート　指名コンペ結果発表＋応募案誌上公開4　原初の美　李禹煥＋隈研吾	清水　敏男	美術手帖	889
奇想遺産	隈　　研吾	朝　　日	
シアトル中央図書館　アメリカ			1.29
ソニー・センター　ドイツ			3.5
表参道は「建築博物館」　隈研吾さんと歩く	工藤　さほ	〃	3.8
奇想遺産	隈　　研吾	〃	
アブラクサス　フランス			4.2
フラットアイアンビル　アメリカ			5.7
ロースハウス　オーストリア			6.4
テート・モダン　イギリス			7.2
新凱旋門　フランス			7.30
養老天命反転地　日本			9.3
ウィーン郵便貯金局　オーストリア			10.8
昌徳宮　韓国			11.12
キンベル美術館　アメリカ			12.10
『建築と破壊　思想としての現代』飯島洋一著	隈　　研吾	日　　経	1.22
文化が日本を「磨く」―特集　パネル討論	大原謙一郎、隈　研吾、上杉　千郷、高萩　宏談	〃	12.23
作家訪問352　陶芸家　くまがいのぞみさん	編　集　部	目の眼	355
巻頭特集　手づくり年賀状㊙の楽しみ方。　熊谷守一の親しみある十二支	古川　秀昭	美術の窓	279
熊木裕高写真集「遠い夢」	（前）	読　　売	7.30
第67回国際写真サロン　作品講評	熊切　圭介	朝　　日	12.27
特集　華麗なるボタニカルアート植物画の世界　植物画を体験する。注目のボタニカル展ガイド　熊田千佳慕伝説		美術の窓	272
単眼複眼　土門拳と熊田千佳慕さん　気遣いあった「見る」2人	佐久間文子	朝日夕刊	5.29
顔　ファーブル昆虫記の世界を描き続ける画家　熊田千佳慕さん	高橋　直彦	読　　売	8.10
Section 2：個人研究・教員年譜　デザイン工芸学科　糊防染法による型染の表現	倉内　　啓	広島市立大学芸術学部紀要	11

話の肖像画　だめんず解体新書１～５　漫画家倉田真由美さん	竹中　文　聞き手	産　経	10.26～30
この人、この時　恋愛が好き１～４　漫画家倉田真由美さん	三角　真理　聞き手	毎日夕刊	2.13～16
第73回毎日広告デザイン賞　第１部　一般公募・広告主課題の部　選評	操上　和美	毎　日	3.12
座談会　2006新人賞展「受賞作家に聞く」	栗本　浩二、佐々木三枝子、山口　道子、吉田　文也、横尾　茂、市川　秀光、窪田　旦佳司会　遠藤知義、西村　幸生記録	自由美術	2006
村野藤吾賞に建築家の栗生明氏		読　売	4.27
果てしない制作課題	黒川　彰夫	京都嵯峨芸術大学紀要	31
彫刻家の現場から17　黒川晃彦	武田　厚	美術の窓	276
黒川紀章さん「中銀カプセルタワービル」「交換」して保存かなわず	富田　祥広	朝日夕刊	9.25
保存か建て替えか　老朽化夢の集合住宅「中銀カプセル」[黒川紀章]	浅田　晃弘	東　京	2.27
あの人に迫る　人と自然の共生　都市計画で描く　黒川紀章建築家	福沢　和義　聞き手	東京夕刊	5.12
信じた道一筋輝く　文化功労者・建築家黒川紀章さん		〃	10.27
好きなもの	黒川　紀章	毎　日	12.10
立て替えか保存か　黒川紀章さん代表作「カプセルタワー」老朽化石綿も使用	手塚さや香	毎日夕刊	6.16
「中銀カプセルタワービル」問題　上、下	黒川　紀章	〃	9.6、7
建築望見　設計理念共有できぬ社会[黒川紀章]	高野　清見	読　売	11.30
黒川翠山の富士山写真―写真の虚構性をめぐって―	堀切　正人	静岡県立美術館紀要	21

特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する		美術手帖	877
彫刻の生まれる場所　黒川弘毅	福住　廉		
戸谷成雄×黒川弘毅×伊藤誠　彫刻の現在―私たちはいま、どこに立脚して彫刻を語りうるのか？	白坂　ゆり構成		
3.教育普及事業　1)公開制作　16「饗宴―生成するエロース」黒川弘毅		府中市美術館年報	2000-2005
版画と暮らす　コレクターが語る　黒崎彰の木版画コレクションの楽しみ	中村　層翠	版画芸術	134
Go！Artists Go！18　黒澤麻衣子	柘植　響	美術手帖	876
ポンペイの輝き展　節子・クロソフスカさんが鑑賞[節子・クロソフカ・ド・ローラ]		朝日夕刊	5.23
顔　里帰り講演で多忙の画家バルテュスの夫人　節子・クロソフスカ・ド・ローラさん	南　砂	読　売	5.30
黒田重太郎と日本におけるキュビスム受容	清水佐保子	鹿島美術財団年報別冊	23
作家訪問356　陶芸家　黒田順良	編集部	目の眼	359
桃夭塾卒業生、本野久子について[黒田清輝]	児島　薫	実践女子大学文学部紀要	48
研究資料　公刊『黒田清輝日記』（中）（下）	蓜信　祐爾	美術研究	388、389
研究資料　解題　公刊『黒田手紙控え』及び『黒田清輝日記』	田中　淳	〃	389
一展逸点　「野辺」黒田清輝	西田　健作	朝日夕刊	1.20
美の美　黒田清輝―絵と政治のはざまで　上、下	篠山　正幸	日　経	12.24、31
茶室の工芸学―現代工芸家の茶器　黒田辰秋「螺鈿亥字香合」	木田　拓也	淡　交	741
消えたデビルくん今いずこ　ビルから有楽町見守った「魔除け」　数々の都市伝説生む　彫刻家・黒田嘉治さん作	浅田　晃弘　松島　英二構成	東　京	2.11

3.教育普及事業 1)公開制作　4「アルゴリズムを超えて」黒部晃一		府中市美術館年報	2000-2005
反風景的実践としての「採集」—桑原甲子雄と都市	佐藤　守弘	京都精華大学紀要	31
ひと　中堅・ベテラン写真家に贈られる「さがみはら写真賞」を受賞する　桑原史成さん	徳山　喜雄	朝　日	10.5
探訪　オブジェ・アーティスト桑原弘明先生を訪ねて　極小の美　変幻する桑原ワールド		游　美	55

（コ）

巻頭特集　コレクターが気になる版画のめばえ　日本の新しいエディション　呉亜沙	呉　亜沙	版画芸術	131
視点　体に染みるという事	〃	美術の窓	279
フェイス21世紀86 小池一馬　円状に囲まれた湖	油井　一八	新美術新聞	1084
交差点06師走　生きる力くれた亡き息子の絵[小池邦夫]	本田　克樹	読売夕刊	12.18
割りばしアート　海の息吹　カレイ・タコなど300点以上、「もったいない」精神で	小池　正孝	日　経	8.28
近代美術の東京　小泉癸巳男　昭和大東京百図絵より「聖橋」	都築千重子	読　売	10.13
日本美術のススメ わが愛する日本の美「吉祥天画像」	小泉　淳作	美術の窓	276
アート探究　小泉淳作、天平の御影描く	竹田　博志	日　経	4.22
聖武天皇の肖像画 東大寺に奉納　小泉淳作さん描く		〃	5.1
追悼　恩人・村越伸氏を偲ぶ	小泉　智英	新美術新聞	1078
コミック教養講座 転校生　古泉智浩[著]	南　信長	朝　日	3.5
カバーインタビュー 小泉誠	谷口真佐子 インタビュー・文	ＡＸＩＳ	122
ＡＸＩＳフォーラムレポート　第23回 儲けるはなし	小泉　誠 山本　玲子 構成	〃	124
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　プロダクトデザイナー	小泉　誠	STUDIO VOICE	371
交遊抄　市井の求道者[小泉守邦]	下村　博文	日　経	12.8
特集　華麗なる植物画(ボタニカルアート)の世界　植物画がわかる。　日本の植物画のルーツを探れ!! ARTICLE 2　昭和を代表する洋画家が描いた薬用植物—小磯良平	廣田　生馬	美術の窓	272
名画のなかの女性たち30　小磯良平《T嬢の像》	中山　忠彦	〃	277
特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する　彫刻／人形／フィギュア　恋月姫　充ち足りた空虚を求めて	榊山　裕子	美術手帖	877
かぼちゃの風景[小絲源太郎]	丹尾　安典	一　寸	27
日本美術のススメ 日本画家を訪ねて 第２回　郷倉和子	切刀　知子	美術の窓	273
巻頭特集　若冲の衝撃波　若冲からのインスパイア　面白いものを生みだす“目”	鴻崎　正武	アート・トップ	210
パウル・クレー　創造の物語１　原爆ドームとつながる	合田佐和子	東京夕刊	7.18
最優秀ポスター賞受賞　京の怪談遺産　第４回環太平洋大学院生観光研究フォーラム出展作品	河野　隼也 制作 山村　高淑、鯛天　成雄 監修	京都嵯峨芸術大学紀要	31
河野通勢の父次郎の履歴—愛知県・長野県での美術教育の先駆者[河野次郎]	岩切信一郎	一　寸	26
視線　きのう見た夢 河野安志著	飯沢耕太郎	朝　日	7.2
新連載　版画を作る技法公開01　小浦昇銅版画のぼかし	辺見　海	版画芸術	134
特集　昭和の美術 前衛絵画と機械的視覚メディア—古賀春江から瑛九へ—	谷口　英理	近代画説	15

古賀春江「海」(一九二九)と〈溶ける魚〉—プロレタリア美術／マックス・エルンスト／バウハウスと転回する「機械主義」—	長田　謙一	美　　学	226
研究報告　松田諦晶と古賀春江—松田資料をもとに	森山　秀子	ブリヂストン・石橋美術館報*	54
近代美術の東京　古賀春江　海	鈴木　勝雄	読　　売	9.8
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　アーティスト	五木田智央	STUDIO VOICE	371
神宮名品解説　神宮美術館所蔵奉納美術品　洋画「跡」[國領經郎]	(中村)	瑞　　垣	202
表紙作品解説　マックス・クリンガー《手袋》のうち第三葉：願望[児島喜久男]	長門　佐季	たいせつな風景	6
喪友記　加藤芳郎さんを悼む　気概蓄えたヒゲ	小島　　功	日　　経	1.20
新しき誘惑への使徒たちvol.25　児島新太郎		アート・トップ	210
鳩壽・小嶋千鶴子さんの陶芸の魅力	柴辻　政彦	陶　　説	635
奇想遺産　児島虎次郎邸茶室　日本	藤森　照信	朝　　日	5.21
小島信明《未分化における可能性》(1962年)と立像—再制作をきっかけに	西川美穂子	東京都現代美術館紀要	10
古城江観　和風モンブランのお味「巴里憧憬　エコール・ド・パリと日本の画家たち」展より		芸術新潮	681
AT211　Remarkable PERSON　「味が染みこんだおでんに」小杉小二郎さんが損保ジャパン東郷青児美術館大賞	(根)	アート・トップ	211
作家の今・高山辰雄の新作　高山先生との出会い	小杉小二郎	ギャラリー*	250
第29回損保ジャパン東郷青児美術館大賞大賞に小杉小二郎氏		新美術新聞	1085
我がコパンとのエアメール	小杉小二郎	〃	1102
小杉放菴と漢籍について	鈴木　日和	横山大観記念館館報	22
美の美　絵画は踊る4[小杉放菴]	内田　洋一	日　　経	2.26
美の美　結集する個性—アトリエ村三景下[小杉放菴]	富田　律之	〃	5.14
五姓田義松のフランスにおける創作について	柏木　智雄	鹿島美術財団年報別冊	23
特集　紙選びのABC古平正義　デザインと紙選びはいつでも同時進行	岡野　　民	デザインの現場	148
書を感じる人たち2	小滝　雅道	墨	181
画家たちの美術史40児玉靖枝	中井　康之	美術手帖	880
時代に先駆けるもの—後藤慶二と高濱虚子	森　　仁史	一　　寸	25
後藤慶二資料の特徴とその建築史的重要性について	増田　泰良 藤岡　洋保 山崎　鯛介 瀧口　克己	日本建築学会計画系論文集	607
後藤純男インタビュー　画業六十年—終戦からの出発—		アート・トップ	207
後藤純男氏の叙勲を祝う会盛大に開かれる		新美術新聞	1095
特集—父を語る　彫刻家後藤清一	後藤　道雄	游　　美	54
切手に見る世界建築7　プロト・モダーンの名作	後藤　　武	建築雑誌	1549
AT209　Remarkable WORK　小西真奈「キンカザン1」「キンカザン2」2006年VOCA賞受賞	(山)	アート・トップ	209
受賞者インタビュー138　VOCA展2006小西真奈		ギャラリー*	252
第13回VOCA賞に小西真奈さん		新美術新聞	1077
テークオフ　画家小西真奈さん　写真元に「思うまま」の別世界	西田　健作	朝日夕刊	3.22
フェイス21世紀89小鉢公史　人に優しい表現がしたい	油井　一八	新美術新聞	1092
小林かいち(五)閑話休急	山田　俊幸	一　　寸	25
幻のデザイナー・小林かいち(六)(七)	〃	〃	26、27

小林かいち・ラスト	〃	〃	28
一歩先へ踏み出す力	小林　紀晴	百　科*	521
《連載》戦時下日本の美術家たち　第２回南京事件と従軍画家たちⅠ　中川紀元・住谷磐根・小林喜代吉	飯野　正仁	あいだ	123
小林清親　新発見の肉筆画《川中島合戦図屏風》について	飯田　真	アマリリス	82
美の美　浮世絵その後　上―江戸から明治へ[小林清親]	松岡　資明	日　経	9.24
講演会記録　私と木口木版、そしてヒワさんのこと	小林　敬生	石川県立美術館だより	272
表紙解説―小林古径筆「小督」	川口　直宜	刀剣美術	591
表紙解説―小林古径筆「河風」	〃	〃	594
近代美術の東京　小林古径　加賀鳶	中村　麗子	読　売	12.15
希望を求めて―「絵画の行方」展所感	小林　俊介	あいだ	123
小林俊介氏に―府中市美術館「絵画の行方」展をめぐって	藤枝　晃雄	〃	124
亡骸劇場　小林伸一郎著		日　経	7.23
巻頭特集　実践！海外留学ガイドブックより濃密な時間の中で	小林　孝亘	美術の窓	270
私のいる風景　画家小林孝亘さん　ものとこころ　見つめ合いせめぎ合う	高野　清見	読売夕刊	10.21
物に執して(八十)[小林東五]	鈴木　皓詞	目の眼	353
第一特集　写真を撮る方法～カメラ選びから、撮影、プリント、それを人に見せるまで　Lesson11 "WEB／DIGITAL" 小林のりお×永沼敦子　デジタル写真の可能性とWebでの作品発表	編集部インタヴュー	STUDIO VOICE	367
アクリリックス・ワールド32　小林浩	石井　芳征	美術手帖	877
画家小林萬吾と歌誌『心の華』	岩切信一郎	一　寸	28
マンガの居場所　新たにキャラに加わった「初老」のよしりん[小林よしのり]	瓜生　吉則	毎日夕刊	3.30
特集　加納光於の芸術　加納光於の装幀について1959―1970	高麗　隆彦	水声通信	8
永島正人　クレパスを塗り込んで塗り込んで、巨大な作品が現れる	荒井　良二、駒形　克己談　來嶋　路子、工藤あおい取材	みづゑ	75
絵本づくり入門　駒形克己さんの本づくり誌上ワークショップ	來嶋　路子	〃	78
特集　昭和の美術　シュルレアリスムと行動主義―小松清、福沢一郎、矢崎博信を中心に	大谷　省吾	近代画説	15
巻頭特集　私の好きな人物画Part.1　人物を描く～ポートレイトとしての小松崎邦雄作品～	江口　健	美術の窓	268
芸苑雑事記159　小松崎邦雄のこと	瀧　悌三	〃	269
東京の記憶　SF挿絵画家小松崎茂　少年の夢描いた"異能"	久保山　健	読　売	3.6
話の肖像画　「はてな」が原点１～６　絵本作家五味太郎さん	竹中　文聞き手	産　経	6.9～14
青春プレイバック　小宮康孝　東京都葛飾区新小岩　小宮染色工場	西澤　美子	新美術新聞	1097
第53回日本伝統工芸展　染色　江戸型小紋両面染「梅」　小宮康正	小笠原小枝	朝日夕刊	9.22
中特集　小柳竜児　ロマンを謳う	春野　修二、一井　建二談	美術の窓	273
Close―up57　小山厚樹　描くことが存在理由　されど悩みの中で		ギャラリー*	259
小山敬三美術振興財団　20年の活動に終止符		新美術新聞	1093
小山正太郎研究拾遺(七)(八)	金子　一夫	一　寸	25、28
思い出すこと、そして期待すること	小山　岑一	陶　説	634
記者手帳　書画収集30年矢野隆司氏[今東光]	(重)	日経夕刊	6.22
『日本の民家』再訪２準備編[今和次郎]	中谷　礼仁	10＋1*	44

特集　BTの画材講座　画材を「解く」街の画材店を訪ねる2　アーティスト近藤聡乃さんと行く月光荘画材店	斉藤　博美	美術手帖	886
特集　紙選びのABCわたしの好きな白い紙　菊地信義／副田高行／近藤一弥	杉瀬　由希 大城　譲司	デザインの現場	148
水墨画家・近藤浩一路の誕生	島田　康寛	アート・トップ	211
日々好日　閑話休題	今野　忠一	新美術新聞	1083
追悼　今野忠一氏原点は自然の中に	松本　哲男	〃	1088
私の美術放浪29　今野忠一、月山の神となる	永井　信一	〃	1091

（サ）

わたしの宝もの10赤い羽根の飛行機	齋　正機	新美術新聞	1081
プロふぇっしょなるず　ゴルゴ生む分業と脚本[さいとう・たかを]	片山　健志	朝日夕刊	5.16
3.教育普及事業1)公開制作　21「揺らぐ水」斉藤典彦		府中市美術館年報	2000-2005
日本美術院新同人に齋藤満栄氏と小田野尚之氏		新美術新聞	1106
アクリリックス・ワールド35　齋藤芽生	石井　芳征	美術手帖	886
今月のほれぼれ　好きの筆跡　齋藤裕一《はぐれ刑事》		芸術新潮	682
生誕一二〇年　斎藤与里—優彩の風物詩—記念講演会「近代洋画の旗手・斎藤与里の評論と画業」	中村　誠 丸山と志江、幅谷　啓子文責	碌山美術館報	26
画学生・若き日のパリ物語『草笛』　斎藤与里日記　一九〇七年(上)	幅谷　啓子編	〃	〃
新作の背景　斉藤里香《You can take me anywhere》	石川　健次	毎日夕刊	11.10
特集　西原理恵子		ユリイカ	521
ついに出会った二人　カルマは急に止まれない　「みうらじゅん賞」をあなたに	西原理恵子、みうらじゅん談		
海と山に抱かれて「ぼくんち」と呼ばれた笑い	高山　宏		
海と山に抱かれて母性と幼年期　西原理恵子『ゆんぼくん』と『ぼくんち』について	小野　正嗣		
海と山に抱かれて女の子・世間・ともだち	吉光　正絵		
じいちゃんの語りはいまも　明日船を出したら　西原理恵子という“漁師”の目線	西原理恵子、大月　隆寛談		
サイバラ・サバイバル　野良が持つ違和感を	鹿島　茂		
海と山に抱かれて~~日本~~近代文学の野犬(サイバラ)	前田　塁		
かあさん以前を検証　「おかっぱあたま」のはんぎゃく	仲俣　暁生		
サイバラ・サバイバル　生き地獄という名のユートピア　『ぼくんち』はラップだ！	新田　啓子		
サイバラ・サバイバル　美しい物語をいくつも超えて	水越　真紀		
海と山に抱かれて「むこうからきてくれるだいすき」になるために『女の子ものがたり』によせて	大串　尚代		
かあさん以前を検証　サイバラ原稿一千枚　『まあじゃんほうろうき』『ものがたりゆんぼくん』漫想	斎藤　宣彦		
かあさん以前を検証　〈母〉のジャーナリズム　西原理恵子と〈マンガ・ジャーナリズム〉	近藤　正高		
西原理恵子全単著＋主要著書解題	市川　真人編 市川　真人、前田　塁解題執筆		
夢の新春対談アンパンマンと毎日かあさん　上、中、下	やなせたかし、西原理恵子談	毎　日	1.1、3、4
新聞旧聞　山尾薫明氏のこと[佐伯祐三]	岩瀬　行雄	jaic会報	7
佐伯祐三にシャガール影響説　孤高の画家　揺れる実像	千葉　淳一	日経夕刊	10.16

特集　工芸発見！日本美術ってすごい！コンテンポラリーなモノ作家たち　嵯峨篤		美術手帖	882
堺時雄関係作品資料についてⅠ	藤田　裕彦	新潟県立万代島美術館研究紀要	1
先輩に聞け！　デザイナーが若いうちにしておくべきこと15 酒井俊彦　根拠のない「自信」も信念に変わりうる	石田　純子	デザインの現場	149
新作の背景　酒井信義《ランドスケープ》	石川　健次	毎日夕刊	1.6
社会人Myキャンパス　教える人　陶芸家　酒井田柿右衛門 上、中、下　九州産業大・芸術学部	酒井田柿右衛門	日経夕刊	11.24、12.1、8
眼鏡橋南欧にルーツ求め　4カ国100カ所を巡る全2万キロの撮影旅行	榊　晃弘	日　経	7.26
わたしの失敗　書家榊莫山さん1～4	早瀬　廣美	産　経	9.12～15
至宝を語る　第58回正倉院展に寄せて1 鳥毛篆書屏風	榊　莫山	読売夕刊	10.25
設計プロセスに基づく空間構成と景観構造から読み解くジオメトリーの分析　坂倉準三設計の神奈川県立近代美術館のプロポーションに関する考察(その2)	和田菜穂子	日本建築学会計画系論文集	606
移築先ありませんか 坂倉準三氏の代表作取り壊し　世田谷のNPO「近代住宅の傑作残したい」	浅田　晃弘	東京夕刊	9.30
巻頭特集　画肌(マチエール)の秘儀　絵具はいかにして生命を育むか　香月泰男　シベリアの壁に還った日　坂倉秀典さんは語る	荒川由紀子	アート・トップ	209
わたしの宝もの19 小さな花	阪本トクロウ	新美術新聞	1106
特集　写真と文化財 仏像写真家と文化財(彫刻)写真[坂本万七]	川瀬　由照	文化財*	517
新しき誘惑への使徒たちVol.23　さきやあきら		アート・トップ	208
Close―up48　作 左部潮　川の上に石が浮く　引力に逆らって造形する		ギャラリー*	254
現代工芸作家シリーズ23　魔術師たちの贈り物　笹井史恵	冨田　康子	アート・トップ	208
アクリリックス・ワールド33　佐々木啓成	石井　芳征	美術手帖	880
Close―up41　笹木正明　日本画と西洋画が融合した線の美しさ		ギャラリー*	249
特集　回想・上野　私と上野	佐々木正芳	自由美術	2006
座談会　2006新人賞展「受賞作家に聞く」	栗本 浩二、佐々木三枝子、山口 道子、吉田 文也、横尾　茂、市川　秀光、窪田　旦佳司会　遠藤 知義、西村　幸生記録	〃	〃
佐々木豊のホンネでファイト		アート・トップ	
第3回　“スキャンダル”からの足の洗い方	会田　誠ゲスト　佐々木　豊聞き手		207
第4回　“怨念”は創造の起爆力たりうるか	松井　冬子ゲスト　佐々木　豊聞き手		208
第5回　果てしなき迷宮を創り出すのは“子供の目”?!	遠藤　彰子ゲスト　佐々木　豊聞き手		209
第6回　“美術”はオールドスタイルの極致?!	やなぎみわゲスト　佐々木　豊聞き手		210
第7回　したたかな根無し草生き残り法	わたなべゆうゲスト　佐々木　豊聞き手		211
第8回　成功のコツは成功するまでやること	千住　博ゲスト　佐々木　豊聞き手		212
巻頭特集　画肌(マチエール)の秘儀　絵具はいかにして生命を育むか　対談　洋画と日本画の画肌バトル	佐々木　豊　平松　礼二	〃	209
今月の読書　『佐々木豊画集　悦楽と不安と』作品の魅力を引き出す演出や構成	安達　博文	新美術新聞	1079

日々好日　画家の芸人化	佐々木　豊	新美術新聞	1101
「薔薇女」	〃	明星大学研究紀要	14
特集　創造する脳　どうしてヒトは絵を描くのか？　佐々木里加　脳内ヴィジョンを具現化し発信する装置	佐々木里加談 編集部取材・構成	美術手帖	880
特集　BTの画材講座　画材を「解く」　画材工場見学１　アーティスト笹倉洋平さんと行く　ホルベイン工場・枚岡工場	酒井　千穂	〃	886
大理石工房における彫刻の実践研究	佐善　圭	東北芸術工科大学紀要	13
東京美術学校西洋画科卒業制作品・自画像の技法材料、保存修復に関する基礎的研究Ⅲ、Ⅳ	佐藤　一郎 木島　隆康 大西　博 田中智惠子 大竹　秀実	東京芸術大学美術学部紀要	43、44
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　プロダクトデザイナー	佐藤オオキ	STUDIO VOICE	371
カバーインタビュー　佐藤可士和	上條　昌宏	ＡＸＩＳ	121
AXISフォーラムレポート　第22回　状況のデザイン—アートディレクションの力を、教育の場へ	佐藤可士和 神吉　弘邦、 編集部構成	〃	123
国立新美術館のシンボルマーク完成　佐藤可士和氏デザイン	手塚さや香	毎日夕刊	7.11
佐藤朋夫さんを偲ぶうらやましかった二間の下宿	大山　忠作	新美術新聞	1081
アメリカの'Housing'の変遷と日本の住居学における建築設計計画学的思考の生成に関する考察[佐藤功一]	石井　菜生	日本建築学会計画系論文集	599
資料紹介　日本美術協会の作家　佐藤紫煙	大衡　彩織	美術フォーラム21	14
彫刻家・佐藤静司氏に聞く—		ザ・ルーフ	29
新・私のアルバム３　佐藤泰生	小森佳代子	美術の窓	268
巻頭特集　手づくり年賀状㊙の楽しみ方。年賀状の楽しみ	佐藤　泰生	〃	279
作品「出張マイハウス」極私的公共空間	佐藤　武紀談	季刊Plug	2
かたち百景　佐藤朝山の「栗鼠」(部分)　躍動とらえた伝説の巨人	(白)	日　経	10.1
特集　紙選びのABC ASYL DESIGNと行く　製紙工場見学　本文用紙はこうしてできる[佐藤直樹]	編集部	デザインの現場	148
教員は語る　芸大への期待・抱負・提言　第５回	佐藤　雅彦 山下　薫子	芸大通信	13
特集　山頭火を書くインタビュー　イラストレーターに聞く	佐藤三千彦談	墨	180
Close—up59　佐藤陽子　個性を作ろうとするのではなく　在るものを見えたまま、感じたままに描く		ギャラリー*	260
特集　2006新人大図鑑　デビューへの道…若手作家の成功への道を辿る　ギャラリーデビューへの道—佐藤好彦		美術の窓	271
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　アーティスト	佐藤　玲	STUDIO VOICE	371
社会人Myキャンパス　教える人　漫画家　里中満智子　大阪芸術大・芸術学部上、中、下	里中満智子	日経夕刊	1.20、27、2.3
リーダー像を問う２　漫画家里中満智子さん　下	橋本　五郎 聞き手	読　売	1.3
第一特集　写真を撮る方法～カメラ選びから、撮影、プリント、それを人に見せるまで　Lesson１　"CAMERA FORMAT"　佐内正史　カメラとイメージの特性を知る	飯沢耕太郎 インタヴュー	STUDIO VOICE	367
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　写真家	佐内　正史	〃	371

特集　心をつかむ展示空間、ディスプレイ、広告　プレゼンテーションの底力　マスターゲットに届け！　広告&ブランディング　シンボルマークで街にアピール　LISMOのキャンペーン[佐野研二郎]	伊部　玉紀	デザインの現場	147
学会120年—職能についての発言再録		建築雑誌	
4　国家に保障された職能、建築家[佐野利器]	天内　大樹		1546
6　法的基準と研究の間で[佐野利器]	新堀　学		1548
MAYA　MAXXと歩く、佐野洋子　絵本の世界展	來嶋　路子	みづゑ	78
芸苑雑事記164　佐原和行を偲ぶ	瀧　悌三	美術の窓	274
特集　工芸発見！日本美術ってすごい！コンテンポラリーなモノ作家たち　更谷富造		美術手帖	882
巻頭特集　実践！海外留学ガイドブック　フロントランナーが語る海外進出のコツ	横溝　静、さわひらき、鈴木　友昌　対談　伊東　豊子　構成・文	美術の窓	270
こころの玉手箱　富士ゼロックス相談役最高顧問　小林陽太郎4　沢田政広氏から贈られた絵	小林陽太郎	日経夕刊	6.1
美しさの行方1　私はひとり　見た目は940人[澤田知子]		読　売	1.1
澤田知子写真集「School　Days」	(前)	〃	4.2
日々好日　富士に想う	沢村美佐子	新美術新聞	1106

(シ)

東京六本木にできる国立新美術館についておもう	十滝　歌喜	美術運動	133
特集　回想・上野　私と上野	塩井　裕子	自由美術	2006
海外のアートシーンから　ベルリン「時間」への思いを追求した空間による塩田千春の個展	河合　純枝	美術手帖	878
わたしの宝もの18　生活と制作	塩谷　亮	新美術新聞	1103
わたしの宝もの15　大きなパエリア鍋	塩野　麻里	〃	1095
重松鶴之助—写実により見つめたもの、江戸文化に託そうとしたもの(プロレタリア美術と社会派の美術家たち2)	森　芳功	美術運動史研究会ニュース	80
ひと　日本庭園の魅力を伝える　重森千青さん	菅野みゆき	朝　日	3.28
巻頭特集　コレクターが気になる版画のめばえ　日本の新しいエディション　篠田教夫×アーティーデジタル版画の可能性	秋　田	版画芸術	131
辻惟雄が出会った“日本美術”最前線の綺羅星たち	辻　惟雄、町田　久美、三瀬夏之介、篠塚　聖哉、吉田　有紀　談	アート・トップ	208
トヨタコレクション奥村菅次作「からくり噴水器」の素材と技法の調査および復元品の制作	宮田　亮平　篠原　行雄　三浦　定俊　丸山　智巳　押元　信幸　手銭　吾郎　原　智	東京芸術大学美術学部紀要	43
アーティスト訪問37　篠原有司男		ギャラリー*	258
現在通信FromNEW-YORK　篠原有司男がNYの路上でペインティング対決	富井　玲子	新美術新聞	1090
ギュウチャン・エクスプロージョン！プロジェクト[篠原有司男]	編　集　部	美術手帖	887
3.教育普及事業　1)公開制作　5「ピラニアと格闘する前衛アーティスト」篠原有司男		府中市美術館年報	2000-2005
ギュウチャン大爆発—篠原有司男—74歳、前衛街道疾走	田中　三蔵	朝日夕刊	10.27
惜別　建築家・東京工業大名誉教授　篠原一男さん	大西　若人	〃	8.21
篠山紀信のデジカメ美学「40年前も今もカメラ小僧みたいなもの」	篠山　紀信　談	芸術新潮	684
もと学芸員の悔顧録(二)[篠山紀信]	田中　英二	国華清話会会報	7
きょうの論点　フィルム　vs.　デジタル写真家　篠山紀信さん	鮎川　高　聞き手	朝　日	6.5

美の美　吉利支丹の聖画　中[司馬江漢]	内田　洋一	日　　経	4.16
アーティスト・ボイス[柴川敏之]		辰野美術館だより	33
慶応義塾大学所蔵作品調査・保存活動　6.柴田佳石《福沢諭吉胸像》の洗浄保存処置	小林　嘉樹 柳　　井 担当・記	慶応義塾大学アート・センター年報	13
追悼　芝田米三さん「さようなら」米三さん	松樹　路人	新美術新聞	1092
旬を読む『半日半夜』杉本秀太郎著　知的で鋭い文章に感銘	芝田　米三	産　　経	1.15
水辺の記憶	渋谷　和良	明星大学研究紀要	14
環境ポスターをつくるプロセス雑感	嶋　　高宏	大阪成蹊大学芸術学部紀要	2
肖像画が語る幕末日本初の女性写真師島隆	岩尾　光代	毎日夕刊	4.13
2006戊年新春企画　年男年女	島田　鮎子	新美術新聞	1076
ひと　いろ　かたち　たおやかに　島田鮎子画文集		〃	1085
巻頭特集　人気画家10人のミクストメディア㊙技法講座　洋画家・島田鮎子氏インタビュー　コラージュは短距離百メートル競走!!		美術の窓	273
中特集　国展80周年記念　国画会の画家たち　スペシャル対談石川浩一VS島田章三		〃	272
特集　座談会　若いエネルギーで明日を拓く　C—DEPOTのアーティスト達[島名毅]		ギャラリー*	255
ジミーさん贋作被害「模写しやすい」大阪・4容疑者逮捕　ネットで販売[ジミー大西]	大場　弘行	毎日夕刊	5.23
第73回毎日広告デザイン賞　第2部　一般公募・発言広告の部　最高賞　清水清和　選評	冠木　雅夫	毎　　日	3.12
《連載》戦時下日本の美術家たち　第3回　南京事件と従軍画家たちⅡ—木村伊兵衛・清水登之・西條八	飯野　正仁	あ い だ	124
清水登之日記の研究—15年戦争期を中心に—	春原　史寛	鹿島美術財団年報別冊	23
四つの架橋—清水登之の「工兵隊架橋作業」をめぐって—	平瀬　礼太	歴史評論	671
URYUYAMA　PEOPLE　003　清水博文	清水　博文	瓜生通信	35
写真と日々　清水穣	石井　芳征	美術手帖	889
特集　2006新人大図鑑　デビューへの道…若手作家の成功への道を辿る　院展新同人—清水由朗		美術の窓	271
横溢するカルナシオン	柴牟田和俊	明星大学研究紀要	14
学芸随想4　抽象表現と伝統技術—志村ふくみ作品—	桑山　俊道	フラミンゴ	86
至宝を語る　第58回正倉院展に寄せて2「孔雀文刺繍幡」	志村ふくみ	読売夕刊	10.26
アトリエの扉をあけて68　シムラユウスケ　ワンダーランド的に生きる	杉瀬　由希	デザインの現場	148
霜田あゆ美さんのりんごの絵本、刺繍の絵本	來嶋　路子	みづゑ	78
学会120年—職能についての発言再録2　建築計畫論[下田菊太郎]	新堀　　学	建築雑誌	1542
異彩ウロコ文様の美　薩摩焼「蛇蝎釉」、数千の調合試し独力で編み出す	下高原正人	日　　経	7.21
座談会：日本アンデパンダン展の今日的意義と今後の方向をさぐる　ひとこと提言　日本アンデパンダン展の今後はどうあるべきか	下村　仁一	美術運動	133
日韓交流・日本美術会展—2004　創作研究会の記録—	〃	〃	〃
リレーエッセイ「美について」—ゴッホの「花咲く梅の木」—	十文字美信	た ま び	43
写真表現の考察—デジタルカメラで何が写せるのか	〃	多摩美術大学研究紀要	20

第一特集　写真を撮る方法〜カメラ選びから、撮影、プリント、それを人に見せるまで　Lesson10 “PHOTO BOOK” 徐美姫×姫野希美 作品を作品集で見せるために	編集部インタヴュー	STUDIO VOICE	367
Voice's Art Space Four Artists Show：千葉正也、イルバ・オーグランド、徐美姫、池田光弘	宮村　周子 横山いくこ 鈴木　行 保坂健二朗	〃	〃
視線　SEX　徐美姫著	飯沢耕太郎	朝　日	7.30
日展100年記念企画「上野の思い出」上野は第二のふるさと	庄司　栄吉	日展ニュース	122
戦中インドネシア赴任の洋画家　油絵の少女と再会[庄司栄吉]	青柳　知敏	東京夕刊	2.1
食べたい　しあわせ食堂　「コロッケ」ラードの余韻　ソースは連合軍で	東海林さだお	毎日夕刊	6.27
特集　ここまでできるオフセット印刷　こんな時、どうする？どうした？　飲料パッケージ　飲料パッケージのタブー？グラデーションにヌキ文字を美しく[東海林小百合]	大輪　俊江	デザインの現場	146
絵と字を融合させる「聖書」に挑む漫画家ジョージ秋山さん	石森　洋	東　京	1.6
第25回損保ジャパン美術財団選抜奨励展受賞作品紹介　立体作品部門　新作優秀賞	白石　泰明	産　経	3.15
ひと　第44回朝日陶芸展でグランプリ受賞　白川真悠子さん	秋山　亮太	朝　日	8.21
決定版カムイ伝全集(全38巻)白土三平著	田中　優子	毎　日	4.23
追悼　「日中文化交流の礎」白土吾夫さんを偲ぶ	入江　観	新美術新聞	1098
RANGOON RADIO 宇川直宏[著]、白根ゆたんぽ[イラスト]、弓田ヒロ[写真]	辻　絵里子	美術手帖	883
交遊抄　貴重な友[白浜美千代]	佐伯　チズ	日　経	10.11
しりあがり寿の現代美術入門　第9回〜第12回	しりあがり寿	ART iT	10〜13
日本×画展(にほんガテン！)に出品中漫画家・しりあがり寿が「日本画」を語る	しりあがり寿　談	アート・トップ	211
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　鼎談：町山広美×湯山玲子×しりあがり寿		STUDIO VOICE	371
しりあがり寿さん、「漫画のカンヌ」へ単独展は日本人初	河合　真帆	朝　日	1.25
著者に会いたい『表現したい人のためのマンガ入門』しりあがり寿さん	〃	〃	8.20
あの人に迫る “目からウロコ” 偏る社会を風刺　しりあがり寿　漫画家	平岩　勇司 聞き手	東京夕刊	7.7
情熱と絵筆はずっと手放さず　洋画家新開諭さん	井上　圭子	東　京	10.4
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　COLUMN　厳しい猫本市場を生き抜いている4冊	辛酸なめ子	STUDIO VOICE	371
辛酸なめ子さん(漫画家・文筆家)のポケットから	〃	朝　日	1.29
花盛りの格差論　中流男のよりどころ？	〃	読　売	11.6
仕事の狭間で「超日常」「日常を泳ぎ渡るアーティスト」[新藤武吉]	枝川　公一	〃	7.27
学会120年—職能についての発言再録1、2、5〜7、9〜12	新堀　学	建築雑誌	1541、1542、1547〜1549、1551〜1554
特集　初夢—なお日本で造らねばならない建築　鼎談	神田　順、佐藤　滋、内藤　廣　談 松村　秀一、腰原　幹雄、新堀　学、横山ゆりか　司会	〃	1541

特集　建築設備の評価の視点　鼎談・インタビュー「建築設備の歴史と未来像」1　建築設備の評価の視点について	石野　久彌、川瀬　貴晴、中原　信生談　秋元　孝之、松村　秀一、腰原　幹雄、新堀　学司会	建築雑誌	1545
ゆく言葉／くる言葉　増改築／リノベーション、コンバージョン	新堀　学	〃	1547
遡上する記憶	新山　拓	多摩美術大学研究紀要	20

（ス）

末田恵　新しい、品格のある備前をつくりたい	柴辻　政彦	陶　説	634
特別対談：上桜田アートラボ　バンデッド・ブルー／日本画を語る	松本　哲男　岡村桂三郎　長沢　明　番場　三雄　末永　敏明　谷　善徳　松田　泰典	東北芸術工科大学紀要	13
現代工芸作家シリーズ26　魔術師たちの贈り物　周防絵美子	冨田　康子	アート・トップ	211
第17回五島記念文化賞　美術新人賞に周防絵美子氏　三瀬夏之介氏		新美術新聞	1087
第一特集　映像表現のニュー・ヴィジョン！　Ultimate Motion Graphics　先端映像クリエイター対談　ANIMATION対談：タナカカツキ×牧鉄兵×菅原そうた	古屋　蔵人	STUDIO VOICE	370
特集　はじめての武満徹　武満徹をきく楽譜の冒険[杉浦康平]		芸術新潮	677
特集　デザインを読む！　ブックガイド300　デザイナーを読み解く！　杉浦康平	臼田　捷治選・文	デザインの現場	145
憧れワークにつくために今日からはじめること　杉浦さやか	藤田　容子	みづゑ	77
モダン日本グラフィック1、2　杉浦非水その1、2	海野　弘	美術手帖	882、883
杉浦康益《風のスクリーン》制作現場から	(初)	アート・トップ	211
陶の花に命を吹き込む—杉浦的真理探求法—	花里　麻理	陶　説	640
日展100年記念企画「上野の思い出」　旧美術館の思い出	杉岡　華邨	日展ニュース	122
巻頭特集　コレクターが気になる版画のめばえ　日本の新しいエディション　杉戸洋　版はすべてを映す鏡	辺見	版画芸術	131
杉本健吉寄贈作品の概要	村田　真宏	愛知県美術館研究紀要	12
第1特集　ホテルをつくる　杉本貴志に聞く　今、ホテルデザインに求められるもの	道添　進	デザインの現場	150
特集　工芸発見！日本美術ってすごい！　コンテンポラリーなモノ作家たち　杉本英輝	Daisuke Awata	美術手帖	882
巻頭特集　写真と絵画の対話　往還する「リアル」とその行方　第3章　写真と絵画を往還する新たな眼差し　時代を計る“写真”というスケール	杉本　博司談	アート・トップ	207
特集　工芸発見！日本美術ってすごい！【対談】杉本博司×山下裕二　“モノ力(りょく)”について考えてみる	編集部構成	美術手帖	882
米で目覚めた日本の美　杉本博司(現代美術家)	山盛　英司	朝日夕刊	12.15
和風モダーン十選　1～10	杉本　博司	日　経	7.3、4、6、7、11～14、17、18
語る　美術家　杉本博司　本歌取りで新たな魅力		〃	12.23
特集　座談会　若いエネルギーで明日を拓く　C—DEPOTのアーティスト達[杉山治]		ギャラリー*	255
漫画家　助野嘉昭さん「プレッシャーをバネに、描きたい」	小谷野直樹	読売夕刊	6.23
2006戌年新春企画　年男年女	鈴木　藏	新美術新聞	1076
鈴木空如　人と芸術(2)—法隆寺金堂壁画模写に捧げた生涯—	佐々木直子	秋田美術	42

第２回みづゑ賞「絵本部門」審査員・座談会　荒井良二、飯野和好、スズキコージ	來嶋　路子取材	みづゑ	76
絵とものづくりの基本のき　安西水丸、スズキコージ、菊池しほ	水田　由紀	〃	77
［研究論文］「個人映画」の映像表現	鈴木志郎康	多摩美術大学研究紀要	20
映画・日常の冒険　かわなかのぶひろの映像作品「イメージのリアリティの実現」	〃	東京造形大学研究報	別冊４
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　写真家	鈴木　崇	STUDIO VOICE	371
日記にやっき69～78	鈴木　貴彦	ｅｔｃ．	75～84
絵本のなかの雑貨づくり　みづゑの課外授業　鈴木珠基	藤田　容子	みづゑ	78
特集　座談会　若いエネルギーで明日を拓く　C―DEPOTのアーティスト達［鈴木太朗］		ギャラリー*	255
特輯　明治の工芸　鈴木長吉　十二の鷹	横溝　廣子	国　華	1328
特集　大竹伸朗　全身表現者の半世紀　アートとはなにか、大竹伸朗とはだれか　ヒリヒリした視線、豊かな画面	鈴木　恒成	ユリイカ	527
巻頭特集　実践！海外留学ガイドブック　フロントランナーが語る海外進出のコツ	横溝　静、さわひらき、鈴木　友昌対談　伊東　豊子構成・文	美術の窓	270
加藤舜陶さんと鈴木八郎さん　二人の“回顧展”のこと	鶴　勲	陶　説	642
第一特集　映像表現のニュー・ヴィジョン！Ultimate Motion Graphics　先鋭映像クリエイター対談　VJ対談：生西康典×鈴木ヒラク	服部　全宏 庄野　祐輔	STUDIO VOICE	370
［制作記録］ビデオ・インスタレーションの制作研究〈２〉	鈴木　浩之	金沢美術工芸大学紀要	50
AT207　Remarkable WORK　鈴木雅明「街灯」　シェル美術賞2005グランプリに	（根）	アート・トップ	207
塗師・鈴木睦美氏をたずねて　伝統の技と創造が織り成す京漆器の美	鎌塚　宏子	淡　交	736
［制作記録］アナム―キューブ―再生素材を利用した仮設展示ブース―	鈴木　康雄	金沢美術工芸大学紀要	50
小特集　鈴木理策、雪国の美術館を旅する		芸術新潮	681
第一特集　写真を撮る方法～カメラ選びから、撮影、プリント、それを人に見せるまで　Lesson７　“SELECTION”　鈴木理策　コンタクトシートから作品を見出すまで	竹内万里子インタヴュー	STUDIO VOICE	367
ピクトリアリズムの現在３　鈴木理策《サント・ヴィクトワール山》（承前）	清水　穣	10＋１*	42
石に呼ばれて巡礼の旅　不思議な力に魅せられ、国内500カ所以上訪ねる	須田　郡司	日　経	7.12
第53回日本伝統工芸展　木竹工　楓拭漆箱「皓月千里」　須田賢司	諸山　正則	朝日夕刊	9.22
向日葵愛した「画狂人」　生誕100年を迎えた洋画家・須田剋太を研究	加藤　勉	日　経	6.30
今村源と須田悦弘の「life／art」	樋口　昌樹	国立国際美術館月報	154
須田悦弘―瞑想への誘い	加須屋明子	〃	〃
特集　工芸発見！日本美術ってすごい！【対談】須田悦弘×千宗屋　モノの価値について考えてみる	編集部構成	美術手帖	882
コミック教養講座　長い長いさんぽ　須藤真澄［著］	南　信長	朝　日	1.22
巻頭特集　実践！海外留学ガイドブック　column　イタリアスケッチの旅　灰色の空間と岩窟寺院	砂場　三郎	美術の窓	270
憧れワークにつくために今日からはじめること　sunui	藤田　容子	みづゑ	77

特集　ジャコメッティ　アルプス生まれの全身芸術家　ジャコメッティ　私だけの愉しみ方　「あの細い人体は、じゅうぶんボリュームがあるんです」	鷲見和紀郎、保坂健二郎対談	芸術新潮	679
3.教育普及事業　1)公開制作　23「ペインティングスカルプチャー」鷲見和紀郎		府中市美術館年報	2000-2005
新東京タワー　デザイン監修は澄川喜一氏、安藤忠雄氏に決まる		新美術新聞	1095
第70回記念　新制作展　実行委員長澄川喜一氏に聞く	澄川　喜一談	〃	1097
新・私のアルバム11　澄川喜一	小森佳代子	美術の窓	278
《連載》戦時下日本の美術家たち　第2回　南京事件と従軍画家たちⅠ　中川紀元・住谷磐根・小林喜代吉	飯野　正仁	あいだ	123

（セ）

茶目っ気たっぷりの合理主義者　清家清の全作品集		芸術新潮	681
清家清の住宅作品における構成要素と内部機能の関係からみた立面表現	柴田　晃宏 油谷　千佳 是永　美樹 八木　幸二	日本建築学会計画系論文集	609
三代清風與平について(一)	岡本　隆志	三の丸尚蔵館年報・紀要	11
版木の縁から［清宮質文］	岩佐　徹	筑波大学芸術年報	2005
セキユリヲさんのベトナム旅の絵本	藤田　容子	みづゑ	78
関根伸夫の新しい位相絵画		ギャラリー*	259
回想録の出版　環美研の解散　節目迎えた関根伸夫氏に聞く　展覧会でもうひと踏んばり　「もの派」「環境美術」の経験生かし	三田　晴夫	毎日夕刊	5.18
日々の思索　第5回　発展的忘却の技―川久保玲と妹島和世について	長谷川祐子	ART　iT	13
2005年度芸術選奨　文部科学大臣賞に和田義彦氏、妹島和世氏、新人賞に西雅秋氏、村上隆氏		新美術新聞	1086
1990年代以降の建築・都市20　距離のねじれを生む、ガラスのランドスケープ　妹島和世論	五十嵐太郎	10＋1*	44
建築家ユニットSANAA快進撃　情報化社会軽快に映す［妹島和世］	〃	日経夕刊	2.6
建築　妹島和世「梅林の家」　生活臭を排除しない白い箱	〃	毎日夕刊	4.18
建築望見　日本建築大賞は小さな住宅［妹島和世］	高野　清見	読　売	4.27
ターナーの絵具箱　vol.18　みづゑ叢書、空想発刊　みづゑ賞「イラストレーション部門」大賞・瀬藤優さんが登場！	來嶋　路子	みづゑ	75
拝啓、奈良美智様　描く勇気をありがとう。［瀬藤優］	〃	〃	76
みづゑの課外授業　瀬藤優／yoko(Day After Day)／浅野ちかこ(caco)	藤田　彩	〃	〃
吉兆　和の色手帖　イラスト　瀬藤優	來嶋　路子	〃	78
フェイス21世紀91　瀬畑亮　粘り強く伸びやかに	油井　一八	新美術新聞	1097
研究発表〈要約〉　大原美術館工芸館設立と芹沢銈介	浅野　智子	近代画説	15
佐々木豊のホンネでファイト　第8回　成功のコツは成功するまでやること	佐々木　豊、千住　博対談	アート・トップ	212
芸術とは何だ？	千住　博	瓜生通信	35
2006戌年新春企画　年男年女	千住　博	新美術新聞	1076
描くことが人生！　あこがれアーティスト編　千住博	小神野そのこ	美術手帖	879
巻頭特集　実践！海外留学ガイドブック　interview　千住博		美術の窓	270
現代に芸術力の再生めざして　千住博さん(日本画家)　対立概念の調和を一枚の絵に	稲葉　千寿	東京夕刊	8.12
ART OF XMAS NAMIKI 2006　千住博		日　経	12.8

(ソ)

奇想遺産　名護市庁舎　日本[象設計集団]	松葉　一清	朝　日	8.6
特集　紙選びのABC わたしの好きな白い紙　菊地信義／副田高行／近藤一弥	伊部　玉紀 杉瀬　由希 高橋　美礼	デザインの現場	148
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　アーティスト	五月女ケイ子	STUDIO VOICE	371
Artist Interview79 五月女ケイ子	石田　純子	デザインの現場	147
特集　デザインを読む！　ブックガイド300　私の１冊　２ 曽我部昌史	編　集　部	〃	145
研究討論会・シンポジウム　「私の仕事今昔」～作品の変遷を語る～[続橋守]	斉藤　結城	主体美術	79
「愛が人を動かす」彫刻家・外尾悦郎さんが講演	(品)	東京夕刊	12.13
40×40　Project for BT 昭和40年会の七人も侍　最終号　連載８―わたしも40年かい？　最後の客人＝曽根裕		美術手帖	877
輝く個性　楽しむジュエリー注目集める日本人デザイナー[薗部悦子]	國保　環	毎　日	12.8
わたしのお気に入り100年を蒐める　夏目漱石『坊ちゃん』	祖父江　慎談	芸術新潮	678
3.教育普及事業 1)公開制作　11「完成のレアリスム」曽谷朝絵		府中市美術館年報	2000-2005

(タ)

先輩に聞け！　デザイナーが若いうちにしておくべきこと12 タイクーングラフィックス	石田　純子	デザインの現場	146
風韻　芭蕉布守る それが私の道　染織家平良敏子	福島　建治 インタビュー	朝日夕刊	1.28
アトリエの扉をあけて65　高木紗恵子 現実から零れる色をすくいとった透明な光の世界	金　悠美	デザインの現場	145
[保存版]ゼロゼロ・ジェネレーション 2006　2000年代から未来へ向かう日本の新世代アーティスト108人　アーティスト・ファイル　高木紗恵子	飯田志保子	美術手帖	883
第一特集　アートブックを楽しむ　ART BOOK BEST 150 and more...！　高木正勝×菊地敦己　高木正勝初作品集『BLOOMY GIRLS』(bluemark)制作秘話	編　集　部	STUDIO VOICE	368
[保存版]ゼロゼロ・ジェネレーション 2006　2000年代から未来へ向かう日本の新世代アーティスト108人　アーティスト・ファイル　高木正勝	畠中　実	美術手帖	883
エッセイ・展覧会評 横浜トリエンナーレ	高草木裕子	美術運動	133
《貴賓席》よみがえる記憶の中の絵―我が家にあった高崎剛の作品のこと	小野　絵理	あいだ	129
ギャラリー散策　ワタシの視線５　「洗練の次に狙う物」[高澤日美子]	雨宮　舜	ギャラリー*	257
高島北海のフランスにおける活動―『バラ雑誌』の記事から―	井土　誠	潮　流	86
作家訪問358　陶芸家　髙田桂子さん	編　集　部	目の眼	361
高田博厚さん彫刻窃盗　会社員を逮捕		東　京	3.16
美の美　結集する個性―アトリエ村三景上[高田誠]	富田　律之	日　経	4.30
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　アーティスト	タカノ　綾	STUDIO VOICE	371
Tokyo Space Diary タカノ綾	粟田　大輔	美術手帖	883
特集　2006新人大図鑑　デビューへの道…若手作家の成功への道を辿る　世界デビューへの道―タカノ綾		美術の窓	271

総特集　アーシュラ・K・ル＝グウィン『闇の左手』から『ゲド戦記』まで　対談　タカノ綾状無意識―SF愛と1.5列目のル＝グウィンを語る	タカノ綾、斎藤環談	ユリイカ	523
第31回木村伊兵衛写真賞　鷹野隆大氏に決定		新美術新聞	1083
第一特集　写真を撮る方法～カメラ選びから、撮影、プリント、それを人に見せるまで　Lesson３　“CONCEPT／MOTIF２”　鷹野隆大　新たなコンセプト／モチーフの見つけ方	編集部インタヴュー	STUDIO VOICE	367
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　写真家	鷹野　隆大	〃	371
鷹野隆大　写真の表面をなぞる官能への誘い　身体のアーティキュレーション	小林　美香	美術手帖	883
ひと　第31回木村伊兵衛写真賞を受賞した　鷹野隆大さん	西原　龍弥	朝　日	3.3
「鷹野隆大　1993-1996」	(前)	読　売	10.8
対談　高橋邦典×松本猛	原島　恵	美術館・友の会だより	148
版画研究最前線　15　高橋松亭(弘明)版画の世界	清水　久男	版画芸術	131
[研究論文]風船について―充気膜造形論ノート	高橋　史郎	多摩美術大学研究紀要	20
昭和版画家伝６　高橋信一　芸術と教育の混然とした一体化	藤田　一人	版画芸術	131
中世の塔にフレスコ壁画再現　仏在住画家計画　廃れた技法「若者にも」[高橋久雄]	国末　憲人	朝　日	10.19
「高橋真琴に源流を見た」　少女マンガのコマはみ出し・瞳に星…　研究家・藤本さんが分析	小原　篤	〃	6.29
フェイス21世紀90　高橋雅美　心の内面が溢れる画面	油井　一八	新美術新聞	1095
高橋由一・横山松三郎と長崎の「レーマン」―幕末・明治初期の油彩画伝習と普及―	萬木　康博	鹿島美術財団年報別冊	23
特輯　金刀比羅宮の絵画　高橋由一　貝図	河野　元昭	国　華	1334
現代工芸作家シリーズ25　魔術師たちの贈り物　高橋禎彦	冨田　康子	アート・トップ	210
追悼　平川敏夫さん　創画会の巨木	高畑　郁子	新美術新聞	1092
第二特集アニメを見る方法2006 Column２　芸術の彼岸と此岸！～『セロ弾きのゴーシュ』[高畑勲]	藤津　亮太	STUDIO VOICE	367
カリスマ挿絵画家・華宵[高畠華宵]	松本　品子	マキエ	26
特集　宮川淳、三〇年の後に　宮川淳と高松次郎	神山　亮子	水声通信	12
高見直宏のモクモク彫　「スキノデリック　彫刻の表層」展より		芸術新潮	675
特集　工芸発見！日本美術ってすごい！	Keiichi Murakami	美術手帖	882
コンテンポラリーなモノ作家たち　高見澤英子			
つくってみたくなる１　ガラス　高見澤英子			
境界線上の開拓者たち18　高嶺格	斎藤　環	〃	877
[保存版]ゼロゼロ・ジェネレーション2006　2000年代から未来へ向かう日本の新世代アーティスト108人　アーティスト・ファイル　高嶺格	保坂健二朗	〃	883
日本美術のススメ　知られざる日本美術　篁牛人筆「雪山淫婆」	安村　敏信	美術の窓	274
高村光太郎『道程』を読む(六)	飛高　隆夫	大妻女子大学紀要	38
視点　相生森林美術館の高村光太郎展(前編)(後編)	速水　史朗	美術の窓	275、276
美の美　愛の結晶４　高村光太郎と智恵子	浦田　憲治	日　経	6.11
絵本原画49点が盗難　幻の展示会に[高森登志夫]		東　京	7.26

Close—up44　高柳裕　理知に富む、凛とした美しさ　新たなる境地へ		ギャラリー*	252
作家の今・髙山辰雄の新作　髙山先生との出会い	小杉小二郎	〃	250
特集髙山辰雄展2006 髙山辰雄対談淺木正勝　アトリエから	髙山 辰雄、淺木　正勝対談	新美術新聞	1079
カスティリオーニの「見える都市」	多木　陽介	ＡＸＩＳ	119
瀧口修造のアンドレ・ブルトン宛書簡とその草稿	田中　淳一	慶応義塾大学アート・センター年報	13
特集　はじめての武満徹　武満徹をみる その１ようこそ、武満美術館へ　タケミツ謹製現代美術［瀧口修造］	編　集　部	芸術新潮	677
特集　加納光於の芸術　澁澤龍彦と加納光於—そして瀧口修造	巌谷　國士	水声通信	8
ギャラリー散策　ワタシ視線７「知的興奮を掻き立てられる」［瀧沢潔］	雨宮　　舜	ギャラリー*	259
特集　戦後マンガ史論をどう書くか　滝田ゆうの場所	校篠　　剛	水声通信	14
コミック教養講座 滝田ゆう落語劇場（全）　滝田ゆう［著］	湯浅　　学	朝　　日	1.29
第一特集　現在進行形コミックガイド コミックを読む方法 2006—2007　PART Ⅰ現在進行形コミックガイド！『臨死!! 江古田ちゃん』瀧波ユカリインタヴュー 作家・本谷有希子の訪問を受ける！	吉田　大助	STUDIO VOICE	369
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　漫画家	瀧波ユカリ	〃	371
あの人が推す、今注目のクリエーター３ 瀧本幹也	石黒　知子	ＡＸＩＳ	122
［保存版］ゼロゼロ・ジェネレーション 2006　2000年代から未来へ向かう日本の新世代アーティスト108人　アーティスト・ファイル　田口和奈	飯田志保子	美術手帖	883
ひと　報道写真ベスト10グランプリ受賞 田口正夫さん	中野　秀喜	毎　　日	8.6
茶室の工芸学—現代工芸家の茶器　田口善国「水鏡蒔絵水指」	諸山　正則	淡　　交	735
巻頭特集　武井武雄が催主となった版画年賀状交換会の第１回は亥年!!		美術の窓	279
エッセイ・展覧会評「国際野外の表現展2005　比企」を訪ねて	武居　利史	美術運動	133
巻頭特集　若冲の衝撃波　若冲からのインスパイア　枯れ葦野に若冲の天地を見た	竹内　浩一談	アート・トップ	210
みずべ　竹内浩一	竹内　浩一	日　　経	1.1
昭和十年代前半における日本画壇についての一考察—竹内栖鳳を中心に—	前田　　興	史迹と美術	766
第２特集　新しいデザインの授業 interview デザインを教えること　佐藤直樹×竹内昌義	石井　芳征	デザインの現場	150
憧れワークにつくために今日からはじめること　武内祐人	藤田　容子	みづゑ	77
武腰敏昭　2004年作品の解説	武腰　敏昭	金沢学院大学紀要文学・美術編	4
特集　工芸発見！日本美術ってすごい！ コンテンポラリーなモノ作家たち　上田博文＋竹田直樹		美術手帖	882
幸せをもたらす手	竹田　光幸	多摩美術大学研究紀要	20
マンガの居場所　せめぎ合う過剰と本気［武富健治］	宮本　大人	毎日夕刊	10.31
李朝水滴隨想	竹中　　浩	陶　　説	638
仲野清次郎さんの思い出	〃	〃	639
日本におけるアヴァンギャルドの萌芽—竹久夢二に内在する抒情と前衛—	高橋　律子	鹿島美術財団年報別冊	23
夢二とキリスト教—「竹久夢二抒情画展覧会」(1918年)をめぐって	小嶋　洋子	人文論究	56-1

第五十九回全国大会研究発表要旨　近代における雑誌投稿欄と美術の普及—竹久夢二選評『新少女』投稿欄と山本鼎「自由画選評」との比較から—	高橋　律子	美術史	161
フェイス21世紀87　武部雅子　五感への静なる響き	油井　一八	新美術新聞	1087
ああ懐かしのSFイラストレーション　武部本一郎の復活です！		芸術新潮	680
特集　はじめての武満徹　武満徹をみるその1ようこそ、武満美術館へ　タケミツ謹製現代美術	編集部	〃	677
特集　マンガは芸術(アート)か？　進化するマンガ表現のゆくえ　大学でマンガを教えるということ—京都精華大学　竹宮惠子	酒井　千穂	美術手帖	876
地球回廊　竹村教授インタビュー	竹村　真一談	瓜生通信	35
武谷大介が選ぶこどもの絵5～15	武谷　大介	美術の窓	268～276、278、279
特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する　彫刻／人形／フィギュア　竹谷隆之「異能者」であるための美学	あさのまさひこ	美術手帖	877
太佐寿一郎　2003～2005年　作品の解説	太佐寿一郎	金沢学院大学紀要文学・美術編	4
日々好日　私の来た道	田澤　茂	新美術新聞	1092
特集　はじめての武満徹　武満徹をみるその1ようこそ、武満美術館へ　タケミツ謹製現代美術[多田美波]	編集部	芸術新潮	677
Monthly Choice　立川広己		美術の窓	278
わたしのお気に入りネガな部屋　碁盤	立花　文穂談	芸術新潮	674
絵のある暮らしって素晴らしい！　life with artを実践している作家たちの作品とテクニック　立澤準一	小神野そのこ	美術手帖	879
一本イットク？『アワーミュージック』+α	TATTAKA	etc.	75
学会120年—職能についての発言再録3　建築の二分法と資格制度[辰野金吾]	天内　大樹	建築雑誌	1545
赤レンガの夢1　東京駅　辰野が開けた近代の玄関[辰野金吾]	片岡　正人	読売	7.7
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　アーティスト	辰野登恵子	STUDIO VOICE	371
巻頭特集　プロ18名があかす細密画㊙技法と画材　インタビュー&コラム　立石雅夫氏が語る「細密はモノの味方の見方」		美術の窓	277
日展100年記念企画「上野の思い出」　時の流れの中で	立川　義明	日展ニュース	122
傷ついた美術史　連載41　抽象彫刻の難しさと面白さ　彫刻家の死によせて[建畠覚造]	小泉　晋弥	アート・トップ	210
追悼　青年彫刻家建畠覚造　快哉	保田　春彦	新美術新聞	1083
「在野」に根ざした、生涯ゆるぎなき信念　追悼　建畠覚造	横山　勝彦	美術手帖	880
惜別　彫刻家　建畠覚造さん　病床で素描　創作意欲貫く	田中　三蔵	朝日夕刊	3.13
文化往来　前進し続けた彫刻家、建畠覚造逝く		日経	2.21
追想録　建畠覚造さん(彫刻家)		日経夕刊	3.17
建畠覚造さんを偲ぶ会に500人出席	三田　晴夫	毎日夕刊	5.16
針穴のパリ　田所美恵子著		日経	4.2
「針穴のパリ」　田所美惠子写真集	(前)	読売	3.26
BOOK　現代に通用するデザインレベルの高さ　田名網敬一が家紋の魅力を語る	(山)	アート・トップ	212
特集　デザインを読む！　ブックガイド300　私の1冊　1　田名網敬一	大城　譲司	デザインの現場	145

田中朝子　まなざしで切り取りプリントで共感を誘う	秋　田	版画芸術	131
追悼　田中敦子　田中敦子の「絵」	加藤　瑞穂	〃	〃
追悼・田中敦子　何にもとらわれない自由	河崎　晃一	美術手帖	876
やっつけメーキング25～36	田中偉一郎	〃	874、876～878、880、882、883、885～889
特集　書体の選び方品格と遊び心のある書体選び　追想田中一光	石田　純子	デザインの現場	149
日本画家田中一村と聖徳太子殿天井画について	末吉　守人	石川県立美術館紀要	16
第一特集　映像表現のニュー・ヴィジョン！　Ultimate Motion Graphics　先端映像クリエイター対談　ANIMATION対談：タナカカツキ×牧鉄兵×菅原そうた	古屋　蔵人	STUDIO VOICE	370
タナカカツキ　マンガ家タナカカツキの世界	高柳　智 聞き手	美術手帖	874
第一特集　映像表現のニュー・ヴィジョン！　Ultimate Motion Graphics　先鋭映像クリエイター対談　ART対談：会田誠×田中功起	工藤　キキ	STUDIO VOICE	370
巻頭特集　実践！海外留学ガイドブック　奨学金で留学する	田中　功起	美術の窓	270
研究討論会・シンポジウム　「私の仕事今昔」～作品の変遷を語る～[田中淳]	斉藤　結城	主体美術	79
田中長徳の「よもすがらモノおもふころ」第20回～第25回	田中　長徳	ＡＸＩＳ	119～124
3.教育普及事業　1)公開制作　26「GREEN—NETSCAPE」田中陽明		府中市美術館年報	2000-2005
日展100年記念企画「上野の思い出」上野の美術館さようなら	田中　春弥	日展ニュース	122
シェル美術賞2006グランプリ決定!![田中洋喜]		芸術新潮	684
ひと　ガウディの故郷に広場を設計した建築家　田中裕也さん	伊藤　政彦	朝　日	11.20
日々好日　モデル讃	田中　実	新美術新聞	1091
特集　紙選びのABC　田中竜介　原画の「気分」を活かす紙選び	杉瀬　由希	デザインの現場	148
棚田康司　板間の大顔くん　「アトリエの末裔あるいは未来」展より		芸術新潮	675
特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する　彫刻の生まれる場所　棚田康司	白坂　ゆり	美術手帖	877
巻頭特集　私の好きな人物画Part.1　日本の木彫家が語るシュテファン・バルケンホール	舟越　桂、深井　隆、棚田　康司、三沢　厚彦　談	美術の窓	268
田辺光彰氏のモニュメント「爬虫類・MOMI—2006」　オーストラリアの自然保護区へ設置		新美術新聞	1100
わたしの宝もの16　健やかな寝息	谷　善徳	〃	1097
特別対談：上桜田アートラボ　バンデッド・ブルー／日本画を語る	松本　哲男 岡村桂三郎 長沢　明 番場　三雄 末永　敏明 谷　善徳 松田　泰典	東北芸術工科大学紀要	13
特集　回想・上野　上野での一日	谷内　徹	自由美術	2006
特集　加納光於の芸術　大島旅行と加納さん	谷川　晃一	水声通信	8
アトリエの扉をあけて70　谷口竜也　組み合わせと配置から生まれる物語	深沢　慶太	デザインの現場	150
ターナーの絵具箱vol.21　谷口智則さんの手ざわりの絵本	來嶋　路子	みづゑ	78
PAPER IN MY WORK102　谷口広樹　紙の個性を楽しむ、ということ	杉瀬　由希	デザインの現場	145
卒寿記念「谷本光生」作品展によせて	田部　隆幸	陶　説	637
第67回国際写真サロン　総評　作品講評	田沼　武能	朝　日	12.24

この道１～109	田沼　武能	東京夕刊	4.10～15、17～22、24～28、5.1、2、6、8～13、15～20、22～27、29～6.3、5～10、12～17、19～24、26～7.1、3～8、10～15、18～22、24～29、31～8.5、7～12、14～19
自著を語る『田沼武能写真集　武蔵野讃歌』激変しても新しい感動	〃	〃	11.9
こころの玉手箱　写真家　田沼武能１～4	〃	日経夕刊	11.20～22、24
四季折々…武蔵野の豊かな自然　写真家・田沼さんが作品集	奥山　智己	毎　　日	11.5
束芋インタビュー	澤　文也 聞き手	ART　iT	13
束芋(現代美術家)しつこくあぶり出す闇	西田　健作	朝日夕刊	7.7
アート探究　束芋、にっぽんを戯画化	窪田　直子	日　　経	6.10
私のいる風景　現代美術家束芋さん　ブレ「位置」に迷い、可能性新た	高野　清見	読売夕刊	7.15
街角に祈りの光を	田淵　　諭	多摩美術大学研究紀要	20
風の化石	田淵　安一	たいせつな風景	5
自作を語る「田淵安一展」に寄せて上、中、下	〃	東京夕刊	4.24、25、27
探訪　洋画家玉川信一先生を訪ねて　交響する心象　深遠なる構築		游　　美	52
絵のある暮らしって素晴らしい！　life with artを実践している作家たちの作品とテクニック　玉村豊男	小神野そのこ	美術手帖	879
田舎暮らし　玉村豊男さんに聞く	藤巻　秀樹	日経夕刊	11.9
特集　山頭火を書く鑑賞２　表現のバリエーション　アートになった山頭火	田村　空谷	墨	180
10 Questions for New Generations 次世代写真家アンケート	田村　尚子	STUDIO VOICE	367
わたしの提案　絵好きになって	田村能里子	東　　京	3.29
私の苦笑い　インド階層社会で暗く重い体験	田村能里子 談	日　　経	9.25
3.教育普及事業 1)公開制作　10「アモラス・プロジェクト」太郎千恵蔵		府中市美術館年報	2000-2005
特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する　彫刻の生まれる場所　多和圭三	福住　　廉	美術手帖	877
「MITボストン計画1959」について　丹下健三の「メガストラクチャー」プロジェクトの再評価(I)	アグネス・ニラシュ	日本建築学会計画系論文集	608
丹下研究室における住宅経済論：総力戦下の再生産と標準生計費	豊川　斎赫	〃	609
ヒロシマの「戦後」重文に[丹下健三]		朝日夕刊	4.22
単眼複眼　建築界の両雄「丹下と村野」、重文に「戦後初は広島」に意志	大西　若人	〃	4.26
特集　藤田嗣治　フジタマニア対談　やっぱりフジタが好き	小川　格 丹治　　匠	ユリイカ	519

（チ）

平成の書の群英―千葉蒼玄	編集部 聞き手	書道界	205
あの人に迫る　国大切に思う心いつかマンガで　ちばてつや漫画家	西山　和宏 聞き手	東京夕刊	8.18
デビュー50年ちばてつやさん　大学で漫画を教えて１年　若者へあしたのためにその１　１日１回熱い汗をかけ	小国　綾子	毎日夕刊	5.16
Voice's Art Space Four Artists Show：千葉正也、イルバ・オーグランド、徐美姫、池田光弘	宮村　周子 横山いくこ 鈴木　　行 保坂健二朗	STUDIO VOICE	367

砂の彫刻はかなさ愛す　人物像や抽象オブジェ制作、国際大会でも優勝	茶圓　勝彦	日　　経	7.24
学会120年—職能についての発言再録８職能としての建築家［中條精一郎］	山下　文行	建築雑誌	1550
みんな大好き長新太		芸術新潮	679
長新太の遺志を継ぐ和田誠の心意気で物語はここに完結！		〃	〃
ありがとう！チョーさん—旧友、長新太を語る—対談　太田大八×多田ヒロシ		美術館・友の会だより	149

（ツ）

茶室の工芸学—現代工芸家の茶器　二十代堆朱楊成「青楓雉子香合」	北村　仁美	淡　　交	746
土の力	司　　修	日　　経	5.21
あとがきのあと「ブロンズの地中海」司修氏　亡き姉への思い、小説に	〃	〃	9.10
塚本猪一郎　究極の「僕」は、みんなの気持ち	秋　田	版画芸術	132
先輩に聞け！　デザイナーが若いうちにしておくべきこと13　塚本カナエ　デザインという処方箋	石田　純子	デザインの現場	147
衣服は人を癒せるか「プレファブコート展：眞田岳彦／人を包むデザイン」からAXISフォーラム#21　塚本由晴×眞田岳彦	塚本　由晴、眞田　岳彦談　山本　玲子構成	ＡＸＩＳ	119
特集　初夢—なお日本で造らねばならない建築　建築各分野から４　逆欠如の風景	塚本　由晴	建築雑誌	1541
資料紹介：都路華香参考資料	吉中　充代	京都市美術館年報	H17年度
日本画の歩みの中での都路華香の存在	原田　平作	現代の眼	561
—“時”を重ねて—	辻　　協	陶　　説	634
特集　心をつかむ展示空間、ディスプレイ、広告　プレゼンテーションの底力　サローネから学ぶ“見せ技”［辻邦浩］	矢島みゆき	デザインの現場	147
第一特集　映像表現のニュー・ヴィジョン！　Ultimate Motion Graphics　先鋭映像クリエイター対談　PV／MV対談：辻川幸一郎×野田凪	古屋　蔵人	STUDIO VOICE	370
特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する　彫刻の生まれる場所　津田亜紀子	白坂　ゆり	美術手帖	877
3.教育普及事業　1)公開制作　15「繰り返される模様」津田亜紀子		府中市美術館年報	2000–2005
10 Questions for New Generations　次世代写真家アンケート	津田　　直	STUDIO VOICE	367
乙女のぬり絵今も夢中　昭和の流行作家「蔦谷喜一」の作品を収集し研究	金子　マサ	日　　経	8.22
特集　回想・上野廊下	土田　恵子	自由美術	2006
土田麦僊の関眞次郎あて葉書	横山　秀樹	新潟県立万代島美術館研究紀要	1
平和の伝承06年夏《３》　写真家土田ヒロミさん　変わり続けるヒロシマ30人にピント当て	若井　耕司	毎　　日	8.6
病床十尺が宇宙を広げる土屋輝雄の素描	（富）	アート・トップ	209
第53回日本伝統工芸展　染色　紋紗着物「月下渓韻」土屋順紀	小笠原小枝	朝日夕刊	9.22
2006戌年新春企画　年男年女	土屋　禮一	新美術新聞	1076
川﨑小虎と東山魁夷展開催記念　座談会　誠実・純真、清らかな画境が響きあう　川﨑一族170余年の豊かな画系を展覧	宝木　範義、土屋　禮一、川﨑　春彦、川﨑　麻児談	〃	1107
日本美術のススメ　日本画家を訪ねて　第４回　土屋禮一	切刀　知子	美術の窓	275
都築響一の現代美術場外乱闘　第９回～第11回、最終回	都築　響一	ART iT	10～13
第一特集　大竹伸朗全景　フルカラー、フルスロットルで走る画家！　極長対談　大竹伸朗×都築響一		STUDIO VOICE	364

特集　大竹伸朗　全身表現者の半世紀		ユリイカ	527
ココロとココロが出会った日　四半世紀の片想い　大竹伸朗最古のファンを訪ねて	菊地　和子、都築　響一談		
アルバム　旅の記憶	都築　響一		
中東の隔離壁に“風穴”開けたい[椿昇]		日経夕刊	2.15
シリーズ“私の風景誌”よりV(2002年～2005年)	坪井　勝人	名古屋造形芸大紀要*	12
津村耕佑　妄想オーダーモード		ART　iT	
第4回　お客様：金原ひとみ	津村　耕佑、金原ひとみ対談		10
第5回　お客様：松井冬子	津村　耕祐、松井　冬子対談		11
第6回　お客様：康本雅子	津村　耕祐、康本　雅子対談		12
第7回　お客様：工藤キキ	津村　耕佑、工藤　キキ対談		13
日々好日　裸婦と舞妓と	弦田英太郎	新美術新聞	1096
第2特集　銅版画に拡がる新しい感覚	鶴巻　貴子	版画芸術	134
探訪　鶴見修作先生を訪ねて　孤高の匠(わざ)—石にいのちを		游　美	54
彩(いろ)に挑戦	鶴見　雅夫	多摩美術大学研究紀要	20

（テ）

トヨタコレクション奥村菅次作「からくり噴水器」の素材と技法の調査および復元品の制作	宮田　亮平、篠原　行雄、三浦　定俊、丸山　智巳、押元　信幸、手銭　吾郎、原　智	東京芸術大学美術学部紀要	43
手塚治虫作品『ブッダ』にみられる「笑い」の効果	原　草平	人間文化	19
特集　藤田嗣治　フジタの「戦争」　手塚治虫と藤田嗣治	大塚　英志	ユリイカ	519
幻の手塚漫画　米で発掘　GHQ収集の雑誌に短編	小原　篤	朝　日	5.10
竹熊健太郎講師のキャンパスブログ　手塚漫画とは　アニメへの情熱紙に注ぐ	竹熊健太郎	朝　日	10.2
『火の鳥　未来編』手塚治虫著	西島　大介	産　経	6.26
壁なし屋根なし柱なし　手塚コンビのアクロバティック住宅[手塚貴晴、手塚由比]		芸術新潮	677
巻頭特集　画肌(マチエール)の秘儀　絵具はいかにして生命を育むか　時の封印　“苦行”から立ち上がる画肌	手塚　雄二	アート・トップ	209
今月の読書　『手塚雄二作品集　夜想』自ら発光する画家の爽やかな画集	高岡　忠雄	新美術新聞	1095
中特集　手塚雄二—花月草星—特別対談　森羅万象の音を聴く	一井　建二聞き手	美術の窓	272
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨　棟梁鉄川与助にみる教会堂の和風化	和賀　圭史	美　学	227
赤レンガの夢6　今村カトリック教会　木造工法を応用“棟梁”の傑作[鉄川与助]	池田　和正	読　売	8.11
日々好日　画家への一歩	寺井　重三	新美術新聞	1089
美の美　結集する個性—アトリエ村三景上[寺内萬治郎]	富田　律之	日　経	4.30
グリザイユ画法の研究4[寺田春弌]	寺田英次郎	金沢美術工芸大学紀要	50
美の美　結集する個性—アトリエ村三景中[寺田政明]	富田　律之	日　経	5.7
特集　アートの授業！　表現&制作～鑑賞&マネージメント　アーティストたちのセルフエデュケーション　照屋勇賢		美術手帖	874
わたしのお気に入り武闘派の休息　上野公園の大噴水	天明屋　尚談	芸術新潮	681
武闘派絵師、天明屋尚の熱い魂　「≒」シリーズの最新作「≒天明屋尚」公開決定	藤城　里香	美術手帖	882
TENMYOUYA HISASHI　天明屋尚	深澤　友晴	〃	886

ひと　サッカーワールドカップの公式ポスターを描いた　天明屋尚さん	荒　香帆里	朝　日	5.21
旬発力　W杯闘う反骨アート　現代美術家天明屋尚	猪谷　千香	産　経	5.13

（ト）

企画者にも選ばせろ！「長期滞在型の写真家東松照明の根っこです」　東松照明《焼き物の町・瀬戸13》	牧野研一郎談	芸術新潮	678
近代美術の東京　東松照明　「アスファルト」より	増田　玲	読　売	7.14
巻頭特集　画肌（マチエール）の秘儀　絵具はいかにして生命を育むか　常道から深遠のマチエールへ	堂本　尚郎	アート・トップ	209
堂本尚郎展　反・安住の60年　劇仕立てで	田中　三蔵	朝日夕刊	1.12
パリでの大作44年ぶり再会　ポンピドー・センターが修復　抽象画家・堂本さん	冨永　格	〃	11.8
堂本尚郎展　壮麗な展開と変貌の軌跡	三田　晴夫	毎日夕刊	1.10
堂本尚郎展　深淵に目凝らす純粋な詩情	前田　恭二	読売夕刊	1.19
10 Questions for New Generations 次世代写真家アンケート	頭山ゆう紀	STUDIO VOICE	367
特集　回想・上野　私と上野	土器屋杏子	自由美術	2006
日本美術のススメ　わが愛する日本の美　徳岡神泉「鯉」	上村　淳之	美術の窓	275
第一特集　プロダクト・デザインの現在　NEW DESIGN PARADIGM UNDER 35 DESIGNERS LIST　徳田祐子	渡部　千春	STUDIO VOICE	365
クリエーターズワーク＆ソウル　野老朝雄		ＡＸＩＳ	124
特集　ロシア・アヴァンギャルド芸術　アヴァンギャルドの風景　風景の獲得	戸田ツトム	水声通信	4
日々好日　侃侃館か	戸津　侃	新美術新聞	1084
「現代人は記憶喪失である」『31歳ガン漂流』『32歳ガン漂流エヴォリューション』『33歳ガン漂流ラスト・イグジット』奥山貴宏著	戸塚　恵一	ＡＸＩＳ	119
小茂田青樹と小野竹喬の月ヶ瀬図について［富岡鉄斎］	中田　智則	茨城県近代美術館研究紀要	12
資料紹介　洛北・圓光寺と富岡鉄斎の《観楓山水図・脩竹清風図》襖絵	原田　平作	美術フォーラム21	13
鉄斎画二題―拡大図の魅力と密着する迫力―	水田　徹	美のたより	153
「寿山福海図」、「郡仙祝寿図」をめぐって［富岡鉄斎］	中部　義隆	〃	〃
現代工芸作家シリーズ27　魔術師たちの贈り物　富田美樹子	冨田　康子	アート・トップ	212
追悼　富永直樹氏　寂寥の念切なり	橋本堅太郎	新美術新聞	1088
日々好日　富本憲吉のこと	三浦　景生	〃	1097
富本憲吉のメッセージ―瀬戸で発見された画帖から―	外舘　和子	陶　説	641
【史料紹介】富本憲吉『安堵村雑感』・『暗き春庭』・『朝鐘帖』―終戦直後の富本憲吉の心情―	宮崎　隆旨	奈良県立美術館紀要	20
表紙解説〈裏〉　富本憲吉《磁器　色絵金銀彩四弁花模様　飾壺》	原田　平作	美術フォーラム21	13
生誕120年　富本憲吉展　巨匠美の遍歴　作陶50年尽きぬ創意	乾　由明	朝日夕刊	12.20
どの枕で夢を見ようか　「一富士二鷹三茄子」枕や道中用など150点余り収集［富本憲吉］	辻本　勇	日　経	7.20
10 Questions for New Generations 次世代写真家アンケート	友長　勇介	STUDIO VOICE	367
Section２：個人研究・教員年譜　美術学科油絵専攻　絵画から版表現へ	友安　一成	広島市立大学芸術学部紀要	11
鼎談　土門拳と古窯丹波	藤森　武 森　孝一 中西　薫	陶　説	645
特集　写真と文化財　仏像写真家と文化財（彫刻）写真［土門拳］	川瀬　由照	文化財*	517

単眼複眼　土門拳と熊田千佳慕さん　気遣いあった「見る」2人	佐久間文子	朝日夕刊	5.29
この道	田沼　武能	東京夕刊	
95　土門拳			8.3
96　ライバル[土門拳]			8.4
97　土門拳の涙			8.5
ニッポン写真の革新者たち2　土門拳、ピントへの執着力	飯沢耕太郎	日経夕刊	5.18
特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する　戸谷成雄×黒川弘毅×伊藤誠　彫刻の現在―私たちはいま、どこに立脚して彫刻を語りうるのか？	白坂　ゆり構成	美術手帖	877
アート探究　戸谷成雄　木に刻み込む世界	小川　敦生	日　経	3.18
憧れワークにつくために今日からはじめること　トヨクラタケル	藤田　容子	みづゑ	77
[特集1]コラボレーション　飛躍への挑戦　『A to Z』歴代プロジェクト全解説！	豊嶋　秀樹	ART　iT	12
3.教育普及事業 1)公開制作　27「色調補正」豊嶋康子		府中市美術館年報	2000-2005
コミック教養講座　パシパエーの宴　とり・みき[著]	吉田　豪	朝　日	3.19
追悼　鳥居敏文さんを偲ぶ	林　紀一郎	新美術新聞	1100
3.教育普及事業 1)公開制作　20「昨日は昨日、今日は今日」鳥光桃代		府中市美術館年報	2000-2005
クリエーターズワーク&ソウル　ドリルデザイン	林　祐輔	AXIS	120
われ発見せり　弗痴庵先生墓石問答	ドルショック竹下	ユリイカ	515

（ナ）

企画者にも選ばせろ！「日本のラジオ、テレビ放送は、ひとりの設計士の歩みとともに始まりました」《完成間際の名古屋テレビ塔》[内藤多仲]	大原　結　談	芸術新潮	679
[作品研究]内藤春治の《壁面への時計》―「人間生活の拡充」を目指して	木田　拓也	現代の眼	560
特集　初夢―なお日本で造らねばならない建築　鼎談	神田　順、佐藤　滋、内藤　廣談　松村　秀一、腰原　幹雄、新堀　学、横山ゆりか司会	建築雑誌	1541
《追悼：村上善男》村上善男さんにたずねてみたかった3つのこと	内藤　正敏	あいだ	127
特集　回想・上野　2人の井上先生	内藤マトミ	自由美術	2006
特集　回想・上野　上野・回想	仲　隆三	〃	〃
永井一正氏講演会報告	林　亜紀子	女子美	155
先輩に聞け！　デザイナーが若いうちにしておくべきこと11　永井一正	石田　純子	デザインの現場	145
第58回日本アンデパンダン展 Talk Now 対談　現代美術のリアリティー　イラク戦争から考える	永井　潔　北野　輝	美術運動	133
SF活劇　踊る絵筆―「ぼくらの小松崎茂展」　未来の夢美しく重厚に	永井　豪	朝日夕刊	10.3
はてな？おもしろ浮世絵236～247	中右　瑛	目の眼	352～363
第一特集　映像表現のニュー・ヴィジョン！　Ultimate Motion Graphics　先端映像クリエイター対談　JINGLE対談：中尾浩之×西郡勲×井上卓	庄野　祐輔	STUDIO VOICE	370
オピニオン2006　ナガオカケンメイ	石橋　勝利	AXIS	120
美しさの行方6　売れる60年代デザイン[ナガオカケンメイ]		読　売	1.7
巻頭特集　私の好きな人物画Part.1　川下成海彫刻展によせて	中垣　克久	美術の窓	268
絶対の探究―アルベルト・ジャコメッティ展から3	中上　清	東京夕刊	6.28

岸田劉生に厭な奴だ、嫌いだといわれた画家たち—岸田劉生日記を中心として〈其の一〉川上涼花と中川一政	横田　洋一	美術運動史研究会ニュース	83
《連載》戦時下日本の美術家たち　第2回南京事件と従軍画家たちⅠ　中川紀元・住谷磐根・小林喜代吉	飯野　正仁	あいだ	123
NIPPONのカタチ　デザインの挑戦2　トライポッド・デザイン代表中川聰氏		日経夕刊	1.5
この人　園の生のにおい伝えたい　絵本作家　中川ひろたかさん	(亜)	読売夕刊	9.30
hundreds of thousands of 0.　何十万という。。。bubbles	中川　るな	明星大学研究紀要	14
第二特集　DOCUmenTaRY NOW！ドキュメンタリー写真の現在　長倉洋海×村田信一インタヴュー	飯沢耕太郎聞き手	STUDIO VOICE	362
視線　R　中里和人著	飯沢耕太郎	朝　日	10.29
座談会・古唐津を語る(上)(下)	中里　逢庵 中里　重利 中里　紀元 盛　峰雄 陣内　康光 梶原　靖元 中里太郎右衛門	陶　説	636、639
最上位稲荷さんと唐人町御茶碗窯	中里　逢庵	〃	636
多久高麗谷窯と類似の古唐津諸窯—多久高麗谷窯の陶片調査より—	〃	〃	〃
南海から出土する古唐津—三島唐津と二彩唐津—	〃	〃	645
特別対談：上桜田アートラボ　バンデッド・ブルー／日本画を語る	松本　哲男 岡村桂三郎 長沢　明 番場　三雄 末永　敏明 谷　善徳 松田　泰典	東北芸術工科大学紀要	13
[研究報告]バナナ・テキスタイル・プロジェクト—2004年度報告書	橋本　京子 川井　由夏 福岡　裕子 長沢　桂一 樋口　明久	多摩美術大学研究紀要	20
特集　もうひとつのデザイン・ユートピア　テクノロジカル・デザイン＆アーキテクチャー　廃墟と新素材—マテリアル・テクノロジーが生んだデザイン	長澤　　均	美術手帖	878
ギィ・ブルダン　欲望の唐突な対象	〃	〃	880
中路融人　2004～2005年　作品の解説	中路　融人	金沢学院大学紀要文学・美術編	4
新・私のアルバム8　中路融人	小森佳代子	美術の窓	274
特集　回想・上野　私と上野	中嶋　一雄	自由美術	2006
[制作記録]　個展「WOVEN SURFACE」	中島俊市郎	金沢美術工芸大学紀要	50
天国でモーツァルトに会えましたか？	中島　千波	新美術新聞	1102
亜熱帯植物繊維の紡績方法とその商品展開	中嶋　鉄利	沖縄県立芸術大学紀要	14
3.教育普及事業　1)公開制作　7「リアルタイムパーティー」中島洋和		府中市美術館年報	2000-2005
竜泉　青磁の故郷	中島　　宏	陶　説	640
中島宏・市野雅彦の陶芸	乾　由明	〃	〃
永島正人×荒井良二、競作　第3回～第6回	來嶋　路子	みづゑ	75～78
永島正人　クレパスを塗り込んで塗り込んで、巨大な作品が現れる	荒井　良二、駒形　克己談 來嶋　路子、工藤あおい取材	〃	75
〈創作ノート〉沖縄県立芸術大学キャンパス構想私案	仲宗根　恒	沖縄県立芸術大学紀要	14
かたち百景　かたどり和紙作品　機械まるごと写し取り[永田哲也]	(敦)	日　経	5.14
受賞者インタビュー140　青木繁大賞展　永田義信		ギャラリー*	254
わたしの宝もの13　ベートーヴェン『ピアノソナタ全集』(フリードリヒ・グルダ演奏)	永田　義信	新美術新聞	1089
特集　何のための出版？　戦後マンガ出版社の興亡	長谷　邦夫	水声通信	13

特集　戦後マンガ史論をどう書くか	長谷　邦夫	水声通信	14
戦後ギャグ・ナンセンス・マンガ史を書くことができるか			
赤塚不二夫、その孤独について			
この人この本 『赤塚不二夫　天才ニャロメ伝』 漫画家 長谷邦夫さん	久間木　聡	東　　京	2.26
近代美術の東京　中西利雄　婦人帽子店	大谷　省吾	読　　売	2.10
特集　はじめての武満徹　武満徹をみるその1ようこそ、武満美術館へ　タケミツ謹製現代美術[中西夏之]	編　集　部	芸術新潮	677
第一特集　写真を撮る方法～カメラ選びから、撮影、プリント、それを人に見せるまで　Lesson11 "WEB／DIGITAL" 小林のりお×永沼敦子　デジタル写真の可能性とWebでの作品発表	編　集　部インタヴュー	STUDIO VOICE	367
Go！ Artists Go！21 長沼基樹	柘植　　響	美術手帖	885
第15回 MOA岡田茂吉賞　絵画部門大賞	中野　嘉之談	アート・トップ	210
2006戊年新春企画 年男年女	中野　嘉之	新美術新聞	1076
第15回 MOA岡田茂吉賞　大賞に中野嘉之氏　絵画、樂吉左衛門氏　工芸		〃	1083
アート探究　中ハシ克シゲ「ゼロ・プロジェクト」 零戦ぐにゃり、昭和問う	吉田　俊宏	日　　経	10.7
日々好日　アトリエはただいま工作中	中林　忠良	新美術新聞	1103
巻頭特集　野田哲也「日記」 潜ませた批判と批評　野田哲也・人と作品	〃	版画芸術	134
版画東京新風景十選 1～10	〃	日　　経	5.18、19、22、23、25、26、30～6.2
「カウパレード東京in丸の内2006」開催 『東京コンペ』大賞に中原知都さん「産地直送」		新美術新聞	1103
憧れワークにつくために今日からはじめること　nakaban	藤田　容子	みづゑ	77
新装版 ADIEU A X アデュウ　ア　エックス　中平卓馬	粟田　大輔	美術手帖	880
映画「カメラになった男　写真家　中平卓馬」	長谷　正人	〃	887
中町力　1999年「写生」の解説とその意義	中町　　力	金沢学院大学紀要 文学・美術編	4
Section 2：個人研究・教員年譜　デザイン工芸学科　金属造形……その美と表現について	永見　文人	広島市立大学芸術学部紀要	11
作家インタビュー 中村征夫写真展「海中2万7000時間の旅」		東京都写真美術館ニュース	50
不屈のひみつ　写真家中村征夫さん　幼少期乗り越えた自信	村田　雅幸	読　　売	8.13
匠の技を訪ねて　名古屋黒紋付染　伝統工芸士　中村修さん		産業技術記念館館報	39
アーティスト訪問32 中村一美		ギャラリー*	253
アート探究　中村錦平「攻めるやきもの」	宝玉　正彦	日　　経	7.8
「中村研一美術館」まるごと市に寄贈　巨匠洋画家の妻・富子さん高齢のため　夫の思い「末永く」		読　　売	4.13
中村ケンゴの間取りプギウギ「日本(にほん)×画展(ガテン!)　しょく発する6人」より		芸術新潮	681
枯葉剤被害NYで写真展[中村梧郎]		日経夕刊	9.26
仕事は神様いつまでも修行　中村晋也さん(彫刻家)　個人美術館を設立して10年	森村　陽子	東京夕刊	8.19
中村彝の訳稿問題 テーヌの『芸術の哲学』とチェンニーニの『芸術の書』	舟木　力英	茨城県近代美術館研究紀要	12
研究発表〈要約〉　中村彝の訳稿問題	〃	近代画説	15
Close—up53　中村豪志　日光連山の麓に居を構えて10年 朝な夕な、心の支えとなる風景と暮す		ギャラリー*	257

成田空港で人気の彫刻を作った現代美術家　中村哲也さん	小池　真一	東　京	9.1
かたち百景　成田空港の宇宙人　漆工芸の図柄から考案[中村哲也]	(敦)	日　経	6.18
連載　アジアの美術を楽しむ6　台東区立書道博物館　中村不折の中国美術コレクション	鍋島　稲子	アジア遊学	88
正岡子規と中村不折—俳句革新運動と「美術」—	大廣　典子	待兼山論叢	40
中村不折らと“共同制作”　子規　友と交流の書画　半紙119点発見		読　売	7.26
墨型は上品に浅く彫る　表面に文字や縁起物の絵柄、日本唯一の職人	中村　雅勇	日　経	11.8
全一冊　韓国　未知の美と出会う旅　韓国と私　アトリエ転戦記	中村　政人	芸術新潮	680
特集　アートの授業！　表現&制作～鑑賞&マネージメント　先生、どんなアートの授業していますか？　1時限目　中村政人	福住　廉	美術手帖	874
旬を読む　『木の匙』三谷龍二著　手仕事が育む形と思索	中村　好文	産　経	2.19
昭和版画家伝　最終回　中本達也　戦中世代に課せられた「人間」の探求	藤田　一人	版画芸術	134
素顔型録Vol.21　美術学部グラフィックデザイン学科　中森陽三教授の巻	萩原　朔美	たまび	42
モダニズムノカケラ—中山岩太《福助足袋》をめぐって8～11	松実　輝彦	美術運動史研究会ニュース	79、80、84、85
座談会　「第三十八回日展—明日への希望」	橋本堅太郎、中山　忠彦、中路　融人、寺坂　公雄、江里　敏明、奥田小由女、日比野光鳳、清水　透石司会	日展ニュース	123
名画のなかの女性たち21～32	中山　忠彦	美術の窓	268～279
巻頭特集　'06年夏アートで出会う美しい女性たち　四十余年ぶりに裸婦を描いて　中山忠彦	〃	〃	274
大自然の中に写実絵画研究の拠点　「だて噴火湾アートビレッジ」オープン[永山優子]	(富)	アート・トップ	211
第一特集　現在進行形コミックガイド　コミックを読む方法2006—2007　PART Ⅰ現在進行形コミックガイド！　『スミレ♡16歳!!』永吉たけるインタヴュー	芝田　隆広	STUDIO VOICE	369
列島ビジネス　トピックス　庵治石で卓上の供養像[流政之]		日　経	1.16
日々好日　古稀	那須　勝哉	新美術新聞	1090
『テヅカ・イズ・デッド』とマンガ論の転換期	夏目房之介	学　鐙	103-2
特集　マンガ批評の最前線　マンガ表現論の革新　キャラの近代、マンガの起源　『テヅカ・イズ・デッド』をめぐって	夏目房之介、東　浩紀、伊藤　剛談	ユリイカ	515
マンガの居場所	夏目房之介	毎日夕刊	
飛躍する言語と妄想イメージ			1.30
早かった松本かつぢの活劇表現			5.30
アメリカでも読まれる「おたく」作品			9.26
加藤芳郎さんを悼む　斬れ味抜群大人のナンセンス	〃	読売夕刊	1.17
小特集　名取洋之助のNIPPON時代		芸術新潮	675
『岩波写真文庫』における名取洋之助の仕事	荒川美世子	芸術文化研究	10
MANDALA　光の旅　nanaco著		日　経	11.5
日々好日　八ヶ岳の1日	那波多目功一	新美術新聞	1104
追想録　文化遺産2500ヶ所撮り歩く　並河万里さん(写真家)		日経夕刊	6.2
命かけ“守った”世界遺跡　写真家並河萬里さん	末吉光太郎	読売夕刊	7.25

大臣賞制作意図　文部科学大臣賞「潮の紋」	並木　恒延	日展ニュース	123
[特集1]コラボレーション　飛躍への挑戦		ART　iT	12
奈良美智インタビュー	宮村　周子		
自分たちで、一緒につくろう！[奈良美智]	テ・ヘソン		
Voice's Art Space 奈良美智＋graf『A to Z』	北澤ひろみ	STUDIO VOICE	370
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　アーティスト	奈良　美智	〃	371
A to Z　奈良美智＋graf	深澤　友晴	美術手帖	889
拝啓、奈良美智様　描く勇気をありがとう。	來嶋　路子	みづゑ	76
アート探究　奈良美智、弘前で「A to Z」展　煉瓦倉庫に記憶の街	白木　緑	日　経	7.15
奈良美智氏がデザイン		〃	9.4
Weekly日誌	奈良　美智	毎日夕刊	
3月28日～4月3日　打ち合わせ、ミチさん、でっかい絵			4.7
4月4日～10日　50号の絵、夜明け、背景			4.14
4月11日～17日　画面の向こう、弘前、取材			4.21
4月18日～24日　大画面、水たまり、草原			4.28
虫眼鏡[成田禎介]		新美術新聞	1082
かたち百景　ウルトラマン像　時代を超越したほほ笑み[成田亨]	(海)	日　経	10.15
日展100年記念企画「上野の思い出」上野回想	成瀬　映山	日展ニュース	122
写楽・上方絵・大阪文化を語る	成瀬　國晴 荻田　清 聞き手	館報池田文庫	29
特集　アートの授業！　表現＆制作～鑑賞＆マネージメント　アーティストたちのセルフエデュケーション　名和晃平		美術手帖	874
特集　工芸発見！日本美術ってすごい！コンテンポラリーなモノ作家たち　名和晃平	Daisuke Awata	〃	882
[保存版]ゼロゼロ・ジェネレーション2006　2000年代から未来へ向かう日本の新世代アーティスト108人　アーティスト・ファイル　名和晃平	保坂健二朗	〃	883
巻頭特集　実践！海外留学ガイドブック　奨学金で留学する	名和　晃平	美術の窓	270
異才伝　I remember　ナンシー関		朝日夕刊	
その1	ビッグ・ママ		4.7
その2	群　ようこ		4.14
その3	藤原　帰一		4.21
その4	南　伸坊		4.28

(ニ)

エッセイ・展覧会評　創建1300年記念興福寺仏頭をみる	新美　猛	美術運動	133
先輩に聞け！　デザイナーが若いうちにしておくべきこと16　新村則人	石田　純子	デザインの現場	150
2005年度芸術選奨　文部科学大臣賞に和田義彦氏、妹島和世氏、新人賞に西雅秋氏、村上隆氏		新美術新聞	1086
第一特集　現在進行形コミックガイド　コミックを読む方法2006―2007　PART II現在進行形コミックを語る！西尾維新インタヴュー～コミックと小説の間から	佐々木　敦	STUDIO VOICE	369
特集　回想・上野《鏡》都美術館の中で	ニシオトミジ	自由美術	2006
The Sign―ブループラネット賞表彰式典のための映像作品	西岡　文彦	多摩美術大学研究紀要	20

第一特集　映像表現のニュー・ヴィジョン！　Ultimate Motion Graphics　先端映像クリエイター対談　JINGLE 対談：中尾浩之×西郡勲×井上卓	庄野　祐輔	STUDIO VOICE	370
特集　回想・上野　私と上野	西沢　滋夫	自由美術	2006
Deep Inside　西澤丞著		日　経	8.13
白い住まいの居候ギャラリー[西沢立衛]	保坂健二朗	芸術新潮	684
建築家ユニットSANAA快進撃　情報化社会軽快に映す[西沢立衛]	五十嵐太郎	日経夕刊	2.6
建築　6世帯暮らす10の箱[西沢立衛]	飯島　洋一	読売夕刊	2.21
第二特集　批評本のリアル・マップ　言葉の前提と疎外感格差、そしてエンタメをめぐって	ムードマン、西島 大介、佐々木 敦談	STUDIO VOICE	363
第二特集　映画で世界を読む！～『王と鳥』と風刺映画の射程　それは僕の“お祖母ちゃん”	西島　大介	〃	368
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　漫画家	〃	〃	371
SV CUT UP BOOKS　西島大介『恋に落ちた悪魔』	川本　ケン	〃	372
コミック教養講座　土曜日の実験室　西島大介[著]	湯浅　学	朝　日	1.8
思い出図書館　『火の鳥　未来編』手塚治虫著	西島　大介	産　経	6.26
第12回足立美術館賞　西田俊英氏「吉備の鶴」に決定		新美術新聞	1101
特集　アートの授業！　表現&制作～鑑賞&マネージメント　アーティストたちのセルフエデュケーション　西野達郎[西野達]		美術手帖	874
[保存版]ゼロゼロ・ジェネレーション2006　2000年代から未来へ向かう日本の新世代アーティスト108人　アーティスト・ファイル　西野達	清水　穣	〃	883
第19回「京都美術文化賞」受賞者のことば	西野　陽一	美術京都	37
特集【物語・絵本を授業へ】西村繁男氏に聞く　人々が生きた歴史を絵で見る	佐藤 則次、丸浜　昭、村松　邦嵩聞き手	歴史地理教育	698
追悼　加藤芳郎さん「月月火水木金金」の人生	西村　宗	産　経	1.21
座談会　2006新人賞展「受賞作家に聞く」	栗本 浩二、佐々木三枝子、山口　道子、吉田　文也、横尾　茂、市川　秀光窪田　旦佳司会　遠藤 知義、西村　幸生記録	自由美術	2006
画家たちの美術史47　西山美なコ	中井　康之	美術手帖	889
アート探究　蜷川実花、吉原の女描く	窪田　直子	日　経	5.27
考える耳　“のだめ”に見られる「本物」性[二ノ宮知子]	渡辺　裕	毎日夕刊	11.14
特集　マンガは芸術(アート)か？　進化するマンガ表現のゆくえ　弐瓶勉　人も建築も、世界に溶け込んだひとつの要素として	編　集　部	美術手帖	876
特集　回想・上野　わたしと上野	二森　騏	自由美術	2006

（ヌ）

宿命と闘った画天使　山下清と沼祐一たち(2)	三頭谷鷹史	名古屋造形芸大紀要*	12

（ネ）

画家たちの美術史42　根岸芳郎	横山　勝彦	美術手帖	883
URYUYAMA PEOPLE 004　根之木正明	根之木正明	瓜生通信	35
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　漫画家	根本　敬	STUDIO VOICE	371

（ノ）

特集　デザインを読む！　ブックガイド300　デザイナーを読み解く！　Enzo Mari	野口　孝仁選　土田　貴宏取材・文	デザインの現場	145

輝く個性　楽しむジュエリー注目集める日本人デザイナー[野口尚彦]	國保　環	毎　日	12.8
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　写真家	野口　里佳	STUDIO VOICE	371
巻頭特集　野田哲也「日記」		版画芸術	134
私的な日常を写真に記録し、「日記」をテーマにした版画作品を作り続ける―。	野田　哲也		
潜ませた批判と批評　野田哲也・人と作品	中林　忠良		
野田哲也の反絵画志向	中原　佑介		
ドリット夫人が語る作家・野田哲也	野田ドリット　談		
技法解説　野田哲也の版画制作法　作品〈日記〉が生まれるまで	秋田　真波		
巻頭特集　写真と絵画の対話　往還する「リアル」とその行方第３章　写真と絵画を往還する新たな眼差し　死を抱く命　絵画になしえること	野田　弘志　談	アート・トップ	207
大自然の中に写実絵画研究の拠点　「だて噴火湾アートビレッジ」オープン[野田弘志]	(富)	〃	211
巻頭特集　美術館で版画を楽しむ　野田正明展　ニューヨークからのメッセージ人と人とが繋がった展覧会	野田　正明　談	版画芸術	132
つくばセンター・中央２号橋	野中　勝利	筑波大学芸術研究報告	46
特集　はじめての武満徹　武満徹をみるその１ようこそ、武満美術館へ　タケミツ謹製現代美術[野中ユリ]	編　集　部	芸術新潮	677
特集　回想・上野上野雑感	野辺　和代	自由美術	2006
野間仁根の文人性について―昭和10～20年代の動向を中心に―	長井　健	愛媛県美術館年報・研究紀要	5
写真集　衝撃覚えた“無心の祈り”[野町和嘉]	舛田奈津子	産　経	3.25
土曜訪問　厳しい自然の中の「祈り」写す野町和嘉さん(写真家)	市川　真	東京夕刊	4.15
御免なさい宇治山さん	野見山暁治	芸術新潮	676
画家たちの美術史44　野見山暁治	林　洋子	美術手帖	886
アトリエ日記26～37	野見山暁治	美術の窓	268～279
巻頭特集　2006年上半期　先取り！今年の展覧会BEST80 Part.2　2005―2006美術界重大NEWS　追悼・脇田さんと小鳥	〃	〃	269
巻頭特集　'06心にのこる風景画ベスト118　異郷の陽だまり、木村忠太	〃	〃	276
特集　藤田嗣治　エッセイ　僕の知っているフジタ	〃	ユリイカ	519
わたしの失敗　画家野見山暁治さん１～４	猪谷　千香	産　経	6.13～16
巻頭特集　実践！海外留学ガイドブック essay パリの仕事場	野村　義照	美術の窓	270

(ハ)

特集　戦後マンガ史論をどう書くか　萩尾望都　内なるデーモンの析出	江藤　光紀	水声通信	14
巻頭特集　コレクターが気になる版画のめばえ　日本の新しいエディション　橋爪彩	橋爪　彩	版画芸術	131
あの人に迫る　都会の団塊世代　田舎に新風を!!　はしもといわお　漫画家	立尾　良二　聞き手	東京夕刊	4.28
羽織の裏地になった「南国」[橋本関雪]	田島奈都子	姫路市立美術館だより	91
橋本関雪―日露戦争従軍画家のころ	堀澤　光栄	〃	92
素顔型録Vol.20　美術学部生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻　橋本京子教授の巻	萩原　朔美	たまび	41

“ORIGAMI—折り紙”—中部国際空港旅客ターミナル　国際線到着コンコース　アートワーク	橋本　京子	多摩美術大学研究紀要	20
［研究報告］バナナ・テキスタイル・プロジェクト—2004年度報告書	橋本　京子 川井　由夏 福岡　裕子 長沢　桂一 樋口　明久	〃	〃
座談会　「第三十八回日展—明日への希望」	橋本堅太郎、中山　忠彦、中路　融人、寺坂　公雄、江里　敏明、奥田小由女、日比野光鳳清水　透石司会	日展ニュース	123
橋本正司の彫刻作品—本館所蔵作品の紹介	藁科　英也	採　蓮*	9
新作の背景　橋本トモコ《ツバキ赤く》	石川　健次	毎日夕刊	9.1
芸苑雑事記	瀧　悌三	美術の窓	
160　不発に終った「現代の自然派」展［橋本博英］			270
165　橋本博英のこと			275
第16回タカシマヤ美術賞決定　伊藤誠氏彫刻　橋本夕紀夫氏デザイン　やなぎみわ氏　写真・映像		新美術新聞	1079
第１特集　ホテルをつくる　これからできるホテルプロジェクト　ザ・ペニンシュラ東京　橋本夕紀夫	高橋　美礼	デザインの現場	150
銅版画家　長谷川潔作品のひみつ	（前）	読　売	3.5
日展会員賞制作意図「花は大地の微笑」	長谷川　昂	日展ニュース	123
研究ノートから《アラブの窓》から長者丸の窓へ—村井正誠と長谷川三郎の抽象表現	植野比佐見	和歌山県立近代美術館ニュース	48
MAYA　MAXXの「ふるえるほど好き」第６回［長谷川利行］	來嶋　路子	みづゑ	75
文化往来　長谷川利行の油彩画「水泳場」発見		日　経	7.13
サザエさんをさがして　朝日新聞be編集部［編著］［長谷川町子］	苅谷　剛彦	朝　日	2.26
日本を探す　サザエさん４　次世代への無形財産［長谷川町子］	桑原　聡	産　経	4.27
特集　回想・上野さらば上野	長谷部　昇	自由美術	2006
第一特集　現在進行形コミックガイド　コミックを読む方法2006—2007　PART１現在進行形コミックガイド！『ハヤテのごとく！』畑健二郎インタヴュー	吉田　大助	STUDIO VOICE	369
特集　昭和の美術　産業工芸の郷里　畑正吉、国井喜太郎と富山県立工芸学校	藤井　素彦	近代画説	15
私の技法と材料	畠　理弘	主体美術	79
第53回日本伝統工芸展　木竹工　線状捻模様「花藍」　畠山青堂	諸山　正則	朝日夕刊	9.22
巻頭特集　プロ18名があかす細密画㊙技法と画材　インタビュー＆コラム　細密画のルーツとは？　ミニアチュールとしての細密画［ヨーロッパ／インド］	畠中　光亨	美術の窓	277
境界線上の開拓者たち19　八谷和彦	斎藤　環	美術手帖	878
特集　任天堂／Nintendo　僕らが任天堂に教わったこと	鴻上　尚史 八谷　和彦	ユリイカ	520
《貴賓席》夜目　遠目　仲間内　北村淳子氏の戦後日本美術史シンポジウム見聞記を読んで	八田　淳	あいだ	123
記念シンポジウム　東京論その後	藤森　照信、初田　亨、陣内　秀信伊藤　毅司会	建築史学	47
神宮名品解説　神宮美術館所蔵奉納美術品　洋画「赤い橋」［服部正一郎］	（中村）	瑞　垣	204
Section２：個人研究・教員年譜　デザイン工芸学科　身体性と造形・表現の研究—工業・非工業化の対比で	服部　等作	広島市立大学芸術学部紀要	11
Artist　Interview77　花くまゆうさく　個性派キャラの別の顔	石田　純子	デザインの現場	145
花原壽美恵さんをしのんで	森川ユキエ	主体美術	79

第５回モノクロ・モノトーン公募展　選評	英　伸三	朝日夕刊	8.15
如是我聞	花山　智久	大阪成蹊大学芸術学部紀要	2
羽場文彦　2005年作品の解説	羽場　文彦	金沢学院大学紀要文学・美術編	4
羽原肅郎年譜／戦後日本デザイン界の一片―羽原肅郎の歩み	西山　美香	明星大学研究紀要	14
明星大学青梅校の歌	羽原　肅郎	〃	〃
天高く１　空に見つけた「自分の写真」[HABU]	堀江優美子	読　売	10.26
第１回みづゑ賞「絵本部門」大賞　濱口桜子さんインタビュー	來嶋　路子	みづゑ	75
絵本『おとうさんのぱんつ』前編　第１回みづゑ賞「絵本部門」大賞・濱口桜子さんの作品を掲載！	濱口　桜子	〃	75、76
拝啓、奈良美智様　描く勇気をありがとう。[濱口桜子]	來嶋　路子	〃	76
神宮名品解説　神宮美術館所蔵奉納美術品　日本画　「S夫人像」　日本画「絹垣渡御(伊勢神宮遷宮)」[濱田台兒]	(深田)	瑞　垣	203
シュルレアリスムの影響を受けた日本の画家たちにおける、生と死の表象について―瑛九、矢崎博信、浜田浜雄を例に	大谷　省吾	芸　叢	22
第２特集　銅版画に拡がる新しい感覚	濱田　富貴	版画芸術	134
素顔型録Vol.23　生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻濱田芳治講師の巻	萩原　朔美	たまび	44
日本の遺産　富士山上　今も昔も庶民のあこがれ[早川利光]		読　売	9.20
日々好日　サン・クレメンテでのこと	林　敬二	新美術新聞	1082
職人の手仕事と工業社会の融合　パレスサイドビル完成から40年	林　昌二	毎日夕刊	12.22
上野公園生みの親像実は弟!!勘違い33年大阪の住職寄付で新設[林昭三]		読　売	9.3
作家訪問357　陶芸家　林寧彦さん	編集部	目の眼	360
美の美　秘められた源流１―速水御舟	宝玉　正彦	日　経	8.27
視点	速水　史朗	美術の窓	
文化の宝庫“長野”			269
筑紫次郎			270
ハーフマラソンのモニュメント			271
ピンコロ石の造形			272
長崎のチリーダ展(前編)(後編)			273、274
相生森林美術館の高村光太郎展(前編)(後編)			275、276
伊豆高原そして伊東			277
イサム・ノグチとの想い出			278
TOiGO(前編)			279
交遊抄　掃除好きの友	原　研哉	日　経	6.24
トヨタコレクション奥村菅次作「からくり噴水器」の素材と技法の調査および復元品の制作	宮田　亮平 篠原　行雄 三浦　定俊 丸山　智巳 押元　信幸 手銭　吾郎 原　智	東京芸術大学美術学部紀要	43
フェイス21世紀93　原真一　40代の青年彫刻家	油井　一八	新美術新聞	1103
《連載》戦時下日本の美術家たち　第８回、第９回　大陸従軍画家Ⅰ、Ⅱ　原精一(１)(２)	飯野　正仁	あいだ	130、131
葬送　漫画家はらたいら氏　不器用…「漫画は頭で描くもの」	上塚　真由	産　経	11.16
追想録　はらたいらさん(漫画家)		日経夕刊	12.15
テークオフ　現代美術家　原高史さん	山盛　英司	朝日夕刊	10.5
この人　作家・画家原ゆたかさん	(亜)	読売夕刊	6.3
作家訪問354　陶芸家　原田都史閲さん	編集部	目の眼	357
視点　「循環するアートプログラム」	原田　丕	美術の窓	278

第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　グラフィック・デザイナー	針谷建二郎	STUDIO VOICE	371
2005年ベスト　アニメ：「萌え」って「勃起」のことでほ。	パルコキノシタ	〃	361
第二特集アニメを見る方法2006　夏以降のアニメとアニメ状況を語り下ろし！座談会　藤津亮太×数土直志×宮昌太朗×パルコキノシタ　付・要チェック作品31	編集部	〃	367
第二特集アニメを見る方法2006 Column 1　『鬼公子炎魔』監督・神戸守インタヴュー	パルコキノシタ インタヴュー	〃	367
旬発力　世界を救う紙の住宅　建築家坂茂	岡本　耕治	産　経	1.14
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　アーティスト	坂　知夏	STUDIO VOICE	371
巻頭特集　マチエールを極める㊙技法講座vol.3　洋画家・半田強インタビュー「マチエール作りは土を耕すということ」	半田　強	美術の窓	278
わたしの宝もの12　蝋燭	伴戸玲伊子	新美術新聞	1087
特別対談：上桜田アートラボ　バンデッド・ブルー／日本画を語る	松本　哲男 岡村桂三郎 長沢　明 番場　三雄 末永　敏明 谷　善徳 松田　泰典	東北芸術工科大学紀要	13

（ヒ）

巻頭特集　画肌(マチエール)の秘儀　絵具はいかにして生命を育むか　日本画の肌合いとその心　山本丘人　画肌づくり秘話	稗田　一穂	アート・トップ	209
日本美術のススメ　日本画家を訪ねて　第1回　稗田一穂	功刀　知子	美術の窓	272
巻頭特集　'06心にのこる風景画ベスト118　ルソーの風景画と日本人美術家たち　インタビュー　稗田一穂		〃	276
アニメ、見てますか　2　監督・脚本・声優…ぜんぶ一人[比嘉一博]		読　売	10.4
オルニス―花になった鳥たち	檜垣　檀	多摩美術大学研究紀要	20
日影眩の360°のニューヨーク	日影　眩	ギャラリー*	
116　アメリカの夜―2006年ホイットニー・バイエニアル　川島猛―34年ぶり、小さな画廊での大きな回顧展			253
117　2006年アート不在の東京			256
青春プレイバック　東原徹　東京都千代田区日比谷公園1―3　日比谷公会堂	高岡　忠雄	新美術新聞	1103
今月の読書　『コンコルド広場の椅子』東山魁夷著　真実の親しみが通い合う椅子と画家との交流の幻想画	〃	〃	1087
川崎小虎と東山魁夷展開催記念　座談会　誠実・純真、清らかな画境が響きあう　川崎一族170余年の豊かな画系を展覧	宝木範義、土屋禮一、川崎春彦、川崎麻児談	〃	1107
川端康成と東山魁夷	（前）	読　売	11.12
帝国の城塞　東山幸弘著		日　経	5.21
第10回手塚治虫文化賞　新生賞　ひぐちアサ氏	いしかわじゅん	朝　日	5.10
スピーチでどっと笑い　手塚賞贈呈式　受賞4氏それぞれ感想[ひぐちアサ]	西田　健作	〃	6.8
第27回読売国際漫画大賞　大賞	びごーじょうじ	読　売	1.1
顔　第27回読売国際漫画大賞を受賞したびごーじょうじさん	片山　一弘	〃	1.27
第27回読売国際漫画大賞　大賞	ヒサクニヒコ	〃	1.1
土方巽・暗黒舞踏の受容と変容(3)身体、言語、イメージ―野口体操と三木形態学を手掛かりに	三上　賀代	京都精華大学紀要	31
舞踏の形式について　Ⅲ　動きの記号分析[土方巽]	森下　隆	慶応義塾大学アート・センター年報	13

土方巽著『病める舞姫』のオリジンを探る(第六章による)(第七章による)	中村　文昭	日本大学芸術学部紀要	43、44
10 Questions for New Generations 次世代写真家アンケート	菱田　雄介	STUDIO VOICE	367
3.教育普及事業1)公開制作　22「Yin and Yang」菱山裕子		府中市美術館年報	2000-2005
特集　ここまでできるオフセット印刷　こんな時、どうする？どうした？　新聞広告　ザラ紙、色の制限、大量印刷……リスクの高い新聞カラー広告に挑む[日高英輝]		デザインの現場	146
特集　アートの授業！　表現&制作～鑑賞&マネージメント　先生、どんなアートの授業していますか？　2時限目　日比野克彦	石井　芳征	美術手帖	874
越後妻有アートトリエンナーレ2006 INTERVIEW03 日比野克彦	白坂　ゆり	〃	884
3.教育普及事業1)公開制作　1「ナイーブな男」日比野克彦		府中市美術館年報	2000-2005
こころの風景	日比野克彦	朝日夕刊	8.14～16
文化　丸いボールに夢中　ドイツW杯	〃	〃	6.9
ミュージアム拓く—私の美術館像　上	〃	日　経	12.20
80年代文化とは何だったのか　若者のバブル期待、議論の呼び水[日比野克彦]	内田　洋一	日経夕刊	11.13
真価問われる「本格参加」	日比野克彦談	読　売	6.7
お仕事手帖 Q&A ポール・コックス、ひびのこづえ	岡本　恭子	みづゑ	77
原風景	日比野ルミ	名古屋造形芸大紀要*	12
100% ORANGEさんのひろいもの絵本	來嶋　路子	みづゑ	78
不屈のひみつ　画家平岡忠夫さん　3000枚まで…木が「描け」と	小梶　勝男	読　売	9.3
東京湾の穴　平賀勝著		日　経	5.28
アニメ、見てますか 4「大国」支える職人生活過酷[平川哲生]		読　売	10.16
追悼　平川敏夫さん　創画会の巨木	高畑　郁子	新美術新聞	1092
2006戌年新春企画　年男年女	開　光市	〃	1076
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　プロダクトデザイナー	平社　直樹	STUDIO VOICE	371
時間は魂に降り積もる　平澤篤	平澤　篤	アート・トップ	211
モノローグ「ひとつひとつのチューリップ」　平澤重信展	平澤　重信談	〃	209
特集　回想・上野　新しい出会い	平澤　重信	自由美術	2006
新・私のアルバム7　平澤重信	小森佳代子	美術の窓	273
座談会：日本アンデパンダン展の今日的意義と今後の方向をさぐる　ひとこと提言　日本アンデパンダン展の今後はどうあるべきか	平島　二郎	美術運動	133
日韓交流・日本美術会展—2004　創作研究会の記録—	〃	〃	〃
アクリリックス・ワールド34　ヒラタシノ	石井　芳征	美術手帖	883
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　グラフィック・デザイナー	平林奈緒美	STUDIO VOICE	371
特集　紙選びのABC　平林奈緒美　コレクションがアイディア倉庫	高橋　美礼	デザインの現場	148
近代日本画の先駆者・平福穂庵	保泉　充	秋田美術	42
付・平福穂庵年譜	山本　丈志	〃	〃
本・人・出版社94　小川未明の『少年の笛』—明治末期の平福百穂装幀の新潮社の本	紅野　敏郎	国文学解釈と鑑賞	906
平福百穂「堅田の一休」について	川口　直宜	泉屋博古館紀要	22
こころの風景	平間　至	朝日夕刊	9.11～13
わたしのお気に入り滝と学校　橘学苑中学校・高等学校の体育館	平町　公談	芸術新潮	677

巻頭特集　画肌（マチエール）の秘儀　絵具はいかにして生命を育むか　対談　洋画と日本画の画肌バトル	佐々木　豊 平松　礼二	アート・トップ	209
平松礼二　花伝書		新美術新聞	1085
青春プレイバック　平松礼二　東京都中央区銀座７―２―22同和ビルディング前	高岡　忠雄	〃	1092
巻頭特集　2006年上半期　先取り！今年の展覧会BEST80 Part.2　2005―2006美術界重大NEWS　了徳寺大学学長・平松礼二インタビュー		美術の窓	269
日本美術のススメ　わが愛する日本の美　尾形光琳「紅白梅図屏風」	平松　礼二	〃	272
日本美術のススメ　日本画家を訪ねて　第５回　平松礼二	功刀　知子	〃	277
了徳寺大学長に就任する日本画家、平松礼二さんに聞く　“心と体”をともに豊かに	石川　健次	毎日夕刊	1.30
特別対談　日中交流の新時代に向けて　駐日本中国大使　王毅　日本画家　平山郁夫		アート・トップ	209
オークションの逸品　平山郁夫の「室生寺緑映」		ギャラリー*	256
[特集１]松田権六先生	平山　郁夫	現代の眼	561
11.3声明　「効率性追究による文化芸術の衰退を危惧する」を推し進めて　市場化テストの適用は慎重にすべし	平山　郁夫、高階　秀爾　対談	新美術新聞	1076
追悼　村越さんとの出会い、勉強になった轟会	平山　郁夫	新美術新聞	1078
特別インタビュー　平山郁夫氏に聞く　次代に伝える平和への思い	油井　一八　聞き手	〃	1096
高松塚古墳壁画公開　沈む彩色	平山　郁夫　談 筒井　次郎 小滝ちひろ 大脇　和明	朝　日	9.16
うるしの神様　松田権六の世界　上　寸分のすきもない	平山　郁夫	朝日夕刊	12.19
交遊抄　文化財への思い[平山郁夫]	松浪健四郎	日　経	7.14
国際文化フォーラム―文化の多様性　座談会　平和と文化	平山　郁夫 山内　昌之 アフマド・ジャラリ ウィリアム・A・グラハム 王　柯	〃	12.24
百年目の東京美術倶楽部	平山　郁夫、後藤　繁雄　談	〃	12.26
こころの玉手箱　日本画家　平山郁夫１～５	平山　郁夫	日経夕刊	2.20～24
好きなもの	〃	毎　日	8.13
国際シンポジウム　危機世界遺産をどう守るか　記念講演	〃	〃	12.2
困難な関係打開を願う　「日中韓文化交流フォーラム」設立に寄せて	〃	毎日夕刊	1.12
特集ワールド　夏バテに柔軟体操[平山郁夫]	高橋　昌紀	〃	8.30
海外の文化遺産日本の力で守る　国際協力推進法案　議員提出へ[平山郁夫]		読　売	3.12
正倉院展に見る日本文化の本質	平山　郁夫	〃	10.30
交遊抄　優しい古武士	蛭田　有一	日　経	3.14
学校と私　漫画家弘兼憲史さん　詩と小説、漫画書き続けた日々	野倉　恵　聞き手	毎　日	3.13
ふるさと　漫画家弘兼憲史さん　山口県岩国市　原風景「島耕作」にも	広中　正則　聞き手	読　売	12.19
松五郎の青春[広川松五郎]	宮本　久宣	和歌山県立近代美術館ニュース	47
秋山陽氏作品展―制作とその周辺について	廣崎　裕哉	陶　説	634
陶匠・樂吉左衛門氏の座　一九九九年秋―二〇〇五年春創作展にて	〃	〃	638
わたしの宝もの８「バレエのクロッキー」	広田　稔	新美術新聞	1076

エッセイ・展覧会評 雨上がりの町、緑の葉と揺れる枝が、洗われて	広田　美穂	美術運動	133
竹尾 PAPER IN MY WORK106 廣村正彰 空間にアプローチしてゆくデザイン	高橋　美礼	デザインの現場	149
この人 世界遺産バーミヤンのレーザー・プロジェクトに取り組む ヒロ・ヤマガタさん	安井　浩美	東　京	1.5
アートによる地域再生は可能か バーミヤンのレーザープロジェクト[ヒロ・ヤマガタ]	林　容子	東京夕刊	3.7

（フ）

巻頭特集 私の好きな人物画Part.1 日本の木彫家が語るシュテファン・バルケンホール	舟越　桂、深井　隆、棚田　康司、三沢　厚彦談	美術の窓	268
彫刻家の現場から11 深井隆	武田　厚	〃	270
マンガの居場所 ウェブ連載で深まる物語[ふかさくえみ]	宮本　大人	毎日夕刊	6.29
「真の工業デザイナー」『Less but better ディーター・ラムスの世界』下川美喜企画・編集	深澤　直人	ＡＸＩＳ	119
「つくりながらつかみ取ってゆく」『KGID Konstantin Grcic Industrial Design』フロリアン・ベーム編	〃	〃	120
「そうなんだよな」『建築は詩 建築家吉村順三のことば100』永橋爲成監修／吉村順三建築展実行委員会編	〃	〃	121
「偉大なデザインの先生」『ファンタジア』ブルーノ・ムナーリ著／萱野有美訳	〃	〃	122
「からだに染み込むもの」『あなたのために いのちを支えるスープ』辰巳芳子著	〃	〃	123
「太い筋」『亀倉雄策』亀倉雄策著	〃	〃	124
NIPPONのカタチ デザインの挑戦3 工業デザイナー深澤直人氏		日経夕刊	1.6
美しさの行方6 売れる60年代デザイン[深澤直人]		読　売	1.7
山下裕二の今月の隠し球15～17 深津真也 絵描きが寡黙である、ということ〈上〉〈中〉〈下〉	山下　裕二	美術の窓	270～272
[保存版]ゼロゼロ・ジェネレーション2006 2000年代から未来へ向かう日本の新世代アーティスト108人 アーティスト・ファイル 冨谷悦子	椹木　野衣	美術手帖	883
Close—up46 吹田千明 技法の先にある創造の時間		ギャラリー*	253
アーティスト訪問31 吹田文明		〃	252
アート探究 吹田文明の木版画 伝統破った新技法	小川　敦生	日　経	4.8
Art Scape 現実と非現実の狭間で 福井欧夏インタビュー	編集部	アート・トップ	212
Art Scape 「光」が見せた本来の輝き 福井江太郎インタビュー	〃	〃	〃
日々好日 秋のプール	福井　爽人	新美術新聞	1102
画家の肖像十選 1～10	〃	日　経	2.9、10、15～17、21、22、24、27、28
絵のある暮らしって素晴らしい！ life with artを実践している作家たちの作品とテクニック 福井良佑	小神野そのこ	美術手帖	879
終戦直後の福沢一郎作品に関する研究—ニューヨークでの展覧会を手がかりとして—	伊藤　佳之	鹿島美術財団年報別冊	23
特集 昭和の美術 シュルレアリスムと行動主義—小松清、福沢一郎、矢崎博信を中心に	大谷　省吾	近代画説	15
特集 回想・上野「上野と」	福田　篤	自由美術	2006
こころの玉手箱 グラフィックデザイナー 福田繁雄1～5	福田　繁雄	日経夕刊	12.18～22
2006戌年新春企画 年男年女	福田　千恵	新美術新聞	1076

《連載》戦時下日本の美術家たち　第6回南方従軍画家Ⅱ[福田豊四郎]	飯野　正仁	あいだ	128
若冲と江戸絵画　至福の一点　中	福田　美蘭	日経夕刊	7.11
受賞者インタビュー142　ビエンナーレうしく　福村真美		ギャラリー*	256
日展100年記念企画「上野の思い出」上野の思い出	福本　達雄	日展ニュース	122
マンガの居場所　飛躍する言語と妄想イメージ[福本伸行]	夏目房之介	毎日夕刊	1.30
美術史跡探訪　藤雅三の墓	瀧井　直子	近代画説	15
「時代の素材」で廃棄物アート[藤浩志]		日経夕刊	3.28
特集　回想・上野　私と上野	藤井喜久雄	自由美術	2006
エッセイ・展覧会評　ノー・ウォーの信頼感をつくった05年展	藤井　建男	美術運動	133
カムイミンタラ　藤井保著		日　経	8.20
凹状の造形	藤枝　柚実	筑波大学芸術研究報告	46
ヘアサロン＋住宅	藤木　庸介 山田　細香	京都嵯峨芸術大学紀要	31
藤島武二　黒扇	富山　秀男	国　華	1327
藤島武二作《花籠》考	金　正善	デアルテ	22
黎明館所蔵作品の紹介　藤島武二筆　蒙古の日の出	山下　廣幸	黎　明	91
「暮しの手帖」の影絵作家・藤城さん　決心の原爆画[藤城清治]		読　売	9.22
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　写真家	藤代　冥砂	STUDIO VOICE	371
父・藤田喬平の遺したもの	藤田　潤	現代の眼	557
一展逸点　工芸の枠破った記念碑　「虹彩」藤田喬平	西田　健作	朝日夕刊	1.27
巻頭特集　画肌(マチエール)の秘儀　絵具はいかにして生命を育むか　藤田嗣治のマチエール　パリ画壇から絶賛された「乳白色の肌」	近藤　史人	アート・トップ	209
あいだのすみっこ不定期漫遊連載　第44回　異装・狂気・蕩尽・芸術という名のポトラッチ—国際シンポジウム「パリ、1920年代、藤田嗣治」余滴	稲賀　繁美	あいだ	126
《連載》戦時下日本の美術家たち　第6回南方従軍画家Ⅱ[藤田嗣治]	飯野　正仁	〃	128
晩年のフジタとの一日		ガス燈	71
オークションの逸品　藤田嗣治「花瓶の薔薇」		ギャラリー*	260
研究発表〈要約〉　画家の疎開—藤野町における藤田嗣治と新制作派協会の画家たち—	高島　由紀	近代画説	15
特集　藤田嗣治の真実		芸術新潮	676
序章　藤田とFoujita	編集部		
第1章　白い裸身	清水　敏男		
第2章　万国風俗図鑑	〃		
第3章　猫たちの劇場	〃		
第4章　群像表現との闘い	〃		
第5章　ちいさき者へ	〃		
第6章　聖母礼賛	〃		
第7章　超絶技巧の秘密	小谷野匡子		
[特集]藤田嗣治　パリを魅了した異邦人		現代の眼	556
パリの藤田画伯と日本	高階　秀爾		
藤田嗣治　パリ周縁へのまなざし	林　洋子		
資料調査こぼれ話　藤田調査の覚書き	笹木　繁男	jaic会報	5
藤田嗣治の一九二〇年代末の壁画表現—パリ日本館《欧人日本へ到来の図》の制作プロセス	林　洋子	日本研究	32
第五十九回全国大会研究発表要旨　一九二〇年代前半の藤田嗣治の裸婦表現再考：同時代性とノスタルジーと	〃	美術史	161

画家の疎開―藤野町における藤田嗣治と新制作派協会の画家たち―　高島　由紀　美術史研究　44

視点　笹木　繁男　美術の窓

岡鹿之助と藤田嗣治　268

藤田嗣治、念願の沖縄への旅　269

藤田嗣治、念願の沖縄への旅(2)　270

藤田最後の「陸軍作戦記録画」　271

マスコミと戦争画……そして藤田　272

藤田嗣治と海老原喜之助　273

藤田嗣治監督の映画「風俗日本」　274

藤田嗣治監督の映画「風俗日本」2 撮影開始　275

藤田嗣治監督の映画「風俗日本」3 岡本鐵四郎とその母　276

藤田嗣治監督の映画『風俗日本』完成をめぐって　277

今井繁三郎が「美之國」に綴る『風俗日本』[藤田嗣治]　278

藤田嗣治自身が語る映画『風俗日本』　279

特集　藤田嗣治　ユリイカ　519

徹底討議　フジタよ甦れ！21世紀の美術史のために　村上　隆　椹木　野衣

エッセイ　僕の知っているフジタ　野見山暁治

エッセイ　フウフウの日々　津原　泰水

若き藤田嗣治の肖像　乳白色(ナシ・ブラン)の下地の誘惑　藤田嗣治受容史を考えるためのノート　林　洋子

若き藤田嗣治の肖像　パリ留学初期の藤田嗣治　妻とみ宛書簡から　加藤　時男

若き藤田嗣治の肖像　藤田嗣治の疑惑　鴻　英良

フジタの「戦争」主体なき悲劇　岡崎乾二郎

フジタの「戦争」笑う、転ぶ、叫ぶ、泣く　藤田嗣治と「とっくみ合い」のモティーフ　河田　明久

フジタの「戦争」手塚治虫と藤田嗣治　大塚　英志

フジタの「戦争」わだばフジタになる!?　「戦争画RETURNS」制作秘話　会田　誠

異邦人、未来へ帰還せり　たった一人でひっそりと泣くこと　『藤田嗣治芸術試論』(夏堀全弘)と藤田嗣治展(国立近代美術館)から読み取れること　古谷　利裕

異邦人、未来へ帰還せり　フジタと日本がすれ違った長い時間　近藤　史人

異邦人、未来へ帰還せり　敗戦後の一画家　福永　信

異邦人、未来へ帰還せり　故郷喪失者の「子供たち」　松井みどり

フジタマニア対談　やっぱりフジタが好き　小川　格　丹治　匠

異邦人、未来へ帰還せり　人生か、作品　藤田の足跡をたずねながら考えたことなど　田中　功起

美の美　藤田嗣治―東と西を超えて　上、中、下　宝玉　正彦　日　経　3.5、12、19

春秋[藤田嗣治]　〃　4.5

藤田嗣治、仏帰化直後の手紙発見　竹田　博志　日経夕刊　4.10

「ヒマラヤ百高峰」藤田弘基著　日　経　4.30

巻頭特集　人気画家10人のミクストメディア㊙技法講座　藤浪理恵子　エッセイ「mixed mediaという幻影」　美術の窓　273

視点　ショーケース内のパフォーマンス　藤波理恵子　〃　275

視点　ショーケース内のパフォーマンス(続)　〃　〃　276

作家訪問360　漆芸家　藤野征一郎さん　編　集　部　目の眼　363

コミック教養講座 藤野美奈子のおとこ教室　藤野美奈子[著]	南　信長	朝　日	3.26
境界線上の開拓者たち17　藤幡正樹	斎藤　環	美術手帖	876
映像を通して豊かな会話を　東京芸大に映画・映像専攻新設	藤幡　正樹	東京夕刊	5.1
藤牧版画の後摺りについて[藤牧義夫]	大谷　芳久	一　寸	
12《朝霧》と昭和五年作問題(その３)			25
12《朝霧》と昭和五年作問題(その４)			26
13《城沼の冬》			27
14《夜の浅草六区》			28
新聞旧聞　藤本四八先生のこと	岩瀬　行雄	jaic 会報	8
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　建築家	藤本　壮介	STUDIO VOICE	371
特集　回想・上野「上野」雑感	藤本　忠彦	自由美術	2006
Section２：個人研究・教員年譜　デザイン工芸学科	藤本　哲夫	広島市立大学芸術学部紀要	11
子の芽をつむ教師の芸術感	藤本　均	東　京	1.28
《貴賓席》珠光的と利休的―「現代美術」棲み分けのススメ	藤本均定成	あいだ	125
先輩に聞け！　デザイナーが若いうちにしておくべきこと14　藤本やすし　自分を売り込めるのは自分しかいない	石田　純子	デザインの現場	148
第一特集　アートブックを楽しむ　ART BOOK BEST 150 and more...！　『美術館の遠足』10年の軌跡[藤本由紀夫]	原　久子	STUDIO VOICE	368
総特集　稲垣足穂　変換と展開　ライト兄弟に始まる　第３章　私のモデルプレーン	藤本由紀夫	ユリイカ	525
こころの風景	〃	朝日夕刊	7.10～12
文化往来　藤本由紀夫の「美術館の遠足」、10回目で幕		日　経	6.22
アート探究　音のアーティスト　藤本由紀夫	白木　緑	〃	10.14

家具デザイナー、藤森泰司のデザイン	浦川　愛亜	ＡＸＩＳ	122
「仏都会津　祈りの里の仏たち」藤森武写真集	(前)	読　売	2.12
鈴木博之先生紫綬褒章受章	藤森　照信	建築史学	46
記念シンポジウム　東京論その後	藤森照信、初田　亨、陣内　秀信、伊藤　毅　司会	〃	47
特集　藤森照信　方法としての歩く、見る、語る。		10＋1*	44
インタヴュー　トレーシング・ザ・藤森照信	藤森　照信、中谷　礼仁、清水　重敦、青井　哲人		
論考　建築技術史一万年とドクターフジモリ	渡邉　晶		
論考　先史学／考古学と想像力の限界	浅川　滋男		
論考　多くはうたかたに消え、いくつかは生きて地に降り　都市史の主語は何か	青井　哲人		
論考　看板建築考様式を超えて	横手　義洋		
論考　笑う路上観察学会のまなざし都市のリズム分析に向けて	南後　由和		
論考　先行建築学のすすめ　バイパスとしての藤森式都市建築保存論	清水　重敦		
論考　〈民族学者〉としての藤森照信その歩く／見る／聞く作法を考える	菊池　暁		
論考　世界建築地図の展開／〈伊東忠太＋藤森照信〉のその後　近代アジア調査術	林　憲吾		
論考　小さな建物を大きくすること　藤森照信の建築における儀式	デイナ・バントロック　松田　達　訳		
論考　原生建築への招待　食用の建築、つくれますか。	陳　正哲　青井亭菲、青井　哲人　訳		

論考　藤森照信の批評根拠	アンドレア・マッフェイ 入江 徹 訳		
論考　藤森照信とモダン・ヴァナキュラー	エルウィン・ビライ 篠儀　直子 訳		
奇想遺産	藤森　照信	朝　　日	
マジョルカ・ハウス　オーストリア			1.15
聖ミハエラ教会　スロベニア			2.19
路上観察の視点ベネチアで紹介　藤森さんら伊・ビエンナーレに	山盛　英司	〃	2.22
奇想遺産	藤森　照信	〃	
パーク・メールバイク　オランダ			3.19
屏山書院　韓国			4.23
児島虎次郎邸茶室　日本			5.21
ウッドストックの音楽堂　米国			6.18
ワッツタワー　アメリカ			7.16
碉楼　中国			8.20
メダンのタバコ乾燥庫　インドネシア			9.24
キージ島の教会　ロシア			10.29
豊橋市公会堂　日本			11.26
ベネチア建築展　日本館盛況　藤森照信さん企画　小屋の劇場で路上観察	吉住　琢二	朝日夕刊	11.10
建築家藤森照信　ベネチアでも異色作好評	猪谷　千香	産　　経	11.15
ヴェネチア・ビエンナーレ建築展　日本館コミッショナーに藤森照信氏		東京夕刊	3.3
文化往来　「藤森建築と路上観察」をテーマに出展		日　　経	2.24
語る　建築家　藤森照信		〃	3.18
日本建築歴代ランキング	藤森　照信	日経夕刊	
2　社寺仏閣の第1位　三仏寺投入堂			10.12
3　住宅編第1位は箱木千年家			10.19
4　ホテル・旅館の第1位　川奈ホテル			10.26
『四角形の歴史』赤瀬川原平著	藤森　照信	毎　　日	4.9
『日本のステンドグラス　その歴史と魅力』伝統技法研究会編	〃	〃	5.7
『タワー　内藤多仲と三塔物語』INAXギャラリー企画委員会	〃	〃	6.18
ベネチア・ビエンナーレ　藤森照信さんら出品　「俳諧的な文化を欧州へ」	米本　浩二	毎日夕刊	2.20
本の現場　藤森照信さん建築探偵が嗅覚で見つけた14軒　住宅は原点回帰している	手塚さや香	〃	11.24
「赤レンガに学ぶ」座談会　「日本らしさ」の原風景	松田 昌士、森 まゆみ、藤森　照信談	読　　売	9.7
9月のベネチア建築展　「路上の変なもの」世界に発信［藤森照信］		読売夕刊	2.17
時流自論　デジタル化する人間の“眼”	藤原　新也	朝　　日	4.3
特集ワールド　揺れる親子関係　写真家、作家藤原新也さん	藤原　章生	毎日夕刊	8.3
山下裕二の今月の隠し球23、24　藤原由葵　「油画」の王道〈上〉〈中〉	山下　裕二	美術の窓	278、279
第一特集　プロダクト・デザインの現在 NEW DESIGN PARADIGM UNDER 35 DESIGNERS LIST 二俣公一	井上　了	STUDIO VOICE	365
中特集　舟越桂	林　浩之	アート・トップ	212
スフィンクスが浮上するとき			
Turning Point File 01舟越桂×1991年×「水の上の振り子」			

インタビュー　舟越桂　今はたとえ間違っていても変化をしたい	舟越　桂 辺見　取材・構成	版画芸術	131
特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する　舟越桂　正面突破の秘密	小谷　元彦 聞き手	美術手帖	877
巻頭特集　私の好きな人物画Part.1　日本の木彫家が語るシュテファン・バルケンホール	舟越　桂、深井　隆、棚田　康司、三沢　厚彦 談	美術の窓	268
視点　KIAF(韓国国際アートフェア)への挑戦[舟越桂]	安東　孝一	〃	275
「禁欲・硬さに秘められた精神性」　バルラハと二人展を開いた　舟越桂さん	舟越　桂 談	朝日夕刊	4.10
第2特集　銅版画に拡がる新しい感覚	舟田　潤子	版画芸術	134
特集　心をつかむ展示空間、ディスプレイ、広告　プレゼンテーションの底力　「素材」で見せる　ショップディスプレイ演出法[文田昭仁]	大輪　俊江	デザインの現場	147
ミュージアム・インタビュー「アニメーション作家の布山タルトさんにききました」の巻		aprire	9
第一特集　プロダクト・デザインの現在　NEW DESIGN PARADIGM UNDER 35 DESIGNERS LIST FLASK	岡田　栄造	STUDIO VOICE	365
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　プロダクトデザイナー	flask	〃	371
お札に息づく日本の信仰　フランス人の亡夫が全国行脚し1000枚収集	仏蘭久淳子	日　経	10.5
池袋モンパルナスの画家・古沢氏の作品遺族　300点、1億円相当　板橋区立美術館に寄贈[古沢岩美]	吉田　宇洋	東　京	5.17
研究所「民美」から—個人的雑感—	古澤　潤	美術運動	133
特集　マンガ批評の最前線　TOO LATE THE HERO　古沢日出夫「冒険ゴット」(一九五二—一九五三)について	鷲谷　花	ユリイカ	515
特集　マンガは芸術(アート)か？　進化するマンガ表現のゆくえ　古屋兎丸　アートへの思い、マンガへの思い	西野　基久	美術手帖	876
生誕100年記念ダリ回顧展	古山　浩一	ARTの森	25

(ホ)

第一特集　現在進行形コミックガイド　コミックを読む方法　2006—2007　PART 1 現在進行形コミックガイド！『きょうの猫村さん』ほしよりこインタヴュー	編集部、伊藤　剛 質問 編集部 構成	STUDIO VOICE	369
人間発見　口に絵筆、心で描く1～5　詩画作家　星野富弘さん	須貝　道雄 聞き手	日経夕刊	2.6～10
作家インタビュー「球体写真二元論：細江英公の世界」展		東京都写真美術館ニュース	52
第67回国際写真サロン　作品講評	細江　英公	朝　日	12.24
私のデビュー時代「新しい写真」　物議の個展三島氏との仕事に発展	〃	東　京	8.6
新作の背景　細江英公《十年来の弟子ジョアン・ソレルが訪ねて来た2006》	石川　健次	毎日夕刊	10.6
連載30周年　“怪物”3作持続の秘密　「面白さの王道」貫きひたむきな情熱歌う[細川智栄子]	石田　汗太	読売夕刊	5.31
記者ノート　“時をかける絵”見ましたか[細田守]	前田　恭二	読　売	8.31
竹尾　PAPER IN MY WORK 107　細山田光宣	山本　高樹	デザインの現場	150
収蔵作品から—保田井智之「間の曖昧な地図」	光岡　幸治	氷　華	47
Section 2：個人研究・教員年譜　美術学科油絵専攻	堀　研	広島市立大学芸術学部紀要	11
3.教育普及事業　1)公開制作　13「府中の森の100の記憶」堀浩哉		府中市美術館年報	2000-2005

日本美術のススメ 日本画家を訪ねて 第３回　堀川えい子	切刀　知子	美術の窓	274
第50回記念　新槐樹社展開催にあたり 半世紀の歩み・そして新たなる展望	堀川　素弘	新美術新聞	1076
インタヴュー　堀口捨巳―モダニズムから「日本的なもの」への転回	磯崎　新 日埜　直彦 聞き手	10 ＋ 1*	43
版画芸術134号　オリジナル版画の作家 越境する魂の作家 堀越千秋　“今”感じる、美しさ	秋田　真波	版画芸術	134
巻頭特集　実践！海外留学ガイドブック 暗い荒野へ！	堀越　千秋	美術の窓	270
視点　悲惨なるプラド、(続)	〃	〃	275、276
視線　ドン・キホーテ・デ・千秋	立松　和平	朝　日	1.22
彫刻家の現場から18 本郷寛	武田　厚	美術の窓	277
本城直季のジオラマ・マジック　「街って嘘っぽいと時々思う」		芸術新潮	678
10 Questions for New Generations 次世代写真家アンケート	本城　直季	STUDIO VOICE	367
視線　small planet 本城直季・写真	飯沢耕太郎	朝　日	5.7
写真家・本城直季の「視覚」　先行するイメージ誘う	大西　若人	朝日夕刊	1.30
不思議生み出す好奇心　写真家　本城直季さん	小谷野直樹	読売夕刊	10.13
ギャラリー散策　ワタシの視線５　「洗練の次に狙う物」[本多榮子]	雨宮　舜	ギャラリー*	257
建造物の中での演出	本田　利光	純心人文研究	12
エッセイ・展覧会評 ０泊３日ベネツィア・ビエンナーレ紀行	本多真理子	美術運動	133
今月の発見　新・東京天空みやげ[本間純]		芸術新潮	674
第一特集　写真を撮る方法～カメラ選びから、撮影、プリント、それを人に見せるまで　Lesson５ “COLOR PHOTO” ホンマタカシ　カラー写真＝ボクらは世界をどう捉えるのか？	ホンマタカシ	STUDIO VOICE	367
視線　SIX STRATA : ROPPONGI HILLS DEFINED ホンマタカシ＝写真、堀江敏幸＝文	立松　和平	朝　日	2.19

（マ）

前史雄　2005年　作品解説	前　史雄	金沢学院大学紀要 文学・美術編	4
平成17年度　金沢学院大学「公開講座」第Ⅲ部　美術文化学部「公開講座」A部：美術工芸学科主催　テーマ：「沈金の美―技法と表現の魅力」	前　史雄 講師	〃	〃
学会120年―職能についての発言再録９ 建築と建築家の存在意義[前川國男]	新堀　学	建築雑誌	1551
モダンで挑んだ戦後復興　前川國男展	岡本　耕治	産　経	2.6
江戸博蔵めぐり　前川國男邸　1942年	早川　典子	読　売	10.27
建築望見　「賊軍」前川國男の真実	高野　清見	読売夕刊	1.7
芥川記者の展覧会へ行こう　「建築家」という仕事[前川國男]	芥川　喜好	〃	2.8
巻頭特集　コレクターが気になる版画のめばえ　日本の新しいエディション　前川知美	前川　知美	版画芸術	131
Section２：個人研究・教員年譜　美術学科彫刻専攻　「芸術表現としての石」、「景観と芸術」の研究	前川　義春	広島市立大学芸術学部紀要	11
3.教育普及事業 1)公開制作　8「私の作品を聞かせてください」前沢知子		府中市美術館年報	2000-2005
芸苑雑事記166　前田寛治とそのレアリスムの流れ	瀧　悌三	美術の窓	277
前田寛治が出会ったアインシュタイン夫妻　仙台の企画展でデッサン公開		読　売	4.3

美の美　曼荼羅　下—宇宙と心の設計図[前田常作]	竹田　博志	日　　経	7.2
企画者にも選ばせろ！「版画家・前田藤四郎のびっくりさせたろか精神をごらんあれ！」前田藤四郎《空中曲技》	橋爪　節也談	芸術新潮	674
特集　回想・上野　上野と私	前田　　徳	自由美術	2006
[保存版]ゼロゼロ・ジェネレーション2006　2000年代から未来へ向かう日本の新世代アーティスト108人　アーティスト・ファイル　前田征紀	宮村　周子	美術手帖	883
特集　工芸発見！日本美術ってすごい！コンテンポラリーなモノ作家たち　前原冬樹		〃	882
「越後妻有アートトリエンナーレ2006　大地の芸術祭」〈地域と文化〉に新たな視点	前山　　忠	あいだ	130
日々好日　人生の邂逅	牧　　進	新美術新聞	1107
第一特集　映像表現のニュー・ヴィジョン！　Ultimate Motion Graphics　先端映像クリエイター対談　ANIMATION対談：タナカカツキ×牧鉄兵×菅原そうた	古屋　蔵人	STUDIO VOICE	370
世界文化賞受賞の槙氏　同時テロ跡地のビル設計へ[槙文彦]	長戸　雅子	産　　経	5.5
制作ノート　槇原泰介	槇原　泰介	武蔵野美術大学研究紀要	36
しゃこ貝に託す—馬越祐一の足跡(下)	山口　泰二	美術運動史研究会ニュース	79
2006戌年新春企画　年男年女	馬越　陽子	新美術新聞	1076
「人生の河」—パリにて—	〃	〃	1107
作家の顔21　馬越陽子	一井　建二	美術の窓	274
3.教育普及事業　1)公開制作　14「ダブル・ポジティブ2」眞島竜男		府中市美術館年報	2000-2005
画家たちの美術史46　真島直子	林　　洋子	美術手帖	888
天狗の棲む山　増浦行仁著		日　　経	11.26
URYUYAMA PEOPLE 009 増田龍治	増田　龍治	瓜生通信	36
MUSTONE「西麻布妖怪絵巻」北山創造研究所	西村　周子	美術手帖	890
みづゑの色あわせ手帖[升ノ内朝子]	藤田　容子	みづゑ	75
ターナーの絵具箱　vol.20　コラージュに挑戦しよう！[升ノ内朝子]	伊部　玉紀	〃	77
第25回損保ジャパン美術財団選抜奨励展受賞作品紹介　立体作品部門　新作優秀賞	ますみつ三知子	産　　経	3.15
「アタゴオル」30年　ますむら・ひろしさん　常に笑顔で前向き　宇宙や自然と一体	佐藤　憲一	読売夕刊	10.25
特別記事　『あゝ、荒野』特装版プロジェクトを追う[町口覚]	編　集　部	デザインの現場	148
辻惟雄が出会った“日本美術”最前線の綺羅星たち	辻　惟雄、町田久美、三瀬夏之介、篠塚聖哉、吉田有紀談	アート・トップ	208
わたしのお気に入り端っこへの旅　長良川鉄道・北濃駅	町田　久美談	芸術新潮	676
旬発力　現代とシンクロする日本画　画家町田久美	猪谷　千香	産　　経	2.18
特集　2006新人大図鑑　デビューへの道…若手作家の成功への道を辿る　美術館デビューへの道—松井えり菜		美術の窓	271
松井えり菜(美術家)キモかわいくて絶好調	山盛　英司	朝日夕刊	5.19
会いたい人　美術界のシンデレラガール多摩美3年松井えり菜さん「楽しさが伝わる絵を」絵のゼンマイ回すとオルゴールの曲	飯田　百萌	毎日夕刊	6.23
青春プレイバック　松井叔生　東京都武蔵野市・三鷹市　井の頭恩賜公園	西澤　美子	新美術新聞	1076

NIPPONのカタチ デザインの挑戦5 ロボットデザイナー 松井龍哉氏		日経夕刊	1.10
追悼　中村敬治　ラ・ヴィ	松井　智惠	水声通信	5
津村耕佑　妄想オーダーモード　第5回 お客様：松井冬子	津村 耕祐、松井　冬子 対談	ART　iT	11
佐々木豊のホンネでファイト　第4回 “怨念”は創造の起爆力たりうるか	松井　冬子 ゲスト 佐々木　豊 聞き手	アート・トップ	208
細く鋭く、妖気漂わせ　松井冬子(日本画家)	山盛　英司	朝日夕刊	9.1
ピクトリアリズムの現在4　「ヨセミテ」から松江泰治へ	清水　　穣	10＋1*	43
松江泰治　JP—22 分散する視線、地図化する風景	松井みどり	美術手帖	878
《追悼：村上善男》光る注射針—青春の記憶から	松尾　一男	あいだ	127
『砂』	松尾　多英	東京造形大学研究報	7
日々好日　日々是好日	松尾　敏男	新美術新聞	1076
追悼　「三谷さんを偲ぶ」	〃	〃	1078
受賞者インタビュー137　松柏美術館花鳥画展　松岡歩		ギャラリー*	251
松岡映丘筆《宇治の宮の姫君たち》—左隻主題の検討—	森　　充代	アマリリス	80
日韓美術交流2005 交流に参加して 「韓・日美術交流展」と「人的交流」ツアーに参加して	松岡　暁子	美術運動	133
悠遊閑歓[松蔭浩之]	戸川　昌子	アート・トップ	212
追悼　芝田米三さん 「さようなら」米三さん	松樹　路人	新美術新聞	1092
追悼　松澤宥　「観念美術」の偉大なる創始者	青木　正弘	美術手帖	889
惜別　美術家　松澤宥さん	田中　三蔵	朝日夕刊	11.6
追悼　村越伸氏をおもう	松下　宣廉	新美術新聞	1078
[特集1]松田権六先生	平山　郁夫	現代の眼	561
[特集1]松田権六の二重像について	柳橋　　眞	現代の眼	561
研究報告　松田諦晶と古賀春江—松田資料をもとに	森山　秀子	ブリヂストン美術館・石橋美術館館報	54
神宮名品解説　神宮美術館所蔵奉納美術品　彫塑「人魚」　彫塑「十八ヶ月」[松田尚之]	(中村)　　瑞　　垣		205
designscape	松田　行正	デザインの現場	
57　図地反転			148
58　バタフライ・エフェクト			149
59　垂直と水平			150
特集　創造する脳 どうしてヒトは絵を描くのか？　トリックスターとしての脳 夢想を物質化する想像力	〃	美術手帖	880
特集　中国—そこに日本の建築世界はどう関われるか　編集後記	松原　弘典	建築雑誌	1554
フェイス21世紀88 松村浩之　自分を見詰める眼	油井　一八	新美術新聞	1089
マンガの居場所　早かった松本かつぢの活劇表現	夏目房之介	毎日夕刊	5.30
特輯　明治の工芸 松本喜三郎　谷汲観世音菩薩像	南嶌　　宏	国　　華	1328
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　グラフィック・デザイナー	松本　弦人	STUDIO VOICE	371
日々好日　旅の中で	松本　　榮	新美術新聞	1079
画家・松本竣介の墓	副島三喜男	たいせつな風景	6
第五十九回全国大会 研究発表要旨　松本竣介、遅れてきた古典古代憧憬	村尾美紀子	美術史	161
美の美　結集する個性—アトリエ村三景中[松本竣介]	富田　律之	日　　経	5.7
近代美術の東京　松本竣介　並木道	大谷　省吾	読　　売	3.10
アーティスト訪問33 松本哲男		ギャラリー*	254

人らんだむ　東北芸術工科大学学長に就任した　松本哲男氏心の感動から芸術は生れる		新美術新聞	1091
ありがとう　おやじさん	松本　哲男	〃	1102
特別対談：上桜田アートラボ　バンデッド・ブルー／日本画を語る	松本　哲男 岡村桂三郎 長沢　明 番場　三雄 末永　敏明 谷　善徳 松田　泰典	東北芸術工科大学紀要	13
かたち百景　シーラカンス像　怖さ、いとおしさを表現[松本哲哉]	(敦)	日　経	7.23
《「日本実験映像史」連載終了記念インタヴュー》実験と挑戦の精神をふたたび—松本俊夫氏に聞く	西村　智弘	あいだ	125
ニキ・ド・サンファル展　思いを語る上	松本　路子	東京夕刊	5.12
LOOK UP KYOTO 2004　メディア・アートインスタレーション作品について	松本　泰章	京都嵯峨芸術大学紀要	31
わたしの失敗　漫画家松本零士さん1～4	堀　晃和	産　経	3.21～24
社会人Myキャンパス　教える人　漫画家　松本零士　宝塚造形芸術大教授 上、中、下	松本　零士	日経夕刊	6.2、9、16
特集　座談会　若いエネルギーで明日を拓く　C—DEPOTのアーティスト達[松山真也]		ギャラリー*	255
AT 208　Remarkable PERSON　絵で人の役に立つことはなんでもやりたい　MAYA MAXXさんのワークショップ	(山)	アート・トップ	208
巻頭特集　自由人浦上玉堂　ゴッホもセザンヌも真っ青！？　玉堂の“前衛(アバンギャルド)”はここがスゴイ	小林　忠、MAYA MAXX対談 荒川由紀子、編集部構成	〃	211
MAYA　MAXXの「ふるえるほど好き」第6回～第9回	來嶋　路子	みづゑ	75～78
MAYA　MAXXと歩く、佐野洋子　絵本の世界展	〃	〃	78
東海道夜景五十三次　丸々もとお、丸田あつし著		日　経	10.15
新規薪窯焼成炉研究(1)	丸田　勉	沖縄県立芸術大学紀要	14
丸投三代吉・なごみの原点II	亀田　正司	姫路市立美術館だより	89
新しき誘惑への使徒たちvol. 24　丸山勉		アート・トップ	209
トヨタコレクション奥村菅次作「からくり噴水器」の素材と技法の調査および復元品の制作	宮田　亮平 篠原　行雄 三浦　定俊 丸山　智巳 押元　信幸 手銭　吾郎 原　智	東京芸術大学美術学部紀要	43
描くことが人生！　あこがれアーティスト編　丸山直文	宮村　周子	美術手帖	879

(ミ)

アート探究　漫画「ガラスの仮面」から能誕生[美内すずえ]	川口　一枝	日　経	1.14
連載30周年　“怪物”3作持続の秘密　「面白さの王道」貫きひたむきな情熱歌う[美内すずえ]	石田　汗太	読売夕刊	5.31
絵画覚書—セザンヌのサント・ヴィクトワール山—	三浦　泉	金沢学院大学紀要文学・美術編	4
三浦泉　4枚の絵	〃	〃	〃
日々好日　富本憲吉のこと	三浦　景生	新美術新聞	1097
追悼　三浦小平二先生を偲んで	上野　憲示	〃	1105
追悼抄　人間国宝の陶芸家三浦小平二さん　故郷の土青磁に新風	鈴木　嘉一	読売夕刊	11.21
気鋭新鋭　三浦太郎さん(イラストレーター)「しびれた」欧州絵本の陰影	(亜)	読　売	1.20
視点　「原爆の形象」	三浦　恒祺	美術の窓	278
表現の視座・9　人間の風景	三浦　洋二	主体美術	79
表現の視座・9　制作で思う事	三笠　晃裕	〃	〃
素顔型録Vol. 19　美術学部情報デザイン学科　三上晴子助教授の巻	萩原　朔美	たまび	40

追悼　三上浩先生	樋口　洋	新美術新聞	1085
博物学的美術史 File.5　三上誠・炎に見た宇宙		美術の窓	269
愛の旅人　愛知・一宮／札幌　「恋をしろよ」夫の遺言　三岸節子と好太郎「花より花らしく」[三岸好太郎]	及川　智洋	朝　日	6.17
美の美　愛の結晶3　三岸好太郎と節子	浦田　憲治	日　経	6.4
愛の旅人　愛知・一宮／札幌　「恋をしろよ」夫の遺言　三岸節子と好太郎「花より花らしく」	及川　智洋	朝　日	6.17
わたしのお気に入り棚のなかの小さな彼ら　粘土のオブジェ	三沢　厚彦談	芸術新潮	684
巻頭特集　私の好きな人物画Part.1　日本の木彫家が語るシュテファン・バルケンホール	舟越　桂、深井　隆、棚田　康司、三沢　厚彦談	美術の窓	268
木の作家を訪ねて18—三沢厚彦氏	三沢　厚彦、土方　明司、村山　史歩聞き手	氷　華	47
PAPER　IN　MY WORK104　美澤修　デザインに品格を与えるために	大城　譲司	デザインの現場	147
雲南と私　漫画家水木しげるさん「憑きもの」と共存　心地よさ	高原　敦	朝　日	5.23
視線　河童の三平　貸本版　上　水木しげる著	南　伸坊	〃	8.27
わたしの失敗　漫画家水木しげるさん1～4	宝田　茂樹	産　経	1.10～13
独自路線が“回帰”現象呼ぶ　妖怪ブーム　鬼太郎の生みの親水木しげるさんに聞く	篠原　知存	〃	8.17
妖怪像“増殖”ただ今117体　水木しげる氏が生誕　鳥取・境港、寄贈相次ぐ		日経夕刊	1.5
眠りの効用　水木しげるさんに聞く	中沢　義則	〃	3.9
食べたい　しあわせ食堂　「まんじゅう」月1回のぜいたく	水木しげる	毎日夕刊	8.15
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　アーティスト	Mr.	STUDIO VOICE	371
芸術教育はどこへ？	水野　哲雄	瓜生通信	35
特集　紙選びのABC　水野学　一人ひとりに届ける手紙のように	高橋　美礼	デザインの現場	148
わたしの宝もの11　思い	水野　竜生	新美術新聞	1084
第27回読売国際漫画大賞　近藤日出造賞	緑川ヒロユキ　水野良太郎	読　売	1.1
交遊抄　イイ男たち	水森　亜土	日　経	1.21
辻惟雄が出会った“日本美術”最前線の綺羅星たち	辻　惟雄、町田　久美、三瀬夏之介、篠塚　聖哉、吉田　有紀談	アート・トップ	208
三瀬夏之介の金派富士　「No　Border『日本画』から／『日本画』へ」展より		芸術新潮	675
第17回五島記念文化賞　美術新人賞に周防絵美子氏　三瀬夏之介氏		新美術新聞	1087
わたしの宝もの14　奈良町	三瀬夏之介	〃	1092
[保存版]ゼロゼロ・ジェネレーション2006　2000年代から未来へ向かう日本の新世代アーティスト108人　アーティスト・ファイル　三瀬夏之介	福住　廉	美術手帖	883
中特集　溝江勘二　日本の風景の深さを描く	一井　建二	美術の窓	276
あのころ　漫画家三田紀房さん　悟った「3倍大げさに描く」	仲川　高志聞き手	読　売	3.27
日々好日　家と庭	三谷　青子	新美術新聞	1095
日展100年記念企画「上野の思い出」　東京都美術館と日展	〃	日展ニュース	122
日展100年記念企画「上野の思い出」　上野の思い出	三谷　吾一	〃	〃
ストッキング　自在なアート　作品の素材に使い、着物やタペストリーなど制作	みつとみさよ	日　経	8.10

青春プレイバック 三橋國民　町田市原町田　アトリエ	林　茂樹	新美術新聞	1078
ひと　デビュー作の初恋マンガを描き続けて45年　みつはしちかこさん	越村佳代子	朝　日	6.13
特集　回想・上野 東京都美術館、その日本的存在	光山　茂	自由美術	2006
表現の視座・9　カボチャ頭の男が笑う	水戸麻記子	主体美術	79
第27回読売国際漫画大賞　近藤日出造賞	緑川ヒロユキ 水野良太郎	読　売	1.1
皆川明 respects南桂子　鳥と木々と……	伊部　玉紀	みづゑ	77
ビル・ヴィオラ：意識の果てへの旅	港　千尋	ART　iT	13
こころの風景	〃	朝日夕刊	3.20、22、27～29
皆川明respects南桂子　鳥と木々と……	伊部　玉紀	みづゑ	77
視線　百鬼夜行絵巻 妖怪たちが騒ぎだす 湯本豪一著	南　伸坊	朝　日	1.29
路上観察の視点ベネチアで紹介　藤森さんら伊・ビエンナーレに[南伸坊]	山盛　英司	〃	2.22
『仏像のひみつ』山本勉著	南　伸坊	〃	6.25
視線　河童の三平 貸本版　上　水木しげる著	〃	〃	8.27
視線　秘密の知識 巨匠も用いた知られざる技術の解明　デイヴィッド・ホックニー著	〃	〃	10.22
異才伝 I remember ナンシー関　その4	〃	朝日夕刊	4.28
ベネチア・ビエンナーレ　藤森照信さんら出品「俳諧的な文化を欧州へ」[南伸坊]	米本　浩二	毎日夕刊	2.20
懐かしの風景　挿絵の世界　東京都文京区	南　正時	日経夕刊	1.4
Section 2：個人研究・教員年譜　デザイン工芸学科　金属素材と生活工芸・素材研究を起点とした造形展開	南　昌伸	広島市立大学芸術学部紀要	11
口で絵筆操る素晴らしさ　幼少期に事故で両腕失い、苦労して日本画家に	南　正文	日　経	10.20
おあしす[南正文]		読　売	12.17
彫刻家の現場から13 峯田敏郎	武田　厚	美術の窓	272
日々好日　夏・山形のアトリエで	峯田　義郎	新美術新聞	1100
特集　回想・上野 私と上野	美濃部民子	自由美術	2006
座談会：日本アンデパンダン展の今日的意義と今後の方向をさぐる　ひとこと提言　日本アンデパンダン展の今後はどうあるべきか	〃	美術運動	133
アトリエの扉をあけて67　御法川哲郎 現実と非現実の間のファンタジー	杉瀬　由希	デザインの現場	147
この人　デジタル技術を駆使した浮世絵の個展をNYで開催 みはしまりさん	石山　俊彦	東　京	10.7
大臣賞制作意図　内閣総理大臣賞「海風」	三原　捷宏	日展ニュース	123
リレーエッセイ「美について」―雁皮紙―	宮　いつき	たまび	44
新作の背景　宮いつき《バスドラム》	石川　健次	毎日夕刊	2.3
物に執して(八三)[ハルオ・ミヤウチ]	鈴木　皓詞	目の眼	356
第53回日本伝統工芸展　陶芸　備前鉢 宮尾昌宏	林屋　晴三	朝日夕刊	9.22
特輯　明治の工芸 宮川香山		国　華	1328
鳩桜花図高浮彫花瓶	金子　賢治		
褐釉蟹貼付台付鉢	伊藤　嘉章		
小特集　真葛香山 三代に渡る仁清への挑戦[宮川香山]	田邊　哲人	目の眼	360
江戸博蔵めぐり　こども遊ほたるがり 宮川春汀・画	松木　寛	読　売	5.26
比較芸術学研究センター主催国際シンポジウム「服を創る文化を創る」[三宅一生]	成実　弘至	瓜生通信	37
巻頭特集　コレクターが気になる版画のめばえ　日本の新しいエディション　ミヤケマイ	ミヤケマイ	版画芸術	131

ヒートな人　宮崎吾朗さん　開放感や喜び表現したい		読　売	6.26
Close—up42　宮崎次郎　画面に塗り込められた心の揺らぎ		ギャラリー*	250
リレー・エッセイ　空間の空気を創る作家—井上雅之	宮崎　進	アート・トップ	212
作家の今・宮崎進　酒田市美術館で思ったこと	武田　厚	ギャラリー*	249
2006戌年新春企画　年男年女	宮崎　進	新美術新聞	1076
「徹底」した人—宮崎進とその仕事	竹田　博志	美術の窓	269
視点　雪の酒田に「宮崎進」展をみる	竹澤　雄三	〃	270
彫刻家の現場から12　宮崎進	武田　厚	〃	271
視点　ヒロシマと美術／切り花に根はつかない[宮崎進]	竹澤　雄三	〃	〃
ホモ・テクニクス、ホモ・ナトゥーラ《5》　宮崎駿、押井守、庵野秀明のサイボーグ形姿たち	高橋　透	水声通信	8
総特集　アーシュラ・K・ル＝グウィン『闇の左手』から『ゲド戦記』まで　ふたつの戦記[宮崎駿]		ユリイカ	523
宮崎吾郎はいったい何を捨てて無垢を拾ったか	池田　雄一		
「宮崎的運動」のために	中田健太郎		
宮崎駿監督が選考委員に		日　経	7.7
宮崎駿の思い　上、下	田村　広済	日経夕刊	5.1、2
アカデミー会員宮崎監督が辞退		〃	7.29
巻頭特集　コレクターが気になる版画のめばえ　日本の新しいエディション　宮崎勇次郎×イタヅ・リトグラフィック　版画工房は刷師がサポート！　ペインターの版画制作現場	宮崎勇次郎、板津　悟　談　秋田　取材・構成	版画芸術	131
交遊抄　プロジェクトZ[宮廻正明]	足立　隆則	日　経	2.3
巻頭特集　年賀状版画の楽しみ	宮下登喜雄	美術の窓	279
絵と物語22～33	宮島永太良	〃	268～279

柿の木プロジェクト　平和・アート問い続ける　長崎で被爆した苗木送り10年[宮島達男]	山盛　英司	朝日夕刊	9.15
第19回「京都美術文化賞」　受賞者のことば	宮瀬　富之	美術京都	37
日韓美術交流2005　交流に参加して　文化交流にはほんの小さな海峡があるにすぎないのだ	宮田　啓子	美術運動	133
第一特集　プロダクト・デザインの現在　NEW DESIGN PARADIGM UNDER 35 DESIGNERS LIST　宮田里枝子	岡田　栄造	STUDIO VOICE	365
AT 207　Remarkable PERSON　「人の和」で舵取りに臨む　宮田亮平さんが東京芸術大学の新学長に	(根)	アート・トップ	207
200号記念　鼎談「書と美術」前編、後編	小野　清子、津金　高邦、宮田　亮平　談　田宮　文平　司会	書道界	200、201
トヨタコレクション奥村菅次作「からくり噴水器」の素材と技法の調査および復元品の制作	宮田　亮平　篠原　行雄　三浦　定俊　丸山　智巳　押元　信幸　手銭　吾郎　原　智	東京芸術大学美術学部紀要	43
日枝神社天井画4000万円で受注　芸大冥利に尽きます[宮田亮平]	澤　圭一郎	毎　日	12.19
特集　グラウンディング　地図を描く身体　風景の構法　環境ノイズエレメントはどうすれば見つかるか	宮本　佳明	10＋1*	42
土曜訪問　震災家屋の公費解体に疑問　宮本佳明さん(建築家)	関口　威人	東京夕刊	9.16
《連載》戦時下日本の美術家たち　第6回　南方従軍画家Ⅱ[宮本三郎]	飯野　正仁	あいだ	128
Galerie Aube exhibition series—2　『ながめのある部屋』関連企画　対談宮本隆司×飯田高誉	仲　彩子	瓜生通信	36

社会人Myキャンパス　教える人　写真家　宮本隆司　上、中、下　神戸芸術工科大・先端芸術学部	宮本　隆司	日経夕刊	10.6、13、20
顔　文化庁メディア芸術祭功労賞に決まった　宮脇修さん	田島　武文	読　　売	1.7
憧れワークにつくために今日からはじめること　☆miyuki	藤田　容子	みづゑ	77
交遊抄　甲冑から風鈴へ[明珍宗理]	津田　隆雄	日　　経	12.14
座談会：日本アンデパンダン展の今日的意義と今後の方向をさぐる　ひとこと提言　日本アンデパンダン展の今後はどうあるべきか	三好　秀憙	美術運動	133
2006戌年新春企画　年男年女	三輪　晃久	新美術新聞	1076
茶室の工芸学―現代工芸家の茶器　三輪休和「萩四方水指」	唐澤　昌宏	淡　　交	740
[特集２]萩焼の造形美　人間国宝三輪壽雪の世界		現代の眼	559
三輪壽雪の鬼萩茶碗	林屋　晴三		
三輪壽雪先生とご家族	池内　淳子		
澄心庵茶話　その九　三輪壽雪(上)(下)	杉浦　澄子	陶　　説	637、638
神宮名品解説　神宮美術館所蔵奉納美術品　工芸「白萩割高台茶碗」[三輪壽雪]	(本多)	瑞　　垣	204
96歳の挑戦　人間国宝・三輪壽雪　上、下	福島　建治	朝日夕刊	7.13、18

(ム)

「回」	向山　麻子	明星大学研究紀要	14
オークションの逸品　棟方志功の「光明妃の柵」		ギャラリー*	259
棟方志功と鹿児島	濱島めぐみ	グリーンルーフ	60
故三宅忠一の講演記録　鬼才棟方志功の芸術と人間１～４		日本の民芸	602～605
棟方志功と青森　東北経鬼門譜	若井　秀美	棟方志功記念館だより	19
追悼　あるカメラマンの死[村井督侍]	笹木　繁男	jaic会報	3
研究ノートから《アラブの窓》を開けたら《ロンバルディア》―村井正誠の抽象絵画ことはじめ	植野比佐見	和歌山県立近代美術館ニュース	47
研究ノートから《アラブの窓》から長者丸の窓へ―村井正誠と長谷川三郎の抽象表現	〃	〃	48
フェイス21世紀94　村岡貴美男　乾きと潤いの間で	油井　一八	新美術新聞	1106
国質(病巣)と美術Ⅱ―創造のための曲がり角	村岡　三郎	あいだ	125
特集　はじめての武満徹　武満徹をみる　その１ようこそ、武満美術館へ　村上華岳《紅葉の山》	編　集　部	芸術新潮	677
MAYA　MAXXの「ふるえるほど好き」第８回[村上華岳]	來嶋　路子	みづゑ	77
学芸随想５　10年目の「紙破り」[村上三郎]	山本　淳夫	フラミンゴ	87
《貴賓席》毛利嘉孝さんの村上隆批判に、若干の疑問	松永　　康	あいだ	130
秋本康教授特別講義ゲスト：村上隆氏	今西真理恵	瓜生通信	35
2005年度芸術選奨　文部科学大臣賞に和田義彦氏、妹島和世氏、新人賞に西雅秋氏、村上隆氏		新美術新聞	1086
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　INTERVIEW　村上隆　「あの時代」の天才、北大路魯山人	村上　　隆	STUDIO VOICE	371
村上隆企画「リトルボーイ」展が「アイカ・アワーズ」受賞	藤森　愛実	美術手帖	878
特集　藤田嗣治　徹底討議　フジタよ甦れ！21世紀の美術史のために	村上　隆 椹木　野衣	ユリイカ	519
米NY・最優秀テーマ展　村上隆さん企画の「リトルボーイ」に	江木　慎吾	朝　　日	2.28
日本発、芸術で起こす「無血革命」　村上隆の“起業論”	猪谷　千香	産　　経	8.9
芸術選奨に28人「故郷に錦を飾った気分」[村上隆]		日　　経	3.16

日本を磨く　美と徳をみつめて２　美術家　村上隆氏	大島　三緒 聞き手	日　　経	6.27
本の現場　村上隆さん　世界の風雲児が書いた“ビジネス書”	三田　晴夫	毎日夕刊	9.1
「GEISAI」今年で終了［村上隆］		読　　売	9.21
第15回MOA岡田茂吉賞　絵画部門優秀賞	村上　裕二 談	アート・トップ	210
人らんだむ　第15回MOA岡田茂吉賞絵画部門優秀賞を受賞した　村上裕二さん天心の志を受け継いで		新美術新聞	1085
《追悼：村上善男／講演再録》岡本太郎と私、そして東北	村上　善男	あいだ	127
《追悼：村上善男》		〃	〃
村上善男さんにたずねてみたかった３つのこと	内藤　正敏		
暖色と直線―陸奥で闘った才人	池田　龍雄		
光る注射針―青春の記憶から	松尾　一男		
村上善男さんから教えられたこと	三上　満良		
北国の民俗に根ざした孤高の芸術　画家・村上善男さんを悼む	菊畑茂久馬	毎日夕刊	5.17
追悼抄　美術家村上善男さん　東北こだわり制作活動	小平　昇一	読売夕刊	6.6
作家訪問353　陶芸家　村田今日子さん	編　集　部	目の眼	356
村田省蔵　2004年作品の解説	村田　省蔵	金沢学院大学紀要文学・美術編	4
第二特集　DOCUmentary NOW！ドキュメンタリー写真の現在　長倉洋海×村田信一インタヴュー	飯沢耕太郎 聞き手	STUDIO VOICE	362
作家の今　アーティストと美術館の新しい展開［村田朋泰］		ギャラリー*	251
特集　2006新人大図鑑　デビューへの道…若手作家の成功への道を辿る　アニメーションからアートへ―村田朋泰		美術の窓	271
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　アーティスト	ムラタ有子	STUDIO VOICE	371
特集　マンガは芸術（アート）か？　進化するマンガ表現のゆくえ　村田蓮爾　線とかたちに載せる思想	石井　芳征	美術手帖	876
村野藤吾に関する美術史上の研究―造形と形成過程について―	福原　和則	鹿島美術財団年報別冊	23
ヒロシマの「戦後」重文に［村野藤吾］		朝日夕刊	4.22
単眼複眼　建築界の両雄「丹下と村野」、重文に　「戦後初は広島」に意志	大西　若人	〃	4.26
資料紹介　村山槐多の森谷南人子宛葉書	上薗　四郎	美術フォーラム21	13
九十五回碌山忌記念講演「夭折の芸術家たち」［村山槐多］	窪島誠一郎 丸山と志江	碌山美術館報	26
美の美　結集する個性―アトリエ村三景下［村山槐多］	富田　律之	日　　経	5.14
彫刻家の現場から15　村山哲	武田　　厚	美術の窓	274
巻頭特集　東京―ベルリンの邂逅　2.両都市を往還する人々　村山知義	水沢　　勉	アート・トップ	208
特集　村山知義とマヴォイストたち		水声通信	3
抵抗態を組織すること	松浦　寿夫		
マヴォの意識的構成主義　両大戦間期日本における美術、個人主義、日常生活	ジェニファー・ワイゼンフェルド著 五十殿ひろ美 訳		
マヴォと近代の夢	白川　昌生		
この上なく賢い不完全さ　村山知義という現象のための走り書き	水沢　　勉		
意識的構成主義からプロレタリアのグラフィクスへ	滝沢　恭司		
村山アトリエ再説	五十殿利治		
アヴァンギャルドとセクシュアリティ　マヴォ／『放浪記』	谷口　英理		

村山知義にとっての「写真」 構成派と現実性	光田　由里		
「不統一」な演劇 村山知義演出『ユーディット』	正木　喜勝		
昭和、アヴァンギャルドのダイナミズム 村山知義、飯島正、群司次郎正	波潟　剛		
『演劇的自叙伝』は、一九三〇年で終わっている	林　淑美		
村山知義にとっての朝鮮	喜多恵美子		
特集 工芸発見！日本美術ってすごい！ コンテンポラリーなモノ作家たち 村山留里子	Miwa Takahashi	美術手帖	882
繰り返し模様を用いた表現	室田　泉	大阪成蹊大学芸術学部紀要	2

（モ）

[作品研究]毛利武士郎—素材の変貌	三輪　健仁	現代の眼	558
《新刊紹介》この50年—戦後日本を鮮烈に浮き彫りした写真集『黒色●虚彩』[毛利ユリ]	編集部	あいだ	122
あの人が推す、今注目のクリエーター3 モーメント[MOMENT]	土田　貴宏	AXIS	122
釧路 奇才建築家の古里[毛綱毅曠]	浅川　澄一	日経	10.4
Artist Interview78 本秀康 箱庭の美学	石田　純子	デザインの現場	146
碌山美術館の屋台骨だった基俊太郎先生を偲ぶ	柳沢　廣	碌山美術館報	26
特集 デザインを読む！ ブックガイド300 私の1冊 4 MOTOKO	杉瀬　由希	デザインの現場	145
わたしの失敗 画家元永定正さん1～4	丸橋　茂幸	産経	5.2～5
かたち百景 空に浮かぶ水の彫刻 軽やかで明るい前衛[元永定正]	(稔)	日経	5.28
ひと 50年前の作品をドイツで再制作する 元永定正さん	田原由紀雄	毎日	4.3
第一特集 写真を撮る方法～カメラ選びから、撮影、プリント、それを人に見せるまで Lesson 4 "MONOCHROME PHOTO" 本山周平 なぜモノクロで撮るのか？	編集部 インタヴュー	STUDIO VOICE	367
「NEVERLAND マイ・ハバナ」百瀬俊哉著		日経	9.3
フェイス21世紀83 森京子 描きたい作品を目指して	油井　一八	新美術新聞	1076
特集 美術史家の価値評価を問う7 南画家森琴石と銅版画師響泉堂—美術史の雑閣に紛れた画家の二重肖像	熊田　司	美術フォーラム21	13
特集 「彫刻」ってなんだろう？ 彫刻というメディアのメカニズムを解明する 彫刻の生まれる場所 森淳一	大森　俊克	美術手帖	877
大漁旗 絵柄の謎を解く 独楽や達磨に見る海の男の心意気	森　庄平	日経	4.7
森正—「女のカンザシ」から「陶彫の仏像」へ	柴辻　政彦	陶説	640
庶民見守る屋根神さま 愛知や岐阜に今も残る祠、写真に撮り続け6年	森　実	日経	8.16
追悼 森正洋 日本の食卓にモダニズムを持ち込んだセラミックデザイナー	土田　貴宏	デザインの現場	145
追悼抄 陶磁器デザイナー森正洋さん 日常使う器を作る喜び	高橋　直彦	読売夕刊	1.10
人と書20 陶芸家・森岡成好の書(2)	真鍋　井蛙	目の眼	353
花原壽美恵さんをしのんで	森川ユキエ	主体美術	79
座談会：日本アンデパンダン展の今日的意義と今後の方向をさぐる ひとこと提言 日本アンデパンダン展の今後はどうあるべきか	森田　隆一	美術運動	133
故・夏目四郎様を偲んで	森田りえ子	新美術新聞	1102
資料紹介 村山槐多の森谷南人子宛葉書	上薗　四郎	美術フォーラム21	13

[研究報告]東京国際ミニプリント・トリエンナーレによる共同研究	森野　眞弓	多摩美術大学研究紀要	20
巻頭特集　写真と絵画の対話　往還する「リアル」とその行方 第3章　写真と絵画を往還する新たな眼差し　扮装する自分、ドキュメントする写真	森村　泰昌談	アート・トップ	207
名画シリーズ前夜 森村泰昌の知られざる卓上写真		芸術新潮	675
書を感じる人たち1	森村　泰昌	墨	180
特集　東京に落ちた最後の美術爆撃　全身全景　大竹伸朗 大竹伸朗と私、「全景」と私　ジャージの信頼	〃	美術手帖	889
卓上のバルコネグロ 森村泰昌著		日　経	2.12
アート探究　森村泰昌の「烈火の季節」 20世紀の記憶を残す	小川　敦生	〃	11.18
読書日記	森村　泰昌	日経夕刊	
1　『ナルニア国物語』 恐ろしくも魅惑的な魔女			5.10
2　『テロルの決算』 悲劇の偶然と必然を解読			5.17
3　『梅原猛の授業　仏教』 かつての講義思い出す			5.24
4　『何処にもない木』 本は情報以前の声・皮膚・身体			5.31
ニッポン写真の革新者たち4　森村泰昌、名画に成りきる欲望	飯沢耕太郎	日経夕刊	6.1
論点　「美しい国」の原点とは	森村　泰昌	毎　日	9.30
「卓上のバルコネグロ」森村泰昌著	(前)	読　売	2.5
森村泰昌さん“20世紀の暗部”シリーズ 暴力の衝撃鎮める儀式	前田　恭二	〃	11.16
絵のある暮らしって素晴らしい！　life with artを実践している作家たちの作品とテクニック　森本ひであつ	小神野そのこ	美術手帖	879
特別記事　『あゝ、荒野』特装版プロジェクトを追う[森山大道]	編　集　部	デザインの現場	148
都市表象分析24　犬の街　境界の都市人類学のために[森山大道]	田中　純	10＋1*	42
写真よさようなら 森山大道	辻　絵里子	美術手帖	880
越後妻有アートトリエンナーレ2006 INTERVIEW 02　森山大道	橋本　誠	〃	884
あれこれ考えるのはさて置いてさ、まず沢山写真を撮らないとダメだぞ、と最近はそれだけを自分に言いきかせているんです。	森山　大道	百　科*	527
写真よさようなら 森山大道著		日　経	5.7
アート探究　森山大道33年前の8ミリ発見　「写真とは？」問い続けた　アレ、ブレ、ボケ新宿雑踏の空気	小川　敦生	〃	8.12
読書日記	森山　大道	日経夕刊	
1　『マラケシュの声』 人間存在の深みに導く			1.5
2　『波止場日記』 共感と勇気体に突き上げる			1.12
3　「神戸」「続神戸」魅力に満ちた世界映す			1.18
4　『路上』戦後の米国の姿そこに			1.25
森山大道写真集「t-82」	(前)	読　売	11.5
特集　回想・上野 私と上野	森山　誠	自由美術	2006
Lake　Awareness	森脇　裕之	多摩美術大学研究紀要	20
日展会員賞制作意図「雪原」	森脇　正人	日展ニュース	123
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　イラストレーター	師岡とおる	STUDIO VOICE	371
葦ペン、生え出る絵心　福岡・筑豊の風景や人物をスケッチして半世紀	諸藤　浩之	日　経	7.18

(ヤ)

URYUYAMA PEOPLE 005 八木幾朗	八木　幾朗	瓜生通信	35
陶芸史における「オブジェ」導入の経緯と非実用的陶芸としてのオブジェの成立—《ザムザ氏の散歩》と八木一夫の作家性をめぐって—	外舘　和子	東洋陶磁	35
特集　昭和の美術　シュルレアリスムと行動主義—小松清、福沢一郎、矢崎博信を中心に	大谷　省吾	近代画説	15
シュルレアリスムの影響を受けた日本の画家たちにおける、生と死の表象について—瑛九、矢崎博信、浜田浜雄を例に	〃	芸　叢	22
特集　マンガ批評の最前線　『NANA』は7と8のドラマである[矢沢あい]	宮本　大人	ユリイカ	515
第一特集　写真を撮る方法～カメラ選びから、撮影、プリント、それを人に見せるまで　Lesson 6　"SHOOTING"　屋代敏博　行為としての写真とは何か？	飯沢耕太郎インタヴュー	STUDIO VOICE	367
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　写真家	屋代　敏博	〃	371
近代美術の東京　安井曽太郎　金蓉	三輪　健仁	読　売	11.10
彫刻家の現場から20　安田侃	武田　厚	美術の窓	279
追悼　青年彫刻家建畠覚造　快哉	保田　春彦	新美術新聞	1083
絶対の探求—アルベルト・ジャコメッティ展から2	〃	東京夕刊	6.27
仏教美術再評価と近代日本画—安田靫彦筆「夢殿」に見る聖徳太子顕彰—	三上　美和	鹿島美術財団年報別冊	23
特集　美術史家の価値評価を問う8　戦時下における美術と美術評論—安田靫彦《黄瀬川陣》を中心に	前田　興	美術フォーラム21	13
第25回損保ジャパン美術財団選抜奨励展受賞作品紹介　平面作品部門「秀作賞」	安富　洋貴	産　経	3.15
かたち百景　機動戦士ガンダム　クールな造形　人間的な温かみ[安彦良和]	(稔)	日　経	9.3
博物学的美術史 File.12　生人形、江戸の通俗リアリズム[安本亀八]		美術の窓	276
脳梗塞乗り越え絵画展開催　矢谷長治さん	小東　呂敏	東　京	10.4
受賞者インタビュー144　第10回新生展　彌月風太朗		ギャラリー*	259
[特集2]母性的なものへの目覚めのかたち[柳宗理]	杉浦　康平	現代の眼	561
[特集2]使って分かる柳宗理デザインキッチン道具のよさ	大橋　歩	〃	561
佐々木豊のホンネでファイト　第6回　"美術"はオールドスタイルの極致?!	佐々木　豊、やなぎみわ談	アート・トップ	210
第16回タカシマヤ美術賞決定　伊藤誠氏彫刻　橋本夕紀夫氏デザイン　やなぎみわ氏　写真・映像		新美術新聞	1079
老男・老女十選　1～10	やなぎみわ	日　経	11.1～3、6、7、9、10、14～16
Section 2：個人研究・教員年譜　デザイン工芸学科　犬島プロジェクト	柳　幸典	広島市立大学芸術学部紀要	11
日本で一番、月が美しく見える美術館—響き会う二つの芸術—奥田元宋・小由女美術館開館	柳澤　孝彦	アート・トップ	210
第19回美浜美術展大賞に柳澤裕貴氏		新美術新聞	1103
わたしの修業時代　やなせたかしさん　多才な「便利屋」ついに代表作	岡本　耕治	産　経	1.9
わたしの失敗　漫画家やなせたかしさん　1～4	堀　晃和	〃	6.20～23
夢の新春対談アンパンマンと毎日かあさん　上、中、下	やなせたかし、西原理恵子談	毎　日	1.1、3、4
食べたい　しあわせ食堂　「あんぱん」焼きたてが最強　小倉にかなうものなし	やなせたかし	毎日夕刊	5.16

手塚治虫ら８人共作あわや銭湯燃料　お宝「壁画」残った[やなせたかし]		読売夕刊	5.23
カエデ1000種写真家染まる　料理写真に季節添えようと収集、色も味わう	矢野　正善	日　　経	11.29
「異能画家の憂鬱」『ギーガーズ・エイリアン』H. R. ギーガー著	ヤノベケンジ	ＡＸＩＳ	120
特集　デザインを読む！　ブックガイド300　私の１冊　３　ヤノベケンジ	編　集　部	デザインの現場	145
URYUYAMA　PEOPLE　013　八幡はるみ	八幡はるみ	瓜生通信	37
特集　最新の彫刻史研究　彫刻文化財における三次元デジタルデータの集積と活用	籔内佐斗司	文化財*	512
巻頭特集　'06心にのこる風景画ベスト118　ルソーの風景画と日本人美術家たち　インタビュー　矢吹申彦		美術の窓	276
ルソー展を見て３　拙く描く	矢吹　申彦	東　　京	11.30
新聞旧聞　山尾薫明氏のこと	岩瀬　行雄	jaic会報	7
巻頭特集　コレクターが気になる版画のめばえ　日本の新しいエディション　山口藍　自分で作る「私の女の子」―ものづくりへのこだわり	秋　田	版画芸術	131
描くことが人生！あこがれアーティスト編　山口晃	宮村　周子	美術手帖	879
特集　BTの画材講座　アトリエ訪問インタビュー　山口晃	藤城　里香 編　集　部	〃	886
旬発力　"あるべき出会い"模索　現代美術家山口晃	岡本　耕治	産　　経	12.23
ヤマで生きる喜び満ちて　元炭坑マン・山口勲さんが写真集	米本　浩二	毎日夕刊	5.10
特集　加納光於の芸術　加納光於―光の絵画	山口　啓介	水声通信	8
画家たちの美術史45　山口啓介	横山　勝彦	美術手帖	887
アクリリックス・ワールド36　山口聡一	石井　芳征	〃	888
マンガの居場所「シグルイ」を読む"覚悟"必要[山口貴由]	瓜生　吉則	毎日夕刊	11.28
特集　そろそろうるし　三　日本民藝館の気になる十点　「漆ってモダンなんです」	山口　信博	芸術新潮	684
山口八九子資料Ⅳ―八九子の日記(昭和八年五月～九月)―	丹尾　安典	早大会津八一記念博紀要*	7
Paper　Works	山口まち子	名古屋造形芸大紀要*	12
座談会　2006新人賞展「受賞作家に聞く」	栗本　浩二、佐々木三枝子、山口　道子、吉田　文也、横尾　茂、市川　秀光、窪田　旦佳司会　遠藤　知義、西村　幸生記録	自由美術	2006
Artist　Interview80　山崎杉夫　画風を超えた「らしさ」	石田　純子	デザインの現場	148
Art　Scape　日本画のホントの秘密　山崎宏氏に聞く「充満する四つの時間」展	編　集　部	アート・トップ	212
宿命と闘った画天使　山下清と沼祐一たち(２)	三頭谷鷹史	名古屋造形芸大紀要*	12
山下清澄新作銅版画集『ゾーディアック　あるいはサッポの庭園』	秋　田	版画芸術	131
2006戌年新春企画　年男年女	山下　保子	新美術新聞	1076
プリントゴッコ　山田詩子さんと、絵本のようにラッピング	藤田　容子	みづゑ	76
建築　山田幸司「笹田学園田町校舎」	五十嵐太郎	毎日夕刊	7.31
山田脩二の「庭」を歩く	横山　　正	ART RAMBLE	10
作家の今　アーティストと美術館の新しい展開[山田脩二]		ギャラリー*	251
国と私６　従軍画家「ゆがめられた愛国心」[山田新一]		朝　　日	8.13
ヤマダトミオのスペイン・アート通信70～80	ヤマダトミオ	ギャラリー*	249～259
ヘアサロン＋住宅	藤木　庸介 山田　細香	京都嵯峨芸術大学紀要	31

ストライプがもたらす光　山田正亮のストライプをめぐって	山本　斉	芸術学研究(筑波)	10
Close—up58 YAMADA Yuko 日本の風俗から文化を捉えようとする視線と美術史の最先端を行く絵画表現を…		ギャラリー*	260
コミック教養講座 へうげもの　山田芳裕[著]	吉田　豪	朝　日	1.15
破天荒に茶の湯漫画 古田織部を主人公に「へうげもの」　山田芳裕さん	前田　恭二	読　売	6.30
ギャラリー散策　ワタシの視線7　「知的興奮を掻き立てられる」[ヤマダリュウ]	雨宮　舜	ギャラリー*	259
特集　東京に落ちた最後の美術爆撃　全身全景　大竹伸朗 THE 5／2000　ヤマタカEYEによる「全景」展の独断ベスト5	ヤマタカEYE、宮村　周子取材	美術手帖	889
モダン日本グラフィック3、4最終回 山名文夫その1、2	海野　弘	〃	885、886
[COLUMN]MORE DESIGN12　KAZUHIRO　YAMANAKA[山中一宏]	中島　恭子	STUDIO VOICE	365
[研究報告]上野毛アートブリッジ	山中玄三郎	多摩美術大学研究紀要	20
BAD　INTERVIEW 山中俊治インタヴュー	大城　譲司	STUDIO VOICE	361
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　プロダクトデザイナー	山中　俊治	〃	371
特集　もうひとつのデザイン・ユートピア　テクノロジカル・デザイン&アーキテクチャー　山中俊治　冗長性を備えたテクノロジー・デザイン	山中　俊治談 藤崎圭一郎取材・文	美術手帖	878
Close—up49　山中眞寿子　描くことは最大の楽しみであり、自分との戦い		ギャラリー*	255
コミック教養講座 山松　Very Best of Early Years　山松ゆうきち[著]	湯浅　学	朝　日	2.19
巻頭特集　実践！海外留学ガイドブック dialogue　遠藤彰子×山本明比古		美術の窓	270
Go！Artists Go！19 山本一弥	柘植　響	美術手帖	878
二つの水浴図　山本鼎「ブルトンヌの水浴」とセザンヌ「水浴」	金子　一夫	一　寸	26
連載　黒崎彰の続・版画史解剖20世紀編3　山本鼎と恩地孝四郎—近代日本の創作版画運動	黒崎　彰	版画芸術	131
第五十九回全国大会研究発表要旨　近代における雑誌投稿欄と美術の普及—竹久夢二選評『新少女』投稿欄と山本鼎「自由画選評」との比較から—	高橋　律子	美術史	161
美の美　浮世絵その後　中—版画の誕生[山本鼎]	松岡　資明	日　経	10.1
巻頭特集　画肌(マチエール)の秘儀　絵具はいかにして生命を育むか　日本画の肌合いとその心　山本丘人　画肌づくり秘話	稗田　一穂	アート・トップ	209
受賞者インタビュー143　黒彩画展　山本真一		ギャラリー*	257
第6回雪舟の里総社墨彩画公募展　大賞に山本真一氏		新美術新聞	1096
特集　回想・上野　私と上野	山本　辰昭	自由美術	2006
特集　BTの画材講座　画材を「解く」	酒井　千穂	美術手帖	886
画材工場見学2　ニッポン画家山本太郎さんと行く　ナカガワ胡粉絵具・胡粉工場			
街の画材店を訪ねる1　ニッポン画家山本太郎さんと行く　彩雲堂本舗			
2006戌年新春企画　年男年女	山本　貞	新美術新聞	1076
新・私のアルバム4　山本貞	小森佳代子	美術の窓	270
彫刻家の現場から14　山本正道	武田　厚	〃	273
アーティスト訪問38　山本麻友香		ギャラリー*	259

私の修行時代　山本容子さん　100枚使った独創的訓練	山本　容子	産　　経	2.6
新春対談「イメージの力が開く世界」	山本　容子 茂木健一郎	東　　京	1.3
この人この本『Jazzing』銅版画家　山本容子さん	栗原　　淳	〃	10.15
駿台散歩[山本蘭村]	丹尾　安典	一　　寸	28
特集「美術館」という空間	都築　響一、山本　理顕談	横須賀美術館準備ニュース	3
巻頭特集　コレクターが気になる版画のめばえ　日本の新しいエディション　山本竜基	山本　竜基	版画芸術	131

（ユ）

湯浅一郎資料調査報告補遺	染谷　　滋	群馬県立近代美術館研究紀要	2
私の履歴書　浪人2年目、父の助言　絵画の魅力知りのめり込む[結城素明]	小堀　宗慶	日　　経	8.8
名画はあそんでくれる1～27	結城　昌子	東京夕刊	8.28～9.2、4～9、11～16、19～22、25～29
第二特集　映画で世界を読む！～『王と鳥』と風刺映画の射程　『王と鳥』から読めるモノ！	有太マン	STUDIO VOICE	368
OGインタビュー　クレイアニメーション作家　湯崎夫沙子さん	三ツ木知昭、林　亜紀子インタビュー・文	女子美	154
RANGOON RADIO 宇川直宏[著]、白根ゆたんぽ[イラスト]、弓田ヒロ[写真]	辻　絵里子	美術手帖	883

（ヨ）

近代美術の東京　陽咸二　優勝チーム	大谷　省吾	読　　売	1.13
特集　回想・上野「70周年自由美術」と私	横尾　　茂	自由美術	2006
座談会　2006新人賞展「受賞作家に聞く」	栗本　浩二、佐々木三枝子、山口　道子、吉田　文也、横尾　　茂、市川　秀光、窪田　旦佳司会　遠藤　知義、西村　幸生記録	〃	〃
サンタナと横尾忠則その出会いが生んだ吃驚仰天アルバム		芸術新潮	679
PARIS発　横尾忠則—視覚の脅迫	安部　雅延	新美術新聞	1087
Y字路　横尾忠則	辻　絵里子	美術手帖	878
視線　横尾忠則　Y字路　横尾忠則著	山下　裕二	朝　　日	2.26
記憶にこびりつく3時間　巨匠の館を訪ねた30年前の夏　ダリ回顧展　生誕百年記念[横尾忠則]		〃	10.30
本の顔『日本美術の歴史』辻惟雄著　「わが意を得たり」3つの鍵	横尾　忠則	産　　経	3.19
横尾忠則インタビュー　「Y字路の謎」に導かれ　初めて欧州で絵画個展	藤田　綾子	〃	4.26
パリで初の絵画個展を開いて	横尾　忠則	東　　京	4.1
遠い視線近い視点	〃	東京夕刊	1.11、25、2.8、22、3.8、22、4.12、26、5.10、24、6.14、28、7.12、26、8.9、23、9.13、27
交錯する夢5　ルソー展から	横尾　忠則	東京夕刊	11.7
横尾忠則　Y字路　横尾忠則著		日　　経	1.29
人生のゴール　横尾忠則さんに聞く　プロセスこそ面白い	宝玉　正彦	日経夕刊	2.2
こころの玉手箱　美術家　横尾忠則1～5	横尾　忠則	〃	8.21～25
好きなもの	〃	毎　　日	9.24
横尾忠則さんがパリで欧州初の絵画展「直感」を大切にして	福井　　聡	毎日夕刊	3.14
横尾忠則さんのお品書き　お好み焼き“料理になる手前”がいい	斎藤　雄介	読　　売	6.5

新私のいる風景　美術家横尾忠則さん Y字路　意識下の記憶　交差する闇	前田　恭二	読売夕刊	3.18
巻頭特集　実践！海外留学ガイドブック フロントランナーが語る海外進出のコツ	横溝　静、さわひらき、鈴木　友昌 対談 伊東　豊子 構成・文	美術の窓	270
特集　建築設備の評価の視点　論考「建築設備の可能性」2 テクノロジーロマン	ヨコミゾマコト	建築雑誌	1545
高橋由一・横山松三郎と長崎の「レーマン」—幕末・明治初期の油彩画伝習と普及—	萬木　康博	鹿島美術財団年報別冊	23
慶応義塾大学所蔵作品調査・保存活動 2.横山大観《富士山》の修復	小林　嘉樹 柳　井 担当・記	慶応義塾大学アート・センター年報	13
岩絵具の新表現・横山大観『山路』(京都国立近代美術館蔵)の調査報告	荒井　経 柏木　聖子 越智波留香	東京学芸大学紀要	58
横山大観《聴法》制作背景としての「エクスプレッション」—画中人物の感情表現をめぐって—	植田彩芳子	美　学	225
大観の東南アジアに取材した作品について	池田　博子	横山大観記念館館報	22
こころの玉手箱　日本画家　平山郁夫2 横山大観先生	平山　郁夫	日経夕刊	2.21
コミック教養講座 鉄人28号　原作完全版　横山光輝[著]	湯浅　学	朝　日	3.12
横山裕一の新作2連発！無音鉄道疾駆長篇漫画と美麗彩色奇天烈画集		芸術新潮	682
横山裕一カラー画集	石井　芳征	美術手帖	887
Section 2：個人研究・教員年譜　美術学科油絵専攻	吉井　章	広島市立大学芸術学部紀要	11
特集　心をつかむ展示空間、ディスプレイ、広告　プレゼンテーションの底力 サローネから学ぶ“見せ技”[吉岡徳仁]	矢島みゆき	デザインの現場	147
2006戌年新春企画 年男年女	吉川　優	新美術新聞	1076
「吉阪隆正展」(東京展・京都展・九州展)を終えて	倉方　俊輔	建築史学	47
Voice　ワークショップに向けて考えたこと	吉澤　美香	THE GALLERY	43
を—73	〃	多摩美術大学研究紀要	20
画家たちの美術史39 吉澤美香	横山　勝彦	美術手帖	878
吉澤美香さん　画風に新境地		日経夕刊	2.16
3.教育普及事業 1)公開制作2「'00→'01　時の間」吉田亜世美		府中市美術館年報	2000–2005
観覧車　海から怪獣が…妄想爆発　漫画家吉田戦車さん	石田　汗太	読売夕刊	7.22
コミック教養講座 ハリス無段　完全版 梶原一騎[原作]吉田竜夫[漫画]	吉田　豪	朝　日	2.5
総特集　稲垣足穂 紙上美術展　ピープショーの薄い世界で	吉田　稔美	ユリイカ	525
吉田初三郎鳥瞰図に描かれた昭和初期の官庁街の立体的空間構成—近世城下町を基盤とする県庁所在都市18都市を対象として—	松浦健治郎	日本建築学会計画系論文集	602
座談会　2006新人賞展「受賞作家に聞く」	栗本　浩二、佐々木三枝子、山口　道子、吉田　文也、横尾　茂、市川　秀光 窪田　旦佳 司会 遠藤　知義、西村　幸生 記録	自由美術	2006
座談会：日本アンデパンダン展の今日的意義と今後の方向をさぐる　ひとこと提言　日本アンデパンダン展の今後はどうあるべきか	吉田　光正	美術運動	133
辻惟雄が出会った“日本美術”最前線の綺羅星たち	辻　惟雄、町田　久美、三瀬夏之介、篠塚　聖哉、吉田　有紀 談	アート・トップ	208
Section 2：個人研究・教員年譜　デザイン工芸学科　原爆ドームの水面上映	吉田　幸弘	広島市立大学芸術学部紀要	11

ヨシダ・ヨシエ健在ナリ！		ギャラリー*	252
第一特集　現在進行形コミックガイド　コミックを読む方法2006—2007　PART I 現在進行形コミックガイド！『大奥』よしながふみインタヴュー	伊藤　剛	STUDIO VOICE	369
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　写真家	吉永マサユキ	〃	371
やすらぎ	吉野　毅	多摩美術大学研究紀要	20
彫刻家の現場から16　吉野毅	武田　厚	美術の窓	275
古唐津陶片が語るもの	吉野　靖義	陶　説	636
吉原治良の円環	松本　透	現代の眼	557
[特集]吉原治良		〃	558
「近代画」としての円	平井　章一		
吉原治良の新発見作品《朝顔と土蔵》と鈴木三郎	大谷　省吾		
美術　「吉原治良」展　独創性の陰に熟慮と実験	前田　恭二	読売夕刊	1.12
対談　「新手」という創造性を求めて	梅原　猛　吉原　英雄　談	美術京都	36
特集　回想・上野　半世紀におよぶ付き合い	吉見　敏治	自由美術	2006
遂に完成した耐熱燿変ガラス	由水　常雄	淡　交	740
ゴッホ美術館で公開される明治美術の逸品　伝説的コレクターハリリ博士に聞く	吉屋　敬	東　京	6.10
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　写真家	米田　知子	STUDIO VOICE	371
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　プロダクトデザイナー	米谷ひろし	〃	〃
萬鉄五郎　写真の秘め事		芸術新潮	677
第五十九回全国大会研究発表要旨　萬鐵五郎の風景表現と南画研究	名方　陽子	美術史	161
美の美　絵画は踊る3[萬鉄五郎]	内田　洋一	日　経	2.19
近代美術の東京　萬鉄五郎　小石川風景	中林　和雄	読　売	6.9
特集　回想・上野　上野と私と自由美術	よろずふきこ	自由美術	2006

（ラ）

第15回MOA岡田茂吉賞　工芸部門大賞	樂吉左衛門　談	アート・トップ	210
巻頭特集　眼のちから　目利きという創造　千利休と長次郎	〃	〃	212
第15回MOA岡田茂吉賞　大賞に中野嘉之氏　絵画、樂吉左衛門氏　工芸		新美術新聞	1083
陶匠・樂吉左衛門氏の座　一九九九年秋—二〇〇五年春創作展にて	廣崎　裕哉	陶　説	638
日本陶磁協会創立六十周年記念講演「樂茶碗について」	樂吉左衛門	〃	641
桃山の「動き」—樂氏の講演から[樂吉左衛門]	潮田洋一郎	〃	〃
ひと　15年ぶりの個展を開いている陶芸家　樂吉左衛門さん	田原由紀雄	毎　日	1.16
10 Questions for New Generations　次世代写真家アンケート	良知　暁	STUDIO VOICE	367
アニメ、見てますか3　ネット猛進「やわらか戦車」[ラレコ]		読　売	10.5

（ル）

グレープフルーツと、戯れの人為的制作	留守　玲	多摩美術大学研究紀要	20

（ロ）

六角紫水「古社寺巡礼記」に関する研究	熊田由美子	鹿島美術財団年報別冊	23

（ワ）

「経済価値」を超える—ヨーゼフ・ボイス没後20年に	若江　漢字	あいだ	128

第一特集　現在進行形コミックガイド　コミックを読む方法2006―2007　PART Ⅰ現在進行形コミックガイド！『デトロイト・メタル・シティ』若杉公徳インタヴュー	芝田　隆広	STUDIO VOICE	369
版画―『版』の「特性」と「機能」	若月　公平	東北芸術工科大学紀要	13
輝く個性　楽しむジュエリー注目集める日本人デザイナー[若松忠哲]	國保　　環	毎　　日	12.8
Section２：個人研究・教員年譜　デザイン工芸学科　21世紀における被爆地での実験的考察	若山　裕昭	広島市立大学芸術学部紀要	11
座談会：日本アンデパンダン展の今日的意義と今後の方向をさぐる　ひとこと提言　日本アンデパンダン展の今後はどうあるべきか	若山　保夫	美術運動	133
追悼　脇田和さんを偲ぶ	大川　栄二	ガス燈	68
〃	〃	新美術新聞	1076
巻頭特集　2006年上半期　先取り！今年の展覧会BEST80　Part.2　2005―2006美術界重大NEWS　追悼・脇田さんと小鳥	野見山暁治	美術の窓	269
追想録　洋画家　脇田和さん	竹田　博志	日経夕刊	1.13
例会・研究発表会要旨　西部会　第二五九回研究発表会「和田三造作朝鮮総督府壁画に関する一考察」	金　　正善	美　　学	226
Section２：個人研究・教員年譜　美術学科彫刻専攻　諷刺作品の存在意義	和田拓治郎	広島市立大学芸術学部紀要	11
網目の陶器　幻想編み出す　心に響き、暮らしに役立つ作品づくりに奮闘	和田　秀雄	日　　経	6.7
特集　はじめての武満徹　武満徹をうたう	和田　誠　構成・絵	芸術新潮	677
長新太の遺志を継ぐ和田誠の心意気で物語はここに完結！		〃	679
傷ついた美術史　最終回　歴史から学ぶべきこと　不作為の結末[和田義彦]	小泉　晋弥	アート・トップ	211
《話題》和田義彦画伯どの　「芸術選奨」を茶番にしたあなたの功績は絶大！	編　集　部	あいだ	126
美術記者こぼれ話　盗作疑惑の残した謎[和田義彦]	山盛　英司	国華清話会会報	8
論壇(201)　「和田盗作疑惑」は他山の石	田宮　文平	書道界	201
2005年度芸術選奨　文部科学大臣賞に和田義彦氏、妹島和世氏、新人賞に西雅秋氏、村上隆氏		新美術新聞	1086
文化庁芸術選奨受賞者・和田盗作問題を考える	東谷　隆司 椹木　野衣 編　集　部	美術手帖	885
文化「賞」選ぶ難しさ[和田義彦]	山盛　英司 西田　健作	朝　　日	6.6
社説　盗作疑惑　並べて鑑賞してみたい[和田義彦]		〃	6.8
盗作疑惑で大臣賞取り消し、なぜ？　構図・色彩…23点そっくり　オマージュなら事前に明示を[和田義彦]	山盛　英司	〃	6.14
和田氏盗作疑惑１カ月　作家と評論家　不可解な構図	田中　三蔵	〃	7.5
和田義彦氏盗作疑惑「画家と知らなかった」　アルベルト・スギ氏「彼の作品は盗作」	郷　富佐子	朝日夕刊	6.1
芸術選奨　和田氏、返上申し出　取り消し前「メンツ立つ」	油井　雅和	〃	6.5
盗作疑惑　「スギ氏への敬意」掲示　昨冬回顧展　和田氏、指摘受け急遽		産　　経	6.3
盗作疑惑　伊画家書簡を不自然翻訳「共同制作」強調か[和田義彦]		〃	6.4
洋画家和田義彦氏の盗作疑惑　認定基準は？著作権侵害なら罰則	藤田　綾子	〃	7.9
「盗作」文化庁が調査　芸術選奨の和田氏作品　実物全く違う	和田　義彦	東　　京	5.29
「東郷賞」作品も酷似　所属の「国画会」和田氏に退会勧告へ		〃	6.1

和田氏芸術選奨　審査は図録と略歴のみ	稲葉　千寿	東　京	6.6
芸術選奨取り消し　文化庁「和田氏の盗作」と結論	和田　義彦談	東京夕刊	6.5
芸術選奨取り消し[和田義彦]		日　経	6.6
絶えぬ「盗作」描けぬ抜本策　和田義彦氏の芸術選奨取り消し	中野　稔 富田　律之	〃	6.10
和田氏に調書提出要求　絵画酷似問題で文化庁	米本　浩二 手塚さや香	毎　日	6.2
綿貫氏　困った！　衆院に肖像画２点[和田義彦]	平元　英治	〃	6.6
和田氏作品　芸術選奨　賞取り消し	三田　晴夫 米本　浩二 手塚さや香	〃	〃
和田義彦さん　変化を恐れないでいたい　芸術選奨文部科学大臣賞を受賞して	石川　健次	毎日夕刊	4.5
芸術選奨の和田義彦氏作品　十数点、盗作で調査	長尾　真輔	〃	5.29
和田氏の盗作疑惑　美術界に大きな波紋残す　賞選考、長年の評価に結果責任も	三田　晴夫 海保　真人	〃	6.21
“盗作被害”伊の画家・スギ氏　「東京で私の展覧会を」[和田義彦]	藤原　善晴	読　売	5.31
洋画盗作　和田氏「一から出直す」作品すべてスギ氏に送る	和田　義彦談	〃	6.5
和田氏「盗作」芸術選奨取り消し　構図の借用25年　選考材料、展覧会図録だけ	前田　恭二 高野　清見	〃	6.6
和田氏の受賞取り消し	藤原　善晴	〃	〃
神宮名品解説　神宮美術館所蔵奉納美術品　洋画「廃船のある集落」[渡辺武夫]	(中村)	瑞　垣	205
春の叙勲　旭日小綬章　漫画家わたなべまさこさん		産　経	4.29
春の叙勲　漫画家わたなべまさこさん　長く描いたご褒美かな		東　京	4.29
受賞者インタビュー139　第24回明日をひらく絵画　上野の森美術館大賞展　わたなべみわこ		ギャラリー*	253
第24回上野の森美術館大賞展　大賞わたなべみわこ氏		新美術新聞	1082
佐々木豊のホンネでファイト　第７回　したたかな根無し草生き残り法	わたなべゆう、佐々木　豊談	アート・トップ	211
渡辺力の禁欲的デザイン論		芸術新潮	675
顔　東京国立近代美術館で個展を開いているデザイナー　渡辺力さん	高橋　直彦	読　売	1.28
Section２：個人研究・教員年譜　美術学科彫刻専攻　鉄・銅の素材と形態、量塊から見た彫刻性、そして心と思想	綿引　道郎	広島市立大学芸術学部紀要	11
受賞者インタビュー141　石の彫刻コンクール　渡部順子		ギャラリー*	255

海　外

(ア)

トニーコ・レモス・アウアッド　日常に介入するささやかな物語(ドローイング)	難波　祐子 聞き手	美術手帖	874
アシューム・ヴィヴィッド・アストロ・フォーカス　美は、それを見つけたところにある	大森　俊克 聞き手	〃	882
グンナール・アスプルンド　建築の抒情と夢想[エーリック・グンナール・アスプルンド]		芸術新潮	676
第二特集　Documentary NOW！REPORT FROM LONDON　ジャーナリズムとアートの交差点[カトルーグ・アタマン]	伊東　豊子	STUDIO VOICE	362
巻頭特集　東京―ベルリンの邂逅　2.両都市を往還する人々　フランツ・アッカーマン	フランツ・アッカーマン　談	アート・トップ	208
アニエスベー特別インタビュー　アート、我が愛	小崎　哲哉 聞き手	ART　iT	10
キリストもマリアもすなる雲の上のサッカーゲーム[フェデリコ・アルナウド]	足立ラーベ加代	芸術新潮	673

滑面石積み仕上げの採用と背景にある建築と言語の伝達理論について—パラッツォ・ルチェッライのファサード構成　その2—[レオン・バッティスタ・アルベルティ]	稲川　直樹	日本建築学会計画系論文集	610
ジョヴァンニ・モレッリ『イタリア絵画論—ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア＝パンフィーリ美術館』翻訳(5)—第一章ボルゲーゼ美術館(マリオット・アルベルティネッリからペリン・デル・ヴァーガまで)	上田　恒夫	金沢美術工芸大学紀要	50
素顔のアングルが見える少年像と裸婦デッサン[ジャン＝オーギュスト＝ドミニク・アングル]	永島　章雄	芸術新潮	678
名画のなかの女性たち22　アングル《座するモワテシエ夫人》	中山　忠彦	美術の窓	269
エッセンシャル・ペインティング Meeting Artist＃4マンマ・アンダーソン	松井みどり	美術手帖	887
ジョヴァンニ・モレッリ『イタリア絵画論—ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア＝パンフィーリ美術館』翻訳(5)—第一章ボルゲーゼ美術館(マリオット・アルベルティネッリからペリン・デル・ヴァーガまで)[アンドレーア・デル・サルト]	上田　恒夫	金沢美術工芸大学紀要	50

(イ)

Asian Artist LEE, WAL CHONG(李　日鐘)　韓国人気ナンバー1のアーティスト		ギャラリー*	251
李仁星の郷土色—民族主義と植民主義—	金　英那 喜多恵美子訳	美術研究	388
第二特集　ダッチ・デザインの新潮流～DROOG以降のニュー・クリエーション！　ダッチ・クリエイターズ・ファイル[ピート・ヘイン・イーク]	加藤　孝司 川合　将人	STUDIO VOICE	371

(ウ)

ジョヴァンニ・モレッリ『イタリア絵画論—ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア＝パンフィーリ美術館』翻訳(5)—第一章ボルゲーゼ美術館(マリオット・アルベルティネッリからペリン・デル・ヴァーガまで)[ピエリーノ・デル・ヴァーガ]	上田　恒夫	金沢美術工芸大学紀要	50
アニエス・ヴァルダ憂鬱とユーモアの宇宙	Anna Kizibo	芸術新潮	683
3.教育普及事業 1)公開制作　3「ルーシング・コントロール」マルティン・ヴァルデ		府中市美術館年報	2000-2005
チャールズ一世の宮廷における　ダニエル・マイテンス一世とアントニー・ヴァン・ダイク	小笠原美果	青山史学	24
特集　宮廷と美術 論文　ヴァン・ダイクとチャールズ1世の宮廷　イギリス時代を概観して	中村　俊春	西洋美術研究	12
ビル・ヴィオラ：意識の果てへの旅	港　千尋	ART iT	13
アート探究　ヴィオラのビデオアート　心の根源えぐり出す	郷原　信之	日　経	11.11
かたち百景　タイ人彫刻家の「悲しみ」絶望的な感情リアルに表現[チャムルアン・ウィチェンケート]	(敦)	〃	8.27
ピエール・ウィンターの1930年代における自然法に関する理論　ル・コルビュジエとその協働者ピエール・ウィンターの身体文化理論に関する研究　その4	森山　学	日本建築学会計画系論文集	610
ウェイデン派作品修復処置・その理念と結果[ロヒール・ファン・デル・ウェイデン]	河口　公夫	国立西洋美術館研究紀要	10
私の空想美術館35 ファン・デル・ウェイデン『十字架降架』	粟津　則雄	美術の窓	279

3.教育普及事業 1)公開制作 25「色彩／色材」イングリット・ヴェーバー		府中市美術館年報	2000-2005
第一特集 PHOTOGraPHY LITeracY 写真の基礎知識～より深く写真を楽しむために 徹底座談！写真を見渡す15のキーワード11 BRUCE WEBER[ブルース・ウェバー]	竹内万里子 日高 優 富田 秋子 森屋 恵美	STUDIO VOICE	362
[研究論文]1982年の激震 一枚のファッション写真が引き起こした世界の再構築[ブルース・ウェバー]	高橋 周平	多摩美術大学研究紀要	20
誰の天国が一番？16世紀のコンクール再現[パオロ・ヴェロネーゼ]	高橋 恵理	芸術新潮	683
ウォーホル作品 13億円スープ缶[アンディ・ウォーホル]	大塚 隆一	読売夕刊	5.11
米国人建築家ヴォーリズの建築物 保存・修復へ全国ネット[ウィリアム・メレル・ヴォーリズ]		朝 日	2.11
クシシュトフ・ヴォディチコの《パブリック・プロジェクション》の変容とその意味について	越前 俊也	美 学	226
クリエーターズワーク＆ソウル ウドム・ウドムスリアーナ		A X I S	123
特集 心をつかむ展示空間、ディスプレイ、広告 プレゼンテーションの底力 サローネから学ぶ“見せ技”[パトリシア・ウルキオラ]	矢島みゆき	デザインの現場	147

(エ)

特集 アート＆サイエンスの革新者 M. C. エッシャー		美術手帖	888
4つの趣味と10の関係	梶川 泰司		
《4つの正多面体》と準結晶理論	〃		
「可能な3角形」と「不可能な3角形」	〃		
消えたメビウスの帯—老獪なるエッシャー	〃		
オランダにエッシャーの足跡を訪ねる1	編 集 部		
オランダにエッシャーの足跡を訪ねる2 現実を版画作業台の上で様々に展開しているのです。	ミッキー・ピラー		
オランダにエッシャーの足跡を訪ねる2 エッシャー作品には必ず理解できる法則がある	ブルーノ・エルンスト		
シンメトリーへの回帰—芸術と科学の相補性	梶川 泰司		
こころの玉手箱 グラフィックデザイナー 福田繁雄3 M・C・エッシャー	福田 繁雄	日経夕刊	12.20
第一特集 写真を撮る方法～カメラ選びから、撮影、プリント、それを人に見せるまで Lesson2 “CONCEPT／MOTIF 1 アンダース・エドストローム 日常からコンセプト／モチーフを見出す方法	編 集 部 インタヴュー	STUDIO VOICE	367
第二特集 DOCumentarY NOW！ REPORT FROM NY ドキュメンタリーの新しい方向を提示するアーティストたち[ミッチ・エプスタイン]	河内 タカ	〃	362
「オラファー エリアソン 影の光」展「あなただけの虹」を体験	山盛 英司	朝日夕刊	1.5
オラファー・エリアソン展 絶妙に引き出す光の現象	前田 恭二	読売夕刊	2.9
東京—ベルリン／ベルリン—東京 破壊と創造を繰り返す2つの都市の物語 2006年ベルリン／東京のアートシーンを追え！ アニカ・エリクソン	北澤ひろみ	美術手帖	878
WORLD ARTIST 5 Ayşe Erkmen[アイシャ・エルクメン]		ギャラリー*	250
「エル・グレコ神話」の一断片—パブロ・ピカソの作品を中心に—	孝岡 睦子	美術史論集	6

古賀春江「海」（一九二九）と〈溶ける魚〉―プロレタリア美術／マックス・エルンスト／バウハウスと転回する「機械主義」―	長田　謙一	美　　学	226
美の美　ブルトンと画家たち―シュルレアリスムの冒険２［マックス・エルンスト］	浦田　憲治	日　　経	11.12
美術　フェデリコ・エレーロ展「塗り重ね」に映るコスタリカ文化	前田　恭二	読売夕刊	1.26

（オ）

Voice's Art Space Four Artists Show：千葉正也、イルバ・オーグランド、徐美姫、池田光弘	宮村　周子 横山いくこ 鈴木　行 保坂健二朗	STUDIO VOICE	367
新美術時評　文化混交のなかの日本人［トミエ・オータケ］	長谷川祐子	新美術新聞	1076
クリエーターズワーク＆ソウル　ジョアン・オートメル		ＡＸＩＳ	124
高松宮殿下記念世界文化賞受賞者決まる絵画部門・草間彌生氏、彫刻部門・クリスチャン・ボルタンスキー氏ら５人に［フライ・オットー］		新美術新聞	1101
高松宮殿下記念世界文化賞　建築部門　フライ・オットー		産　　経	9.8
高松宮殿下記念世界文化賞　自然への「自制と調和」求めて　建築部門フライ・オットー	上塚　真由	〃	10.12
世界文化賞受賞者会見　新たな創造への情熱［フライ・オットー］		〃	10.18
「建築家は審美性より自然界の理解深めて」　世界文化賞オットー氏講演会		〃	10.20
ホモ・テクニクス、ホモ・ナトゥーラ《３》　整形手術と擬態―オルランのカーナル・アート	高橋　　透	水声通信	4
身体改造を問いつづけるオルランの再来日	ケロッピー前田	美術手帖	886

（カ）

出会った人々を魅了する、カーライの魔法の世界［ドゥシャン・カーライ］	江森　　清	みづゑ	76
いのちの炎　心の残像12景９　フリーダ・カーロ「希望の木」	瀬木　慎一	東京夕刊	2.28
奇想遺産　キンベル美術館　アメリカ［ルイス・カーン］	限　　研吾	朝　　日	12.10
3.教育普及事業 1）公開制作　12「畳の風景―まあ、坐って、お茶をどうぞ」トニ・カイ		府中市美術館年報	2000–2005
ガウディの教会危機？　地下にトンネル計画［アントニオ・ガウディ］		日経夕刊	7.3
日韓交流・日本美術会展―2004　創作研究会の記録―	郭　　競興	美術運動	133
AT 208　Remarkable WORK　アルバロ・カシネリ「Khronos Projector」メディア芸術祭アート部門大賞に	（根）	アート・トップ	208
受賞者インタビュー136　文化庁メディア芸術祭　Alvaro CASSINELLI		ギャラリー*	250
カスティリオーニの「見える都市」	多木　陽介	ＡＸＩＳ	119
エッセンシャル・ペインティング Meeting Artist＃１アレックス・カッツ	藤森　愛実	美術手帖	887
ベルナール・カトランを偲んで	編　集　部	美術の窓	268
WORLD ARTIST 6 Anish Kapoor		ギャラリー*	251
巨大鏡が映しだす五番街の聖と俗［アニッシュ・カプーア］	由本みどり	芸術新潮	684
浮世絵随談　カペラリ考［フリッツ・カペラリ］	清水　久男	浮世絵芸術	152
第五十九回全国大会研究発表要旨　マニエリスム的イメージ装置としてのジュリオ・カミッロ「記憶の劇場」	足立　　薫	美術史	161
カラヴァッジョの少年像の研究	加藤奈保子	鹿島美術財団年報別冊	23

ローマ、ボルゲーゼ美術館収蔵のカラヴァッジョ作《洗礼者聖ヨハネ》の図像解釈(試論)	木村　太郎	芸術文化研究	10
英王室物置に112億円絵画！　カラバッジオ真作		東京夕刊	11.11
カラバッジョの絵発見か　フランス田舎の教会で2世紀人知れぬまま		毎　　日	1.27
特集　もうひとつのデザイン・ユートピア　テクノロジカル・デザイン&アーキテクチャー　サンティアゴ・カラトラバ建築の21世紀を用意した男	伊藤　達信	美術手帖	878
小特集　彫刻・絵画・象徴　ロダンとカリエールが求めたもの[ウジェーヌ・カリエール]	三浦　　篤	芸術新潮	677
博物学的美術史File.9　“考える人”を考える[ウジェーヌ・カリエール]		美術の窓	273
偉大な写真家“決定的”証言[アンリ・カルティエ＝ブレッソン]	藤田　綾子	産　　経	5.20
報道写真家アンリ　アンリ・カルティエ＝ブレッソンの活動が映画に	マルティーヌ・フランク	日　　経	5.9
ポートレイト　内なる静寂　アンリ・カルティエ＝ブレッソン著		〃	10.8
アンリ・カルティエ＝ブレッソン写真集「ポートレイト　内なる静寂」	(前)	読　　売	10.29
オークションの逸品　エミール・ガレの「フランスの薔薇」		ギャラリー*	253
ジャック・カロの芸術と神奈川県立近代美術館	橋　　秀文	神奈川県立近代美術館年報	2004年度
風景の中へ—カンスタブルにおける自然の表象—[ジョン・カンスタブル]	松家　理恵	近　　代	97
特集　ロシア・アヴァンギャルド芸術　ロシア・アヴァンギャルドとカンディンスキーの精神的水脈[ヴァシリー・カンディンスキー]	江藤　光紀	水声通信	4
平成十七年度修士論文要旨　カンディンスキー　非対称絵画への過程と音楽的要素の関連性	山口　亮子	美史研ジャーナル	3
パリ時代のカンディンスキー—ピカソとの対立をめぐって—	真野　宏子	美術史	160
第五十九回全国大会研究発表要旨　近代絵画における色彩の「現れ方」—ヴァシリー・カンディンスキーを中心に—	平松　啓央	〃	161
平成十七年度支部例会研究発表要旨　ロベール・カンパン作《太陽の聖母子》—その図像系譜と機能の多層性をめぐって—	今井　澄子	〃	160
ロベール・カンパン作《太陽の聖母子》の図像系譜と成立背景をめぐって	〃	〃	161

(キ)

「異能画家の憂鬱」『ギーガーズ・エイリアン』H. R. ギーガー著	ヤノベケンジ	AXIS	120
金基昶(1914～2000)の(古翫)(1939)にみる「理想の観覧者像」	朴　　昭炫	文化資源学	4
MDD(Multi-Dynamic Documentation)コンテンツ制作事例	金　　尚泰	筑波大学芸術研究報告	46
日韓交流・日本美術会展—2004　創作研究会の記録—	金　　知光	美術運動	133
日韓交流・日本美術会展—2004　創作研究会の記録—	金　　杜暎	〃	〃
Go！Artists Go！23　金羅英	坂口　千秋	美術手帖	889
日韓交流・日本美術会展—2004　創作研究会の記録—	金　　明泰	美術運動	133
アーティスト訪問36　カジ・ギャスディン		ギャラリー*	257
クリエーターズワーク&ソウル　ルイーズ・キャンベル		AXIS	119
ドラマ&影　写真1945—1950　スタンリー・キューブリック		日　　経	1.15

近代国家の象徴としての古代女神―紙幣における「神功皇后」の表象―[エドアルド・キヨッソーネ]	メラニー・トレーデ	鹿島美術財団年報別冊	23
ナチス時代にユダヤ人が売却　美術品返還、揺れる独[エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー]	三好　範英	読　　売	12.13

（ク）

「もの派―再考展」に思う　郭仁植について[クァク・インシク]	高山　　登	国立国際美術館月報	152
障害のある妊婦像制作した英芸術家　マーク・クインさん	池田　千晶	東京夕刊	2.1
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨　浮世絵とクールベ―様式における影響と翻案―[ギュスターヴ・クールベ]	立入　正之	美　　学	227
『サイゴン・オープンシティ』の紆余曲折[ジュン・グエン＝ハツシバ]	ウダモトコ	ART　iT	13
新美術時評　文化混交のなかの日本人[リジア・クラーク]	長谷川祐子	新美術新聞	1076
特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する　彫刻の生まれる場所　フロリアン・クラール	大森　俊克	美術手帖	877
イヴ・クライン《青い地球》をめぐって	髙木　幸枝	町田市立国際版画美術館紀要	10
第二特集　DOCUmentary　NOW！　REPORT　FROM　NY　ドキュメンタリーの新しい方向を提示するアーティストたち[ケイティ・グラナン]	河内　タカ	STUDIO VOICE	362
アン・グラハムが小学校で図工の授業	白坂　ゆり	美術手帖	887
クリスト＆ジャンヌ＝クロード来校！	嘉原　　妙	瓜生通信	37
「包まれた公共建物」などを創作　クリストとジャンヌ＝クロード夫妻来日講演　作品は１回きり、喜びと美のために	稲葉　千寿	東京夕刊	11.17
特集　クリムト　きらめく黄金の裏側へ	木島　俊介解説	芸術新潮	682
ナチス負の遺産　略奪の名画相続人へ[グスタフ・クリムト]		東京夕刊	1.18
クリムト作品４点を売却へ　総額115億円の価値		〃	8.9
クリムト156億円　絵画最高　米の実業家購入	大塚　隆一	読　　売	6.20
数奇クリムト４点競売へ	古沢由紀子	〃	8.17
クリムト「肖像Ⅱ」103億円		〃	11.10
戻ったクリムト売却も	古沢由紀子	読売夕刊	6.16
クリエーターズワーク＆ソウル　マーティン・クリューガー		ＡＸＩＳ	122
クリンガーの版画に見る動物たち[マックス・クリンガー]	岡本　弘毅	ART RAMBLE	10
表紙作品解説　マックス・クリンガー《手袋》のうち第三葉：願望	長門　佐季	たいせつな風景	6
カバーインタビュー　コンスタンティン・グルチッチ	小町　英恵	ＡＸＩＳ	119
支持体の両面を用いたパウル・クレーの作品について―その通時的概観―	柿沼万里江	鹿島美術財団年報別冊	23
特集　はじめての武満徹　武満徹をみるその１ようこそ、武満美術館へ　パウル・クレー《余白に》	編　集　部	芸術新潮	677
特集　ダダ　1916―1924　ダダ、チューリッヒ　1916―1924　チューリッヒ・ダダとパウル・クレー	宮下　　誠	水声通信	7
パウル・クレーの〈都市画〉について―造形色彩論の観点から―	松友知香子	美　　学	225
パウル・クレーの両面作品について	柿沼万里江	美術史	161
パウル・クレーの“クオリア”　静謐な空気漂う魂の清涼剤	茂木健一郎	東　　京	8.5
名画はあそんでくれる７、17[パウル・クレー]	結城　昌子	東京夕刊	9.4、15

新収作品　アルベール・グレーズ《収穫物の脱穀》	田中　正之	国立西洋美術館年報	39
いのちの炎　心の残像12景５　クローデル「波」[カミーユ・クローデル]	瀬木　慎一	東京夕刊	1.31

（ケ）

第二特集　DOCUmentary NOW！仮想現実の泳ぎ方　ケッセルスクライマーのドキュメンタリー作戦	飯沢耕太郎	STUDIO VOICE	362
第二特集　DOCUmentary NOW！ピーター・ケナードインタヴュー	伊東　豊子	〃	〃
クリエーターズワーク＆ソウル　ゲベルク		ＡＸＩＳ	121
エルズワース・ケリーの白に誘われて	Anna Kizibo	芸術新潮	678
カバーインタビュー　アレクサンダー・ゲルマン		ＡＸＩＳ	124

（コ）

黄土水《水牛群像》	飯尾由貴子	ART RAMBLE	12
図版解説　黄輔周の舌画―民国期絵画資料―	鶴田　武良	美術研究	390
『絵画の中の熱帯』の余白に[ポール・ゴーギャン]	岡谷　公二	学　鐙	103-3
[特集１]モダン・パラダイス　反転する楽園―ポール・ゴーギャンの《テ・ナヴェ・ナヴェ・フェヌア(かぐわしき大地)》	喜多崎　親	現代の眼	559
第五十九回全国大会研究発表要旨　ポール・ゴーギャンの後ろ向きの裸婦像―《オンディーヌ》(一八八九)の変遷をめぐる解釈―	音　ゆみ子	美術史	161
タヒチにおけるポール・ゴーギャンの関連資料１　第一回タヒチ渡航におけるゴーギャン到着時に関する資料について	田平　麻子	美術史論集	6
ゴーギャン「二人の女」25億円の高値で落札		東京夕刊	2.8
いのちの炎　心の残像12景８　ゴーギャン「われわれはどこから来たか？われわれは何か？われわれはどこへいくのか？」	瀬木　慎一	〃	2.21
名画はあそんでくれる10、11　ゴーガンの言葉の裏にあるもの〈1〉〈2〉	結城　昌子	〃	9.7、8
編集手帳[ポール・ゴーギャン]		読　売	10.20
ヴィデオ・アートの寵児が見せた新戦略　D・ゴードン＋P・パレーノ共同監督映画『ジダン　神が愛した男』[ダグラス・ゴードン]	立田　敦子	美術手帖	885
アレクサンダー・コールダー《ヴァーティカル・ホワイト・フレーム》における一考察	石川　哲子	広島県立美術館研究紀要	9
奇想遺産　シアトル中央図書館　アメリカ[レム・コールハース]	隈　研吾	朝　日	1.29
こころの玉手箱　ヴァイオリニスト　前橋汀子４　ココシュカ[オスカー・ココシュカ]	前橋　汀子	日経夕刊	7.6
奇想遺産　ナショナル・モニュメント　イギリス[チャールズ・ロバート・コッカレル]	鈴木　博之	朝　日	2.26
お仕事手帖 Q&A　ポール・コックス、ひびのこづえ	岡本　恭子	みづゑ	77
例会・研究発表会要旨　東部会　平成十八年度第三回例会　ジャクソン・ポロックの具象的形象についての考察―アドルフ・ゴットリーブの「ピクトグラフ」を手がかりとして	岸　みづき	美　学	227
ゾラについて[フィンセント・ファン・ゴッホ]	岩渕　邦子	愛知教育大学研究報告	55
「アルルの女」45億7200万円落札　ゴッホでは４番目高値	長戸　雅子	産　経	5.4
ゴッホ作品に偽物疑惑		東　京	8.13
名画はあそんでくれる８、９[フィンセント・ファン・ゴッホ]	結城　昌子	東京夕刊	9.5、6

発見された画家２ ゴッホ　不安の魂	赤瀬川原平	日経夕刊	1.26
ゴッホ「アルルの女」競売に　落札額47億円以上か		〃	2.2
「演劇ブームのマドリードでゴヤが描いた名優の肖像です」フランシスコ・デ・ゴヤ《イシドロ・マイケス》	木下　亮	芸術新潮	676
[COLUMN]MORE DESIGN7 LUIGI COLANI[ルイジ・コラーニ]	長澤　均	STUDIO VOICE	365
特集　もうひとつのデザイン・ユートピア　テクノロジカル・デザイン&アーキテクチャー　ルイジ・コラーニ　フォルムとテクノロジーが融合するスピードの美学	ルイジ・コラーニ談 編集部構成	美術手帖	878
第二特集　DOCUmentary NOW！REPORT FROM LONDON ジャーナリズムとアートの交差点[フィル・コリンズ]	伊東　豊子	STUDIO VOICE	362
ケーテ・コルヴィッツの彫刻作品	佐々木奈美子	ART LIBRARY	7
連載　黒崎彰の続・版画史解剖20世紀編４　戦争と版画―対戦のはざまに生きた画家たち[ケーテ・コルヴィッツ]	黒崎　彰	版画芸術	132
危機克服の政治学における聖母マリア表象―一六三二年ローマにおけるペスト危機克服記念行列とピエトロ・ダ・コルトーナ作行列幟	新保　淳乃	美術史	160
コレッジョ作《ウェヌスとクピドとサテュロス》―ニコラ・マッフェイのコレクションと「古代風」作品	小松健一郎	美　学	227
奇想遺産　クロイスターズ　米国[チャールズ・コレンズ]	鈴木　博之	朝　日	5.28
明治から昭和前期までの日本におけるコロー受容史―雑誌記事の収集を通じて―	永嶋　里佳	国立西洋美術館研究紀要	10
名画のなかの女性たち27　カミーユ・コロー《青衣の女性》	中山　忠彦	美術の窓	274

（サ）

現代中国巧芸事情５、６　昨今のオークションに見られる斉白石の真贋問題、（２）	仲　佑樹	書道界	204、205
研究ノート　複製版画と批評　ジュリオ・サヌート《アポロとマルシュアス》の場合	渡辺　晋輔	西洋美術研究	12
博物学的美術史 File.11　アフリカ作家、シェリ・サンバ		美術の窓	275

（シ）

特集　入門★中国美術　注目アーティスト・イン・シャンハイ　向京		美術手帖	887
[研究論文]エゴン・シーレの「四本の木」―寓意と象徴の表現病理	伊集院清一	多摩美術大学研究紀要	20
受賞者インタビュー145　特別編　Artist of the Year 2006 韓国　鄭金玄		ギャラリー*	260
アンドレア・ジッテルは居住空間を削ぎ落とす	由本みどり	芸術新潮	676
小特集　ベン・シャーンが描いた核時代のオデュッセイア	アーサー・ビナード	〃	682
「第五福竜丸」の絵本 米人画家・詩人が作製[ベン・シャーン]		読売夕刊	8.4
シャガール幻の名作初公開		東　京	7.26
いのちの炎　心の残像12景２　シャガール「誕生」	瀬木　慎一	東京夕刊	1.10
美の美　愛の結晶１ シャガールとベラ	浦田　憲治	日　経	5.21
美の美　浮世絵その後　下―外国人画家[ポール・ジャクレー]	松岡　資明	〃	10.8
「見えない出会い」について―「ジャコメッティとの出会い―日本に紹介されたジャコメッティ」補遺	江上　ゆか	ART RAMBLE	13
特集　ジャコメッティ　アルプス生まれの全身芸術家		芸術新潮	679

ジャコメッティなんか怖くない	編　集　部		
ある芸術馬鹿の一生			
ジャコメッティについて知りたい六つのこと	保坂健二郎談		
ジャコメッティかく語りき			
ジャコメッティ私だけの愉しみ方「あの細い人体は、じゅうぶんボリュームがあるんです」	鷲見和紀郎、保坂健二郎対談		
ジャコメッティ私だけの愉しみ方「彼のつくる空間は、建築家とは似て非なるもの」	青木　淳、保坂健二郎対談		
ジャコメッティ私だけの愉しみ方「ベケットも彼も、不可能なところからしかはじめてませんよね」	鈴木理江子、保坂健二郎対談		
a-chroniques[アルベルト・ジャコメッティ]	松浦　寿夫	水声通信	
《11》《12》　非展望性について[その二][その三]			11、12
《13》《14》　絵画とそれ以外のもの、[その二]			13、14
【二〇〇四年度同志社大学大学院修士論文梗概】ドナルド・ジャッド作品における全体性について	井上　孝浩	美学芸術学	21
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨　旧体制下フランスの芸術辞典に見るエスキースの定義の変容—シャルダンの後期静物画の描法の理解への手掛かりとして—[ジャン＝バティスト＝シメオン・シャルダン]	宮崎　　匠	美　　学	227
平成十七年度支部例会研究発表要旨　シャルダン初期の静物画	多田美穂子	美術史	160
シャルダンの初期人物画—肖像画と風俗画のジャンル横断をめぐって—	喜田早菜江	美術史学	26
Close—up47　江屹 日本で制作する思索内省のアーティスト[シャン・イー]		ギャラリー*	254
アーティスト訪問39 張暁剛[ジャン・シャオガン]		〃	260
特集　入門★中国美術　画家・張暁剛さんを雲南省に訪ねてみた	多田　麻美	美術手帖	887
チェコ・アニメの巨人　ヤン・シュヴァンクマイエル「想像力があるかぎり世界は完成しない」	柳下毅一郎	芸術新潮	679
世界アーティストサミット　学内特別プログラム　トーマス・シュトゥルート氏講演	伊藤　　悠	瓜生通信	35
[特集1]モダン・パラダイス　近代と写真的知覚—スティーグリッツとシュトゥルートの作品から	竹内万里子	現代の眼	559
かたち百景　ドイツ美術作家「恐怖への招待」　不安を醸し出す「キノコの森」[カーチャ・シュトルンツ]	(敦)	日　　経	10.8
ヨルク・シュマイサー新作版画　〈冬の旅から〉〈ベニスの刻〉	ヨルク・シュマイサー　宮脇　豊訳	版画芸術	132
国際芸術研究センター　クラウディア・シュマッケ氏　ギャラリートーク	相田　祐志	瓜生通信	35
日韓交流・日本美術会展—2004　創作研究会の記録—	宗　　世永	美術運動	133
Stephan Shore『American Surfaces』	O	STUDIO VOICE	361
特集　入門★中国美術　注目アーティスト・イン・シャンハイ　周弘湘		美術手帖	887
LOOK UP KYOTO 2004　メディア・アートインスタレーション作品について[ジェフリー・ショー]	松本　泰章	京都嵯峨芸術大学紀要	31
日々好日　ジョットの家[ジョット・ディ・ボンドーネ]	久野　和洋	新美術新聞	1086

[翻訳]ジョルジョーネ	カルロ・デル・ブラーヴォ 甲斐 教行 訳・註解	五浦論叢	13
美術館の周縁 ジロデの季節[アンヌ＝ルイ・ジロデ・ド・ルーシー]	小林 公	ART RAMBLE	10
舞台装置家シンケルと世界の「舞台」化—《魔笛》背景案による空間演出を中心に—[カール・フリードリヒ・シンケル]	長野 順子	美 学	226
R. M. シンドラーの空間構成にみる外壁面の形態と内部空間の関係性—斜面に建つ住宅建築における初期の作品を通して—	尾林 道子	日本建築学会計画系論文集	600

（ス）

ASIAN ARTIST Suh Do-Ho		ギャラリー*	252
スゥー・ドーホーの宙づり天国「人間の未来へ—ダークサイドからの逃走」展より		芸術新潮	678
ヴィンチェンツォ・スカモッツィの建築理論における“peritia dell' arte”について	下川 勇	日本建築学会計画系論文集	601
文化「賞」選ぶ難しさ[アルベルト・スギ]	山盛 英司 西田 健作	朝 日	6.6
社説 盗作疑惑 並べて鑑賞してみたい[アルベルト・スギ]		〃	6.8
和田義彦氏盗作疑惑「画家と知らなかった」 アルベルト・スギ氏「彼の作品は盗作」	郷 富佐子	朝日夕刊	6.1
盗作疑惑 「スギ氏への敬意」掲示 昨冬回顧展 和田氏、指摘受け急遽		産 経	6.3
盗作疑惑 伊画家書簡を不自然翻訳 「共同制作」強調か[アルベルト・スギ]		〃	6.4
「盗作」文化庁が調査 芸術選奨の和田氏作品 問い合わせで知る	アルベルト・スギ	東 京	5.29
和田氏芸術選奨 取り消しを評価 スギ氏告訴せず	稲葉 千寿	〃	6.6
芸術選奨取り消し 告訴はしない[アルベルト・スギ]		日 経	6.6
芸術選奨の和田義彦氏作品 十数点、盗作で調査[アルベルト・スギ]	長尾 真輔	毎日夕刊	5.29
和田氏の盗作疑惑 美術界に大きな波紋残す 賞選考、長年の評価に結果責任も[アルベルト・スギ]	三田 晴夫 海保 真人	〃	6.21
“盗作被害”伊の画家・スギ氏 「東京で私の展覧会を」	藤原 善晴	読 売	5.31
洋画盗作 和田氏「一から出直す」作品すべてスギ氏に送る	和田 義彦談	〃	6.5
和田氏「盗作」芸術選奨取り消し 構図の借用25年 選考材料、展覧会図録だけ[アルベルト・スギ]	前田 恭二 高野 清見	〃	6.6
和田氏の受賞取り消し 「不可避の決定」[アルベルト・スギ]	藤原 善晴	〃	〃
奇想遺産 メルモンテ日光霧降 日本[デニス・スコット・ブラウン]	松葉 一清	朝 日	3.12
奇想遺産 パーク・メールバイク オランダ[ヤン・フレデリック・スタール]	藤森 照信	〃	3.19
これが3億4000万円の写真[エドワード・スタイケン]		産 経	2.16
狩猟図とパレルゴン—フェデリコ・ズッカロの素描を始点にした一考察	小針由紀隆	静岡県立美術館紀要	21
スティーグリッツ、そのサークルと批評家たち—芸術としての写真を目指して—[アルフレッド・スティーグリッツ]	犬伏 雅一	芸術文化研究	10
[特集1]モダン・パラダイス 近代と写真的知覚—スティーグリッツとシュトゥルートの作品から	竹内万里子	現代の眼	559
クリエーターズワーク&ソウル ステファニー・フォーサイス＋トッド・マッカレン		AXIS	119
消費する女性見つめる シャンタル・ストマン	藤田 綾子	産 経	2.18

土曜訪問　純粋な心のエネルギーは普遍的　国際文化交流をめざすヤドランカさん(歌手・漫画家)[ヤドランカ・ストヤコヴィッチ]	稲葉　千寿	東京夕刊	6.3
現在通信From NEW-YORK　空間のドローイング[デービッド・スミス]	富井　玲子	新美術新聞	1081

(セ)

Design Office Report From USA 12 Carlos Segura シカゴ	道添　進	デザインの現場	145
二つの水浴図　山本鼎「ブルトンヌの水浴」とセザンヌ「水浴」	金子　一夫	一　寸	26
絵画覚書—セザンヌのサント・ヴィクトワール山—	三浦　泉	金沢学院大学紀要文学・美術編	4
「日本主義」のセザンヌ受容とその思想環境	永井　隆則	京都工繊大工芸学部報告*	54
ピサロとセザンヌ川ぞいの切磋琢磨	永島　章雄	芸術新潮	677
芥川龍之介と「詩的精神」[ポール・セザンヌ]	田鎖　数馬	国語国文	857
PARIS発　セザンヌ没後百年記念展	安部　雅延	新美術新聞	1079
特集　表象とスクリーン　セザンヌの塗り残し	加國　尚志	水声通信	11
セザンヌ展に仏沸く没後100年、二つの企画	永井　隆則	朝日夕刊	9.4
美の美　人間セザンヌ　上、中、下	白木　緑	日　経	8.6、13、20
セザンヌ没後100年仏で特別展開催へ	安藤　淳	日経夕刊	1.4
イタリアの丘の上で巨大兎によじのぼろう[ゼラチン]	Anna Kizibo	芸術新潮	675
第五十九回全国大会研究発表要旨　ポール・セリュジエ《タリスマン》生成史	林　朋子	美術史	161

(ソ)

顔　空想とユーモアを描くドイツの画家ミヒャエル・ゾーヴァさん	高野　清見	読　売	1.19
クリエーターズワーク＆ソウル　so＋ba[ソバ]		AXIS	119
特集　マンガは芸術(アート)か？　進化するマンガ表現のゆくえ　海外マンガ事情　トム・ティラボスコ＆アナ・ゾマー	小野　耕生	美術手帖	876
[特集]飛龍衝天—世界を翔る中国アート		ART iT	11
宋冬インタビュー	馮　博一		
宋冬論：水の中から月をすくう	冷　林		

(タ)

J. M. W. ターナーの絵画における空間表象—その自然観とコスモロジーに関して—	津田　礼子	鹿島美術財団年報別冊	23
私の空想美術館27　ターナー『吹雪』	粟津　則雄	美術の窓	271
平成十七年度支部例会研究発表要旨　ヘラルト・ダーフィトの《聖母子と四人の天使》——一五ないし一六世紀の南ネーデルラントにおける聖母子図像興隆の一文脈—	寺門臨太郎	美術史	160
エッセンシャル・ペインティング Meeting Artist＃5 リュック・タイマンス	大島　賛都	美術手帖	887
現代絵画の旗手　リュック・タイマンスさん　イメージ知的に構築	前田　恭二	読　売	6.8
巻頭特集　東京—ベルリンの邂逅　2.両都市を往還する人々　ブルーノ・タウト	庄子　晃子 荒川由紀子	アート・トップ	208
名誉館長館話実施報告抄[ブルーノ・タウト]	新野　直吉	秋田県立博物館研究報告	31
「桂」／タウト　重層的なテクストとしての	磯崎　新 日埜　直彦 聞き手	10＋1*	42
フィールドワーク　タウトが歩いた東京1933—1936	斉藤　理	〃	45
独建築家が愛した日本　群馬・高崎でのブルーノ・タウト氏の足跡たどる	大木　紀元	日　経	3.15
日記をのぞく　ブルーノ・タウト「日本タウトの日記」1～5	牧内　岩夫	〃	12.3、10、17、24、31

Singular Dialogues インタヴュー　金村修×アントワン・ダガタ	編集部インタビュー	STUDIO VOICE	363
ベンガル派によるウオッシュの試み—大観・春草との交流の一側面—[オボニンドロナト・タゴール]	佐藤　志乃	横山大観記念館館報	22
小特集　ダリ　終の棲家のラビリンスへ		芸術新潮	683
文化往来　ダリとディズニーの“共作”アニメを公開		日　経	8.31
美の美　ブルトンと画家たち—シュルレアリスムの冒険4[サルバドール・ダリ]	浦田　憲治	〃	11.26
MAYA MAXXの「ふるえるほど好き」第9回[ジェームズ・タレル]	來嶋　路子	みづゑ	78
顔　「あらいぐまラスカル」舞台の地に贈る絵を描いた　譚小勇さん	永田　和男	読　売	3.6
第五十九回全国大会研究発表要旨　イヴ・タンギーのイメージ成立過程(一九二六—二八)とシュルレアリスムの諸原理—デペイズマンとオートマティスムをめぐって—	長尾　天	美術史	161
修士論文概要　イヴ・タンギー論—そのイメージの特殊性と成立について—	〃	早稲田大学大学院文学研究科紀要	51

(チ)

盗難　16世紀の金細工　傑作「サリエラ」発見[ベンヴェヌート・チェリーニ]		産　経	1.23
03盗難「彫刻のモナリザ」　時価70億円超の「サリエラ」回収[ベンヴェヌート・チェリーニ]		東　京	1.23
WORLD ARTIST チェイス・チェン	切刀　知子	美術の窓	277
奇想遺産　キューガーデンのパゴダ　イギリス[ウィリアム・チェンバース]	鈴木　博之	朝　日	4.30
クリエーターズワーク＆ソウル　ソニア・チャウ		AXIS	120
特集　入門★中国美術　パンダ♥LOVE　この作品、あなたは笑えますか？　アーティスト、趙半狄の「いつでも僕が主人公」	多田　麻美	美術手帖	887
都築響一の現代美術場外乱闘　第9回　一寸のゴキブリにも五分の魂[キャスリーン・チャルマース]	都築　響一	ART iT	10
クリエーターズワーク＆ソウル　テセウス・チャン		AXIS	123
往復書簡　第1回『Uncertain States of America』のポール・チャン	ハンス・ウルリッヒ・オブリスト　候　瀚如	ART iT	11
日韓交流・日本美術会展—2004　創作研究会の記録—	雀　基成	美術運動	133
ひと　日本初のマンガ博士になった韓国人風刺漫画家　鄭仁敬さん	小河　雅臣	朝　日	5.24
サン・セバスティアン再訪[エドゥアルド・チリーダ]	酒井　忠康	たいせつな風景	5
視点　長崎のチリーダ展(前編)(後編)	速水　史朗	美術の窓	273、274
エドゥアルド・チリーダ展拾遺	(Ik)	HILL WIND	12
こころの風景　ようこそチリーダ	港　千尋	朝日夕刊	3.20
巻頭特集　'06年夏アートで出会う美しい女性たち　陳進が描いた女性像の魅力	飯野由貴子	美術の窓	274

(ツ)

[特集]飛龍衝天—世界を翔る中国アート		ART iT	11
蔡國強インタビュー	芹沢　高志		
蔡國強：先覚の旅路	新川　高詩		
屋上で黒雲見物　蔡國強の不穏とユーモア	由本みどり	芸術新潮	679
現在通信From NEW-YORK　火薬画の公開制作[蔡國強]	富井　玲子	新美術新聞	1106

(テ)

あの人が推す、今注目のクリエーター3　シュテファン・ディーツ	小町　英恵	AXIS	122

ティエポロとミルトン—1742年版イタリア語訳『失楽園』の挿絵版画をめぐって—[ジャンバッティスタ・ティエポロ]	高梨　光正	鹿島美術財団年報別冊	23
泰西名画も怪奇映画も　ディズニーのマルチ引用術[ウォルト・ディズニー]	永島　章雄	芸術新潮	684
ディズニー・アート展をつくった人々	星野　康二、増田　春雄、岩井希久子、神田　茂樹、内野　雄介談 谷山亜紀子取材	みづゑ	77
博物学的美術史File.10　45年間、千葉で眠っていた眠れる森の美女[ウォルト・ディズニー]		美術の窓	274
第五十九回全国大会研究発表要旨　VERITAS　FILIA　TEMPORIS—イングランドにおけるカトリック復興とティツィアーノ作《ペルセウスとアンドロメダ》—[ティツィアーノ・ヴェチェリオ]	細野　喜代	美術史	161
日本美術会シンポジウム「美術は戦争をどう表現するのか　PART II」記録　「オットー・ディックスとエミール・ノルデ」	水沢　　勉	美術運動	133
特集　マンガは芸術(アート)か？　進化するマンガ表現のゆくえ　海外マンガ事情　トム・ティラボスコ&アナ・ゾマー	小野　耕生	美術手帖	876
誰の天国が一番？16世紀のコンクール再現[ティントレット]	高橋　恵理	芸術新潮	683
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨　ティントレットとグリッド	武井　　敏	美　　学	227
Design Office Report From USA 13 Margo Chase　ロサンゼルス[マーゴ・チェイス]	道添　　進	デザインの現場	146
形而上絵画卒業後　デ・キリコの不穏な葡萄	高橋　恵理	芸術新潮	673
こころの玉手箱　美術家　横尾忠則5　デ・キリコ	横尾　忠則	日経夕刊	8.25
美の美　崇高なる廃墟　下—終末の幻想[モンス・デジデリオ]	河野　　孝	日　　経	12.17
トーマス・デマンドの不穏なパルプ・フィクション	Anna Kizibo	芸術新潮	681
文献記録におけるデューラー(1)	下村　耕史	九州産業大学芸術学部研究報告	37
私の空想美術館30　デューラー『1500年の自画像』	粟津　則雄	美術の窓	274
特集　ダダ　1916—1924[マルセル・デュシャン]		水声通信	7
ダダ、ニューヨーク　1616—1924　デュシャンの「アメリカニスム」とアメリカの前衛	村田　　宏		
ダダイストとしてのマルセル・デュシャン　アイデンティティの問題として	平芳　幸浩		
特集　軽井沢という記号　軽井沢とデュシャンとおいしい生活	千石　英世	水声通信	9
文化の暦　1968年10月2日マルセル・デュシャン死去	鈴木　　繁	朝日夕刊	9.29
コンテンポラリーアーティストシリーズ　マルレーネ・デュマス	粟田　大輔	美術手帖	878
エッセンシャル・ペインティング　Meeting　Artist＃2　マルレーネ・デュマス	長谷川祐子	〃	887
第二特集　DOCUmenTaRY　NOW！　REPORT　FROM　LONDON　ジャーナリズムとアートの交差点[ジェレミー・デラー]	伊東　豊子	STUDIO VOICE	362
第二特集　DOCUmenTaRY　NOW！　REPORT　FROM　LONDON　ジャーナリズムとアートの交差点[リュック・デラヘイ]	〃	〃	〃
街角アート　祝祭終わってモニュマンひとつ[ルック・デルー]	星野　精一	新美術新聞	1081

ヴィテルボの《ピエタ》におけるセバスティアーノ・デル・ピオンボとミケランジェロ	伊丹　陽子	鹿島美術財団年報別冊	23

(ト)

MAYA　MAXXの「ふるえるほど好き」第7回[サイ・トゥオンブリ]	來嶋　路子	みづゑ	76
私の空想美術館28 ドガ『たらい』(1886年)	粟津　則雄	美術の窓	272
美の美　絵画は踊る1[エドガー・ドガ]	内田　洋一	日　経	2.5
PARIS発　パリの美しい郊外を散策[モーリス・ドニ]	安部　雅延	新美術新聞	1098
奇想遺産　テート・モダン　イギリス[ピエール・ド・ムーロン]	隈　研吾	朝　日	7.2
あの人が推す、今注目のクリエーター3 ピーター・トラーグ	柴田　厳朗	AXIS	122
ドラクロワ「サン＝シュルピス聖堂聖天使礼拝堂壁画」研究—写真の視点から—	柳原　一徳	鹿島美術財団年報別冊	23
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨　ドラクロワの宗教画(一八四〇年代)の革新と音楽的インプロヴィゼーションの関わり	河合　貞子	美　学	227
ドラクロワの絵画におけるグランド・オペラの受容と変容	〃	美学芸術学	21
美の美　ドラクロワ—近代精神の輝き1～4	浦田　憲治	日　経	1.8、15、22、29
「エコール・ド・パリ」と「エコール・フランセーズ」のはざまで—アンドレ・ドランという「調整者」	林　洋子	ART RAMBLE	13
アンドレ・ドラン《ジャン・ルノワール夫人(カトリーヌ・エスリング)の肖像》に関して	田中　正之	国立西洋美術館研究紀要	10
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨　クリストファー・ドレッサーの装飾デザイン論—日本趣味との関連を中心に—	竹内　有子	美　学	227

(ナ)

新美術時評　文化混交のなかの日本人[ジュン・ナカオ]	長谷川祐子	新美術新聞	1076
サンタが赤くなった日[トマス・ナスト]	菊地　毅	日　経	12.23

(ニ)

ENTERTAINMENT 映画『ニキフォル 知られざる天才画家の肖像』が公開　芸術に魅せられた"凡人"の生き方をも活写	冴羽木らえる	アート・トップ	212
a-chroniques[バーネット・ニューマン]	松浦　寿夫	水声通信	
《12》　非展望性について[その三]			12
《13》《14》　絵画とそれ以外のもの、[その二]			13、14

(ネ)

[特集1]コラボレーション　飛躍への挑戦		ART　iT	12
シリン・ネシャットインタビュー	オリヴィア・クサイバティ		
坂本龍一インタビュー[シリン・ネシャット]	小崎　哲哉		

(ノ)

リチャード・ノイトラの建築観と日本	玉田　浩之	日本建築学会計画系論文集	600
第二特集　DOCUmentary NOW! REPORT FROM LONDON ジャーナリズムとアートの交差点[サイモン・ノーフォーク]	伊東　豊子	STUDIO VOICE	362
芸術家における〈わが最良の友〉—イサム・ノグチとバックミンスター・フラー—	前田富士男	ARTLET	26
視点　イサム・ノグチとの想い出	速水　史朗	美術の窓	278

企画者にも選ばせろ！「ノルシュテインにとっては、映画よりも絵本のほうが新しいメディアなんです」ユーリー・ノルシュテイン、フランチェスカ・ヤールプソワ《絵本『きりのなかの はりねずみ』のためのラフスケッチ》	松方 路子談	芸術新潮	684
日本美術会シンポジウム「美術は戦争をどう表現するのかPART II」記録「オットー・ディックスとエミール・ノルデ」	水沢 勉	美術運動	133

(ハ)

奇想遺産 カステル・コッホ イギリス[ウィリアム・バージェス]	鈴木 博之	朝 日	7.23
奇想遺産 フラットアイアンビル アメリカ[ダニエル・バーナム]	隈 研吾	〃	5.7
《遺稿》ナムジュンパイクの版画制作始末記 「これであなたも蔵が建つよ」とパイクは冗談をとばした	岡部 徳三	あいだ	129
住環する遊び心と批評精神 追悼 ナムジュン・パイク	松本 俊夫	美術手帖	878
ビデオアート伝説の父 ナムジュン・パイク氏を悼む	建畠 哲	朝 日	2.2
惜別 現代美術家ナムジュン・パイクさん 時代が生んだ幸運な天才	田中 三蔵	朝日夕刊	2.20
ソウルからヨボセヨ(もしもし) ナムジュン・ペクの死	黒田 勝弘	産 経	2.4
大胆な発想で時代切り開く ナムジュン・パイク氏を悼む	中原 佑介	毎日夕刊	2.8
追悼 隣人ナムジュン・パイク 破壊と建設 働き抜く	靉 嘔	読売夕刊	2.6
ミロスワフ・バウカ水の生家 「転換期の作法 ポーランド、チェコ、スロヴァキア、ハンガリーの現代美術」展より		芸術新潮	675
博物学的美術史File.7 ポーランドの石鹸[ミロスワフ・バウカ]		美術の窓	271
WORLD ARTIST 4 Park, Seo-Bo[パク・ソボ]		ギャラリー*	249
レポート ソウル国際版画、写真、エディション作品アートフェア パク・ソボインタビュー 自然に喚起されて	パク・ソボ談	版画芸術	134
中間評価論文梗概 芸術家自身による制作過程に対する学問的分析は可能か？—ルネ・パスロンの制作学を起点にした考察—	高桑康二郎	芸術学研究(筑波)	10
誰の天国が一番？16世紀のコンクール再現[フランチェスコ・バッサーノ]	高橋 恵理	芸術新潮	683
ザハ・ハディドの流線型パワフル建築	由本みどり	〃	682
美の美 崇高なる廃墟 上—古代ローマへの夢[ジョヴァンニ・パオロ・パニーニ]	河野 孝	日 経	12.3
Artist from the world 南国のアーティスト BAPAK(バパク)の世界		ギャラリー*	258
ひと 客員研究員の紹介 テキスタイルデザインと研究 パドミニ・トラット・バラムさん	杉本 良男	民博通信	114
巻頭特集 私の好きな人物画Part.1 日本の木彫家が語るシュテファン・バルケンホール	舟越 桂、深井 隆、棚田 康司、三沢 厚彦談	美術の窓	268
第五十七回美学会全国大会報告 発表要旨 バルテュス《山(夏)》(一九三七)における身体と風景の描写—「稚拙さ」という見地から—	松野 敬文	美 学	227
バルテュス《街路》における人物像と空間表現—『稚拙さ』という見地から—	〃	美学論究	21
クリエーターズワーク&ソウル ゲオーグ・バルデレ		AXIS	120
「刻まれた風」複製版画から見るパルミジャニーノ・スタイル	鈴木 親彦	美術史論叢	22
エルンスト・バルラハのこと	小塩 節	ART LIBRARY	7

企画者にも選ばせろ！「ドイツ表現主義のなかで、西洋と東洋がひとつになったんです」エルンスト・バルラハ《苦行者》	池田　祐子談	芸術新潮	675
小特集　エルンスト・バルラハ　小さないのちの歌	薩摩　雅登	〃	676
「禁欲・硬さに秘められた精神性」バルラハと二人展を開いた　舟越桂さん	舟越 桂 談	朝日夕刊	4.10
ヴィデオ・アートの寵児が見せた新戦略D・ゴードン+P・パレーノ共同監督映画『ジダン　神が愛した男』[フィリップ・パレーノ]	立田　敦子	美術手帖	885
クリエーターズワーク＆ソウル　サム・バロン		ＡＸＩＳ	120
第五十九回全国大会研究発表要旨　ヴィルヘルム・ハマースホイの室内画—その写真性に関する考察—	萬屋　健司	美術史	161
特集　ロシア・アヴァンギャルド芸術ソヴィエト・アヴァンギャルド建築における二十七のオリジナリティ[セリム・オマロヴィチ・ハン＝マゴメドフ]	セリム・ハン＝マゴメドフ 本田　晃子訳	水声通信	4

（ヒ）

チャールズ・ウイルソン・ピールと初期のアメリカの博物館	矢島　國雄	MUSEUM STUDY	17
透視図法とカント空間[ピエロ・デッラ・フランチェスカ]	田山　令史	仏教大学文学部論集	90
パブロ・ピカソ《羊を抱く男》—その図像源泉と政治的意味—	松田　健児	鹿島美術財団年報別冊	23
ヤマダトミオのスペイン・アート通信77　プラド美術館長・ピカソ／PICASSO・DIRECTOR DEL MUSEO DEL PRADO	ヤマダトミオ	ギャラリー*	256
芥川龍之介と「詩的精神」[パブロ・ピカソ]	田鎖　数馬	国語国文	857
「エル・グレコ神話」の一断片—パブロ・ピカソの作品を中心に—	孝岡　睦子	美術史論集	6
ピカソ秘蔵作108億円で落札　絵画競売史上２位の高額	江木　慎吾	朝　日	5.5
ピカソ落札者はだれだ？　108億円購入で憶測　ロシアなまりの英語／入札に不慣れ	西田　健作	朝日夕刊	5.16
ピカソ作出品で二転三転　最大級のオークション	江木　慎吾	〃	11.9
いのちの炎　心の残像12景３　ピカソ「科学と恩寵」	瀬木　慎一	東京夕刊	1.17
名画はあそんでくれる22　世界の子どもたちと「あっちむいてピカソ」。	結城　昌子	〃	9.22
美の美　ブルトンと画家たち—シュルレアリスムの冒険１[パブロ・ピカソ]	浦田　憲治	日　経	11.5
ピカソの「夢」ひじ鉄で穴　所有の米ホテル王	國枝すみれ	毎　日	10.20
ピカソの「ゲルニカ」バスクの象徴「返還を」	福井　聡	毎日夕刊	6.13
「ピカソ」108億円落札　絵画競売２番目の高値	大塚　隆一	読　売	5.5
少年ピカソ育てた地中海文明の記憶　スペイン　マラガ　遺族寄贈　美術館の誇り	前田　恭二	〃	12.7
教室レポート「歴史の考察」の実践例外国人から見た近代日本の発展—ビゴーとベルツ—[ジョルジュ・ビゴー]	森　晋一郎	歴史と地理	595
カミーユ・ピサロ《エラニーの協会と農園》in N. Y.	Ｓａｓ	群馬の森美術館ニュース	123
ピサロとセザンヌ川ぞいの切磋琢磨	永島　章雄	芸術新潮	677
PARIS発　パリの美しい郊外を散策[カミーユ・ピサロ]	安部　雅延	新美術新聞	1098
エッフェル塔時代の「プリミティフ」と「モデルヌ」—カミーユ・ピサロの二つの《りんご採り》をめぐる一考察—	石谷　治寛	美術史	161

美の美　人間セザンヌ　中―師ピサロ	白木　緑	日　経	8.13
クリエーターズワーク＆ソウル　ピノー＆ル・ポルシェ		ＡＸＩＳ	123
「CHINA BLUE CHINA RED」馮學敏著		日　経	8.27
美の美　崇高なる廃墟　上―古代ローマへの夢[ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ]	河野　孝	〃	12.3

（フ）

アートとは倫理的なもの　演出家・美術家　ヤン・ファーブル		日　経	7.15
ファルサーリと日本写真史[アドルフォ・ファルサーリ]	木下　直之	美術史論叢	22
アドルフォ・ファルサーリに関するイタリア調査の中間報告	小佐野重利	〃	22
特集　北京レポート第１回北京アートフェア[ART BEIJING]と今日美術館オープン[方力鈞展]etc.		ギャラリー*	260
アルド・ファン・アイクの建築思想における「コンフィギュレーション」の構造―論考「コンフィギュレーション理論への歩み」を通して	朽木　順綱	日本建築学会計画系論文集	609
名画のなかの女性たち23　フーベルトおよびヤン・ファン・アイク《御座の聖母マリア(ゲント祭壇画部分)》	中山　忠彦	美術の窓	270
ヤン・ファン・エイクの《聖バルバラ》―構図・図像・発想源―	久保　寿子	美術史学	26
名画のなかの女性たち23　フーベルトおよびヤン・ファン・アイク《御座の聖母マリア(ゲント祭壇画部分)》	中山　忠彦	美術の窓	270
私の空想美術館34　ファン・エイク『アルノルフィーニ夫妻の肖像』	粟津　則雄	〃	278
フーケ作《ジャン・ロベルテの時禱書》[ジャン・フーケ]	篠原田鶴子	群馬県立女子大学紀要	27
特集　宮廷と美術　論文　宮廷画家から近代画家へ　ブーシェと美術アカデミーの改革を中心に[フランソワ・ブーシェ]	大野　芳材	西洋美術研究	12
第五十九回全国大会研究発表要旨　フランソワ・ブーシェによるオテル・ド・スービーズの戸口上部装飾画―《親切な羊飼い》と《優雅な羊飼い》の関係をめぐって―	小林亜起子	美術史	161
名画のなかの女性たち31　フランソワ・ブーシェ《ポンパドゥール侯爵夫人像》	中山　忠彦	美術の窓	278
カバーインタビュー　フェルナンド＆ウンベルト・カンパーナ	上條　昌宏	ＡＸＩＳ	120
巻頭特集　私の好きな人物画Part.1　フェルメールまたは矛盾した二相の絵画	北川　健次	美術の窓	268
名画はあそんでくれる３　傑作はいろんな見方を許してくれる。[ヨハネス・フェルメール]	結城　昌子	東京夕刊	8.30
発見された画家１　フェルメール、透明な観察力	赤瀬川原平	日経夕刊	1.19
コルソ・ディ・ブオーノの十字架形板絵をめぐって	小野　迪孝	東海大学紀要教養学部	36
デザインのあり方を問う　フォクト＋ヴァイツェネッガー展[V＋W]	河合　純枝	デザインの現場	147
特集　はじめての武満徹　武満徹をみるその１ようこそ、武満美術館へ　コーネリア・フォス《ウェインスコット・ポンドⅢ》	編　集　部	芸術新潮	677
ひと　中国の「文化遺産の日」を提唱した作家・画家馮驥才(フォンチーツァイ)さん	鈴木　暁彦	朝　日	6.28
奇想遺産　新凱旋門フランス[ヨハン・オットー・フォン・スプレッケルセン]	隈　研吾	〃	7.30

切り裂く「行為」と「痕跡」と—Lucio Fontana，マニフェストを超克する一三〇〇の「アッテーザ」—[ルーチョ・フォンタナ]	下村　香織	芸術学研究(京都造形)	1
「カリタス」と「カリタス・ロマーナ(キモンとペロー)」—プッサン作《マナの収集》とル・ブラン作《岩を打つモーゼ》の授乳のモティーフ—[ニコラ・プッサン]	深谷　訓子	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	50
特集　宮廷と美術　原典資料紹介　マルタン・ド・シャルモワの嘆願書／ジャン＝バティスト・コルベールのプッサン宛書簡	粟田　秀法解題　フランス美術文献研究会　訳	西洋美術研究	12
ニコラ・プッサン作《バッコスの勝利》と《パンの勝利》—リシュリュー城「王の陳列室(キャビネ)」の装飾における意味について—	望月　典子	美術史	160
第五十九回全国大会研究発表要旨　プッサンの物語画の意味構造—《コリオラヌス》をめぐって—	粟田　秀法	〃	161
バルザック『セラフィタ』におけるテオフィル・ブラの彫像『礼拝する天使』の反映	大須賀沙織	早稲田大学大学院文学研究科紀要	51
芸術家における〈わが最良の友〉—イサム・ノグチとバックミンスター・フラー—	前田富士男	ARTLET	26
東野芳明的評伝16　2章・フラーは「鳥」に　レオナルドは「魚」に	米倉　守	美術の窓	277
日本人を撮影　最古の1枚　銀板写真重文指定へ[エリフェレット・ブラウン・ジュニア]		読売	3.18
「アッ、穴だ」のわが美術展　第1回　逃げるふりして　ロココ後期のフラゴナールの場合(上)[ジャン＝オノレ・フラゴナール]	草森　紳一	アート・トップ	212
クリエーターズワーク＆ソウル　プラズマスタジオ		AXIS	121
ブラマンテの建築実践を支える理論体系　サン・ピエトロ大聖堂再建事業におけるミケランジェロの計画案　その2[ドナート・ブラマンテ]	塩井かおり	日本建築学会計画系論文集	609
[論文]アレッサンドロ・フランキ作《無原罪受胎の教義》の銘文について	甲斐　教行	五浦論叢	13
報道写真家アンリ　アンリ・カルティエ＝ブレッソンの活動が映画に	マルティーヌ・フランク	日経	5.9
ブランクーシと合衆国の出会い[コンスタンティン・ブランクーシ]	山田真規子	姫路市立美術館だより	91
クリエーターズワーク＆ソウル　フシャン・プリアン		AXIS	123
子を宿す母—フリードリヒ作《朝日の中の婦人》の解釈をめぐって—[カスパル・ダーフィット・フリードリヒ]	杉山あかね	東京芸術大学美術学部論叢	2
私の空想美術館29　カスパール・ダヴィッド・フリードリヒ『海辺の修道士』	粟津　則雄	美術の窓	273
美の美　崇高なる廃墟　下—終末の幻想[カスパル・ダーフィット・フリードリヒ]	河野　孝	日経	12.17
Dutch Contemporary Art[ヘレン・フリック]	嘉藤　笑子	STUDIO VOICE	361
失われたブリューゲル　ベルギー王立美術館の《イカロスの墜落》は誰が描いたのか[ピーテル・ブリューゲル]	森　洋子	芸術新潮	682
第五十九回全国大会研究発表要旨　「悦楽の地」としてのフランドル—ブリューゲル作「月暦画」連作をめぐって—	高橋　優季	美術史	161
美の美　崇高なる廃墟　中—不気味さ潜む風景[ピーテル・ブリューゲル]	河野　孝	日経	12.10
散逸ブリューゲル帰国　偶然発見「松方」の文字	幸福　輝	読売	8.24
「イカロスの墜落」の真筆性　ブリューゲルは創案者か	森　洋子	〃	11.16

旧松方コレクション散逸ブリューゲル帰国		読売夕刊	8.23
ディック・ブルーナさんの絵本のつくりかた vol.4 Playing	來嶋 路子	みづゑ	75
ブルーナを訪ねるユトレヒト紀行	セキユリヲ	〃	76
世にも華麗な多色木版画—ブルクマイアー作《聖ゲオルギウス》《マクシミリアン》再考[ハンス・ブルクマイアー]	保井 亜弓	金沢美術工芸大学紀要	50
上か下か、それとも無しか？台座をめぐる彫刻家の冒険[ルイーズ・ブルジョア]	永島 章雄	芸術新潮	676
ギィ・ブルダン 欲望の唐突な対象	長澤 均	美術手帖	880
Dutch Contemporary Art[ロニー・ファン・ブルムメレン]	嘉藤 笑子	STUDIO VOICE	361
奇想遺産 ナショナル・モニュメント イギリス[ウィリアム・ヘンリー・プレイフェア]	鈴木 博之	朝日	2.26
奇想遺産 聖ミハエラ教会 スロベニア[ヨジェ・プレチニック]	藤森 照信	〃	2.19
特集 デザインを読む！ ブックガイド300 デザイナーを読み解く！ Alexey Brodovitch	藤崎圭一郎選・文	デザインの現場	145
フンデルトヴァッサー：モチーフとしての「家」[フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサー]	三橋 純子	東京都現代美術館紀要	10
クリエーターズワーク＆ソウル ドワンリット・ブンナー		AXIS	122

(ヘ)

第七回 国際浮世絵学会大会発表報告 ワーグマンとベアトによる幕末画像資料と錦絵新聞[フェリックス・ベアト]	ヒロコ・ジョンソン 植田彩芳子訳	浮世絵芸術	151
特集 ダダ 1916—1924 ダダ・メモリアル 記念日のための明るい殺意[ハンナ・ヘーヒ]	香川 檀	水声通信	7
日韓交流・日本美術会展—2004 創作研究会の記録—	白 仁鉉	美術運動	133
いのちの炎 心の残像12景10 ベックリーン「死の鳥」[アルノルト・ベックリーン]	瀬木 慎一	東京夕刊	3.7
現在通信From NEW-YORK エヴァ・ヘッセ	富井 玲子	新美術新聞	1092
あの人が推す、今注目のクリエーター3 ガブリエレ・ペッツィーニ	田代かおる	AXIS	122
ベラスケスのボデゴンと17世紀セビーリャの知的環境	諸星 妙	鹿島美術財団年報別冊	23
特集 ジョルジュ・ペレック 表象の地獄 あるいは無限に自己参照するユートピア ジョルジュ・ペレックの転倒するエクフラシスに寄せて[ディエゴ・ベラスケス]	宮下 誠	水声通信	6
特集 宮廷と美術 論文 晩年のベラスケスとフェリペ4世、廷臣から芸術家へ マリア・テレサの婚儀を糸口に	大高保二郎 諸星 妙	西洋美術研究	12
ジョヴァンニ・ベッリーニ作《聖なる寓意》の形態の源泉とその創意をめぐって	佐々木千佳	美術史学	26
[COLUMN]MORE DESIGN 6 MARIO BELLINI	柳本 浩市	STUDIO VOICE	365
表現主義の彫刻家ルドルフ・ベリング	五十殿利治	ART LIBRARY	7
奇想遺産 テート・モダン イギリス[ジャック・ヘルツォーク]	隈 研吾	朝日	7.2
ジョヴァンニ・モレッリ『イタリア絵画論—ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア＝パンフィーリ美術館』翻訳(5)—第一章ボルゲーゼ美術館(マリオット・アルベルティネッリからペリン・デル・ヴァーガまで)[バルダッサーレ・ペルッツィ]	上田 恒夫	金沢美術工芸大学紀要	50

ジャン・ロレーンツィオ・ベルニーニによるトレーヴィの泉の改築に関する研究	佐々木　学	日本建築学会計画系論文集	601
ベルニーニの宮殿立面における大オーダーのベースと開口部の手摺	遠藤　太郎	〃	606
奇想遺産　メルモンテ日光霧降　日本[ロバート・ベンチューリ]	松葉　一清	朝　日	3.12

（ホ）

[特集]飛龍衝天―世界を翔る中国アート「798芸術工廠」が誕生した日[黄鋭]	編　集　部	ART　iT	11
「経済価値」を超える―ヨーゼフ・ボイス没後20年に	若江　漢字	あいだ	128
《講演記録》ヨーゼフ・ボイス：彫刻理論と錬金術　芸術、自然、精神世界を貫く３つの造形原理	守谷　訓光	〃	〃
いまも残存する中世の夢―ヨーゼフ・ボイスを知らない世代へ	白川　昌生	〃	131
ヨーゼフ・ボイスと宮沢賢治―〈芸術の東北〉研究序説	山本　和弘	東北芸術工科大学紀要	13
ボイス没後20年のベルリン　アート、悼みの行為	菅原　教夫	読売夕刊	2.8
『トリストラム・シャンディ』のホガースによるイラストレーションについて[ウィリアム・ホガース]	島　高行	実践女子大学文芸資料研究所年報	別冊10
視線　秘密の知識　巨匠も用いた知られざる技術の解明　デイヴィッド・ホックニー著	南　伸坊	朝　日	10.22
発見された画家３　ボッシュ　妖しい輝き[ヒエロニムス・ボッス]	赤瀬川原平	日経夕刊	2.2
全一冊　韓国　未知の美と出会う旅　ソウル　隣の国のほがらかデザイン術　名建築家の韓定食　サムソンリウム美術館[マリオ・ボッタ]	日下　潤一	芸術新潮	680
美の美　絵画は踊る２[サンドロ・ボッティチェリ]	内田　洋一	日　経	2.12
16―17世紀ローマにおけるオラトリオ会の建築に関する一考察―新修道会としての建設活動とボッロミーニによる計画を中心に―[フランチェスコ・ボッロミーニ]	岩谷　洋子	日本建築学会計画系論文集	607
奇想遺産　アブラクサス　フランス[リカルド・ボフィル]	隈　研吾	朝　日	4.2
高松宮殿下記念世界文化賞受賞者決まる絵画部門・草間彌生氏、彫刻部門・クリスチャン・ボルタンスキー氏ら５人に		新美術新聞	1101
越後妻有アートトリエンナーレ2006 INTERVIEW 04　クリスチャン・ボルタンスキー	白羽　明美	美術手帖	884
高松宮殿下記念世界文化賞　彫刻部門　クリスチャン・ボルタンスキー		産　経	9.8
高松宮殿下記念世界文化賞　生と死の真実見つめて　彫刻部門クリスチャン・ボルタンスキー	上塚　真由	〃	10.11
世界文化賞受賞者会見　新たな創造への情熱[クリスチャン・ボルタンスキー]		〃	10.18
ドクロが見る・ドクロを見る―『大使たち』に見られる死のホルバイン的表現―	齊藤　栄一	芸術学研究(明学)	16
私の空想美術館31　ハンス・ホルバイン(子)『キリストの遺骸』	粟津　則雄	美術の窓	275
例会・研究発表会要旨　東部会　平成十八年度第三回例会　ジャクソン・ポロックの具象的形象についての考察―アドルフ・ゴットリーブの「ピクトグラフ」を手がかりとして	岸　みづき	美　学	227
この絵画「164億円」ポロック作史上最高額		産　経	11.4
R・ホワイトリードのポリエチレン遺跡[レイチェル・ホワイトリード]	Anna Kizibo	芸術新潮	673

Dutch Contemporary Art[ユール・ホンディウス]	嘉藤　笑子	STUDIO VOICE	361
ジョヴァンニ・モレッリ『イタリア絵画論—ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア＝パンフィーリ美術館』翻訳（５）—第一章ボルゲーゼ美術館（マリオット・アルベルティネッリからペリン・デル・ヴァーガまで）[ポントルモ]	上田　恒夫	金沢美術工芸大学紀要	50
特集　マンガは芸術（アート）か？　進化するマンガ表現のゆくえ　海外マンガ事情　ウィスット・ポンニミット	福永　　信	美術手帖	876

（マ）

エンツォ・マーリ、核心を突く仕事、第２回～第４回	田代かおる	ＡＸＩＳ	121～124
特集　デザインを読む！　ブックガイド300　デザイナーを読み解く！　Enzo Mari	野口　孝仁選 土田　貴宏取材・文	デザインの現場	145
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨　アントン・マウフェのラーレン時代	太田　靖子	美　　学	227
光の詩人インゴ・マウラー　「自己表現は一番重要なことじゃない」		芸術新潮	681
美の美　ブルトンと画家たち—シュルレアリスムの冒険３[ルネ・マグリット]	浦田　憲治	日　　経	11.19
美術記者こぼれ話　アフリカの二人の作家[エスター・マシャラング]	田中　三蔵	国華清話会会報	7
AT 209　Remarkable TOPIC　「赤」がつなげる日本とイラク　イラクの画家マズハルさんが個展[ハニ・マズハル]	（根）	アート・トップ	209
特集　中東アート事始[ハニ・マズハル]		ギャラリー*	253
特集　もうひとつのデザイン・ユートピア　テクノロジカル・デザイン＆アーキテクチャー　ジャン＝マリー・マソー　建築やデザインを舞台にしてシナリオを綴る	ジャン＝マリー・マソー　談 桜井みどり取材・文	美術手帖	878
あの人が推す、今注目のクリエーター３　ハワイデザイン[ポール・マッカネリー]	中島　恭子	ＡＸＩＳ	122
マテオの幼児虐殺画に国際政治問題の陰[マッテオ・ディ・ジョヴァンニ]	高橋　恵理	芸術新潮	682
a－chroniques《７》《８》[アンリ・マティス]	松浦　寿夫	水声通信	7、8
アンリ・マティス研究—マティスの「装飾性」をめぐって	伊藤　涼子	哲学会誌	30
例会発表要旨　第99回例会：ジャポニスムからマチスまで—19世紀後半から20世紀前半までのフランスにおける芸術場—マチス芸術における〈シーニュ〉の変容	大久保恭子	日仏美術学会会報	25
特集　メディアが「美術」をつくる。３　メディアと美術—マティスを巡る断想	天野　知香	美術フォーラム21	14
美の美　絵画は踊る１[アンリ・マティス]	内田　洋一	日　　経	2.5
平成15年度修士論文要旨　エドゥアール・マネ《フォリー・ベルジェール劇場のバー》について	松田　　愛	美学美術史研究論集	21
第五十九回全国大会研究発表要旨　エドゥアール・マネ再考	三浦　　篤	美術史	161
名画のなかの女性たち28　エドゥアール・マネ《オランピア》	中山　忠彦	美術の窓	275
表紙解説〈裏〉　エドゥワール・マネ《エミール・ゾラの肖像》陶板画	原田　平作	美術フォーラム21	14
オークションの逸品　アンリ・マルタンの「アトリエから見えるパリの風景」		ギャラリー*	255
名画のなかの女性たち21　シモーネ・マルティーニ《サンタ・キアラの肖像》	中山　忠彦	美術の窓	268
奇想遺産　オリンピック競技場　ドイツ[ベルナー・マルヒ]	松葉　一清	朝　　日	1.8
カンヴァス変容　エリザベス・マレイの42年	由本みどり	芸術新潮	673

特集　デザインを読む！　ブックガイド300　デザイナーを読み解く！　Angelo Mangiarotti	川上　元美選 土田　貴宏取材・文	デザインの現場	145
マンテーニャと署名	松下　真記	お茶の水女子大学人文科学研究	2
マンテーニャ作エレミターニ聖堂オヴェターリ礼拝堂壁画における遠近法	盛本　直美	美術史論集	6
私の空想美術館32　アンドレア・マンテーニャ『死せるキリスト』	粟津　則雄	美術の窓	276
特集　はじめての武満徹　武満徹をみるその１ようこそ、武満美術館へ　マン・レイ《剃髪》	編　集　部	芸術新潮	677

（ミ）

ミース・ファン・デル・ローエによる煉瓦造田園住宅の平面図の構成における黄金比の使用　和文要約	佐野　潤一	日本建築学会計画系論文集	603
ミース・ファン・デル・ローエのモンタージュ表現とその特質に関する研究	岩田　章吾 足立　裕司	〃	607
バルセロナ・パヴィリオンの空間構成要素の形と配置について[ミース・ファン・デル・ローエ]	髙砂　正弘 辻　正矩	〃	608
第一特集　Creator's Favorite Books　今一番大切な本　118人のクリエイターが選ぶ248冊　プロダクトデザイナー	ロス・ミクブライト	STUDIO VOICE	371
西洋美術史見直誌第14回　パトロンと画家２　ミケランジェロのケース	瀬木　慎一	アート・トップ	211
ヴィテルボの《ピエタ》におけるセバスティアーノ・デル・ピオンボとミケランジェロ	伊丹　陽子	鹿島美術財団年報別冊	23
ミケランジェロの古代受容	石井　元章	芸術文化研究	10
奇想遺産　カンピドリオ広場　イタリア[ミケランジェロ・ブオナローティ]	山盛　英司	朝　日	2.12
名画のなかの女性たち24　アルフォンス・ミュシャ《メディア》	中山　忠彦	美術の窓	271
英国十八世紀半ばのジェントルマン建築家サンダーソン・ミラーによる人工廃虚建築	豊口真衣子	建築史学	47
奇想遺産　ワシントン記念塔　アメリカ[ロバート・ミルズ]	山盛　英司	朝　日	10.22
特集　はじめての武満徹　武満徹をみるその１ようこそ、武満美術館へ　ジョアン・ミロの彫刻	編　集　部	芸術新潮	677

（ム）

Dutch Contemporary Art[ヘレナ・ムスケンズ]	嘉藤　笑子	STUDIO VOICE	361
美術記者こぼれ話　アフリカの二人の作家[キブティ・ムブノ]	田中　三蔵	国華清話会会報	7
松方幸次郎とエドヴァルド・ムンク	伊藤富美子	国立西洋美術館研究紀要	10
強奪から２年　ムンクの「叫び」見つかる	稲田　信司	朝日夕刊	9.1
無事喜ぶ「叫び」　ムンクの発見２作品早期展示へ		東京夕刊	9.1
名画はあそんでくれる21　ムンクの『叫び』にユーモアで挑戦する子どもたち。	結城　昌子	〃	9.21
ノルウェー04年強奪ムンク「叫び」発見	森　千春	読　売	9.1

（メ）

奇想遺産　メーリニコフ邸　ロシア[コンスタンチン・メーリニコフ]	山盛　英司	朝　日	4.16
アネット・メッサージェ　「内側」からの価値転覆者	松井みどり	美術手帖	877
大特集　シチリアの秘密　第３章　謎の天才画家アントネッロ・ダ・メッシーナ巡礼	編　集　部	芸術新潮	673
アントネッロ・ダ・メッシーナのエッケ・ホモ―単独人物画が孕む物語性―	塚本　博	美術史研究	44

(モ)

小特集　パウラ・モーダーゾーン＝ベッカー　みずからを果実のごとく	平出　隆	芸術新潮	673
美の美　愛の結晶２　モディリアーニとジャンヌ	浦田　憲治	日　経	5.28
PARIS発　モネの浮世絵	安部　雅延	新美術新聞	1107
日付のある哲学《１》見ることのアナーキズム—吉田喜重を通ってモネへ	小林　康夫	水声通信	8
私の空想美術館25　モネ「睡蓮」	粟津　則雄	美術の窓	269
６年ぶり「睡蓮」に光　オランジュリー美術館改装工事終え公開へ[クロード・モネ]		東京夕刊	5.11
フランス・モネの庭　あふれる色まるで「名画」	桐原　春子	読売夕刊	10.5
ニュー・バウハウスにおける「光工房」の活動[ラスロー・モホイ＝ナジ]	徐　希延	芸術学研究(筑波)	10
第一特集　アートブックを楽しむ　ART BOOK BEST 150 and more...！　モリスの美しい書物は今も生き続けている[ウィリアム・モリス]	原田　環	STUDIO VOICE	368
印象派神話の創造—ジョン・リウォルド著『印象派の歴史』におけるベルト・モリゾの記述について—	坂上　桂子	早稲田大学大学院文学研究科紀要	51
特集　デザインを読む！　ブックガイド300　デザイナーを読み解く！　Jasper Morrison	守田美奈子選 土田　貴宏取材・文	デザインの現場	145
十九世紀フランスのオルフェウス像をめぐって—ギュスターブ・モローを中心に—	坂井利佐子	デアルテ	22
ピート・モンドリアン最晩年の作品におけるネーミングに関する考察—都市およびブギ・ウギとのかかわりから—	脇本　厚司	東京芸術大学美術学部紀要	43

(ヤ)

企画者にも選ばせろ！「ノルシュテインにとっては、映画よりも絵本のほうが新しいメディアなんです」ユーリー・ノルシュテイン、フランチェスカ・ヤールブソワ《絵本『きりのなかの　はりねずみ』のためのラフスケッチ》	松方　路子談	芸術新潮	684
奇想遺産　ソニー・センター　ドイツ[ヘルムート・ヤーン]	隈　研吾	朝　日	3.5
Buckel作品にみられるヤウレンスキーの抽象表現の開始について[アレクセイ・フォン・ヤウレンスキー]	谷　亜紀	芸術学	9
[特集]百花斉放—進撃する中国アート		ART iT	10
楊福東インタビュー　ゴールに到達するためにはアプローチはなんであってもいいと思う	原田　幸子聞き手		
楊福東：夢幻の現実	皮　力		
地球万華鏡　偽画自賛　母国で展覧会　20年で数千点「他人流儀飽きた」[ヘールト・ヤン・ヤンセン]	鶴原　徹也	読　売	1.8

(ユ)

アジアへの道標　柳惠松の個展巡回[ユ・ヘソン]		ギャラリー*	260
アンタモーロ礼拝堂の天井クーポラに関する分析[フィリッポ・ユヴァッラ]	小林　衛	日本建築学会計画系論文集	600
講演会録　[ギュンター・ユッカー　虐待されし人間]講演会　「ユッカーの芸術について」	中原　佑介談	伊丹市立美術館館報	2003～2004
大好きだった　長野まゆみ(作家)５８歳で出あった絵　ユトリロの「コタン小路」[モーリス・ユトリロ]	長野まゆみ	朝日夕刊	3.31

（ヨ）

日韓交流・日本美術会展—2004　創作研究会の記録—	楡　淳植	美術運動	133
Dutch Contemporary Art[フォルカート・デ・ヨング]	嘉藤　笑子	STUDIO VOICE	361

（ラ）

「不在」としての形象—そのメタファー機能をめぐる一考察[アド・ラインハート]	三木　順子	京都工繊大工芸学部報告*	54
現在通信From NEW-YORK　現代美術の古典[ロバート・ラウシェンバーグ]	富井　玲子	新美術新聞	1078
エッセンシャル・ペインティング Meeting　Artist＃３ネオ・ラオホ	河合　純枝	美術手帖	887
Dutch Contemporary Art[キリネ・ラッケ]	嘉藤　笑子	STUDIO VOICE	361
発見された画家４　ラ・トゥール　宗教画を超えて[ジョルジュ・ド・ラ・トゥール]	赤瀬川原平	日経夕刊	2.9
西洋美術史見直誌　第13回　パトロンと画家１　ラファエロのケース	瀬木　慎一	アート・トップ	210
ジョヴァンニ・モレッリ『イタリア絵画論—ローマのボルゲーゼ美術館とドーリア＝パンフィーリ美術館』翻訳(５)—第一章ボルゲーゼ美術館(マリオット・アルベルティネッリからペリン・デル・ヴァーガまで)[ラファエロ・サンツィオ]	上田　恒夫	金沢美術工芸大学紀要	50
アゴスティーノ・キージとヴェネツィア—ラファエッロ作《ガラテア》にみるパトロンの芸術体験の反映	小林　明子	芸術学	9
3.教育普及事業　1)公開制作　18「難破船」サンドラ・ラモス		府中市美術館年報	2000–2005
クリエーターズワーク＆ソウル　ラング／バウマン		ＡＸＩＳ	124
国際藝術研究センター主催　「戦争と芸術—War and Art in the World History—」[ラングランズ＆ベル]	吉田　武司	瓜生通信	37
ジム・ランビー　No Music No Art! No Art No Life!	北澤ひろみ聞き手	美術手帖	882

（リ）

3.教育普及事業　1)公開制作　9「スタジオ空間」李寅熙		府中市美術館年報	2000–2005
学芸員談話室４　鉄と石を調達する。そして、それらを設置する。[李禹煥]	柏木　智雄	同志社大学博物館学年報	37
李禹煥　新作リトグラフ連作〈黙〉	李　禹煥　談　辺　見　取材・構成	版画芸術	131
飾る愉しみを追う　最終回　五感で感じる空間を作る[李禹煥]	秋田　真波	〃	134
2007年ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館　プレ・リポート　指名コンペ結果発表＋応募案誌上公開４　原初の美　李禹煥＋隈研吾	清水　敏男	美術手帖	889
第47回毎日芸術賞受賞者の業績　李禹煥さん	酒井　忠康	毎日	1.1
毎日芸術賞の人々３　李禹煥さん　匿名性の美学を貫く	三田　晴夫	毎日夕刊	1.18
毎日芸術賞喜びの声　国際社会で通用する芸術を	李　禹煥	〃	2.1
日韓交流・日本美術会展—2004　創作研究会の記録—	李　應雨	美術運動	133
新疆シルクロード　李学亮著		日経	3.5
兵庫陶芸美術館開館記念展Ⅱ「バーナード・リーチ展」によせて	西田　桐子	陶説	638
英国の登り窯　「リーチ工房」の保存運動広がる		朝日夕刊	6.6
文化往来　リーチの工房跡、国際陶芸センターに		日経	6.12
日本陶芸の魅力紹介　柳宗悦らと交流　リーチの工房保存へ		読売夕刊	7.3

教員研究ノート・随想　リートフェルトのシュローダー邸をめぐって[ヘリット・トーマス・リートフェルト]	岡山　理香	美史研ジャーナル	3
東京―ベルリン／ベルリン―東京　破壊と創造を繰り返す２つの都市の物語　2006年ベルリン／東京のアートシーンを追え！　マルティン・リープシャー	難波　祐子	美術手帖	878
名画のなかの女性たち29　ティルマン・リーメンシュナイダー《被昇天のマリア祭壇》	中山　忠彦	美術の窓	276
フィリッポ・リッピによる受胎告知図の研究―サン・ロレンツォ作品を中心に―	剱持あずさ	鹿島美術財団年報別冊	23
ゲルハルト・リヒター作『一九七七年十月十八日』における主題と技法	浅沼　敬子	美　学	224
メディアアート学科客員教授ズビグニュー・リプチンスキー氏インタビュー	林　亜紀子インタビュー・文	女子美	155
WTCを再建するユダヤ人建築家の超ポジティヴ人生[ダニエル・リベスキンド]		芸術新潮	683
日韓交流・日本美術会展―2004　創作研究会の記録―	林　　立	美術運動	133
フランツ・リンゲルひたすら自画像主義	小笠原正佳	芸術新潮	674
LOOK UP KYOTO 2004　メディア・アートインスタレーション作品について[ベルント・リンターマン]	松本　泰章	京都嵯峨芸術大学紀要	31

（ル）

西洋美術史見直誌　第11回　ルーベンスの絵画制作所[ピーテル・パウル・ルーベンス]	瀬木　慎一	アート・トップ	208
特集NOTE～ノートする～ル・コルビュジエの手帖	林　　美佐	ARTLET	26
思想史的連関におけるル・コルビュジエ―一九三〇年代を中心に５～８	八束はじめ	10＋1*	42～45
ル・コルビュジエの1920年代の都市計画における身体文化　ル・コルビュジエとその協働者ピエール・ウィンターの身体文化理論に関する研究　その３	森山　　学	日本建築学会計画系論文集	601
ル・コルビュジエ全作品集における建築写真と図面・スケッチの構成　情報化された建築空間の構成に関する研究	岡河　　貢 足立　真 坂本　一成	〃	607
ル・コルビュジエ全作品集における建築写真の対象と構成　情報化された建築空間の構成に関する研究	〃	〃	609
『絵画の中の熱帯』の余白に[アンリ・ルソー]	岡谷　公二	学　鐙	103-3
税関吏ルソーが都市で見たジャングル	永島　章雄	芸術新潮	679
PARIS発　アンリ・ルソーのジャングル	安部　雅延	新美術新聞	1082
特集　はじめての武満徹　武満徹をみるその１ようこそ、武満美術館へ[オディロン・ルドン]	編　集　部	芸術新潮	677
ポール・ルヌアールと林忠正	木々　康子	MUSEUM	604
ポール・ルヌアールと十九世紀フランス挿絵	小勝　禮子	〃	〃
ルヌアール素描コレクションの壮観	隠岐由紀子	〃	〃
林忠正、ポール・ルヌアール関係略年譜	山梨絵美子編	〃	〃
文豪の愛した美術　池波正太郎とルノワール	近藤　史人	アート・トップ	212
オークションの逸品　ルノワールの「若い娘の肖像」		ギャラリー*	254
巻頭特集　'06年夏アートで出会う美しい女性たち　最新科学調査が証す　ルノワールのメーク術は現代女性のお手本!?		美術の窓	274
ルノワール　人物画の肌色「本物に近い」科学的に立証	津川　綾子	産　経	5.10
“メークの魔術師”ルノワール　透明感高める重ね塗り　ポーラが分析	上杉　恵子	毎日夕刊	5.2

「カリタス」と「カリタス・ロマーナ(キモンとペロー)」―プッサン作《マナの収集》とル・ブラン作《岩を打つモーゼ》の授乳のモティーフ―[シャルル・ル・ブラン]	深谷　訓子	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	50

(レ)

第二特集　DOCUmenTarY　NOW！REPORT FROM NY ドキュメンタリーの新しい方向を提示するアーティストたち[アン・ミー・レイ]	河内　タカ	STUDIO VOICE	362
奇想遺産　レイトンハウス　イギリス[フレデリック・レイトン]	鈴木　博之	朝　日	12.3
レオから教えてもらったこと[レオ・レオーニ]	松岡希代子	みづゑ	
「1996、出会い」			76
「レオの生涯を振り返る」			77
「創作の全てが映し出された絵本」			78
緊急特集！　美術史家も侃々諤々『ダ・ヴィンチ・コード』の○と×	小池　寿子、宮下　誠　対談	芸術新潮	678
特集　創造する脳　どうしてヒトは絵を描くのか？　レオナルド・ダ・ヴィンチ　統合された知、視覚の科学	暮沢　剛巳	美術手帖	880
東野芳明的評伝16　2章・フラーは「鳥」に　レオナルドは「魚」に	米倉　守	美術の窓	277
「モナリザ」そっくり　誰が描いた？　模写か、ダビンチの習作か	江木　慎吾	朝　日	6.20
名画はあそんでくれる20　知りたい欲望を刺激するレオナルド・ダ・ヴィンチ。	結城　昌子	東京夕刊	9.20
ダビンチ作と判明　伊実業家の素描画		日　経	6.12
美の美　レオナルドの眼1～4	内田　洋一	〃	7.9、16、23、30
芸文余話　レオナルドがいっぱい	〃	日経夕刊	6.3
モナリザは出産直後？ルーブル美術館調査[レオナルド・ダ・ヴィンチ]	島崎　雅夫	読売夕刊	9.28
ダ・ヴィンチの母アラブ人？　伊の研究所発表　指紋に中東系の特徴		〃	12.2
西洋美術史見直誌　第12回　美術商レンブラント	瀬木　慎一	アート・トップ	209

(ロ)

美の美　崇高なる廃墟　中―不気味さ潜む風景[サルヴァトール・ローザ]	河野　孝	日　経	12.10
奇想遺産　ロースハウス　オーストリア[アドルフ・ロース]	隈　研吾	朝　日	6.4
オークションの逸品　マリー・ローランサンの「読書する女性」		ギャラリー*	257
収蔵品解説　ジャン＝ポール・ローランス《オリエントの皇后》	音　ゆみ子	府中市美術館研究紀要	10
名画のなかの女性たち25　ロセッティ《プロセルピーナ》[ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ]	中山　忠彦	美術の窓	272
ロダン《彫刻家とミューズ》補遺―相馬書簡考『白樺』と『花子』と『舞踏会』をめぐって[オーギュスト・ロダン]	谷内　克聡	群馬県立近代美術館研究紀要	2
上か下か、それとも無しか？台座をめぐる彫刻家の冒険[オーギュスト・ロダン]	永島　章雄	芸術新潮	676
小特集　彫刻・絵画・象徴　ロダンとカリエールが求めたもの	三浦　篤	〃	677
ロダンが魅せられた東洋の踊りの宇宙	永島　章雄	〃	682
白樺美術展とロダンと下関	濱本　聰	潮　流	88
博物学的美術史File.9　“考える人”を考える[オーギュスト・ロダン]		美術の窓	273
かたち百景　ロダン「最後の幻影」　白い闇に浮かぶ記憶	(律)	日　経	3.12
ロダン展　石膏作品進む研究　見えてきた創造現場	高野　清見	読　売	10.12

「名画」裏側に本物 ロックウェル「息子の旅立ち」[ノーマン・ロックウェル]		朝　日	4.8
ロックウェル「息子の旅立ち」17億8000万円	大塚　隆一	読売夕刊	12.1
奇想遺産　ワッツタワー　アメリカ[サイモン・ロディア]	藤森　照信	朝　日	7.16
美の美　崇高なる廃墟　上—古代ローマへの夢[ユベール・ロベール]	河野　孝	日　経	12.3
ニコラ・ロペスの立体爆裂版画	由本みどり	芸術新潮	684
〈視ること〉に関する一考察—アントニオ・ロペス・ガルシアの〈まなざし〉—	山田　稚夏	芸術学研究(京都造形)	1
1600年か1604／5年か？—クロード・ロランの生年を考える	小針由紀隆	アマリリス	81
美の美　崇高なる廃墟　中—不気味さ潜む風景[クロード・ロラン]	河野　孝	日　経	12.10

(ワ)

第七回　国際浮世絵学会大会発表報告　ワーグマンとベアトによる幕末画像資料と錦絵新聞[チャールズ・ワーグマン]	ヒロコ・ジョンソン　植田彩芳子訳	浮世絵芸術	151
Artist from the world　クロード・ワイズバッシュの来日展と画集出版		ギャラリー*	258
奇想遺産　マジョルカ・ハウス　オーストリア[オットー・ワグナー]	藤森　照信	朝　日	1.15
奇想遺産　ウィーン郵便貯金局　オーストラリア[オットー・ワグナー]	隈　研吾	〃	10.8
第二特集　ダッチ・デザインの新潮流～DROOG以降のニュー・クリエーション！　マルセル・ワンダースと〈moooi〉	渡部　千春	STUDIO VOICE	371

そ　の　他

美術関係者

日　本

（ア行）

秋艸雑記[會津八一]	丹尾　安典	一　寸	25
會津八一の書と書論の形成―様式を中心に―	喜多　上	書　論	35
會津八一コレクションについて6	金澤　邦夫	早大會津八一記念博紀要*	7
美術商茶話―淺木正勝(東京美術倶楽部社長)に聞く―	島尾　新 聞き手 山本ゆかり 構成	国華清話会会報	8
安倍能成と朝鮮	中見　真理	清泉女子大学紀要	54
追想録「飛鳥の防人」高松塚に情熱　考古学者(関西大名誉教授)網干善教さん	竹内　義治	日経夕刊	9.8
学問の思い出―荒松雄博士を囲んで―	荒　松雄、小谷　汪之、小西　正捷、長崎　暢子、山崎　元一、池田　溫 辛島　昇 司会	東方学	112
荒松雄博士略歴		〃	〃
荒松雄博士主要著書目録		〃	〃
荒木貞夫にみる日中戦争期の博物館像(一)	後々田寿徳	東北芸術工科大学紀要	13
第16回吉田秀和賞 有木宏二氏『ピサロ／砂の記憶―印象派の内なる闇』		新美術新聞	1104
特集　書斎の骨董～安東次男の流儀～		目の眼	358
美と欲情の材質を見抜く眼	粟津　則雄 インタビュー		
「安東次男旧蔵」をさがして	編　集　部		
日本画の贈り物　大観、魁夷ら巨匠の7点　収集家の遺族、足立区に[池島十三夫]		読　売	12.19
博物学的美術史 File.13　砂盃富男のコレクション～知的生活のススメ		美術の窓	278
ひと　高松塚古墳壁画損傷事故調査委員長に就任　石沢良昭さん	栗原　俊雄	毎　日	5.2
顔　高松塚古墳壁画損傷問題の調査委員長に就任した　石沢良昭さん	片岡　正人	読　売	4.27
特集　「彫刻」ってなんだろう？　彫刻というメディアのメカニズムを解明する 戸谷成雄×黒川弘毅×伊藤誠　彫刻の現在―私たちはいま、どこに立脚して彫刻を語りうるのか？	白坂　ゆり 構成	美術手帖	877
交遊抄　美術館は人なり	乾　由明	日　経	10.28
人らんだむ　(株)ディスカバリーナショナルオークション(DNA)社長に就任した　岩瀬一記氏 基本はあくまで“街角オークション”		新美術新聞	1081
岩本次郎教授略歴		帝塚山大大学院紀要*	7
岩本次郎教授業績一覧		〃	〃
悠遊閑歓　巖谷國士		アート・トップ	208
追悼　上野恵司君を憶う	眞鍋　孝志	梵　鐘	19
追悼　上野先生の海外調査に同行して	内田　勇樹	〃	〃
第18回「倫雅美術奨励賞」決まる　美術史研究部門　植野健造氏　金子信久氏		新美術新聞	1105
特輯　香雪美術館『国華』庇護の形跡―村山龍平と上野理一―	水尾比呂志	国　華	1324
悠遊閑歓　遠藤寛	荒川由紀子	アート・トップ	207
Becoming a Curator 合い言葉は「愛」と「誠」！	遠藤　水城	美術手帖	886
悠遊閑歓　大岡信		アート・トップ	209
絵のある生活　大川栄二さんに聞く　疲れた心をマッサージ 美術館は“洗濯屋”	野村　義博	日経夕刊	2.16
大河内菊雄元館長関連記録[大河内菊雄先生を偲んで]	坂上義太郎	伊丹市立美術館館報	2003～2004

2004年度龍谷大学史学会大会講演　大谷探検隊の追跡—交流人物・探検記録・関係文物—[大谷光瑞]	片山　章雄	龍谷史壇	124
[論文]岡倉天心におけるIdealの位相—「妙想」から「理想」へ—	依田　　徹	五浦論叢	13
[資料紹介]岡倉天心の「万国歴史」講義(上)	吉田千鶴子	〃	〃
岡倉覚三とボストン—ガードナー美術館の「中国室」を中心とした調査研究—	清水恵美子	鹿島美術財団年報別冊	23
研究発表〈要約〉　ボストン美術館における岡倉覚三の展示活動—〈日本美術〉の提示と〈中国美術〉の形成—	久世夏奈子	近代画説	15
日付のある哲学《2》他へのカップ—あるいは岡倉天心の「花」の哲学	小林　康夫	水声通信	9
岡倉天心とインド	稲賀　繁美	日文研NEWS*	61
特集　美術史家の価値評価を問う6　岡倉天心が評価したもの・しなかったもの—江戸狩野と大坂の文人画	中谷　伸生	美術フォーラム21	13
トピックス　岡倉天心の国際シンポ		日　　経	8.23
美の美　岡倉覚三—東洋を超えて　上、中、下	宮川　匡司	〃	10.15、22、29
交差点　明日の神話[岡本敏子]	佐藤　直信	読売夕刊	4.5
編集余話『ART iT』編集長　小崎哲哉さん　アジアの現代美術を発信	岸　　桂子	毎日夕刊	7.21
プロデューサーズ　藤田嗣治展を手がけた尾崎正明さん　四半世紀の「宿題」果たす	西田　健作	朝日夕刊	5.20
尾高鮮之助のみたバーミヤーン	中野　照男	仏教芸術	289

(カ行)

話の肖像画　集めてあげてアジアの旅ガラス4　アジア民族造形文化研究所所長金子量重さん　アジアは文化財の宝庫	千野　境子聞き手	産　　経	4.20
第18回「倫雅美術奨励賞」決まる　美術史研究部門　植野健造氏　金子信久氏		新美術新聞	1105
プロデューサーズ「仏像」展を企画した金子啓明さん　「日本人と木」感じて欲しい	西田　健作	朝日夕刊	11.11
東洋陶磁を愛した人たち(九)白鶴美術館創立者　嘉納治兵衛正久、鶴翁一鶴翁による美術館設立と寄贈美術品の役割—～中国陶磁器を中心に～	内海　靖子	陶　　説	643
追悼　川上涇先生	小川　裕充	東方学	112
芸苑雑事記162　墓参、法事、古雑誌[河北倫明]	瀧　　悌三	美術の窓	272
シリーズ『トップの眼』第2回　北川フラム氏に聞く		アート・ドキュメンテーション通信	68
世界文化賞受賞者も活躍する『大地の芸術祭』	北川フラム	ARTの森	24
ひと　新潟・妻有での「大地の芸術祭」総合ディレクター　北川フラムさん	吉野　園子	朝　　日	7.24
第一特集　プロダクト・デザインの現在 NEW DESIGN PARADIGM 90s—00s DESIGN DECADE 黒崎輝男インタヴュー	大城　譲司	STUDIO VOICE	365
学史　國分直一がのこしたもの	木下　尚子	古代文化	564
小寺武久先生を偲んで	溝口　正人	建築史学	47
こころの風景　手渡される宝	小林めぐみ	朝日夕刊	6.13
井上靖に頼まれた翻訳　学生時代の依頼、「おろしや国酔夢譚」を仏語訳	小山ブリジット	日　　経	7.14
小山靖憲先生略年譜		帝塚山大大学院紀要*	8
小山靖憲先生業績一覧	田中　香織編集	〃	〃
『日本の民家』再訪		10＋1*	
1　民家における非田園的なるもの　今和次郎『日本の民家』再訪によせて	中谷　礼仁		43

3　都市の水面内郷村再訪[今和次郎]	瀝青会 中谷　礼仁		45
織物発展　不屈の教育者　栃木・足利で活躍した近藤徳太郎の伝記執筆	前澤　輝政	日　経	5.15

（サ行）

坂誥秀一先生をお送りする	池上　悟	立正史学	99
坂誥秀一先生　略歴および研究業績		〃	〃
ひと　50周年を迎えた総合デザイナー協会顧問　佐野正一さん	栗原　俊雄	日経夕刊	9.3
ナビゲーター　「もう一つの美術史」に光[芝川照吉]	田中　三蔵	朝日夕刊	1.24
顔　アンデス文明最大のジャガーの浮き彫りを発見した　芝田幸一郎さん	片岡　正人	読　売	3.14
特別寄稿　柴田光男　戦後刀剣界における行跡	冥加　吉也	目の眼	359
実業史伝える幻の博物館　渋沢敬三が集めた資料整理進む	松岡　資明	日　経	6.3
生きるって　清水敏男さん　再開発に携わるキュレーター	小嶋麻友美	東　京	2.12
京の町家から―杉本秀太郎氏聞き書き	辻　惟雄 聞き手 天羽　直之 構成	国華清話会会報	7
第28回サントリー学芸賞、4部門に7氏が受賞　芸術・文化部門に[鈴木禎宏]		新美術新聞	1106
鈴木博之先生紫綬褒章受章	藤森　照信	建築史学	46
第18回国華賞決まる　須藤弘敏氏と根立研介氏		新美術新聞	1104
関野貞資料と関野貞展の私的覚書	藤井　恵介	文化資源学	4
「前期旧石器時代存否論争」に真の終止符を―芹沢長介氏を悼んで	安蒜　政雄	毎日夕刊	3.20
Weekly日誌	千　宗屋	〃	
11月21日～27日　利休、メサイア、唐			12.1
11月28日～12月4日　還暦茶事、講義、デビュー戦			12.8
12月5日～11日　母校の教壇、墓参、誕生会			12.15
12月12日～18日　夜話の会、茶事、利休月忌			12.22

（タ行）

交遊抄　ご意見番[高階秀爾]	嶋崎　丞	日　経	12.5
芸苑雑事記161　昔往茫々二〇年―あの頃の事	瀧　悌三	美術の窓	271
今月の読書　著者に聞く『日本美術の歴史』一人で書き下ろした美術史の教科書	辻 惟雄 談	新美術新聞	1085
最前線　トップアート寺内敬社長　掛け軸で季節感演出	藤沢　宏幸 聞き手	毎　日	6.5
《追悼》作る側から見た東野芳明さん	篠原有司男	あいだ	121
《再読》ミスター・トーノは1958年、はじめて海外旅行をしました	編集部	〃	〃
追悼・東野芳明先生―75年の華やぎ―	米倉　守	たまび	40
追悼：東野芳明　閉じられた蝶番	〃	美術手帖	874
東野芳明的評伝7～17	〃	美術の窓	268～278
惜別　美術評論家　東野芳明さん	山盛　英司	朝日夕刊	1.16
あの時の私　遠山一行さん　評論家　江藤淳、高階秀爾と「季刊芸術」創刊　経験に基づく批評実践	松本　良一 聞き手	読売夕刊	2.25
ひと　武家・大名文化の伝承に取り組む徳川美術館館長　徳川義崇さん	横田　千里	朝　日	12.19
前会長徳川義宣を偲んで	徳川　義嵩	葵	59
琉球漆器の評価を一変させた徳川義宣先生	安里　進	よのつぢ*	2
東洋陶磁研究に大きな足跡を遺された御三方に感謝をこめて[徳川義宣]	西田　宏子	陶　説	637
徳川先生からの手紙	田中真希代	〃	〃
学会彙報　徳川義宣氏の逝去	西田　宏子	東洋陶磁	35

追想録　実証的姿勢貫いた歴史家　尾張徳川家第21代当主徳川義宣さん	宝玉　正彦	日経夕刊	1.20
編集余話　『アート・トップ』編集長富田芳和さん　先駆ける美術家を前面に	岸　桂子	毎日夕刊	12.15

（ナ行）

プロデューサーズ66年ぶりに風神雷神図3作を並べた内藤正人さん　恩師の志継ぎ琳派再発見	山盛　英司	朝日夕刊	9.30
中井正一と思想の科学研究会に関する研究序説—思想集団の継続性と断続性に着目して—	後藤　嘉宏	コミュニケーション科学	24
京都美術協会雑誌と中川重麗	榊原　吉郎	京都市美術館ニュース	191
URYUYAMA　PEOPLE 012 中ノ堂一信	中ノ堂一信	瓜生通信	37
追悼　中村敬治		水声通信	5
中村敬治さんの国立国際美術館時代	島　敦彦		
中村さんのことを少し	O J U N		
ラ・ヴィ	松井　智惠		
交遊抄　敬治さん	篠　雅廣	日　経	3.10
土曜訪問　『最深のアート／心の居場所』を刊行　中村英樹さん(美術評論家)	森村　陽子	東京夕刊	1.21
美術商　夏目四郎氏死去　本誌連載中の随筆『発句一代』筆者		新美術新聞	1096
追悼「故夏目四郎氏お別れの会」営まれる	淺木　正勝 山村　昌康 松本　哲男 大沢　啓二 小杉小二郎 中島　千波 郡司　茂 森田りえ子	〃	1102
博物学的美術史File.14　漱石と鷗外の美術批評[夏目漱石]		美術の窓	279
父に見せたい今の桃太郎の姿[難波金之助]	毛利　鏡子	岡山びと*	1
特集　2006新人大図鑑　デビューへの道…若手作家の成功への道を辿る　成山明光氏インタビュー　成山画廊の作家たち—松井冬子、土屋仁応、亀井徹		美術の窓	271
第18回国華賞決まる　須藤弘敏氏と根立研介氏		新美術新聞	1104
ひと　「国華賞」を受賞した京都大大学院教授　根立研介さん	森本　俊司	朝　日	10.24

（ハ行）

骨董十二時(8)「東美クラブ」	花斗　秀男	目の眼	354
エッセイ　濱中さんのこと、山種美術館のこと[濱中真治]	塩谷　純	近代画説	15
国際シンポジウム「林忠正—ジャポニズムと文化交流への貢献」	馬渕　明子報告	鹿島美術財団年報別冊	23
芸苑雑事記158　林忠正のこと	瀧　悌三	美術の窓	268
林忠正が明治美術界に示した指針	山梨絵美子	MUSEUM	604
林忠正関連文献	山梨絵美子編	〃	〃
追悼—故林巳奈夫先生—		泉屋博古館紀要	22
新美術時評　“教科書作家”と現代のダイナミズム[針生一郎]	外舘　和子	新美術新聞	1100
東洋陶磁を愛した人たち(六)～(八)広田不孤斎と西山南天子(上)(中)(下)	森　孝一	陶　説	638、640、641
ひと　40年余り学生に写真を指導する写真評論家　福島辰夫さん	藤原　章生	毎　日	11.19
追悼抄　元佐渡博物館館長本間寅雄さん「弱者の歴史」見つめる	杉野謙太郎	読売夕刊	2.7

（マ行）

茶の湯がたり、人がたり　益田鈍翁への絶交状	近藤　道生	淡　交	742
発句一代　夏目四郎の覚え書68　前倶楽部社長2人の相次ぐ急死[三谷敬三]	夏目　四郎	新美術新聞	1078

追悼[三谷敬三]	淺木　正勝 松尾　敏男 瀬木　慎一 原田　吉蔵 高橋　太郎	〃	〃
追悼　美術商を社会的に認知させた大功労者　三谷敬三	一井　建二	美術の窓	269
水野正好先生年譜および著作目録		文化財学報	23・24
フロントランナー　金沢21世紀美術館館長　蓑豊さん　米国で磨いた手腕で美術館に新風送る	吉野　園子	朝　日	2.25
特集　宮川淳、三〇年の後に		水声通信	12
宮川淳のこと	清水　徹		
黙思／黙示	淺沼　圭司		
恩寵について	松浦　寿夫		
軽薄なまでに表面であることの倫理　宮川淳をめぐって	桑田　光平		
宮川淳再訪	岡田　温司		
宮川淳と美術批評　イマージュ・テクスト・物質性	土屋　誠一		
宮川淳と「野の鍵」　その中性的な《と》の空間の滲出	野田　吉郎		
宮川淳と高松次郎	神山　亮子		
鏡に映るナルシス　宮川淳の「物質」と「イマージュ」	暮沢　剛巳		
宮川淳の思い出[上][下]	吉田　喜重談 西澤榮美子、小林　康夫聞き手	水声通信	12、13
追悼　故三宅敏之会長	奥村　秀雄 齊藤　忠 村井　嵓雄 田村　晃一 江谷　寛 坂詰　秀一 宮小路賀宏 高麗　正 網　伸也 望月　幹夫	考古学雑誌	90-2
宮地正人さんを送る	吉岡　眞之	国立歴史民俗博物館研究報告	130
宮地正人年譜・研究業績目録		〃	〃
発句一代　夏目四郎の覚え書68　前倶楽部社長２人の相次ぐ急死[村越伸]	夏目　四郎	新美術新聞	1078
追悼[村越伸]	淺木　正勝 平山　郁夫 小泉　智英 松下　宣廉 岡崎　守一	〃	〃
追悼　戦後最大の目利きの死　村越伸	一井　建二	美術の窓	269
特集　香雪美術館『国華』庇護の形跡―村山龍平と上野理一	水尾比呂志	国　華	1324
国華余話(七)　題字(追補)[村山龍平]	〃	国華清話会会報	7
陶磁の思想家、森正洋氏を偲んで	大塚　清吾	陶　説	637
森正洋先生の多くの思い出	諸山　正則	〃	〃

(ヤ行)

矢代幸雄と滕固―二人のアジア人美術史家の眼―	塚本　麿充	美のたより	154
柳孝骨董一代記【連載】第一回～第十一回	青柳　恵介	芸術新潮	673～679、681～684
小特集　民芸と暮らす家　よみがえった旧柳宗悦邸		〃	679
柳宗悦におけるオリエンタリズム―民芸運動の紀元と浅川巧―	海保　花野	国際日本学研究	2
民芸と茶の湯[柳宗悦]	熊倉　功夫	斎田茶文化振興財団紀要	6
特集　美術史家の価値評価を問う３　美術史家の犯している三つの罪―柳宗悦の遺した手稿より	杉山　享司	美術フォーラム21	13
柳宗悦―その美思想の全貌	尾久　彰三	百　科*	520
若手研究者研究報告　柳宗悦におけるオリエンタリズム―民芸の起源と浅川巧―	海保　花野	法大国際日本学研究センター年報*	2005
東洋陶磁を愛した人たち(四)(五)山中定次郎(上)(下)	川島　公之	陶　説	635、636
シリーズ歴史資料紹介11　創立者のひとり　横井玉子先生２	青木　純子	女子美	153
追悼　わが師　吉田清氏を偲ぶ	池内　克哉	新美術新聞	1082
ひと　岡本太郎の巨大壁画を修復する吉村絵美留さん	小林　祥晃	毎　日	3.13
惜別　マンガ評論家米沢嘉博さん	小原　篤	朝日夕刊	11.6

コミケを生んだ米澤嘉博さんを悼む　何も排除せず、集め、つないだ環	村上　知彦	毎日夕刊	10.24

（ワ行）

若山映子教授を送る	圀府寺　司	フィロカリア	23

海　　外

あいだのすみっこ不定期漫遊連載　ジョルジュ・ディディ＝ユベルマン著『残存するイメージ　アビ・ヴァールブルクによる美術史と幽霊たちの時間』を読む	稲賀　繁美	あいだ	128、132
キュレーターインタビュー　第11回　クリッティヤー・カーウィーウォン	坂口　千秋	ART　iT	13
キュレーターインタビュー　第８回　顧振清	原田　幸子	〃	10
モダニズムと美的価値の維持―クレメント・グリーンバーグをめぐって	山村　仁志	府中市美術館研究紀要	10
ドイツ・トルファン探検隊に関する覚書[アルベルト・グリュンヴェーデル]	北村　　高	龍谷史壇	125
AT 210　Remarkable PERSON　現代に財団自らを刻み込むカルティエ現代美術財団のシャンデス氏が来日[エルベ・シャンデス]	(根)	アート・トップ	210
カルティエ現代美術財団コレクション展ディレクター　エルベ・シャンデス　インタビュー	河野　晴子 聞き手	美術手帖	882
第26回ジャポニスム学会賞決定[クラウディア・デランク]		新美術新聞	1076
顔　ベルギー王立美術館展で来日した同館長　ミッシェル・ドラゲさん	高野　清見	読　　売	9.23
ゴッホ美術館で公開される明治美術の逸品　伝説的コレクターハリリ博士に聞く[ナセル・デイヴィッド・ハリリ]	吉屋　　敬	東　　京	6.10
ラフカディオ・ハーンと浮世絵―江戸時代へのあこがれ―	永田雄次郎	美学論究	21
交遊抄　趣味に国境なし[ローレンス・ビッグフォード]	石黒　和義	日　　経	8.11
フィッシャー夫妻と東京帝室博物館―日独交換事業に関する研究１―[アドルフ・フィッシャー]	白井　克也	MUSEUM	602
第五十七回美学会全国大会報告　発表要旨 The Calligraphic Line―ロジャー・フライと中国美術―	要　真理子	美　　学	227
特集　宮廷と美術　論文　「地獄の枢機卿」アルブレヒト・フォン・ブランデンブルクによる美術振興　聖遺物崇敬と扮装肖像の文脈から	秋山　　聰	西洋美術研究	12
【二〇〇四年度同志社大学大学院修士論文梗概】マイケル・フリードとフォーマリズム―彫刻批評の確立と「演劇」概念批判―	荒木　　学	美学芸術学	21
キュレーターインタビュー　第10回　パトリック・フローレス	アイリーン・レガスピ＝ラミレス	ART　iT	12
キュレーターインタビュー　第９回　黄篤	マヤ・コヴスカヤ	〃	11
書簡にみるフランク・ホーレーと坂西志保―一九三八～四〇年、そして戦後―	横山　　學	生活文化研究所年報	19
ホーレー氏のこと、思い出すままに(その二)	照山　越子	〃	〃
フランク・ホーレー母(ジェシカ)の書簡	照山　越子、横山　學　共訳 横山　學　解説	〃	〃
あいだのすみっこ不定期漫遊連載　第41回　パンドラの希望：被写体・母胎そして楕円　グリゼルダ・ポロック初来日講演に寄せて	稲賀　繁美	あいだ	122
ひと　客員研究員の紹介　アボリジナル美術はアボリジナルが論評を　ジョン・マンディンさん	松山　利夫	民博通信	112

25周年記念シンポジウム「美術史におけるフランスと日本」要旨　パネル発表：ガストン・ミジョン(1861—1930)、ルーヴル美術館極東美術コレクション初代学芸員—日本滞在百周年にあたりその業績を振り返る—	ロール・シュワルツ＝アレナレス	日仏美術学会会報	25
フィチーノの Quid sit lumen(c. 1476)翻訳と註解[ロレンツォ・ディ・メディチ]	田中　佳佑	成城美学美術史	12
人ひとこと　アン・ニシムラ・モースさん　実物と対話する喜び		朝　日	11.1
ひと　日本の現代芸術を紹介する「クール・ジャパン」の仕掛け人　アレクサンドラ・モンローさん	水野　孝昭	〃	3.12
ルーモールと『料理術の精神』[カール・フリートリッヒ・ルーモール]	加藤　哲弘	人文論究	56-1
顔　プラド美術館展の担当者　フアン・ルナさん	高野　清見	読　売	4.18

書　評

和　書

『アーモリー・ショウ物語』ミルトン・W・ブラウン著、木村要一訳	木島　俊介	美術手帖	883
〃	最相　葉月	朝　日	4.16
『赤岩　伝統的建造物群保存対策調査報告書』六合村教育委員会発行	田中　雅子	建築雑誌	1549
『芥川龍之介　絵画・開化・都市・映画』安藤公美著	三嶋　譲	国文学解釈と鑑賞	904
『悪魔と博覧会』エリック・ラーソン著、野中邦子訳	海野　弘	日　経	6.25
『明日の神話　岡本太郎の魂(メッセージ)』岡本太郎記念芸術振興財団監修、『明日の神話』再生プロジェクト編著	深澤　友晴	美術手帖	888
『あったかもしれない日本　幻の都市建築史』橋爪紳也著	手塚さや香	毎　日	2.26
『アフガニスタン文化遺産調査資料集』文化財研究所国際文化財保存修復協力センター企画・編集	中村　俊介	朝　日	3.14
『アメリカ文化の日本経験』ジョセフ・M・ヘニング著、空井護訳	苅部　直	読　売	3.19
『荒木本！　1970—2005』飯沢耕太郎編	小林　美香	美術手帖	888
『アレティーノまたは絵画問答—ヴェネツィア・ルネサンスの絵画論—』ロドヴィーコ・ドルチェ著、森田義之・越川倫明翻訳・註解・研究	宮下　孝晴	学　鐙	103-4
〃		芸術新潮	680
『イギリスの表象　ブリタニアとジョン・ブルを中心として』飯田操著	山川　志保	歴史と地理	591
『生きる描く愛する　四十二人の名画家物語』田中穣著	小島ゆかり	毎　日	8.27
『イジー・コラーシュの詩学』阿部賢一著	林　道郎	読　売	2.26
『新版　遺跡保存の事典』文化財保存全国協議会編		日　経	5.21
『磯崎新の思考力　建築家はどこに立っているか』磯崎新著	陣内　秀信	朝　日	2.12
〃	井上　章一	日経夕刊	1.5
『イタリア一六世紀の建築』コーリン・ロウ、レオン・ザトコウスキ著、稲川直樹訳	横手　義洋	建築史学	47
『一遍聖絵新考』金井清光著	西海　賢二	地方史研究	323
『イメージ、それでもなお』ジョルジュ・ディディ＝ユベルマン著、橋本一径訳	北小路隆志	STUDIO VOICE	371
〃	小林　康夫	日　経	9.10
『イメージの奥底で』ジャン＝リュック・ナンシー著、西山達也・大道寺玲央訳	林　道郎	読　売	7.16
『色で読む中世ヨーロッパ』徳井淑子著		日　経	6.25
〃	白幡洋三郎	読　売	9.3
『色の百科事典』日本色彩研究所編	小町谷朝生	学　鐙	103-1

『「ヴィーナスの誕生」 視覚文化への招待』岡田温司著	丸谷 才一	毎日	7.16
『浮世絵再発見 大名たちが愛でた逸品・絶品』内藤正人著	藤澤 茜	浮世絵芸術	152
『歌麿』エドモン・ド・ゴンクール著、隠岐由紀子訳	小倉 孝誠	東京	1.22
〃		日経	1.19
『美しい都市・醜い都市』五十嵐太郎著	白幡洋三郎	読売	11.19
『漆Ⅰ・Ⅱ』四柳嘉章著	岡本 公樹	読売夕刊	3.13
『雲岡石窟 遺物篇(京都大学人文科学研究所研究報告)』岡村秀典編	八木 春生	史林	459
『AMS分析による成立期近世民家の年代判定』中尾七重著	安田 徹也	建築雑誌	1551
『絵小説』皆川博子著、宇野亞喜良画	川村 二郎	読売	8.6
『江戸の英吉利熱—ロンドン橋とロンドン時計』タイモン・スクリーチ著、村山和裕訳	白幡洋三郎	日経	2.12
〃	田中 優子	毎日	3.19
〃	苅部 直	読売	3.19
『江戸の祈り 信仰と願望』江戸遺跡研究会編	岩淵 令治	歴史評論	678
『江戸の絵暦』岡田芳朗著	(前)	読売	7.23
『江戸の広場』吉田伸之・長島弘明・伊藤毅編	辻 良平	建築史学	46
〃	池澤 一郎	国文学解釈と鑑賞	898
『エドワード・サイード OUT OF PLACE』シグロ編、佐藤真・中野真紀子著	粟田 大輔	美術手帖	883
『絵はがきの時代』細馬宏通著	木下 直之	日経	7.16
〃	林 道郎	読売	7.23
『絵はがき100年』橋爪紳也著		日経	2.5
『江見水蔭『地底探検記』の世界』斎藤忠監修、中山清隆編	時枝 務	考古学雑誌	90-1
『扇のなかの中世都市—光円寺所蔵「月次風俗図扇面流し屏風」—』泉万里著	斉藤 研一	史学雑誌	115-11
〃	山下 裕二	朝日	6.18
『黄金比はすべてを美しくするか？』マリオ・リヴィオ著	池内 了	日経	1.22
『岡本太郎「明日の神話」修復960日間の記録』吉村絵美留著	深澤 友晴	美術手帖	888
〃	福田 尚之	産経	8.12
『オタク・イン・USA 愛と誤解のAnime輸入史』パトリック・マシアス著、町山智浩編訳	町山 智浩	毎日	10.8
『尾張藩紙漉文化史 御用紙漉・辰巳家を中心に』河野徳吉著	青木美智男	日本歴史	701
『怪異学の技法』東アジア怪異学会編	森 由紀恵	日本史研究	522
『絵画のなかの熱帯 ドラクロワからゴーギャンへ』岡谷公二著	酒井 啓子	朝日	2.12
〃	小林 康夫	東京	1.15
『街道絵図の成立と展開』山本光正著	西海 賢二	地方史研究	324
『画家がいる「場所」 近代日本美術の基層から』田中淳著	北澤 憲昭	美術研究	389
『狩野山雪画 長恨歌画巻—チェスター・ビーティー・ライブラリィ所蔵(甦る絵巻・絵本)』神鷹あかり・袴田光康・神鷹徳治著	桑原 聡	産経	6.6
『狩野芳崖・高橋由一』古田亮著		芸術新潮	677
〃	辻 惟雄	日経	3.5
『亀倉雄策』亀倉雄策著	深澤 直人	AXIS	124
『川端康成と東山魁夷 響きあう美の世界』川端香男里・東山すみ監修	高岡 忠雄	新美術新聞	1104
〃	大野 芳	産経	10.30
『歓喜する円空』梅原猛著	大上 朝美	朝日	12.17
〃	山下 裕二	日経	12.3
『完璧な赤』エイミー・B・グリーンフィールド著、佐藤桂訳	金森 修	〃	12.10
『奇想の系譜』辻惟雄著	山下 裕二	毎日	6.25
『木の匙』三谷龍二著	中村 好文	産経	2.19

『気まぐれ美術館』洲之内徹著	山西　雅子	〃	9.17
『球体写真二元論 私の写真哲学』細江英公著	中条　省平	朝　日	5.14
『京都美術の新・古・今』太田垣實著	高岡　忠雄	新美術新聞	1098
〃		日　経	10.8
『京都町家の坪庭』水野克比古著	山下　裕二	朝　日	8.20
『近世漆器の産業技術と構造』北野信彦著	鎌田　純子	地方史研究	320
『近代デザイン史』柏木博監修		毎　日	4.19
『近代天皇制と古都』高木博志著	吉田　裕	日　経	8.13
『近代日本デザイン史』長田謙一ほか編		〃	12.3
『近代日本の橋梁デザイン思想―三人のエンジニアの生涯と仕事―』中井祐著	北河大次郎	史学雑誌	115-12
『宮内庁書陵部書庫渉猟―書写と装訂―』櫛笥節男著	武井　和人	国学院雑誌	1196
『熊野懐紙』霞会館公家と武家文化調査委員会編		日　経	7.25
『熊野信仰史研究と庶民信仰史論』豊島修著	原　淳一郎	日本歴史	699
『グレー＝シュル＝ロワンに架かる橋 黒田清輝・浅井忠とフランス芸術村』荒屋鋪透著	山梨絵美子	美術研究	390
『芸術起業論』村上隆著	毛利　嘉孝	あいだ	129
〃	児島やよい	新美術新聞	1101
〃	粟田　大輔	美術手帖	886
〃	西田　健作	朝　日	7.20
〃		日　経	8.20
〃	(け)	毎　日	7.30
〃	高橋　秀実	読　売	7.16
『芸術原論』赤瀬川原平著		日　経	5.21
『芸術人類学』中沢新一著	石井　芳征	美術手帖	882
〃		日　経	4.30
『芸術都市の創造』今道友信ほか著		〃	6.25
『芸術とスキャンダルの間―戦後美術事件史』大島一洋著	高島　平吾	あいだ	128
〃	藤田　一人	産　経	10.9
『芸術の条件―近代美学の境界』小田部胤久著	松尾　大	カリスタ	13
『消された校舎』旭丘高校校舎の再生を考える会編	兼松紘一郎	建築史学	46
『原寸美術館　日本編』千住博著	小川　敦生	日経夕刊	8.15
『現代陶芸家列伝』井上隆生著	森　孝一	陶　説	637
『現代日本の抽象 vol. 1』ART BOX インターナショナル出版編集部編		ギャラリー*	259
『現代漫画博物館 1945―2005』竹内オサム監修		日　経	11.19
〃	石田　汗太	読売夕刊	11.29
『建築と破壊　思想としての現代』飯島洋一著	巽　孝之	朝　日	3.5
〃	椹木　野衣	東　京	2.5
〃	隈　研吾	日　経	1.22
『建築の可能性、山本理顕的想像力』山本理顕著	北田　暁大	朝　日	5.28
『建築のハノイ』増田彰久写真、大田省一著	泉田　英雄	建築史学	47
『建築は詩　建築家吉村順三のことば100』永橋爲成監修、吉村順三建築展実行委員会編	深澤　直人	ＡＸＩＳ	121
『ケンブリッジ大学秘蔵明治古写真―マーケーザ号の日本旅行』小山騰著	木下　直之	学　鐙	103-1
『小出楢重と谷崎潤一郎　小説「蓼食ふ虫」の真相』小出龍太郎編著、明里千章・荒川朋子著	(川)	毎　日	11.5
『光画傑作集　日本写真史の至宝　別巻』飯沢耕太郎・金子隆一監修	(前)	読　売	1.29
『皇室建築　内匠寮の人と作品』鈴木博之著	松岡　資明	日経夕刊	3.20
『古唐津の歴史Ⅱ』中里紀元著		陶　説	634

『黒衣の女ベルト・モリゾ』ドミニク・ボナ著、持田明子訳	坂上　桂子	日　経	11.5
『志をもって生きる 行雲流水八十余年』犬丸直著		新美術新聞	1082
『古代多胡碑と東アジア』東野治之・佐藤信編	川原　秀夫	日本歴史	698
『古典籍の装幀と造本』吉野敏武著	小川　敦生	日　経	7.9
『言葉と建築　語彙体系としてのモダニズム』エイドリアン・フォーティー著、坂牛卓・邉見浩久監訳	石井　芳征	美術手帖	878
〃	林　道郎	読　売	2.5
『子どものためのアートブック』アマンダ・レンショー著、須田志保訳	粟田　大輔	美術手帖	883
『御宝物で知る　身延山の歴史』望月真澄著	西　光三	地方史研究	324
〃	石山　秀和	立正史学	100
『図説　小松崎茂ワールド』根本圭助編著	山下　裕二	朝　日	1.8
『権三郎月夜』大竹伸朗著	粟田　大輔	美術手帖	886
『最後の絵画』ニコライ・タラブーキン著、江村公訳	桑野　隆	水声通信	13
『最深のアート／心の居場所　［実録］窮鳥はいかにして自己救済したのか？』中村英樹著	粟田　大輔	美術手帖	878
『西大寺古絵図の世界』佐藤信著	山本　崇	日本歴史	695
『讃岐漆芸　工芸王国の系譜』住谷晃一郎著	三田　晴夫	毎　日	1.15
『残存するイメージ　アビ・ヴァールブルクによる美術史と幽霊たちの時間』ジョルジュ・ディディ＝ユベルマン著、竹内孝宏・水野千依訳	粟田　大輔	美術手帖	880
『ジオメトリック・アート　幾何学の宇宙教室　神戸芸術工科大学レクチャーシリーズ』カスパー・シュワーベ、石黒敦彦著、土肥博至監修	石井　芳征	〃	885
『四角形の歴史』赤瀬川原平著	藤森　照信	毎　日	4.9
『下町の学芸員奮闘記―文化財行政と生涯学習の最前線―』小泉雅弘著	保垣　孝幸	地方史研究	323
『事典　陵墓参考地―もう一つの天皇陵―』外池昇著	上田　長生	日本史研究	531
〃	藤井　利章	日本歴史	701
『ジャコメッティ』矢内原伊作著	いしいしんじ	産　経	10.8
『写真家・熊谷元一とメディアの時代』矢野敬一著		日　経	2.19
『写真家の旅』宮嶋康彦著		日経夕刊	12.6
『写真、「芸術」との界面に　写真史一九一〇年代―七〇年代』光田由里著		芸術新潮	682
〃	苅部　直	読　売	10.1
『JAPON Japan×France manga collection』フレデリック・ボワレ、天野昌直編	井上　章一	毎　日	4.23
〃	松永　美穂	読　売	3.19
『修復の理論』チェーザレ・ブランディ著、小佐野重利監訳、池上英洋・大竹秀実訳	ウーゴ・ミズコ	建築史学	47
『修験道の考古学的研究』時枝務著	阪田　正一	立正史学	100
『呪符の文化史―習俗に見る沖縄の精神文化―』山里純一著	亀谷　弘明	古文書研究	62
『シュメル―人類最古の文明』小林登志子著	有賀　望	オリエント	48-2
『春画と肉筆浮世絵』小林忠・白倉敬彦編著		芸術新潮	678
『初期伊万里の文様―聖門古陶磁参考館―』高橋聖門著		陶　説	641
『初期浮世絵と歌舞伎』武藤純子著	高橋　則子	国語と国文学	991
『書痴、戦時下の美術書を読む』青木茂著	鶴ヶ谷真一	芸術新潮	682
〃	森　仁史	美術運動史研究会ニュース	84
〃	小高　賢	朝　日	9.17

『寝殿造の空間と儀式』川本重雄著	溝口　正人	建築史学	47
『人物埴輪の文化史的研究』塚田良道著		古代文化	566
『ジンメル・コレクション』ゲオルク・ジンメル著、北川東子・鈴木直訳	間宮　陽介	日　経	10.8
『スキャンダル戦後美術史』大宮知信著	稲葉　千寿	東　京	10.22
『製作年代を考察出来る鍋島―盛期から終焉まで―』小木一良著	森　孝一	陶　説	640
『生体から飛翔するアート』中村英樹著	伊藤　公象	産　経	9.25
『西洋住居史―石の文化と木の文化』後藤久著	吉田　鋼市	建築史学	46
『西洋中世学入門』高山博・池上俊一編	山辺　規子	史学雑誌	115-10
『セヴェラルネス　事物連鎖と人間』中谷礼仁著	黒田　泰介	建築史学	47
『世界遺産と歴史学』佐藤信編	工楽　善通	歴史と地理	595
『雪舟筆牧牛図　みる・しる・しらべるコレクション』山口県立美術館編著・高橋範子監修	山下　裕二	朝　日	11.12
『前衛の道』篠原有司男著	〃	〃	10.15
〃	(魚)	毎　日	10.8
『大英博物館のAからZまで』マージョリー・ケイギル著、前田昭代ほか訳	成毛　真	日経夕刊	6.21
『大王墓と前方後円墳』一瀬和夫著	下垣　仁志	日本史研究	528
〃	丸山　竜平	日本歴史	701
『太平洋を渡った日本建築』柳田由紀子著		芸術新潮	684
〃	池内　紀	毎　日	10.22
〃	白幡洋三郎	読　売	11.5
『ダ・ヴィンチのひみつをさぐれ！　ねらわれた宝と7つの暗号』トーマス・ブレツィナ著、越前敏弥・熊谷淳子訳	茅野裕城子	産　経	6.12
『高崎城絵図―「櫻井一雄家文書」を中心に―』(高崎市史資料集1)高崎市総務部庶務課市史資料担当編	佐藤　孝之	地方史研究	322
『ただの私(あたし)』オノ・ヨーコ著	韓　亜由美	ＡＸＩＳ	121
『脱「風景写真」宣言』宮嶋康彦著		日　経	5.28
『西洋絵画の巨匠3　ダリ』岡村多佳夫著	山下　裕二	朝　日	5.21
『タワー　内藤多仲と三塔物語』INAXギャラリー企画委員会	藤森　照信	毎　日	6.18
『チェコ・アヴァンギャルド』西野嘉章著	小川　敦生	日　経	7.9
『中国画巻の研究』古原宏伸著	河野　道房	美　学	225
『中国　都市のパノラマ　王朝の都　豊饒の街〈図説・中国文化百華007〉』伊原弘著	加藤　貴	アジア遊学	92
『中世の城館と集散地　中世考古学と文献研究』矢田俊文・竹内靖長・水澤幸一編	大庭　康時	日本歴史	702
『中世の都市と寺院』吉井敏幸・百瀬正恒編	幡鎌　一弘	〃	693
『蝶が飛ぶ　葉っぱが飛ぶ』河井寛次郎著	(森)	陶　説	636
『デザイン史を学ぶクリティカル・ワーズ』高島直之監修、橋本優子・菅谷富夫・肴倉睦子編	石井　芳征	美術手帖	885
『テヅカ・イズ・デッド　ひらかれたマンガ表現論へ』伊藤剛著	夏目房之介	学　鐙	103-2
『手塚治虫＝ストーリーマンガの起源』竹内一郎著	中条　省平	朝　日	4.9
『天体の図像学』藤田治彦著	渡部　潤一	読　売	4.23
『東京大学「80年代地下文化論」講義』宮澤章夫著	石井　芳征	美術手帖	887
『都市革命　公有から共有へ』黒川紀章著	手塚さや香	毎　日	5.21
『トリシャ・ブラウン』岡崎乾二郎監修	林　道郎	読　売	〃

『名取洋之助と日本工房〔1931—45〕』白山眞理・堀宜雄編	飯沢耕太郎	朝日	4.9
『新潟市美術館　全所蔵作品図録—絵画編—』		新美術新聞	1084
『蜷川式胤「奈良の筋道」』米崎清実著	蜷川　親輝	国学院雑誌	1192
『日本近代洋画の成立　白馬会』植野健造著	児島　薫	デアルテ	22
『日本建築の構造と技法　上・下』岡田英男著	佐々木昌孝	建築雑誌	1545
〃	後藤　治	建築史学	46
『日本古代宮都構造の研究』小澤毅著	藤森健太郎	日本歴史	697
『日本住居史』小沢朝江・水沼淑子著		芸術新潮	679
『日本人の心と建築の歴史』上田篤著	武澤　秀一	産経	2.19
〃	池内　紀	毎日	1.29
『日本中世の伝承世界』(歴史科学叢書)樋口州男著	山田　雄司	日本歴史	701
『日本中世の墓と葬送』勝田至著	高田　陽介	日本史研究	530
『日本中世の仏師と社会—運慶と慶派・七条仏師を中心に—』根立研介著	紺野　敏文	国華	1333
『にほんの建築家　伊東豊雄・観察記』瀧口範子著	鷲田　清一	朝日	3.26
『日本の図像　波・雲・松の意匠』濱田信義企画・編集		芸術新潮	680
『日本のステンドグラス　その歴史と魅力』伝統技法研究会編	藤森　照信	毎日	5.7
『日本の美術絵はがき1900→1935—明治生まれのレトロモダン』生田誠著	森　まゆみ	学鐙	103-3
〃	(前)	読売	4.16
『日本の美術と世界の美術』前川誠郎著		芸術新潮	684
『日本美術の歴史』辻惟雄著		〃	674
〃	臼田　捷治	書道界	196
〃	中条　省平	朝日	2.12
〃	藤田　綾子 横尾　忠則	産経	3.19
〃		日経	2.12
〃	丸谷　才一	毎日	2.5
〃	山下　裕二	〃	6.25
〃	神崎　繁	読売	2.19
『ニューヨーク都市居住の社会史』リチャード・ブランツ著、酒井詠子訳	鈴木　真歩	建築史学	46
『ぬけられますか—私漫画家滝田ゆう』野村進著	野村　進	朝日	12.3
〃	梶井　純	東京	11.19
『ねりまの美術2004　竹原嗣風　“いのち”を見つめた或日本画家の青春—そして速水御舟・茨木衫風・福田豊四郎たち』図録(練馬区立美術館)		ドーム	84
『ハーバート・リードの美学』D・シスルウッド著、上野浩道他訳	林　道郎	読売	7.9
『背景画集　草薙』	(汗)	〃	9.3
『墓と埋葬と江戸時代』江戸遺跡研究会編	岩淵　令治	歴史評論	678
『白隠—禅画の世界』芳澤勝弘著	浅井　京子	美術研究	389
『博物館学Q&A　博物館・美術館のウラ・オモテ』清水久夫著	西海　賢二	地方史研究	321
『博物館の理念と運営—利用者主体の博物館学』布谷知夫著	小野　一之	博物館研究	457
『博物館・文書館・大学の資料修復』敦賀短期大学地域交流センター編	多仁　照廣	地方史研究	319
『幕末・明治の工芸　世界を魅了した日本の技と美』村田理如著	山下　裕二	朝日	4.23
『博覧会の時代—明治政府の博覧会政策—』國雄行著	藤田　英昭	地方史研究	319
『八王子市の板碑』縣敏夫著	村田　和義	史迹と美術	761
『花街　異空間の都市史』加藤政洋著	初田　香成	建築史学	46
『バロックの日本』守安敏久著	山口　敏雄	国語と国文学	991
『Bゼミ「新しい表現の学習」の歴史』BゼミLearning System編	白坂　ゆり	美術手帖	874
『ビゴーが見た明治ニッポン』清水勲著		日経	12.17

『ピサロ／砂の記憶』有木宏二著		芸術新潮	675
〃	四ノ原恒憲	朝日夕刊	12.19
『美術カタログ論―記録・記憶・言説』島本浣著	新畑　泰秀	美　学	227
『美術館で愛を語る』岩渕潤子著	泰井　良	博物館研究	462
『美術館は生まれ変わる　21世紀の現代美術館』太田泰人・水沢勉・渡辺真理・松岡智子著	〃	〃	〃
『美術史家、大いに笑う　河野元昭先生のための日本美術史論集』河野元昭先生退官記念論文集編集委員会編		読　売	6.15
『美術商の百年　東京美術倶楽部百年史』東京美術倶楽部百年史編纂委員会編	横井　彬	新美術新聞	1078
〃	椎名　節	〃	1090
〃	北澤　憲昭	毎日夕刊	5.23
『美の歴史』ウンベルト・エーコ編著、植松靖夫監訳、川野美也子訳	粟田　大輔	美術手帖	880
『碑文から見た古代ローマ生活誌』ローレンス・ケッピー著、小林雅夫・梶尾知志訳	山本　勝治	歴史と地理	599
『「ひまわり」落札』勅使河原純著		新美術新聞	1082
『百鬼夜行絵巻　妖怪たちが騒ぎだす』湯本豪一著	南　伸坊	朝　日	1.29
『評伝　柳宗悦』水尾比呂志著	粕谷　一希	日　経	7.2
『昼の学校　夜の学校』森山大道著	石井　芳征	美術手帖	889
〃	中条　省平	朝　日	10.1
『敏満寺遺跡石仏谷墓跡』多賀町教育委員会編	高田　陽介	日本歴史	697
『フィレンツェ共和国のヒューマニスト―イタリア・ルネサンス研究―』根占献一著	北田　葉子	史学雑誌	115-11
『風景の指輪』関根伸夫著	石井　芳征	美術手帖	882
『富士山の絵画史』成瀬不二雄著	菊竹　淳一	デアルテ	22
『藤田嗣治』湯原かの子著		日　経	5.14
『不鮮明の歴史』ヴォルフガング・ウルリヒ著、満留伸一郎訳		芸術新潮	683
『ブック・アートの世界　絵本からインスタレーションまで』中川素子・坂本満編	深澤　友晴	美術手帖	887
〃	小川　敦生	日　経	7.9
〃	林　道郎	読　売	8.6
『仏像の事典』熊田由美子監修	大上　朝美	朝　日	12.17
『仏像のひみつ』山本勉著	五味　文彦	歴史と地理	600
〃	南　伸坊	朝　日	6.25
〃	大上　朝美	〃	12.17
〃	黒沢　綾子	産　経	10.23
〃		日経夕刊	11.22
『プラド美術館　名画に隠れた謎を解く！』藪野健著	陣内　秀信	朝　日	5.21
〃	(清)	読　売	4.9
『文化とは何か』テリー・イーグルトン著、大橋洋一訳	青柳　正規	〃	12.24
『文久山陵図』谷森善臣著、外池昇編	茂木　雅博	日本歴史	697
『平安時代貴族住宅の研究』飯淵康一著	詫間　直樹	古文書研究	61
『平家納経　平清盛とその成立』小松茂美著		芸術新潮	676
『別冊太陽　気魄の人　横山大観』別冊太陽編集部編	山下　裕二	朝　日	9.17
〃	臼田　捷治	書道界	204
『別冊太陽　柳宗悦の世界』尾久彰三監修	(才)	毎　日	3.12
『ベトナム日本町の考古学』菊池誠一著	林　英昭	建築雑誌	1546
『ベルト・モリゾ　ある女性画家の生きた近代』坂上桂子著		芸術新潮	674
〃	馬渕　明子	日　経	2.12
『法隆寺の謎を解く』武澤秀一著	佐藤　弘夫	産　経	7.24
〃		日　経	6.18
『北魏仏教造像史の研究』石松日奈子著	肥田　路美	美術研究	390
『ぼくの美術帖』原田治著		芸術新潮	678
〃	中野　翠	朝　日	11.5
『ボッティチェッリ全作品』高階秀爾・鈴木杜幾子編著		芸術新潮	673

『仏のイメージを読む』森雅秀著	大上　朝美	朝　日	12.17
『本の遠近法』高階秀爾著	鶴ヶ谷真一	芸術新潮	679
〃	三浦　篤	新美術新聞	1093
〃	丸谷　才一	毎　日	5.7
『前川國男・弟子たちは語る』前川國男建築設計事務所OB会有志著	手塚さや香	毎日夕刊	5.9
『前川國男　現代との対話』松隈洋編		日　経	10.8
『窓から読みとく近代建築』酒井一光著	山崎　鯛介	建築史学	47
〃	斎藤美奈子	朝　日	5.14
『マンガは欲望する』ヨコタ村上孝之著	中条　省平	〃	9.17
『未生の日本美術史』千葉成夫著	奥村　雄樹	あいだ	132
〃	石井　芳征	美術手帖	889
〃	椹木　野衣	日　経	10.8
『南イタリア都市の居住空間—アマルフィ、レッチェ、シャッカ、サルデーニャ—』陣内秀信編	黒田　泰介	建築史学	46
『宮城の木食上人—禅木食遼天と木食知足—』みやぎ木食会　熊谷幹男・津島久子著	西海　賢二	地方史研究	324
『宮本常一　農漁村採訪録』周防大島文化交流センター編	木村　哲也	民具マンスリー	456
『ミュージアム・マーケティング』P・コトラー、N・コトラー著、石田和晴訳		日　経	6.25
『「無言館」にいらっしゃい』窪島誠一郎著		読　売	7.30
『棟方志功の絵手紙』小池邦夫・石井頼子共編	立松　和平	朝　日	3.19
『棟札の研究』水藤真著	佐藤　正彦	建築史学	46
〃	遠藤　廣昭	日本歴史	698
『ムンクを追え！』エドワード・ドルニック著、河野純治訳	光森　優子	産　経	2.20
〃	北上　次郎	東　京	2.19
〃	木下　直之	日　経	〃
『明治神宮の出現』山口輝臣著	櫻井　良樹	日本歴史	702
『名匠と名品の陶芸史』黒田草臣著		陶　説	643
〃	二宮　清純	日経夕刊	7.5
『メディチ家の墓をあばく』ドナテッラ・リッピ、C・ディ・ドメニコ著、市口桂子訳		日　経	7.9
『木版口絵総覧—明治・大正期の文学作品を中心として—』山田奈々子著	岩切信一郎	浮世絵芸術	152
〃		日　経	2.12
『モダニストの物言い』上田高弘著	(競)	毎　日	6.4
『モダニズム建築　その多様な冒険と創造』ピーター・ブランデル・ジョーンズ著、中村敏男訳	陣内　秀信	朝　日	6.11
『もっと知りたい伊藤若冲　生涯と作品』佐藤康宏著	山下　裕二	〃	3.26
『モナ・リザと数学　ダ・ヴィンチの芸術と科学』ビューレント・アータレイ著、高木隆司・佐柳信男訳	村上陽一郎	毎　日	6.18
『モンゴル時代の出版文化』宮紀子著	高橋　文治	東洋史研究	65-3
『モンゴルにおける都市建築史研究—遊牧と定住の重層都市ススホト』包慕萍著	小長谷有紀	〃	64-4
『国立国際美術館新築移転一周年記念連続シンポジウム「野生の近代　再考—戦後日本美術史」記録集』建畠哲監修	粟田　大輔	美術手帖	888
『柳宗理エッセイ』柳宗理著	袴田　浩司	ＡＸＩＳ	124
『柳宗悦と民芸運動』熊倉功夫・吉田憲司著	秋富　克哉	民博通信	114
『夢と魅惑の全体主義』井上章一著	御厨　貴	毎　日	11.19
『夢なら正夢』米倉守著	高岡　忠雄	新美術新聞	1082
『夢見た日本　エドモン・ド・ゴンクールと林忠正』小山ブリジット著、高頭麻子・三宅京子訳	酒井　忠康	日　経	8.27
『妖怪文化入門』小松和彦著	中野美代子	学　鐙	103-4

『ヨーロッパ　生と死の図像学』馬場恵二・三宅立・吉田正彦編	小澤　実	史学雑誌	115-8
『横山大観の世界』横山大観記念館監修		新美術新聞	1084
『与謝蕪村の俳景　太祇を軸として』谷地快一著	深沢　了子	国語と国文学	994
『吉阪隆正とル・コルビュジエ』倉方俊輔著	笠原　一人	建築史学	46
『ヨシダ・ヨシエ全仕事—The corpus of Yoshida Yoshie's critical essays on art』ヨシダヨシエ著	田中　三蔵	朝日夕刊	3.31
『よみがえる金沢城1—四五〇年の歴史を歩む—』金沢城研究調査室編	石野　友康	地方史研究	321
『ラオコーン　名声と様式』サルヴァトーレ・セッティス著、芳賀京子訳	青柳　正規	読　売	12.24
『ル・コルビュジエの宗教建築と「建築的景観」の生成』千代章一郎著	加藤　道夫	建築史学	47
『ルター時代の言葉と図像における異教的＝古代的予言』アビ・ヴァールブルク著、伊藤博明監訳、富松保文訳	神崎　繁	読　売	9.10
『ルネサンス』ピーター・バーク著、亀長洋子訳	小山　啓子	史学雑誌	115-11
『ルビコン』トム・ホランド著、小林朋則訳	青柳　正規	読　売	10.8
〃	〃	〃	12.24
『レオナルド・ダ・ヴィンチ伝説の虚実創られた物語と西洋思想の系譜』竹下節子著	大岡　玲	毎　日	7.2
『歴史探索の手法—岩船地蔵を追って—』福田アジオ著	池田　悦夫	地方史研究	324
『Less but better ディーター・ラムスの世界』下川美喜企画・編集	深澤　直人	ＡＸＩＳ	119
『ロダンの言葉　覆刻』オーギュスト・ロダン述、高村光太郎編訳	眞田　岳彦	〃	122
『WORKSHOP MU!! Designing from 1970 and forever』WORKSHOP MU!! 企画・監修	山下　裕二	朝　日	12.10
『私に触れるな—ノリ・メ・タンゲレ』ジャン＝リュック・ナンシー著、荻野厚志訳	林　道郎	読　売	7.16
『和を継ぐものたち』小松成美著		日　経	11.12

海外刊行書

H.W.Janson, Joseph Jacobs, Walter B. Denny, Penelope J. E. Davies, David L. Simon, Frima Fox Hofricher, Ann M. Roberts, Janson's History of Art : Western Tradition, Prentice Hall College Div, New Jersey, 2006	編集部	あいだ	123
Florian Böhm, KG-ID : Konstantin Grcic Industrial Design, Phaidon Press, London, 2005	深澤　直人	ＡＸＩＳ	120
Erwin Panofsky, translated by Christopher Wood, Persective as Symbolic Form, Zone Books, New York, 1991	江藤　匠	美術史	161
Alexander M. Schenker, The Bronze Horseman : Falconet's Monument to Peter the Great, Yale University Press, New Haven/London, 2003	杉山奈生子	西洋美術研究	12
『秦西垂文化論集』礼県秦西垂文化研究会・礼県博物館編、文物出版社、北京、二〇〇五年	吉本　道雅	東洋史研究	64-4
『台湾島建築之研究』田中大作、台北科技大学、台湾、二〇〇五年	王　恵君	建築史学	47

時　評

前年度分

国際アートマーケット・レポート　第1回	編集部取材 糸井　恵構成	ART iT	11
Art Top Critical Words	野地耕一郎	アート・トップ	

「それぞれの変革へ」—10月・11月の展覧会から—			207
「近代・現代美術の見直し」—12月・1月の展覧会から—			208
「境界はなくなった？」—2月・3月の展覧会から—			209
2005年の秋田美術界（1月～12月）	渋谷　重弘	秋田美術	42
2005年展覧会入場者ベスト30　ルーヴル美術館展、横浜、京都で計100万人		新美術新聞	1078
美術市場レーダー171　美術展ランキングの地政学	瀬木　慎一	〃	1090
2005年ベスト　アート：チームワークベスト９？	藤城　里香	STUDIO VOICE	361
デザインイベントリポート2005　in Tokyo	渡部　千春	デザインの現場	145
巻頭特集　2006年上半期　先取り！今年の展覧会BEST 80 Part.2　2005—2006美術界重大NEWS		美術の窓	269
サタデー発言　吉田展を胸に展覧会を見る	名古屋　覚	東　京	1.7

当年度分

Art Top Critical Words		アート・トップ	
「描きたい欲望」—4月・5月の展覧会から—	野地耕一郎		210
「得体のしれない物体のような立体」—6月・7月の展覧会から—	〃		211
見えない風景[関西編]	平芳　幸浩		212
再び「描く」ということ[関東編]	野地耕一郎		〃
総括　春の大型展好不調で二極化も		新美術新聞	1091
“メセナ”実施企業は過去最多の443社　2006年度「メセナ活動実態調査」から		〃	1106
今年後半の主な大型展の話題から　上野地区の「ダリ」、「一木彫」が名実とも盛況！		〃	1107
特集　2006年の美術界を振り返る		〃	〃
立て続けに報道された文化庁がかかわる問題	岩渕　潤子		
美術に対する世間一般の関心をマイナス局面に	宝木　範義		
美術は精神の文化、美術館はそれが望まれる場所	瀧　悌三		
日本画—伝統へのこだわりを打ち出した新展開を期待	武田　厚		
知の業績が錯綜しあう興味深い時代に発展するか	谷　新		
息苦しい行政的・管理的な硬直症状にがんじがらめの現在	千葉　成夫		
美術・博物館が不安定になれば、育ちにくい若い研究者	中村　隆夫		
求められる新たな美術館像	野地耕一郎		
彼の生にとってぼくはついに無力だった	堀　浩哉		
核心に迫らないペン、涸れた言葉のチカラ	米倉　守		
美術とは何かという大命題に迫る好機	ワシオトシヒコ		
巻頭特集　2006年下半期　夏休み＆芸術の秋必見の展覧会BEST 100 2006年上半期美術界重大NEWS		美術の窓	275
06回顧　美術　グロテスクな美際立つ藤田展　地域に根ざした活動に成果	山盛　英司	朝日夕刊	12.6
回顧平成18年　3　美術　日本の美に熱いまなざし	黒沢　綾子	産　経	12.28
回顧2006美術　発想豊か、新世代台頭	宝玉　正彦	日　経	12.7
この１年		毎日夕刊	
写真　「世界基準」とはまだ差	飯沢耕太郎		12.7
マンガ　多彩に広がる成果	村上　知彦		12.18
考古学　高松塚問題から何を学ぶか	伊藤　和史		12.20

建築　際立った妹島、伊東の自在な表現	鈴木　博之		12.21
回顧2006		読　売	
美術　「日本」一つの焦点に	前田　恭二		12.21
文化財　高松塚劣化　国の責任重く	片岡　正人		12.22
写真　生々しく過剰さはらむ色彩	前田　恭二		12.28
2006年マンガ界を回顧　テレビや映画で人気再び　注目集めるケータイ配信	石田　汗太 佐藤　憲一	読売夕刊	12.27
受賞・美術賞			
第９回岡本太郎記念現代芸術大賞（TARO賞）決定		新美術新聞	1079
アメリカ美術評論家連盟「05年度ベスト展覧会」投票　日本関係が「二展」受賞	富井　玲子	〃	1080
芸術文化支援　「メセナアワード2006」決まる　大賞にベネッセコーポレーション、（財）直島福武美術財団		〃	1103
第７回シヤチハタ・ニュープロダクト・デザイン・コンペティション	川上典李子	デザインの現場	147
巻頭特集　2006年上半期　先取り！今年の展覧会BEST80 Part.3　2005年下半期　美術賞グランプリ結果		美術の窓	269
美術市場			
世界のアートショーから		ART　iT	
第２回　アート・バーゼル	編　集　部		12
第３回　中国アート市場の行方	中西　多香		13
オークションTOPICS		ギャラリー*	
「中国・韓国・日本　アジアン新進作家」のオークションを企画したエスト・ウェストオークションズの新たな試み			252
「中国・韓国・日本　アジアン新進作家」の出品が決定！　エスト・ウェストオークションズの真摯な熱意			253
特集　CIGE 2006、Taipei　Art　Fair 2006　アジアに日本がいない！		〃	254
海外ジャーナリストの眼　近親相姦の中国アート現象	鄭　乃銘	〃	〃
異色インタビュー　船井総合研究所　美術担当・甲畑智康氏に聞く		〃	255
京橋の夏を熱くするアートイベント　京橋界隈2006		〃	〃
アートフェア・レポート　韓国・ソウルのKIAFと中国・上海のART　SHANGHAI		〃	〃
LOOP '06―第４回ビデオ・アートフェア		〃	〃
特集　今よりもっと楽しくなる美術の世界　美術品購入の入門		〃	256
特集　インターネットが広げた　美術情報の多様な可能性		〃	257
ART in CASO／OSAKA　第４回目を迎える大阪のアートフェア	山口　孝、加藤　義夫 対談	〃	〃
アジアアート交換記事『典蔵．今芸術』バーゼルアートフェアと中国現代アート	王　維薇 潘　廣宜 訳	〃	〃
特集　新しい展開を模索する　デパート美術部、若手作家への視点		〃	259
アートフェア・レポート　Art in CASO OSAKA 2006		〃	〃
ユニーク対談　夫婦で語ろう　画廊の明日、美術の未来　移転オープンする銀座柳画廊	野呂　好彦 野呂　洋子	〃	〃
PICK UP　A@A　アート・アット・アグネス2007　現代美術ディーラーによるアートフェアがいよいよ一般公開		〃	260
美術市場レーダー168　国際市場の変動　人気アイテムの交替	瀬木　慎一	新美術新聞	1081
最新国内オークション事情　アート市場に景気回復はまだか	山田　宏治	〃	1087

現在通信From NEW-YORK　中国現代美術オークション	富井　玲子	新美術新聞	1087
美術市場レーダー172　中国の躍進フランスの回復そして日本	瀬木　慎一	〃	1093
美術市場レーダー173　2005年度美術市場の空模様	〃	〃	1096
特集　入門★中国美術　中国アートマーケット入門	編　集　部	美術手帖	887
特集　東美百年　インタビュー　東京美術倶楽部が伝えてゆくもの	淺木　正勝 インタビュー	目の眼	354
特集　目の眼と古美術の30年		〃	360
日本美術の潮流～古美術から現代美術まで一つの観測と指標～	瀬木　慎一		
鑑賞陶磁器の30年	浦上　満 川島　公之 談		
日本刀の30年	田野辺道宏 談		
骨董市の30年	竹日　忠芳		
岐路のアジア　第4部チャイナパワー4 美術品バブル　成長社会、投機の的に	小暮　哲夫	朝　日	3.18
100万ドル日本作家相次ぐ　NYの競売で		〃	6.13
マイアートを暮らしに　イベントやネット通販ですそ野広がる　手軽な価格で落札も	吉野　園子	〃	9.23
ゴッホもピカソも50億円？　個人の「お宝」オークションへあすからNY　投資熱が後押し、市場高騰	江木　慎吾	朝日夕刊	5.1
2006世界は日本・アジアをどう伝えているか　中国現代美術	松尾　理也	産　経	4.25
変わる美術品市場　オークション活況に指標で価格情報入手	野村　義博	日　経	4.9
活況の美術品競売　関連ビジネス続々　絵画担保融資広がる	〃	〃	10.15
文化往来　中国最大オークション会社、日本に進出		〃	12.5
中国現代美術品バブル　価格急騰投機マネー殺到	末続　哲也	読　売	9.1
NY 絵画競売活況　今秋、落札総額最高の13億ドル	大塚　隆一	読売夕刊	11.20

美術館・博物館・画廊

一　般

有力美術館の北京進出	マヤ・コヴスカヤ	ART　iT	11
日々の思索　第4回　よいキュレーションとは何か	長谷川祐子	〃	12
欧州の情報政策による図書館、博物館間協力の可能性	菅野　育子	アート・ドキュメンテーション研究	13
IFLA(国際図書館連盟)ソウル大会美術図書館分科会と韓国の主要美術館の音声映像ガイド	川口　雅子	アート・ドキュメンテーション通信	71
傷ついた美術史　連載39　街に出てゆく美術　美術館に入る日常	小泉　晋弥	アート・トップ	208
「壁の色で展示を読む」	(F)	アートペーパー	70
美術史学会シンポジウム「検証：国公立ミュージアム～官から民へのうねりの中で」Kさんへの手紙から	小勝　禮子	あいだ	125
コラム　回想法と博物館	長谷川孝徳	石川れきはく	81
博物館と分類学をめぐって	青木　淳一	学　鐙	103-1
特集　アメリカのチルドレンズ・ミュージアム事情　社会への使命観と競争原理が理想的な運営への探究心を支える	倉本　昌昭、許斐　修輔 談 高橋　信裕 聞き手	Cultivate	27
米国チルドレンズ・ミュージアムのマネージメント・システムに学ぶもの	エリック・レドベター、ジャネット・ライス・エルマン 談 高橋　信裕 聞き手	〃	〃
変動の時代の美術館		ギャラリー*	252

今、アジアは対象から場へと変わる　アジア次世代美術館キュレーター会議に参加して	保坂健二朗	国立国際美術館月報	155
ブランド・フェイク、あるいはカタログの欲望	島本　浣	〃	156
[共同研究]近代日本の兵士に関する諸問題の研究　各国の戦争展示　政治と「ミュージアム」の関連から	森山　優	国立歴史民俗博物館研究報告	126
固有名詞の〈翻訳〉：美術館の英語名称	富井　玲子	jaic 会 報	7
国際シンポジウム「世界の現場から今、博物館教育を問う」開催　英米韓日教育普及担当者たちの試み		新美術新聞	1080
国立博物館　平常展料金９年ぶり大幅値上げ　東博、京博、奈良博で今年10月１日から		〃	1085
美術市場レーダー170　美術館入場者は減少しつづけている	瀬木　慎一	〃	1087
夏休み　親子で楽しむアート　美術館、博物館は仕掛けがいろいろ		〃	1092
第55回全国美術館会議総会開かれる　ホームページ開設を組織内の新たなエネルギーに		〃	1093
2006美術館連絡協議会総会も開催　加盟は１館増の117館に		〃	〃
東京都の美術館・博物館で学校向けにパートナーシップ事業を開始　科博、東博でも利用進む		〃	1094
TXつくばエクスプレス開通から１年　茨城県つくば美術館など、TX効果は？		〃	1096
現在通信From NEW-YORK　美術館のプラスとマイナス	富井　玲子	〃	1097
美術市場レーダー174　民間委託と文化王国	瀬木　慎一	〃	1099
PARIS発　パリの秋の展覧会	安部　雅延	〃	1101
美術市場レーダー175　「美しい国」の文化と教育	瀬木　慎一	〃	1102
大阪コレクションズ　大阪市内の国公私立３館が共同企画		〃	1103
ミュージアム・マーケティング・シンポジウム開催される「21世紀、ミュージアム・タウンの創造と展望」をテーマに		〃	1105
通信Ｊ to Ａ　アジアへ22　アジアの美術館の未来	南條　史生	〃	1107
第一特集　プロダクト・デザインの現在 NEW DESIGN PARADIGM MARKET&DESIGN　デザイン・ミュージアムって何だ？	紫牟田伸子	STUDIO VOICE	365
[COLUMN]　MORE DESIGN８　WORLD DESIGN MUSEUM	〃	〃	〃
第二特集　ダッチ・デザインの新潮流～DROOG以降のニュー・クリエーション！　ギャラリー&ショップ	加藤　孝司	〃	371
市町村合併と公立博物館	菅野　和郎	玉川大学教育博物館館報	3
我が国における博物館の変遷と課題(その１)	清藤　一順	千葉県立中央博物館研究報告	19
動向　博物館問題シンポジウム「強い博物館像を求めて―博物館はどうなる？」参加記	筧　真理子	地方史研究	320
【シンポジウム　地域博物館・資料館と指定管理者制度】		〃	321
シンポジウム「地域博物館・資料館と指定管理者制度」	地方史研究協議会常任委員会		
基礎的自治体(市区町村)からみた指定管理者制度と博物館事業の行方	森　朋久		
公立系歴史博物館と指定管理者制度	前沢　和之		
指定管理者制度と学芸員養成課程	吉田　優		
シンポジウム「地域博物館・資料館と指定管理者制度」参加記	栗原　淳		

シンポジウム「地域博物館・資料館と指定管理者制度を考える」に参加して	関口　豊樹		
動向　博物館問題「ミュージアム・マネージメント・フォーラム二〇〇五徹底討論！博物館と指定管理者制度」に参加して	尾崎　　晃	地方史研究	321
【シンポジウム　地域博物館の使命と指定管理者制度】		〃	324
シンポジウム「地域博物館の社会的使命と指定管理者制度」開催にあたって	地方史研究協議会常任委員会		
地域博物館の機能と課題―指定管理者制度を中心に―	渡辺　嘉之		
民間企業による博物館運営の実践	中島　秀男		
指定管理者導入に伴う学芸活動の諸問題	浜田　弘明		
シンポジウムの討論とアンケート調査から	博物館・資料館問題検討委員会		
シンポジウム「地域博物館の社会的使命と指定管理者制度」に参加して	秋山　伸一		
シンポジウム「地域博物館の社会的使命と指定管理者制度」参加記	尾上　一明		
「りんごとアート」ワークショップの実施と評価	水野　智子	同志社大学博物館学年報	37
「MUSEUM」と「博 物館」―辞書上の対応と一般化―	竹内　力雄	〃	〃
展示効果と安全性―博物館における考古学資料の展示について	水ノ江和同 渡辺　珠美	東風西声*	2
博物館における職場体験学習と歴史意識の形成についての覚書	後藤　彰信	東北歴史博物館研究紀要	7
研究ノート　展示の方法を考える	池上　　司	西宮市大谷記念美術館NEWS	19
現代日本の博物館建築における立地環境と外形構成　外形ヴォリュームの分節による建築の構成形式に関する研究(4)	中井　邦夫 森山ちはる 坂本　一成	日本建築学会計画系論文集	607
19世紀ドイツ、オーストリアにおけるミュージアム建設の全体像	海老澤模奈人	〃	608
自己組織化マップによる評価パターンの可視化分析を用いた空間嗜好の類型化の研究―企画展の展示計画を対象として―	宗本　晋作	〃	609
文化情報発信システムとしてのインターネット博物館―大学・地域博物館の連携を中心にして―	佐野　憲治	人類文化研究のための非文字資料*	3
平成18年・年頭所感　新時代博物館へ	中川　志郎	博物館研究	452
巻頭言　観覧者のマナーと美術館の対応	名児耶　明	〃	453
随筆　外来カタカナ語の氾濫	木村　重信	〃	〃
トピックス―北から南から―新市域の文化施設の連携について	鈴木　吉則	〃	〃
博物館・歴史的建造物の環境保全計画	和田　　浩	〃	〃
随筆　博学連携事始	松尾　勝美	〃	454
巻頭言　誰にもやさしい博物館づくりがめざすもの	鳥山　由子	〃	455
巻頭言　博物館と研究	工藤　雅樹	〃	456
展覧会の混雑緩和対策について	清水　久夫	〃	〃
巻頭言　美術館長の体験	福原　義春	〃	457
巻頭エッセイ　博物館とやさしさの心―茶碗を愛でる「しぐさ」―	真鍋　俊照	〃	458
アクセシビリティの向上と原語のバリアフリー化～外国人観光客の対応策を考えるために～	水嶋　英治	〃	〃
「利用しやすく快適な博物館づくりに向けて」～バリアフリー委員会からの報告～	奥野花代子	〃	〃

博物館活動の担い手としての高齢者　誰にもやさしい博物館づくり「高齢者プログラム委員会」の取組みから	佐々木英彦	〃	〃
国際博物館の日について	井上　透	〃	459
巻頭エッセイ　世の中には変えてよいものと絶対変えてはならぬものがある	伊藤　文吉	〃	460
来館者のための安全対策―地震の体験から―	吉武　弘喜	〃	〃
静岡県下における「災害から文化財を守る」民間活動―災害救済ネットワークの構築をめざして―	日比野秀男	〃	〃
博物館における高齢者プログラム(回想法)とアウト・リーチ活動～高齢者福祉施設への出張美術館(3ヶ年)を事例として～	吉井　隆雄	〃	〃
第22回　支部が推薦する博物館情報2. 東北支部　北東北3県の共同展示会の取り組みについて	山内　智	〃	〃
直面して初めてわかる危機管理対策の重要性―欧米ミュージアムの具体事例からできることを考える	岩渕　潤子	〃	461
巻頭エッセイ　博物館改革の現場から	中村　哲	〃	462
座談会「博物館専門誌の今後」	里見　親幸、高橋　信裕、山下　治子、水嶋　英治 司会	〃	463
「博物館研究」誌を読み解く	椎名　仙卓	〃	〃
報告／平成18年度棚橋賞選考経過および講評	佐々木勝浩	〃	〃
巻頭特集　美術館で版画を楽しむ		版画芸術	132
美術館と博物館 美術と人々の橋渡し	三木　哲夫		
版画の日常性と芸術性	本江　邦夫		

平成十七年度シンポジウム「美術館・博物館の新たな公共性を求めて―指定管理者制度・NPO・地域社会―」		美術史	160
開催要旨			
報告一　中からの取り組み「変わる美術館制度～指定管理者制度下の新しい美術館マネージメントの課題」	小松崎拓男		
報告二　外からの提言「現代のパトロンは誰か～指定管理者制度の導入とミュージアムへの期待」	小林　真理		
報告二　外からの提言「公設民営の新しい可能性―BankART 1929の活動を通して」	池田　修		
総合討議　総合討議に向けて	中村　誠		
総括	木下　直之		
清澄白河に新たな画廊街が誕生	宮村　周子	美術手帖	874
特集　アートの旅にでかけよう［保存版］全国ミュージアム・ガイド30選	粟田　大輔、高橋　実和	〃	885
“室内気候”をデザインする～ピーエスが提案する、アートのための室内気候デザイン～	杉瀬　由希	〃	888
現代美術の歩き方 異論反論・現代美術 清澄白河にギャラリー・コンプレックス誕生		美術の窓	268
視点　鑑賞の妙	川口　直宜	〃	〃
視点　役得ばかりではない学芸員業	〃	〃	269

特集　メディアが「美術」をつくる。7　ミュージアムが編む「ものがたり」—〈美術〉の言説を超えて	村田麻里子	美術フォーラム21	14
海外博物館事情　ブラジル　歴史変遷の象徴—サンパウロ市の2つのミュージアム	菊池　渡	非文字資料研究	11
「美術館連絡協議会」座談会　美術館を楽しむ	荻野アンナ、山本耀司、酒井忠康、菅原教夫　司会	美連協ニュース	91
特集　写真と文化財　地方博物館から—写真専門職員として—	杉浦　秀昭	文化財*	517
世界遺産と博物館の役割	植野　浩三	文化財学報	23・24
コミュニケーション空間としてのミュージアム—ミュージアムスタディーズにおけるメディア論の可能性—	光岡　寿郎	文化資源学	4
シリーズ・博物館への指定管理者制度の導入を考える		北海道開拓記念館だより	
2　博物館はどこからきてどこへいく	木下　直之		35-4
3　指定管理者とは何か？	出利葉浩司		36-1
4　博物館が果たす機能から指定管理者制度導入を考える	藤田公仁子		36-2
ミュージアムに寄せる思い—文化活動の拠点としての役割—	角井　博	MUSEUM	600
指定管理者制度と博物館	矢島　國雄	MUSEUM STUDY	17
『百科全書 Encyclopédie』に記載されているムセイオンの項目についての考察	臺　由子	〃	〃
本学卒業生による活動報告　アートコーディネーターという仕事	三ツ木紀英	MUSEOLOGY	25
《特集・日本の地域博物館シンポジウム3》		MUSEOLOGIST	21
博物館人と地域　その3—第3回日本の地域博物館シンポジウムについて	吉田　優		
地域博物館における現代史展示—二つのニュータウン展示を事例として—	齋藤　智志		
博物館利用問題考—学校教育利用での評価をめぐって—	小林　聖夫		
観光旅行者にとっての地域博物館	真下　祥幸		
未来へひらくミュージアム　危機の時代の博物館と研究者—身を削ること、人と仲良くすること—	森田　利仁	みんぱく	346
美術作品の提示と受容に関する一考察—ミュージアム・グッズをめぐって	河原　啓子	武蔵野美術大学研究紀要	36
韓国・大邱近郊の大学にみる大学博物館	宮瀧　交二	ムゼイオン	52
英国の地域博物館における教育手法に関する一考察—ワークシートの設問分析を通して—	外山　徹	明治大学博物館研究報告	11
博物館展示のいま6　現代社会に根づく博物館のこれから	山本　典幸	歴　博	135
博物館、無料化じわり　全体の3割程度、まだ少数派　住民サービス、入館者急増の施設も	宮代　栄一	朝　日	3.15
博物館、独法化で新たな受難	田中　三蔵	〃	5.18
キュレーター対談　日本の美術　どう発信	笠原美智子、長谷川祐子　談　田中　三蔵　司会	〃	5.24
有名美術館　分館ブーム　豊富な所蔵品「有効活用」「観光の目玉に」地方期待	沢村　亙	〃	9.16
干支の「イヌ」大忙し　各地で展覧会　出土品・仮面・絵画…	宮代　栄一	朝日夕刊	1.6
お宝　企画がつなぐ市民と博物館	篠崎　弘	〃	2.3
単眼複眼　都の美術館7年ぶり購入予算　抜けるか冬の時代	西田　健作	〃	6.21
劇飯(ゲキメシ)　アートの空間の食風景4　ミュージアムの巻		〃	7.8
瓦　展覧会ブームの陰に財政難	宮代　栄一	〃	8.25

上野→六本木　芸術の大移動　31団体展「54万人」来年開館国立新美術館へ	山盛　英司	〃	11.11
美術館・映画館　子連れで観賞OK　増える託児サービス“地域密着”型も	服部　素子	産　経	2.21
博物館・美術館のターゲット　退職後の「団塊」に期待	藤田　綾子	〃	5.17
変わる国立ミュージアム　独立行政法人５年		〃	
〈1〉常設展は常設じゃない　見る側の立場で“展示改革”	黒沢　綾子		8.16
〈2〉努力が報われない　収入増が上げた「ノルマ」	〃		8.23
〈3〉財政難…見直される寄託品　岐路に立つ収集活動	猪谷　千香		8.30
〈4〉将来の鑑賞者に向けて　底上げに繋がる“教育”	黒沢　綾子		9.6
〈5〉ITを活用　館の壁取り払い情報共有	猪谷　千香		9.13
〈6〉レストランとショップ　独特のコンセプトで相乗効果	堀　晃和		9.20
〈7〉地元とともに「開かれた館」と「地域の力」で	黒沢　綾子		9.27
中高年人生これから新現役ネット　美術館めぐりシリーズ　学芸員による説明好評		〃	11.16
美術館・博物館とボランティア　専門家参加が本筋だが…根付かぬ社会還元の精神	藤田　一人	東　京	3.8
清澄アート色模様　有名ギャラリー集結	浅田　晃弘	〃	3.20
ぶんぶん記者修行　美術館の監視員　実は忙しい“壁の華”	清水　俊郎	東京夕刊	1.5
原基としての「Museum」の使命　志の見えぬ民営化論議「研究機関」が本来の姿	南嶌　宏	〃	2.17
アテネの地下鉄に見る古代遺跡活用　斬新なステーション・ミュージアム	長谷川　栄	〃	8.23
旅　ロンドン　繁栄の恩恵、芸術根付く	竹上　順子	〃	9.20
博物館・美術館ユニーク企画続々　老若の元気創造　地域貢献へ新手	竹田　博志	日　経	2.25
トピックス　都の文化施設学生に優待制		〃	4.1
文化往来　国立美術館・博物館、経費削減厳しく		〃	4.7
文化往来　神戸でミュージアムの行方問うシンポ		〃	5.9
エコノ探偵団　美術館なぜ増える？器より展示品にカギ　高齢化で寄贈が相次ぐ	関根慶太郎	〃	7.30
著作権の保護延長巡り議論　文学・美術・音楽団体「死後70年に」		〃	8.26
ミュージアム拓く		日　経	
美術館蝕む「蓄積疲労」　財政難、活動を左右			10.14
美術館個性に磨き　地域に貢献智恵絞る	宝玉　正彦 高階　秀爾 岩渕　潤子		〃
揺れる入館料崩れる横並び　公立各館、「適正価格」探す			11.11
民間に委託　指定管理者制度			12.9
私の美術館像　下	青柳　正規		12.22
国際文化フォーラム―文化の多様性　九州の国公立館は運営面で一工夫滑り出しは順調	中川　倫一	〃	12.24
美術館と大学の連携相次ぐ	富田　律之	日経夕刊	1.24
美術変えるポッドキャスティング　アートと思想気軽に携帯	白木　緑	〃	2.13
ファッションデザイナーがNPOや財団　世界へ文化発信手助け	富田　律之	〃	3.6
あいまいな国の基準	(白)	〃	4.5
ミュージアムでシニア活躍　来館者と触れ合う／違う視点学ぶ		〃	6.1
シニアが開くミュージアム　「自分史」披露し交流の輪　ユニークな収集品に特徴	須貝　道雄	〃	7.6

日常とアートの懸け橋　オリジナル充実ミュージアムショップ・グッズ	望月　麻紀 永田　晶子	毎　　日	10.25
焦点06　美術　春はフジタ　夏は青森	(前)	読　　売	1.1
開放の実像　指定管理者制度が始まる1～4		〃	1.31～2.3
美術館連絡協議会座談会　美術館を楽しむ　五感で遊ぼう　心躍る空間に	荻野アンナ、山本　耀司、酒井　忠康 菅原　教夫司会	〃	4.29
国立博物館財政難で3館値上げ　「独法」に水差す収入ノルマ	高野　清見	〃	5.4
建築季評　制度としての美術館解体	中川　　理	〃	6.29
美術館と結婚式　しゃれた建築で集客・貸し切りに苦情も	高野　清見	〃	7.20
自然の中で病院でアート　美術館連絡協議会助成	杉山　大樹	〃	7.31
「美連協大賞」を創設　美術館の協議会“変身”	山崎　俊滋	〃	11.27
論点　アートマネージャー　文化施設運営の担い手に	根木　　昭	〃	12.1
博物館・美術館でお正月　元日・2日から開館　来館者増やすため		〃	12.31
市場主義に苦しむ文化施設　民間委託の評価法確立を	片山　泰輔	読売夕刊	2.1
美術館「勝ち組」の理由	高野　清見	〃	2.10

日　　本

(ア行)

平成17年度寄贈「相澤コレクション」について[相澤美術館]	松矢　国憲	新潟県立近代美術館研究紀要	7
ひと　開館10周年を迎えた相田みつを美術館館長　相田一人さん	網谷隆司郎	毎　　日	9.17
視覚障害者の美術鑑賞ガイド実践例から—絵画鑑賞における立体コピーの使用方法について[愛知県美術館]	深山　孝彰	愛知県美術館研究紀要	12
ミュージアム拓く　美術館個性に磨き　地域に貢献智恵絞る　愛知県美術館		日　　経	10.14
AT 211　Remarkable TOPIC　「風土」はいかに具現化された？　7月13日青森県立美術館がオープン	芳野　　明	アート・トップ	211
7.13青森県立美術館開館　三内丸山遺跡に隣接、ダイナミックな建築		新美術新聞	1095
特集　アートの旅にでかけよう　青森編　青森　ねぶたの本場で巨大美術鑑賞。ついつい気持ちもでっかくなる。	暮沢　剛巳	美術手帖	885
青森県立美術館が開館　奈良美智や成田亨…「ゆかり」作家の常設展重視	西田　健作	朝　　日	7.26
美術館へ怪獣ご案内　青森ウルトラマンキャラ標識に		東　　京	9.7
文化往来　青森に「最後の県立美術館」オープン		日　　経	7.8
青森県立美術館が開館　本州最北から芸術発信	岸　　桂子	毎日夕刊	9.1
青森県立美術館　重量級の存在感　変幻する展示空間「三内丸山」発掘現場から着想	前田　恭二	読　　売	7.27
アトリエコンサート　音楽や芸術を堪能[朝倉彫塑館]	益子　香里	毎　　日	4.27
至福のミュージアム　時間が磨いた日常　as it is		アート・トップ	212
『『危ない写真集』ライブラリー」開設　飯沢耕太郎さん	手塚さや香	毎日夕刊	7.18
影絵に浮かぶ名張の歴史　江戸川乱歩誕生の物語など、夫婦で企画・上演[伊賀まちかど博物館]	角田　　勝	日　　経	10.24
売立目録美術館—〈蕪村〉捜しの日から—[池田文庫]	藤田　真一	館報池田文庫	29
特輯　石橋コレクション　古美術篇[石橋美術館]		国　　華	1333
「石橋コレクション　古美術篇」特輯に当って	小林　　忠		

石橋コレクションと東洋美術	平間　理香		
連載　アジアの美術を楽しむ11　和泉市久保惣記念美術館―中国近代絵画コレクション	河田　昌之	アジア遊学	94
コレクション／和泉市久保惣記念美術館	〃	博物館研究	457
シリーズ　卒業生の美術館２　一宮市三岸節子記念美術館	林　亜紀子	女子美	153
資料利用保存施設の紹介―市立市川歴史博物館の概要―	小野　英夫 湯浅　治久 池田真由美	千葉県の文書館	11
出光コレクション形成模式図解説［出光美術館］	金沢　陽	出光美術館館報	136
The Museum 出光美術館		ギャラリー*	253
至宝の名門若狭酒井家　出光美術館所蔵国宝の奇縁	安田　信博	東京	7.14
美術館めぐり「井原市立田中美術館」		ART LIBRARY	7
博物館展示のいま７　射水市新湊博物館	松山　充宏	歴博	136
上野の森美術館別館開館　木の滋味にあふれた建築		新美術新聞	1098
平木コレクション浮世絵専門美術館「UKIYO-e TOKYO」オープン		新美術新聞	1104
浮世絵専門の美術館オープン［UKIYO-e TOKYO］		日経夕刊	8.23
屋外民家展示施設における来園者の観覧行動に関する研究―江戸東京たてもの園「八王子千人同心組頭の家」の事例より―	江水　是仁 大原　一興	日本建築学会計画系論文集	609
好評！　東博など「新春初もうで」企画展　２日・無料観覧は雨でも入場者激増　来年は横浜美術館も実施の意向［江戸東京博物館］		新美術新聞	1077
城門前年始のにぎわい　「江戸城」展［江戸東京博物館］	塩谷　裕一	読売	12.25
ICCが存続へ［NTTインターコミュニケーション・センター］		新美術新聞	1078
NTTインターコミュニケーション・センター［ICC］の存続問題［前編］［後編］	暮沢　剛巳	美術手帖	876、878
東京・ICCがリニューアル　メディアアートの拠点　親しみやすい作品展示	西田　健作	朝日	6.29
メディアアートの拠点「ICC」　文化人の声で再び開館決定	浅田　晃弘	東京夕刊	3.17
博物館展示のいま10　上黒岩遺跡考古館と愛媛県歴史博物館	兵頭　勲	歴博	139
連載　アジアの美術を楽しむ４　日本文化を紹介できる美の殿堂　MOA美術館	田中　之博	アジア遊学	86
体験学習の課題　実験考古学講―打製石斧の製作―を通して［青梅市郷土博物館］	久保田正寿	博物館研究	457
東京・青梅まるごと博物館　昭和B級文化で優しい街	石鍋　仁美	日経夕刊	3.1
文書館・史料館めぐり　大分県立歴史博物館	櫻井　成昭	日本歴史	698
連載　アジアの美術を楽しむ10　大倉集古館のコレクション　東洋へのまなざし	田中知佐子	アジア遊学	93
平成16年度新収蔵資料紹介［大阪城天守閣］	北川　央 宮本　裕次 跡部　信	大阪城天守閣紀要	34
構想20年　大阪市の美術館建設頓挫　絵画150億お蔵入り［大阪市立近代美術館］		東京夕刊	1.16
交遊抄　褒め上手［大阪市立住まいのミュージアム］	谷　直樹	日経	5.1
実践報告　新開発デジタル図録「粉青扁壺」の制作と公開販売の試み［大阪市立東洋陶磁美術館］	片山　まび 武智　勝	博物館研究	452
連載　アジアの美術を楽しむ３　七〇周年を迎えた大阪市立美術館	朝賀　浩	アジア遊学	85
博物館展示のいま８　大阪人権博物館　自らを問い、差別と人権に向きあう	石橋　武	歴博	137
博物館活動　展示見学用ワークシートについて［大阪府立近つ飛鳥博物館］	畠井　浩	大阪府立近つ飛鳥博物館館報	10

博物館活動　オリジナル・ペーパークラフトについて～はにわシリーズ　＃1～＃6作成日誌～[大阪府立近つ飛鳥博物館]	藤井　雅乗	大阪府立近つ飛鳥博物館館報	10
回想の大原美術館	芳賀　　徹	アルカディア	27
大原美術館の古典と前衛	村松　和明	〃	〃
大原美術館工芸館に関する一考察	浅野　智子	芸　　叢	22
第28回サントリー地域文化賞　大原美術館ギャラリーコンサートが受賞		新美術新聞	1096
コレクション／写真・絵手紙体験学習館(岡田紅陽写真美術館・小池邦夫絵手紙美術館)	一瀬　一浩	博物館研究	458
[動向]岡山県立記録資料館開館へのあゆみ	在間　宣久	岡山県立記録資料館紀要	1
ちかごろの美術館～岡山県立美術館中期目標～	福冨　　幸	岡山県立美術館ニュース	72
私たちが目指したデジタルミュージアム[岡山市デジタルミュージアム]	長崎　　司	岡山びと*	1
岡山市デジタルミュージアムへ寄せる思い　岡山市デジタルミュージアム開設前史	根木　　修	〃	〃
ミュージアム活動で発掘する地域の文化資源—岡山における児童文学作家・坪田譲治の事例から—[岡山市デジタルミュージアム]	鈴木　榮一	博物館研究	456
「奥田元宋・小由女美術館」　郷里広島に4月15日開館へ　奥田小由女氏・吉岡三次市長ら都内で記者発表		新美術新聞	1080
4・15故郷三次に「奥田元宋・小由女美術館」盛大にオープン　記念式典に橋本・日展理事長ら美術界から多数参列		〃	1087
中特集　奥田元宋・小由女美術館誕生　顧問　富山秀男氏からのメッセージ	富山　秀男談	美術の窓	271
「元宋・小由女美術館」故郷・広島に4月開館		読売夕刊	1.27

（カ行）

対談：開館10周年を迎えて～わたくしと花蹊記念資料館	荒木　伸介 泉　雅博	にいくら	11
こころの風景　ふたつの場所[神奈川県立近代美術館]	山梨　俊夫	朝日夕刊	12.18
ミュージアム拓く　個性で勝負5　神奈川県立近代美術館　とことん積み重ねる		日　　経	10.27
特集　写真と文化財　神奈川県立歴史博物館と写真	井上久美子	文化財*	517
平成十七年度シンポジウム　「美術館・博物館の新たな公共性を求めて—指定管理者制度・NPO・地域社会—」　報告—中からの取り組み「「みんなでつくる美術館」金沢21世紀美術館の場合」	黒沢　　伸	美術史	160
未来へひらくミュージアム　展示室の柔軟性—金沢21世紀美術館の試み—	鷲田めるろ	みんぱく	350
特集　マンガは芸術(アート)か？　進化するマンガ表現のゆくえ　美術館でマンガを扱うということ—川崎市市民ミュージアム　ヤマダトモコ	暮沢　剛巳	美術手帖	876
わが国初の私立美術館—浅野家・観古館について	村上　　勇	広島県立美術館研究紀要	9
支部情報　東海支部／“岐阜県現代陶芸美術館の4年間”—複合施設における美術館運営—	榎本　　徹	博物館研究	463
ボランティア講座(情報技術コース)の取り組みと今後について[岐阜県博物館]	若尾　泰明	岐阜県博物館調査研究報告	27
「若手芸術家を支援し育てたい」　大津市に「ギャラリー唐橋」がオープン	岩永　峯一談	アート・トップ	207
九州国立博物館バックヤード見学記	武石　朋子	アート・ドキュメンテーション通信	70
《貴賓席》九州国立博物館見学記	森　　理恵	あいだ	122

連載　アジアの美術を楽しむ1　九州国立博物館、その展望学校より楽しく、教科書よりわかりやすく	臺信　祐爾	アジア遊学	83
開館3カ月　九州博で84万人、島根県芸文センターで20万人地域密着とアジア的視点から集客増やす		新美術新聞	1079
九州国立博物館　開館からまもなく1周年　10ヵ月余で200万人の入館者を記録！	三輪　嘉六談	〃	1100
九州国立博物館ボランティアの現状と課題	糸井　茂 永田　香織 田中　馨	東風西声*	2
連載　ミュージアム・グッズ06　世界をつなぐミクロコスモス、虫が騒ぐ『針聞書』グッズ[九州国立博物館]	八巻　香澄	ドーム	84
巻頭言　九州国立博物館の取り組み	三輪　嘉六	博物館研究	452
博物館資料の危機管理—九州国立博物館のハードとソフト	本田　光子	〃	461
コレクション／九州国立博物館—開館一周年を迎えて—	臺信　祐爾	〃	463
地域—日本から世界から131　アジアとの関わりを意識した九州国立博物館について	田渕　明彦	歴史地理教育	698
博物館展示のいま5　九州国立博物館　あじっぱにいらっしゃい	三木　美裕	歴博	134
「九博」開館3ヵ月で80万人　知恵絞り冬の時代に挑む	中村　俊介	朝日	1.19
ユニーク九州国立博物館	鎌田　浩毅	東京	5.23
京都国際マンガミュージアム開館		新美術新聞	1107
マンガ文化の研究拠点　初の博物館[京都国際マンガミュージアム]		東京	12.23
文書館・史料館めぐり　京都国立博物館	羽田　聡	日本歴史	701
国宝の狩野派「襖絵」京都国立博に寄託　大徳寺塔頭聚光院		日経	8.26
文書館・史料館めぐり　京都府立丹後郷土資料館(ふるさとミュージアム丹後)	吹田　直子	日本歴史	696
全国美術館めぐり1　清里現代美術館	正木　敏洋	art_icle	0
古文書めぐり　宮内庁書陵部と所蔵資料群	中村　一紀	古文書研究	62
博物館展示のいま10　上黒岩遺跡考古館と愛媛県歴史博物館[久万高原町立上黒岩遺跡考古館]	兵頭　勲	歴博	139
ミュージアム拓く　個性で勝負1　熊本市現代美術館「人間の家」でありたい		日経	10.23
第22回　支部が推薦する博物館情報3.関東支部　沼と松林をめぐる　群馬県立館林美術館における「自然のなかのワークショップ」という試み	伊藤　佳之	博物館研究	461
コレクション／写真・絵手紙体験学習館(岡田紅陽写真美術館・小池邦夫絵手紙美術館)	一瀬　一浩	〃	458
日本史のひろば　荒神谷博物館	平野　芳英	歴史と地理	592
特集　香雪美術館　香雪美術館特集に当って	水尾比呂志	国華	1324
地域—日本から世界から　高麗博物館をみんなで育てよう	宋　富子	歴史地理教育	701
文化往来　高麗美術館、朝鮮総督府の資料閲覧可能に		日経	6.16
巻頭特集　美術館で版画を楽しむ　国際芸術センター青森　棟方の冒険的精神とコンテンポラリー・アートの融合	真武真喜子	版画芸術	132
携帯電話を活用した博物館展示ガイドの研究　～ZOOMUE探検隊　国立科学博物館と上野動物園の連携～	有田　廣之 坂本　和弘	東京家政学院生活文化博物館年報	16
TOPIC　国立新美術館は「新」たりえるか？	(根)	アート・トップ	212
国立新美術館が美術展カタログ寄贈を呼びかけ　海外の日本美術研究にも活用		新美術新聞	1076

07年度国立新美術館 全室全区割とも決定 新たに日彫会(千㎡)とHAC(2千㎡)、野外にAJAC		新美術新聞	1080
国立新美術館　初代館長に林田英樹氏就任　07年1・21開館会見し抱負を語る、館内施設を公開		〃	1094
新車発表、CM録画、モデル撮影会…に引っ張り凧！　国立新美術館　開館前から早くもフル回転		〃	1102
評論　伝えるこころとその広がり—教育・教科書・美術館運営[国立新美術館]	辻井　京雲	墨	182
新しいアートセンターへの出発　国立新美術館の目指すもの	稲葉　千寿	東　京	8.5
国立新美術館シンボルマーク　「情報が集約、発信される新しさ表現」		東京夕刊	7.14
公募展が変わる!? 国立新美術館移転で待望のスペース拡大 絵画は「陳列から展示へ」	稲葉　千寿	〃	9.21
国立新美術館に若者を呼び込む		日経夕刊	7.6
国立新美術館が完成	手塚さや香	毎　日	6.15
国立新美術館　来年1月オープン　“貸会場”どう自主性　コレクションなし、展覧会中心	高野　清見	読　売	6.22
好評！　東博など「新春初もうで」企画展　2日・無料観覧は雨でも入場者激増 来年は横浜美術館も実施の意向[国立西洋美術館]		新美術新聞	1077
美術館図書館と新聞切り抜き[国立西洋美術館]	川口　雅子	ゼフュロス	29
国立西洋美術館　目指せ！東京初の世界遺産	猪谷　千香	産　経	12.20
「ウェル．com美術館」国立西洋美術館の可能性　最新技術が芸術にもたらす創造力	結城　昌子	東京夕刊	5.19
美術館への招待　国立西洋美術館　視点　一変する最新技術	稲葉　千寿	〃	10.12

ラフ集合を用いた空間要素の組合せ推論に基づく印象評価の研究—国立民族学博物館の企画展を対象として—	宗本　晋作	日本建築学会計画系論文集	608
文化往来　箱庭で23カ国の景観楽しむ企画展[国立民族学博物館]		日　経	1.24
文化政策としての民俗博物館—国民国家日本の形成と「国立民俗博物館」構想—	丸山　泰明	人類文化研究のための非文字資料*	3
展示の理解の評価に関する検討[国立歴史民俗博物館]	安達　文夫 竹内　有理 小島　道裕 久留島　浩	国立歴史民俗博物館研究報告	130
トピックス　韓国中央博と学術交流協定歴博		日　経	5.27
文化往来　「鎖国」見直し、歴博が近世展示室を刷新		〃	12.29

（サ行）

入館者動向から見たさきたま資料館の利用形態	村田　章人	埼玉県さきたま資料館報告*	19
さきたま資料館の教育普及活動—体験的な活動を中心として—	関口　孝明	〃	〃
さきたま資料館所蔵民俗資料の整理と移動—平成16・17年度を振り返って—	大明　敦	〃	〃
地域色豊かな逸品・珍品　博物館グッズフェア埼玉で[埼玉県立歴史と民俗の博物館]		朝日夕刊	7.28
第21回　支部が推薦する博物館情報10. 九州支部　佐賀城本丸歴史館における県民協働活動	瀬戸　要	博物館研究	456
視点　私立美術館の挑戦[サトエ記念21世紀美術館]	江口　健	美術の窓	274
日本画家専門の「郷さくら美術館」　福島県郡山市に10・1開館　昭和世代の160作家、大作中心に401点を収蔵		新美術新聞	1099
講演会記録　日本美術にみる暮らしの喜び[サントリー美術館]	石田　佳也 談	石川県立美術館だより	268

来春３月30日オープン　サントリー美術館記者発表会		新美術新聞	1107
文化往来　サントリー美術館、和の伝統を現代に		日　経	12.4
ミュージアム拓く 美術館個性に磨き 地域に貢献智恵絞る 静岡県立美術館		〃	10.14
知りたい気分を満たす旅 vol.4 静岡県立美術館　屋内の自然光に輝く彫刻		日経夕刊	8.25
コレクション／七宝町七宝焼アートヴィレッジ七宝焼ふれあい伝承館	佐藤　茂満	博物館研究	453
信濃デッサン館やめません　閉館方針変更、来年秋めどに再建	西田　健作	朝　日	11.22
開館３カ月　九州博で84万人、島根県芸文センターで20万人 地域密着とアジア的視点から集客増やす[島根県芸術文化センター]		新美術新聞	1079
第21回　支部が推薦する博物館情報8.中国支部　『島根県立古代出雲歴史博物館』の開館まで、あと１年　島根県古代文化センターの博物館整備と調査研究	深田　浩	博物館研究	454
戦争を巡る「物語」―ジェンダーの視点から見る「遊就館」と「昭和館」の展示	山崎　明子	美術運動史研究会ニュース	85
博物館展示のいま９ 昭和館	渡邉　一弘	歴　博	138
連載　アジアの美術を楽しむ９　静嘉堂文庫美術館　静嘉堂に集う中国文化の粋	小林　優子	アジア遊学	92
聖徳記念絵画館についての一考察	塩田　昌弘	大手前大学社会文化学部論集	6
明治神宮外苑奉献80年記念特別展　「二世五姓田芳柳と近代洋画の系譜」開催へ "知られざる歴史画"蔵の聖徳記念絵画館にもスポット		新美術新聞	1089
隠し部屋から壁画下図　外苑・絵画館　大正～昭和初期　資料2300点発見[聖徳記念絵画館]		読売夕刊	11.15
特集　文物逍遥　かつて世界は、やきもので繋がっていた―蒐集は創作、美術館は恩返し[石洞美術館]	佐藤　千寿談	目の眼	361
北斎から古代エジプトまで120点　足立区初の美術館開館　地元企業会長の収集品[石洞美術館]	大原　啓介	東　京	4.20
未来へひらくミュージアム　自由を秘密を抱きしめて―魅惑のミュージアム―[世田谷美術館]	塚田　美紀	みんぱく	348
日本初の染色専門美術館　「染・清流館」京都に開館		新美術新聞	1102

（タ行）

連載　アジアの美術を楽しむ６　台東区立書道博物館　中村不折の中国美術コレクション	鍋島　稲子	アジア遊学	88
本田宗一郎と井深大展を終えて―観覧者アンケート結果と所管[高岡市美術館]	宝田　陽子	PATIO	22
青木淳内装設計・TARO NASU(大阪)オープン	樋口ヒロユキ	美術手帖	885
美術館への招待　町立湯河原美術館　温泉地でわき出す「遊び心」	稲葉　千寿	東京夕刊	12.7
新創業20周年記念事業　『INAXライブミュージアム』構想　愛知県常滑市に「土・どろんこ館」来年秋オープン		新美術新聞	1076
芸術支援学から見たデザインギャラリー銀座・松屋での企画展に関する一考察	土屋　伸夫	アート・ドキュメンテーション研究	13
旬の人　東京アニメセンターをプロデュース　久保雅一さん		日　経	7.17
足立区役所跡地に東京芸術センター　千住を「芸術と起業の街」に		〃	3.23
The Museum　東京国立近代美術館		ギャラリー*	254
「東京国立近代美術館の半世紀」連載27　五十年の歩み―最終回によせて	尾崎　正明	現代の眼	556

展覧会評　アジアのキュビスム—境界なき対話[東京国立近代美術館]	田中　淳	美術研究	390
文化往来　東京国立近代美術館で鑑賞教育研修会		日　経	8.12
好評！　東博など「新春初もうで」企画展　2日・無料観覧は雨でも入場者激増来年は横浜美術館も実施の意向		新美術新聞	1077
ようこそ！博物館の舞台裏へ		東京国立博物館ニュース	675
第8回　広報室のしごと—博物館と来館者をつなぐ	辻　可愛 小林　牧		
第9回　国際シンポジウムの裏側	小林　牧		676
第10回　博物館をデザイン—デザイン室のお仕事	遠藤　楽子		677
第11回 先人の「仕事」を百年後にのこしたい　表慶館の改修	小林　牧		678
第12回　電気と機械の見張り番　中央監視室の一日	〃		679
ユニバーサル・ミュージアムとしての東京国立博物館	西岡　康宏	MUSEUM	600
二〇〇五年十一月揺れ動く東京国立博物館	金子　啓明	〃	〃
博物館というメディア—東京国立博物館広報室の活動—	小林　牧	〃	〃
東京国立博物館の国際交流—ナショナルセンターとしての役割—	鬼頭　智美	〃	〃
東京国立博物館のボランティア活動の歩みと今後の展望	加島　勝	〃	〃
博物館環境のリスクアセスメント[東京国立博物館]	和田　浩 神庭　信幸	〃	〃
本学卒業生による活動報告　東京国立博物館—出光美術館を経て—	金原さやこ	MUSE-OLOGY	25
動物・美術一緒に見学　上野　職員・学芸員がガイド[東京国立博物館]		朝　日	8.13
Shot 06　博物館に「産直」映画館　単館系作品への刺激も狙う[東京国立博物館]	斉藤　勝寿	朝日夕刊	1.13
人、街に生きる　東京国立博物館1～5	渡辺　伸寿	東京夕刊	10.23～27
見た！100年前の職人の技　東博の重文「表慶館」、平成の大修理が真っ最中	小寺　正人	日　経	9.18
ほっとすぺーす　案内は山下柚実さん　静けさ五感ゆるめる　東京都台東区　東京国立博物館	(染)	読　売	3.12
東京都現代美術館がネットラジオを開局		新美術新聞	1077
ポッドキャストで音声ガイド配信　東京都現代美術館		東京夕刊	2.18
美術館への招待　東京都現代美術館　作品丸ごと音で感じる	稲葉　千寿	〃	10.26
民間ノウハウで活性化　東京都写真美術館館長福原義春さん	福原　義春談	東　京	12.4
ミュージアム拓く　美術館個性に磨き　地域に貢献智恵絞る　東京都写真美術館		日　経	10.14
修復の旧朝香宮邸　アール・デコ輝く[東京都庭園美術館]		朝　日	7.24
平成19年度東京都美術館の展示使用割当決まる　国立新美術館との併用は18団体		新美術新聞	1084
多彩な催し　「東京都美術館80周年記念祭」　改めてブランド力の創出と強化を図る		〃	1087
都美術館100億円改修　老朽化進む　2012年度再オープン目指す		読　売	12.14
東京府美術館設立運動と東京府	米崎　清実	東京都現代美術館紀要	10
文書館・史料館めぐり　東京文化財研究所	山梨絵美子	日本歴史	703
連載　アジアの美術を楽しむ12　徳川美術館—「唐物」と徳川美術館	山本　泰一	アジア遊学	94
第21回　支部が推薦する博物館情報9. 四国支部　徳島市立徳島城博物館の教育普及活動について	根津　寿夫 小川　裕久	博物館研究	455

来春以降、再開発 阿佐ヶ谷住宅　ゆったり住空間、記憶に[とたんギャラリー]	市川　明代	毎　　日	10.20
ミュージアム拓く 個性で勝負3　砺波市美術館　市民参加が至上命題		日　　経	10.25
〈リニューアル情報〉富山市郷土博物館のリニューアルについて	坂森　幹浩	博物館研究	454

（ナ行）

オプショナルツアー 長崎歴史文化博物館／長崎県美術館	本吉　宣子	アート・ドキュメンテーション通信	70
美しいまちづくりシンポジウム　景観づくりに行政と市民が連携　事例紹介[長崎県美術館]	深堀辰之介	日経夕刊	3.3
オプショナルツアー 長崎歴史文化博物館／長崎県美術館	本吉　宣子	アート・ドキュメンテーション通信	70
コレクション／長崎歴史文化博物館	安高　啓明	博物館研究	456
近世長崎研究に熱気 出島発掘で成果[長崎歴史文化博物館]	神谷　浩司	日　　経	1.14
長野県立歴史館における学校との連携	田村　栄作	長野県立歴史館研究紀要	12
博物館評価　長野県立歴史館の自己点検報告	霜田　英子	〃	〃
特集　アートの旅にでかけよう　瀬戸内編　津山～奈義　死体標本から異空間アートまで。山間の町でトリップする[奈義町現代美術館]	藤田　千彩	美術手帖	885
ボランティアによるガイド―名古屋市美術館の期待するもの―	(み。)	アートペーパー	69
仏教美術の宝庫　奈良国立博物館リニューアル　本館の展示構成一新！より見易く	稲本　泰生談	新美術新聞	1097
新規収蔵品紹介[奈良国立博物館]		鹿園雑集*	8
2004年新潟県中越大震災―新潟県立近代美術館の活動報告		新潟県立近代美術館研究紀要	7
いきいき中越っ子展 中越大震災被災学校児童・生徒美術展	丸山　実	〃	〃
平成17年度寄贈「相澤コレクション」について	松矢　国憲	〃	〃
随筆　新潟県中越大震災復興一周年にあたって[新潟県立近代美術館]	青柳　俊弘	博物館研究	452
特集　新潟県中越大震災	田邉　幹 西田　泰民 藤森健太郎 宮尾　亨 前嶋　敏 山本　哲也	新潟県立歴史博物館研究紀要	8
「美術館の遠足」について[西宮市大谷記念美術館]	池上　司	博物館研究	457
東京・日本科学未来館　アートで迫る科学展　右脳と左脳火花	西田　健作	朝日夕刊	1.6
第22回　支部が推薦する博物館情報4.東京支部　日本カメラ博物館　小・中学生ワークショップの開催について	島貫　咲子	博物館研究	462
視点　日本民芸館設立七十周年を迎えて	内海　禎子	美術の窓	277
特集　アートの旅にでかけよう　新潟・富山編　入善～黒部　黒部川のダイナミックな流れがつくる壮大な眺める[入善町下山芸術の森発電所美術館]	新川　貴詩	美術手帖	885
現代アート考　発電所美術館の遠藤利克展[入善町下山芸術の森発電所美術館]	三田　晴夫	毎日夕刊	9.20

（ハ行）

連載　アジアの美術を楽しむ8　中国の工芸　白鶴美術館の創立者と古美術商	山中　　理	アジア遊学	90
トピックス　パラミタミュージアムの創設者小嶋千鶴子さんに聞く	美術フォーラム21編集部	美術フォーラム21	14
傷ついた美術史　連載40　近代美術館のひとつの終わり方[百点美術館]	小泉　晋弥	アート・トップ	209
コレクション／兵庫陶芸美術館	長谷川　眞	博物館研究	462

第21回　支部が推薦する博物館情報7. 近畿支部　琵琶湖博物館はしかけグループ「びわたん」の活動紹介～博物館における協働モデルの提示～	青木　伸子 北村　美香	博物館研究	453
未来へひらくミュージアム　展示室―情報の行き交う場[琵琶湖博物館]	布谷　知夫	みんぱく	344
連載　アジアの美術を楽しむ5　福岡アジア美術館とアジア美術の近現代	黒田　雷児	アジア遊学	87
陝西歴史博物館交流事業報告		福岡市博物館研究紀要	16
周公廟遺跡の発掘現場見学記	加藤　隆也		
炳霊寺石窟を訪ねて	杉山未菜子		
展示批評　福島県立博物館「婚礼　ニッポンブライダル考」―「婚礼って何？」へのアプローチ	高橋あけみ	地方史研究	320
ミュージアム拓く　個性で勝負2　ふくやま美術館　我らは街の「コンビニ」		日　経	10.24
The Museum 石橋財団ブリヂストン美術館		ギャラリー*	252
特輯　石橋コレクション　古美術篇　石橋コレクションと東洋美術[ブリヂストン美術館]	平間　理香	国　華	1333
北斎館2011年までに開業　墨田区長、「第二東京タワー」決定受け		日　経	4.13

（マ行）

連載　アジアの美術を楽しむ2　正木美術館の墨蹟と水墨画	高橋　範子	アジア遊学	84
magical, ARTROOM オープン！	伊藤　悠	瓜生通信	36
アートルームmagical始動！	編集部	美術手帖	877
現代美術の歩き方　異論反論・現代美術「magical, ARTROOM」オープン		美術の窓	270
巻頭特集　美術館で版画を楽しむ　美術館大解剖　町田市立国際版画美術館	波多野	版画芸術	132
汐留ミュージアムをより楽しむために[松下電工汐留ミュージアム]	藤原　工	Shiodome Museum REVUE	2
美術館への招待　松下電工汐留ミュージアム　静かな光への逃避	稲葉　千寿	東京夕刊	12.21
前回大評判～70歳以上限定！～公募展「老いるほど若くなる」07年3月開催[松本市美術館]		新美術新聞	1079
第2回松本市美術館70歳以上公募展「老いるほど若くなる」の反響について	大島　武	〃	1098
丸山晩霞記念館　11月3日長野県東御市に開館		〃	1105
もと学芸員の悔顧録(三)[萬野美術館]	田中　英二	国華清話会会報	8
Shot 06　揺れても焦らず壊さず　文化財レスキュー講座　起震車を使い対策実験[三重県立博物館]	宮代　栄一	朝日夕刊	2.3
プロふぇっしょなるず　光り続ける美術館を[三鷹の森ジブリ美術館]	松浦　祐子	〃	5.30
短編3作を限定公開　新たな宮崎ワールド[三鷹の森ジブリ美術館]	中澤　誠	東　京	1.6
平成十七年度シンポジウム「美術館・博物館の新たな公共性を求めて―指定管理者制度・NPO・地域社会―」報告―中からの取り組み「日本橋再開発のなかの三井記念美術館」	清水　実	美術史	160
日本史のひろば「三井記念美術館」への招待	清水　眞澄	歴史と地理	600
三越美術部の百年をたずねる	髙田万由子談	日　経	1.9
ミュージアム拓く　個性で勝負4　水戸芸術館　闘うソフト集団街へ		〃	10.26
地域ブランド進行形1　美術館がつくる「新名物」「チョコ納豆」で水戸を“売る”[水戸芸術館]		読　売	12.12

逢坂恵理子氏に聞く 水戸芸術館現代美術センター芸術監督		国立新美術館準備室ニュース	4
博物館実習生からみた美濃加茂市民ミュージアムの現状と今後	藤村　俊	美濃加茂市民ミュージアム紀要	5
「みのかも文化の森」における子どもワークショップ―平成17年度における実践事例―	辻　泰秀	〃	〃
あの人に迫る　戦没学生の遺作「生の響き」今も　窪島誠一郎　「無言館」館長	須藤　恵里 聞き手	東京夕刊	8.11
祈りの美術館　窪島誠一郎さんに聞く［無言館］	土田　芳樹	日経夕刊	7.6
ユニバーシティ・ミュージアムの望ましいあり方―明治大学博物館の生涯教育事業と今後の方策について―	伊能　秀明	明治大学博物館研究報告	11
大学博物館を利用した小学生対象の授業支援活動について	忽那　敬三	〃	〃
ボランティア展示解説員の役割と意義―明治大学博物館友の会展示解説員の活動から考える―	吉田　賢治	〃	〃
六本木・森美術館 第二代館長に南條史生氏　初代エリオット館長は10月末で退任		新美術新聞	1101
美術館への招待　森美術館　作品を語り合う場	稲葉　千寿	東京夕刊	11.9
「新しいスタンダード出来た」森美術館・エリオット館長の５年間	前田　恭二	読　売	10.5

（ヤ行）

戦争を巡る「物語」―ジェンダーの視点から見る「遊就館」と「昭和館」の展示［靖国神社遊就館］	山崎　明子	美術運動史研究会ニュース	85
新美術時評　メジャーとマイナー［山口県立美術館］	島尾　新	新美術新聞	1107
エッセイ　濱中さんのこと、山種美術館のこと	塩谷　純	近代画説	15
連載　アジアの美術を楽しむ７　大和文華館とその中国・朝鮮美術　世界のなかの日本・日本のなかの世界	塚本　麿充	アジア遊学	89
特集　山梨県立博物館かいじあむのバースディ		ドーム	84
１　かいじあむの門出を祝って「春駒」が	平川　南、遠山　和男、丸尾　依子 談		
３　構想６年、みんなの夢がかたちになって―常設展示の新しいスタイル　Interview解かれた謎・甲府城下の道祖神祭り	中山　誠二、高橋　修 談		
４　400体のフィギュアが語り出すエピソード	小野　正文、高橋　修、西川　広平 談		
コレクション／山梨県立博物館―かいじあむ―	中山　誠二 井澤英理子	博物館研究	460
横浜市歴史博物館における資料写真の整理・保存・活用―事例報告―	柳沼　千枝	アート・ドキュメンテーション研究	13
注目される横浜美術館の動向　「指定管理者制度」９月移行を前に		新美術新聞	1077
ミュージアム拓く 美術館個性に磨き 地域に貢献智恵絞る 横浜美術館		日　経	10.14
支えあって子育て お絵かき「手がき」好奇心くすぐる　感情表現の大切な手段［横浜美術館］		読　売	10.2
研究ノート　刀剣展示の諸問題　展示位置とライティングを中心に	赤川　一博	四日市市立博物館研究紀要	13
企画展における地域・近隣館との協働について	岡村奉一郎	〃	〃
《記録集拝見》『街かど美術館　アート@つちざわ〈土沢〉』［萬鉄五郎記念美術館］	編集部	あいだ	129

(ラ行)

第22回　支部が推薦する博物館情報1. 北海道支部　博物館は未来へ　因幡の麒麟獅子発見調査と獅子舞の復活から[利尻町立博物館]	西谷　榮治	博物館研究	459
コレクション／立正大学博物館	内田　勇樹	〃	〃
「ルーヴル-DNP　ミュージアムラボ」を開設　新しい美術作品鑑賞の体験スペース　ICタグ連動の音声ガイダンス&映像システム		新美術新聞	1106
名画鑑賞　近未来式[ルーヴル-DNP　ミュージアムラボ]		産　経	10.26
新しい美術鑑賞方法提案するラボを開設ルーブル美術館と大日本印刷[ルーヴル-DNP　ミュージアムラボ]	手塚さや香	毎日夕刊	10.31
特集　CUT UP 90'S「90年代カルチャー」完全マニュアル！アートセクション　レントゲン芸術研究所	池内　務	STUDIO VOICE	372
美術商茶話—田島充氏に聞く—[ロンドンギャラリー]	水尾比呂志聞き手　山本ゆかり構成	国華清話会会報	7

(ワ行)

博物館紹介　早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	大江　令子	浮世絵芸術	152
ワンポイントミュージアム84　英国の劇場を模してつくられた館は、演劇資料の宝庫　早稲田大学坪内博士記念演劇博物館		ドーム	84

海　外

豊富なコレクションを活用し、実体験主義を貫く　インディアナポリス・チルドレンズ・ミュージアム	ジェファリー・H・パッチェン、ケイ・カニングハム、クレグ・ウェトリー談　松本　知子、三上　戸美聞き手	Cultivate	27
初期キリスト教美術で祝うヴァチカン美術館500周年	高橋　恵理	芸術新潮	678
パリ郊外の新美術館で現代アートの森を歩く[ヴァル＝ド＝マルヌ県立現代美術館]	阿部明日香	〃	677
ファッション・メディアとしての博物館(『Museums as Fashion　Media』抄訳)[ヴィクトリア&アルバート美術館]	中村　茂	筑波大学芸術年報	2005
サウス・ケンジントン博物館のアート・コレクション・ガイド[ヴィクトリア&アルバート美術館]	村上　晃子	MUSEUM STUDY	17
エルミタージュ美術館　盗難は氷山の一角　保管係10年以上横流し　薄給一因内部犯増える	大野　正美	朝　日	9.7
ロシア・エルミタージュ美術館　所蔵品５億円超盗難、ヤミ市場に？	稲熊　均	東　京	8.13
露の美術館ドロボー天国！？　エルミタージュ５億円超　公文書館数億円　ずさん管理相次ぐ盗難被害	金子　亨	読　売	8.10
「ロシア皇帝の資料展示したい」エルミタージュ美術館ピオトロフスキー館長	高野　清見	〃	11.9
PARIS発　モネの礼拝堂、オランジュリー美術館	安部　雅延	新美術新聞	1090
海外アート事情　パリ“新名所”３つの美術館[オランジュリー美術館]	今津　京子	美連協ニュース	92
オルセー美術館20周年　来館者5500万人「発展さらに」		日経夕刊	12.2
「ロダンとカリエール」展を開くオルセー美術館・ルモワンヌ館長に聞く　同時期、同テーマで別々の作品　影響しあった２人　カリエールの３作品、100年を経て里帰りへ	福井　聡	毎日夕刊	5.10
Mudam Luxembourg ルクセンブルク初の現代美術館開館[グラン＝デュック・ジャン近代美術館]	長谷川祐子	美術手帖	886

新装ゲティ・ヴィラで古代地中海美術を散歩する		芸術新潮	676
ケ・ブランリーついに開館　異文化交流はセーヌ河岸で[ケ・ブランリー美術館]	飛幡　祐規	〃	681
PARIS発　パリの新しい美術館[ケ・ブランリー美術館]	安部　雅延	新美術新聞	1085
PARIS発　固定化された美の概念[ケ・ブランリー美術館]	〃	〃	1104
海外アート事情　パリ“新名所”3つの美術館[ケ・ブランリー美術館]	今津　京子	美連協ニュース	92
未来へひらくミュージアム　民族学とアートの融合—パリの新しい博物館ケ・ブランリー—	大森　康宏	みんぱく	347
資料と情報　21世紀のミュージアム—ケ・ブランリー博物館の挑戦	〃	民博通信	114
政治性まとう？異色美術館　シラク氏肝いり「ケ・ブランリ」	冨永　格	朝日	7.6
パリに新名所誕生[ケ・ブランリー美術館]	山口　昌子	産経	6.21
世界の工芸品集めた美術館　パリで開館[ケ・ブランリー美術館]	安藤　淳	日経夕刊	6.20
ひと　女性で初めての故宮博物院院長　林曼麗さん	庄司　哲也	毎日	2.19
展覧会評　ソウルの古宮で見るアジアのキュビスム[国立現代美術館徳寿宮分館]	金　惠信	美術研究	390
全一冊　韓国　未知の美と出会う旅　ソウル　新たな光さす美の殿堂へ　国立中央博物館名品20選		芸術新潮	680
考古篇	谷　豊信		
絵画篇	板倉　聖哲		
陶磁器篇	伊藤郁太郎		
仏教彫刻篇	岩佐　光晴		
韓国国立中央博物館の開会式に関する思い出	有光　教一	高麗美術館館報	71
トピックス　韓国中央博と学術交流協定歴博		日経	5.27
全一冊　韓国　未知の美と出会う旅　ソウル　隣の国のほがらかデザイン術　名建築家の韓定食　サムソンリウム美術館	日下　潤一	芸術新潮	680
遊びと学びを融合するコミュニティの創造　シカゴ・チルドレンズ・ミュージアム	齊藤　恵理	Cultivate	27
リオ、カーニバルに乗じ　ピカソやモネ名画4点盗難[シャカラ・ド・セウ美術館]	石田　博士	朝日夕刊	2.25
海外アート事情　ジャックマール＝アンドレ美術館の近代化	今津　京子	美連協ニュース	91
ファッション・メディアとしての博物館(『Museums as Fashion　Media』抄訳)[ジュディス・クラーク・コスチューム・ギャラリー]	中村　茂	筑波大学芸術年報	2005
本物壁画の博物館　中国・西安、異例の新設構想[陝西歴史博物館]	塚本　和人 渡辺　延志	朝日	9.6
海外アート事情　パリ“新名所”3つの美術館[装飾美術館]	今津　京子	美連協ニュース	92
世界街めぐり　パリ装飾美術館10年ぶり新装	宇根　直子	日経夕刊	10.28
大英博物館の裏側のぞいてみたら　コレクション今も解析	井上恵一朗	朝日	10.3
大英博物館日本ギャラリー再開　応挙・原爆・鉄腕アトム…	木村　伊量	〃	10.31
オランダに「ブルーナ美術館」　ミッフィーの世界、もっと深く[ディック・ブルーナ・ハウス]	森本　俊司	〃	3.1
ディック・ブルーナ・ハウス開館　不思議ミッフィーの世界　シンプルな線と色極めた空間	尾崎真理子	読売夕刊	3.1
例会・研究発表会要旨　東部会　平成十八年度第二回例会「近現代美術館におけるテーマ的展示方法の導入と展開—テート・モダンのコレクション展示例を中心に」	高木　友絵	美学	226

五輪にあわせて「ガラス箱」新棟[テート・モダン]		日経夕刊	7.26
WORLD REPORT トルコ共和国 オスマン・トルコ帝国の宝庫—トプカプ宮殿博物館—	弓場 紀知	クロノス	24
ナショナル・ポートレート・ギャラリーの作品選択規則とアイデンティティ—冷戦下における大統領ポートレートの位置づけをめぐって—	横山 佐紀	文化資源学	4
新春特別寄稿2 パリからの便り2006 南仏・ニースの東洋美術館[ニース東洋美術館]	大野 素子	目の眼	354
フランソワ・ピノー&安藤忠雄 セーヌ川からヴェネツィアへ[パラッツォ・グラッシ]		芸術新潮	679
新美術時評 現代美術の「歴史化」[パレ・ド・トーキョー]	長谷川祐子	新美術新聞	1085
中世芸術、復興から復権へ—比較彫刻美術館(1882年)の考察—	泉 美知子	日仏美術学会会報	25
PARIS発 ピカソ美術館のデッサン展	安部 雅延	新美術新聞	1076
子育ての情報を提供し、豊かな親子関係をサポートする プリーズ・タッチ・ミュージアム	三上 戸美	Cultivate	27
単眼複眼 NYの「ホイットニー・バイアニュアル」展 透けて見える米のいらだち[ホイットニー美術館]	山盛 英司	朝日夕刊	3.29
アミューズメント産業の展示手法で、子どもの夢と志を育むポート・ディスカバリー	三上 戸美	Cultivate	27
ポーランド国立アウシュヴィッツ—ビルケナウ博物館の現象学 島尾敏雄の記述によるミュゼオグラフィーの試み	寺田 匡宏	国立歴史民俗博物館研究報告	125
新たな展示手法を開拓し、世界のミュージアムをリードするボストン・チルドレンズ・ミュージアム	三上 戸美	Cultivate	27
美術館教育の先駆者ボストン美術館	長澤 裕美	〃	〃
ただいま解体修復中[ボストン美術館]	山盛 英司	朝日	6.25
ボルゲーゼの屋根裏で隠れたお宝拝見[ボルゲーゼ美術館]	高橋 恵理	芸術新潮	674
新美術時評 現代美術の「歴史化」[ポンピドゥー・センター]	長谷川祐子	新美術新聞	1085
PARIS発 仏第二の印象派美術館 マルロー美術館	安部 雅延	〃	1095
子どもと親の生活環境を改善し、安全な地域社会を築く マンハッタン・チルドレンズ・ミュージアム	三上 戸美	Cultivate	27
アムステルダム、ミュージアム・プレインに見るオランダ19世紀後期ヨーロッパ近代首都としてのランドスケープ形成に関する考察	田村 望	日本建築学会計画系論文集	607
すべての人のための学習コミュニティーとしての博物館[メトロポリタン美術館]	レベッカ・マックニギス	博物館研究	458
メトロポリタン美術館 「目玉」美術品イタリアに返還		東京夕刊	2.22
ブローニュの森に浮かぶガラスの船 モエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトン 新美術館構想	山口 昌子	産経	10.4
現在通信From NEW-YORK モーガン・ライブラリー&ミュージアム	富井 玲子	新美術新聞	1089
《こぼれ話》「日本人」なんて言葉は出てきません。念のため—松浦寿輝氏のルーヴル再訪記[ルーヴル美術館]	編集部	あいだ	125
緊急特集！ 美術史家も侃々諤々 『ダ・ヴィンチ・コード』の○と×[ルーヴル美術館]	小池 寿子、宮下 誠 対談	芸術新潮	678

海外展

(ア行)

日本の至宝ITで再現[アートエキスポ・ニューヨーク、Jacob K.Javits Convention Center、3／2—3／6]	石川 保典	東京夕刊	3.2

美つむぐ楽観的「ガマン」　日系人の収容所生活語る作品展[アート・オブ・ガマン、サンフランシスコ工芸民芸美術館、11／2—1／21]	糸井　恵	読　売	12.28
海外のアートシーンから　ニューヨーク　重ねられた紙が紡ぐ時間と空間[安部典子「フラット・グローブ」、ジョゼ・ビヤンヴニュ・ギャラリー、3／2—4／8]	杉浦　邦恵	美術手帖	880
海外のアートシーンから　マドリッド　19万人が見た！　35か国・3000人のアーティスト(エビセンター)が集う現代美術の震央[アルコ06、ファン・カルロス1世見本市、2／9—13]	河野　晴子	美術手帖	878
海外のアートシーンから　バーゼル＋ベルリン　目線を変えて知覚を問う写真作品[「El126671859JP」展、ムラタ&フレンズ、6／23—7／29]	河合　純枝	〃	887
新鮮な驚き与えた藤森建築　第10回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展[ジャルディーニ、アルセナーレほか、9／10—11／19]	五十嵐太郎	毎日夕刊	12.18
海外文化　作り手の知性の結晶読み取る　NY市立図書館で「EHON」展[EHON、ニューヨーク市立図書館、10／20—2007／2／4]	ロバート・キャンベル	朝日夕刊	12.20
海外のアートシーンから　台北＋高雄　日本統治時代の神社の再現プロジェクト[岡本光博　橋仔頭神社境内再現プロジェクト、7／18—11／5]	岩切　みお	美術手帖	876
光と闇をめぐる小野祐次の冒険[小野祐次展「ルミネセンス」、パリ市立ヨーロッパ写真館、9／20—10／22]	今津　京子	芸術新潮	683

(カ行)

パリっ子うならす日本の型紙[Katagami—型紙とジャポニスム展、パリ日本文化会館、10／19—2007／1／20]		読　売	12.14
北斎、門外不出の肉筆画　フリーア美術館蔵新たな「真作」含む90点[北斎展(HOKUSAI)、アーサー・M・サックラー美術館、3／4—5／14][葛飾北斎]	山盛　英司	朝日夕刊	3.20
ワシントンで北斎展　門外不出の肉筆画公開[北斎展(HOKUSAI)]	藤井　一明	日　経	3.5
海を渡った北斎[北斎展(HOKUSAI)]		〃	3.18
HOKUSAI米紙も評価[北斎展(HOKUSAI)]	ワシントン支局	〃	3.24
天才絵師執念の肉筆画[北斎展(HOKUSAI)]		〃	4.11
中国、韓国そして日本　現代書の三つの冒険[韓中日現代書二十人展、物波空間、11／30—12／12]	編集部	芸術新潮	686
メルボルンでの現代日本画盛況　日豪交流年記念し開催[現代日本画展　2006年日豪交流年記念、ヴィクトリア州議事堂、11／20—11／24、ロイヤル・メルボルン工科大学、11／27—12／8]	手塚さや香	毎日夕刊	12.7
アートの発信力　韓国の国際展から《下》光州　アジアの視点強烈に主張[第6回光州ビエンナーレ、光州広域市仲外公園展示場他、9／8—11／11]	田中　三蔵	朝　日	10.12
東アジアの3ビエンナーレ　上海・光州・釜山　問われるアジア的視点と矛盾[第6回光州ビエンナーレ]	藤田　一人	東京夕刊	12.14

海外のアートシーンから　光州　第6回光州ビエンナーレ　アジアから世界的同時性を見せるネットワーク	片岡　真実	美術手帖	889
海外のアートシーンから　サンフランシスコ　〈宇宙の驚異〉をとらえ直すアート[「コズミック・ワンダー」展、ヤーバ・ブエナ・センター・フォー・ジ・アーツ、7／14—11／5]	廣　李果	〃	887

（サ行）

海外のアートシーンから　ニューヨーク詩的で幻想的なさわひらきの世界[さわひらき個展、ジェイムズ・コーハン画廊、4／22—6／3]	梁瀬　薫	〃	883
サンパウロ・ビエンナーレを訪れて　国別やめ、祝祭感薄れる[第27回サンパウロ・ビエンナーレ、イビラプエラ公園内ビエナル館、10／7—12／17]	名古屋　覚	朝日夕刊	12.13
文化往来　英シティで見せる日本の伝統と素顔[シティ・オブ・ロンドン・フェスティバル、市内各地、6／26—7／13]		日　経	7.3
海外のアートシーンから　シドニー　偏在する政治や文化の接触面で生じる現代美術を問う[第15回シドニービエンナーレ「接触領域」、シドニー市内外16か所、6／8—8／27]	市原研太郎	美術手帖	885
'06前半の国際展下　シドニー・ビエンナーレ虚無破った日本の出品作	〃	毎日夕刊	8.10
特集　上海ビエンナーレとその周辺　連動するアジアの国際展と画廊の動向[第6回上海ビエンナーレ、上海美術館、9／5—11／5]		ギャラリー*	258
特集　入門★中国美術　速報！上海ビエンナーレ2006	栗山　明	美術手帖	887
東アジアの3ビエンナーレ　上海・光州・釜山　問われるアジア的視点と矛盾[第6回上海ビエンナーレ]	藤田　一人	東京夕刊	12.14
アジアのビエンナーレ異聞　上　「情」を評価した上海の「超設計」[第6回上海ビエンナーレ]	峯村　敏明	毎日夕刊	12.25
特別インタビュー　南條史生に聞く　新しく誕生するシンガポール・ビエンナーレ2006[第1回シンガポール・ビエンナーレ、市内各地、9／4—11／12]		ギャラリー*	250
通信 J to A アジアへ[第1回シンガポール・ビエンナーレ]	南條　史生	新美術新聞	
15　シンガポール・ビエンナーレの進展			1088
20　シンガポール・ビエンナーレを開幕して			1102
21　ビエンナーレの功罪			1105
シンガポール・ビエンナーレ2006　"belief"—あなたは何を信じますか？	市原研太郎	美術手帖	888
シンガポール・ビエンナーレ2006　多文化の豊かさ・葛藤浮かぶ	山盛　英司	朝　日	9.21
第1回シンガポール・ビエンナーレを見て　多民族、多宗教、多文化国家の中の現代美術	笠原美智子	毎日夕刊	10.5
シンガポール・ビエンナーレ　若手の作品世界へ発信	高野　清見	読　売	9.14
形無限…動く彫刻　新宮晋さんパリで初個展[新宮晋「呼吸する彫刻」、ジャンヌ・ビュッシェ画廊、5／11—7／1]	山口　昌子	産　経	5.28
美術運動体「九つの音色」による北京展「清華大学美術学院教師＋日本九つの音色作品展」開催される　意義ある文化交流展が実現[清華大学美術学院、3／27—4／3]		新美術新聞	1088

第２回セビリア・ビエンナーレ　禁欲的、政治への思考促す[アンダルシア現代美術センター、王立造船所他各所、10／26―2007／１／８]	前田　恭二	読　　売	12.7
レポート　ソウル国際版画、写真、エディション作品アートフェア[ソウル国際版画写真エディション作品アートフェア(SIPA2006)、ソウルアートセンター、ハンガン・アート・ミュージアム、９／27―10／１]	秋田　真波	版画芸術	134
海外のアートシーンから　バルセロナ　日本人アーティストが多数参加したエレクトロ音楽の祭典[ソナー・フェスティバル2006、バルセロナ現代美術館他、６／15―６／17]	畠中　　実	美術手帖	886

（タ行）

カルティエ財団が「束　芋」展[TABAIMO、カルティエ現代美術財団、10／27―2007／２／４]		読　　売	12.14
海外のアートシーンから　レオン＋マドリッド　LOEWE 160th　anniversaryのコンテンポラリー・アート展[ロエベ創業160周年記念「テイク・ミー・ウィズ・ユー」展、マドリッド美術会館、６／９―６／12]	北澤ひろみ	美術手帖	886
海外のアートシーンから　レオン＋マドリッド　美術館に“観測気球”が舞い降りる[「トライアル・バルーンズ(観測気球)」展、レオン市現代美術館[MUSAC]、５／６―９／10]	〃	〃	〃
海外のアートシーンから　ホーチミン　夢を集めて市民をアートに巻き込むプロジェクト[A&Aパブリック・アート・ユニット展「ドリーム・コレクター」、ホーチミン労働文化センター、７／11―８／25(プロジェクト)、８／26(インスタレーション)]	宇田　資子	〃	888

（ナ行）

美術　中村一美展　韓国の芸術村で力技示す[Nakamura Kazumi展、クムサン・ギャラリー、６／３―６／25]	三田　晴夫	毎日夕刊	6.12
枯葉剤被害NYで写真展[戦場の枯葉剤、ニューヨーク市立大学、10／３―10／28][中村梧郎]		日経夕刊	9.26
「NIPPON DESIGN」パリで再燃する日本デザインの可能性。[ムーブル・パリ2006(パリ国際家具見本市)「NIPPON DESIGN」展、ポルト・ド・ヴェルサイユ見本市会場、１／５―１／９]	川上典李子	デザインの現場	146
文化往来　タイで日本の産業デザインの源流を見る[日本デザインの遺伝子展、タイ・クリエイティブ・デザイン・センター、２／４―３／31]		日　　経	3.16

（ハ行）

第12回バングラデシュ・ビエンナーレ開幕　３・５～31　日本から藤浩志氏と照屋勇賢氏が参加―テーマは「利用／誤用／再利用」[オスマニ・メモリアル・ホール(ダッカ)、３／５―３／31]		新美術新聞	1083
海外のアートシーンから　レオン＋マドリッド　〈自然〉のフレームを拡張する写真[フォト・エスパーニャ2006「自然：」展、カーサ・デ・アメリカ／コンデ・デュック文化センターほか市内各所、６／１―７／23]	北澤ひろみ	美術手帖	886
アートフェア・レポート　釜山ビエンナーレ・オープニングレポート[釜山ビエンナーレ2006、釜山広域市立美術館、釜山市内各所、９／16―11／25]	(M)	ギャラリー	259

海外のアートシーンから　釜山　釜山2006「日本に一番近い」アジアの国際美術展は、リゾート感たっぷり[釜山ビエンナーレ2006]	編　集　部	美術手帖	888
アートの発信力　韓国の国際展から《上》釜山　美術の枠から飛び出す[釜山ビエンナーレ2006]	田中　三蔵	朝　　日	10.11
東アジアの３ビエンナーレ　上海・光州・釜山　問われるアジア的視点と矛盾[釜山ビエンナーレ2006]	藤田　一人	東京夕刊	12.14
柳宗悦韓国で光「悲哀の美」論争超えて　ソウルで初の本格展[文化的記憶―柳宗悦が発見した朝鮮と日本、イルミン美術館、11／10―2007／１／28]	高槻　忠尚	朝日夕刊	12.2
新美術時評　美術の展覧会に求められる「現在」のスタンダード[第４回ベルリン・ビエンナーレ、クンストヴェルケ他市内各地、３／25―６／５]	長谷川祐子	新美術新聞	1094
'06年前半の国際展〈上〉　ベルリン・ビエンナーレ　政治色消え心理性強まる	市原研太郎	毎日夕刊	8.9

（ヤ行）

海外のアートシーンから　ニューヨークNYの街を席巻するパフォーマンス・アート[ヤマタカEYE個展　ONGALOO、GBEY(ギャヴィン・ブラウン・エンタープライズ)パッサーバイ、11／17―12／10]	藤森　愛実	美術手帖	874
横尾忠則展@カルティエ現代美術財団　パリを熱狂させた豊饒なイメージ[３／４―５／28]	飯田　高誉	〃	883
陰惨で懐かしくエロチック　横尾忠則、パリで大規模展[カルティエ現代美術財団]	上間　常正	朝　　日	4.20

（ラ行）

海外のアートシーンから　バルセロナヴィデオアート限定のアート・フェア[ループ'06　第４回ヴィデオアート・フェア、ホテル・ピューリッツァ、５／19―５／21]	原　万希子	美術手帖	886

（ワ行）

海外のアートシーンから　ヴェネツィアフランソワ・ピノーによるパラッツォ・グラッシの再生[「われわれはどこに行くのか？」展、パラッツォ・グラッシ、４／30―10／１]	三嶋りつ惠	〃	〃

美術展覧会図録所載文献

企画展

（ア行）

街かど美術館2006　アート@つちざわ〈土沢〉—土沢の30日間—　岩手県花巻市東和町土沢地区の商店街を中心とした地域101ヶ所

街かど美術館・考	平澤　広
ゆるやかな組織と渾沌、そしてその自由	土屋　誠一
土沢の懐にもぐれば、ツチザワがカラダにハイッテキタ@つちざわマトリックス	岡部　昌生
サウンド・オブジェの似合う町	松本　秋則
土沢で思った事	佐藤　時啓
夢のかたち—土沢・東和町	辻　けい
《つなぐ水》について	小林　俊介
ミュンスターの街かど美術展のこと	安斎　重男

アートとともに　寺田小太郎コレクション　府中市美術館

コレクション展にあたって	寺田小太郎
美的価値判断のレッスン	山村　仁志
寺田コレクションの旋律と変奏—「白と黒」、「寺田小太郎の部屋」	成相　肇

アール・デコ・ジュエリー　宝飾デザインの鬼才シャルル・ジャコーと輝ける時代　東京都庭園美術館他

フランスと日本の女性文化における相互交流（エクスチェンジ）—ファッション雑誌のポショワールをとおして	高波眞知子

アイヌ文様の美—線のいのち、息づくかたち—　北九州市立いのちのたび博物館他

アイヌ文様—その変遷と技法について	津田　命子
アイヌ文様の美、その発見	佐藤　友哉
アイヌ文様の美—北方の装飾主義	浅川　泰
アイヌ文化と九州	日比野利信
美々８号遺跡出土遺物に印されたアイヌ文様	松井　和幸

青山二郎の眼　MIHO MUSEUM他

総論	青柳　恵介
青山二郎と鑑賞陶器の時代	川島　公之
「呉州赤絵大皿」受容と賞翫	長谷川祥子
柳と青山—李朝と民芸運動	尾久　彰三
—眼は言葉である—青山二郎　魂の純度	金子　直樹
青山二郎と魯山人	清水　真砂
余技の真骨頂—青山二郎の装幀	蛭名　則

足利銘仙の時代展　大正・昭和名所絵葉書に見る足利の風景と銘仙　足利市立美術館／足利まちなか遊学館

名所絵葉書に見る明治・大正・昭和の足利の風景と銘仙	菊地　卓
足利本銘仙～図案家の活躍と織元・百貨店～	大森　哲也

渥美半島を描く　田原市渥美郷土資料館

私の愛する渥美	道家　珍彦
渥美半島の魅力	天野　敏規

アフリカ・リミックス　多様化するアフリカの現代美術　森美術館

混沌（カオス）と変容（メタモルフォーズ）	シモン・ンジャミ
アフリカ、展覧会、暗闇の恐怖	デヴィッド・エリオット
アフリカ美術の受容	ジャン＝ユベール・マルタン
対談　アフリカは北から始まった……	アブデラワハブ・メデブ マリー＝ロール・ベルナダック
メイド・イン・アフリカ	ジョン・ピクトン
アフリーシュ（アフリカという、荒地（フリーシュ））	ジャン＝ルー・アンセル
アーフリークィヤ（AH-FREAK-IYA）：現代アフリカ音楽を聴くために	ルーシー・デュラン
アフリカ映画における自己表現	マンティア・ディアワラ
ジャンルが交錯するパフォーマンス—演劇から儀式へ、あるいは混沌の美学	ベルナール・ミュレ
ファッションとアフリカの理念	フディタ・ヌラ・ムスタファ
マルチプレーヤー—アーティスト主導とキュレーターのリレーによるプロジェクト	クレモンティーヌ・ドゥリス
戦後日本におけるアフリカ美術の受容—その歴史的概観	川口　幸也

阿羅漢—そして彼は真実を知った—　神奈川県立金沢文庫

概説	道津　綾乃

イギリスの美しい本　足利市立美術館他

デザイナー・ブックバインダーズ	レスター・ケイポン 村上　博哉訳
装幀・挿絵・活字—本の文化と歴史	河村錠一郎

和泉を彩る文化財　和泉の文化財と東洋美術の名品　和泉市久保惣記念美術館

和泉と文化財	河田　昌之

いのちを考える　世界人権宣言と中学生たち　伊丹市立美術館

いのちを考えるについて　大河内菊雄
絵画について　北山　善夫
いのちを考える中辻悦子と中学生たち　大河内菊雄
存在の合図　中辻　悦子
いのちを考える太田三郎と中学生たち　大河内菊雄
「いのちを考えるワークショップ」を終えて　太田　三郎
いのちを考える森口ゆたかと中学生たち　中川　真
いのちの連鎖　森口ゆたか
いのちを考える山口啓介と中学生たち　島　敦彦
花のいのち—山口啓介に　新見　隆
絵を見ること—1、いのちを考えること—2、粒子と稜線—3　山口　啓介

祈りのかたち—甲斐の信仰—開館一周年記念　山梨県立博物館

甲斐の仏教史　清雲　俊元
甲斐の仏教とその美術　濱田　隆
甲斐仏教彫刻史　田邉三郎助

祈りのかたち～中世南九州の仏と神～　鹿児島県歴史資料センター黎明館

鹿児島の廃仏毀釈について　栗林　文夫
南九州の中世寺院　〃
中世の仏像—鹿児島県—　八尋　和泉
中世南九州における神社への銅鏡奉納　久保　智康
南さつま市坊津歴史資料センター輝津館所蔵の「日本図」について　栗林　文夫

インドネシア・スラウェシ島の染織　聖なる布の系譜　日下部啓子コレクション　福岡市美術館

スラウェシ島の染織　南および西スラウェシ州山岳地帯の染織を中心に　岩永　悦子
サダン・トラジャ人、ママサ・トラジャ人の儀礼的染織　日下部啓子
ブギス人の儀礼用短剣ベルト　ピーター・コリンウッド

インパクト　東と西の近現代—もうひとつの大原美術館　大原美術館

インパクト展の意味するもの　高階　秀爾
児島虎次郎が訪ねたヴェネチア・ビエンナーレ—初期コレクションとベルギーの表象—　岡部あおみ
アマン＝ジャンとコッテ　日本での受容　サラ・デュルト
児島虎次郎：1922年ベルリン　西村　勇晴
神原泰文庫に寄せて—未来派編　孝岡　睦子
インパクト展へのノート—第一次世界大戦前後のパリ在住日本人画家を基点にして—　柳沢　秀行

インペリアル・ポースレン・オブ・清朝　華麗なる宮廷磁器　静嘉堂文庫美術館

清朝の陶磁　長谷部楽爾
［参考図版］銘一覧
『西廂記』—大傑作ドラマの誕生と流行「ドラマ」　遊佐　徹
『封神演義』—壮大なる世界再編の物語の誕生　〃
静嘉堂の清朝陶磁　長谷川祥子

VOCA展2006　現代美術の展望—新しい平面の作家たち　上野の森美術館

選評　高階　秀爾
選考所感　酒井　忠康
あいまいさと具象　建畠　哲
抵抗について　本江　邦夫
VOCA展2006 所感　松井みどり
選考にあたって考えたこと　南　雄介

VOCA展に映し出された現在　いまあるところ／いまあるわたし　宇都宮美術館

VOCA展に託された未来　谷　新
モダニズムと絵画の三つのイリュージョン　新しい表象絵画とシミュラークルをめぐって　太郎千恵蔵
「小さな物語」が霧散した今後の展開　やなぎみわ　谷　新　聞き手
ポスト9.11—ニューヨークなどで製作するということ—　照屋　勇賢　谷　新　聞き手
ドイツにおける芸術家をとりまく環境—作品制作を通して—　湯川　雅紀
こんな絵になっちゃった　平町　公
作品を作るとは自分の課題を見出すこと　石川　順惠　谷　新　聞き手
Painting Life 1988—2006　東島　毅　谷　新　聞き手

浮世絵に描かれた四日市　泗水のイメージ　四日市市立博物館

概要　堀越　光信
蕭白の狂・月僊の奇　山口　泰弘
将軍家茂の上洛と浮世絵　廣瀬　毅
泗水のイメージ　浮世絵に描かれた四日市　赤川　一博

UKIYO-E—名所と版元—　港区立港郷土資料館

当館所蔵浮世絵名品撰　新藤　茂
絵草紙屋について　二又　淳
芝の本屋・和泉屋市兵衛—代々にわたるその出板活動　日野原健司

美しさへの挑戦—ヘアモード・メイクアップの300年—　MOA美術館他

美女たちのよそおい300年　津田　紀代
美女たちに見る化粧・髪型　村田　孝子

海の神々—捧げられた宝物—開館一周年記念　九州国立博物館

海の神々　宮島　新一

うるま　ちゅら島　琉球　九州国立博物館

八重山の豊年祭と綱引き　大濱　憲二

沖縄本島の綱引き～大山の綱引きを中心に～　萩尾　俊章

栄光のルネサンスから華麗なロココまで　茨城県近代美術館

西ヨーロッパ美術におけるバロック　クリスティーネ・カルロ＝ポルチェンスキー　鈴木　紘一　訳

エコール・ド・パリ　プリミティヴィスムとノスタルジー　岡崎市美術博物館他

プリミティヴィスム、素朴派—エコール・ド・パリの画家たち　ソフィー・クレップス　速水　豊　訳

プリミティヴィスムとノスタルジーの間で—ルソー／ドラン　ジャクリーヌ・ムンク　速水　豊　訳

1910年から1925年のパリの芸術風土狂乱の時代の中心、モディリアーニ　マルク・レステリーニ　田中　佳　訳

パリの芸術表現とプリミティヴィスム—キュビスム、シュルレアリスム、そしてエコール・ド・パリ　村松　和明

孤独なる祝祭—藤田嗣治におけるエコール・ド・パリの形成　村上　哲

もうひとつの異者—エコール・ド・パリの時代における反芸術的造形　速水　豊

エッセンシャル・ペインティング　1990年以降のヨーロッパとアメリカの絵画　国立国際美術館

エッセンシャル・ペインティング　中西　博之

江戸の誘惑　ボストン美術館所蔵肉筆浮世絵展　神戸市立博物館他

眠りから覚めた美の扉—ボストン美術館の肉筆浮世絵—　辻　惟雄

コラム１　絵筆をもった旗本たち　成澤　勝嗣

コラム２　江戸時代の華麗なるヘアスタイル　鏡味　千佳

コラム３　江戸の着物と装い　市田ひろみ

コラム４　江戸の一大観光スポット隅田川遊覧　江里口友子

ウィリアム・スタージス・ビゲロー—日本愛好家にして日本主義者—　アン・ニシムラ・モース

江戸の社会と文化—浮世絵の背景—　小林　忠

描かれた遊女・女芸者・陰間—ボストン美術館蔵肉筆浮世絵を中心に—　浅野　秀剛

絵画と版画—浮世絵の概念を形成する二つのカテゴリー—　内藤　正人

大エルミタージュ美術館展—いま甦る巨匠たち400年の記憶—　東京都美術館他

都市、自然、人びと　イリーナ・アルテーミエワ

自然に生き、都市に生きる：絵画史の視点から　千足　伸行

黄金の美術館展　美術にみる金の素材と表現　釧路市立美術館

美術のなかの「金」　佐藤　友哉

近江西国三十三所—観音信仰のひろがりとはるかなる巡礼の旅路—　栗東歴史民俗博物館

近江三十三所の成立と展開　松岡久美子

大いなる遺産　美の伝統展　東京美術倶楽部創立百周年記念　東京美術倶楽部

近代美術の動向と東京美術倶楽部　内山　武夫

近代工芸の創生—新たな美を求めて　金子　賢治

名品展に寄せて　細川　護熙

美術流通界の殿堂東京美術倶楽部　林屋　晴三

「鑑賞陶器」のはじまり　長谷部樂爾

大江戸動物図館—子・丑・寅…十二支から人魚・河童まで—　仙台市博物館

象が来た、龍が出た、人魚を見た！—江戸の不思議発見物語—　内山　淳一

大津絵の世界　ユーモアと風刺のキャラクター　大津市歴史博物館

大津絵の文献　和田　光生

日本画における大津絵の問題　ポール・ベリー

江戸文化シリーズ22　お殿様の遊芸　板橋区立美術館

お殿様の遊芸　安村　敏信

お水取り　奈良国立博物館

東大寺二月堂とお水取り　西山　厚

オルセー美術館展　19世紀芸術家たちの楽園　神戸市博物館他

調和の時。19世紀の芸術家の楽園　カロリーヌ・マチュー　大野　芳材　訳

美しき日本のおもかげ—ファン・ゴッホが夢見た楽園　岡　泰正

美術の中の日本と写真の中の日本　乙葉　哲

雅宴画の変容—楽園としての18世紀絵画　大野　芳材

おん祭と春日信仰の美術　奈良国立博物館

おん祭と春日信仰の美術　清水　健

（カ行）

絵画名品100選　豊橋市美術博物館所蔵　豊橋市美術博物館

豊橋市美術博物館の絵画コレクション～将来への展望～　金原　宏行

画家がいる「場所」　現代絵画のなかの記憶・風景・身体　小杉放菴記念日光美術館

序論　画家がいる「場所」のために　田中　淳

ディスカッションの記録　菊地武彦、山田昌宏、佐川晃司、中村功、田中淳進行

家族の情景展—日本の家族を考える—　茨城県近代美術館

描かれた家族の情景から日本の家族を考える　小泉淳一

花鳥—愛でる心、彩る技〈若冲を中心に〉　宮内庁三の丸尚蔵館

花鳥—愛でる心、彩る技〈若冲を中心に〉　太田彩

金沢文庫古文書への誘い　神奈川県立金沢文庫

総説　書状の礼式と作法　永井晋

鎌倉円覚寺の名宝　七百二十年の歴史を語る禅の文化　五島美術館

鎌倉円覚寺の宝物—伝法衣に関する新知見を中心に—　小笠原小枝

鎌倉円覚寺の歴史　三浦勝男

神々と出逢う—神奈川の神道美術—　神奈川県立歴史博物館

神奈川の寺社史　岡田荘司

神奈川県の神道美術　薄井和男、梅沢恵、佐々木登美子

カルティエ現代美術財団コレクション展　東京都現代美術館

透明な箱とコレクション　関直子

カルティエ現代美術財団コレクション：思いがけないものとの遭遇　エレーヌ・ケルマシュテル

国宝鑑真和上展　北海道立近代美術館

唐招提寺金堂の解体修理現場から　田中泉

キトラ古墳と発掘された壁画たち　奈良文化財研究所飛鳥資料館

キトラ古墳壁画の白虎をみるために—あるいは高松塚壁画比較論—　有賀祥隆

キトラ古墳壁画の取り外しと保存処置について　川野辺渉

キトラ古墳の壁画漆喰　肥塚隆保

木村定三コレクションの江戸絵画—小世界を愉しむ—　愛知県美術館

木村定三コレクションの江戸絵画　小林忠

九州から見た雪舟展　没後500年　福岡市美術館

概論—九州から見た雪舟　渡邊雄二

京漆器を愉しむ—京都国立博物館所蔵・美濃屋の漆器と名工たち—　昭和女子大学光葉博物館

京漆器・美濃屋九代当主稲垣孫一郎と私　灰野昭郎

京の食文化展—京料理・京野菜の歴史と魅力—　京都文化博物館

京都と日本の食文化　熊倉功夫

近代日本の水彩画—その歴史と展開—　茨城県近代美術館

近代日本の水彩画—画家たちの「思い」を辿りながら　山口和子

近代日本洋画の志深く　もうひとつの〈鮭図〉からワーグマン・浅井忠・青木繁…　松本深志高校創立百三十周年記念　松本市美術館

「幻の」山岡コレクション　青木茂

東京芸術大学・東京美術学校の西洋画コレクション—教育資料として、そして近現代美術の定点観察として—　熊澤弘

近代文人のいとなみ　成田山書道美術館

野口小蘋と文人たちの交流　平林彰

近代文化の住まい西園寺公望の文人趣味と別荘・坐漁荘　土屋和男

憧れの文人画家王建章をめぐる賞玩のいとなみ　小林優子

煎茶趣味と書画文玩の鑑賞　西嶋慎一

近代文人とそのいとなみ　髙橋利郎

心目を遊ばす詩書画の世界　永由徳夫

空海マンダラ　弘法大師と高野山

北海道立近代美術館開館30周年記念　北海道立旭川美術館他

空海の生涯と高野山の仏教美術　井筒信隆

空間に生きる—日本のパブリックアート展　札幌芸術の森開園20周年記念　札幌芸術の森他

パブリックアートとは何か—展覧会によせて　酒井忠康

存在するアート＝1989　細田雅春

熊野・那智山の歴史と文化—那智大滝と信仰のかたち—　和歌山県立博物館

コラム2　那智滝に向かって駆ける馬—熊野曼荼羅のミクロコスモス—　梅沢恵

コラム3　那智山の中世文書　高木徳郎

コラム4　参詣の組織と作法　〃

コラム5　鎌倉地方の熊野信仰　古川元也

コラム6　那智山の本願と参詣曼荼羅　山本植生

コラム7　那智参詣曼荼羅を絵解く　〃

コラム8　熊野観心十界図と「女性」　石黒久美子

コラム9　生貫杉の生命力　高木徳郎

コラム10　浜の宮にあらわれた熊野権現—名取の老女説話—　梅沢恵

コラム11　補陀落渡海と那智　根井浄

コラム12　那智山周辺の中世建築—古建築のみどころ—　山本新平

コラム13　那智大社奉納鏡の伝来と扇御輿の鏡　安永拓世

コラム16　那智滝への憧憬　〃

概説　那智大滝と信仰のかたち　大河内智之

景徳鎮千年展　岐阜県現代陶芸美術館他

景徳鎮千年の歴史　今井　敦

毛沢東の器—7501工程と中国陶磁史における位置づけ—　佐野　素子

現代漆芸作家—輪島の今　開館15周年記念　石川県輪島漆芸美術館

輪島の「現代漆芸作家展」の意義　柳橋　眞

現代「日本画」の展望—内と外のあいだで—　和歌山県立近代美術館

「日本画の終焉」という展望？　野地耕一郎

出品作家「新恵美佐子さん」に聞く　新恵美佐子　野地耕一郎　聞き手

現代の茶陶　造形の自由と用の見立て　智美術館大賞　菊池寛実記念智美術館

茶陶というもののあるべき様　林屋　晴三

源平の時代展　歴史浪漫　茨城県近代美術館

『平家物語』を描く—明治から現代へ—　中田　智則

広告の親玉　赤天狗参上！～明治のたばこ王　岩谷松平～　たばこと塩の博物館

第三回内国勧業博覧会と実業界　関根　仁

岩谷松平と明治時代の広告　岩本　紀子

新しい印刷の時代—明治の印刷技術概略　寺本美奈子

岩谷松平遺品の旅　中村　七重

高知名所・名物観光めぐり展　絵画で巡る高知の旅　高知県立美術館

高知の風景画

国宝　子島曼荼羅　復元模写完成記念　奈良国立博物館

国宝　子島曼荼羅　谷口　耕生

復原模写の製作　〃

子供の情景　井原市立田中美術館

「七歳までは神の内」—神話的世界を具現化　米倉　守

戸方庵井上コレクション名品展～嗚呼しづかなる墨～　板橋区立美術館

井上房一郎氏と戸方庵コレクション　山田　烈

御用絵師の仕事と紀伊狩野家　武蔵野美術大学美術資料図書館

狩野家絵師の仕事の多様性と、その今日的意味　玉蟲　敏子

草稿図を垣間見て—sucuola kanōの威勢　狩野　紘信

文晁と紀伊徳川家　鶴岡　明美

紀井狩野家に伝わる小袖模様雛形　小山弓弦葉

コレクターのまなざし展　モネ《雪中の家とコルサース山》を囲んで　上原近代美術館

コレクターの「目」—『白樺』中心の西洋美術の受容について—　山田　俊幸

（サ行）

材料よりみる日本画　杉並区産業商工会館

土佐光芳「夏秋草図屏風」解説　竹内　啓

白のしらじらしいシラケたおはなし　上田　邦介

堺の町探訪—寺町の文化財—　堺市博物館

寺町と金地院崇伝　福島　雅蔵

更紗今昔物語　ジャワから世界へ　国立民族学博物館

インカ・ショニバレ—語り部としてのアフリカン・プリント　川口　幸也

アボリジニのロウケツ染め　小山　修三

カリブ海地域のロウケツ染め　江口　信清

キッチュ・デザイン考　大野木啓人

ザ・リングⅡ—too decorative—奥畑実奈・真田岳彦・三橋遵・森淳一　東京国際フォーラム・エキジビション・スペース

身体化した装身具☆装身化した身体　津田　紀代

参加してエンジョイ展—不思議なアートに触れてみよう—岐阜県美術館所蔵安藤基金コレクション　八王子市夢美術館他

安藤基金コレクションをめぐって—現代美術の取り組み—　岡田　潔

「参加してエンジョイ展」の進化　古田　啓一

座談会　美術館教育普及活動の取り組みについて　和田　路也　大竹　嘉彦　杉山　幸子　岡本　健一　川俣　高人　杉野　文香　峯村　敏　河野　泰久　清水　千代

国宝　信貴山縁起絵巻　史上初の全三巻　全画面同時公開　「国宝」誕生百十周年記念・特別公開　石川県立美術館

信貴山縁起絵巻とその制作背景　梶谷　亮治

始皇帝と彩色兵馬俑展　司馬遷『史記』の世界　江戸東京博物館他

司馬遷『史記』の世界　稲畑耕一郎

絢爛豪華な秦兵馬俑の彩色　夏　寅　王　偉鋒　鶴間　和幸　訳

漢景帝陽陵の考古学的発見の成果と意義　焦　南峰　鶴間　和幸　訳

『史記』のテキスト—宮内庁所蔵の彭寅本『史記』を中心として　安　平秋　稲畑耕一郎　訳

中国古代の金銀器　松本　宣之

始皇帝陵と兵馬俑坑　鶴間　和幸

秦・漢帝国の兵馬俑—実物大からミニチュアへ—　森　達也

陽陵—明らかになった陵園・陵邑空間の全貌—　鶴間　和幸

姿を現してきた秦漢フィールドミュージアム群　南　博史

日本画に描かれた『史記』の世界　横山　秀樹

秦始皇帝陵の地下宮殿　段　清波

若冲と江戸絵画　プライスコレクション　東京国立博物館他

エツコ&ジョー・プライスコレクションについて	ジョー・プライス
若冲を甦らせたアメリカ人　ジョー・プライス氏の江戸絵画コレクション	辻　惟雄
プライスコレクションの思い出	宮島　新一
プライスコレクション—展覧会と作品	田沢　裕賀
江戸絵画はどんな光で見るか、見せるか	木下　史青

ジュエリーの今：変貌のオブジェ　東京国立近代美術館

内在化された自己批判のプログラム—「ジュエリーの今」を読み解く	北村　仁美

種の起源：ロシアの現代美術—私たちは生き残ることができるのか　富山県立近代美術館他

"種の起源：ロシアの現代美術"展に寄せて	酒井　忠康
種の起源　社会的ダーウィニズム時代における芸術のテーゼ	イオシフ・バクシテイン 上田　洋子訳

浄教寺の文化財　和歌山県立博物館

浄教寺の歴史と文化財	大河内智之
最勝寺の歴史とその遺跡	高橋　修
浄教寺関係史料集成	

将軍家への献上　鍋島—日本磁器の最高峰—　佐賀県立九州陶磁文化館

将軍家献上　鍋島	大橋　康二
鍋島の技法と意匠	鈴田由紀夫
鍋島焼の出土状況	大橋　康二

書の国宝　墨蹟展　大阪市立美術館他

禅林の書	中川　憲一
墨蹟の鑑賞	名児耶　明
墨蹟としての頂相賛をめぐって	朝賀　浩
墨蹟の表具について	佐藤　留実

書の至宝　日本と中国　東京国立博物館

日本の書	島谷　弘幸
中国の書	富田　淳
夢にまでみた日本所在の中国古代重要書跡	汪　慶正 小川　博章訳
書の鑑賞—筆墨が織りなす美の世界	島谷　弘幸

シルクロードのきらめき—正倉院文化の源流を尋ねて—　平山郁夫シルクロード美術館

キャラバン砂漠の遺跡を行く	平山　郁夫

スーパーエクスタシー　至福への旅路　神奈川県民ホールギャラリー

月へのしたたり	小川　稔

スポーツウェアの革命　もうひとつの20世紀ファッション　島根県立石見美術館

1920年代の「新しい女性」スポーツウェア／レジャー・ウェア／アール・デコ	南目　美輝

世界ポスタートリエンナーレトヤマ8回　2006　富山県立近代美術館

My Poster	福田　繁雄
美しき時代の証人	松永　真
「ポスターのように」完璧な	ラルフ・シュライフォーゲル
本当ならポスターは死んでいるはず、という三つのもっともらしい理由	ステファン・サグマイスター

戦後日本デザインの軌跡1953—2005　千葉からの挑戦　千葉市美術館

日本デザインの戦後史—貫戦史からの跳躍	森　仁史
ステーション・ルネッサンス時代のスペース・プランニング	橋本　優子
広がるデザインの世界	宮崎　紀郎 森　仁史 聞き手
§インタビュー§	松本　哲夫
〃	石川　弘
〃	松丸　武
〃	渚　徹
〃	宮智英之助
〃	赤瀬　達三
〃	御園　秀一
〃	児山　啓一
〃	宮城壮太郎
〃	宇田川信学

善通寺　空海誕生の地　創建一二〇〇年　香川県歴史博物館

空海・弘法大師と善通寺	頼富　本宏

(タ行)

滞欧作品展　その3—洋画家と留学・美の交流の軌跡—　京都市勧業館みやこめっせ他

滞欧作品と有形無形の文化力	星野万美子
よもやま話・断片	星野　桂三

大正期の異色の画家たち　和歌山県立近代美術館所蔵名品展　練馬区立美術館

和歌山県立近代美術館のコレクションについて	浜田　拓志
大正という「若い」時代	横山　勝彦
バンカ・テルヲと国画創作協会の画家たち	野地耕一郎
『月映』の作家たちとその周辺	井上　芳子
断片から	寺口　淳治

Chaosmos '05　辿りつけない光景 Unreal Reality　佐倉市立美術館

風景への戦略	西村　智弘
「辿りつけない光景」について	黒川　公二
§作家の言葉§	ムラタ有子
〃	田口　和奈
〃	大竹　竜太
〃	関根　直子
〃	さわひらき

愉しき家　愛知県美術館

解説と作家によるテキスト［東恩納裕一／小林のりお／小林孝亘／ヴォルフガング・ライプ／正木隆／ゴードン・マッタ＝クラーク／森北伸／N55／中村一美／中尾寛／西野達／乃美希久子／さわひらき／塩田千春／ミハ・ウルマン／牛嶋均／やなぎみわ］　拝戸　雅彦編

愉しむ家　拝戸　雅彦

国宝　俵屋宗達筆　関屋・澪標図屏風と琳派の美　静嘉堂文庫美術館

俵屋宗達筆「源氏物語関屋澪標図屏風」をめぐって―伝来と研究史を中心に―　小林　優子

CHIKAKU／四次元との対話―岡本太郎からはじまる日本の現代美術
川崎市岡本太郎美術館

四次元の知覚　日本の現代美術への一視座　伊藤　俊治

グラーツ・ビーゴ・カワサキ：「展示」されたもの　渡辺　誠

四次元的「日本」―「呪術」から「日常性の内部」へ　今福　龍太

言葉で撮るスナップ写真　多和田葉子

海外展報告　岡本太郎から岡本太郎へ　岡部　美紀

茶の湯の名宝―大名家の格式と伝統―　徳川美術館

大名家と茶の湯―格式と伝統―　佐藤　豊三

中国陶磁　美と鑑るこころ　泉屋博古館分館

「鑑賞陶器」一考察　外山　潔

中国陶磁への誘い―鑑賞の一助として―　中澤富士雄

大勧進　重源　東大寺の鎌倉復興と新たな美の創出　御遠忌八百年記念特別展　奈良国立博物館

重源の生涯とその事績―仏像を中心に―　岩田　茂樹

重源と「勧進」　西山　厚

重源と大仏様建築　西田　紀子

重源の舎利・宝珠信仰―三角五輪塔の源流をめぐって―　内藤　榮

重源の文殊信仰と東大寺復興　谷口　耕生

東大寺領荘園と別所の経営　野尻　忠

重源と土木事業　岩戸　晶子

ディズニー・アート展　東京都現代美術館他

1960年のディズニー展について　渡辺　泰

千葉大学でディズニーのオリジナル画が発見された経緯　小林　裕幸

デジタル遊園地―ネットワーキングアートの未来―　長崎県美術館

芸術から心へ―ネットワーキング・アートの未来　伊東　順二

展覧会ノート：ネットワーキング・アートは成立しているか？　森山　朋絵

電車にみる都市風景　1981―2006
パルテノン多摩

電車の眺めと都市のパノラマ　須見　裕子

国宝　天寿国繍帳と聖徳太子像　飛鳥の祈り　東京国立博物館

天寿国繍帳と飛鳥仏教美術　松浦　正昭

天寿国繍帳と法隆寺献納宝物の刺繍　澤田むつ代

天台を護る神々―山王曼荼羅の諸相―　大津市歴史博物館

日吉社のなりたち　和田　光生

坂本の山王曼荼羅の諸相　〃

山王曼荼羅の図像分類について　寺島　典人

山王曼荼羅形式分類一覧表　〃

唐鏡　泉屋博古館他

唐鏡の文様　廣川　守

東京―ベルリン／ベルリン―東京
森美術館

東京―ベルリン／ベルリン―東京　近代の都市をめぐる終わりなき対話　デヴィット・エリオット　ペーター＝クラウス・シュースター

19、20世紀における日本とドイツの建築交流　藤森　照信

明暗の境界：日本文学作品内のベルリン　イルメラ・日地谷＝キルシュネライト

砕かれた鏡像―ベルリンの日本人芸術家の自己像をめぐって　水沢　勉

日本の写真家たちとベルリン　飯沢耕太郎

日本との出会い：1900―1945年のベルリンの美術　ローラント・メルツ

アーティストのプロヴィンス：1945年以降のベルリンにおけるヴィジュアル・アートの状況に寄せて　ミヒャエル・ヘルター

日常の場と夢想の空間：東京とベルリンから見たマンガ／コミック　ジャクリーヌ・ベルント

映画における表現主義　ドナルド・リチー

映画『新しき土』―日独合作の一例　〃

ベルリンにおけるジャポニスムと西洋から日本絵画への影響　アリス・ローラ・アーノルト

20世紀初頭のドイツ美術の日本絵画への影響　薩摩　雅登

「ブリュッケ」と異国趣味としての日本　ハンナ・シュトローダ

「シュトゥルム」―ベルリンと東京における前衛芸術運動の原動力　アリス・ローラ・アーノルト

建築：19世紀末から1920年代後半のベルリン―東京の関係　アンドレ・レピック　イリデ・ローザ

日本のダダ：村山知義と東京―ベルリン　五十殿利治

モダンガール：消費時代の新しい人物像　佐藤バーバラ

ドイツ工作連盟「映画と写真・国際展」　クリスティーネ・キューン

バウハウスと日本　黒岩　朋子

亡命建築家　日本におけるブルーノ・タウト　1933—35　アンドレ・レピック　イリデ・ローザ

暗黒の時代：1931—1945年　デヴィット・エリオット

戦後ベルリン　アンジェラ・シュナイダー

新しい日本　デヴィット・エリオット

写真の中の戦後ベルリン　ルトガー・デレンタール

サブジェクティブ・フォトグラフィ　〃

国際フルクサス運動　ガブリエレ・クナップシュタイン

地域的日常性とグローバルな日常性の間で　1989年以降のベルリンの現代美術　〃

ベルリンのいま　片岡　真美

ときめくファッション—小町娘からモダンガールまで—　愛媛県歴史文化博物館

キモノの女性化、ファッション化と民族衣装化　森　理恵

日本における洋装化について—婦人雑誌を手掛かりとして—　松井　寿

愛媛の染型紙—型紙データベースができるまで—　〃

都市と生活—生活圏へのまなざし　大川美術館

「都市と生活—生活圏へのまなざし」展について　小此木美代子

都市に生きるアール・デコ　資生堂ギャラリー

アール・デコと資生堂　高階　秀爾

「上海アール・デコ」の夢と新しさ　岡部　昌幸

アール・デコのわが家で　稲葉なおと

とちぎ美術探訪　県内ミュージアムが誇る日本絵画の名品たち　栃木県立美術館

下野における絵画概説—近世までの歩み—　橋本　慎司

栃木県絵画の近世　竹山　博彦

（ナ行）

夏の思いで　今を生きる　美術館ワンダーランド　豊科近代美術館

ひと夏の思いで、あるいは８組９人のアーティストと美術館の夏の記録　以倉　新

ワークショップとは何か—アーティスト・ワークショップの肌触り　〃

新潟の作家100人展２回　新潟の美術2006　新潟県立万代島美術館

「新潟の作家100人」について　小見　秀男

新潟の仏像展　中越大震災復興祈念特別展　新潟県立近代美術館

総説　新潟の仏像（古代・中世）　水野敬三郎

照行寺木心乾漆如来坐像と玉眼嵌入—X線撮影調査による知見から—　長岡　龍作

錦絵が語る美濃と飛騨　岐阜県博物館

美濃と飛騨に関係した錦絵　浅野　秀剛

総説　錦絵が語る美濃と飛騨　守屋　靖裕

日曜美術館30年展　名品と映像でたどる、とっておきの美術案内　東京芸術大学大学美術館他

落合朗風と加山さん　大岡　信

日本文化のアイデンティティ　平山　郁夫

モディリアーニとの距離　粟津　則雄

生きることはつくること　安藤　忠雄

セザンヌの話のできるテレビ　赤瀬川原平

「かざり」の驚き　辻　惟雄

「新日曜美術館」はHIBINOに肉迫する　日比野克彦

まじめと刺激　森村　泰昌

美術館学芸員と「日曜美術館」の30年　草薙奈津子

座談会　日曜美術館—人と美術の交わるところ—　太田　治子　小林　徹　西橋　正泰　真野　響子　石澤　典夫　西松　典宏

日本画の魅力—美しき人と心　人間表現、明治から現代まで　徳島県立近代美術館

人間の表現を味わう、表現の移り変わりを楽しむ　森　芳功

日本人の情景　創業35周年記念特別展　星野画廊

自然・田園・文化に見る日本人の情景　星野万美子

日本陶芸100年の精華　開館５周年記念　茨城県陶芸美術館

近現代陶芸の一世紀—日本陶芸史における〈近代性〉の意味—　外舘　和子

日本橋絵巻　開館記念特別展Ⅱ　三井記念美術館

日本橋絵巻—描かれた日本橋　樋口　一貴

MOTアニュアル2006　No Border「日本画」から／「日本画」へ　東京都現代美術館

「日本画」のBORDERをめぐる展覧会前史　菊屋　吉生

NO BORDER—「日本画」から／「日本画」へ　加藤　弘子

篠塚聖哉へのインタビュー　山本　雅美　聞き手

§作家の言葉§　天明屋　尚

長沢明へのインタビュー　山本　雅美　聞き手

町田久美へのインタビュー　〃

§作家の言葉§　松井　冬子

三瀬夏之介へのインタビュー　山本　雅美　聞き手

（ハ行）

ハギレの日本文化誌～時空をつなぐ布の力～　福島県立美術館

ハギレの日本文化誌	佐治ゆかり
法隆寺と正倉院の染色品にみる人々と布との関係	澤田むつ代
清浄の中より来る（きた）—糞掃衣（ふんぞうえ）の世界—	山川　暁

化け物の文化誌展　国立科学博物館

科博的に見た化け物たち	鈴木　一義
妖怪図鑑の誕生—化け物と博物学	香川　雅信

はばたく日本画—近代から現代へ—佐久市立近代美術館所蔵名品展　新潟県立万代島美術館他

佐久市立近代美術館日本画コレクションについて	工藤　美幸
一瞬のきらめき—昭和前期の女性像を再評価する—	小西　珠緒

巴里憧憬　エコール・ド・パリと日本の画家たち　徳島県立近代美術館他

巴里憧憬	大野　芳材
エコール・ド・パリ—アンチ・モダニズムの美学	深谷　克典
日本人にとってのエコール・ド・パリ	江川　佳秀
斎藤豊作、豊かな才能に恵まれた風景画家	ディミトリ・サルモン

彦根ゆかりの画人　彦根城博物館

彦根ゆかりの画人	髙木　文恵

八代の歴史と文化16　肥後の磁器—その歴史と系譜—　八代市立博物館未来の森ミュージアム

肥後磁器史概説	福原　透
近世波佐見（はさみ）窯業の生産技術とその伝播について—18世紀以降を中心として—	中野　雄二
江戸時代における天草磁器の歴史と技術—高浜焼を中心として—	江浦　久志

美術の中の三国志　徳島市立徳島城博物館

［コラム］日本の関帝廟	小川　裕久
描かれた「三国志」	〃

府中ビエンナーレ３回　美と価値　ポストバブル世代の７人　府中市美術館

現在の美と価値を求めて　ポストバブル世代の７人の実践	神山　亮子
評価について	本江　邦夫
７人のステートメント［作家の言葉］	大竹　敦人 窪田　美樹 境澤　邦泰 小林　耕平 豊嶋　康子 松井　茂 森本　太郎

ひな人形の世界６　徳島市立徳島城博物館

雛人形の世界を辿る（３）—古今雛の魅力—	小川　裕久

風景読本～絵の旅・東北～　福島県立美術館

風景画への視点	伊藤　匡

福井藩と豪商　福井市立郷土歴史博物館

金谷屏風	齋藤　千穂
世界図・日本図屏風　六曲一双　桃山時代　浄得寺蔵（重要文化財）	〃

福岡市美術展40回　福岡市美術館

選評	谷口　治達 安永　幸一 松村　明 池松　一隆 吉井　宏 納戸　健次 豊島　嘉穂

仏像　一木にこめられた祈り　東京国立博物館

木の文化と一木彫	金子　啓明
初期一木彫の世界	岩佐　光晴
木彫像の樹種—木彫像用材の科学的分析	藤井　智之

プラティスラヴァ世界絵本原画展　世界の絵本がやってきた　開館15周年記念　足利市立美術館他

プラティスラヴァ世界絵本原画展2005	土方　明司
チェコの子どもの本1918—1945	ブランカ・ステフリーコヴァー
チェコで紹介された日本昔話と邦訳されたチェコの子どもの本	江尻　潔

プラド美術館展　スペインの誇り、巨匠たちの殿堂　東京都美術館他

プラド美術館とそのコレクションの歴史と発展	フアン・J・ルナ 松原　典子 訳
ローマのベラスケス（1630年）、古典古代と風景への感興—ヴィラ・メディチを舞台として	大髙保二郎
スペイン・ブルボン家の宮廷美術の展開とゴヤ	木下　亮
プラド美術館創設前史—文献解題：記録されたスペインとその美術、そのコレクション	久々湊直子
プラド美術館の歴史	木下 亮 編

フランス印象派からエコール・ド・パリへ　AIGコレクション　長崎県美術館

フランスの光、色彩、夢—AIGコレクションに見る西洋近代絵画の流れ	福満　葉子

ヘアーデザイン展　長野県信濃美術館

ヘアーデザイン：日本女性の髪型、今むかし	木内真由美

ベルギー王立美術館展　国立西洋美術館他

《イカロスの墜落》をめぐるノート	幸福　輝
ヤーコプ・ヨルダーンスの《飲む王様》	ヴェロニック・ビュッケン 幸福 輝 訳
ルイ・ガレの《芸術と自由》	ピエール・＝イヴ・ドセーヴ 龍野　有子 訳

ルネ・マグリットの《女盗賊》　フレデリック・レーン　龍野　有子訳

ペルシャ文明展　煌めく7000年の至宝　東京都美術館他

シルクロードが結ぶ日本とペルシャ　大津　忠彦

ポーラ美術館の印象派コレクション展　Bunkamuraザ・ミュージアム他

印象派の光彩・印象派の色彩　木島　俊介

コレクター鈴木常司とポーラ美術館のコレクション　荒屋鋪　透

印象派の花、印象派だけの花　宮澤　政男

展覧会とポーラ美術館の印象派絵画　岩崎余帆子

仏の荘厳～飾り讃えるもの～　神奈川県立金沢文庫

秦野・金剛寺阿弥陀堂の観音・勢至菩薩象とその金属製光背　山本　勉　佐々木登美子

称名寺の幡残闕について　澤田　和人

（マ行）

水をめぐって、光を追って。自然のことば、美術のかたち2　西成田育男　根本美恵　間島秀徳　山田昌宏　日立市郷土博物館

水をめぐって、光を追って。―4人の画家による「水」の世界　大森　潤也

密教のほとけ―曼荼羅・仏像・仏画―善通寺創建千二百年記念　善通寺宝物館

空海と善通寺の美術　真鍋　俊照

岡山・大通寺　不空羂索観音菩薩坐像　浅井　和春

高松・円成庵の六字明王像　津田　徹英

十地蔵院不動明王像をめぐって　泉　武夫

見ること／作ることの持続　後期モダニズムの美術　武蔵野美術大学美術資料図書館

序文　藤枝　晃雄

明治大阪の錦絵新聞　大衆ジャーナリズムの開花　伊丹市立美術館

明治大阪の錦絵新聞　解説　土屋　礼子

モダン・パラダイス　大原美術館＋東京国立近代美術館　東西名画の饗宴　東京国立近代美術館

モダン・パラダイス―出口について　中林　和雄

モネの《睡蓮》：浮遊するイメージの光学　鈴木　勝雄

線の凶器、絵画の傷跡　〃

大正期の自画像の“背景”について　大谷　省吾

夢かうつつか、あるいは、イマジネーションと「今、ここ」　柳沢　秀行

母性の復権　あるいは、男性不在の論理　古田　亮

桃山―華麗なる黄金の世紀―　滋賀県立琵琶湖文化館

桃山絵画―永徳・山楽・友松―　上野　良信

森鷗外と美術　島根県立石見美術館他

鷗外が見た明治、大正の美術　川西　由里

森鷗外と帝室博物館蔵書について　髙橋　裕次

原田直次郎の肖像画をめぐって「原田直次郎作品集」から　宮本　久宣

森鷗外と肖像　堀切　正人

鷗外とミュージアム　遊就館整理事業をめぐって　村上　敬

（ヤ行）

やまとの匠　近世から現代まで　奈良国立博物館

「やまとの匠」と奈良国立博物館　西山　厚

闇に漕ぐ舟　建畠覚造文化功労者顕彰記念展　石井厚生　建畠覚造　野田裕示　堀浩哉　村井進吾　ギャラリー山口／ギャルリー東京ユマニテ

建畠覚造氏を悼んで―彫刻との約束　酒井　忠康

「闇に漕ぐ舟」について　建畠　覚造　建畠　哲　聞き書き

弥生画帖―弥生人が描いた世界―　大阪府立弥生文化博物館

弥生絵画研究のあゆみと展望　橋本　裕行

鹿と羊　深澤　芳樹

人面鳥身の神　金関　恕

揺らぐ近代　日本画と洋画のはざまに　東京国立近代美術館他

問題群としての日本画と洋画　古田　亮

よみがえる武田信玄の世界　開館記念特別展　山梨県立博物館

武田信玄、その隠されたイメージ　守屋　正彦

信玄伝説　由緒と図像　石川　博

（ラ行）

赤と黒の芸術　楽茶碗　開館1周年記念　三井記念美術館

楽茶碗の歴史―樂家歴代の作品を中心に―　赤沼　多佳

近世文化史概観―樂歴代を取り巻く時代の流れ―　清水　実

大坂・京都出土の軟質施釉陶器　尾野　善裕　佐藤　隆

Re:search　オーストラリアと日本のアート・コラボレーション　せんだいメディアテーク

Re:search　清水　建人

メディアとグローバル化が生む、新しい場所の感覚　五十嵐太郎

仙台の神秘の世界　ジュリアン・ピアス

両洋の眼展2006　三越(日本橋)他

§両洋の眼§　永井　倫子

座談会『両洋の眼』は両性具有の眼、それが理想です　有元　容子　内田あぐり　田村能里子　米倉　守

§両洋の眼§　石井　健次

〃　草薙奈津子

〃　瀧　悌三

〃　池田　良平

写真の現在3　臨界をめぐる6つの試論　東京国立近代美術館

臨界をめぐる6つの試論　増田　玲

§作家インタビュー§　伊奈　英次

〃　小野　規

〃　浅田　暢夫

〃　北野　謙

〃　鈴木　崇

〃　向後　兼一

霊験仏—鎌倉人の信仰世界—　神奈川県立金沢文庫

総説　霊験仏—鎌倉人の信仰世界—　瀬谷　貴之

《作品紹介》称名寺光明院所蔵　運慶作　大威徳明王坐像　〃

歴史のなかの鉄砲伝来　種子島から戊辰戦争まで　国立歴史民俗博物館

南蛮という意識　坂本　満

美術史からみた炮術書　澤田　和人

ロダンの系譜　近代西洋彫刻の流れ　姫路市立美術館他

ロダンの系譜—西洋彫刻のモダニズムの起点としてのロダン　山田真規子

ロマノフ王朝と近代日本展　版画と写真でたどる日露交流—ロシア国立図書館所蔵品より　日露修好150周年記念　長崎歴史文化博物館他

露日交流の歴史をひもといて　エレナ・バルハトヴァ、デニス・ゾロヴィエフ　高　晟埈　訳

ロシア国立図書館コレクションの美術史的意義—彩飾写本、版画、写真を中心に—　高　晟埈

(ワ行)

我が心の陶芸　Tomo Collection　菊池寛実記念智美術館

「智コレクション」への想い　菊池　智

和歌祭—祭を支えた人々、祭に込めた思い—　和歌山県立博物館

和歌祭とは、どのような祭礼であったのか　前田　正明

和ガラスの心—勾玉からびいどろ・ぎやまんまで—　MIHO MUSEUM

ガラスを取り巻く風景—飛鳥時代から室町時代まで、展示作品を中心に—　東　容子

びいどろ・ぎやまんのある情景　岡　泰正

蜜柑水壜覚書　庄司　太一

私のいる場所　新進作家展 Vol. 4

ゼロ年代の写真論　東京都写真美術館

§作家の言葉§　ジャン＝ポール・ブロヘス

〃　アンニ・エミリア・レッパラ

〃　塩田　千春

〃　エリナ・ブロテルス

〃　染谷亜里可

〃　アントワーン・ダガタ

〃　原　美樹子

〃　サボー・シャロルタ

〃　池田　晶子

〃　姜　愛蘭

〃　ジャクリーヌ・ハシンク

〃　ニコール・トラン・バ・ヴァン

〃　セカンドプラネット

〃　みうらじゅん

〃　ロモグラフィー

ワタシ　ハ　ワタシ　中村　浩美

吾、天下を佐治す—大王と豪族—　滋賀県立安土城考古博物館

吾、天下を佐治す—五世紀の大王と豪族—　大橋　信弥

泉塚越古墳と植遺跡—倭王権の地域支配における二つの方法—　細川　修平

作家展

(ア行)

亜欧堂田善の時代　府中市美術館

亜欧堂田善の創作とその時代　金子　信久

亜欧堂田善の風俗趣味の加わった風景図　成瀬不二雄

江戸時代の洋風表現の命運　坂本　満

秋山俊也　日光アール・ブリュット　創造の根源を求めて　小杉放菴記念日光美術館

秋山俊也氏の絵画世界　田中日佐夫

唇　森　河　伊坂幸太郎

ドキュメント福島　日本の視点、福島との対話[朝岡あかね／瀬戸正人／津田直]　福島県立美術館

「ドキュメント福島」展に寄せて　酒井　哲朗

福島をめぐる三つのアプローチ　荒木　康子

噂としてのUFO 2006　朝岡あかね

HOME……故郷　瀬戸　正人

「日　月　五星」　津田　直

「流星」　〃

足立知美　2004—2005　ギャラリー新居(大阪)他

§作家の言葉§　足立　知美

境界の風景　阿部佳明・市川美幸・滝波重人　横須賀市文化会館市民ギャラリー

新たな制作のまえに　阿部　佳明

「不可視の領域へ」—日常と非日常の狭間から　藤嶋　俊會

阿部佳明の作品について　工藤　香澄

わたしの空想癖1—ヨシダ・ミチコの場合　市川　美幸

終点のない視線　杉田　敦

そして、私たちは何を見るのか―　立浪左和子
絵画 1991―2006、層へ　滝波　重人
汽水域　〃
滝波重人《汽水域》シリーズにかんするノート　北澤　憲昭
滝波重人の10年を振り返るために　日野原清水

黙示　新正卓展　武蔵野美術大学退任記念　武蔵野美術大学美術資料図書館

黙示　新正卓論　大日方欣一
沈黙の叙法　大嶋　浩

飯田善國―版画と彫刻　詩の光・色のかたち　町田市立国際版画美術館他

「原型」へ向かう意思　青木　健
距離を抱擁する―飯田善國試論―　川島　憲二
飯田善國による飯田善國―1988　山田　敦雄
自我を超えて―飯田善國の苦闘とヴィジョンの到来　滝沢　恭司
飯田善國の版画　髙木　幸枝

池田宗弘彫刻展　旅人・雨上がる―過ぎて来た村―　今治市大三島美術館／ところミュージアム大三島

スペインの風　三上　満良

石井林響展　房総ゆかりの画家　後援団体「総風会」を中心に　城西国際大学水田美術館

石井林響と郷土の人々　加藤　時男
作品解説　画風変遷を追いながら　堀内　瑞子　吉田　恵理

「不可視」　石川智弥　東京芸術大学取手キャンパス

§作家の言葉§　石川　智弥
§作家評§　小谷　元彦

市川晶子展　さまざまな眼149　かわさきIBM市民文化ギャラリー

画面と名ざし　平井　亮一

境界の風景　阿部佳明・市川美幸・滝波重人　横須賀市文化会館市民ギャラリー

伊東深水展　美術館「えき」KYOTO他

美人画家　伊東深水　内山　武夫
伊東深水の歩み　島田　康寛

「素顔の伊東深水」展～Y氏コレクションから　目黒区美術館

素顔から見る伊東深水の画業　正木　基
Y氏語る：私のコレクションについて（インタビュー）　正木　基　談話筆記
伊東深水の『南方風俗スケッチ』と軍事郵便絵葉書を巡って　正木　基

伊藤草白展　生誕110年記念　笠岡市立竹喬美術館

伊藤草白の画業　上薗　四郎

三つの個展　伊藤存×今村源×須田悦弘　国立国際美術館

奔放な糸・イメージからの逸脱　中井　康之
シワとシダ　島　敦彦
一期一会　須田悦弘　加須屋明子

伊東豊雄　建築　新しいリアル　東京オペラシティアートギャラリー他

生命とテクノロジー　多木　浩二
伊東豊雄を学ぶ　セシル・バルモンド
新しいリアル―現代建築に物質（もの）の力を回復するために　伊東　豊雄
解説　伊東豊雄のデザインの軌跡　キューブ崩し、あるいはキュービズム建築をめざして　長谷川　堯

三つの個展　伊藤存×今村源×須田悦弘　国立国際美術館

いわさきちひろ展　富山県水墨美術館

色の世界から墨の地平へ　八木　宏昌

宇治山哲平展―絵に遊び、絵に憩う　東京都庭園美術館

宇治山哲平の芸術　井関　正昭
華厳なる宇治山哲平―世界画ポリフォニック・カーニバル　松岡　正剛
題不詳（未発表原稿／1949年３月）　宇治山哲平
画家をめぐる三つの断章　中原　淳行
年譜　加藤　康彦　編

浮世絵美人画の魅力　国貞・国芳・英泉　高橋博信コレクション受贈記念［歌川国貞／歌川国芳／溪斎英泉］　北海道立近代美術館

浮世絵美人の粋（いき）・侠（きゃん）・婀娜（あだ）―国貞・国芳・英泉の美人画―　小林　忠
高橋博信コレクションについて　水上　武夫

東海道・木曾街道　広重二大街道浮世絵展［歌川広重］　千葉市美術館他

江戸庶民の臥遊の山水―街道浮世絵の楽しみ　小林　忠
浮世絵版画　初摺の研究―広重保永堂版「東海道五拾三次之内」と広重英泉「木曾街道六拾九次之内」―　稲垣　進一
『甲州日記写生帳』の発見について　市川　信也
江戸近郊八景之内の考察　〃
広重の甲州旅行　井澤英理子
「木曾街道六拾九次」の刊年について　浅野　秀剛

広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展～歌麿・写楽から幕末バラエティーまで～　茨城県天心記念五浦美術館

東海道浮世絵グラフィティ　中右　瑛
浮世絵Q&A　歌川広重「東海道五拾三次」の謎と魅力　中右　瑛　話

内田あぐり　この世でいちばん美しい場所、あるいは―　平塚市美術館

メイルインタビュー：内田あぐり×草薙奈津子　内田あぐり　草薙奈津子
内田あぐり―混沌と浄化―　土方　明司

浦上玉堂　岡山県立美術館他

浦上玉堂の生涯　守安　收

南画／文人画／南宗画を横断する浦上玉堂の画風変遷　佐藤　康宏

浦上玉堂のパフォーマンス　小林　忠

明治の彫金—海野勝珉とその周辺　宮内庁三の丸尚蔵館

明治の彫金—海野勝珉とその周辺　岡本　隆志

明治天皇御下命による「三大作」について　五味　聖

遠藤彰子展　Akism—生命を謳う　茨城県つくば美術館

遠藤彰子の芸術—遠い日の世界　舟木　力英

大岩オスカール幸男展　見えない反射　池田20世紀美術館

「見えない反射」　大岩　オスカール幸男

大竹伸朗全景　1955—2006　東京都現代美術館

大竹伸朗論　「既にそこにあるもの」をめぐって　藪前　知子

存在と時間　大竹伸朗の音世界　湯浅　学

大竹伸朗　年譜・参考文献　1955—2006　岡村　恵子

時々の音楽　大竹伸朗選曲集　小関　学

大野五郎—画業80年の軌跡—　八王子市夢美術館

五郎さんのこと　司　修

岡岷山　没後二百年記念　広島城

岡岷山について　前野やよい　玉置　和弘

岡義実展　印象派の旅25回　小田急(新宿)

§作家の言葉§　岡　義美

岡田由希展　西部新人美術作家後援会第2回下関展示　下関市立美術館

～空の記憶～　岡田　由希

岡本太郎の絵画　衝動から実現まで展　川崎市岡本太郎美術館

岡本太郎の画面構成について　佐々木秀憲

小川信治展—干渉する世界—　国立国際美術館

小川信治の「世界」　平芳　幸浩

荻須高徳展　没後20年　神戸市立小磯記念美術館他

荻須高徳の画業　山田美佐子

1930年代前半の荻須～フロランタン著『オギス、巴里の画家』を中心に～　廣田　生馬

(カ行)

笠木絵津子展　現代郷土作家展　姫路市民ギャラリー

§作家の言葉§　笠木絵津子

笠松宏有—笠松宏有回顧展—　東京セントラル美術館

§作家の言葉§　笠松　宏有

追悼　笠松宏有君を想う　絹谷　幸二

父が隠していたこと　清水知恵子

広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展～歌麿・写楽から幕末バラエティーまで～[葛飾北斎]　茨城県天心記念五浦美術館

陶のシルクロード　加藤卓男の陶芸展　岐阜県現代陶芸美術館他

ペルシア陶器と加藤卓男さん　谷一　尚

三彩の道—唐三彩・奈良三彩—　弓場　紀知

加藤卓男の陶芸—残された旅日記から—　髙　満津子

山形の風土を愛した画家　金山平三・山形の風景展　天童市美術館

金山平三の歩いた山形　池田　良平

金子鷗亭の書　生誕100年記念　北海道立函館美術館

§展覧会に寄せて§　中野　北溟

金子潤　岐阜県現代陶芸美術館他

金子潤の芸術におけるヴィジョンと精神　アーサー・C・ダント　橋本　啓子訳

オハマ・プロジェクト—陶芸家・金子潤私論—　榎本　徹

金子潤　作品論に向けての断章　安來　正博

「ダンゴ」という自画像　岩井美恵子

幕末の怪しき仏画—狩野一信の五百羅漢図　東京国立博物館

概説　東京国立博物館所蔵　五百羅漢図　沖松健次郎

概説　狩野一信の伝記とその作品　松嶋　雅人

加納光於《充ちよ、地の髭》2005—'06—W・B頌　ギャルリー東京ユマニテ

§作家の言葉§　加納　光於

デザイン・日本・亀倉雄策　宇都宮美術館

亀倉雄策のデザイン　永井　一正

情報の芸術家　羽原　肅郎

亀倉先生から盗んだもの　上原　昌

亀倉雄策とスキー　宮崎　俊英

亀倉雄策の眼力　勝井　三雄

デザイン・日本・亀倉雄策　前村　文博

加守田章二と竹内彰—大甕陶苑からの出発　日立市郷土博物館

現代陶芸史における加守田章二と竹内彰　外舘　和子

大甕陶苑からの出発—加守田章二と竹内彰の足跡　大森　潤也

柄澤齋展　版画、オブジェ、水彩、本　1971—2006　栃木県立美術館他

イメージの血統—柄澤齋の仕事　山梨　俊夫

柄澤齋—宇宙の輪舞(ロンド)　小勝　禮子

溶暗を揺らす—柄澤齋論、あとがきのように　水沢　勉

「城」にて　柄澤　齋

ロダンとカリエール　考える人・彫刻家・画家　世紀末に生きた創造者たちの手と精神[ウジェーヌ・カリエール]　国立西洋美術館

「現実の幻視者」、ロダンとカリエール　大屋　美那

自我の不法侵入：肖像芸術家ロダンとカリエール　エマニュエル・エラン　吉田　紀子　訳

カリエール、ロダン、象徴主義　ロドルフ・ラペッティ　坂口　哲啓　訳

ロダンとカリエール、いくつかの共通点　アントワネット・ル・ノルマン＝ロマン　小倉　孝誠　訳

川崎小虎と東山魁夷展　三越(日本橋)他

川崎小虎と東山魁夷展に寄せて　心にひびく小虎先生の声　髙山　辰雄

川崎小虎と東山魁夷　田中　晴久

川島清展　水量 II　ギャルリー東京ユマニテ

川島清の三つの彫刻　前田　英樹

北村昭斎―漆の技―　奈良国立博物館

職人の手・芸術家の心・研究者の目―北村昭斎の漆芸　白石　和己

北村昭斎の芸術　金子　賢治

北村昭斎―吉田・北村家三代にわたる漆芸の伝統　内藤　栄

北村昭斎の復元模造制作　清水　健

北村昭斎　正倉院宝物の模造と修理　西川　明彦

北村昭斎―修理技術者としての道のり　鈴木　喜博

沖縄の壺体　國吉清尚　早稲田大学會津八一記念博物館

桜坂の清尚　丹尾　安典

父の思い出　秋本真由美

國吉清尚のこと　比嘉　正詔

聞書き・國吉清尚　國吉　シヅ、國吉　清雲、本竹　裕助、國吉　安子、仲里　健、大見謝恒慈路、金城　葉子　丹尾　安典　文責

国吉康雄展　岡山県立美術館

二つの世界の狭間で　民衆文化、アイデンティティ、ヤスオ・クニヨシのアメリカ美術　ゲイル・レヴィン　妹尾　克己　訳

国吉康雄《ミスターエース》小考　廣瀬　就久

山名文夫と熊田精華展　絵と言葉のセンチメンタル　目黒区美術館

山名文夫と熊田精華の絵と言葉―1920～1970年代の書簡から　矢内みどり

投稿画と洋画研究所―浅田草太郎と山名文夫　五十殿利治

『CHOCOLATE』時代の山名文夫と熊田精華の交流　井上　芳子

フラヌール誕生―1920年代の山名文夫、熊田精華宛書簡から見る　水沢　勉

山名文夫と資生堂のデザイン　小宮　重美

熊田精華―《僕等の芸術》の行方―　東　順子

山名文夫と詩人たち　木股　知史

山名文夫書簡など書き起こし文と註　五十殿利治　水沢　勉　井上　芳子　矢内みどり

熊田精華書簡など書き起こし文

熊田千佳慕展　花、虫、スローライフの輝き　目黒区美術館

柳に雪折れなし(熊田千佳慕展によせて)　奥本大三郎

幸福論としての熊田千佳慕　矢内みどり

日本工房時代の熊田五郎　堀　宜雄

パウル・クレー　創造の物語　川村記念美術館他

眼の生とともに―パウル・クレー　創造の物語　後藤　文子

パウル・クレーにおけるオーバーラップ―もう一つの制作論とガラス絵　前田富士男

ノルトライン＝ヴェストファーレン美術館のパウル・クレー・コレクション　アネッテ・クルスツィンスキー　後藤　文子　訳

パウル・クレーとルドルフ・イーバッハ美術コレクション　ザビーネ・フェーレマン　後藤　文子　訳

ハノファーのシュプレンゲル美術館におけるパウル・クレー　ウルリヒ・クレンペル　後藤　文子　訳

パウル・クレーと日本―魅せられた人々をめぐって　西村　勇晴

カミーユ・クローデル　1864―1943　運命の凝縮されたかたち　メルシャン軽井沢美術館他

未来のカミーユ―ロダンの彼方へ　髙橋　幸次

カミーユ・クローデル―彫刻の空間をめぐって　山村　仁志

桑山玉洲　和歌山市立博物館

桑山玉洲―新出資料と画業―　近藤　壮

資料

桑山忠明ワンルームプロジェクト2006　愛知県美術館／名古屋市美術館

桑山忠明：作品から空間へ　市川　政憲

浮世絵美人画の魅力　国貞・国芳・英泉　高橋博信コレクション受贈記念[渓斎英泉]　北海道立近代美術館

スペースピクトグラムの試論　劇場空間の基点を探る[小石新八]　武蔵野美術大学美術資料図書館

ごあいさつにかえて　小石　新八

虚実の象徴としての「劇場空間」―小石新八の構想する宇宙　及部　克人

中国と私　小石　新八

小杉小二郎—巴里／日光　ふりむけば放菴　小杉放菴記念日光美術館

小杉小二郎氏の人と作品　田中　正史

二世五姓田芳柳と近代洋画の系譜—近代の歴史画の開拓者—明治神宮外苑奉献80年記念特別展　明治神宮文化館

近代洋画の源流・二世五姓田芳柳の画系とその功績—歴史絵図パノラマから聖徳記念絵画館壁画の誕生へ　岡部　昌幸

明治神宮聖徳記念絵画館の形成と阪谷芳郎　佐藤　一伯

小堀鞆音と近代日本画の系譜—勤皇の画家と「歴史画」の継承者たち　明治神宮文化館

「歴史画」の確立者・小堀鞆音と近代日本画の系譜　岡部　昌幸

鞆音の畫業を貫くもの　小堀桂一郎

光の水墨画　近藤浩一路の全貌　練馬区立美術館他

父の思い出　近藤　暾

近藤浩一路の画業—院展時代を中心に　平林　彰

「本当の漫画」の意味するもの　野地耕一郎

浩一路と洋画、あるいは西洋　和田佐知子

十勝の新時代 IX　近藤みどり展　北海道立帯広美術館

イデアに形を与える—近藤みどりの制作　苫名　真

今野忠一展　こころの山河　追悼　天童市美術館

父の思い出　今野　怜子　バウアー・美智子　今野一比古　今野彰比古

（サ行）

齋藤研の軌跡展　アポリアへの挑戦　川越市立美術館

現代を呼吸し自然を愛でる—齋藤研のスリリングな画面装置—　ワシオトシヒコ

愛の人　入江　観

フィンランドのキュレーター・ROGER GUSTAFSSON様　齋藤　研

日本とフィンランドの出逢い　ロジャー・グスタフソン

斎藤美奈子・作間敏宏　2人展　さまざまな眼148　ダイアローグ　かわさきIBM市民文化ギャラリー

生体からの視線・生体への視線　中村　英樹

ART TODAY 2006　齋藤芽生　曽谷朝絵　セゾン現代美術館

「気配」の地球の博物学　齋藤　芽生

レシピ：身体感覚　曽谷　朝絵

坂本繁二郎展　石橋美術館開館50周年記念　石橋美術館他

序にかえて　富山　秀男

坂本繁二郎—生涯と芸術　植野　健造

東京を、20年で通り抜けた坂本繁二郎　貝塚　健

帰国、そして久留米から八女へ　田内　正宏

平凡のなかの非凡—坂本繁二郎のまなざし—　森山　秀子

坂本繁二郎装本の仕事　後藤　純子

坂本繁二郎の東京時代—美術館、文学者との交流　貝塚　健　編

坂本繁二郎滞欧期旅程一覧　尾籠　恵子　編

坂本繁二郎旧蔵図書　後藤　純子　編

坂本繁二郎年譜　植野　健造　編

斎藤美奈子・作間敏宏　2人展　さまざまな眼148　ダイアローグ　かわさきIBM市民文化ギャラリー

郷土作家シリーズVIII　佐々木宗一郎展　秋田県立近代美術館

佐々木宗一郎・その生涯と創作活動　木村　雅洋

佐藤敬展　生誕100周年記念　大分市美術館

遙かなる時間の中の父・佐藤敬生誕100周年記念展覧会によせて　岸井　真弓

佐藤敬—生活に根ざす制作を求める求道者—戦前までを中心に　山梨絵美子

佐藤敬の日記・手紙

佐藤太清回顧展—終わりのない旅—　板橋区立美術館

祖父の思い出　安田　晴美

生命がこぼれる瞬時を捉えて～佐藤太清の画業～　安村　敏信

佐藤太清回顧展によせて　佐藤さおり

佐藤朝山展　甦る近代木彫の鬼才—横山大観が天才と讃えた男—　小平市平櫛田中彫刻美術館他

佐藤朝山—天平の幻影—　籔内佐斗司

彫刻家・佐藤朝山の実像を求めて　藤井　明

《和気清麻呂像》完成後から《天女像》前夜まで　増渕　鏡子

平櫛田中／佐藤朝山　その交友　青木　寛明

ラインハルト・サビエ展《暗い森》　東邦画廊

サビエ新作の意義　針生　一郎

暗い森　ラインハルト・サビエ　針生　一郎　訳

手描き入りデジタル版画のオリジナリティ　針生　一郎

§サビエへの手紙［英文］§　〃

§針生一郎への手紙［英文］§　ラインハルト・サビエ

澤野水纓展　高島屋（日本橋）

澤野水纓の近作絵画—平和の中で維持する自然の力に情熱をかける　富井　玲子

嶋田しづ　5月の芳醇—未来より現在に　フジテレビギャラリー

§作家の言葉§　嶋田　しづ

下村観山展—観山と三溪　三溪園開園100周年記念特別展　三溪記念館

下村観山をめぐる二人—天心と三溪　佐藤　道信

三溪の観山支援

マルク・シャガール—ラ・フォンテーヌの『寓話』—　川村記念美術館

フランス的思考とラ・フォンテーヌの『寓話』　鹿島　茂

シャガールの《寓話》—モノクロームと色彩の間　横山由紀子

時代を映す鏡としての《寓話》絵画史　〃

私はラ・フォンテーヌの『寓話』を出版したシャガールを挿絵画家として選ぶ　アンブロワーズ・ヴォラール

シャガール　『アレコ』とアメリカ亡命時代　青森県立美術館開館記念展　青森県立美術館

シャガール、そのアメリカ時代　ジャン＝ミシェル・フォレ　黒岩　恭介訳

《抵抗》、《復活》、《解放》—シャガールのアメリカ時代の傑作—　ベンヤミン・ハルシャフ　黒岩　恭介訳

シャガールとバレエ　ベラ・マイヤー　黒岩　恭介訳

バレエ『アレコ』の背景画について—アメリカ美術との関連—　黒岩　恭介

シャガールの「トランス」　アメリカ時代の作品にみる亡命者の表象　高橋しげみ

ドガ、ダリ、シャガールのバレエ—美術の身体表現　ポーラ美術館

幻想としての身体—《バレエ『限りある宇宙』のためのデッサン》まで　三浦　雅士

ドガ、ダリ、シャガールのバレエ—美術の身体表現　岩崎余帆子

ピカソ・マティス・シャガール…巨匠が彩る物語。　うらわ美術館

ちょっと、美術館へ　吉本　麻美

アルベルト・ジャコメッティ　神奈川県立近代美術館(葉山)他

「見えるまま」への冒険、矢内原伊作とともに—アルベルト・ジャコメッティ展によせて　山梨　俊夫

芸術家、その妻、そしてモデル　ヴェロニク・ヴィージンガー

ジャコメッティとヤナイハラ—危機と打開　ヴァレリー・J・フレッチャー

未知なるヤナイハラ　武田　昭彦

ジャコメッティ作品への理解　鈴木　尊志

矢内原伊作資料の調査から—『ジャコメッティとともに』出版のプロセスを中心に　李　美那

ジャコメッティとの出会い—日本に紹介されたジャコメッティ　江上　ゆか

杉浦康益　陶の植物園　菊池寛実記念智美術館

陶の花に命を吹き込む　花里　麻理

器からオブジェへ—〈陶の博物誌〉にいたる軌跡—　山田　智代

「流動」鈴木勲個展　4th in *tension　東京芸術大学取手キャンパス

§作家の言葉§　鈴木　勲

鈴木勲さんのこと　長浜　明宏

鈴木信太郎展　親密な空間、色彩の旅人　そごう美術館他

忘れられた画家、鈴木信太郎—その生涯と作品について　森谷　美保

八王子時代の信太郎　淺沼　墨

曽宮一念と鈴木信太郎　河内えり子

須田剋太展—生命の讃歌—生誕一〇〇年記念　明石市立文化博物館他

須田剋太の人と芸術観　木村　重信

須田剋太—造型根源への旅路　槇村　洋介

須田剋太の書—原点は古代文字・王羲之・竜門造像記　牛丸　好一

三つの個展　伊藤存×今村源×須田悦弘　国立国際美術館

雪舟への旅　没後500年記念　第21回国民文化祭・やまぐち2006特別企画展　山口県立美術館

「雪舟への旅」へ　島尾　新

雪舟と山口　荏開津通彦

ドキュメント福島　日本の視点、福島との対話[朝岡あかね／瀬戸正人／津田直]　福島県立美術館

不思議の国・沖縄と芹沢銈介　開館25周年記念　静岡市立芹沢銈介美術館

芹沢銈介と沖縄　與那嶺一子

不思議の国・沖縄と芹沢銈介　白鳥誠一郎

ART TODAY 2006　齋藤芽生　曽谷朝絵　セゾン現代美術館

(タ行)

高内秀剛の茶碗　ギャラリー長谷川

§作家の言葉§　高内　秀剛

高尾みつ展　青梅市立美術館

個展に通じる幾何抽象の気品と優美—高尾みつ画賛　瀧　悌三

高尾みつさんの絵　永井　信一

日本的抽象の精華　松平　修文

高田一夫—美術・民芸・生活—展　北九州市立美術館

高田一夫の生涯—美術・民芸・生活を貫く姿勢—　花田　伸一

境界の風景　阿部佳明・市川美幸・滝波重人　横須賀市文化会館市民ギャラリー

加守田章二と竹内彰—大甕陶苑からの出発　日立市郷土博物館

ヨロヨロン　東芋　原美術館

§作家の言葉§　東　芋

東芋—内に秘めた毒が美に昇華される時　茂木健一郎

「ヨロヨロン」—鏡のむこうの東芋　青野　和子

田淵安一—かたちの始まり、あふれる光— 神奈川県立近代美術館(葉山)

光の沼から生まれる〈かたち〉—田淵安一の絵画と思想	山梨　俊夫
マチスとの四時間の対話で解けた謎	田淵　安一
田淵安一の蕪村解読をめぐって	アラン・ケルヴェルン

ドガ、ダリ、シャガールのバレエ—美術の身体表現 ポーラ美術館

素景—陳若冰・平田五郎・尹熙倉— 資生堂ギャラリー

3つの「素」	岡村　知子

クリエイターズ—長大作／細谷巌／矢吹申彦　まだ見ぬ日常への案内者たち 世田谷美術館

生涯一デザイナー、長大作の真髄	桐山登士樹
細谷巌の世界	木島　俊介
矢吹申彦—夢の中の風景	伊集院　静
まだ見ぬ日常への案内者たち	野田　尚稔

エドゥアルド・チリーダ展　スペインが生んだ空間の詩人 長崎県美術館他

エドゥアルド・チリーダ—鉄からの発想	山梨　俊夫
宇宙への鍵—チリーダへの一考察	伊東　順二
チリーダ：沈黙と空間	コスメ・デ・バラニャーノ
空けられた／空間化された、彫刻—エドゥアルド・チリーダ、マルティン・ハイデッガーを想起しながら	水沢　勉
チリーダの理想郷：チリーダ＝レク美術館	毛利伊知郎

陳進展　台湾の女性日本画家　生誕100年記念 渋谷区立松涛美術館他

母の思い出	簾　成家
1930年代の陳進—1935年作《悠閒》から	林　柏亭
陳進の女性像と郷土色(ローカルカラー)—1930年代の作品を中心に	飯尾由貴子
陳進とその時代	味岡　義人

都路華香展 京都国立近代美術館他

都路華香展によせて	内山　武夫
華香の人と芸術	小倉　実子
華香絵画の多様性とその魅力—「波」の表現を中心として—	上薗　四郎
都路華香《十牛図》(株式会社ボークス所蔵)について	今井　淳

東京陶芸家　辻厚成　くつろぎの部屋 たばこと塩の博物館

東京陶芸家　辻厚成　BIOGRAPHY	半田　昌之
プロローグ	辻　厚成 日野　皓正 大倉正之助
エピローグ　夢	辻　厚志

ドキュメント福島　日本の視点、福島との対話[朝岡あかね／瀬戸正人／津田直] 福島県立美術館

デスティニー・ディーコン展 Walk and Don't look blak 東京都写真美術館

エピソード：どの写真にも笑いと涙がある	ナタリー・キング
人形の谷：デスティニー・ディーコンの作品表現におけるブラックユーモア	マルシア・ラングトン
エッセイ「人形のようにめかしこんで」	リチャード・ベル
インタヴュー「さらけ出して見せるほどの魂じゃない」	デスティニー・ディーコン ヴァージニア・フレイザー 聞き手
デスティニー・ディーコンの言葉	デスティニー・ディーコン
デスティニー・ディーコンという風穴：Walk & Don't look blak	丹羽　晴美

手塚雄二—花月草星展　現代日本画の探求者 高島屋(日本橋)他

「手塚雄二—花月草星展」によせて	平山　郁夫
対談	手塚　雄二 草薙奈津子

寺崎廣業展　生誕一四〇年 秋田県立近代美術館

寺崎廣業再見	保泉　充
日本画家・寺崎廣業をめぐる違和感—日本美術院との曖昧な訣別まで	山本　丈志
寺崎廣業年譜・関係文献	〃

寺畑助之丞と構造社　昭和初期彫刻の鬼才たち 松戸市立博物館

寺畑助之丞とその作品	田中　典子

ドガ、ダリ、シャガールのバレエ—美術の身体表現 ポーラ美術館

徳岡神泉　凝視の眼　生誕110年記念 笠岡市立竹喬美術館

神泉芸術の真化	上薗　四郎

徳冨満展　plus, minus, infinity 小山登美夫ギャラリー

徳冨満　plus, minus, infinity	東谷　隆司

戸田勝久—旅の手紙 ぎゃらりぃ思文閣

§作家の言葉§	戸田　勝久

富岡鉄斎展—厳しさと奔放さの芸術—布施美術館コレクションによる 飯田市美術博物館

富岡鉄斎の画と生涯	横村　洋介

富本憲吉展　生誕120年 京都国立近代美術館他

序	内山　武夫
富本憲吉の軌跡	松原　龍一
富本憲吉のデザイン—図案家としての富本憲吉	清水　真砂
富本と民芸—民衆の中の美の発見から量産の試行まで	柳田　高志
富本憲吉の技法	村山　閑
ある感動のなかのテイカカズラ	酒井　忠康
富本憲吉の祖師谷時代	海藤　隆吉

祖師谷の窯場　清水　真砂

豊島弘尚展　〈わたしと月と宙の花〉—熾りつづく風景—　池田20世紀美術館

豊島弘尚・極北人との白夜の対話　瀬木　慎一

豊島弘尚の絵画—その風土と神話の宇宙　谷　新

（ナ行）

仲村進展—大地と語り、牛に歌う　飯田市美術博物館

仲村進展によせて　髙山　辰雄

仲村進—大地と語り、牛に歌う　槇村　洋介

中村不折のすべて展　画家・書家生誕140年　長野県伊那文化会館

画家・書家　中村不折の足跡　林　誠

書道博物館—不折コレクションの終着点—　鍋島　稲子

名取洋之助と日本工房[1931—45]報道写真とグラフィック・デザインの青春時代　福島県立美術館他

日本工房を率いた名取洋之助　白山　眞理

「妄想」　新津亜土華　東京芸術大学取手キャンパス

§作家の言葉§　新津亜土華

妄想力　高橋　裕行

野田正明展　ニューヨークからのメッセージ　ふくやま美術館

野田正明の表現の軌跡　ニューヨークからのメッセージ　大前　勝信

伝統と革新　野田正明の宇宙光　ロバート・スティーヴン・ビアンキ

《アポロの鏡》、空間の指揮者　守屋　正彦

（ハ行）

銅版画家　長谷川潔展　作品のひみつ　横浜、そしてパリ　横浜美術館

長谷川潔展を迎えて　長谷川　幹

25年前に　イヴ・ドードマン

長谷川潔　芸術のひみつ　猿渡紀代子

長谷川潔の版画技法　沼田　英子

若き日の長谷川等伯～大法寺重要文化財仏画と新発見作品～　高岡市美術館

「若き日の長谷川等伯」展によせて　遠藤　幸一

浜田浜雄「これを何と呼ぶ？超現実的世界？」　米沢市上杉博物館

塗り込められた幻想　三輪田俊助

浜田先生の思い出　薬師神親彦

浜田浜雄の戦前の制作—その「二重性」について　大谷　省吾

浜田浜雄の日記　私自身の世界　沖田　友紀

林功展—幻の初期作品と郷土ゆかりの作品—　茂原市立美術館・郷土資料館

初期作品から見えてきた林功像　舛田　隆満

エルンスト・バルラハ　ドイツ表現主義の彫刻家　京都国立近代美術館他

「まるで女性との出会いのように、パリには興味をそそられる」　エルンスト・バルラハと世紀末の芸術の都　セバスティアン・ギーゼン　小林　圭、伊藤　幸子訳

エルンスト・バルラハの木彫作品《ベルゼルケル(戦士)》(1910年)をめぐって　フォルカー・プロプスト　ルッツ衣江訳

バルラハとドイツ中世彫刻　薩摩　雅登

ナチ時代のバルラハ　河合　哲夫

木から思考された彫刻—前衛芸術家バルラハ！　ヴェルナー・シュネル　岡野　彩子訳

「…人が世を通過するのか、世が人を通過するのか」　バルラハ作品における日本および東アジアの影響　アンドレア・フロム　脇坂　洋子訳

彼方に揺れ動く芸術家—日本におけるバルラハ受容考　池田　祐子

エルンスト・バルラハの演劇作品(解題)　市川　明

川崎小虎と東山魁夷展　三越(日本橋)他

ピカソ５つのテーマ　ポーラ美術館

ポーラ美術館のピカソ　荒屋鋪　透

ある伝説の知られざる部分—ピカソ、神話＝写真、オルタ・デ・エブロ、1909年夏　アンヌ・バルダッサリ　松岡新一郎訳

ピカソ　５つのテーマ—《葡萄の帽子の女》をめぐる５つの考察　今井　敬子

ピカソとセザンヌ　奥村　まき

《海辺の母子像》に隠された絵画　内呂　博之

ピカソと挿絵本　ジャンヌ＝イヴェット・シュドゥール　飛嶋　隆信訳

ピカソとモディリアーニの時代　リール近代美術館所蔵　愛媛県美術館他

フランスの収集家、ロジェ・デュティユールとジャン・マジュレル　ジョエル・ピジョディエ＝カポニコラ・シュルラピエール

変貌するひとのすがた　ピカソの版画　徳島県立近代美術館

ピカソの版画の段階刷り(ステート)に関する一考察　友井　伸一

ピカソ・マティス・シャガール…巨匠が彩る物語。　うらわ美術館

Art Spirit／くしろの造形５　久本春雄展　生誕110年　釧路市立美術館

「生誕110年久本春雄展」に寄せて　奥丘　茂雄

「釧路の風景は澄んでいるんだ」日本画家—久本春雄　瀬戸　厚志

素景—陳若冰・平田五郎・尹熙倉—　資生堂ギャラリー

深沢史朗展　自由を生きた画家　生誕100年記念　馬頭町広重美術館

深沢史朗の華麗なる「空生(くうう)」芸術　瀬木　慎一

晩年、自己からの脱出　サイトウ良

父の追憶　深澤　義人

吹田文明展　華麗なる木版画の世界
世田谷美術館他

不思議な懐かしさの感情　酒井　忠康

吹田文明《ボン》《花と星》　小倉　忠夫

吹田文明―雄渾華麗な木版画の魅力　富山　秀男

教師時代の吹田文明と戦後の美術教育　山本　朝彦

木版画の光―吹田文明の半世紀　竹内　利夫

ラワン・メゾチント法の確立　絵具の変遷と表現との関係　村上　由美

§作家インタビュー§　吹田　文明　勅使河原純　聞き手

紫の雨―福井爽人の世界　札幌芸術の森美術館

福井爽人の芸術世界―その仏教的洞察と造形を想う―　奥岡　茂雄

福井爽人―瞑想へいざなう絵画　土岐美由紀

福田半香展　田原市博物館

崋山から半香へ―その作画の背景―　金原　宏行

福田半香―人と芸術―　日比野秀男

福田半香と房総の文人たち　増山　禎之

藤田嗣治展　パリを愛した異邦人　生誕120年　東京国立近代美術館他

藤田嗣治について　尾崎　正明

皮膚を切り裂く―藤田嗣治のふたつのモチーフ　蔵屋　美香

藤田嗣治の地塗り―遺された画布とボード―　宮田　順一

古川龍生　栃木県立美術館所蔵　栃木県立美術館

古川龍生　田園のまどろみ、都会のまぼろし　竹山　博彦

フンデルトヴァッサー展　人と自然：ある芸術家の理想と挑戦　京都国立近代美術館他

合理主義に抗して　岡村多佳夫

クリエイターズ―長大作／細谷巌／矢吹申彦　まだ見ぬ日常への案内者たち　世田谷美術館

相馬の画人　堀池雲岳をめぐる世界
南相馬市博物館

福島の近世画人　川延　安直

（マ行）

前田政雄展　知られざる画業の全貌
北海道立函館美術館

前田政雄―その知られざる画業　大下　智一

増原宗一遺作展　夭折した幻の大正美人画家　没後78年　忘れられた画家シリーズ30　星野画廊

増原宗一について　菊屋　吉生

増原宗一の怪異とロマン　星野万美子

後記　星野　桂三

松田権六の世界　漆芸界の巨匠　人間国宝　人間国宝制度誕生50年
石川県立美術館他

松田権六の世界　嶋崎　丞

松田芸術の源泉と構成成分　金子　賢治

松田権六の美学―「やまと絵」の視点から　村瀬　博春

松田権六書簡―『蓬莱之棚』制作のころ　北村　仁美

ピカソ・マティス・シャガール…巨匠が彩る物語。［アンリ・マティス］
うらわ美術館

イメージの構築　ホルガー・マティス　ポスター展　武蔵野美術大学美術資料図書館

ポスターをつくる―他に何が必要？　ホルガー・マティス

ホルガー・マティス　概念の視覚化　新島　実

野の画人　丸山永畝の写生帖　世田谷区立郷土資料館

丸山永畝の人と画業　高杉　尚宏

丸山永畝の画系について　鈴木　泉

水越武写真展「大地への想い」　豊橋市美術博物館他

等身大の地球を描く　水越武とその作品　福原　義春

地平線への夢　水越　武

水越さんとの森歩き　高田　宏

水越武さんの仕事　田淵行男に学んだもの　近藤　信行

自然へのパスポートをもった写真家　杉本　誠

「間合」　三橋紀子　東京芸術大学取手キャンパス

§作家の言葉§　三橋　紀子

白の間合い―メビウスの帯　佐藤　時啓

萩焼の造形美　人間国宝　三輪壽雪の世界　東京国立近代美術館工芸館他

三輪壽雪論―「用的立体」と表現　金子　賢治

三輪壽雪伝略―作陶80年のあゆみ　石崎　泰之

土・釉・造形―「鬼萩」「休雪白」「割高台」　唐澤　昌宏

茶碗・表現・個性―三輪壽雪〈鬼萩割高台茶碗〉をめぐって　冨田　康子

壽雪と半泥子　榎本　徹

三輪壽雪インタビュー　三輪　壽雪　外舘　和子　聞き手

心豊かに　実篤の画讃に生き方を学ぶ　没後30年［武者小路実篤］　調布市武者小路実篤記念館

武者小路実篤の画賛　伊藤　陽子

村田朋泰展　俺の路・東京モンタージュ　目黒区美術館

村田朋泰展―俺の路・東京モンタージュ　家村　珠代

村山密展―パリを描いて半世紀―
茨城県近代美術館他

パリの巨匠・村山密　加藤　貞雄

ピカソとモディリアーニの時代　リール近代美術館所蔵　愛媛県美術館他

（ヤ行）

クリエイターズ―長大作／細谷巌／矢吹申彦　まだ見ぬ日常への案内者たち　世田谷美術館

山口勝弘展　メディア・アートの先駆者　「実験工房」からテアトリーヌまで　神奈川県立近代美術館他

§作家の言葉§	山口　勝弘
ヴィデオ・カメラの詩人	ヤシャ・ライハート
山口勝弘の1950―60年代―実験工房から環境造形へ	太田　泰人
メディア・アートが生まれるとき―山口勝弘とその時代	井口　壽乃
山口勝弘のパフォーマンス	クリストフ・シャルル
山口勝弘の仕事	太田　泰人編 井口　壽乃協力
山口勝弘自筆文献	井野　功一編

山口長男・脇田和展―A氏コレクションより―　大川美術館

A氏によるコレクション雑感	
A氏コレクションと山口長男と脇田和	春原　史寛

山口蓬春―伝統とモダンの融合―日本画の変革者　神奈川県立近代美術館(葉山)

伝統とモダンの融合―山口蓬春の芸術	橋　秀文
暴力と沈黙―山口蓬春の《香港島最後の総攻撃図》をめぐって	水沢　勉
山口蓬春と葉山	笠　理砂

山田脩二の軌跡―写真、瓦、炭…　兵庫県立美術館

写真家山田脩二はるばると……	多木　浩二
…三筋、四筋の旅	山田　脩二
山田脩二　小論	石山　修武
いまさら広場なんて……	磯崎　新
山田脩二の軌跡	山崎　均

山名文夫と熊田精華展　絵と言葉のセンチメンタル　目黒区美術館

山本丘人展　開館15周年記念　日本画の巨匠　平塚市美術館

山本丘人―自我をまさぐる近代人・永遠にまよえる現代人	草薙奈津子
丘人の渡欧―画家はなにをみたのか―	勝山　滋
丘人先生の思い出	髙山　辰雄
丘人先生を想う	稗田　一穂
山本丘人先生の深渕	毛利　武彦
丘人先生が助教授として来られた頃の美校の思い出	川崎　鈴彦
山本丘人の落款印章	勝山　滋

山本昇雲展　東京初公開　高知県立美術館所蔵　太田記念美術館

絵はがきと日記にみる昇雲の人柄―山本晴子氏所蔵資料より	日野原健司

山本森之助展　長崎の美術２　長崎が生んだ風景画家　長崎県美術館

山本森之助の芸術と生涯	森園　敦

素景―陳若冰・平田五郎・尹熙倉―　資生堂ギャラリー

横山大観展　近代日本画の巨匠　福岡市美術館

横山大観の人と芸術	細野　正信
はじめての大観	古田　亮
大観の知られざる素顔	横山　隆

再考・萬鉄五郎展　萬鉄五郎記念美術館

紗幕の先の肖像	村上　善男
萬鉄五郎、その突破口―新出の写真資料をめぐって	水沢　勉
断章・萬鉄五郎が撮った写真	田中　淳
萬鉄五郎「もたれて立つ人」そのキュビスムの要点	
美術解剖学(骨・筋)人体美学(方位の同存化表現)による分析	伊藤　昌夫

（ラ行）

ルオーとローランサン―パリの踊り子たち　松下電工汐留ミュージアム

パリの踊り子たち	鹿島　茂
ルオーとローランサンを結ぶもの～ディアギレフのバレエ・リュス～	芳賀　直子
ルオーと踊り子―「失われた楽園」を求めて	増子　美穂
マリー・ローランサンの踊り子～トリストゥーズ・バルリネットの生涯	富安　玲子

ルソーの見た夢、ルソーに見る夢　世田谷美術館他

「ルソーの見た夢、ルソーに見る夢」について	酒井　忠康
ルソーの１世紀―アンリ・ルソーと日本の近・現代美術	遠藤　望
清澄な夢―松本竣介とアンリ・ルソー	村上　博哉
アンリ・ルソー憧憬―植田正治と日本光画協会の写真家たち	蔦谷　典子

ロダン―創造の秘密―白と黒の新しい世界　フランス国立ロダン美術館コレクション　岩手県立美術館他

ロダン：黒と白	フランソワ・ブランシュティエール
記念像	アントワネット・ル・ノルマン＝ロマン
地獄の門	〃
肖像彫刻	エレーヌ・マロー
アサンブラージュ	アントワネット・ル・ノルマン＝ロマン

手と四肢　エレーヌ・マロー

古代美術品、この黒と白の断片　ベネディクト・ガルニエ

ロダン、色彩、白と黒　素描と版画　クリスティーナ・ビュレイ＝ユリブ　ジャック・ヴィラン

ロダンと写真「調和した光と影のコントラスト」の探究　エレーネ・ピネ

《青銅時代》をめぐるスキャンダル　泰井　良

饒舌なる手　安井　裕雄

ロダンとカリエール　考える人・彫刻家・画家　世紀末に生きた創造者たちの手と精神　国立西洋美術館

（ワ行）

山口長男・脇田和展—A氏コレクションより—　大川美術館

ART TODAY 2006　和田賢一　渡邉野子　セゾン現代美術館

〈ATOMIC-ANGEL〉あるいは〈後期の仕事(スタイル)〉　和田　賢一

ベルリンの空に向かって　渡邉　野子

渡辺安友展　宇都宮美術館

渡辺安友の人と芸術　谷　新

渡辺安友の絵画世界　浜崎　礼二

渡辺力　リビング・デザインの革新　東京国立近代美術館

「器官」としての家具—渡辺力のデザイン　北村　仁美

団体展

国展80回　東京都美術館他

極点通過後の課題　瀬木　慎一

女流画家協会60周年記念展—歩みと展望—　上野の森美術館

第60回女流画家協会展を迎えて　入江　一子

女流画家協会の創立とその展開　岡田　節子

大調和展45回　東京都美術館他

—魂の救済を求めて—第45回記念大調和展を祝う　林　紀一郎

第45回記念大調和展に寄せて　安井　収蔵

物　故　者

索　　引（50音順）

秋　　玲　二(漫　2月24日　95歳)
浅　見　筧　洞(書　1月27日　90歳)
麻　生　花　児(洋　3月11日　69歳)
阿　部　平　臣(洋　5月12日　85歳)
網　干　善　教(学　7月29日　78歳)
天　野　三　郎(洋　10月17日　87歳)
飯　島　敬　芳(書　3月5日　95歳)
飯　田　善　国(彫　4月19日　82歳)……368
石　川　　賢(漫　11月15日　58歳)
井　田　照　一(美　6月5日　64歳)……372
井　手　三千男(写　6月26日　65歳)
岩　澤　蕙　堂(書　2月21日　79歳)
大　国　章　夫(洋　10月3日　83歳)
大　島　清　次(評　11月23日　82歳)……380
大　野　篁　軒(書　9月15日　80歳)
大　野　五　郎(洋　3月7日　96歳)……366
岡　部　徳　三(版　6月9日　74歳)
小　川　マ　リ(洋　5月8日　104歳)
織　田　音　也(その他　1月25日　85歳)
片　桐　頼　継(学　10月15日　49歳)……378
堅　田　　直(学　8月15日　79歳)
加　藤　芳　郎(漫　1月6日　80歳)
金　山　　明(美　9月2日　82歳)……376
金　子　卓　義(書　3月30日　63歳)
川　合　三　男(美関　3月19日　55歳)
川　上　　涇(学　1月18日　85歳)……363
河　原　　淳(その他　1月3日　76歳)
木　内　　綾(工　11月5日　82歳)
北　山　泰　斗(洋　7月2日　75歳)
清　水　九兵衛(彫　7月21日　84歳)……373
こうの　このみ(洋　5月21日　80歳)
小　篠　綾　子(デ　3月26日　92歳)
古　城　武　司(漫　2月8日　67歳)
後　藤　狷　士(学　2月13日　86歳)
小　林　三　郎(学　11月5日　69歳)
小宮山　　俊(日　9月12日　88歳)
今　野　忠　一(日　4月15日　91歳)……368
齊　藤　顯　治(彫　4月11日　73歳)
酒　井　不二雄(洋　7月14日　87歳)
佐　熊　桂一郎(洋　7月31日　77歳)
佐　藤　圀　夫(日　1月24日　83歳)……364
佐　原　和　行(洋　3月6日　60歳)
塩　多　慶四郎(工　9月24日　80歳)……377
篠　田　瀞　花(書　3月14日　84歳)
篠　原　一　男(建　7月15日　81歳)……373
柴　田　光　男(美関　1月22日　82歳)
芝　田　米　三(洋　5月15日　79歳)……370
白　畑　よ　し(学　6月2日　99歳)……371
新　谷　琇　紀(彫　8月31日　69歳)
關　　千　代(学　12月16日　85歳)……381
芹　沢　長　介(学　3月16日　86歳)
宗　　左　近(評　6月20日　87歳)
平　　カズオ(写　6月4日　57歳)
高　田　　修(学　10月27日　99歳)……379
高　原　栄　人(洋　5月1日　79歳)
建　畠　覚　造(彫　2月16日　86歳)……365
田　中　照　三(その他　9月7日　92歳)
田　中　稔　之(洋　8月7日　78歳)……374
月　形　那比古(美　8月16日　83歳)
坪　内　滄　明(日　7月13日　67歳)
東　儀　　一(洋　11月12日　80歳)
徳田　ザウルス(漫　3月23日　47歳)
富　永　直　樹(彫　4月11日　92歳)……367
鳥　居　敏　文(洋　8月15日　98歳)……375
長　島　南　龍(書　3月23日　87歳)
長　友　健　二(写　7月30日　74歳)
中　野　　豪(その他　5月11日　50歳)
長　宗　希　佳(洋　4月21日　69歳)
夏　目　四　郎(美関　7月27日　81歳)
並　河　萬　里(写　5月7日　74歳)……370
西　山　三　郎(その他　3月4日　75歳)
林　　巳奈夫(学　1月1日　80歳)……363
林　　宗　毅(美関　4月3日　83歳)……367
はら　たいら(漫　11月10日　63歳)
氷　田　光　風(書　11月9日　89歳)
平　川　敏　夫(日　5月14日　81歳)……370
広　川　青　五(工　9月13日　83歳)
広　瀬　　功(洋　2月16日　84歳)
福　部　信　敏(学　11月1日　68歳)……380
藤　田　西　洋(洋　6月2日　65歳)
藤　本　四　八(写　8月19日　95歳)……376
藤　原　吉志子(彫　10月24日　64歳)
細　見　　実(美関　6月11日　84歳)
本　間　寅　雄(美関　1月4日　79歳)
牧　田　　清(写　11月1日　54歳)
増　山　たづ子(写　3月7日　88歳)

松　澤　　宥(美　10月15日　84歳)……379
松　葉　　良(洋　3月24日　87歳)
松　本　　哉(洋　10月15日　63歳)
萬　壽　　修(洋　3月22日　56歳)
三　浦　小平二(工　10月3日　73歳)……377
三　上　　浩(洋　2月18日　74歳)
三　堀　家　義(写　5月18日　85歳)
三　輪　晃　久(写　1月23日　81歳)
村　上　善　男(美　5月4日　73歳)……369
柳　沢　淑　郎(洋　8月29日　83歳)
山　野　象　東(書　1月27日　91歳)
吉　岡　庸　治(美関　4月18日　85歳)
吉　田　　清(美関　1月26日　78歳)……364
米　沢　嘉　博(評　10月1日　53歳)
劉　　蒼　居(書　9月30日　65歳)
脇　田　愛二郎(美　1月26日　63歳)……364
渡　辺　克　巳(写　1月29日　64歳)……365

凡例：

1. 索引に掲載された物故者の氏名は、平成18年中に没した美術家、及び関係者であり、50音順に配列した。
2. (　)内には、職種、死亡月日、享年の順に記載した。
3. 職種は、下記のように略記した。
   日：日本画家、洋：洋画家、版：版画家、彫：彫刻家、工：工芸家、デ：デザイナー、映C：映像・CG作家、漫：漫画家、書：書家、写：写真家、建：建築家、学：研究者、評：美術評論家、美関：美術関係者、その他：絵本作家・イラストレーター等、美：美術家(前記の範疇に属さず、現代美術において従来の表現形式にとらわれない創作活動をした者)
4. 記事が掲載されている物故者については、索引の氏名の横に掲載ページを示した。記事は死亡月日順に掲載した。
5. 各記事末尾の〈　〉内は、その記事の執筆者の姓を示す。それぞれの姓名・所属は下記の通りである。

菊池―菊池　理予	東京文化財研究所無形文化遺産部
皿井―皿井　　舞	東京文化財研究所企画情報部
塩谷―塩谷　　純	東京文化財研究所企画情報部
末永―末永　　航	広島女学院大学
菅沼―菅沼万里絵	東京文化財研究所企画情報部
田中―田中　　淳	東京文化財研究所企画情報部
富田―富田　　淳	東京国立博物館
友田―友田　正彦	東京文化財研究所文化遺産国際協力センター
中野―中野　照男	東京文化財研究所副所長
中村―中村　るい	国立西洋美術館
増田―増田　　玲	東京国立近代美術館
山梨―山梨絵美子	東京文化財研究所企画情報部

「物故者」ページ（363～381 ページ）

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.363-381)

Cut for protection of the personal information

日本美術年鑑
平成19年版
©
発行
2009年3月25日
編集
独立行政法人国立文化財機構
東京文化財研究所企画情報部
発行者
小菅　勉
印刷
藤原印刷株式会社
製本
松　岳　社
中央公論美術出版
東京都中央区京橋2-8-7
TEL.03-3561-5993
ISBN978-4-8055-1302-6